狭山市保健センター改修工事

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印 齋藤出

設 計 齋藤出

設計年月日 R 8 . 1 . 30

変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事

図面名称 表紙

Scale

No.

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称
A-01	特記仕様書(改修その1)
A-02	特記仕様書(改修その2)
A-03	特記仕様書(改修その3)
A-04	特記仕様書(改修その4)
A-05	特記仕様書(改修その5)
A-06	特記仕様書(改修その6)
A-07	工事区分表
A-08	案内図・配置図
A-09	改修 建物求積図1
A-10	改修 建物求積図2
A-11	外部仕上表
A-12	内部仕上表(1／4)
A-13	内部仕上表(2／4)
A-14	内部仕上表(3／4)
A-15	内部仕上表(4／4)
A-16	現況 1階平面図
A-17	現況 2階平面図
A-18	現況 3階平面図
A-19	現況 4階平面図
A-20	現況 R階平面図
A-21	改修 1階平面図
A-22	改修 2階平面図
A-23	改修 3階平面図
A-24	改修 4階平面図
A-25	改修 R階平面図
A-26	現況 立面図
A-27	改修 立面図
A-28	現況・改修 断面図
A-29	現況 矩計図
A-30	改修 矩計図
A-31	現況・改修 内部階段断面詳細図
A-32	現況・改修 外部階段断面詳細図
A-33	現況 1階天井伏図
A-34	現況 2階天井伏図
A-35	現況 3階天井伏図
A-36	改修 1階天井伏図
A-37	改修 2階天井伏図
A-38	改修 3・4階天井伏図
A-39	現況 1階平面詳細図(1)
A-40	現況 1階平面詳細図(2)
A-41	現況 2階平面詳細図(1)
A-42	現況 2階平面詳細図(2)
A-43	現況 3階平面詳細図(1)
A-44	現況 3階平面詳細図(2)
A-45	改修 1階平面詳細図(1)

図面番号	図 面 名 称
A-46	改修 1階平面詳細図(2)
A-47	改修 2階平面詳細図(1)
A-48	改修 2階平面詳細図(2)
A-49	改修 3階平面詳細図(1)
A-50	改修 3階平面詳細図(2)
A-51	現況 展開図WC
A-52	現況 展開図1-1
A-53	現況 展開図1-2
A-54	現況 展開図1-3
A-55	現況 展開図1-4
A-56	現況 展開図1-5
A-57	現況 展開図2-1
A-58	現況 展開図2-2
A-59	現況 展開図2-3
A-60	現況 展開図2-4
A-61	現況 展開図2-5
A-62	現況 展開図3-1
A-63	現況 展開図3-2
A-64	現況 展開図3-3
A-65	現況 展開図3-4
A-66	改修 展開図WC
A-67	改修 展開図1-1
A-68	改修 展開図1-2
A-69	改修 展開図1-3
A-70	改修 展開図1-4
A-71	改修 展開図1-5
A-72	改修 展開図2-1
A-73	改修 展開図2-2
A-74	改修 展開図2-3
A-75	改修 展開図2-4
A-76	改修 展開図2-5
A-77	改修 展開図3-1
A-78	改修 展開図3-2
A-79	改修 展開図3-3
A-80	改修 展開図3-4
A-81	現況 建具KEY-PLAN
A-82	現況 建具表1
A-83	現況 建具表2
A-84	改修 建具KEY-PLAN
A-85	改修 建具表1
A-86	改修 建具表2
A-87	家具KEY-PLAN
A-88	家具詳細図-1
A-89	家具詳細図-2
A-90	家具詳細図-3

図面番号	図 面 名 称
A-91	家具詳細図-4
A-92	家具詳細図-5
A-93	サインKEY-PLAN
A-94	サイン詳細図-1
A-95	サイン詳細図-2
A-96	白板・掲示板、スクリーンKEY-PLAN
A-97	白板・掲示板、スクリーン詳細図
A-98	現況・改修 室外機設置平面図
A-99	外構詳細図
A-100	外部足場計画図

図面番号	図 面 名 称
E-01	電気設備工事特記仕様書(1)
E-02	電気設備工事特記仕様書(2)
E-03	受変電設備 単線結線図・参考姿図(改修前)
E-04	受変電設備 単線結線図・参考姿図(改修後)
E-05	動力制御盤(改修前)
E-06	幹線動力設備 系統図・凡例(改修前)
E-07	幹線動力設備 1階平面図(改修前)
E-08	幹線動力設備 2階平面図(改修前)
E-09	幹線動力設備 4階平面図(改修前)
E-10	幹線動力設備 4階平面図(改修前)
E-11	動力制御盤(改修後)
E-12	幹線動力設備 系統図(改修後)
E-13	幹線動力設備 1階平面図(改修後)
E-14	幹線動力設備 2階平面図(改修後)
E-15	幹線動力設備 3階平面図(改修後)
E-16	幹線動力設備 4階平面図(改修後)
E-17	電灯分電盤表(1)(改修前)
E-18	電灯分電盤表(2)(改修前)
E-19	照明器具姿図(改修前)
E-20	電灯設備 1階平面図(改修前)
E-21	電灯設備 2階平面図(改修前)
E-22	電灯設備 3階平面図(改修前)
E-23	電灯設備 4階平面図(改修前)
E-24	防災照明設備 1階平面図(改修前)
E-25	防災照明設備 2階平面図(改修前)
E-26	防災照明設備 3階平面図(改修前)
E-27	電灯分電盤表(1)(改修後)
E-28	電灯分電盤表(2)(改修後)
E-29	照明器具参考姿図(改修後)
E-30	電灯設備 1階平面図(改修後)
E-31	電灯設備 2階平面図(改修後)
E-32	電灯設備 3階平面図(改修後)
E-33	電灯設備 4階平面図(改修後)
E-34	防災照明参考姿図(改修後)
E-35	防災照明設備 1階平面図(改修後)
E-36	防災照明設備 2階平面図(改修後)
E-37	防災照明設備 3階平面図(改修後)
E-38	防災照明設備 4階平面図(改修後)
E-39	コンセント設備 1階平面図(改修前)
E-40	コンセント設備 2階平面図(改修前)
E-41	コンセント設備 3階平面図(改修前)
E-42	コンセント設備 4階平面図(改修前)
E-43	コンセント設備 1階平面図(改修後)
E-44	コンセント設備 2階平面図(改修後)
E-45	コンセント設備 3階平面図(改修後)

図面番号	図 面 名 称
E-46	コンセント設備 4階平面図(改修後)
E-47	弱電設備 系統図(1)(改修前)
E-48	弱電設備 系統図(2)(改修前)
E-49	電話・テレビ共聴・警備配管設備 1階平面図(改修前)
E-50	電話・テレビ共聴・警備配管設備 2階平面図(改修前)
E-51	電話・テレビ共聴・警備配管設備 3階平面図(改修前)
E-52	電気時計・拡声・トイレ呼出設備 1階平面図(改修前)
E-53	電気時計・拡声・トイレ呼出設備 2階平面図(改修前)
E-54	電気時計・拡声・トイレ呼出設備 3階平面図(改修前)
E-55	電気時計・拡声・トイレ呼出設備 4階平面図(改修前)
E-56	弱電設備 系統図(改修後)
E-57	弱電設備 1階平面図(改修後)
E-58	弱電設備 2階平面図(改修後)
E-59	弱電設備 3階平面図(改修後)
E-60	電気時計設備 機器参考姿図・系統図(改修後)
E-61	電気時計設備 階平面図(改修後)
E-62	電気時計設備 2階平面図(改修後)
E-63	電気時計設備 3階平面図(改修後)
E-64	電気時計設備 4階平面図(改修後)
E-65	拡声設備 系統図(改修後)
E-66	拡声設備 機器参考姿図(改修後)
E-67	拡声設備 1階平面図(改修後)
E-68	拡声設備 2階平面図(改修後)
E-69	拡声設備 3階平面図(改修後)
E-70	拡声設備 4階平面図(改修後)
E-71	ＡＶ設備 1階平面図 機器参考姿図(改修後)
E-72	ＡＶ設備 2階平面図 機器参考姿図(改修後)
E-73	ＡＶ設備 3階平面図 機器参考姿図(改修後)
E-74	誘導支援設備 凡例・系統図(改修後)
E-75	誘導支援設備 1階平面図(改修後)
E-76	誘導支援設備 2階平面図(改修後)
E-77	誘導支援設備 3階平面図(改修後)
E-78	火災報知設備 凡例・注記・系統図(改修前)
E-79	火災報知設備 1階平面図(改修前)
E-80	火災報知設備 2階平面図(改修前)
E-81	火災報知設備 3階平面図(改修前)
E-82	火災報知設備 4階平面図(改修前)
E-83	火災報知設備 凡例・注記・系統図(改修後)
E-84	火災報知設備 1階平面図(改修後)
E-85	火災報知設備 2階平面図(改修後)
E-86	火災報知設備 3階平面図(改修後)
E-87	火災報知設備 4階平面図(改修後)
E-88	構内配電線路 屋外平面図(改修前)
E-89	構内配電線路 屋外平面図(改修後)
E-90	空調・換気電源設備 1階平面図(改修後)

図面番号	図 面 名 称
E-91	空調・換気電源設備 2階平面図(改修後)
E-92	空調・換気電源設備 3階平面図(改修後)
E-93	空調・換気電源設備 4階平面図(改修後)

図面番号	図 面 名 称
M-01	特記仕様書(1)
M-02	特記仕様書(2)
M-03	特記仕様書(3)
M-04	凡例
M-05	衛生器具集計表
M-06	機器表(1)
M-07	機器表(2)
M-08	機器表(3)
M-09	機器表(4)
M-10	給排水衛生設備 系統図
M-11	給排水衛生設備 外構図
M-12	給排水衛生設備 1階平面図
M-13	給排水衛生設備 2階平面図
M-14	給排水衛生設備 3階平面図
M-15	給排水衛生設備 4階平面図
M-16	給排水衛生設備 R階平面図
M-17	給排水衛生設備 平面詳細図(1)
M-18	給排水衛生設備 平面詳細図(2)
M-19	給排水衛生設備 平面詳細図(3)
M-20	給排水衛生設備 平面詳細図(4)
M-21	消火設備 1階平面図
M-22	消火設備 2階平面図
M-23	消火設備 3階平面図
M-24	消火設備 4階平面図
M-25	消火設備 R階平面図
M-26	空調換気ダクト設備 1階平面図
M-27	空調換気ダクト設備 2階平面図
M-28	空調換気ダクト設備 3階平面図
M-29	空調換気ダクト設備 4階平面図
M-30	空調配管設備 系統図
M-31	空調配管設備 1階平面図
M-32	空調配管設備 2階平面図
M-33	空調配管設備 3階平面図
M-34	空調配管設備 4階平面図
M-35	空調配管設備 R階平面図
M-36	自動制御設備システムブロック図
M-37	自動制御設備 1階平面図
M-38	自動制御設備 2階平面図
M-39	自動制御設備 3階平面図

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印	設 計
齋藤出	齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図書名称 図面リスト
Scale
No.

工 事 名　狭山市保健センター改修工事

Ⅰ　工事概要

１．工事場所　狭山市狭山台３丁目２４番

２．敷地面積　３,９９５ ㎡

３．工事種目（建物概要）

用途	構造	階数	延床面積
事務所（保健センター）	鉄筋コンクリート造	４階建	２,３９６.０８５ ㎡
			空調面積
			１,６００.２０ ㎡

改修工事

４．工事内容

上記に伴う建築工事一式

５．工　　期

契約工期　　契　約　　日から令和９年１２月２８日まで

主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間　　現場施工に着手するまで

現場代理人の現場への常駐を要しない期間　　現場施工に着手するまで

現場施工期間　　契約日から令和９年１２月２８日まで

６．工事範囲

※「３．工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「３．工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目＼工事種目	改修工事			
２　仮設工事	○			
３　防水改修工事	○			
４　外壁改修工事	○			
-１　コンクリート打放し仕上げ外壁	○			
-２ モルタル塗り仕上げ外壁				
-３ タイル張り仕上げ外壁				
-４ 塗り仕上げ外壁	○			
-５ 外壁用塗膜防水塗り				
５　建具改修工事	○			
６　内装改修工事	○			
７　塗装改修工事	○			
８　耐震改修工事				
９　環境配慮改修工事	○			
１０　鉄筋工事	○			
１１　コンクリート工事	○			

Ⅱ　建築改修工事仕様

（１）質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和７年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和７年版)」、「防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書」(以下、「標準仕様書」という。)による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（２）改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（３）本特記仕様書の表記
１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
２）特記事項は、・印の付いたものを適用する。・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は、共に適用する。　・印と※の場合は、・のみを適用する。
３）特記事項に記載の［　．　］内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
４）特記事項に記載の［　．　］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
５）特記事項に記載の（　．　）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
６）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　）内は製品名を示す。
７）本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（最新版）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。
なお、Ⓖ印は設計図書で定めのある品目を示す。
８）注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項　目	特　記　事　項
１ 一般共通事項	①適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
	②条件明示事項	保険の種類　[1.1.3] ※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等　・ 保険の期間　※契約工期の期間中
	③工事実績情報の登録	※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録）　・行わない　[1.1.4][1.1.8]
	４ 適用区分	建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力　風速（Vo=　m/s）　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ） ・積雪荷重　H12.5.31告示第1455号における区域　別表（　） ・大地震時の非構造部材の変形追従性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200　・1/150　・1/120　・　・図示（　） 確認箇所（　）
	⑤別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。[1.1.7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。
	６ 施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。[1.1.12、13] ・周知の埋蔵文化財包蔵地　・史跡名勝天然記念物 ・　・
	⑦工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。[1.2.4][1.6.6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン　※適用する（CD-R又はDVD-Rで１部提出） ・適用しない
	⑧電気保安技術者	適用する　[1.3.3][1.3.1]
	⑨施工条件	施工時間　(1.3.5)[1.3.5] ・行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 週休2日制モデル工事 ・本工事は、「狭山市週休２日制モデル工事（営繕工事）完全週休２日Ⅱ型」の対象工事である。 試行の実施は、『狭山市「週休２日制モデル工事」施行要領（営繕工事）』によるものとする。試行要領は、狭山市公式ホームページで確認のこと。 狭山市公式ホームページ（トップページ＞事業者向け情報＞入札・契約） https://www.city.sayama.saitama.jp/jigyo/nyusatsu/index.html 施工時間以外の施工条件 ・図示による　・
	⑩施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。[1.3.7]
	⑪環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。[1.3.11]
	⑫発生材の処理等	引渡しを要するもの　[1.3.12][1.1.13] ※無し（全て構外搬出適正処理）　・有り（※図示　・　） 注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
	13 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は[1.4.2]埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。
	⑭環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。[1.4.1][1.4.3] ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑮材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。[1.4.2] ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。
	⑯石綿含有建材の調査	調査　[1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行い、アスベストの有無に関わらず結果を如事または市長宛に報告すること。 貸与資料（既存設計図書・アスベスト分析調査報告書） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、 クロシドライト、トレモライト 分析方法

材料名	定性分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
・	・10箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示　・監督員と協議のうえ

章	項　目	特　記　事　項
１ 一般共通事項	⑰技能士	[1.6.2][1.3.3] 適用技能士

工事種別	適用技能士	
仮設工事	・とび作業	
防水改修工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業	・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業
	・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業	・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業	・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業
	・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業	・FRP防水工事作業
	・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業	
	・左官作業	・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業	・タイル張り作業
	・建築塗装作業	・樹脂接着剤注入工事作業
建具改修工事	・ビル用サッシ工施工作業	・ガラス工事作業
	・自動ドア施工作業	・建築フィルム作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業	・カーペット系床仕上作業
	・木質系床仕上げ工事作業	・鋼製下地工事作業
	・ボード仕上げ工事作業	・タイル張り作業
	・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業	・保温保冷工事作業
	・壁装作業	
塗装改修工事	・木工塗装作業	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄筋組立て作業	・型枠工事作業
	・とび作業	・構造物鉄工作業
その他	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業	

⑱化学物質の濃度測定　(1.5.9)[1.7.9]

対象化学物質	判定基準	備考
ホルムアルデヒド	100μg／m³（0.08ppm）以下	※厚生労働省が定める指針値、量単位の換算は２５℃
トルエン	260μg／m³（0.07ppm）以下	
キシレン	200μg／m³（0.05ppm）以下	
エチルベンゼン	3,700μg／m³（0.085ppm）以下	
スチレン	220μg／m³（0.05ppm）以下	
パラジクロロベンゼン	240μg／m³（0.04ppm）以下	

測定方法
採取及び分析は、法令に基づき室気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。
①検体の採取方法　※吸引方式（アクティブ法）又は拡散方式（パッシブ法）
・吸引方式（アクティブ法）　・拡散方式（パッシブ法）
②アクティブ法
ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行う。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行う。
③パッシブ法
ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣ又はガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。
測定対象室　・監督員の指定する室（　３　室）　・図示
測定箇所数　※（　）　・図示
測定時期　※工事着手前及び完了後
報告書　※２部　・

⑲中間検査　中間検査　※行う（埼玉県建設工事検査要綱第５条）・行わない　[1.7.2][1.5.1]
中間検査実施回数（　）　実施段階（　）監督員の指示による
中間検査成績評定　※対象外　・対象（埼玉県建築工事成績評定要領第２）

⑳完成図等　監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第１に示す書類を原則電子データで提出する。[1.8.1～3][1.6.1～3]

完成図等の種類及び記入内容
完成（竣工）図（※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの）
図面情報電子化媒体　※CD-RまたはDVD-R　１部
CADデータの形式　※SXF(sfc)　○DXF　○NWW
（埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADﾃﾞｰﾀのﾊﾞｰｼﾞｮﾝは監督員と協議する）
・完成図(製本)※二つ折り(A1版)　製本4部

保全に関する資料　※１部　・　部（通常取扱いに注意を要するものの使用方法を解説する）
完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する）
埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ　※適用する(CD-RまたはDVD-Rで１部提出)・適用しない
撮影者　※監督員の承諾する撮影者　・
撮影箇所　※外部（　）内部（　）
着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する
・埼玉県建築工事写真作成要領別表５
原本及びアルバムを各1部提出
原本(電子媒体：撮影時のJPEG)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出
パネル入り（外部全景）完成写真　・要　・不要
施設CADデータ　・更新して提出　・更新しない

㉑保証書　防水工事　※屋上防水　・外壁防水　・金属屋根　・　[1.6.4]
建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料ﾒｰｶｰの3者連名とし2部提出する。
上記以外　・１部提出

㉒その他
（１）工事に伴い、必要な諸官庁署への手続き・届出・申請は本工事に含む。
（２）工事に先立ち、監督員と打合せの上、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
また、必要に応じて住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施する。
（３）工期中、翌月の月間工程表を前月の20日までに監督員に提出する。
（４）工期中、月毎の工事履行報告書を翌月７日までに監督員に提出する。
（５）資材・製造所等選定報告書の提出は要さない。

章	項　目	特　記　事　項
２ 仮設工事	１ 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル　・防音シート　[2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　※図示　・
	②足場等	[2.2.1][表2.2.1] 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場　・設置する（設置範囲　・図示　・　）・設置しない 防護シート　・設置する（設置範囲　・図示　・　）・設置しない 内部足場　・設置する（※脚立、足場板等　・　）・設置しない 材料、搬去材等の運搬方法 種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種） Ｃ種：利用可能なエレベーター（・図示　・　） Ｄ種：利用可能な階段　（・図示　・全て利用可　）
		墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。 ・フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。 幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する（労働安全衛生規則第561条の2）
	③既存部分の養生	[2.3.1] 既存部分　養生の方法（※ビニルシート、合板等　・　） 既存家具、既存設備等　養生の方法（※ビニルシート等　・　） 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（・ビニルシート等　・　） 保管場所　・図示　・　） 固定された備品、机、ロッカー等の移動　・図示　・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	４ 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・　[2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等

種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材
・Ａ種	・木	・せっこうボード（9.5mm）	・無し	※有り
	・軽量鉄骨	種類（　）	・片面	
・Ｂ種		・合板（9.0mm）		
		材種（　）		
※Ｃ種	単管	防炎シート		

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

章	項　目	特　記　事　項
２ 仮設工事		仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材
※木製	※合板張り程度	・無し	※図示　・　か所	・有り
・	・	・片面		・無し

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

⑤監督員事務所　規模　・既存建物内の一部を使用　[2.4.1]
・構内に新設　㎡
※設置しない（下記備品のみ用意する）
備品（３名分相当）
・机　・椅子　・書棚　・黒板　・掛時計　・寒暖計　○長靴　○雨合羽
○保護帽　○懐中電灯　○漂落制止用器具　○笛手　・衣類ロッカー
・冷暖房機器　・消火器　・湯沸器　・茶器　・掃除用具　・電話機
・ＦＡＸ　・電子メール通信機器　・スキャナー　・プリンター

⑥現場表示板　※設置する（[1.1.12]による表示　・要　○不要）　・設置しない　[2.4.1][1.1.12]

⑦工事用水　構内既存の施設　※利用できない　○利用できる（※有償　・無償）

⑧工事用電力　構内既存の施設　※利用できない　○利用できる（別途施設調整を行うこと）

⑨工事用搬入路　※図示　・

⑩仮囲い　※設置位置等は監督員の指示による　・図示

⑪交通誘導員　必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。
配置箇所　※監督員の指示による　・図示

12 快適トイレ　仕様　※図示　・

章	項　目	特　記　事　項
３ 防水改修工事	①施工数量調査	調査範囲　・図示の範囲　○全ての施工範囲　[1.6.2、3] 調査方法　・図示　○目視、打診 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・ 調査報告書　提出部数　・２部　・
	②降雨等に対する養生方法（とい共）	※[3.1.3](5)(ｱ)～(ｳ)による　・　[3.1.3]
	③既存防水の処理	[3.1.4][3.2.3、4、6] 既存保護層の撤去　○行う（範囲　○図示　・　）・行わない 既存防水層の撤去　○行う（範囲　○図示　・　）・行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去 ・行う（・Ｍ４ＡＳ　・Ｍ４ＡＳＩ　・Ｍ４Ｃ　・Ｍ４ＤＩ）　・行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装除去　○行う（Ｌ４Ｘ）　・行わない
	④既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　・図示　○施工数量算出による　[3.2.6] ＰＯＳ工法及びＰＯＳＩ工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理　※[3.2.6](4)(ｳ)(g)①～③による　・
	５ アスファルト防水	設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理　・図示　・　[3.3.2～5]

屋根保護防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 Ⓖ [9.2.1～3]	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ｐ２Ａ	・A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はプラｼｰﾝｸﾞ70g/㎡程度 ・	・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え ※JIS R 1250 ・ ・モルタル押え（屋内）
	・A-2				
	・A-3				
・Ｐ１Ｂ	・B-1				
	・B-2				
・Ｐ２Ａ Ⅰ	・AI-1		(材質)	※プラｼｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・	
	・AI-2		※JIS A 9521に基づく押出ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）		
	・AI-3				
・Ｐ１Ｂ Ⅰ	・BI-1		(厚さ)・　mm・		
・Ｔ１Ｂ Ⅰ	・BI-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
防水ｱｽﾌｧﾙﾄ張り　※水下　60mm以上　・
・乾式保護材
窯業系パネルⅠ類（厚さ　mm、幅　mm）

屋根露出防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 Ⓖ	仕上塗料	備考
・Ｍ４Ｃ	・C-1			(種類・使用量) ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	
	・C-2				
	・C-3				
	・C-4				
・Ｍ３Ｄ ・Ｐ０Ｄ	・D-1			(種類・使用量) ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
	・D-2				
・ＰＯＤＩ ・Ｍ３ＤＩ ・Ｍ４ＤＩ	・DI-1		[3.3.2(9)] (種類) ・ (厚さ) ・　mm・	(種類・使用量) ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
	・DI-2				

高日射反射率防水の適用 Ⓖ　※適用する　・適用しない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・　（個）

R7.1(Ver.R6-2)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8．1．30	狭山市保健センター改修工事	A-01
		変更年月日	図面名称 特記仕様書（改修その１） Scale	

屋内防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	備考
・Ｐ１Ｅ	・E-1		保護層　・設ける
・Ｐ２Ｅ	・E-2		・設けない

・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　　）
押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
屋根排水溝　※図示　・

⑥ 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）　[3.4.2、3]
新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 Ｇ [9.2.1～3]	仕上塗料	備考
・Ｍ４ＡＳ	・AS-T1			(種類・使用量) ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	
	・AS-T2				
	・AS-J2				
・Ｍ３ＡＳ・ＰＯＡＳ	・AS-T3			(種類・使用量) ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない
	・AS-T4				(改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
	・AS-J1				
	・AS-J3 (POASのみ)				
・Ｍ３ＡＳ・Ｍ４ＡＳ[	・AS1-T1		(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ (厚さ)⊙50・	(種類・使用量) ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ⊙設ける ・設けない
⊙Ｐ１ＡＳ[	⊙AS1-J1	壁上			(改修用ﾄﾞﾚﾝ) ⊙設ける ・設けない

高日射反射率防水の適用 Ｇ　※適用する　・適用しない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルトシートの製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡
押え金物
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定・
設置数量　※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定・　（個）
絶縁断熱工法の防湿用シート　⊙設置する　・設置しない

⑦ 合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種別　[3.5.2～4][表3.5.1～3]

工法	種別	施工箇所	断熱材 Ｇ	仕上塗料	備考
・ＰＯＳ・Ｓ４Ｓ	・S-F1			(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない
	・S-F2				(改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
	・S-M1				
	・S-M2				
	・S-M3				
⊙Ｓ３Ｓ	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地・		(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ⊙設けない
	⊙S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ⊙耐火野地板			
・Ｍ４Ｓ	・S-M1			(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない
	・S-M2				
	・S-M3				
・ＰＯＳＩ・Ｓ３Ｓ Ｉ・Ｓ４Ｓ Ｉ・Ｍ４Ｓ Ｉ	・S1-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地・	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ (厚さ)・25mm ・50mm	(種類・使用量) ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
	・S1-F2				
	・S1-M1				
	・S1-M2				

高日射反射率防水の適用 Ｇ　※適用する　・適用しない
⊙S-M2で立上り面を接着工法とする場合
立上り面のシート厚（※1.5mm　⊙ 2.0mm ）
・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用
※非歩行使用　・軽歩行仕様
・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム（・設置する　・設置しない）

屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合
厚さ　（　　）mm
目地割り　（※2㎡程度　最大目地間隔3m程度　・　　）
目地の種類（※押し目地　・　　）
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による　・
JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート　・
固定金具の材質及び寸法形状
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
脱気装置の種類及び設置数量
※ルーフィングシートの製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡

接着工法の目地処理
・ＰＣコンクリート下地の場合（　　）
ＰＣコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合）
・行う（・図示　・　　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑧ 塗膜防水

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする　[3.6.2、3]
ウレタンゴム系塗膜防水工法

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考
・ＰＯＸ	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾞﾚﾝ) ・設ける ・設けない
⊙Ｌ４Ｘ	・X-1 ※X-2 ・X-1H ⊙X-2H ・	笠木・外部階段	(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様・	(脱気装置) ・設ける ⊙設けない

高日射反射率防水の適用 Ｇ　※適用する　・適用しない
脱気装置の種類及び設置数量
※主材料の製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡

ゴムアスファルト系塗膜防水工法

工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様・	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様・	・設ける ・設けない

⑨ シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.1.4][3.7.2、3、7、8]
・シーリング充填工法
⊙シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
エッジング材張り　・適用する　・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所
・図示による　・

シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による　・
接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

注　練り混ぜた２成分形シーリング材は、１組の作業班が１日に行った施工箇所を１ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

⑩ とい

といその他の材種等　[3.8.2、3]
※配管用鋼管　⊙硬質ポリ塩化ビニル管　⊙ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類・　　）
・
とい受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　・
形状
※市販品　・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による　・
多雪地域　・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・図示　・
鋼管製といの防露巻き　※[表3.8.4]による　・

ルーフドレンの種別及び呼び

種別		呼び				施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100	・125	・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100	・125	・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50	・80	・100		
	・差し込み式	・50	・75	・100		
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50	・80	・100		
	・差し込み式	・50	・75	・100		

たてどい受金物の取付　※図示　・
ルーフドレンの取付　※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填

11 アルミニウム製笠木

種類　・オーブン形式（・押出250形　・押出300形　・押出350形　）　[3.9.2、3]
・板材折曲げ形（・オーブン形式　・シール形式　）
本体幅：（　　）mm、板厚（※2.0mm　・　　mm）
表面処理　種別　・
着色　・標準色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）
・特注色（　　）
既存笠木等の撤去　・行う（範囲　・図示　・　　）　・行わない
下地補修の工法　※図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑫ 防水工事施工票　[2.1.2]
※設置する（ 4 ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入）
・設置しない

4 外壁改修工事

① 施工数量調査

調査範囲　⊙外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.6.2、3]
調査時期　・外壁仕上げ等除去撤去前　⊙外壁仕上げ等除去撤去後
調査方法
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びひび割れ等を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひび割れ等を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
調査報告書の部数　・２部　・

4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁

① ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4][4.2.4～7]

工法の種類	ひび割れ幅（mm）		注入口間隔（mm）	注入量（ml／m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満	低	※200～300 ・	・130 ・
	0.5以上～1.0以下	中	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	低	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5未満	低	・100～200 ・	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	中	・150～250 ・	・130 ・

※エポキシ樹脂　低：低粘度形　中：中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・

・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂　⊙ノンカットフィルム工法（田島ルーフィング展同等以上）

4-2 モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去　※全面　・図示の範囲　・

2 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4][4.3.5～8]

工法の種類	ひび割れ幅（mm）		注入口間隔（mm）	注入量（ml／m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満	低	※200～300 ・	・130 ・
	0.5以上～1.0以下	中	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	低	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5未満	低	・100～200 ・	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	中	・150～250 ・	・130 ・

※エポキシ樹脂　低：低粘度形　中：中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・
・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

3 欠損部改修工法

・充填工法　[4.1.4][4.3.9、10]
エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
セメントの種類　※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 Ｇ
・フライアッシュセメントB種 Ｇ
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
・既調合材料（　　）
既製目地材　・使用する（形状　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4 浮き部改修工法　[4.1.4][4.3.11～16]

工法の種類	アンカーピンの本数（本／㎡）		注入口の箇所数（箇所／㎡）		注入量（ml／箇所）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

充填工法
※３ 欠損部改修方法の「充填工法」による
・
モルタル塗替え工法
※３ 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による
・

4-3 タイル張り仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去
・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで

2 タイルの形状、寸法等　タイルの形状、寸法等　[4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用 Ｇ	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

3 ひび割れ部改修工法　改修箇所　※既存タイル張り上面　[4.1.4][4.4.5、6]
・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）		注入口間隔（mm）	注入量（ml／m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満	低	※200～300 ・	・130 ・
	0.5以上～1.0以下	中	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	低	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5未満	低	・100～200 ・	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	中	・150～250 ・	・130 ・

※エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　・図示　・

4 欠損部改修工法　・タイル部分張替え工法　[4.1.4][4.4.5、7、8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※改修標準仕様書表4.4.2による　・
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・

タイルの種類及び工法
・外装タイル（・密着張り　・改良圧着張り　）
・ユニットタイル（・マスク張り　・モザイクタイル張り）
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地（※ポリウレタン系　・　　）
・伸縮調整目地その他の目地　※変成シリコーン系　・　　）

シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

5 浮き部改修工法　[4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15]

工法の種類	アンカーピンの本数（本／㎡）		注入口の箇所数（箇所／㎡）		注入量（ml／箇所）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニングエポキシ樹脂注入材固定工法	・	・	—	—	※25 ・
・タイル部分張替え工法	—	—	—	—	—
・タイル張替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm
・
タイル部分張替え工法
※４ 欠損部改修方法の「タイル部分張替え工法」による
・
タイル張替え工法
※４ 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による

6 目地改修工法　・目地ひび割れ部改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法　・図示　・
シーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

4-4 塗り仕上げ外壁等

① 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整　[4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体　・図示	⊙ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法 加圧力　※30MPa程度以上	※既存仕上げ面全体　・図示 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	⊙浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体　・図示 ・	⊙欠損部改修工法
⊙水洗いし工法	※上記以外の既存仕上げ面全体　⊙図示 ・	

下地調整　※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　[4.5.2]

・その他特殊な工法等（既存塗膜等に含有する石綿の除去を行う場合など。下地調整含む。）
※図示による　・

② 仕上塗材仕上げ　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

新規仕上塗材の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・	・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）
	・外装薄塗材Ｅ	・	・さざ波状　・平たん状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）
	・外装薄塗材Ｓ	・	・砂壁状じゅらく　・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Ｓｉ	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材Ｅ	・	上塗材　・適用する　・適用しない
	・複層塗材ＣＥ	・	⊙ゆず肌状・凸部処理　・凹凸状
⊙複層仕上塗材	・可とう形複層塗材ＣＥ	・	
	・複層塗材Ｓｉ	・	耐候性　※耐候形３種　・
	・複層塗材Ｅ	・	上塗材
	・複層塗材ＲＥ	・	溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
	・防水形複層塗材ＣＥ	・	樹脂　※アクリル系　⊙フッ素系
	・防水形複層塗材Ｅ	・	外観　※つやあり　・つやなし
	⊙防水形複層塗材ＲＥ	⊙	・メタリック
		・	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ	・	・平たん状　・さざ波状　・ゆず肌状
	・可とう形改修塗材ＲＥ	・	耐候性　※耐候形３種　・
	・可とう形改修塗材ＣＥ	・	上塗材
			溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
			樹脂　※アクリル系　・
			外観　※つやあり　・つやなし　・メタリック

③ マスチック塗材塗り　種別　・A種　・B種　[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]

4-5 外壁用塗膜防水材塗り

1 外壁用塗膜防水材塗り　[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]
仕上げの形状（　　）工法（　　）
外壁用仕上塗料の耐候性　※JIS A 6909 の耐候形１種相当
・
下地緩衝緩衝材の適用　・する　・しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　　（・所要量　　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　　（・所要量　　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

R7.1(Ver.R6-2)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第26081号 齋藤出

検印　設計

設計年月日　R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称　独)市保健センター改修工事
図面名称　特記仕様書（改修その2）　Scale

No. A-02

5 建具改修工事

① 改修工法 [5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具		・	・	・建具表による ・
・樹脂製建具		―	・	・建具表による ・
・鋼製建具	・外部	・	・	・建具表による ・
	・内部	・	・	・建具表による ・
・鋼製軽量建具		・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具		・	・	・建具表による ・
⊙木製建具		・	⊙	⊙建具表による ・

新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方　※図示　・
　新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

2 防火戸 [5.1.4]

適用箇所　※建具表による　・
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
　・行う（※建具表による　・　　）　・行わない

3 見本の製作等 [5.1.5]

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　・行わない
建具見本製作の目的等：（　　）
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）　・行わない

4 防犯建物部品 [5.1.7]

適用箇所（・建具表による　・　　）

5 アルミニウム製建具 [5.2.2～5][表5.2.1、2]

性能値等
　耐風圧性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　気密性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　水密性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・Ａ種	S-4	A-3	W-4	※図示による
・Ｂ種	S-5			※図示による
・Ｃ種	S-6	A-4	W-5	※図示による

防音ドア、防音サッシ
　遮音性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　断熱性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　枠の見込み寸法　※建具表による
材料
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　表面処理
　　外部に面する建具　種別　・BB-1種　・BB-2種　・
　　着色　・標準色　・特注色
　　屋内の建具　種別　・BC-1種　・BC-2種　・
　　着色　・標準色　・特注色
　結露水の処理方法　・水貯め式　・排水式
工法
　水切り板、ぜん板等　※図示　・

6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2～5]

性能値等
　耐風圧性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　気密性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　水密性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・Ａ種	S-4	A-4	W-4	※図示による
・Ｂ種	S-5		W-5	※図示による
・Ｃ種	S-6			※図示による

防音ドア、防音サッシ
　遮音性の等級　・T-1　・T-2（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　断熱性の等級　・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8
　（適用する建具　※建具表による）
　外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
　枠の見込み寸法　※建具表による
材料
　ガラス　※複層ガラス　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　表面色　・標準色　・特注色
工法
　水切り板、ぜん板　※図示　・

8 鋼製建具 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]

性能値等
　簡易気密型ドアセット
　　・適用する（※建具表による　・　　）・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性
　　耐風圧性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　防音ドア、防音サッシ
　　遮音性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　　断熱性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　耐震ドア
　　面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
　　（適用する建具　※建具表による）
材料
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　鋼板類の厚さ
　　大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)
　　※建具表による　・
　　上記以外の鋼製建具　※[表5.4.2]による　・建具表による　・
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

⑨ 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2～4]

性能値等
　簡易気密型ドアセット
　　・適用する（※建具表による　・　　）⊙適用しない
　防音ドア、防音サッシ
　　遮音性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　　断熱性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　耐震ドア
　　面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
　　（適用する建具　※建具表による）
材料
　鋼板　⊙亜鉛めっき鋼板　・ﾋﾞﾆﾙ被膜鋼板　・ｶﾗｰ鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　鋼板類の厚さ
　　大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)
　　※建具表による　・
　　上記以外の鋼製軽量建具　※[表5.5.1]による　・建具表による　・
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]

性能値等
　簡易気密型ドアセット
　　・適用する（※建具表による　・　　）・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性
　　耐風圧性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　防音ドア、防音サッシ
　　遮音性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　　断熱性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　耐震ドア
　　面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
　　（適用する建具　※建具表による）
材料
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ
形状及び仕上げ
　表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・
工法
　ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

11 木製建具 [5.7.2～4]

建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種　・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※ｆ☆☆☆　・

・フラッシュ戸
　表面材のホルムアルデヒド放散量等
　　※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による　・

　表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 Ⓖ	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等　・　） 接着の程度（・１類　・２類）	
・天然木化粧合板 Ⓖ	樹種名（　　） 接着の程度（・１類　・２類）	
・特殊加工化粧合板 Ⓖ	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・１類　・２類）	
・MDF Ⓖ		

　表面板の厚さ　※[表5.7.6]による　・
　引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
　　・適用しない　・適用する

・かまち戸
　かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
　見込み寸法　※36mm　・建具表による　・

・ふすま
　張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
　上張り(押入等の裏側以外)　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
　縁仕上げ　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
　見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・

・戸ぶすま
　表面板の仕上　・建具表による　・
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

・紙張り障子
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

　枠及びくつずりの材料　・建具表による　・

⑫ 建具用金物 [5.8.1～3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
　※[表5.8.1]及び適用は建具表による　・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※[表5.8.2]による　・建具表による　・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※[表5.8.3]による　・建具表による　・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※[表5.8.4]による　・建具表による　・
木製建具に使用する戸車及びレール
　※[表5.8.5]による　・建具表による　・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
　⊙建具表による　・図示　・
錠前類
　シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
　クローザ類

⑬ 鍵

マスターキー　⊙製作する(・新規　⊙既存マスター合わせ)　・製作しない　[5.8.4]
その他の鍵　※各室３本１組（室名札付き）　・
鍵箱　・無　⊙有

14 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]

戸の開閉方式
　・建具表による　・
・引き戸用駆動装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.1による　(防錆　・適用する　・適用しない)
　　・種類・開閉方式（　　）　・耐電圧（　　）
　　・温度上昇（　　）　・耐久性(サイクル)（　　）
　　・防錆（　　）　・電源（　　）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.2による　(防錆　・適用する　・適用しない)
　　・耐電圧（　　）　・温度上昇（　　）
　　・耐久性(サイクル)（　　）・防錆（　　）
　　・電源（　　）
・引き戸用検出装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.3による　(防錆　・適用する　・適用しない)
　　・耐電圧（　　）　・防錆（　　）
　　・防滴（　　）　・電源（　　）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目　・建具表による　・
　タッチスイッチの種類
　　・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
　車椅子使用者用便房スイッチの種類
　　・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置　・行う　・行わない

⑮ 自閉式上吊り引戸装置 性能　※[表5.10.1]による　・ [5.10.3]

⑯ 重量シャッター [5.11.2、3]

シャッターの種類
　⊙管理用シャッター
　・外壁用防火シャッター
　・屋内用防火シャッター
　・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　　）Pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
　電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
　（設置箇所　⊙建具表による　・　　）
　電動式シャッターの障害物感知装置
　（設置箇所　⊙建具表による　・　　）
　屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
　（設置箇所　・建具表による　・　　）

17 軽量シャッター [5.12.2～4]

開閉形式の種類　・電動式（手動併用）　※手動式
耐風圧強度（　　）Pa
安全装置
　電動シャッターの障害物感知装置　（設置箇所　・建具表による　・　　）
スラットの材質の種類
　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量（※Z06又はF06　・　　）
　・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量（※AZ90　・　　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板の材質
　種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質
　スラットと鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）

⑲ ガラス [3.7][5.14.2～4]

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・フロート板ガラス

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類	※建具表による　・

・型板ガラス

型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による　・

・網入板ガラス

網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類	※建具表による　・

・合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ	※建具表による　・
形状による種類	・平面合わせｶﾞﾗｽ・曲面合わせｶﾞﾗｽ
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類

⊙強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	※建具表による　・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	⊙Ⅰ類　・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス

板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による　・
性能による種類	・１種　・２種

・複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による　・
断熱性による区分	・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G　・S
乾燥気体の種類	・空気　・アルゴン

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による　・
日射熱遮へい性による区分	・１種　・２種　・３種
耐久性による区分 （日射熱遮へい性が２種の場合）	・Ａ種　・Ｂ種

・倍強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による　・

・ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ⊙建具製造所の仕様による	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による

20 ガラスブロック [5.14.5]

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状　※図示　・
力骨　材質　※ステンレス鋼(SUS304)　・
　寸法　※径5.5mm　・
　形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色　・白　・グレー
シーリングの種類　・SR-1　・PS-1
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
　寸法　※図示　・
　形状　※図示　・
目地部の横力骨の納まり　※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示

工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

21 ガラス用フィルム

※施工箇所は建具表による

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム Ⓖ	※SC-1	・SC-2	可視光線透過率：65%以上
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-2	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質　JIS A 5759 による

熱割れ計算書　※要　・不要
第3者機関による性能測定データ　※要　・不要

6 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
　※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
　※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
　※既存のまま　・図示

② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　⊗仕上げ材のみ（接着剤とも）
　⊙下地モルタルとも（◎図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　⊙機械的除去工法　・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「４章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内　・

③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
　※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置　※図示）
　・図示　・

④ 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による

5 製材 Ⓖ

・JAS 1083-5　製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-2　製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種 ・		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・		・
			※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-6　製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		（　　） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種	・する ・しない	・
		（　　） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種	・する ・しない	・

6 造作用集成材 Ⓖ

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※１等　・２等	・
					※１等　・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
							※１等 ・２等	・
							※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下 ・	・
						※15%以下 ・	・

7 造作用単板積層材 Ⓖ

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
				・する ・しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・する ・しない	・
			※14%以下 ・	・する ・しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第26081号 齋藤出

検印 齋藤出　設計 齋藤出

設計年月日 R 8．1．30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 特記仕様書（改修その3）
Scale

No. A-03

⑧ 合板等

⊙「合板の日本農林規格」による普通合板 G [6.5.2]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
壁下地	※5.5 ⊙12	ﾗﾜﾝ	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する (・)	・
						・適用しない		

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

⊙パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
床下地	RS	※13タイプ ⊙18タイプ	※P又はM ⊙Pタイプ	普通	※15 ⊙20

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法(mm)

・MDF G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9 接合具等 [6.5.3]
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
・ (形状： 寸法： 材質：)

10 接着剤 接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.5.3、4]

11 防腐・防蟻処理 ・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位(・)
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位(・)

12 不燃処理木材等 不燃等の処理は部材単位で行うこと
・不燃材料
適用部位(部位) ・図示による
・準不燃材料
適用部位(部位) ・図示による
・難燃材料
適用部位(部位) ・図示による

13 内部間仕切軸組及び床組み [6.5.6]
間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松 ・
床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松 ・
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材

14 窓、出入口その他 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7]
吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき ・
その他 ※松又は杉 ・

15 床板張り ・縁甲板及び上がりかまちに用いる樹種名(製材を用いる場合) [6.5.8]
※ひのき
・

16 壁及び天井下地 ・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.9]
※杉又は松
・

⑰ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外(※25形 ・19形) 屋内(※19形 ・25形) [6.6.2~4]
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
野縁の間隔 ・図示 ・
既存の埋込みインサート ⊙使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
⊙行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・( )箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・( )N
・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・
補強方法 ※図示 ・

⑱ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 [6.7.3、4][表6.7.1]
※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 ・図示 ・
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・
出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による ・

⑲ ビニル床シート G

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	⊙無地 ⊙ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ⊙柄物	※2.0 ・	

接合部の処理 ※熱溶接工法 ・

20 接着剤(ビニル床シート等)

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による

21 ビニル床タイル G

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0 ・	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・ ・	
・TT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

㉒ 特殊機能床材

[6.8.2]
・帯電防止床シート
種類( ) 性能( ) 厚さ(mm)( )
⊙帯電防止床タイル
種類(置敷) 性能(帯電防止) 寸法(mm)(500×500) 厚さ(mm)(4)
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類( ) 形状( )
⊙耐動荷重性床シート
種類(HS) 厚さ(mm)(3.5)
⊙防滑性床シート
種類(防滑・防汚) 厚さ(mm)(2.5)
・防滑性床タイル
種類( ) 寸法(mm)(×) 厚さ(mm)( )

㉓ ビニル幅木

材質の種類 ⊙軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2]
高さ(mm) ※60 ・75 ・100
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

24 ゴム床タイル

[6.8.2]
種類 ・単層品 ・積層品
色柄 ( )
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) ( ) × ( )

25 下地の工法

改修標準仕様書6.8.3(1)(ア)~(カ)以外の下地の工法 [6.8.3]
・図示による

26 カーペット敷き G

・織じゅうたん [6.9.2、3][表6.9.1]

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄 ※模様のない無地 ・
パイル糸の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別(・A種 ・B種 ・C種)
帯電性 ・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い
下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5~7 ・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4~6 ・			
・カット、ループ併用				

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

・タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
材質( ) 種類( ) 形状等(※図示 ・)

27 合成樹脂塗床

[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
⊙厚膜型塗床材 (ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)		⊙薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ⊙防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 (ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

28 フローリング張り G

[6.11.2~6]
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による ・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・
単層フローリング(フローリングボード1等)
工法 ・釘止め工法(・根太張り ・直張り) ・接着工法
樹種 ※なら ・
間伐材等の適用 ・する ・しない
単層フローリング(フローリングブロック1等)
樹種 ・
厚さ(mm) ・
大きさ ・
間伐材等の適用 ・する ・しない
複合フローリング
工法 ・釘止め工法(・根太張り ・直張り) ・接着工法
樹種 ※なら ・
種別 ・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用 ・する ・しない
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・
・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

29 畳敷き

[6.12.2]
種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床:・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N)
下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン G)

畳表及び畳床にはホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳(畳表: ・C1 ・C2)

30 せっこうボード その他のボード張り及び合板張り

[6.13.2、3]
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

木毛セメント板 G

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HW)	・15 ・20 ・25 ・
・中質(MW)	・15 ・20 ・25 ・
・普通(NW)	・15 ・20 ・25 ・

木片セメント板 G

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HF)	・12 ・15 ・18 ・21 ・
・普通(NF)	・30 ・

繊維強化セメント板

種類	厚さ(mm)、規格等
・けい酸カルシウム板	普通ボードF0.8FK タイプ2(無石綿) ・6 ・8
・化粧けい酸カルシウム板	普通ボードF0.8FK タイプ2(無石綿) ・6 ・8 表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系焼付け

火山性ガラス質複層板

種類	厚さ(mm)、規格等
・火山性ガラス質複層板	・図示による

繊維板 G

種類	厚さ(mm)、規格等
ハードボード スタンダードボード(無処理)	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
ハードボード テンパードボード(処理)	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ミディアムデンシティ ファイバーボード(MDF) G	厚さ ・3 ・7 ・9 ・12
・インシュレーションボード G	A級(・天井仕上げ ・内装仕上げ ・) ・9 ・12 ・15 ・18

パーティクルボード G

種類	厚さ(mm)、規格等
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板(VN) ・研磨板(VS) ・10 ・12 ・15 ・18
・化粧パーティクルボード	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC) ・10(難燃) ・12(難燃) ・

吸音材料

種類	厚さ(mm)、規格等
⊙ロックウール化粧吸音板(DR)	⊙フラットタイプ (⊙9(不燃) ・12(不燃) ・) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃) ・)
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	・25 ・
⊙グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	⊙25(ガラスクロス包) ⊙50(ガラスクロス包み)

せっこうボード製品

種類	厚さ(mm)、規格等
⊙せっこうボード(GB-R)	⊙12.5(不燃) ⊙15(不燃)
・不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
⊙シージングせっこうボード(GB-S)	12.5(※ 不燃 ・準不燃)
・強化せっこうボード(GB-F)	・12.5(不燃) ・15(不燃)
・せっこうラスボード(GB-L)	9.5
⊙化粧せっこうボード(GB-D)	・木目12.5(不燃)幅 440mm 程度 模様(・柾目 ・板目) 専用下地材有り ⊙ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 9.5(準不燃)

31 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.14.2、3]

施工箇所	壁紙の種類						防火種別		備考
	紙	織物	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他			
壁・天井	・	・	⊙	・	・	・	・不燃⊙準不燃・難燃		
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃		
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃		

32 モルタル塗り

[6.15.3、5、6]
モルタル ・現場調合材料 ⊙既調合材料
既製目地材 ・設ける 施工箇所( ) 形状(※図示 ・)
⊙設けない
床目地 ・設ける 目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) ・
種類 ※押し目地 ・
⊙設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示による ・

33 タイル張り

伸縮調整目地の位置 [6.16.2~4]
床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・)
床タイル以外 (・図示 ・)

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改特記仕様書第3章による
試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示による) ・行わない
見本焼き ・行う(施工箇所:) ・行わない
・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り

タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			耐凍害性		耐滑り性	備考
				Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材

壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			耐凍害性		耐滑り性	備考
				Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

34 セルフレベリング材塗り

塗厚(mm) ⊙ 28、18 [6.17.2、3]

35 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備考
事務室床	・置敷式 ⊙支柱調整式	⊙500×500 ・	50	⊙1.0G ・0.6G	・3,000 ⊙5,000	⊙帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

フリーアクセスフロアスフロアの試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(イ)(a)~(d)による ・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)~(c)による ・
・以下による
パネルの長さの寸法精度( )
パネルの平面形状(角度)の寸法精度( )
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度( )
帯電防止性能
・評価値(U) ≧0.6以上
・評価値(U) ≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗(R) ≧1×10^6Ω

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-04
		変更年月日	図面名称 特記仕様書(改修その4) Scale	

㉟ 可動間仕切　　パネル材料のホルムアルデヒド放出量　※F☆☆☆☆　・　(20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 スタッド	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性 (db/500HZ)	防火性能
○スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式	冷間圧延鋼板	亜鉛めっき鋼板	○メラミン樹脂焼付又は ・アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ○36	○不燃

パネル内に取付ける建具　○あり（※図示　・　）　・なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

㊲ 移動間仕切　　パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・　(20.2.4)

構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)
○平行方向移動式 ・二方向移動式	○手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ブッシュ式 ○ハンドル式 ・		○鋼板 ・	○焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ○36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
　※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
　・図示
パネルをランナーに取り付ける部品
　※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
　※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

㊳ トイレブース　　パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・　(20.2.5)

表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※製造所の標準仕様 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	・標準 ○Rタイプ

㊴ 手すり　　材料の種類及び仕上げ　(20.2.6)
　・SUS304　表面処理　※HL程度　・
　・鋼製　　表面処理　溶融亜鉛めっき（※標準仕様書 表14.2.2による種別（　種））
　○アルミニウム 表面処理（※標準仕様書 表14.2.1による種別（　種））
　　色合等　・標準色（　）　・特注色（　）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
・集成材（材種：　）	・ｸﾘｱﾗｯｶｰ　・	・30程度・35程度・45程度		
○ビニル製ハンドレール		・30程度○35程度・45程度	階段	
・樹脂被膜タイプ	・	・34φ		

㊵ 階段滑り止め　　材種　○ステンレス製　・黄銅製押出型材　(20.2.7)
　・アルミニウム製押出型材　・
形状　※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等）　・タイヤレス製
端部の形状　フラットエンド　○あり　・なし
寸法(幅)　○35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法　・

㊶ 黒板及び ホワイトボード Ⓖ　　(20.2.9)
○黒板　区分　※焼き付け　○電子
　　種類　・ほうろう　・鋼製　・
　　色　※緑　・
○ホワイトボード（　）

㊷ 表示　　衝突防止表示　(20.2.11)
・設置場所　※図示による
　形状・寸法（・30φ　・　）
　材質　（・ステンレス製　・塩ビシート　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示　※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、
取付け形式等（案内用図記号はJIS Z 8210による）
　※図示による

43 タラップ　　材質及び仕上げ　(20.2.12)
・SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表 14.2.2による種別（※C種　・　種））

44 ブラインド　　(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅 (mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 Ⓖ ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	ー				
・縦形	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ ・	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	ー				

縦型ブラインドのスラットの材質
　アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
　クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 Ⓖ とする

45 ロールスクリーン　　操作方法　・スプリング式　・コード式　・電動式　(20.2.15)
幅、高さ、取付箇所　・図示　・
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製
品質等
その他の材料　※ロールスクリーンの製造所の仕様による　・
スクリーンの仕様
　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
　ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は Ⓖ とする

46 カーテン　　(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・シングル・ダブル	・片引き・引分け	・手引き・ひも引き・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ	・図示 ・	
					(暗幕)

生地の仕様　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、Ⓖ とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

㊼ カーテンレール　　材料による区分　※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材　(20.2.16)
　・ステンレス製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

48 ブラインドボックス及びカーテンボックス　　溝幅×深さ(mm)　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　・図示
材種　・集成材（仕上げ：　）
　・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
　　種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1種　・BC-2種
　　色合い　・標準色（　）　・特注色（　）
　・鋼製（仕上げ：　）

㊾ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	・450×450 ○600×600 ・	○一般形 ・気密形	○屋内外用 ・屋内用	○額縁タイプ ・目地タイプ	○額縁タイプ ・目地タイプ

50 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

51 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

52 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
○流し台	・1200 ・1500 ○1800	○550 ・600 ・650	○800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	ー	ー	市販品 ステンレス製 ・１段式　・

品質・性能　外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
　構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状　※図示　・

53 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JIS による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・１種　・２種　・３種
・鋼製物品棚		・４種　・５種　・６種　・

54 屋内掲示板　　枠の材質　※アルミニウム製　・
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　○ スチールパンチング

55 洗面カウンター　　材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・人工大理石
奥行き(mm)　・約450　・約600

56 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

57 収納家具　　材質、形状、寸法　※図示　・
材料のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

7 塗装改修工事

① 材料　　屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・　[7.1.3]
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
　・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　）

② 下地調整　　塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲　[7.2.1～7]
　※劣化部分は除去し、活膜部分は残す　・図示　・

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	ー
鉄鋼面	・RA種(注)　※RB種　・	ー
亜鉛めっき面	・RA種(注)　※RB種　・	ー
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種　※RB種　・	ー
ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・RA種　※RB種　・	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外) ＡＬＣパネル面	・RA種　※RB種　・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種(注) ・RB種　・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	・RA種(注) ・RB種　・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	・RA種　※RB種　・	ー

(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。
[7.3.2～7]

③ 素地ごしらえ

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種　・Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
鉄鋼面（DP以外）		・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
鉄鋼面（DP）		・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		・Ａ種　※Ｂ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・Ａ種　・Ｂ種
コンクリート面（DPのみ）		・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※Ａ種　・Ｂ種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	・Ａ種　※Ｂ種

④ 錆止め塗料塗り　　錆止め塗料塗りの種別　[7.4.2、3]

素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP	塗替え	Ａ種　※Ｃ種　・
	(工程の種別は[表7.4.3])	新規見え掛り	Ａ種　※Ａ種　・
		新規見え隠れ	Ａ種　※Ｂ種　・
	EP-G	塗替え	・Ａ種　※Ｂ種　※Ｃ種　・
	(工程の種別は[表7.4.3])	新規見え掛り	・Ａ種　※Ｂ種　※Ａ種　・
		新規見え隠れ	・Ａ種　※Ｂ種　※Ｂ種　・
	DP (工程の種別は[表7.4.4])	塗替え	7.4.2(1)(イ)(b)による　・Ａ種(下地調整RA種)　・Ｂ種(下地調整RB種)　・Ｃ種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(イ)(a)による　Ａ種
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	※Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種　・
	(工程の種別は[表7.4.5])	新規鋼製建具等	※Ａ種　・Ｂ種　※Ａ種　・
		新規その他	※Ｂ種　・　※Ｂ種　・
	EP-G	塗替え	Ｃ種　・　※Ｃ種　・
	(工程の種別は[表7.4.5])	新規鋼製建具等	Ｃ種　・　※Ａ種　・
		新規その他	Ｃ種　・　※Ｂ種　・
	DP (工程の種別は[表7.4.6])	塗替え	Ｂ種　・　ー
		新規	Ｂ種　・　ー

⑤ 塗装 Ⓖ　　[7.5.2～7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種別 ※1種　・2種	木部屋外	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	木部屋内	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※Ａ種　・	※Ｂ種　・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（３）級	ー	ー
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（３）級	ー	ー
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	屋内の木部	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ａ種　・	・Ｂ種　※Ａ種
○合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※Ｂ種　・	・Ａ種　※Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
　※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする　・

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
　※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする　・

注）DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種別に注意すること。

・高日射反射塗料塗り Ⓖ
　下地調整 [7.2.2]　・ＲＡ種　※ＲＢ種　・ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射塗料	2種	・1級　・2級　・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
　・適用しない
　・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
　・適用する　・適用しない
オイルステン塗りの工程等
　・製造所の仕様による

8 耐震改修工事

特記仕様書（改修その７～８）による

9 環境配慮改修工事

① 石綿粉じん濃度測定　　測定時期、場所及び測定点　[9.1.1]

適用 レﾍﾞﾙ1	レﾍﾞﾙ2	レﾍﾞﾙ3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（処理作業室ごと）
◎	※	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・各２又は3点　○(１)点
◎	※	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	・各２点　○(１)点
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・各２点　・(　)点
◎		・	測定４		ｾｷｭﾘﾃｨｿﾞｰﾝ入口	○各１点　・(　)点
◎	・	・	測定５		集じん・排気装置の装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ○各１点　・(　)点
◎	・	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点　・(　)点
◎	※	◎	測定７	処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前）	処理作業室内	○各２点（ﾚﾍﾞﾙ3は各1点）・(　)点
◎	※	○	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点
・	・	・	測定９	処理作業後（ｼｰﾄ撤去後）	処理作業室内	・(　)点
・	・	・	測定10	去後1週間以降）	施工区画周辺又は敷地境界	・(　)点

さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。

測定方法
○自動測定器による測定
　測定4.5 ※ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、粉じん相対濃度計（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計）、繊維状粒子自動計測器（ﾘｱﾙﾀｲﾑﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ）等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

○JIS K 3850-1に基づいた測定

	測定4,5	測定	測定
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径(mm)	25	47	47
試料の吸引流量(L/min)	5	10	10
試料の吸引時間(min)	30	120	240

② 石綿含有吹付け材の除去（レベル１）　　除去対象範囲　○図示　・　[9.1.3]
除去工法　※[9.1.3](2)(ｱ)による　・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
　※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
　○埋立処分（管理型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

③ 石綿含有保温材等の除去（レベル２）　　除去工法　[9.1.4]
　※[9.1.4](2)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合）
　　除去対象範囲　・図示　・
　・[9.1.3](2)による（損傷、劣化等で石綿粉塵を発散するおそれがある場合）
　　除去対象範囲　・図示　・
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
　※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
　・埋立処分（管理型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

④ 石綿含有成形板の除去（レベル３）　　除去対象範囲　○図示　・　[9.1.5]
石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生（負圧不要）方法
　・ビニールシート等による養生を行う　・
除去した石綿含有成形板の処分
　○石綿含有せっこうボード
　　※埋立処分（管理型最終処分場）
　○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
　　○埋立処分（安定型最終処分場）
　　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
　○埋立処分（安定型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

⑤ 石綿含有建築用仕上塗材等の除去（レベル３）　　除去対象範囲　○図示　・　[9.1.6]
着工前の試験施工　・行う　○行わない
除去工法（ 剝じん抑圧材ｷﾁﾝｽｸﾘﾌﾞﾅｰﾅﾚﾝｽ工法　）
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止
　※密封処理　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分
　○埋立処分（安定型最終処分場）
　・埋立処分（管理型最終処分場）
　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

⑥ PCB含有シーリング材処分

種類	採取する部位・箇所数	備考
・ＰＣＢ含有シーリング	部位　・図示　・	
分析調査（第一次判定）	箇所数：　箇所	
・ＰＣＢ含有シーリング	部位　・図示　・	
分析調査（第二次判定）	箇所数：　箇所	

詳細は監督員との協議による

⑦ 外断熱改修工事 Ⓖ　　断熱材　[9.2.1～4]
　種類（　）厚さ（　mm）施工箇所（・図示　・　）
　ホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・
外装材

種類	防火性能	備考

鋼材　改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による。
笠木　改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による。
既存外壁の処置
　既存外壁仕上げ材の撤去　・行う　・行わない
　下地面の清掃　・行う　・行わない
　欠損部の改修工法　・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による　・
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　不陸等の下地調整　・
　断熱材の施工　・断熱材の製造所の仕様による　・
　外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・
　通気層の有無　・あり（　mm）　・なし
　外装材の外壁への取付け　・図示　・
　笠木の施工　・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による

⑧ 断熱・防露改修工事 Ⓖ　　フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量　[9.3.2～4]
　※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・
工法
・断熱材打込み工法
　断熱材　JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
　種類　・
　厚さ(mm)　・
　施工箇所　・
・断熱材現場発泡工法
　断熱材の種類　※A種1　・A種1H
　厚さ(mm)　・25　・30　・
　施工箇所　・図示　・
・断熱材後張り工法
　断熱材　JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
　　種類　・　厚さ(mm)　・
　・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用
　　材質　・　厚さ(mm)　・
　・張り付け工法
　　断熱材の張り付け工法　・
　　断熱材へのボードの張付け工法　・

⑨ 屋上緑化改修工事 Ⓖ　　植栽基盤及び材料　[9.4.2～4]
　屋上緑化軽量システム　・適用する　・適用しない
　芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・
　見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　かん水装置　・設置する（種類　）
　既存保護層の撤去　・行う　・行わない
　新植した芝及び地被類の枯補償の期間　※引き渡しの日から1年　・

⑩ 透水性アスファルト舗装改修工事　　適用範囲：歩道　[9.5.2～5、9]
既存舗装の撤去及び再利用　※図示　・

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン Ⓖ　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（改修標準仕様書表9.5.1による）	・図示 ・
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ｳ)による	・図示 ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
　・行う　・行わない

・路床安定処理　・適用する　・適用しない
安定処理の方法　・置き換え工法（・　）　・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種 Ⓖ
　　・フライアッシュセメントＢ種
　　・生石灰（・特号　・１号）　・消石灰（・特号　・１号）
　添加量　（　）kg/m³（目標CBR　※3以上　・　）
　目標CBRを満足する添加量の確認方法　・安定処理土のCBD試験　・

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第26081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-05
		変更時月日	図面名称 特記仕様書（改修その5） Scale	

安定処理工法に関する試験
安定処理のＣＢＲ試験（配合試験含む）　・行う　・行わない
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

・不織布ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10Kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　・行わない
（試料採取方法　・変状土　・現状土）
現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ　・図示　・
路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシャラン　G
・再生粒度調整砕石　G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ　G
・粒度調整鉄鋼スラグ　G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ　G
舗装の構成　・図示　・
舗装の平たん性　※著しく不陸がないもの　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

11 舗装版切断時に発生する濁水の処理
（舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書）

濁水の処理
1）受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
種類及び処理量　・図示による
処理方法
・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）
・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入（処理に焼却含む）
2）受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。
共通事項
1）受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
2）受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
3）受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
4）受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
提出書類等
1）受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
2）受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。
その他
1）濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
2）受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
3）疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

10 鉄筋工事

① 鉄筋

鉄筋の種類　(5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備考
⊙SD295	※ D16以下	
・SD345	※ D19以上	
・		
・		

② 溶接金網

形状等　(5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
⊙溶接金網	WFR	D6×100×100	コンクリート舗装
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手

鉄筋の継手方法等　(5.3.4)

部位	継手方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	・ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手	※ D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手　・ガス圧接	
その他の鉄筋（設備基礎等）	⊙重ね継手　・	

継手位置
⊙図示による（構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
基礎梁主筋の継手位置　・図5.2　・図5.3　・図5.4
・図示による（　）　・
柱及び梁の重ね継手の長さ
・図示による（　）　・
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ｳ)）
・図示による（　）　・
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等
・図示による（　）　・

4 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ　(5.3.4)
・図示による（　）

機械式定着工法
運用場所
・図示による（　）　・
種類
・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定
・飯合グラウト固定　・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

鉄筋の余長の長さ
構造関係共通図（配筋標準図）による。これによらない箇所は図示による。

⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　(5.3.5)
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1）
・図示による（　）　・

柱及び梁の主筋にD29以上の使用
・あり　適用箇所（　）
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり　適用箇所（　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　）mm
・

⑥ 各部配筋

※図示による　(5.3.7)

7 ガス圧接

圧接完了後の圧接部の試験　(5.4.10)
外観試験
※行う（全ての圧接部）
抜取試験
※超音波探傷試験（試験方法　標準仕様書5.4.10(ｲ)(a)による）
・引張試験
試験方法　※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)による
・

8 機械式継手

適用箇所　(5.5.3、5)
・図示による（　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・Ａ級　・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象　※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・１ロットに対して（　）箇所
・全数
試験項目　※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

9 溶接継手

適用箇所　(5.5.3、5)
・図示による（　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・Ａ級　・
溶接継手の工法
・図示による（　）　・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による（　）
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象　※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・１ロットに対して（　）箇所
・全数
試験項目　※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

コンクリート工事

11 ① コンクリートの種類等

類別　(6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート）

普通コンクリート　(6.2.1～6.2.4)

設計基準強度（N/mm²）	気乾単位容積質量（t/m³）	スランプ	適用箇所
⊙24	2.3程度	⊙15又は18 ・18	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

構造体強度補正値(S)　(6.3.2)
※標準仕様書 表6.3.2による
補正値Ｓ＝３（　月　日～　月　日、　月　日～　月　日）
Ｓ＝６（　月　日～　月　日、　月　日～　月　日）
・

② セメント

種類　(6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
適用箇所（※下記以外全て　・　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352Ｊ/ｇ以下、かつ28日目で 402Ｊ/ｇ以下のものとする。
・高炉セメントＢ種 G
適用箇所（・1FLより下部（立上り部含む）　・　）
・フライアッシュセメントＢ種 G
適用箇所(・　)
・

③ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分　(6.3.1)
※Ａ　・Ｂ（コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下）

④ 混和材料

⊙混和剤　(6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による　・
⊙混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による　・

5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地

打継ぎの位置　(6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による（　）　・
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による（　）　・

目地の寸法　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による　・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による（　）　・

ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法　(6.8.1)
・図示による（　）　・

6 湿潤養生

湿潤養生の期間　(6.7.2)
・セメントの種類が普通エコセメントの場合　（　）日

⑦ コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　(6.2.5)(6.8.2)

種別	適用箇所
・Ａ種	※図示による（　）
⊙Ｂ種	※図示による（　）
・Ｃ種	※図示による（　）

コンクリートの仕上りの平たん さ

種別	適用箇所
・ａ種	※図示による（　）
・ｂ種	※図示による（　）
・ｃ種	※図示による（　）

8 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打増し厚さ　(6.8.1)
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20㎜　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10㎜　・20㎜　・
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20㎜　・
打増し範囲
・図示による(　)　・

⑨ 型枠

せき板の材料及び厚さ　(6.8.2)
⊙合板（※12㎜　・　）G
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所　・図示による（　）　・
・ＭＣＲ工法用シートの使用
適用箇所　・図示による（　）　・
打増し厚さ　・20㎜　・
打増し範囲　・図示による（　）　・
スリーブの材種・規格等
・図示による（　）　・

存置期間及び取外し　(6.8.4)
※標準仕様書6.8.4による
・普通エコセメントの場合（※図示による（　）　・　）

10 軽量コンクリート

適用箇所　(6.10.1、2)
・図示による（　）　・
種類
・1種　・2種
気乾単位容積質量
・標準仕様書 表6.10.1による　・
スランプ
※21cm　・

11 寒中コンクリート

適用期間（　月　日～　月　日）　(6.11.1、2)
構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合
・図示による（　）、Ｓ＝（　）・

12 暑中コンクリート

適用期間（　月　日～　月　日）　(6.12.2)
構造体強度補正値(S)
※6N/mm²　・図示による（　）、Ｓ＝（　）・

13 マスコンクリート

適用箇所　(6.13.1、2)
・図示による（　）　・
セメントの種類
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉セメントＢ種　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄＢ種　・シリカセメント
混和材料の適用
・あり（・標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による
・）
スランプ
※15cm　・
構造体強度補正値(S)
※標準仕様書表6.13.1による　・

14 無筋コンクリート

コンクリートの種類　(6.14.1)
※普通コンクリート　・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
・高炉セメントＢ種 G
・フライアッシュセメントＢ種 G
設計基準強度　※18（N/mm²）　・
スランプ　※15cm又は18cm　・
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所　・図示による（　）

⑮ コンクリートの単位水量測定

実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(ｲ)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、ｴｱﾒｰﾀ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印　設計

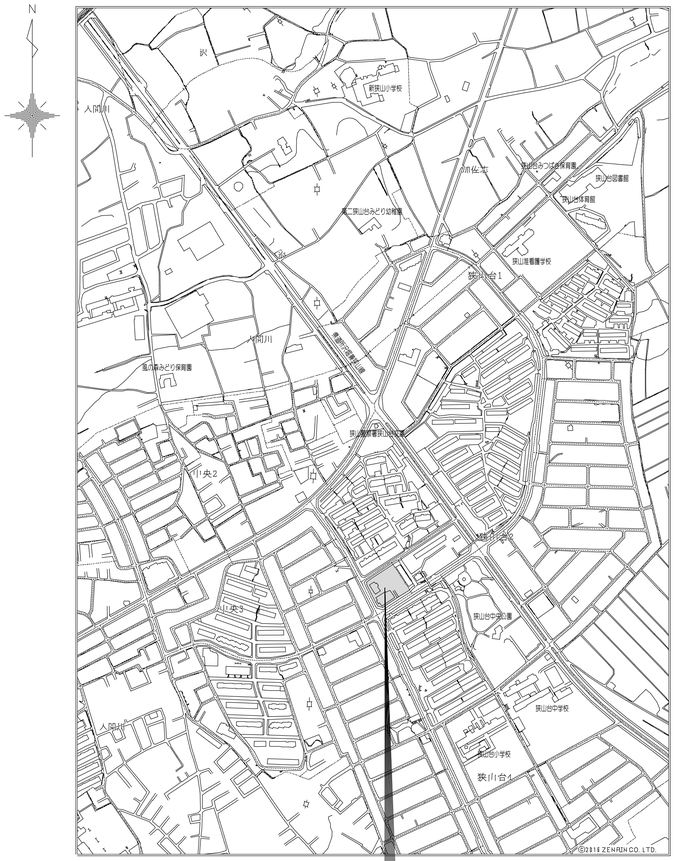
設計年月日	工事名称	No.
R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-06
変更年月日	図面名称 特記仕様書（改修その6） Scale	

工事区分表

項目		A	E	M	EV				備考
躯体関係									
1．RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○	○				
	補強を要する型枠材及び取付け	○							
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○				
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○				
	貫通孔・開口部の補強	○							
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○				防火区画、防煙区画
2．S、SRC造の梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	○							
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○	○				防火区画、防煙区画
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○				防火区画、防煙区画
3．設備機器の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入あるもの）	○							
	屋内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○					
	屋外・屋上の基礎	○							
	屋上基礎で押えコンクリートにアンカーしない軽微なもの		○	○					
	機器取付け用アンカー・架台		○	○					
	屋内受水タンク用の基礎	○							
	太陽光電池アレイ用架台・架台取付け用アンカー	○	○						AとEの区分は図示
4．昇降機関連	昇降路の躯体	○							
	機械室の躯体	○							
	機械室の床開口	○							
	機械室の床配管ピット・ふた	○							
	機械室の上げ床コンクリート打込み・仕上げ	○							
	巻上げ機周囲のチェッカープレート敷き				○				
	昇降路内ピット防水・集水桝	○							
	各階出入口穴開け・同補強	○							
	三方枠取付け・枠回り埋戻し・同補修				○				
	出入口扉、三方枠及び幕板				○				
	出入口扉、三方枠及び幕板の各補強鉄骨	○							
	昇降路がRC造及びSRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鋼製部材一式	○							
	昇降路がS造の時の中間ビームブラケット受けピース	○							
	機械室天井フック取付け	○							
	昇降路内フック取付け	○							
	ホール押しボタン・インジケーター・鋼索等の壁開口	○							
	機械室換気設備			○					
	昇降路内ピット点検用タラップ	○							
	点検用コンセント		○						
	制御盤（EV機械室内又は昇降路内等）から外部インターホンまでの配管・配線工事				○				
	制御盤（EV機械室内又は昇降路内等）までの動力・照明用電源、アース、防災信号、拡声設備（館内放送用）の配管・配線工事				○				
5．その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○							
	湧水・汚水ピット・RC造各種水槽	○							
	同上用防水・マンホール・タラップ等	○							
	避雷設備・同接地工事		○						
	ALCパネルの壁開口・補強（ECP含む）	○							
	厨房排水溝	○							
	厨房グリース阻集器			○					
	オイルサービスタンクの防油堤	○							
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○							

項目		A	E	M	EV				備考
仕上げ関係									
1．軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	○							
	補強を要しないボードの切込み		○	○					
	開口部の墨出し		○	○					
2．可動間仕切	切込み及び補強	○							
	位置ボックス	○							
3．吊りボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○					
4．外壁まわり	外壁がらり及びダクト接続用フランジ	○							
	ウエザーカバー、ベントキャップ			○					
	換気扇（取付け枠共）			○					
5．湯沸室まわり	流し台・吊戸棚・水切棚・コンロ台	○							
	フード（標準詳細図のもの）	○							その他はM
6．浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット			○					
	既製浴槽（ふたを含む）	○							
	浴室及び便所の床排水金物			○					
7．便所まわり	洗面カウンター			○					洗器器はM
	鏡（規格寸法のみ）			○					規格外はA
	衛生器具ユニット			○					
	便所手すり、背もたれ、フック			○					衛生器具ユニット取付けはM
	多機能便所・大型ベッド、着替え台等			○					
8．事務室まわり	ファンコイルカバー	○							
	家具組込みの洗面器			○					切込みはA
9．フリーアクセスフロア	コンセント								
	床パネルの切込み加工	○							
10．自動扉・電動シャッターまわり	防火戸の自動開閉装置		○						
	上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置	○							
	排煙窓本体・自動開閉装置	○							
	防煙垂れ壁本体・駆動装置	○							
	上部電動シャッター・排煙窓・防煙垂れ壁連動制御装置の感知器		○						
	自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○							
	自動扉の手元電源スイッチ		○						
	電気錠の本体、扉内配線	○							
	電気錠の扉までの配管及び配線		○						
	自動閉鎖装置を取り付ける防火戸の切込み補強及びドアクローザー、フロアヒンジ	○							
	自動扉・電動シャッターからセンサー（付属スイッチ）への配管・配線工事	○							
	自動扉及び電動シャッターなど制御装置に至る一次側電源配管配線工事		○						
	フラッパーゲートへの配管・配線工事		○						
	フラッパーゲート	○							

項目		A	E	M	EV				備考
11．その他	二重ピット及びトレンチのマンホールふた	○							
	機器搬入用フック・ビーム	○							
	チェーンブロック		○	○					
	化粧マンホール上ぶたの表面仕上げ	○							
	点検口（天井・床下）	○							
	排煙口等の天井仕上材の取付け	○							排煙口はM
	消火器ＢＯＸ設置工事	○							
	煙突底部排水目皿・排水管	○							
	くつふきマット・玄関マット・自動扉マット部床排水金物（目皿共）・排水管	○							
	くつ洗い流し部排水金物・排水管			○					
	ルーフドレン	○							
	雨水配管	○							
	雨水利用設備集水管			○					


N
入間川
狭山中学校
狭山台1
狭山台4
狭山台2
狭山台3
狭山台4
狭山中学校
狭山台学園
狭山台学園
狭山台学園

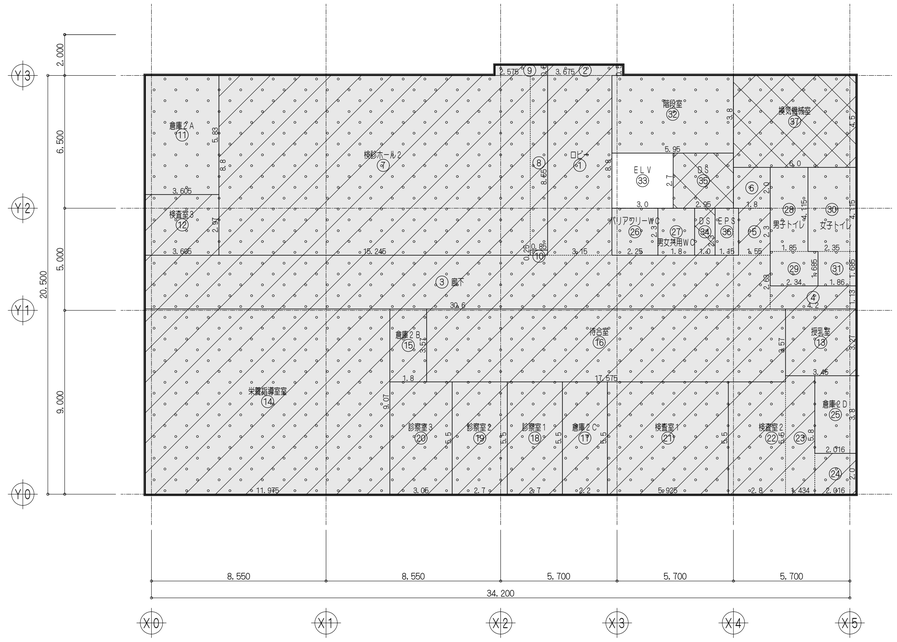
改修

面積表

	面積	改修面積		空調面積			
		補助対象	市単工事	補助対象		市単工事	全体計画
				必要増			
建築面積	881.830 ㎡						
1階床面積	844.600 ㎡	504.62 ㎡	331.80 ㎡	37.26 ㎡	262.84 ㎡	275.32 ㎡	575.42 ㎡
2階床面積	716.525 ㎡	708.34 ㎡	㎡	37.26 ㎡	564.77 ㎡		602.04 ㎡
3階床面積	656.675 ㎡	648.50 ㎡	㎡	37.26 ㎡	310.19 ㎡	187.08 ㎡	534.53 ㎡
4階床面積	178.285 ㎡	163.15 ㎡	㎡	71.30 ㎡			71.30 ㎡
		2,024.61 ㎡	331.80 ㎡	183.08 ㎡	1,137.80 ㎡	462.40 ㎡	1,783.29 ㎡
延床面積	2,396.085 ㎡	2,356.41 ㎡		1,320.890㎡ (補助対象＋必要増)		1,600.20 ㎡ (空調面積合計)	

凡例

- 防音区画を示す
- 改修面積(補助対象部分)を示す
- 改修面積(市単工事部分)を示す　※上記ハッチングなき部分
- 空調面積(補助対象部分)を示す
- 空調面積(補助対象部分-必要増)を示す
- 空調面積(市単工事部分)を示す
- 工事対象外部分を示す



2 階 求 積 図　S=1/150

2 階 求 積 式

室名	符号	計算式	積(㎡)	室面積(㎡)	改修面積(㎡) 補助対象	改修面積(㎡) 市単工事	空調面積(㎡) 補助対象	空調面積(㎡) 市単工事	空調面積(㎡) 必要増	
ロビー・廊下	①	3.15 × 8.8	27.720000	121.94	121.94		121.94			
	②	3.675 × 0.5	1.837500							
	③	30.6 × 2.63	80.478000							
	④	4.2 × 1.13	4.746000							
	⑤	1.55 × 2.3	3.565000							
	⑥	1.8 × 2.0	3.600000							
検診ホール2	⑦	15.245 × 8.8	134.156000	142.71	142.71		142.71			
	⑧	0.85 × 8.55	7.267500							
	⑨	2.575 × 0.5	1.287500							
PS	⑩	0.85 0.25	0.212500	0.21	0.21					
倉庫2A	⑪	3.605 × 5.83	21.017150	21.01	21.01					
検査室3	⑫	3.605 × 2.97	10.706850	10.70	10.70		10.70			
授乳室	⑬	3.45 × 3.27	11.281500	11.28	11.28		11.28			
栄養指導室	⑭	11.975 × 9.07	108.613250	108.61	108.61		108.61			
倉庫2B	⑮	1.8 × 3.57	6.426000	6.42	6.42					
待合室	⑯	17.575 × 3.57	62.742750	62.74	62.74		62.74			
倉庫2C	⑰	2.2 × 5.5	12.100000	12.10	12.10					
診察室1	⑱	2.7 × 5.5	14.850000	14.85	14.85		14.85			
診察室2	⑲	2.7 × 5.5	14.850000	14.85	14.85		14.85			
診察室3	⑳	3.05 × 5.5	16.775000	16.77	16.77		16.77			
検査室1	㉑	5.925 × 5.5	32.587500	32.58	32.58		32.58			
検査室2	㉒	2.8 × 5.5	15.400000	27.74	27.74		27.74			
	㉓	1.434 × 5.8	8.317200							
	㉔	2.016 × 2.0	4.032000							
倉庫2D	㉕	2.016 × 3.8	7.660800	7.66	7.66					
バリアフリーWC	㉖	2.25 × 2.3	5.175000	5.17	5.17					
男女共用WC	㉗	1.8 × 2.3	4.140000	4.14	4.14					
男子トイレ	㉘	1.85 × 4.115	7.612750	11.55	11.55					
	㉙	2.34 × 1.685	3.942900							
女子トイレ	㉚	2.35 × 4.115	9.670250	12.80	12.80					
	㉛	1.86 × 1.685	3.134100							
階段室	㉜	5.95 × 3.8	22.610000	22.61	22.61					
E L V	㉝	3.0 × 2.7	8.100000	8.10						
D S	㉞	1.0 × 2.3	2.300000	2.30	2.30				2.30	
D S	㉟	2.95 × 2.7	7.965000	7.96	7.96				7.96	
E P S	㊱	1.15 × 2.3	2.645000	2.64	2.64					
換気機械室	㊲	6.0 × 4.5	27.000000	27.00	27.00				27.00	
							564.77		37.26	各部計
		2 F 計	716.525000		708.34		564.77			空調面積
		2階床面積	716.525	716.44	708.34		602.03			全体計画



1 階 求 積 図　S=1/150

1 階 求 積 式

室名	符号	計算式	積(㎡)	室面積(㎡)	改修面積(㎡) 補助対象	改修面積(㎡) 市単工事	空調面積(㎡) 補助対象	空調面積(㎡) 市単工事	空調面積(㎡) 必要増	
風除室	①	5.15 × 3.5	18.025000	18.02	18.02					
ホール・受付・廊下	②	5.1 × 9.5	48.450000	74.44	74.44		74.44			
	③	0.725 × 2.45	1.776250							
	⑤	7.75 × 2.2	17.050000							
	⑥	1.55 × 2.3	3.565000							
	⑦	1.8 × 2.0	3.600000							
PS	⑧	0.725 × 2.05	1.486250	1.48	1.48					
検診ホール1	⑨	10.55 × 3.5	36.925000	131.56	131.56		131.56			
	⑩	10.6 × 3.5	37.100000							
	⑪	9.805 × 5.3	51.966500							
	⑫	0.725 × 1.5	1.087500							
	⑬	1.105 × 1.92	2.121600							
	⑭	1.13 × 2.09	2.361700							
面談室1	⑮	2.4 × 2.7	6.480000	6.48	6.48		6.48			
面談室2	⑯	2.4 × 2.7	6.480000	6.48	6.48		6.48			
面談室3	⑰	2.77 × 2.7	7.479000	7.47	7.47		7.47			
レントゲン準備室	⑱	2.75 × 1.93	5.307500	5.30		5.30		5.30		
レントゲン室	⑲	4.4 × 4.4	19.360000	19.36		19.36		19.36		
更衣室1	⑳	2.75 × 1.235	3.396250	3.39		3.39		3.39		
更衣室2	㉑	2.75 × 1.235	3.396250	3.39		3.39		3.39		
倉庫1A	㉒	7.15 × 2.6	18.590000	18.59	18.59					
健康相談室	㉓	7.22 × 4.47	32.273400	32.27	32.27		32.27			
器材庫	㉔	7.22 × 2.75	19.855000	19.85	19.85					
事務室 (健康づくり支援課)	㉕	4.2 × 5.1	21.420000	62.43		62.43		62.43		
	㉖	5.25 × 5.9	30.975000							
	㉗	2.575 × 3.9	10.042500							
事務室 (保健センター)	㉘	19.775 × 7.5	148.312500	164.65		164.65		164.65		
	㉙	5.75 × 2.0	11.500000							
	㉛	5.325 × 0.78	4.153500							
	㉜	1.13 × 0.61	0.689300							
遮蔽室	㉝	2.575 × 2.0	5.150000	5.15		5.15				
資料室	㉞	9.025 × 3.6	32.490000	32.49		32.49				
ミーティングルーム	㉟	3.0 × 3.6	10.800000	10.80		10.80		10.80		
倉庫1B	㊱	3.0 × 6.28	18.840000	18.84		18.84				
システム管理室	㊲	3.0 × 2.0	6.000000	6.00		6.00		6.00		
バリアフリーWC	㊳	2.25 × 2.3	5.175000	5.17	5.17					
休養室	㊴	1.8 × 2.3	4.140000	4.14	4.14		4.14			
S K・汚物処理室	㊵	4.2 × 1.8	7.560000	7.56	7.56					
男子トイレ	㊶	4.2 × 2.65	11.130000	11.13	11.13					
女子トイレ	㊷	4.2 × 2.85	11.970000	11.97	11.97					
階段室	㊸	5.95 × 3.8	22.610000	22.61	22.61					
E L V	㊹	3.0 × 2.7	8.100000	8.10						
D S	㊺	1.0 × 2.3	2.300000	2.30	2.30				2.30	
D S	㊻	2.95 × 2.7	7.965000	7.96	7.96				7.96	
E P S	㊼	1.15 × 2.3	2.645000	2.64	2.64					
換気機械室	㊽	6.0 × 4.5	27.000000	27.00	27.00				27.00	
玄関ポーチ	㊾	17.1 × 5.0	85.500000	85.50	85.50					
							262.84	275.32	37.26	各部計
		1 F 計	844.600000		504.62	331.80	538.16			空調面積
		1階床面積	844.60	844.52	836.42		575.42			全体計画

建築面積求積式

部位	符号	計算式	積(㎡)
玄関ポーチ	Ⓙ	1.7 × 5.0	8.500000
	Ⓩ	1.95 × 2.0	3.900000
	Ⓑ	1.7 × 5.0	8.500000
外部階段	Ⓒ	2.3 × 7.1	16.330000
		1 F 計	844.600000
		建築面積	881.83

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

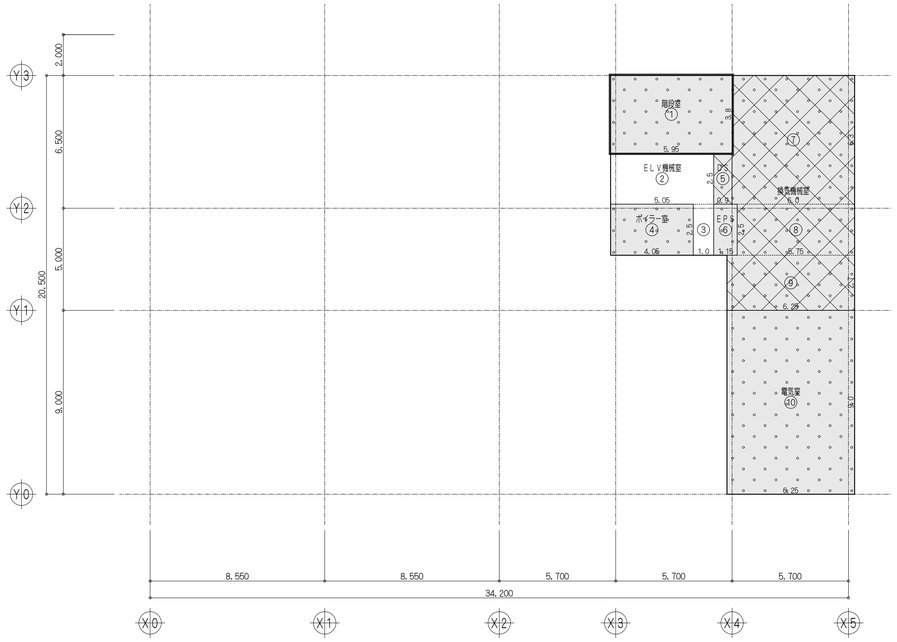
検印	設計
齋藤出	齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 改修 建物求積図1
Scale 1/150

No. A-09

改修


Y-3
Y-2
Y-1
Y-0
2,000
6,500
5,000
9,000
20,500
X-0
X-1
X-2
X-3
X-4
X-5
8,550
8,550
5,700
5,700
5,700
34,200
階段室 ①
5.95
ＥＬＶ機械室 ②
5.05
ＤＳ ⑤
0.9
ボイラー室 ④
4.05
ＥＰＳ ⑥
1.15
換気機械室 ⑦
6.0
⑧
5.75
⑨
6.25
電気室 ⑩
2.5
4.5
2.5
2.5
2

外 部 仕 上 表　特記：(※3)はアスベスト含有建材(数字は処理レベル)を示す

符号	部位	既存仕上	下地処理	改修仕上	備考
Rf1	屋上	平場：アスファルト防水、防水シート、押えコンクリートt=80(伸縮目地) 立上：アスファルト防水層、押えレンガ、防水モルタルt=30	現況全て撤去し、脆弱部補修、高圧洗浄、樹脂モルタルノロ引き	改質アスファルトシート防水常温工法(ASI-J1)、高耐久高反射性能エマルション系厚膜保護塗料 断熱材：硬質ウレタンフォームt=50、防湿層共	ステンレス脱気筒：1／70㎡毎
Rf2	屋上	平場：アスファルト防水、防水シート、押えコンクリートt=80(伸縮目地) 立上：アスファルト防水層、押えレンガ、防水モルタルt=30 ウレタン塗膜防水(X-2)	現況全て撤去し、脆弱部補修、高圧洗浄、樹脂モルタルノロ引き	改質アスファルトシート防水常温工法(ASI-J1)、高耐久高反射性能エマルション系厚膜保護塗料 断熱材：硬質ウレタンフォームt=50、防湿層共	ステンレス脱気筒：1／70㎡毎
RD	ルーフドレン	鋳鉄製（縦型、横引型） φ100	はつり撤去、樹脂モルタル修正	改修用ドレンφ80 アルミダイキャストドレンキャップ(竪型、横引型)	
TL	笠木	コンクリート打放、吹付タイル(※3)	高圧洗浄、脆弱部補修、樹脂モルタルノロ引き	環境対応型ウレタン塗膜防水密着工法(X-2) 高耐久高反射性シリコーン系保護塗料	
Pw	手摺壁	コンクリート打放、吹付タイル(※3)		アルミ製手摺(笠木付工法)、アルミ押出型材、手摺：6TX33(1段)、笠木：W250	
Wd	腰水切	コンクリート打放、吹付タイル(※3)	水洗い、脆弱部補修、樹脂モルタルノロ引き、壁取合：カッター入れの上、溝はつり10X10	環境対応型ウレタン塗膜防水密着工法(X-2) 高耐久高反射性シリコーン系保護塗料 壁取合：シーリング(PU-2：10X10)	
Ow	外壁	コンクリート打放、吹付タイル(※3)	高圧洗浄、脆弱部補修、セメント系下地調整材(カチオン系 C-1)	防水形複層塗材RE(反応硬化形高弾性透湿壁面防水化粧材、ゆず肌、超低汚染型水性弾性フッ素樹脂塗料) 目地シーリング(PU-2：20X10)	
Ea	庇	コンクリート打放、吹付タイル(※3)	上端・鼻先：腰水切に同じ 庇裏：外壁に同じ	上端・鼻先：腰水切に同じ 庇裏：外壁に同じ	
Dp	たて樋	配管用鋼管φ100 OP塗り	現況撤去(支持金物共)	硬質塩ビ製φ100 カラー(SUS支持金物共)	
	建具周囲シーリング	シーリング(15X15)	撤去、清掃	シーリング(PU-2：15X10)	
Es	外部階段	床：防水モルタル金ごて、ノンスリップ 手摺壁：コンクリート打放し、吹付タイル(※3) 段裏：コンクリート打放し、吹付タイル(※3)	床：高圧洗浄、脆弱部補修、樹脂モルタルノロ引き 手摺壁：外壁に同じ 段裏：外壁に同じ	床：ウレタン系高強度形塗膜防水(X-2H) 高耐久高反射性シリコーン系保護塗料、ノンスリップ仕上 手摺壁：外壁に同じ 段裏：外壁に同じ	
Ee	玄関ポーチ庇	屋根：耐火野地板t=50、塩ビシート防水 幕板・鼻先・柱型：アルミt=2.0 天井：LGS野縁下地、アルミスパンドレル	屋根：全て(野地板、シート防水)撤去、野地板(木毛セメント板)t=50 幕板・鼻先・柱型：下地調整RB、錆止め塗布 天井：下地、仕上撤去	屋根：合成高分子ルーフィングシート防水t=2.0(S-F2、塩化ビニル樹脂系)、アルミアングル、アルミ水切 幕板・鼻先・柱型：1液水性反硬化形ウレタン塗料 天井：LGS天井下地25形、アルミスパンドレルt=2.0(付属廻り縁共)	
Lu	屋上ルーバー	ルーバー：アルミ成形品 鉄部(支柱、胴縁)：鋼材 OP塗り	ルーバー：下地調整RB、錆止め塗布 鉄部(支柱、胴縁)：下地調整RB、錆止め塗布	ルーバー：1液水性反硬化形ウレタン塗料 鉄部(支柱、胴縁)：DP塗り	
Mf	基礎・はと小屋上端	コンクリート直金ごて仕上、又はモルタル金ごて	高圧洗浄、脆弱部補修、樹脂モルタルノロ引き	環境対応型ウレタン塗膜防水密着工法(X-2) 高耐久高反射性シリコーン系保護塗料	
Fe	屋上フェンス・フェンス基礎	フェンス：メッシュフェンスH=3,000 基礎：コンクリート直金ごて押え	フェンス：撤去(支柱切断、基礎間の横格子も含む) ※切断部はケレン錆止め塗布し、モルタル補修 基礎：基礎に同じ	基礎：基礎に同じ	
St	鉄部	SOP塗り	下地調整RB、錆止め塗り	DP塗り	

脆弱部補修
塗膜浮き：集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
欠損部(爆裂)：脆弱コンクリートはつり、錆止め塗布、エポキシ樹脂モルタル充填
クラック(外壁)：水性浸透性エポキシ樹脂プライマー、特殊フィルム(粘着層付)貼り、特殊アクリルゴム系エマルション系塗料塗布(ノンカットフィルム工法)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-11
		変更年月日	図面名称 外部仕上表 Scale	

内部仕上表（1／4）

特記：(※1 or 3)はアスベスト含有建材(数字は処理レベル)を示す

認定番号　石膏ボードt=9.5：QM-9826(準不燃)　シージング石膏ボードt=9.5・12.5：QM-0898(準不燃)　けい酸カルシウム板t=6・12：NM-8576(不燃)　ビニールクロス：QM-0803(準不燃)　ロックウール吸音板t=9：NM-8599(不燃)
石膏ボードt=12.5：NM-8619(不燃)　X線遮蔽石膏ボードt=12.5：QM-3242(不燃)　メラミン化粧板t=3：NM-2183(不燃)　化粧石膏ボードt=9.5：QM-0524(準不燃)

階	室名 現況	室名 改修		床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	柱型 下地	柱型 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 高さ	備考
1階	風除室	風除室	現況	モルタル	炻器質タイル	ボーダータイル(タテ貼り)		モルタル	ボーダータイル(タテ貼り)			ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)		足ふきマット
			撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去	全撤去			全撤去	全撤去		全撤去
			改修	モルタル金ごて	無機系速硬性薄層デザイン床	ステンレスＨＬ仕上	60	ＬＧＳ胴縁組、けい酸カルシウム板t=12	高級自然石調新型装飾仕上塗材			ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	衝突防止幅
	ホール 廊下	ホール・廊下	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)		掲示板
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12							
			撤去		全撤去	全撤去		壁下地、ボード	全撤去		全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスＨＬ仕上	60	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	衝突防止幅、掲示板、消火器収納箱
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5		ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5				2,400	
	検診ホール 便所 脱衣室	検診ホール1	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		吊カーテンレール
				一部コンクリートH=300				木胴縁組、ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12							
			撤去	一部撤去、コンクリート全撤去	全撤去	全撤去		壁下地、胴縁、ボード	全撤去		全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスＨＬ仕上	60	ＬＧＳ胴縁組、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	器設室：パーテーション
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							掲示板、消火器収納箱
	事務室、電算室 職員更衣室・管理人室 歯科予防指導室 診察室・予診室 消毒準備室 薬品器材室	事務室 (保健センター) (健康づくり支援課)	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		カウンター、行事黒板、流し台、造作棚
				ころがし床組、合板t=12	たたみ、畳木フロアー	雑巾ずり						ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9(※3)(木目)		吊カーテンレール、押入
			撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去	全撤去			全撤去	全撤去		全撤去
			改修	鋼製ＯＡフロア(溶融亜鉛メッキ鋼板)	置敷帯電防止ビニル床タイルt=4	ステンレスＨＬ仕上	60	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,680	カウンター、消火器収納箱
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	事務室	ミーティングルーム	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去	全撤去			全撤去	全撤去		
			改修	鋼製ＯＡフロア(溶融亜鉛メッキ鋼板)	置敷帯電防止ビニル床タイルt=4	ステンレスＨＬ仕上	60	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,680	
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	薬品器材庫	システム管理室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)		モルタル金ごて	ＶＰ塗り	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9(※3)		
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12							
			撤去	全撤去	全撤去	全撤去		壁下地、ボード				全撤去	全撤去		
			改修	鋼製ＯＡフロア(溶融亜鉛メッキ鋼板)	置敷帯電防止ビニル床タイルt=4	ソフト巾木	60	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=12.5X2	ビニールクロス	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,680	
	事務室・廊下	湯沸室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5			モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去						全撤去	全撤去		
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=18	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地	けい酸カルシウム板t=6 ＥＰ塗り	2,400	流し台
	事務室 電算室	資料室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去	全撤去			全撤去	全撤去		
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=18	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,680	
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
	操作室 暗室	倉庫１Ａ	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12				ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス			ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
								ＬＧＳ壁下地、Ｘ線遮蔽石膏ボードt=12.5X2							
	歯科予防指導室 倉庫・器材庫	健康相談室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12				ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		壁下地、ボード				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスＨＬ仕上	60	ＬＧＳ胴縁組、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	歯科予防指導室	器材庫	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		
								モルタル金ごて				ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5		
			撤去		全撤去	全撤去		壁下地、胴縁、ボード				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
	レントゲン室	レントゲン室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	散乱線防護塗料	モルタル金ごて	散乱線防護塗料	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去						全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ天井下地、Ｘ線遮蔽石膏ボードt=12.5X2	ビニールクロス	2,700	
								ＬＧＳ壁下地、Ｘ線遮蔽石膏ボードt=12.5X2							
	レントゲン室	レントゲン準備室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	散乱線防護塗料	モルタル金ごて	散乱線防護塗料	ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		吊戸棚
									ＶＰ塗り		ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去						全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,400	
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
						全撤去		ＬＧＳ壁下地、Ｘ線遮蔽石膏ボードt=12.5X2							
	レントゲン室	更衣室１・２	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	散乱線防護塗料			ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去						全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt12.5	ビニールクロス			ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,400	ブース、化粧鏡、フック
								ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
								ＬＧＳ壁下地、Ｘ線遮蔽石膏ボードt=12.5X2							

特記事項

斉藤出建築設計室
一般建築士 第326081号 齋藤出

構造	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R8.1.30	狭山市保健センター改修工事	A-12
		変更年月日	図面名称 内部仕上表(1／4) Scale	

内部仕上表（2／4）

特記：(※1 or 3)はアスベスト含有建材(数字は処理レベル)を示す

認定番号　石膏ボードt=9.5：QM-9826(準不燃)　シージング石膏ボードt=9.5・12.5：QM-0898(準不燃)　けい酸カルシウム板t=6・12：NM-8576(不燃)　ビニールクロス：QM-0803(準不燃)　ロックウール吸音板t=9：NM-8599(不燃)
石膏ボードt=12.5：NM-8619(不燃)　X線遮蔽石膏ボードt=12.5：QM-3242(不燃)　メラミン化粧板t=3：NM-2183(不燃)　化粧石膏ボードt=9.5：QM-0524(準不燃)

階	室名 現況	室名 改修		床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	柱型 下地	柱型 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 高さ	備考
1階	湯沸室	休養室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	VP塗り			LGS天井下地	けい酸カルシウム板t=6(※3) VP塗り		流し台、コンロ台、吊戸棚、レンジフード
			撤去		全撤去	全撤去						全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)			LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,400	
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	管理人室	SK・汚物処理室	現況	ころがし床組、合板t=12	たたみ、寄木フロアー	雑巾ずり		木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	和風ビニールクロス	モルタル金ごて	和風ビニールクロス	LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9(※3)		押入
													化粧石膏ボードt=9(木目)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去	全撤去		全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.5(防滑、防汚)	ソフト巾木	60	LGS胴縁組、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地	けい酸カルシウム板t=6 EP塗り	2,400	掃除用具入、掃除用流し
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							汚物流し、戸棚
								石膏ボードt=12.5(GL工法)							
	薬品器材室	倉庫1B	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	VP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9(※3)		
								LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り			LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去	クロス			全撤去	全撤去		
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=18	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	ビニールクロス	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	ビニールクロス	LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,680	
								LGS壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
2階	ロビー・廊下	ロビー 廊下	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		掲示板
								LGS壁下地、石膏ボードt=9+12							
			撤去		全撤去	全撤去		壁下地、ボード	全撤去		全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,400	掃除用流し、ブース、消火器収納箱、掲示板
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	機能回復訓練室 ロビー・廊下	検診ホール2	現況	モルタル下地	フローリングブロックt=15 UC塗り	木製 OP塗り	T5	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
				モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)			LGS壁下地、石膏ボードt=9+12							
			撤去	モルタル下地	全撤去	全撤去		壁下地、ボード	全撤去		全撤去				
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,850	戸棚
				セルフレベリング床材(セメント系)t=28				LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	静養室	検査室3	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	EP塗り	モルタル金ごて	EP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	吊カーテンレール
				セルフレベリング床材(セメント系)t=28				LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	男女更衣室 脱衣室 シャワー室	倉庫2A	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)、カーペット	ソフト巾木(※3)	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	EP塗り	モルタル金ごて	EP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
				モルタル下地	モザイクタイル			モルタルタイル下地	陶器質タイル	モルタルタイル下地	陶器質タイル	LGS天井下地	けい酸カルシウム板t=6(※3) VP塗り		
			撤去	モルタル下地	全撤去	全撤去		全撤去	全撤去			全撤去	全撤去		
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=28	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	ビニールクロス	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	ビニールクロス	LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	
				ケレン清掃、下地調整				LGS壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
	成人病検診室 尿検査室 倉庫 前室 栄養指導実習室 幼児室	待合室	現況	モルタル下地	フローリングブロックt=15 UC塗り	木製 OP塗り	T5	木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	モルタル金ごて	VP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
				ころがし床組、合板t=12+6	ビニル床シートt=2.5(※3)、クッションフロア	ソフト巾木(※3)	T5		ビニールクロス(※3)						
			撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去	クロス撤去			全撤去	全撤去		
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=28	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	掲示板、消火器収納箱
				ケレン清掃、下地調整											
	栄養指導実習室 幼児室	診察室1・2・3	現況	モルタル下地	フローリングブロックt=15 UC塗り	木製 OP塗り	T5	木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	モルタル金ごて	VP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
				ころがし床組、合板t=12+6	ビニル床シートt=2.5(※3)、クッションフロア	ソフト巾木(※3)	T5		ビニールクロス(※3)						
			撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去	クロス撤去			全撤去	全撤去		
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=28	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	戸棚、手洗器、吊カーテンレール
				ケレン清掃、下地調整				LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	成人病検診室	倉庫2C	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	モルタル金ごて	VP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去					全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	戸棚
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	検診室 検査室B	検査室1	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	モルタル金ごて	VP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	戸棚、吊カーテンレール
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	廊下 検査室A	検査室2 倉庫2D	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	モルタル金ごて	VP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	倉庫2D：スチールパーテーション
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							スレンレス流し、戸棚、防水パン、吊カーテンレール
	尿検査室	授乳室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	木胴縁組、LGS壁下地	VP塗り	モルタル金ごて	VP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
								石膏ボードt=9+けい酸カルシウム板t=12(※3)							
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,400	調乳シンク、ブース、吊カーテンレール
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
			現況												
			撤去												
			改修												

特記事項

斉藤出建築設計室
一般建築士 第326081号 齋藤出

構造	設計	設計年月日	変更年月日	工事名称	図面名称	Scale	No.
齋藤出	齋藤出	R8.1.30		狭山市保健センター改修工事	内部仕上表(2／4)		A-13

内部仕上表（3／4）

特記：(※1or3)はアスベスト含有建材(数字は処理レベル)を示す

認定番号　石膏ボードt=9.5：QM-9826(準不燃)　シージング石膏ボードt=9.5・12.5：QM-0898(準不燃)　けい酸カルシウム板t=6・12：NM-8576(不燃)　ビニールクロス：QM-0803(準不燃)　ロックウール吸音板t=9：NM-8599(不燃)
石膏ボードt=12.5：NM-8619(不燃)　X線遮蔽石膏ボードt=12.5：QM-3242(不燃)　メラミン化粧板t=3：NM-2183(不燃)　化粧石膏ボードt=9.5：QM-0524(準不燃)

階	室名 現況	室名 改修		床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	柱型 下地	柱型 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 高さ	備考
2階	栄養指導実習室 栄養指導研究室	栄養指導室	現況	モルタル下地	フローリングブロックt=15 UC塗り	木製 OP塗り	100	木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	モルタル金ごて	VP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		調理台、ステンレス流し、戸棚
				モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5								
			撤去	モルタル下地	全撤去	全撤去		全撤去	全撤去			全撤去	全撤去		全撤去
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=28	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	調理台、ステンレス流し、戸棚、掲示板、電子黒板、防水パン
				ケレン清掃、下地調整				LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							化粧鏡
	栄養指導実習室	倉庫２Ｂ	現況	モルタル下地	フローリングブロックt=15 UC塗り	木製 OP塗り	100	木胴縁組、LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り			LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=28	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	LGS壁下地、石膏ボードt=12.5X2	ビニールクロス			LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	鏡
			現況												
			撤去												
			改修												
			現況												
			撤去												
			改修												
3階	ロビー・廊下	ロビー・廊下	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		掲示板
								LGS壁下地、石膏ボードt=9+12						
			撤去		全撤去	全撤去		壁下地、ボード	全撤去		全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	下地調整(モルタル面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,400	掲示板、消火器収納箱
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
								LGS胴縁、石膏ボードt=12.5							
	会議室Ａ・Ｂ 運動指導室 集団指導室	会議室Ａ・Ｂ	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		可動間仕切壁
				モルタル下地	フローリングブロックt=15 UC塗り	木製	T5								
			撤去	モルタル下地撤去	全撤去	全撤去		全撤去	全撤去		全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=28	ビニル床シートt=2.0	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	白板、可動間仕切、消火器収納箱、スクリーン
				ケレン清掃、下地調整				LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	集団指導室	倉庫３Ａ・３Ｂ	現況	モルタル下地	フローリングブロックt=15 UC塗り	木製	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		可動間仕切壁
			撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去	全撤去		全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	セルフレベリング床材(セメント系)t=28	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	
				ケレン清掃、下地調整				LGS壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
	会議室Ｃ 記録保存室	運動指導室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	EP塗り	モルタル金ごて	EP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
					ビニル床タイルt=2.0(※3)							LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=3.5(HS)	ステンレスHL仕上	60	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	戸棚
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	母子相談室	相談室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	EP塗り	モルタル金ごて	EP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	LGS天井下地、石膏ボードt=9.5	ロックウール吸音板t=9	2,700	
								LGS壁下地、石膏ボードt=9.5+12.5							
	健康相談室 講師控室	更衣室１・２・３	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	EP塗り	モルタル金ごて	EP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去		全撤去		全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	吊カーテンレール
								LGS壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
	薬事相談室 薬事実験指導室	控室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	EP塗り	モルタル金ごて	EP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)		実験台
									VP塗り						
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	流し台
								LGS壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
	母子相談室	倉庫３Ｃ	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	EP塗り	モルタル金ごて	EP塗り	LGS天井下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)	2,700	
			撤去		全撤去	全撤去		全撤去				全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	LGS胴縁、石膏ボードt=12.5	ビニールクロス	LGS天井下地	化粧石膏ボードt=9.5		
								LGS壁下地、石膏ボードt=12.5X2							
			現況												
			撤去												
			改修												
			現況												
			撤去												
			改修												

特記事項

斉藤出建築設計室
一般建築士 第326081号 齋藤出

構造	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R8.1.30	狭山市保健センター改修工事	A-14
		変更年月日	図面名称 内部仕上表(3／4) Scale	

内部仕上表（4／4）

特記：(※1 or 3)はアスベスト含有建材(数字は処理レベル)を示す

認定番号　石膏ボードt=9.5：QM-9828(準不燃)　シージング石膏ボードt=9.5・12.5：QM-0898(準不燃)　けい酸カルシウム板t=6・12：NM-8576(不燃)　ビニールクロス：QM-0803(準不燃)　ロックウール吸音板t=9：NM-8599(不燃)
石膏ボードt=12.5：NM-8619(不燃)　X線遮蔽石膏ボードt=12.5：QM-3242(不燃)　メラミン化粧板t=3：NM-2183(不燃)　化粧石膏ボードt=9.5：QM-0524(準不燃)

階	室名 現況	室名 改修		床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	柱型 下地	柱型 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 高さ	備考
4階	ＥＶ機械室	ＥＶ機械室	現況	モルタル金ごて	防塵塗装	コンクリート打放し			コンクリート打放し		コンクリート打放し		木毛セメント板打込みt=15		
			撤去												
			改修		現況のまま	現況のまま			現況のまま		現況のまま		現況のまま		
	ボイラー室	ボイラー室	現況	モルタル金ごて	防塵塗装	モルタル	100		ロックウール吸音材t=25金網押え		ロックウール吸音材t=25金網押え		ロックウール吸音材t=25金網押え		
			撤去												
			改修		現況のまま	現況のまま			現況のまま		現況のまま		現況のまま		
	電気室		現況	モルタル金ごて	防塵塗装	モルタル	100		ロックウール吸音材t=25金網押え		ロックウール吸音材t=25金網押え		ロックウール吸音材t=25金網押え		
			撤去		全撤去				全撤去		全撤去		全撤去		
			改修	下地調整	エポキシ樹脂塗床(薄膜流しのべ防滑仕上)t=1.2				グラスウールボードt=25		グラスウールボードt=25		グラスウールボードt=25		
									スピンドルピン止め、ガラスクロスとも		スピンドルピン止め、ガラスクロスとも		スピンドルピン止め、ガラスクロスとも		
			現況												
			撤去												
			改修												
			現況												
			撤去												
			改修												
			現況												
			撤去												
			改修												
共通	階段室	階段室	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	モルタル		モルタル金ごて	ＶＰ塗り	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	最上階：ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9	最上階：ロックウール吸音板t=9		手摺
					ノンスリップ								段裏：パーライト吹付(※1)		
			撤去		全撤去							全撤去	全撤去		全撤去
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフトササラ巾木		下地調整(躯体面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	下地調整(躯体面)	メラミン化粧板t=3(目地シール)	最上階：ＬＧＳ天井下地、石膏ボードt=9.5	最上階：ロックウール吸音板t=9		手摺
					ステンレス製ノンスリップ(ゴムタイヤ入)							段裏：下地調整	ＥＰ塗り		
	階段下倉庫	階段下倉庫	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木		モルタル金ごて	ＶＰ塗り	モルタル金ごて	ＶＰ塗り		段裏：パーライト吹付(※1)		
			撤去		全撤去							全撤去	全撤去		
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.0	ソフト巾木	60	下地調整ＲＢ	ＥＰ-Ｇ塗り	下地調整ＲＢ	ＥＰ-Ｇ塗り	段裏：下地調整	ＥＰ塗り		
	女子トイレ	女子トイレ	現況	アスファルト防水層、押えコンクリートt=60	モザイクタイル			モルタルタイル下地	陶器質タイル	モルタルタイル下地	陶器質タイル	ＬＧＳ天井下地	けい酸カルシウム板t=6(※3) ＶＰ塗り		ブース、手摺
				モルタルタイル下地											
			撤去	全撤去	全撤去			全撤去	全撤去	全撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	鋼製置床、パーチクルボードt=20	ビニル床シートt=2.5(防滑・防汚)	ステンレスＨＬ仕上	60	ＬＧＳ胴縁、シージング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ胴縁、シージング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	ブース、手摺、ベビーチェア、ベビーベッド(1階のみ)
				T-1合板t=12				ＬＧＳ壁下地、シージング石膏ボードt=9.5+12.5							洗面カウンター、化粧鏡
	男子トイレ	男子トイレ	現況	アスファルト防水層、押えコンクリートt=60	モザイクタイル			モルタルタイル下地	陶器質タイル	モルタルタイル下地	陶器質タイル	ＬＧＳ天井下地	けい酸カルシウム板t=6(※3) ＶＰ塗り		ブース、手摺
				モルタルタイル下地											
			撤去	全撤去	全撤去			全撤去	全撤去	全撤去	全撤去	全撤去	全撤去		全撤去
			改修	鋼製置床、パーチクルボードt=20	ビニル床シートt=2.5(防滑・防汚)	ステンレスＨＬ仕上	60	ＬＧＳ胴縁、シージング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ胴縁、シージング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5	2,700	ブース、手摺、ベビーチェア、洗面カウンター
				T-1合板t=12	汚だれタイルt=6			ＬＧＳ壁下地、シージング石膏ボードt=9.5+12.5							化粧鏡
	多目的トイレ 倉庫 湯沸室	バリアフリートイレ 男女共用トイレ	現況	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	ソフト巾木(※3)	T5	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	ＬＧＳ天井下地	けい酸カルシウム板t=6(※3) ＶＰ塗り		
			撤去		全撤去	全撤去									
			改修	ケレン清掃、下地調整	ビニル床シートt=2.5(防滑・防汚)	ステンレスＨＬ仕上	60	ＬＧＳ胴縁、シージング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ胴縁、シージング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	ＬＧＳ天井下地	化粧石膏ボードt=9.5		コンパクトトイレパック
								ＬＧＳ壁下地、シージング石膏ボードt=9.5+12.5							化粧鏡
	換気機械室	1～3階：換気機械室 4階：空調機械室	現況	モルタル金ごて	防塵塗装	モルタル	100		ロックウール吸音材t=25金網押え		ロックウール吸音材t=25金網押え		ロックウール吸音材t=25金網押え		
			撤去		全撤去				全撤去		全撤去		全撤去		
			改修	下地調整	エポキシ樹脂塗床(薄膜流しのべ防滑仕上)t=1.2				グラスウールボード1～3階：t=25、4階：t=50		グラスウールボード1～3階：t=25、4階：t=50		グラスウールボード1～3階：t=25、4階：t=50		
				モルタル金ごて					スピンドルピン止め、ガラスクロスとも		スピンドルピン止め、ガラスクロスとも		スピンドルピン止め、ガラスクロスとも		
			現況												
			撤去												
			改修												
			現況												
			撤去												
			改修												

特記事項

斉藤出建築設計室
一般建築士 第326081号 齋藤出

構造	設計	設計年月日	変更年月日	工事名称	図面名称	Scale	No.
齋藤出	齋藤出	R8.1.30		狭山市保健センター改修工事	内部仕上表(4／4)		A-15

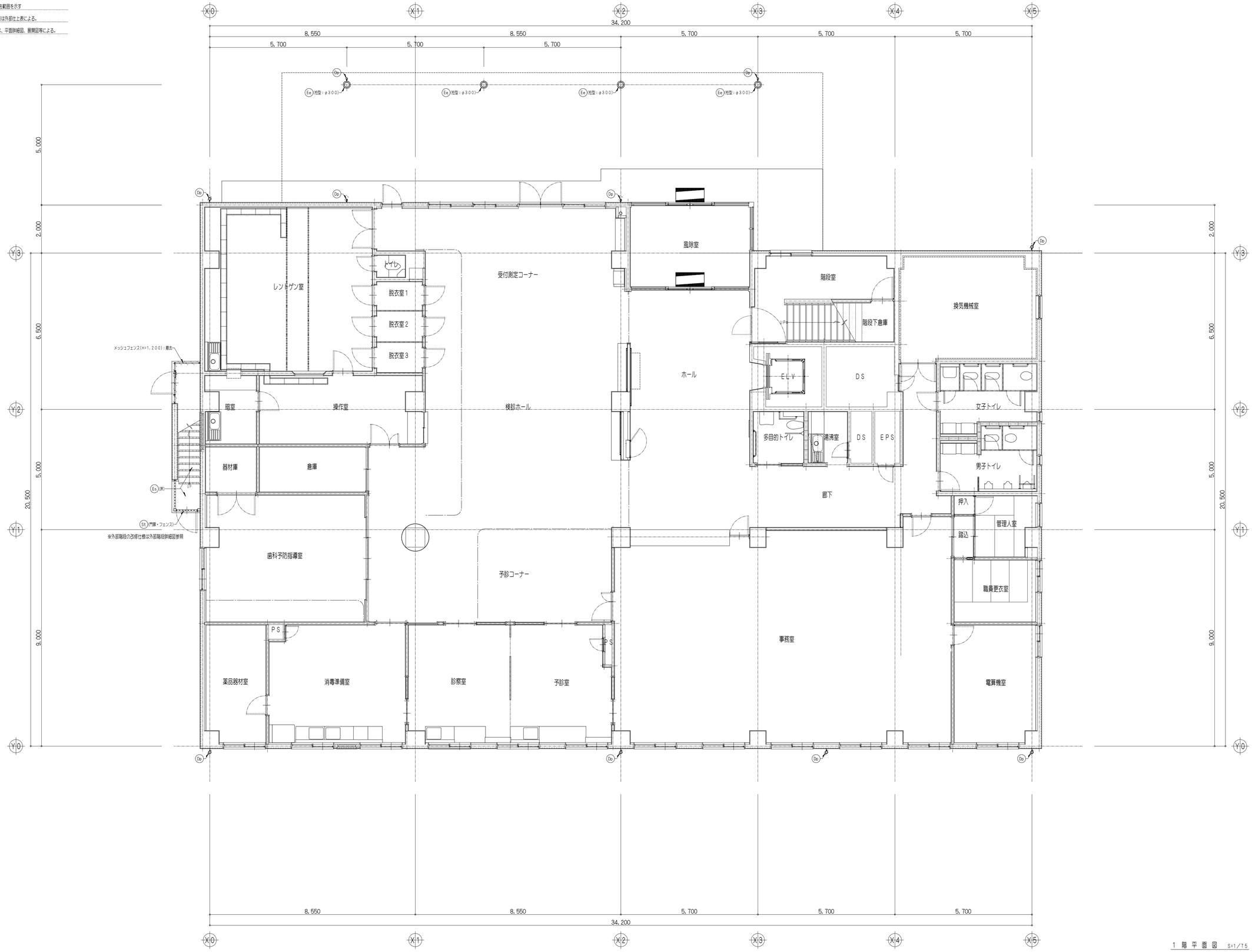
現況

凡例

斜線範囲を示す

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。



1 階 平 面 図　S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	構造 齋藤出	設計 齋藤出	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-16
					変更年月日	図面名称 現況 1階平面図 Scale 1/75	

現況

凡例

撤去範囲を示す

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。

X0 X1 X2 X3 X4 X5

34,200

8,550 8,550 5,700 5,700 5,700

5,700 5,700 5,700

Y3 Y2 Y1 Y0

5,000 2,000 6,500 5,000 20,500 9,000

トップライト：現況のまま

屋上

シャワー室 脱衣室 男子更衣室 女子更衣室 静養室 PS

機能回復訓練室

ホール

廊下

階段室 DN UP

ELV DS

多目的トイレ 湯沸室 DS EPS

換気機械室 女子トイレ 男子トイレ

※外部階段の改修仕様は外部階段詳細図参照

栄養準備研究室 栄養指導実習室 幼児室 成人病検診室

倉庫 PS

検査室B 検診室

廊下

尿検査室 検査室A

2階平面図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-17
				変更年月日	図書名称 現況 2階平面図 Scale 1/75	

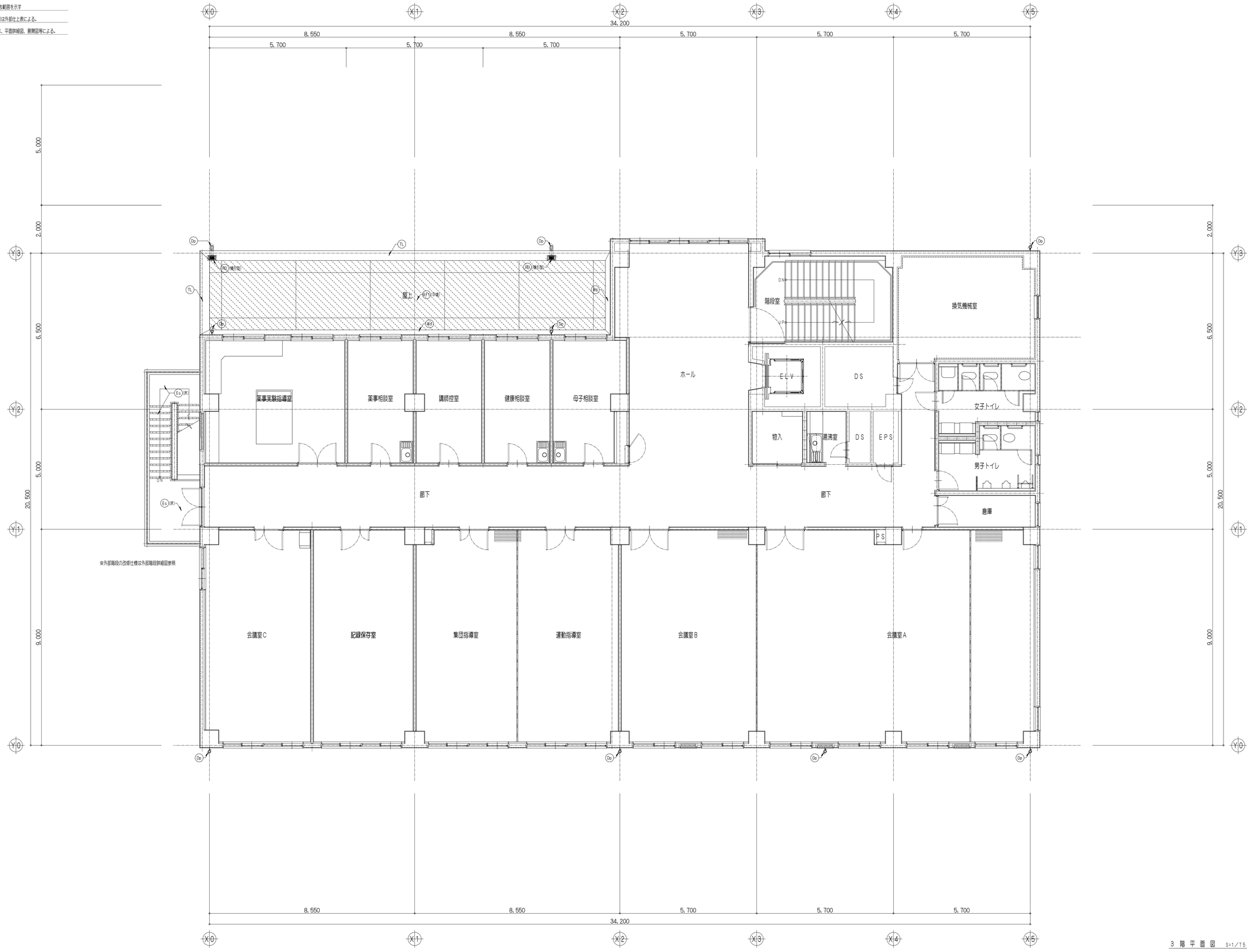
現況

凡例

撤去範囲を示す

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。



3 階 平 面 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-18
		変更年月日	図書名称 現況 3階平面図 Scale 1/75	

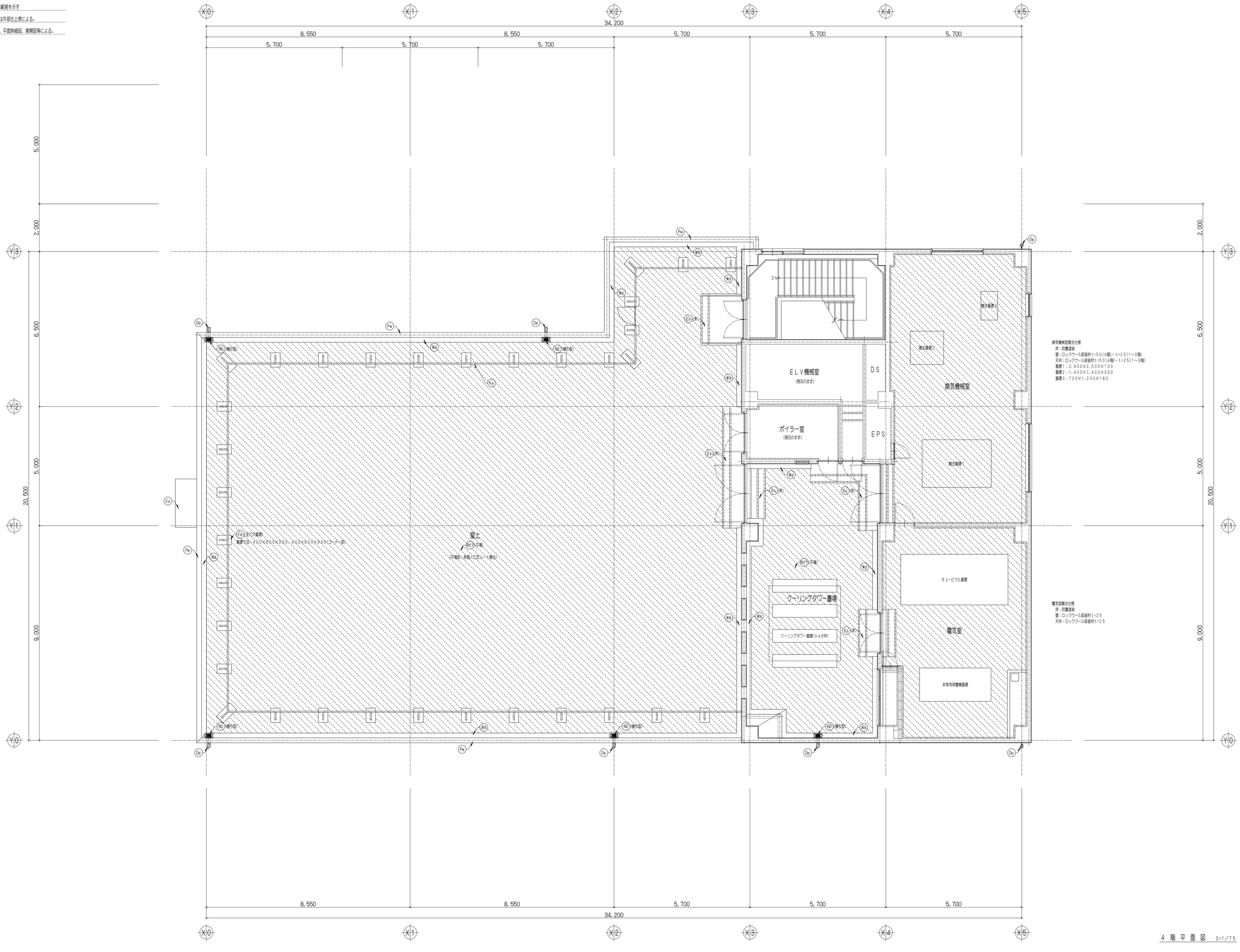
現況

凡例

撤去範囲を示す

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。



4 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-19
				変更年月日	図面名称 現況 4階平面図 Scale 1/75	

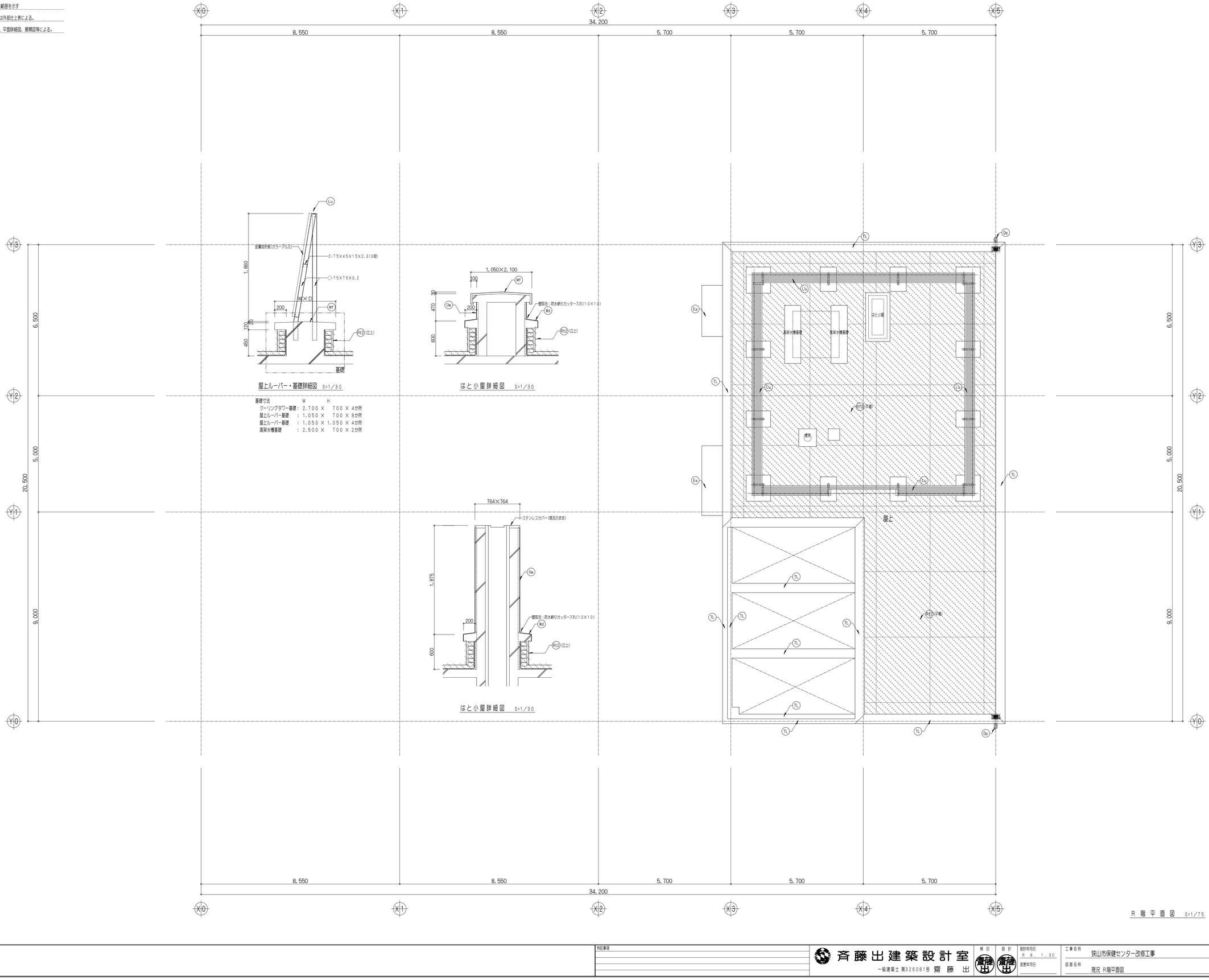
現 況

凡 例

屋去範囲を示す

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。



屋上ルーバー・基礎詳細図 S=1/30

基礎寸法

	W		H
クーリングタワー基礎：	2,700	X	700 X 4カ所
屋上ルーバー基礎	：1,050	X	700 X 8カ所
屋上ルーバー基礎	：1,050	X	1,050 X 4カ所
高架水槽基礎	：2,500	X	700 X 2カ所

はと小屋詳細図 S=1/30

はと小屋詳細図 S=1/30

R 階 平 面 図 S=1/75

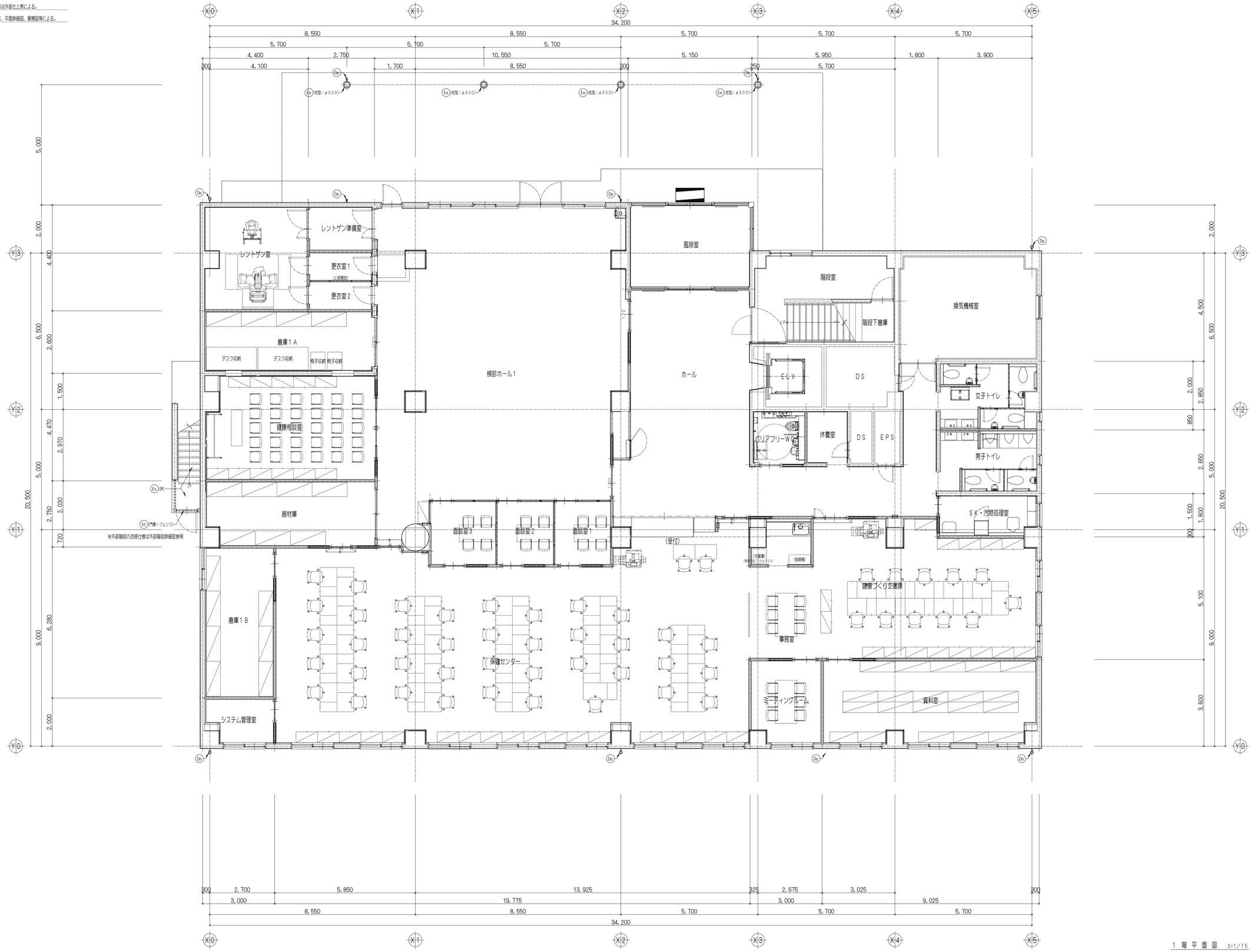
特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印	設 計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-20
				変更年月日	図書名称 現況 R階平面図	Scale 1/75

改修

凡例

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。



1 階 平 面 図　S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-21
					変更年月日	図面名称 改修 1階平面図	Scale 1/75

改修

凡例

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。

X0 X1 X2 X3 X4 X5

34,200

8,550 8,550 5,700 5,700 5,700

5,700 5,700 5,700

3,605 16,095 3,150 5,950

300 3,305 5,245 2,300 250

Y3 Y2 Y1 Y0

5,000 2,000 6,500 5,825 675 2,975 5,000 2,630 10 9,000 9,070 20,500

トップライト・現況のまま

屋上

倉庫2A

559(棚)

検診ホール2

ロビー

階段室

UP

DN

掲示板

換気機械室

ELV

DS

EPS

バリアフリーWC

男女共用WC

男子トイレ

女子トイレ

廊下

廊下

掃除用具入

半外部階段の改修仕様は外部階段詳細図参照

倉庫2B

待合室

授乳室

栄養指導室

診察室3

診察室2

診察室1

倉庫2C

検査室1

418(棚)

検査室2

倉庫2D

吊りカーテンレール

T40X64

(下部オーブン)

(調整卓)

Dn

Es

TL

RD(縦型)

Ee(壁付)

Rf1(平場)

Rd

300 8,550 3,125 325 475 5,450 250 300

11,975 3,050 2,700 2,700 2,200 5,925 6,250

8,550 8,550 5,700 5,700 5,700

34,200

2,000 500 4,500 6,500 2,000 5,800 3,800 5,000 1,130 10 3,270 300 5,500 5,800 9,000 20,500

2階平面図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R8.1.30 / 変更年月日	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 改修 2階平面図 Scale 1/75	No. A-22

改修

凡例

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。



3階平面図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R8.1.30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-23
				変更年月日	図面名称 改修 3階平面図 Scale 1/75	

改修

凡例

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。



4 階 平 面 図 S=1/75

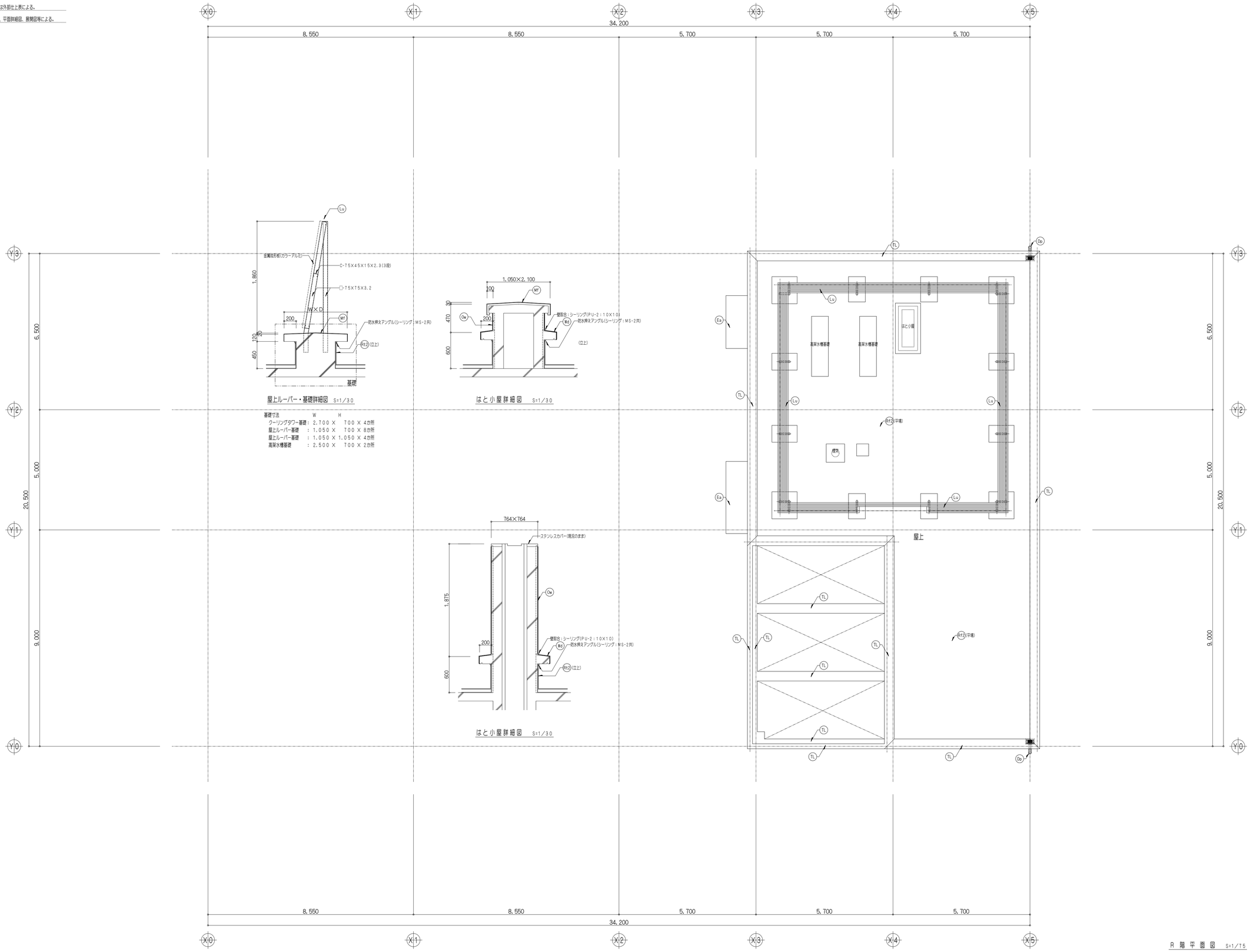
特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 筑山市保健センター改修工事	No. A-24
		齋藤出	齋藤出	変更年月日	図書名称 改修 4階平面図 Scale 1/75	

改修

凡例

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※内部改修仕様は、平面詳細図、展開図等による。



屋上ルーバー・基礎詳細図 S=1/30

基礎寸法

	W	H	
クーリングタワー基礎：	2,700 X	700 X	4カ所
屋上ルーバー基礎	：1,050 X	700 X	8カ所
屋上ルーバー基礎	：1,050 X	1,050 X	4カ所
高架水槽基礎	：2,500 X	700 X	2カ所

はと小屋詳細図 S=1/30

はと小屋詳細図 S=1/30

R 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	構 造	設 備	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No.	
		齋藤出	齋藤出	変更年月日	図書名称 改修 R階平面図 Scale 1/75		A-25

現況



東側立面図 S=1／100

凡例

撤去範囲を示す

外壁仕上符号、 Ow ※図中表記は省略する。

----------：外壁目地、スリットを示す

※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※凡例及び仕上表以外の事項は図示による。

※アスベスト含有部分の作業にあたっては、適正な方法で作業すること。

撤去箇所名称	撤去箇所計数量
クラック補修：水性浸透性エポキシ樹脂プライマー、特殊フィルム(粘着帯付)貼り、特殊アクリルゴム系エマルション系塗料塗布(ノンカットフィルム工法)	523m（0.291／1㎡）
欠損・爆裂補修：塗膜除去、断面コンクリートはつり、鉄止め塗布、エポキシ樹脂モルタル充填	376ヶ所（100×100換算：0.208／1ヶ所）
塗膜剥き補修：飛散防止剤散り、集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法	89.8㎡（0.05／1㎡）

※撤去箇所補修は、足場解放後、全面打診及び目視調査を行い施工数量を監督員へ報告し、承認を得てから施工する。



北側立面図 S=1／100

西側立面図 S=1／100

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出

設計 齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30

変更年月日

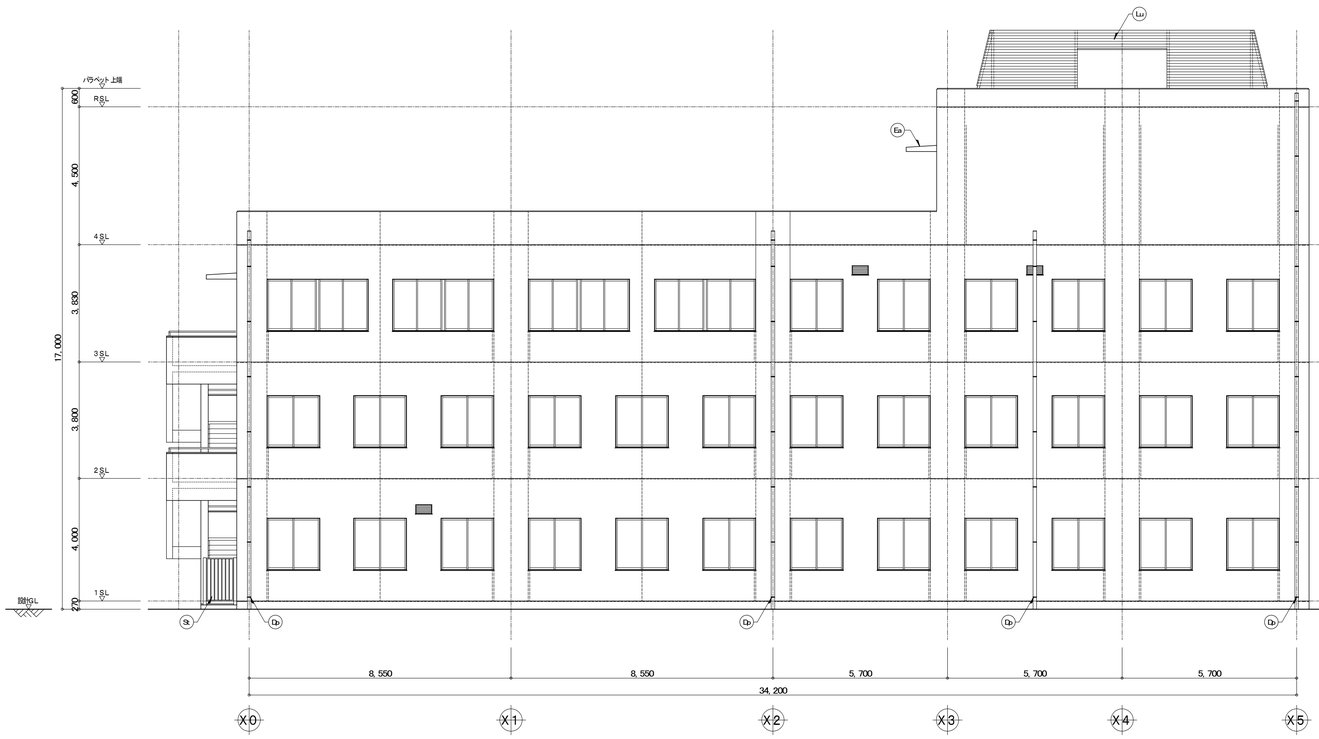
工事名称 狭山市保健センター改修工事

図面名称 現況 立面図

Scale 1／100

No. A-26

改修



東側立面図 S=1／100



凡例

外壁仕上符号: Ow ※図中表記は省略する。

---------- : 外壁目地、スリットを示す

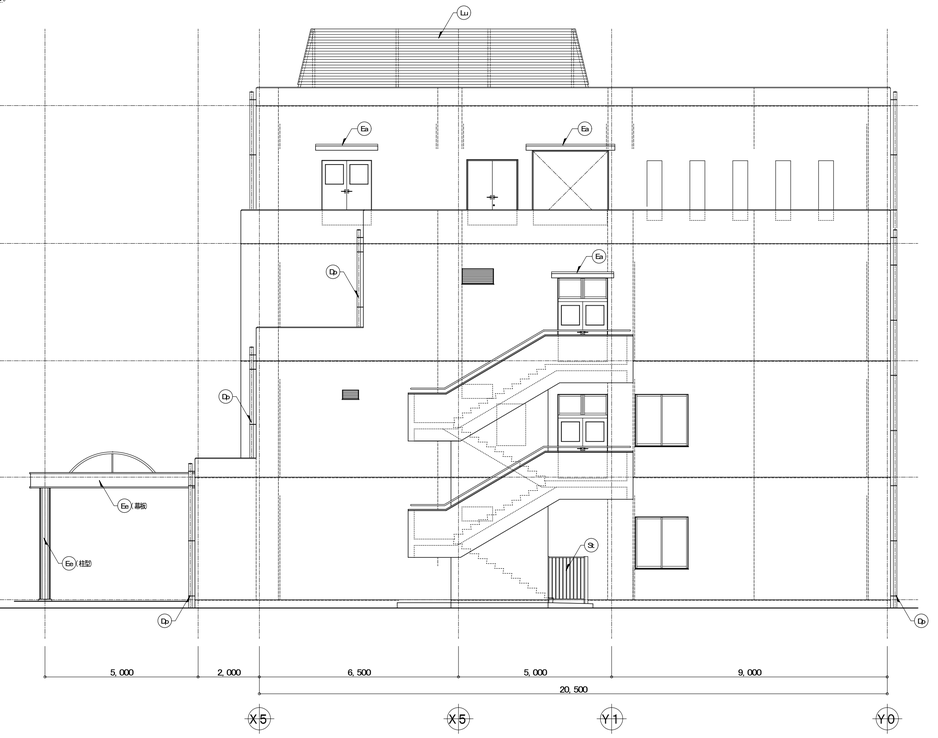
※外部の仕上符号は外部仕上表による。

※凡例及び仕上表以外の事項は図示による。

※アスベスト含有部分の作業にあたっては、適正な方法で作業すること。



北側立面図 S=1／100



西側立面図 S=1／100

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出

設計 齋藤出

設計年月日 R 8．1．30

変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事

図面名称 改修 立面図

Scale 1／100

No. A-27

現況



断面図(X方向) S=1/100

断面図(Y方向) S=1/100

改修



断面図(X方向) S=1/100

断面図(Y方向) S=1/100

特記事項

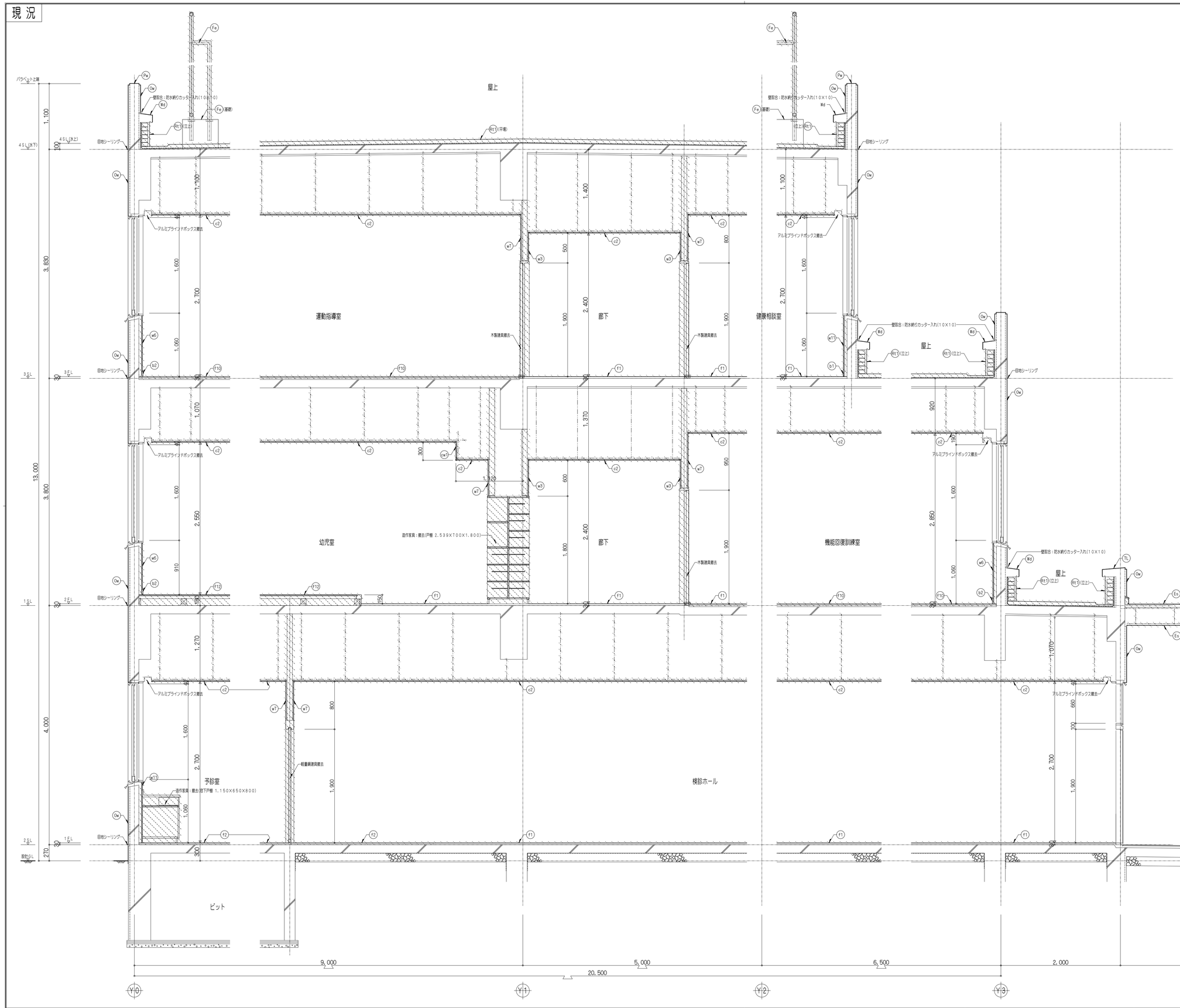
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計
齋藤出	齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 筑山市保健センター改修工事
図面名称 現況・改修 断面図
Scale 1/100
No. A-28

現況



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具撤去部周囲はつり部分を示す
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※外部の仕上符号は外部仕上表を参照のこと。

※ ⇔ ：建具周囲シーリングを示す

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※アスベスト含有建材は、作業にあたっては適正に処理すること

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレス t=0.8 糸幅２２５(取付下地共)

造作家具：主材→ポリエステル化粧合板フラッシュ

□現況仕上表

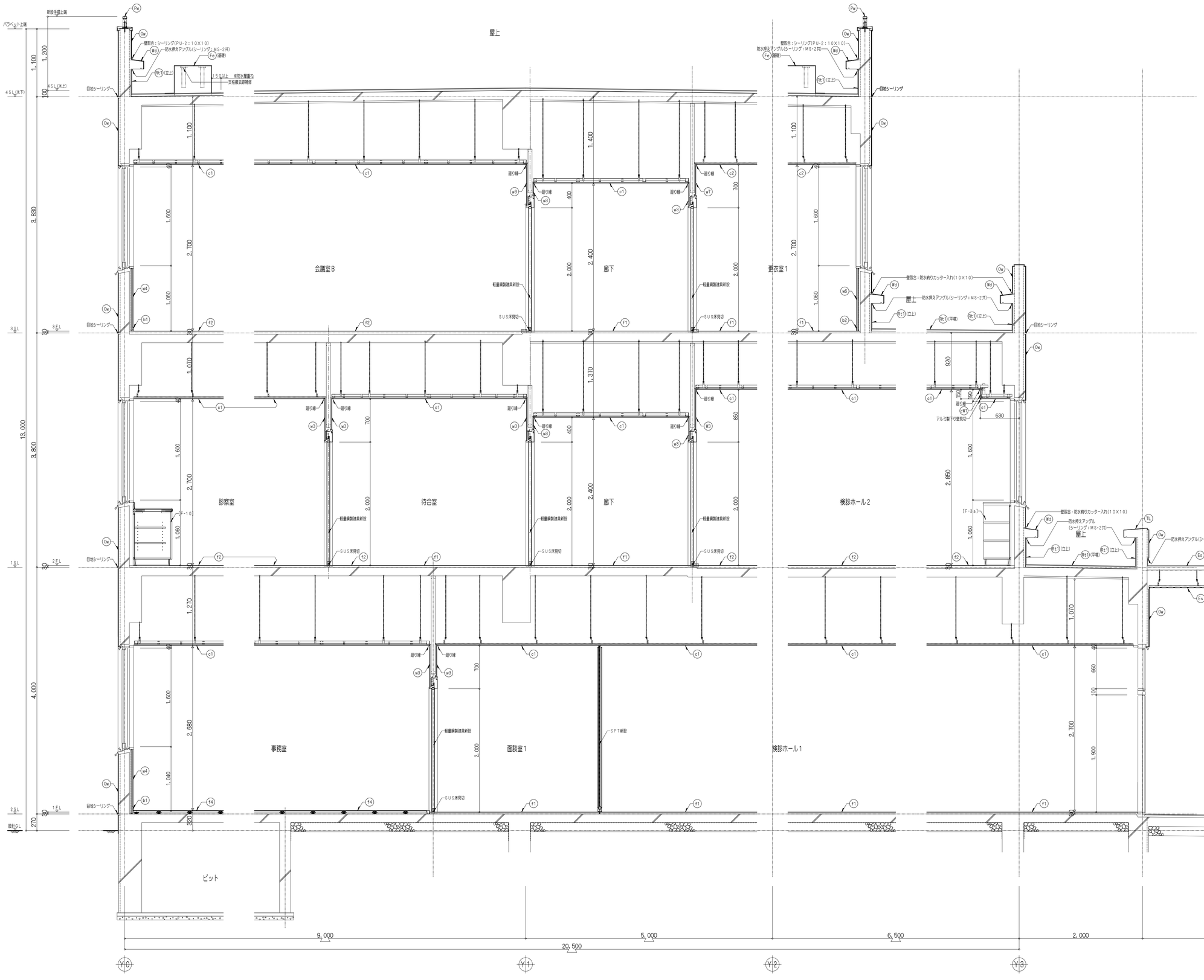
符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
f1	床	モルタル金ごて	ビニル床シート t=2.5	仕上撤去
f2	床	モルタル金ごて	ビニル床シート t=2.5	下地、仕上撤去
f10	床	モルタル	フローリングブロック t=15	下地、仕上撤去
f12	床	木製つか立床組、合板 t=12	クッションフロア	下地、仕上撤去
b1	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
b2	巾木		木製H=75 OP塗り	仕上撤去
w3	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード t=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
w6	壁	木製胴縁組、石膏ボード t=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
w7	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード t=9	ロックウール吸音板 t=12(※3)	下地、仕上撤去
w11	壁	木製胴縁組、石膏ボード t=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
cw	下り壁	ＬＧＳ天井下地、ろこうｶﾞﾗｽ t=9	ロックウール吸音板 t=9(※3)	下地、仕上撤去
c2	天井	ＬＧＳ天井下地、ろこうｶﾞﾗｽ t=9	ロックウール吸音板 t=9(※3)	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-29
		変更年月日	図面名称 現況 矩計図 Scale 1/30	

改修



凡例

モルタル充填部分(建具撤去部等)を示す

開仕切：ＬＧＳ壁下地65形 ※@450床上から天井貫板体まで)

※外部の仕上符号は外部仕上表を参照のこと。

※ ⇔ ：建具周囲シーリングを示す

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・ＳＰＴ：建具表参照

ＳＵＳ床見切：40X2.0(仕上材のみ張替部分は、漏斗つり、モルタル充填共)

廻り縁：塩ビ製コ形

(F-○○)：新設造作家具(家具図参照)

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
f1	床	クレン清掃	ビニル床シートt+2.0	
f2	床	セルフレベリング床材t+28(セメント系)	ビニル床シートt+2.0	
f4	床	ＯＡフロアH+50(仕上材厚含む)	帯電防止張物ビニル床タイルt+5	
b1	巾木		ステンレスＨＬ Ｈ+60	
b2	巾木		ソフト巾木 H+60	
w3	壁	ＬＧＳ壁下地、石こうボードt+9.5+12.5	メラミン化粧板t+3(目地シール)	
w4	壁	ＬＧＳ胴縁組、石こうボードt+12.5	メラミン化粧板t+3(目地シール)	
w6	壁	ＬＧＳ胴縁組、石こうボードt+12.5	ビニールクロス	
w7	壁	ＬＧＳ壁下地、石こうボードt+12.5X2	ビニールクロス	
cw	天井	ＬＧＳ天井下地下り壁下地、石こうﾎﾞｰﾄﾞt+9.5	ロックウール吸音板t+9	
c1	天井	ＬＧＳ天井下地、石こうﾎﾞｰﾄﾞt+9.5	ロックウール吸音板t+9	
c2	天井	ＬＧＳ天井下地	化粧石こうボードt+9.5	

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-30
					変更年月日	図面名称 改修 矩計図	Scale 1/30

現況

凡例

撤去範囲を示す

※符号明示なき部分は、床：(f1)、巾木：(b1)、壁：(w4)、天井：(c2)

段裏(天井)：(c7)、手摺壁(壁)：(w13)とする。

※外部の仕上符号は外部仕上げ表に参照のこと。

※ ⊲ ：建具周囲シーリングを示す

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

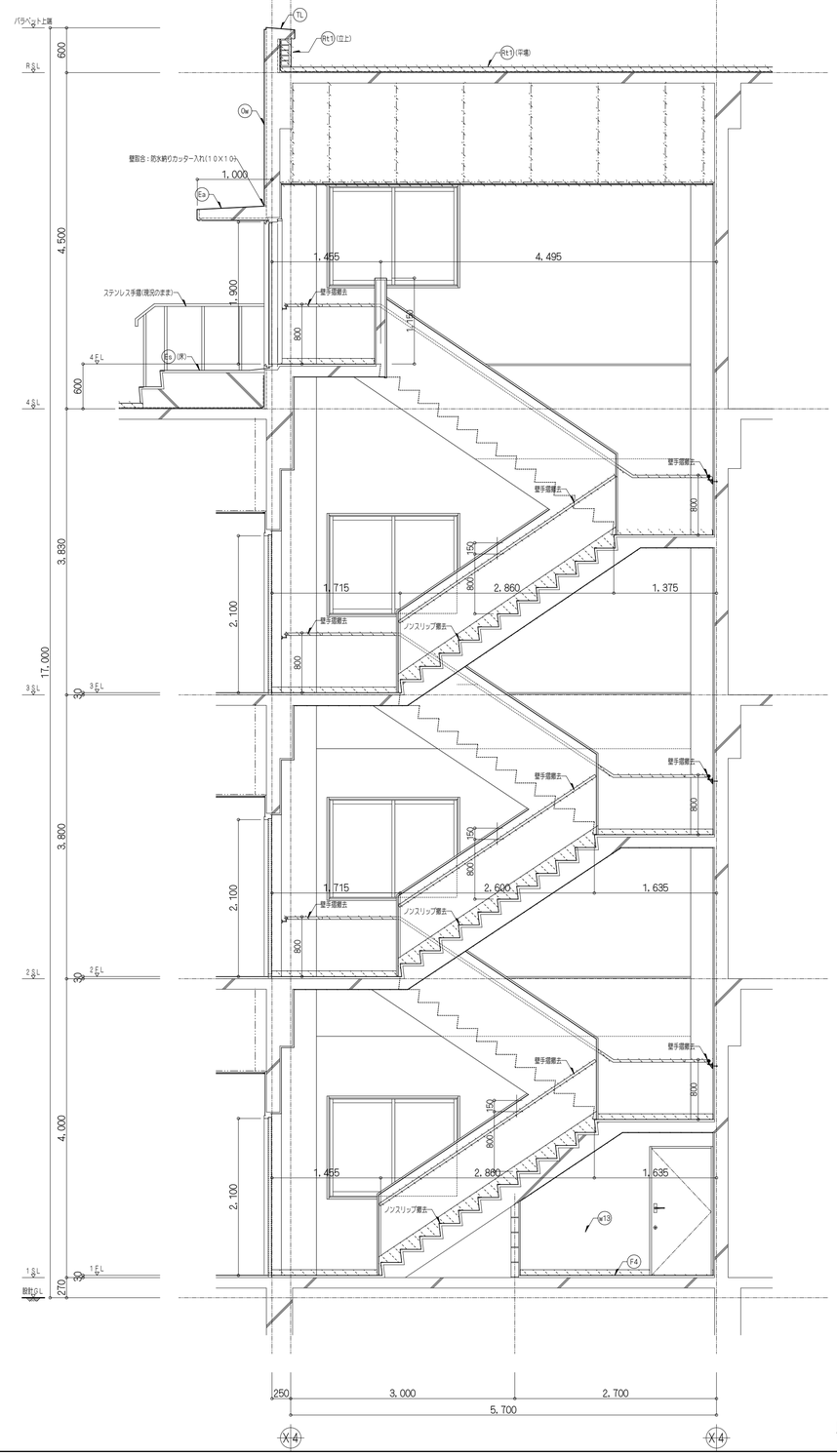
撤去仕様

ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入り W35

壁手摺：ビニルバンドレール φ34、アルミブラケット

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(f1)	床	モルタル金ごて	ビニル床シート t=2.5(※3)	仕上撤去(躯上面共)
(f4)	床	モルタル	ビニル床タイル t=2.0(※3)	仕上撤去
(b1)	巾木		ソフト巾木 H=75(※3)	仕上撤去(さらし巾木共)
(w4)	壁	モルタル金ごて	VP塗り	面転び仕上げ
(w13)	壁	モルタル金ごて	VP塗り	塗替え
(c2)	天井	LGS野縁、ろごうボード t=9	ロックウール吸音板 t=9(※3)	下地、仕上撤去
(c7)	天井	コンクリート打放し	パーライト吹付(※1)	仕上撤去



内部階段断面詳細図 S=1/40

改修

凡例

※符号明示なき部分は、床：(f1)、巾木：(b2)、壁：(w2)、天井：(c2)

段裏(天井)：(c5)、手摺壁(壁)：(w13)とする。

※外部の仕上符号は外部仕上げ表に参照のこと。

※ ⊲ ：建具周囲シーリングを示す

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

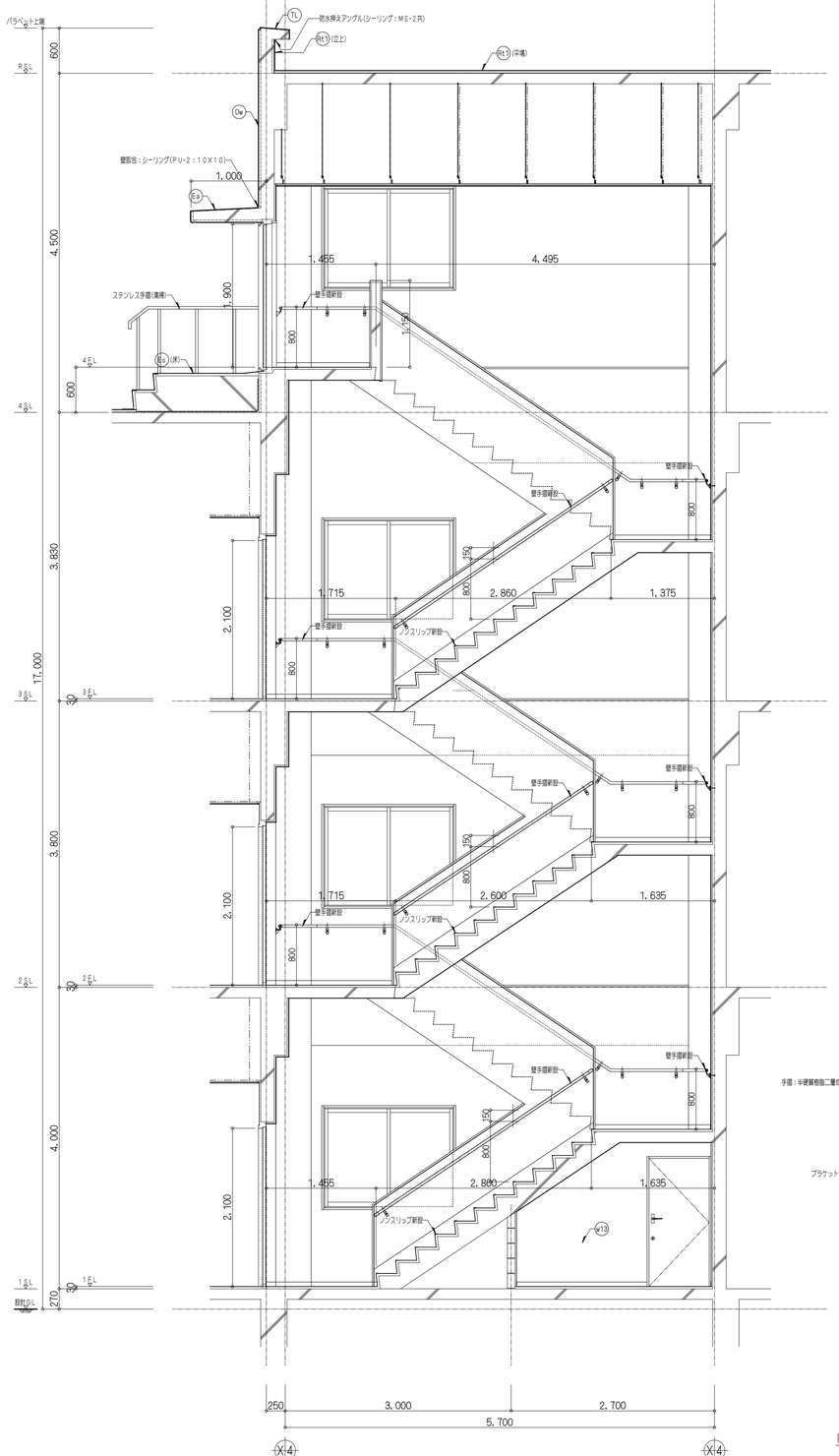
仕様

ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入り W35

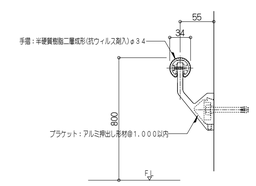
壁手摺：ビニルバンドレール φ34(点字表示 計24カ所)、アルミブラケット

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(f1)	床	クレゾン清掃	ビニル床シート t=2.0	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	階段部分はソフトサヲラ巾木
(w2)	壁	下地調整	メラミン化粧板 t=3(目地シール)	
(w13)	壁	下地調整RB	EP-G塗り	
(c2)	天井	LGS天井下地、ろごうボード t=9.5	ロックウール吸音板 t=9	
(c5)	天井	下地調整	EP塗り	



内部階段断面詳細図 S=1/40



壁手摺参考詳細図 S=1/10

特記事項

斉藤出建築設計室
一般建築士 第326081号 齋藤出

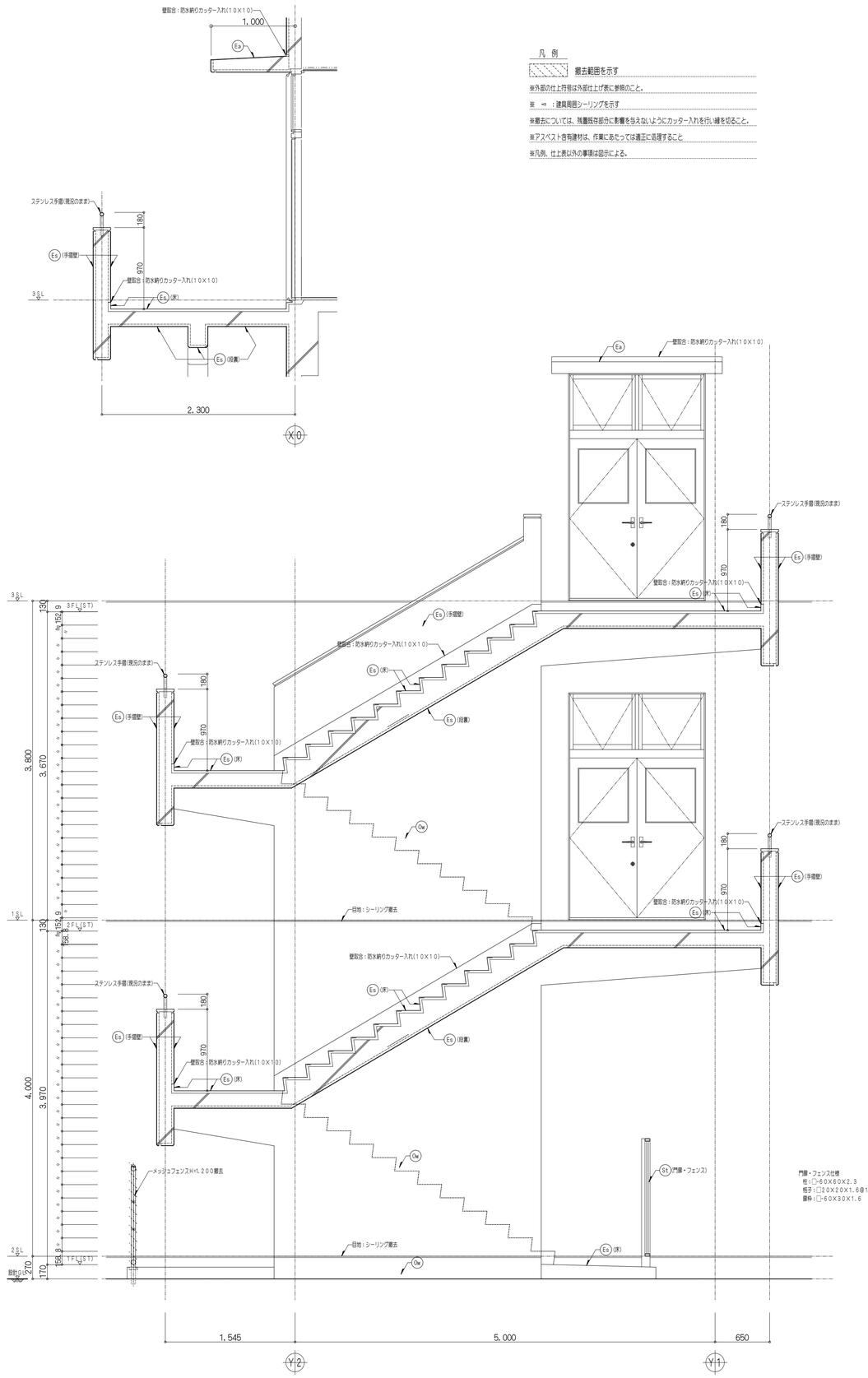
検印	設計
齋藤出	齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

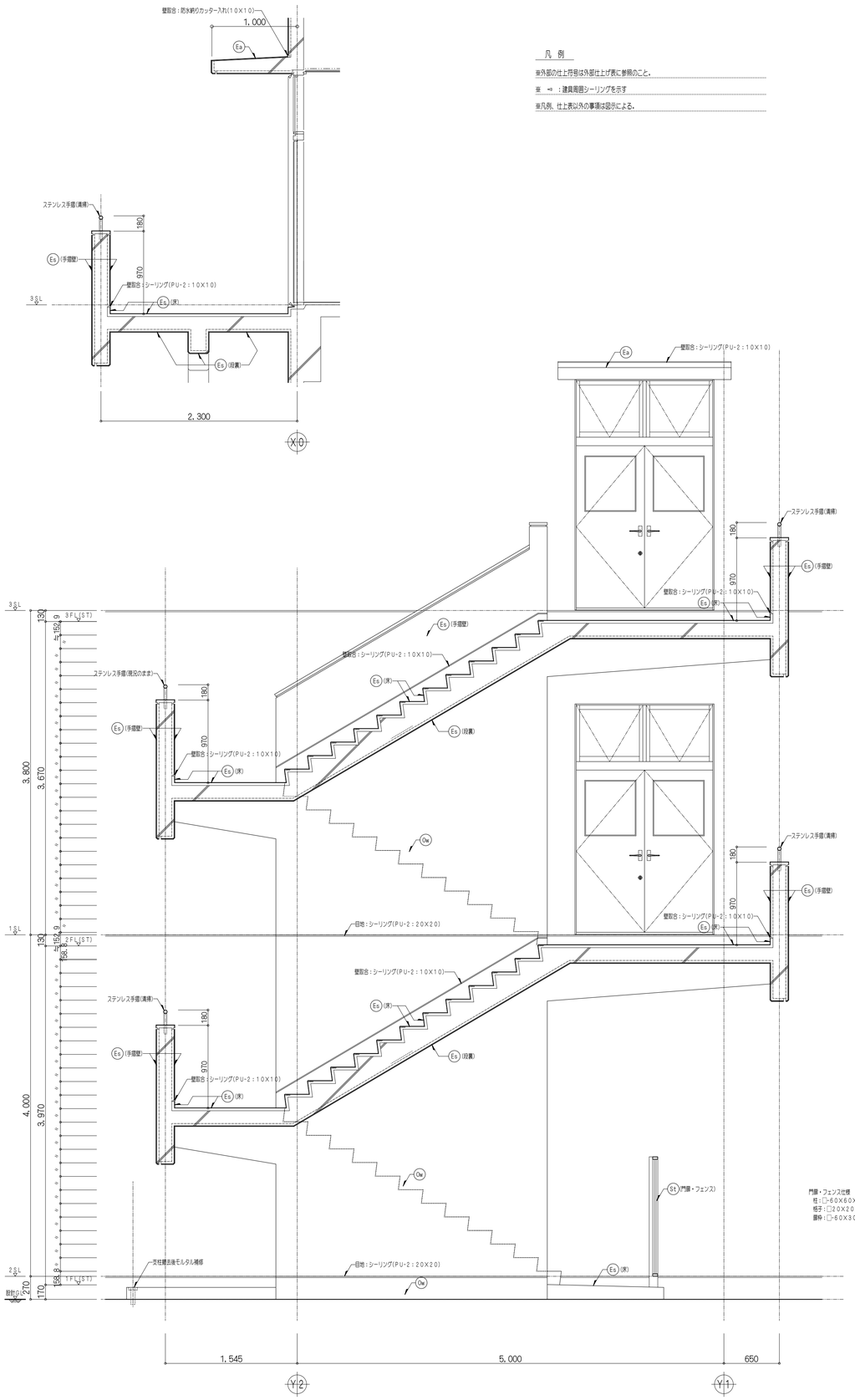
工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 現況・改修 内部階段断面詳細図
Scale 1/40

No. A-31

現況



改修

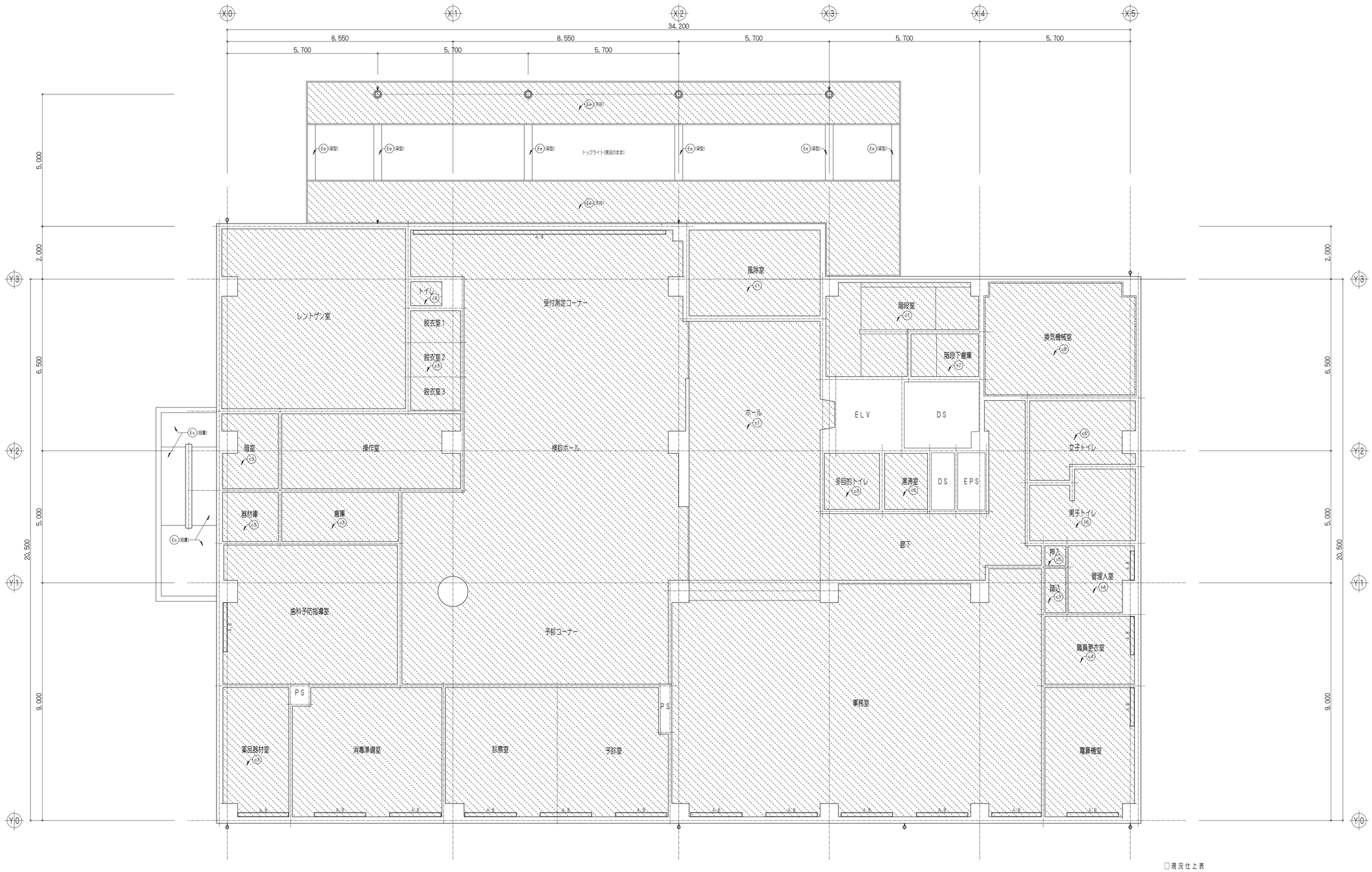


特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

構造	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-32
		変更年月日	図面名称 / Scale	
			現況・改修 外部階段断面詳細図 / 1/30	

現況



凡 例

撤去範囲を示す

※符号明示なき部分は、天井：(C2)とする。

※外部の仕上符号は外部仕上げ表に参照のこと。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※(※3)吹付は粉じん飛散防止材吹付の上、、集じん装置装置付きディスクグラインダーケレン工法により除去する

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

部材仕様(仕上表以外)

A.B：アルミブライトボックス150X150

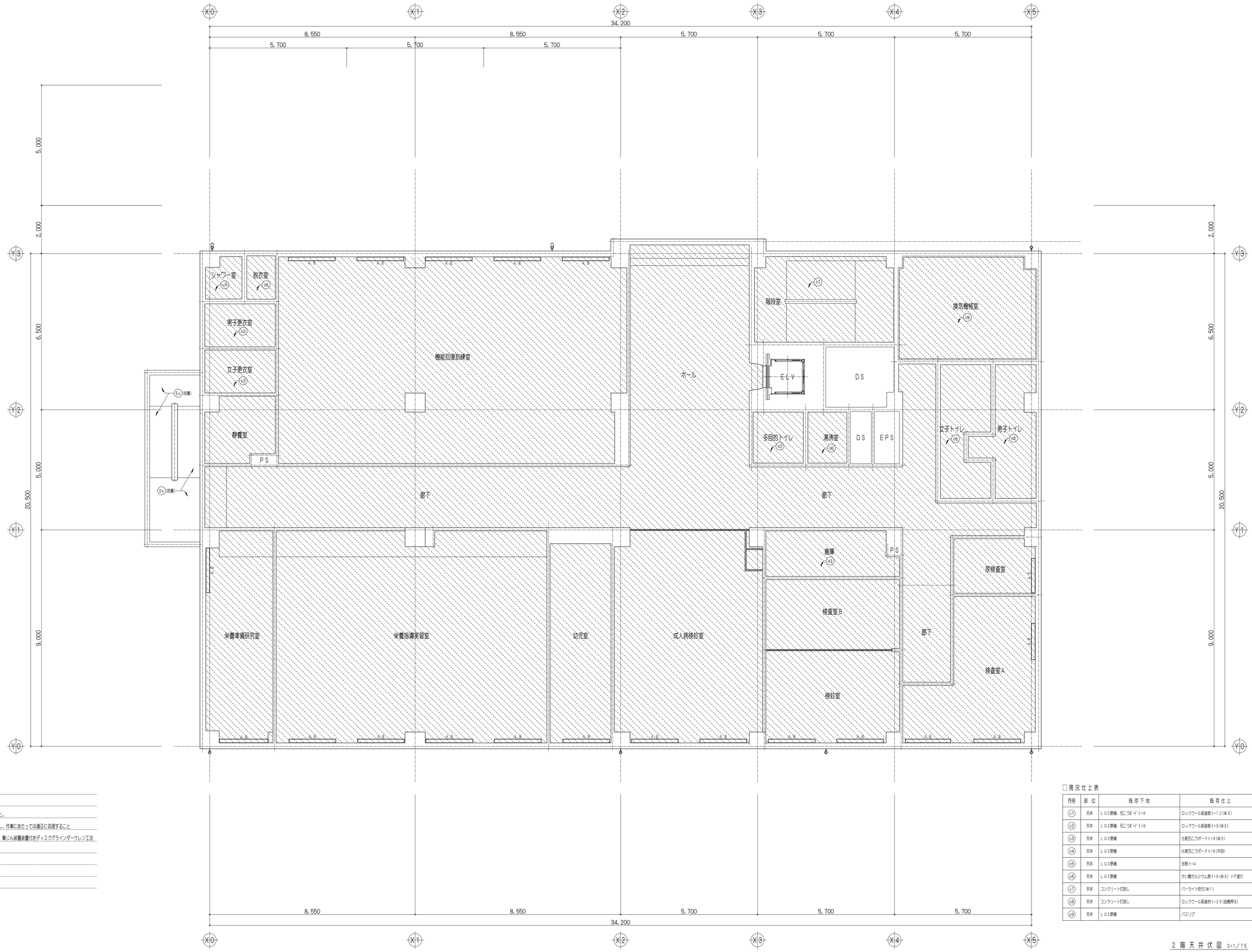
□ 現況仕上表

符号	部 位	既存下地	既存仕上	改修処理
C1	天井	LGS野縁、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
C2	天井	LGS野縁、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)	下地、仕上撤去
C3	天井	LGS野縁	化粧石こうボードt=9(※3)	下地、仕上撤去
C4	天井	LGS野縁	化粧石こうボードt=9(木目)	下地、仕上撤去
C5	天井	LGS野縁	合板t=4	下地、仕上撤去
C6	天井	LGS野縁	けい酸カルシウム板t=6(※3)ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
C7	天井	コンクリート打放し	パーライト吹付(※1)	仕上撤去
C8	天井	コンクリート打放し	ロックウール吸音材t=25(金網押え)	仕上撤去

1階天井伏図 S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R8.1.30	工事名称	狭山市保健センター改修工事
					変更年月日	図書名称	現況 1階天井伏図
						Scale	1/75
						No.	A-33

現況



凡 例

撤去範囲を示す

※符号明示なき部分は、天井：c2とする。

※外部の仕上符号は外部仕上げ表に参照のこと。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※(※3)吹付は粉じん飛散防止材吹付の上、、集じん装置装置付きディスクグラインダーケレン工法により除去する

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

部材仕様(仕上表以外)

A.B：アルミブライトボックス150X150

□現況仕上表

符号	部 位	既存下地	既存仕上	改修処理
c1	天井	LGS野縁、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
c2	天井	LGS野縁、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)	下地、仕上撤去
c3	天井	LGS野縁	化粧石こうボードt=9(※3)	下地、仕上撤去
c4	天井	LGS野縁	化粧石こうボードt=9(木目)	下地、仕上撤去
c5	天井	LGS野縁	合板t=4	下地、仕上撤去
c6	天井	LGS野縁	けい酸カルシウム板t=6(※3) VP塗り	下地、仕上撤去
c7	天井	コンクリート打放し	パーライト吹付(※1)	仕上撤去
c8	天井	コンクリート打放し	ロックウール吸音材t=25(金網押え)	仕上撤去
c9	天井	LGS野縁	バスリブ	下地、仕上撤去

2 階 天 井 伏 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 筑山市保健センター改修工事	No.
		齋藤出	齋藤出	変更年月日	図面名称 現況 2階天井伏図 Scale 1/75	A-34

現況

凡例

搬去範囲を示す

※符号明示なき部分は、天井：c2とする。

※外部の仕上符号は外部仕上げ表に参照のこと。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※(※3)取付は粉じん飛散防止対策の上、、集じん装置装置付きディスクグラインダーケレン工法により除去する

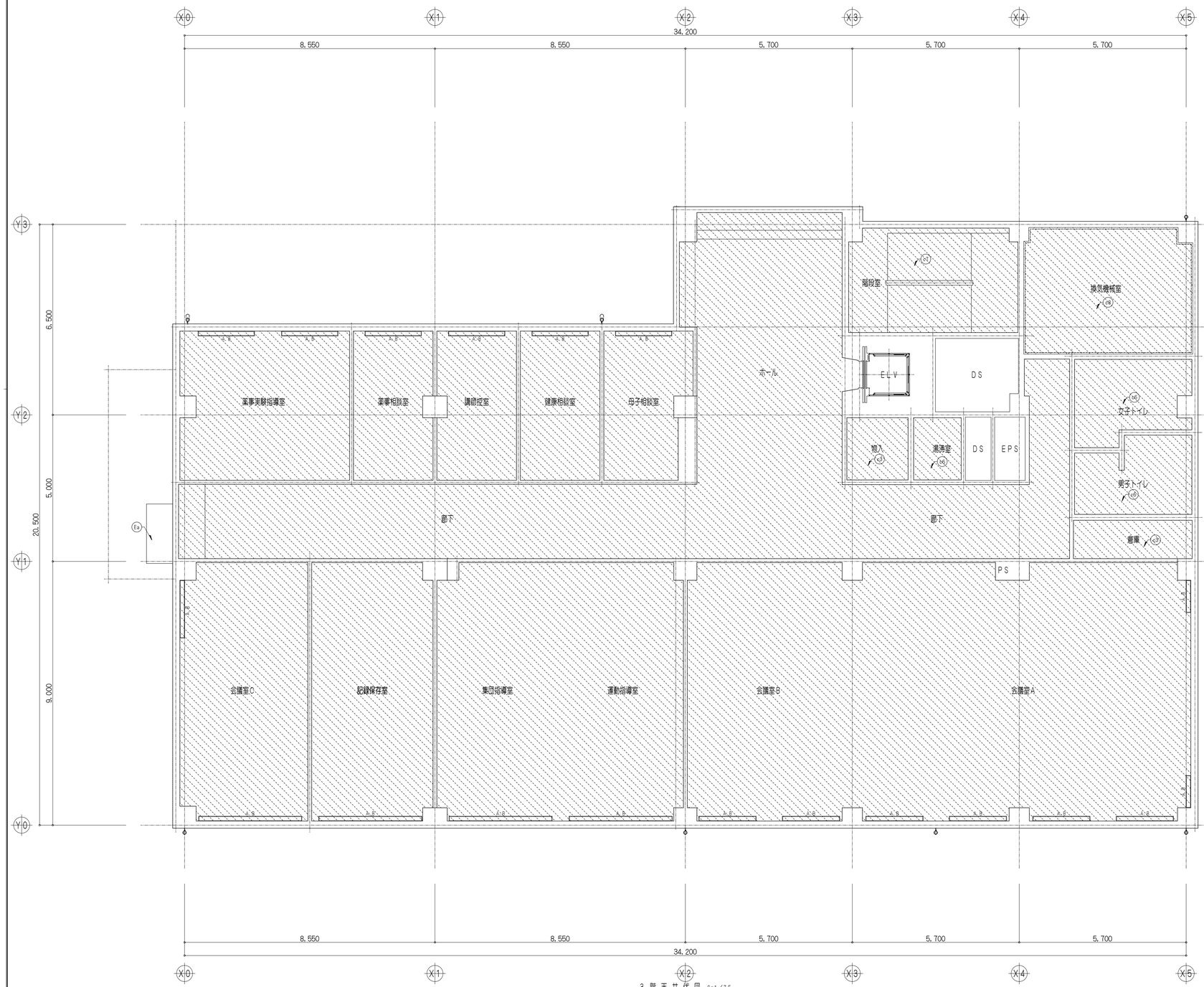
※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

部材仕様(仕上表以外)

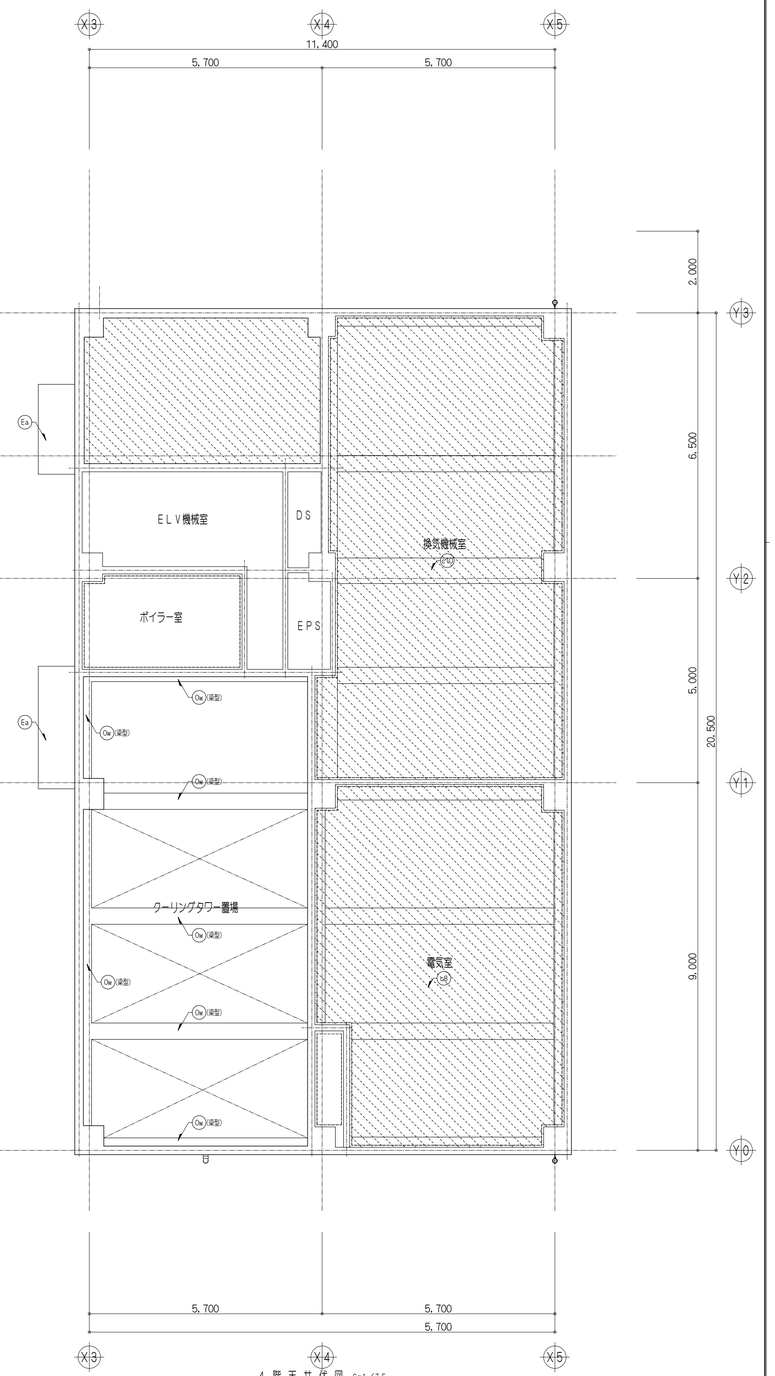
A、B：アルミブラインドボックス150X150

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
c1	天井	LGS野縁、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
c2	天井	LGS野縁、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)	下地、仕上撤去
c3	天井	LGS野縁	化粧石こうボードt=9(※3)	下地、仕上撤去
c4	天井	LGS野縁	化粧石こうボードt=9(木目)	下地、仕上撤去
c5	天井	LGS野縁	合板t=4	下地、仕上撤去
c6	天井	LGS野縁	けい酸カルシウム板t=6(※3)VP塗り	下地、仕上撤去
c7	天井	コンクリート打放し	パーライト吹付(※1)	仕上撤去
c8	天井	コンクリート打放し	ロックウール吸音材t=25(金網押え)	仕上撤去
c10	天井	コンクリート打放し	ロックウール吸音材t=50(金網押え)	仕上撤去



3 階 天 井 伏 図 S=1/75



4 階 天 井 伏 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-35
		変更年月日	図面名称 現況 3・4階天井伏図 Scale 1/75	

改修



凡例

- 天井点検口：アルミ額縁 600×600(開口補強、ボード切込共)
- LGS天井下地開口補強(ボード切込共)、寸法は図示による

※符号明示なき部分は、天井：c1とする。
※壁取り合い部は塩ビ廻り縁を施工する。
※外部の仕上符号は外部仕上げ表に参照のこと。
※凡例、仕上表以外の事項は図示による。
※機器位置は天井割り図を作成し、監督員の承認を受けること。
※開口補強等の寸法は参考とし、選定機器寸法により適宜に決定すること。
(開口寸法の300×300は、それ以下の開口も含む)

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
c1	天井	LGS天井下地、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	ロックウール吸音板t=9	
c2	天井	LGS天井下地	化粧石こうボードt=9.5	
c3	天井	LGS天井下地	けい酸カルシウム板t=6 EP塗り	
c4	天井	LGS天井下地 ※構造石こうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5×2重	ビニールクロス	
c5	天井	下地調整	EP塗り	
c6	天井		グラスウールボードt=25 スピドルピン止、ガラスクロス共	
c7				
c8				

1階天井伏図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

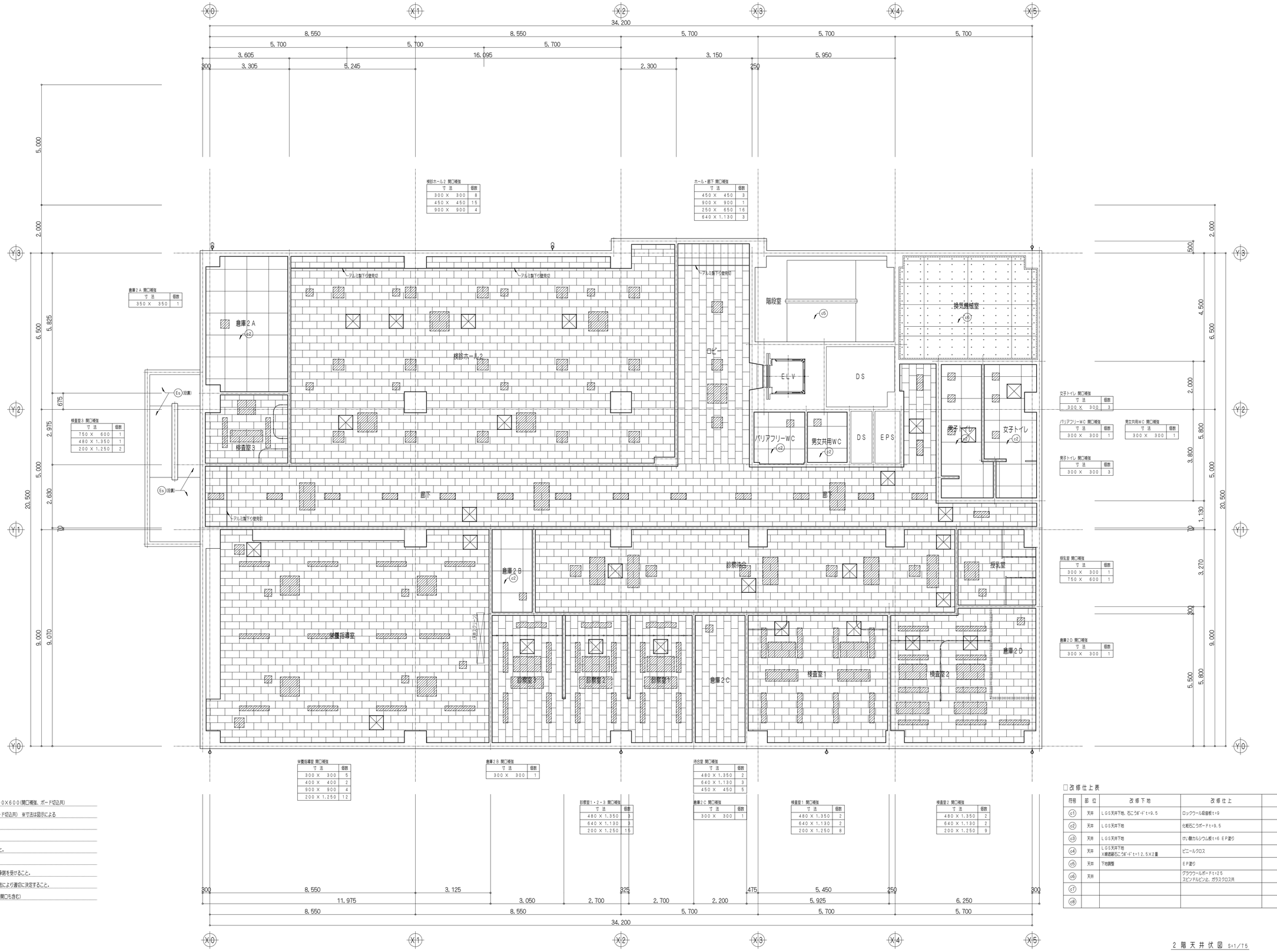
検図 齋藤出
設計 齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30.
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 改修 1階天井伏図
Scale 1/75

No. A-36

改修



凡例

- ⊠ 天井点検口：アルミ額縁 600×600（開口補強、ボード切込共）
- ▨ LGS天井下地開口補強（ボード切込共） 寸法は図示による

※符号明示なき部分は、天井：c1とする。
※壁取り合い部は壁と廻り縁を施工する。
※外部の仕上げ等は外部仕上げ表に参照のこと。
※凡例、仕上表以外の事項は図示による。
※機器位置は天井割付図を作成し、監督員の承認を受けること。
※開口補強等の寸法は参考とし、選定機器寸法により適切に決定すること。
（開口寸法の300×300は、それ以下の開口も含む）

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
c1	天井	LGS天井下地、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	ロックウール吸音板t=9	
c2	天井	LGS天井下地	化粧石こうボードt=9.5	
c3	天井	LGS天井下地	けい酸カルシウム板t=6 EP塗り	
c4	天井	LGS天井下地 ※構造躯体につなぎﾎﾞﾙﾄt=12.5×2重	ビニールクロス	
c5	天井	下地調整	EP塗り	
c6	天井		グラスウールボードt=25 スピンドルメッシュ、ガラスクロス共	
c7				
c8				

2階天井伏図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-37
		変更年月日	図面名称 改修 2階天井伏図 Scale 1/75	

改修

凡例

- ☒ 天井点検口：アルミ額縁 600×600（開口補強、ボード切込共）
- ▨ LGS天井下地開口補強（ボード切込共）、寸法は図示による

※符号明示なき部分は、天井：c1とする。
※壁取り合い部は塩ビ廻り縁を施工する。
※外部の仕上符号は外部仕上げ表に参照のこと。
※凡例、仕上表以外の事項は図示による。
※機器位置は天井割り図を作成し、監督員の承認を受けること。
※開口補強等の寸法は参考とし、選定機器寸法により適切に決定すること。
（開口寸法の300×300は、それ以下の開口も含む）

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
c1	天井	LGS天井下地、石こうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	ロックウール吸音板t=9	
c2	天井	LGS天井下地	化粧石こうボードt=9.5	
c3	天井	LGS天井下地	けい酸カルシウム板t=6 EP塗り	
c4	天井	LGS天井下地 ※倉庫部石こうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5×2重	ビニールクロス	
c5	天井	下地調整	EP塗り	
c6	天井		グラスウールボードt=25 スピンドルピン止、ガラスクロス共	
c7	天井		グラスウールボードt=50 スピンドルピン止、ガラスクロス共	



3 階 天 井 伏 図 S=1/75

4 階 天 井 伏 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	筑山市保健センター改修工事	A-38
		変更年月日	図書名称 改修 3・4階天井伏図 Scale 1/75	

現況

凡例

- 搬去範囲を示す
- 下地コンクリートt=300撤去を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：LGS壁下地100型 ※床上から天井裏躯体まで)
- 間仕切：CBt=150(トイレ：t=120) ※床上から天井裏躯体まで)

※符号明示なき部分は、床：(f1)とする。

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

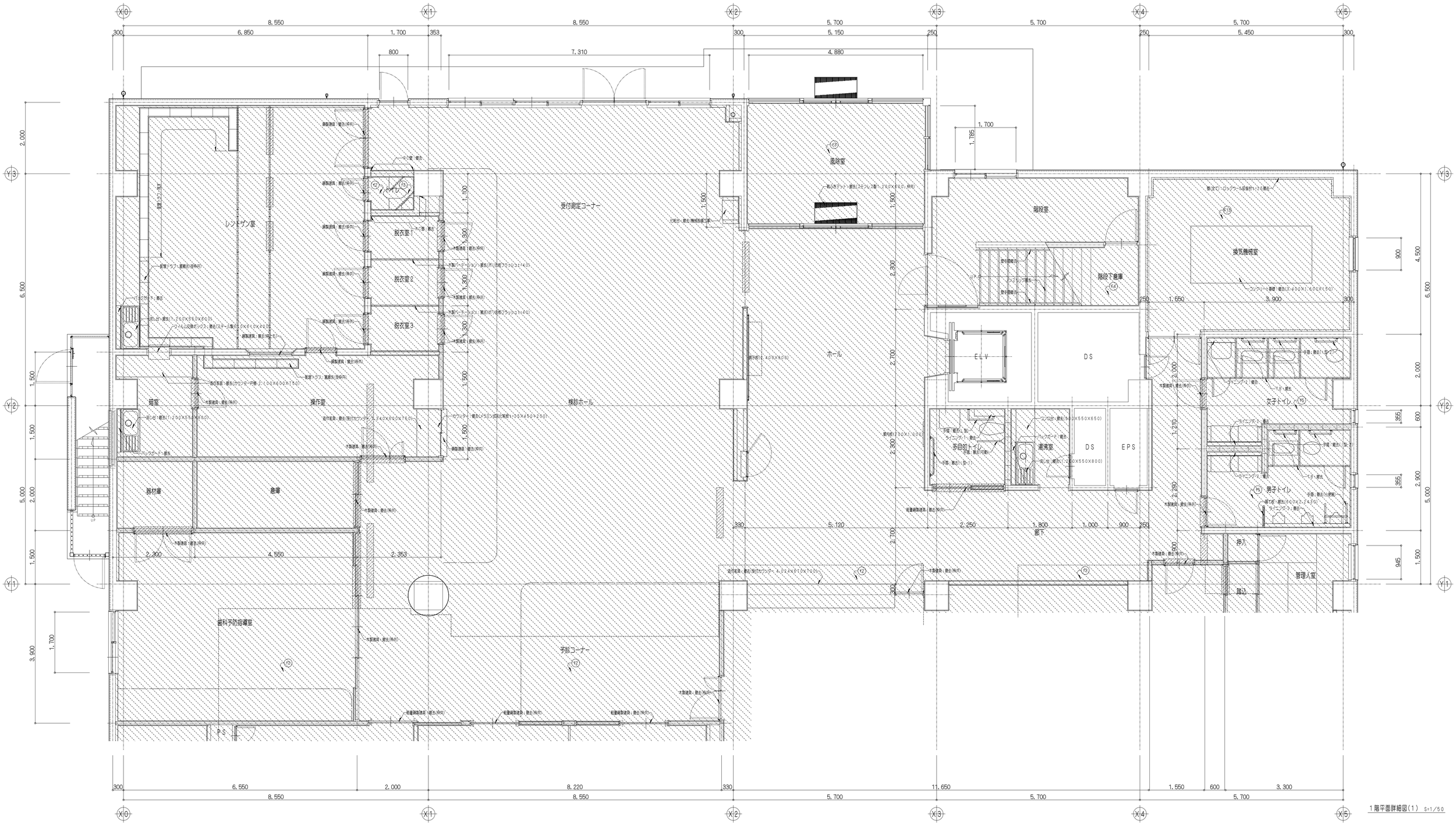
撤去仕様

- RC壁：t=150
- 建具・パーテーション：建具表参照
- ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入り W35
- 壁手摺：ビニルパンドレールφ34、アルミブラケット
- バックガード：ステンレスt=0.8 外幅225(設計下地共)
- 造作家具：主材→ポリエステル化粧合板フラッシュ
- 端て板：アルミスタッドパーテーションt=50

- TB(トイレブース)：ポリ合板フラッシュt=40、H=1,870
- 手摺：ステンレスφ38
- I型：L=1,000X90 ・ 可動：D=750X200
- L型(1)：L=700X500X300 ・ L型(2)700X500X100
- 小便器：600X480X550
- ライニング-1：CBt=100下地、仕上(※記号、仕上等は展開図参照)
- 甲板 ステンレスt=0.8加工
- ライニング-2：CBt=100下地、仕上(※記号、仕上等は展開図参照)
- 甲板 テラゾーブロックt=25

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(f1)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	仕上撤去
(f2)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	下地、仕上撤去
(f3)	床	モルタル	炻器質タイル	下地、仕上撤去
(f4)	床	モルタル	ビニル床タイルt=2.0(※3)	仕上撤去
(f5)	床	下地防水モルタルタイル	モザイクタイル	下地、仕上撤去
(f6)	床	アスファルト防水層、押えコンクリートt=60 モルタルタイル下地	モザイクタイル	下地、仕上撤去
(f13)	床	モルタル金ごて	防塵塗装	仕上撤去



1階平面詳細図(1) S=1/50

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-39
		変更年月日	図書名称 現況 1階平面詳細図(1) Scale 1/50	

現況

凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※符号明示なき部分は、床：(f1) とする。

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスｔ=0.8 糸幅２２５(面付下地共)

造作家具：主材－ポリエステル化粧合板フラッシュ

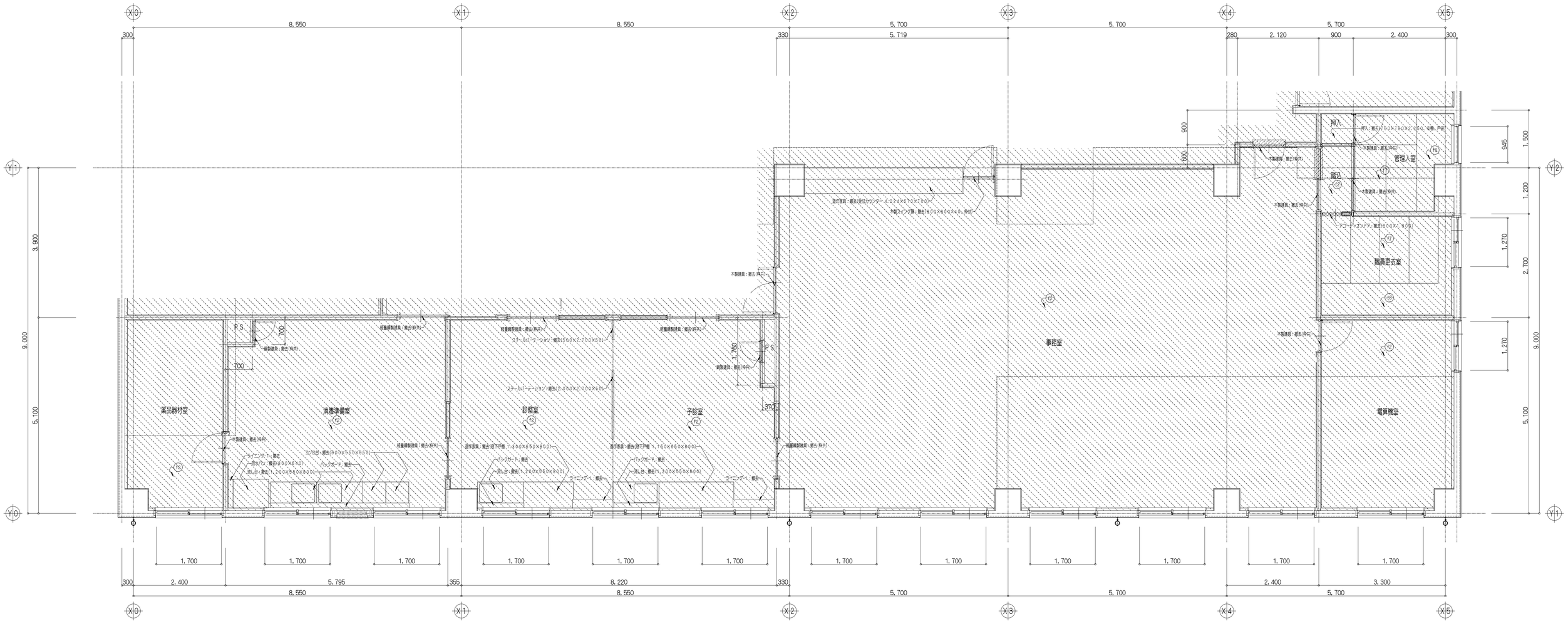
ライニング-1：ＣＢｔ=100下地、仕上(※高さ、仕上等は展開図参照)

甲板 ステンレスｔ=0.8加工

ころがし床組：大引 ４Ｘ９０@９００、根太 ４０Ｘ４５@４０

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(f1)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートｔ=2.5(※3)	仕上撤去
(f2)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートｔ=2.5(※3)	下地、仕上撤去
(f7)	床	木製ころがし床組、合板ｔ=12	たたみｔ=60	下地、仕上撤去
(f8)	床	木製ころがし床組、合板ｔ=12	寄木フロアｔ=15	下地、仕上撤去



1階平面詳細図(2) S=1/50

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-40
		変更年月日	図書名称 現況 1階平面詳細図(2) Scale 1/50	

現況

凡例

- 撤去範囲を示す
- 下地コンクリートt=180撤去を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：LGS壁下地100型 ※床上から天井裏躯体まで)
- 間仕切：CBt=150(トイレ：t=120) ※床上から天井裏躯体まで)

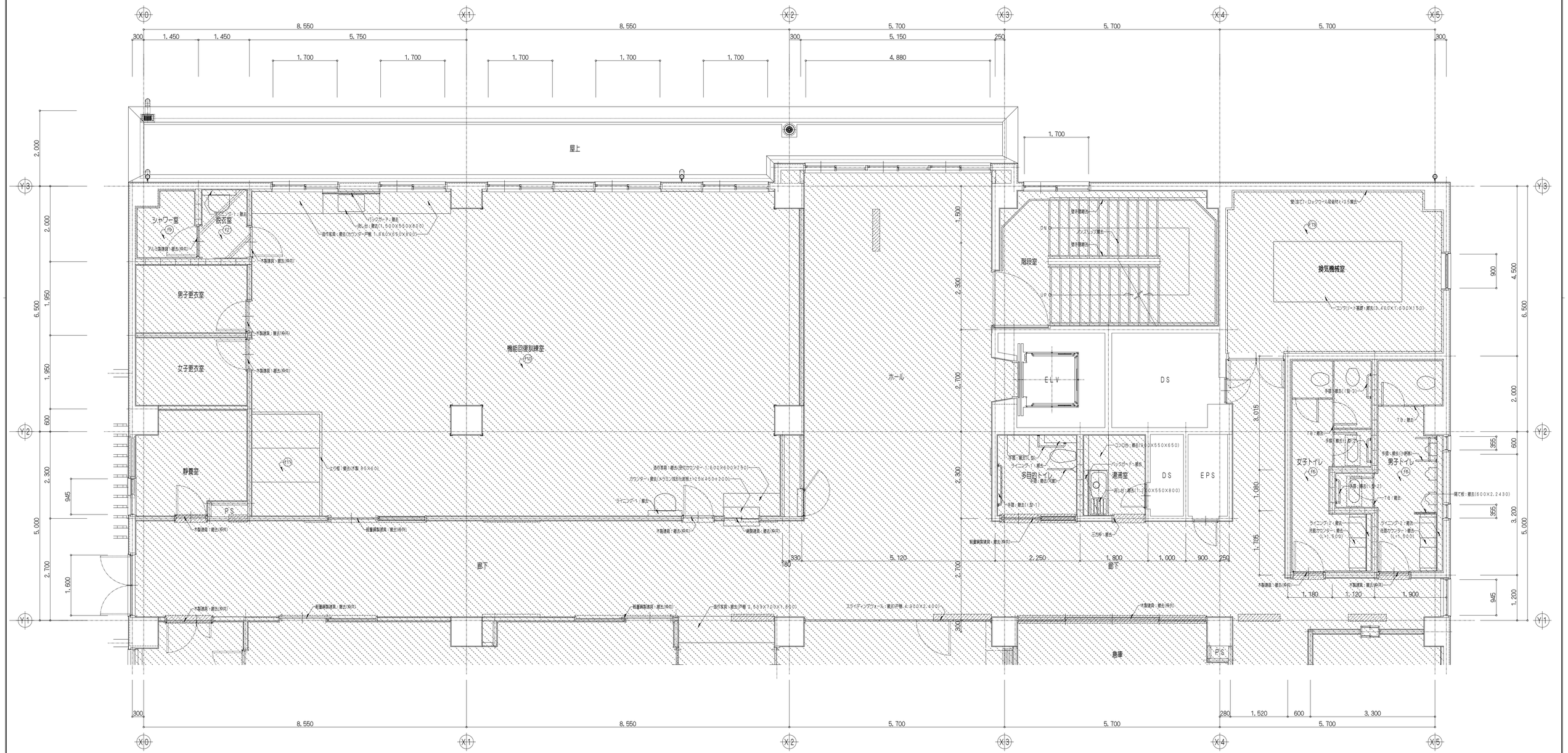
※符号明示なき部分は、床：(f1)とする。
※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。
※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること
※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。
※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様	
建具・パーテーション：建具表参照	
ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入りW35	
壁手摺：ビニルバンドレールφ34、アルミブラケット	
バックガード：ステンレスt=0.8 共幅225(取付下地共)	
造作家具：主材－ポリエステル化粧台板フラッシュ	
扉で板：アルミスタッドパーテーションt=50	
束立束組：大引・束 90X90@900、根太 40X45@40	
スライディングウォール：鋼製台板フラッシュ(ロックウール充填) 吸込60mm	
三方枠：スチール製180X25	

TB(トイレブース)：ポリ合板フラッシュt=40、H=1,870	
手摺：ステンレスφ38	
I型：L=1,000X90 ・ 可動：D=750X200	
L型(1)：L=700X500X300 ・ L型(2)700X500X1000	
小便器：600X480X550	
ライニング-1：CBt=100下地、仕上(※1)表参照	
甲板 ステンレスt=0.8加工	
ライニング-2：CBt=100下地、仕上(※1)表参照	
甲板 テラゾーブロックt=25	
洗面カウンター：人造大理石D=478+150	

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(f1)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	仕上撤去
(f2)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートt=2.5(※3)	下地、仕上撤去
(f6)	床	アスファルト防水層、押えコンクリートt=60 モルタルタイル下地	モザイクタイル	下地、仕上撤去
(f9)	床	均しモルタルt=30、アスファルト防水層 保護モルタルt=15、押えコンクリートt=60 防水モルタルタイル下地	モザイクタイル	下地、仕上撤去
(f10)	床	モルタル	フローリングブロックt=15	**下地、仕上撤去**
(f11)	床	木製つの立床組、合板t=12	たたみt=60	**下地、仕上撤去**
(f13)	床	モルタル金ごて	防塵塗装	仕上撤去



2階平面詳細図(1) S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	構造	設計	設計年月日 R8.1.30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-41
				変更年月日	図書名称 現況 2階平面詳細図(1) Scale 1/50	

現況

凡例

- 搬去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※符号明示なき部分は、床：(f1) とする。

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅２２５(据付下地共)

造作家具：主材－ポリエステル化粧合板フラッシュ

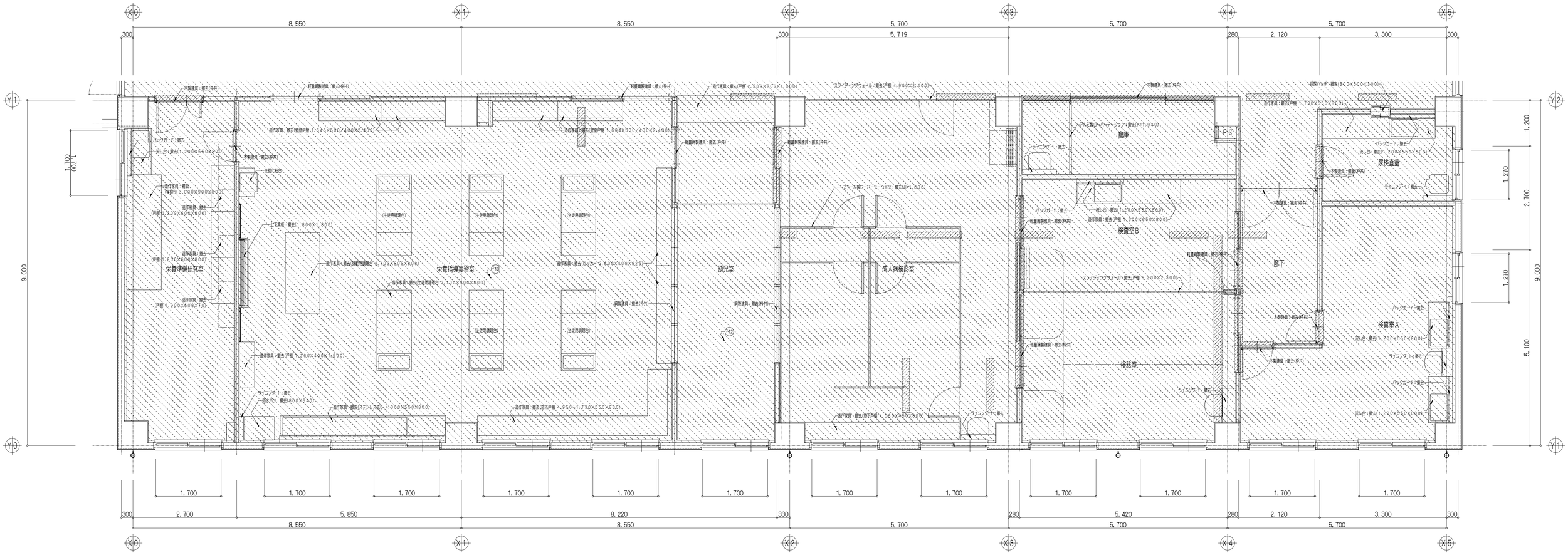
ライニング－１：ＣＢｔ＝１００下地、仕上(※高さ、仕上等は展開図参照)

甲板 ステンレスｔ＝0.8加工

束立床組：大引・束 ９０Ｘ９０＠９００、根太 ４０Ｘ４５＠４０

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(f1)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートｔ＝２.５(※３)	仕上撤去
(f2)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートｔ＝２.５(※３)	下地、仕上撤去
(f10)	床	モルタル	フローリングブロックｔ＝１５	下地、仕上撤去
(f12)	床	木製つの立床組、合板ｔ＝１２	クッションフロア	下地、仕上撤去



2階平面詳細図(2) S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検図	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No. A-42
				変更年月日	図面名称	現況 2階平面詳細図(2)	Scale 1/50

現況

凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)
- 間仕切：ＣＢｔ＝１５０(トイレ：ｔ＝１２０) ※床上から天井裏躯体まで)

※符号明示なき部分は、床：ⓕ1 とする。

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※３)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入りＷ３５

壁手摺：ビニルバンドレールφ３４、アルミブラケット

バックガード：ステンレスｔ＝０．８ 共幅２２５(取付下地共)

造作家具：ミサワ－ポリエステル化粧台板フラッシュ

扉で板：アルミスタッドパーテーションｔ＝５０

三方枠：スチール製１８０Ｘ２５

Ｔ８(トイレブース)：ポリ合板フラッシュｔ＝４０、Ｈ＝１，８７０

手摺：ステンレスφ３８

Ｉ型：Ｌ＝１，０００Ｘ９０ ・ 可動：Ｄ＝７５０Ｘ２００

Ｌ型(１)：Ｌ＝７００Ｘ５００Ｘ３００ ・ Ｌ型(２)７００Ｘ５００Ｘ１００

小便器：６００Ｘ４８０Ｘ５５０

ライニング－１：ＣＢｔ＝１００下地、仕上(※基礎、仕上等は展開図参照)

甲板 ステンレスｔ＝０．８加工

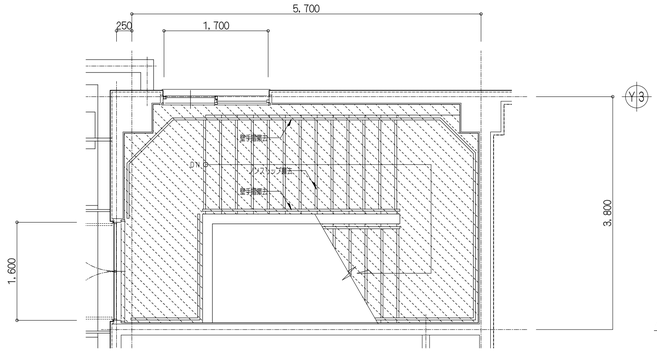
ライニング－２：ＣＢｔ＝１００下地、仕上(※基礎、仕上等は展開図参照)

甲板 テラゾーブロックｔ＝２５

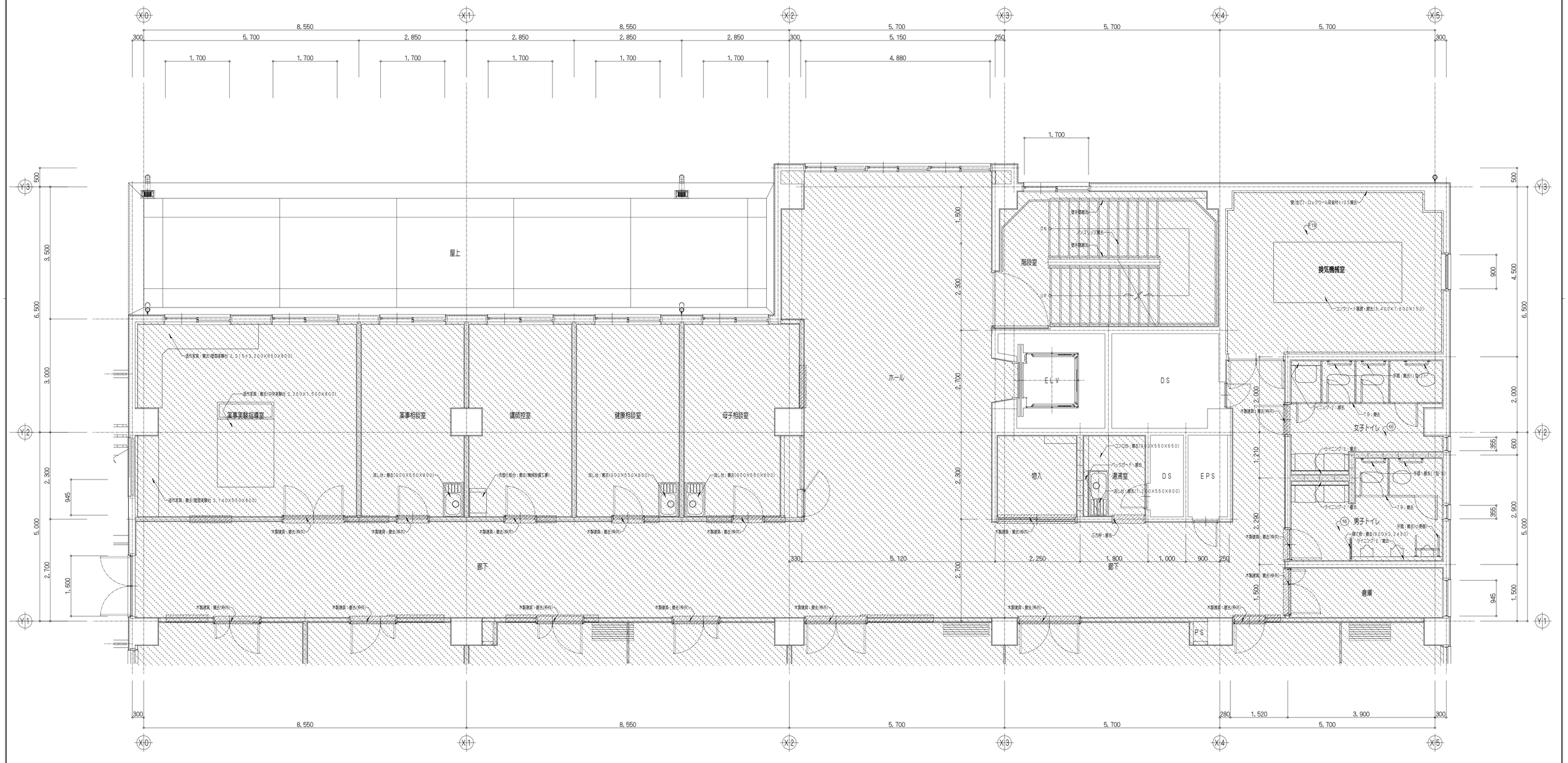
洗面カウンター：人造大理石Ｄ＝４７８＋１５０

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
ⓕ1	床	モルタル金ごて	ビニル床シートｔ＝２．５	仕上撤去
ⓕ2	床	モルタル金ごて	ビニル床シートｔ＝２．５	下地、仕上撤去
ⓕ6	床	アスファルト防水層、押えコンクリートｔ＝６０ モルタルタイル下地	モザイクタイル	下地、仕上撤去
ⓕ13	床	モルタル金ごて	防塵塗装	仕上撤去



4階平面詳細図(階段室) S=1/50


X0
X1
X2
X3
X4
X5
8,550
8,550
5,700
5,700
5,700
300
5,700
2,850
2,850
2,850
2,850
300
5,150
250
300
1,700
1,700
1,700
1,700
1,700
1,700
4,880
Y3
Y2
Y1
500
3,500
6,500
3,000
2,300
945
5,000
2,700
1,600
屋上
1,700
1,800
2,300
2,700
階段室
壁撤去
ひび割れ補修
壁撤去
撤去
新設
撤去
撤去
撤去

現況

凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※符号明示なき部分は、床：(f1) とする。

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスｔ=0.8 糸幅２２５(面付下地共)

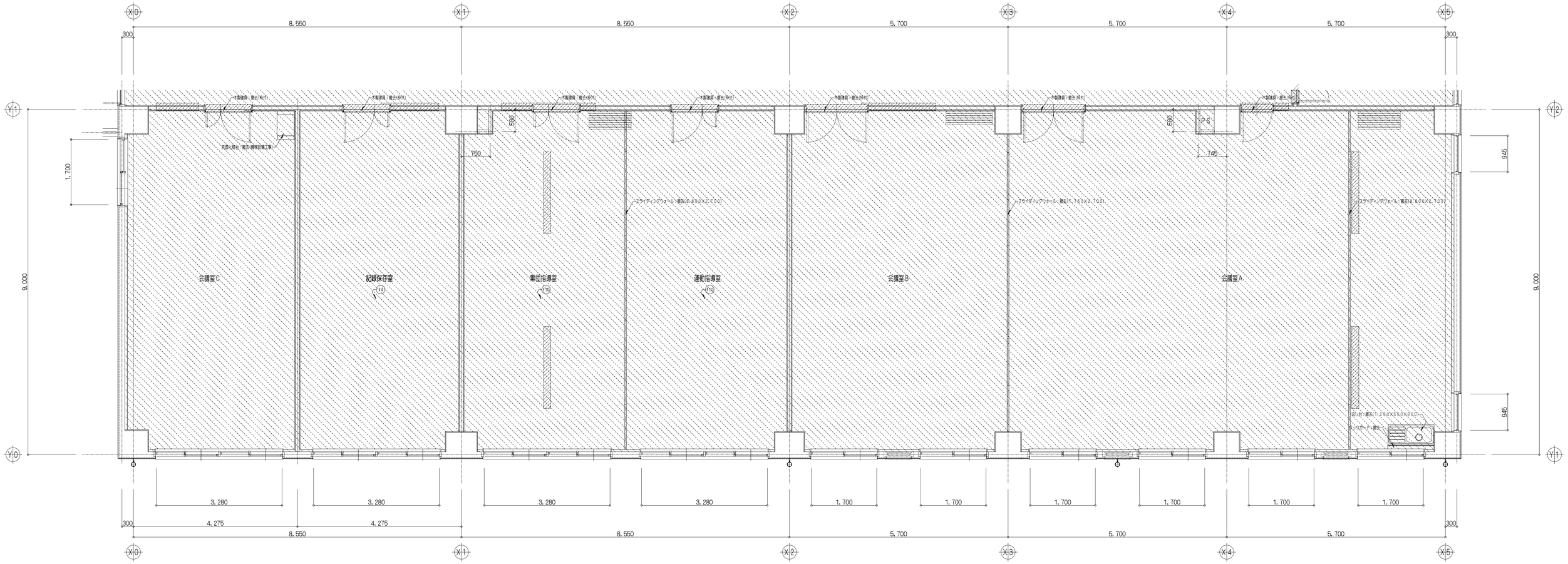
ライニング-1：ＣＢｔ=１００下地、仕上(※高さ、仕上等は展開図参照)

甲板 ステンレスｔ=0.8加工

スライディングウォール：撤去(8,800×2,100)

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(f1)	床	モルタル金ごて	ビニル床シートｔ=2.5(※3)	仕上撤去
(f4)	床	モルタル	ビニル床タイルｔ=2.0(※3)	仕上撤去
(f10)	床	モルタル	フローリングブロックｔ=15	下地、仕上撤去



3階平面詳細図(2) S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検図	設計	設計年月日 R8.1.30	工事名称 筑山市保健センター改修工事		No. A-44
				変更年月日	図面名称 現況 3階平面詳細図(2)	Scale 1/50	

改修

凡例

建具はつりモルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)

和風便器撤去後床補修箇所を示す

開口切：ＬＧＳ壁下地６５形 米@４５０床上から天井裏躯体まで)

※符号明示なき部分は、床：(f1) とする。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・ＳＳ・ＰＴ・ＴＢ：建具表参照

[Ｆ-○○]：新設造作家具(家具図参照)

白板・掲示板：詳細図参照

ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入り Ｗ３５

壁手摺：ビニルパンドレール φ３４(点字表示 計２カ所)、アルミブラケット

Ｆ.Ｐ：ステンレス製床見切 ４０Ｘ２.０

三方枠・額枠：ステンレスＨＬ仕上げ ２５ＸＷ

消火器：半埋込消火器収納箱(スチールｔ=１.２、扉付き) ※設置場所は現場調整

衝突防止帯：自動ドア用安全ガード Ｗ９００ＸＨ１,０００

フレーム ＦＢ-９Ｘ４０(ＳＵＳ ＨＬ)、パネル 透明ポリカーボネートｔ=５

トイレパック：コンパクト・パルアフリートイレパック(機械設備工事)

汚だれタイル：ハイドロテクトタイル(抗菌・抗ウィルス)ｔ=７

Ｂ.Ｂ(ベビーベッド)：樹脂製(跳ね上げ式) ７８０Ｘ１３０

Ｂ.Ｃ(ベビーチェア)：樹脂製(折りたたみ式) ２８０ＸＤ９Ｘ１,１５０

手洗カウンター：人造大理石(ボウル一体形) Ｄ＝４００、Ｈ＝２００

手摺：樹脂被覆タイプ φ３４

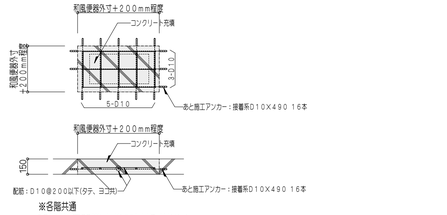
Ａ：Ｌ形 ７００Ｘ７００Ｘ９００ ・ Ｂ：U便器 ６００Ｘ４８０Ｘ５５０

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(f1)	床	ケレン清掃	ビニル床シートｔ=２.０	
(f2)	床	セルフレベリング床材ｔ=２８(セメント系)	ビニル床シートｔ=２.０	
(f3)	床	モルタル金ごてｔ=２８	無機系遮硬性薄層デザイン床	
(f4)	床	ＯＡフロアＨ=５０(仕上材厚含む)	等電防止置敷ビニル床タイルｔ=４	
(f5)	床	調製置床、パーティクルボードｔ=２０ Ｔ-１合板ｔ=１２	ビニル床シートｔ=２.５(関連・防汚)	

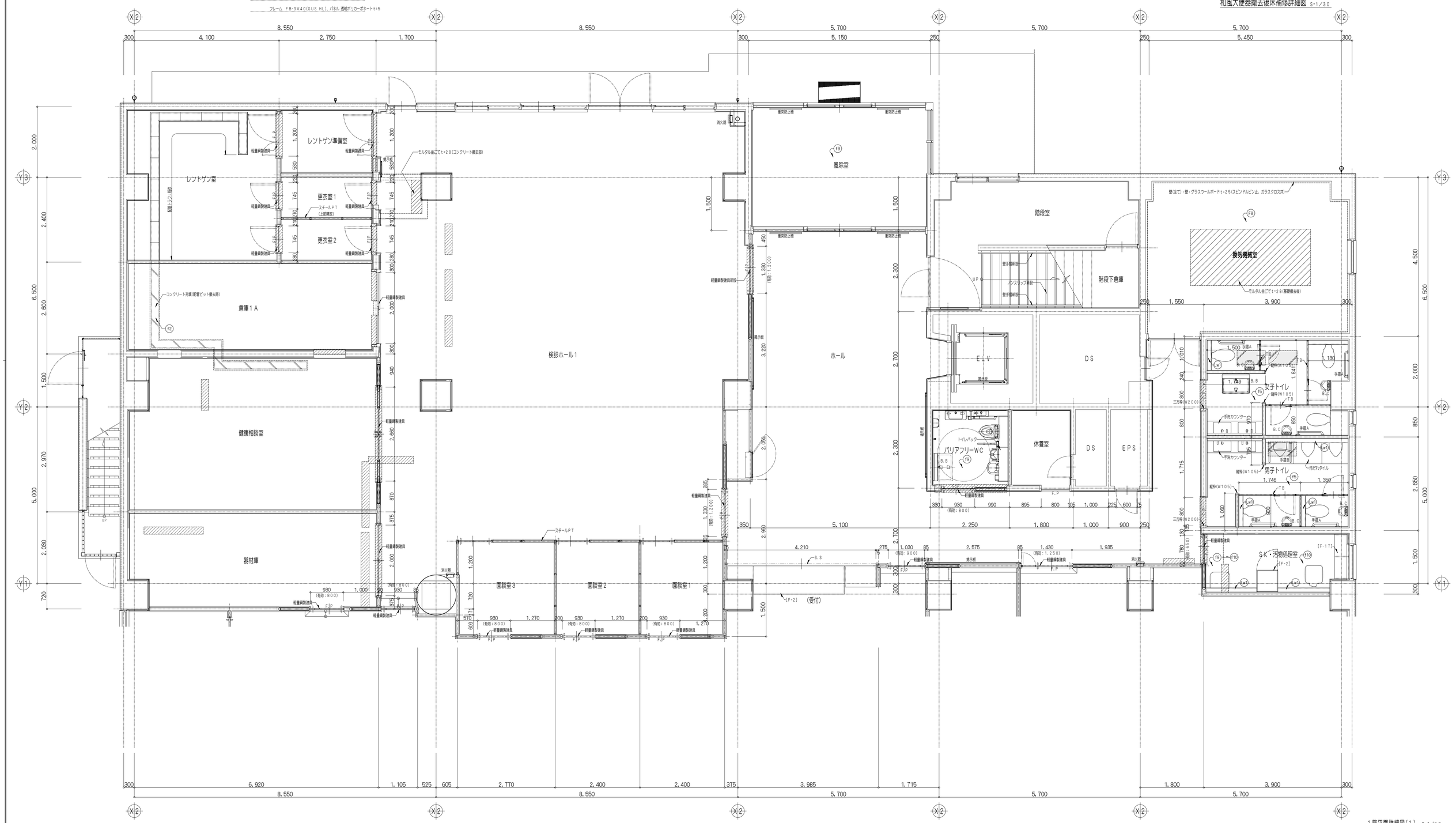
□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(f6)	床	下地調整	エポキシ樹脂塗床(薄膜流しのべ)(防滑仕上)ｔ=１.２	
(f9)	床	ケレン清掃	ビニル床シートｔ=２.５(関連・防汚)	
(f10)	床	セルフレベリング床材ｔ=２８(セメント系)	ビニル床シートｔ=２.５(関連・防汚)	
(w)	ラインング	軽量鉄骨壁下地６５形@３００ Ｔ-１合板ｔ=１２Ｘ２	メラミン化粧板ｔ=３(目地シーリング) 甲板：メラミンポストフォームｔ=２０Ｘ１５０	



※各階共通

和風大便器撤去後床補修詳細図 S=1/30



1階平面詳細図(1) S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第３２６０８１号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 変更年月日	工事名称 狭山市保健センター改修工事 図面名称 改修 1階平面詳細図(1) Scale 1/50	No. A-45

改修

凡例

建具はつりモルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)

開仕切：ＬＧＳ壁下地65形 ※@450床上から天井裏躯体まで)

※符号無示なき部分は、床：(f1)とする。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・ＳＳ・ＰＴ・ＴＢ：建具表参照

[Ｆ-○○]：新設造作家具(家具図参照)

白板・掲示板：詳細図参照

ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入りＷ35

壁手摺：ビニルパンドレール@34、アルミブラケット

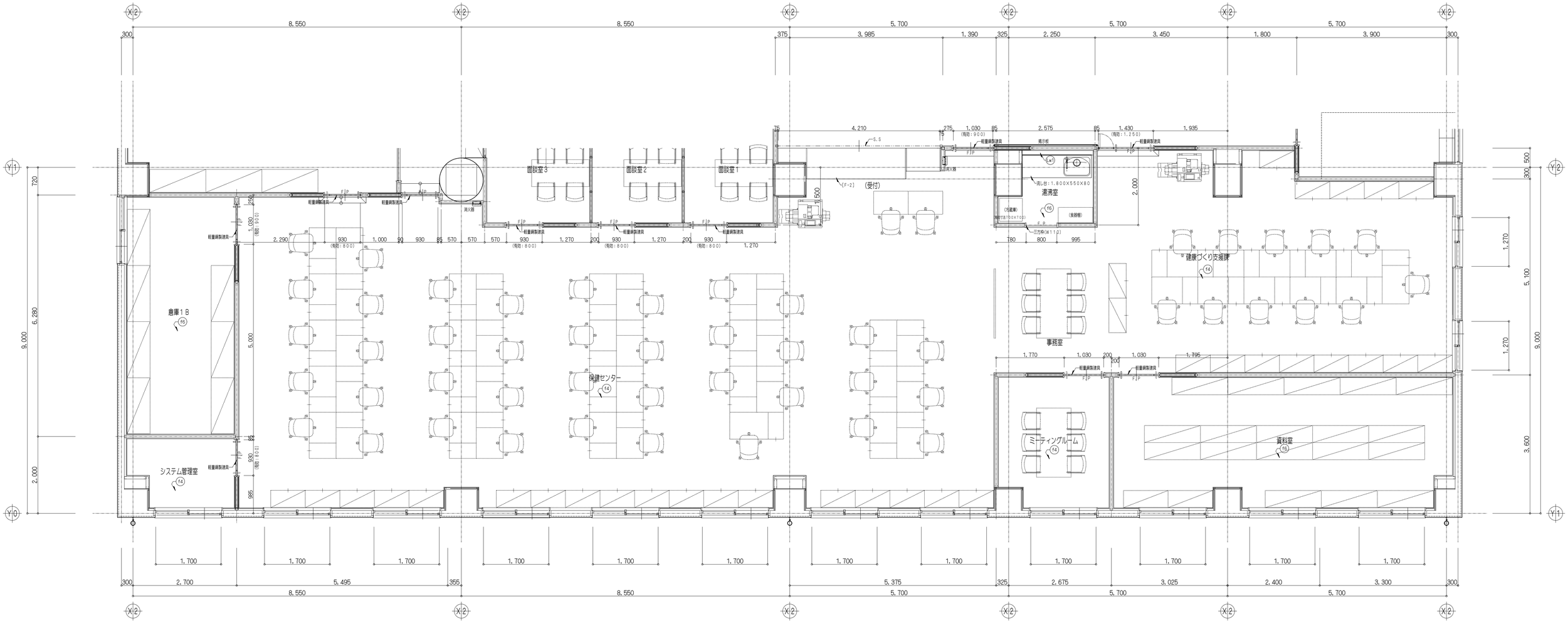
Ｆ.Ｐ：ステンレス製床見切 40Ｘ2.0

三方枠・額枠：ステンレスＨＬ仕上げ 25ＸＷ

消火器：半埋込消火器収納箱(スチールt=1.2、扉付き) ※設置場所は現場確認

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(f1)	床	ケレン清掃	ビニル床シートt=2.0	
(f4)	床	ＯＡフロアＨ=50(仕上材厚含む)	帯電防止置敷ビニル床タイルt=4	
(f6)	床	セルフレベリング床材t=18(セメント系)	ビニル床シートt=2.0	
(w)	ライニング	軽量鉄骨壁下地65形@300 t=1合板t=12Ｘ2	メラミン化粧板t=3(目地シーリング) 巾木：メラミンポストフォームt=20Ｘ150	



1階平面詳細図(2) S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一般建築士 第326081号 齋藤出	構造	設計	設計年月日 R.8.1.30 / 変更年月日	工事名称 筑山市保健センター改修工事 / 図面名称 改修 1階平面詳細図(2) Scale 1/50	No. A-46

改修

凡例

- 建具はつりモルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)
- 転倒便器撤去後床補修箇所を示す
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地６５形 ※@４５０床上から天井裏躯体まで)

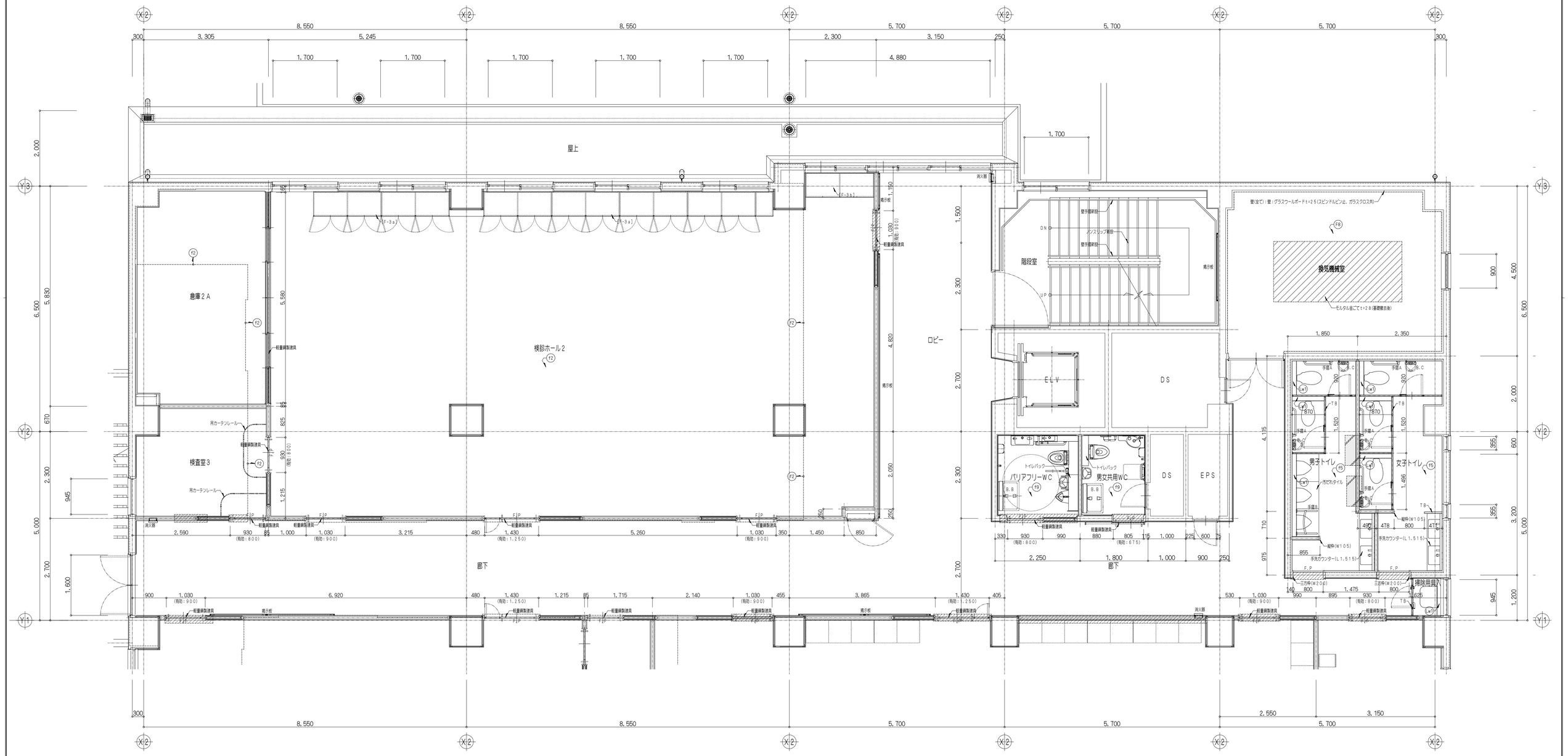
※符号明示なき部分は、床：(f1) とする。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様	
建具・ＳＳ・ＰＴ・ＴＢ：建具表参照	トイレパック：コンパクト・パルアフリートイレパック(機械設備工事)
[Ｆ－○○]：新設造作家具(家具図参照)	汚だれタイル：ハイドロテクトタイル(抗菌・抗ウィルス)ｔ＝７
白板・掲示板：詳細図参照	Ｂ､Ｂ(ベビーベッド)：樹脂製(跳ねとげ式) Ｔ８０Ｘ１３０
ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入りＷ３５	Ｂ､Ｃ(ベビーチェア)：樹脂製(折りたたみ式) Ｗ８０ＸＤ９Ｘ１､１５０
壁手摺：ビニルパンドレールφ３４(点字表示 計２４カ所)、アルミブラケット	手洗カウンター：人造大理石(ボウル一体形) Ｄ＝４００、Ｈ＝２００
Ｆ､Ｐ：ステンレス製床見切 ４０Ｘ２､０	手摺：樹脂被覆タイプφ３４
三方枠・縦枠：ステンレスＨＬ仕上げ ２５ＸＷ	Ａ：Ｌ形 ７００Ｘ７００Ｘ９０ ・ Ｂ：Ｕ便器 ６００Ｘ４８０Ｘ５５０
消火器：半埋込消火器収納箱(スチールｔ＝１､２、扉付き) ※設置場所は現場確認	

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(f1)	床	ケレン清掃	ビニル床シートｔ＝２､０	
(f2)	床	セルフレベリング床材ｔ＝２８(セメント系)	ビニル床シートｔ＝２､０	
(f5)	床	鋼製置床、パーチクルボードＦｔ＝２０ Ｔ－１合板ｔ＝１２	ビニル床シートｔ＝２､５(関連・防汚)	
(f8)	床	下地調整	エポキシ樹脂塗床(薄膜流しのべ防滑仕上)ｔ＝１､２	
(f9)	床	ケレン清掃	ビニル床シートｔ＝２､５(関連・防汚)	
(w1)	ライニング	軽量鉄骨壁下地６５形@３００ Ｔ－１合板ｔ＝１２Ｘ２	メラミン化粧板ｔ＝３(目地シーリング) 巾木：メラミンポストフォームｔ＝２０Ｘ１５０	



2階平面詳細図(1) S=1/50

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検図	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-47
					変更年月日	図面名称 改修 2階平面詳細図(1) Scale 1/50	

改修

凡例

建具はつりモルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)

開仕切：ＬＧＳ壁下地６５形 ※@４５０床上から天井裏躯体まで)

※符号無示なき部分は、床：(f1) とする。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・ＳＳ・ＰＴ・ＴＢ：建具表参照

[Ｆ－○○]：新設造作家具(家具図参照)

白板・掲示板：詳細図参照

ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入りＷ３５

壁手摺：ビニルパンドレール⌀３４、アルミブラケット

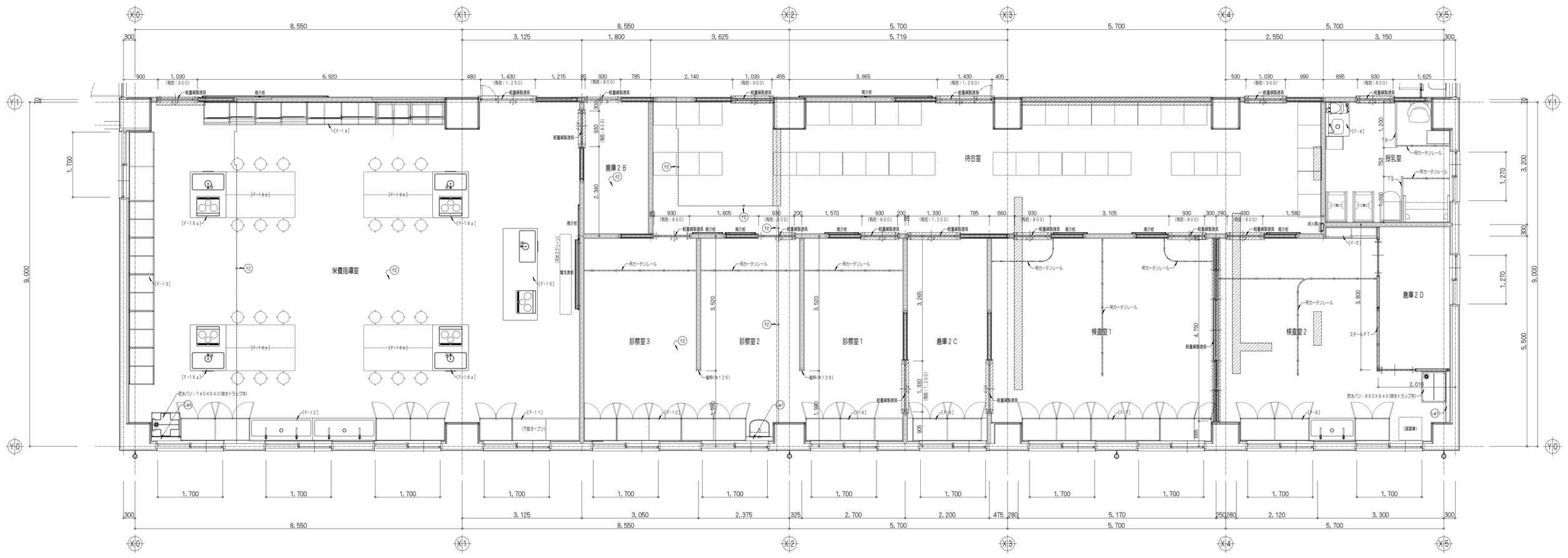
Ｆ．Ｐ：ステンレス製床見切 ４０Ｘ２．０

三方枠・額枠：ステンレスＨＬ仕上げ ２５ＸＷ

消火器：半埋込消火器収納箱(スチールｔ＝１．２、扉付き) ※設置場所は現場確認

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(f1)	床	ケレン清掃	ビニル床シートｔ＝２．０	
(f2)	床	セルフレベリング床材ｔ＝２８(セメント系)	ビニル床シートｔ＝２．０	
(w)	ライニング	軽量鉄骨壁下地６５形@３００ Ｔ－１合板ｔ＝１２Ｘ２	メラミン化粧板ｔ＝３(目地シーリング) 巾木：メラミンポストフォームｔ＝２０Ｘ１５０	



２階平面詳細図(２) S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第３２６０８１号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R８．１．３０ 変更年月日	工事名称	筑山市保健センター改修工事	No. A-48
					図面名称	改修 ２階平面詳細図(２)	Scale 1/50

改修

凡 例

- 建具はつりモルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)
- 和風便器撤去後床躯体部分を示す
- 間仕切: ＬＧＳ壁下地65形 ※@450床上から天井裏躯体まで)

※符号明示なき部分は、床: (f1)とする。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB: 建具表参照

[F-OO]: 新設造作家具 家具図参照

台形: 掲示板 詳細図参照

ノンスリップ: ステンレス製ｱﾙﾐﾀｲﾔ入りW35

壁手摺: ビニルﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙφ34(点字表示 封24か所)、アルミブラケット

Ｆ.Ｐ: ステンレス製床開口 40×2.0

三方枠・額枠: ステンレスHL 仕上げ25×W

消火器: 半埋込消火器収納箱 スチール t=1.2、扉(付) ※設置場所は現場確認

トイレパック: コンパクト・バリアフリートイレパック(機能回復工事)

汚れたタイル: ハイドロテクトタイル(抗菌・抗ウィルス)t=7

B.B(ベビーベッド): 壁面設置 跳ね上げ式 780×130

B.C(ベビーチェア): 壁面設置 折りたたみ式 280×09×1,150

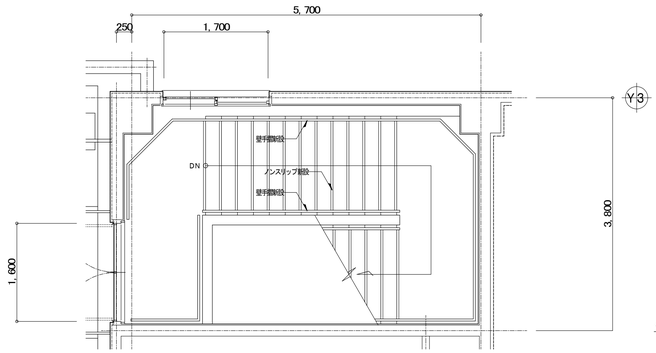
手洗カウンター: 人造大理石 ボウル一体型 D=400、H=200

手摺: 壁面被覆タイプφ34

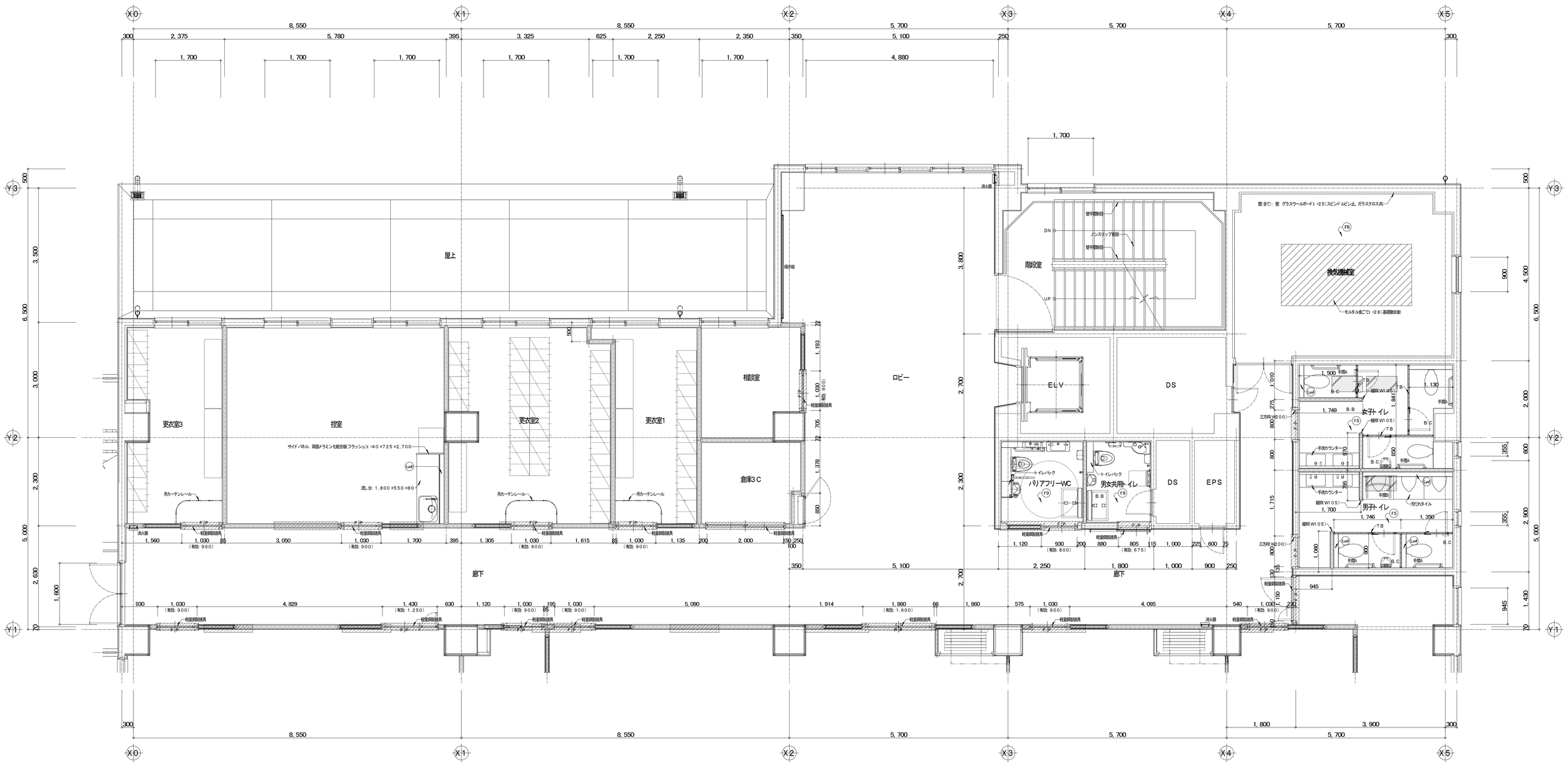
A:L形 700×700×90 ・ B:小便器 600×480×550

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(f1)	床	ケレン清掃	ビニル床シート t=2.0	
(f2)	床	セルフレベリング床勾 t=28(セメント系)	ビニル床シート t=2.0	
(f5)	床	開口囲床、パーチクルボード t=20 T-1 合板 t=12	ビニル床シート t=2.5(防滑・防汚)	
(f8)	床	下地調整	エポキシ樹脂塗床 潮風型、のべ防滑仕上t=1.2	
(f9)	床	ケレン清掃	ビニル床シート t=2.5(防滑・防汚)	
(Lw)	ラインング	軽量鉄骨壁下地65形@300 T-1 合板 t=12×2	メラミン化粧板 t=3(目地シーリング) 平張、メラミンポスト・フォーム t=20×150	



4階平面詳細図 階段室 S=1/50



3階平面詳細図(1) S=1/50

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事
		齋藤出	齋藤出	変更年月日	図面名称 改修 3階平面詳細図(1)・4階平面詳細図 階段
					Scale 1/50
					No. A-49

改修

凡例

建具はつりモルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)

間仕切：ＬＧＳ壁下地６５形 ※@４５０床上から天井裏躯体まで)

※符号無示なき部分は、床：(f1)とする。

※床レール・床見切：下地新設部分以外は溝はつりの上、設置する。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・可動間仕切・ＳＳ・ＰＴ・ＴＢ：建具表参照

[Ｆ-○○]：新設造作家具(家具図参照)

白板・黒小板：詳細図参照

ノンスリップ：ステンレス製ゴムタイヤ入りＷ３５

壁手摺：ビニルパンドレール⌀３４、アルミブラケット

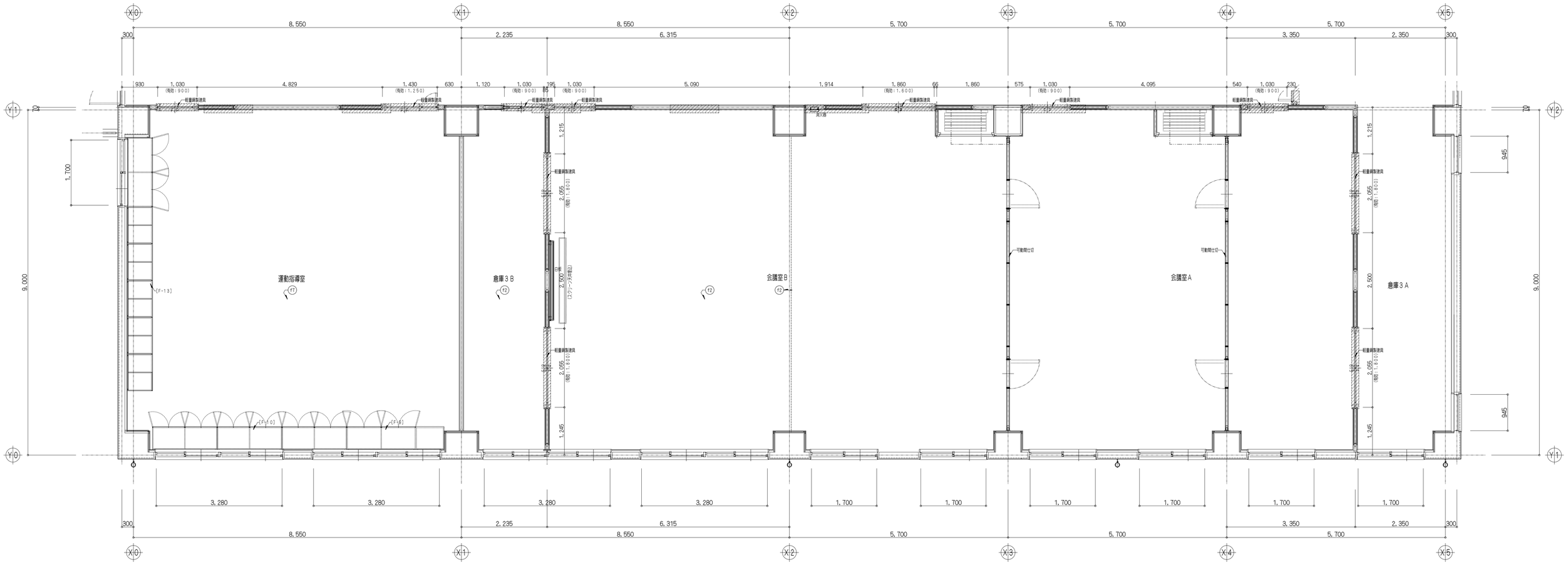
Ｆ.Ｐ：ステンレス製床見切 ４０Ｘ２.０

三方枠・額枠：ステンレスＨＬ仕上げ ２５ＸＷ

消火器：半埋込消火器収納箱(スチールｔ=１.２、扉付き) ※設置場所は現場確認

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(f1)	床	ケレン清掃	ビニル床シートｔ=２.０	
(f2)	床	セルフレベリング床材ｔ=２８(セメント系)	ビニル床シートｔ=２.０	
(f7)	床	ケレン清掃	ビニル床シートｔ=３.５(ＨＳ)	
(w1)	ライニング	軽量鉄骨壁下地６５形@３００ Ｔ-１合板ｔ=１２Ｘ２	メラミン化粧板ｔ=３(目地シーリング) 甲板：メラミンポストフォームｔ=２０Ｘ１５０	

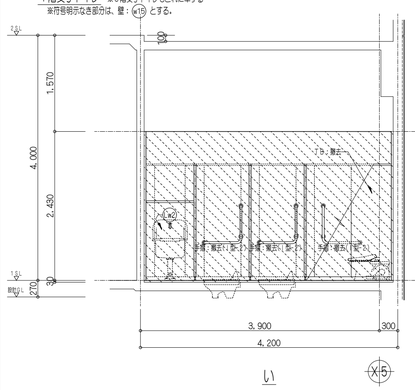


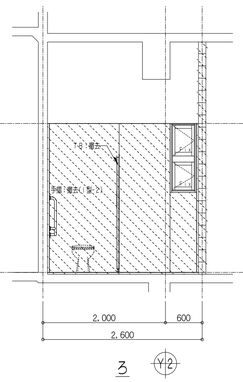
3階平面詳細図(2) S=1/50

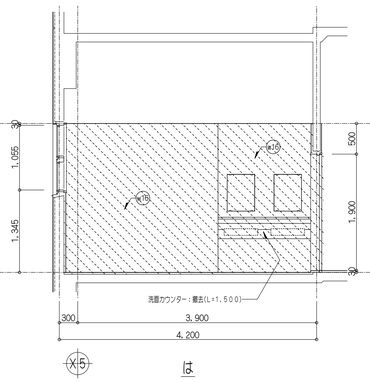
特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第３２６０８１号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 Ｒ ８．１．３０ 変更年月日	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-50
						図面名称 改修 ３階平面詳細図(2) Scale 1/50	

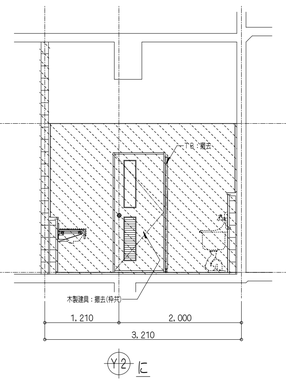
1階女子トイレ　※3階女子トイレもこれに準ずる

※符号明示なき部分は、壁：(w15)とする。



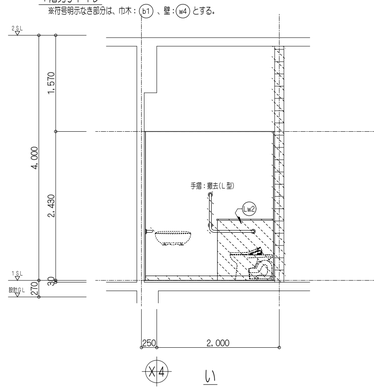


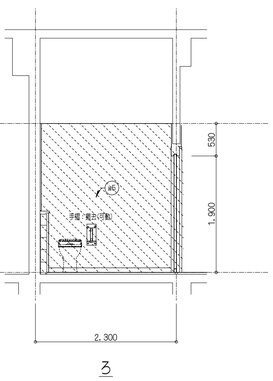




1階男子トイレ

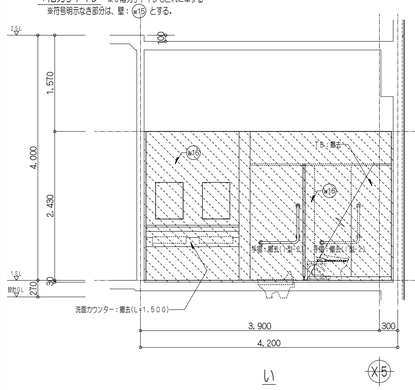
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w4)とする。

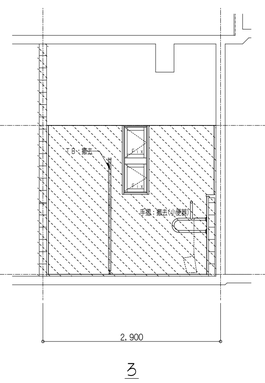


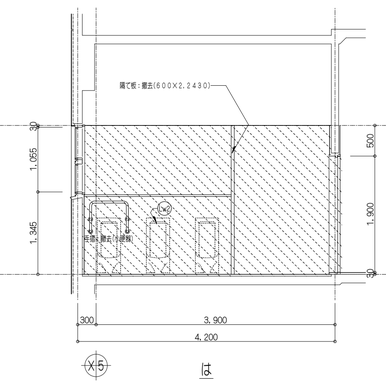


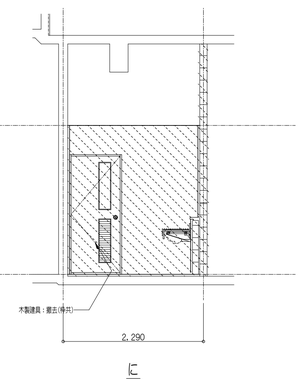
1階男子トイレ　※3階男子トイレもこれに準ずる

※符号明示なき部分は、壁：(w15)とする。



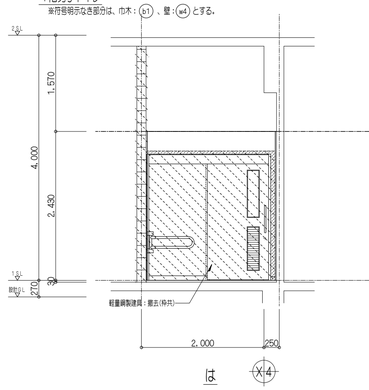


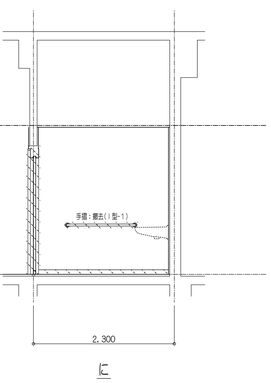




1階男子トイレ

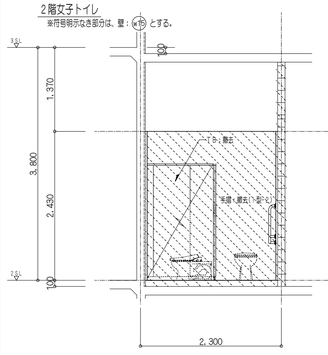
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w4)とする。

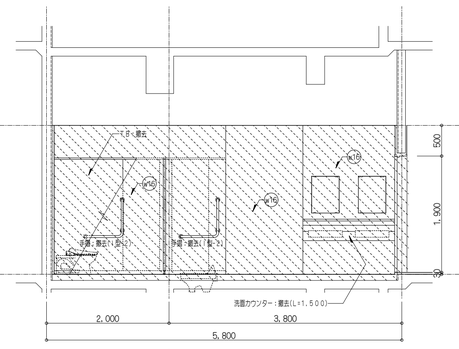


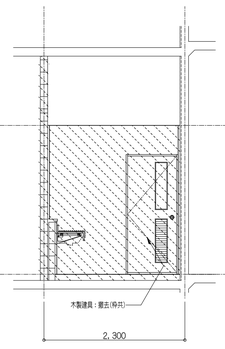


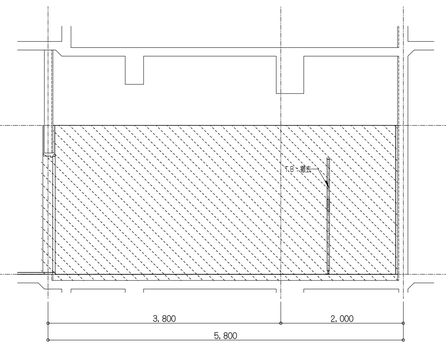
2階女子トイレ

※符号明示なき部分は、壁：(w15)とする。



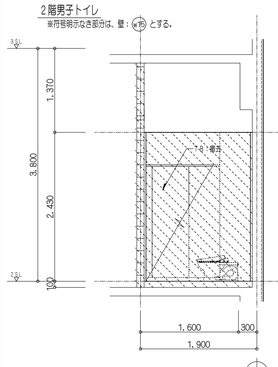


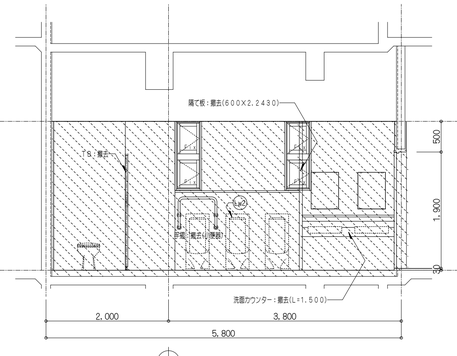


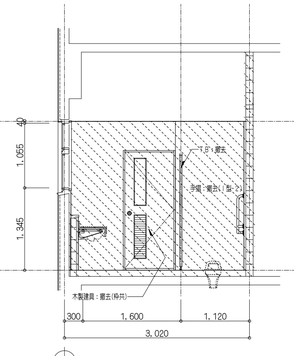


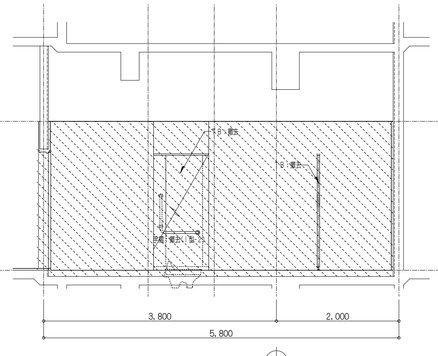
2階男子トイレ

※符号明示なき部分は、壁：(w15)とする。









凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：CBt=150(トイレ：t=120) ※床上から天井裏躯体まで

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

TB(トイレブース)：ポリ合板フラッシュt=40、H=1,870

手摺：ステンレスφ38

Ⅰ型：L=1,000X90 ・ 可動：D=750X200

L型(1)：L=700X500X300 ・ L型(2)700X500X100

小便器：600X480X550

隔て板：アルミスタッドパーテーションt=50

洗面カウンター：人造大理石D=478+150

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	VP塗り	面貼り仕上げ
(w5)	壁	CB積み、モルタル金ごて	VP塗り	下地、仕上撤去
(w15)	壁	(RC壁)、モルタルタイル下地	陶器質タイル	下地、仕上撤去
(w16)	壁	CBt=150積み、モルタルタイル下地	陶器質タイル	下地、仕上撤去
(w1)	ライニング	CBt=100、モルタル金ごて	VP塗り 甲板 ステンレスt=0.8加工	下地、仕上撤去
(w2)	ライニング	CBt=100、モルタルタイル下地	陶器質タイル 甲板 テラゾーブロックt=25	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室
一般建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出　設計 齋藤出

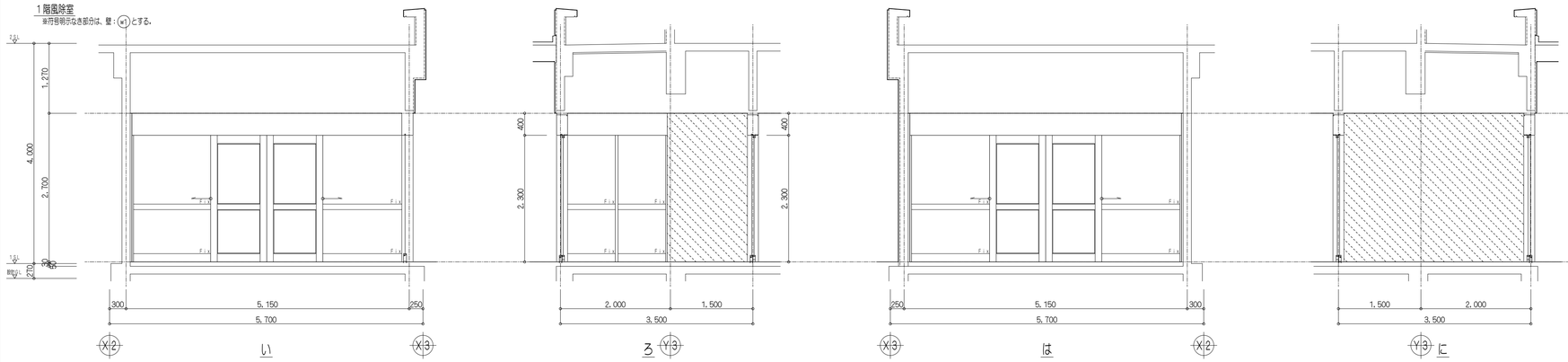
設計年月日 R8.1.30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 現況 展開図WC
Scale 1/50

No. A-51

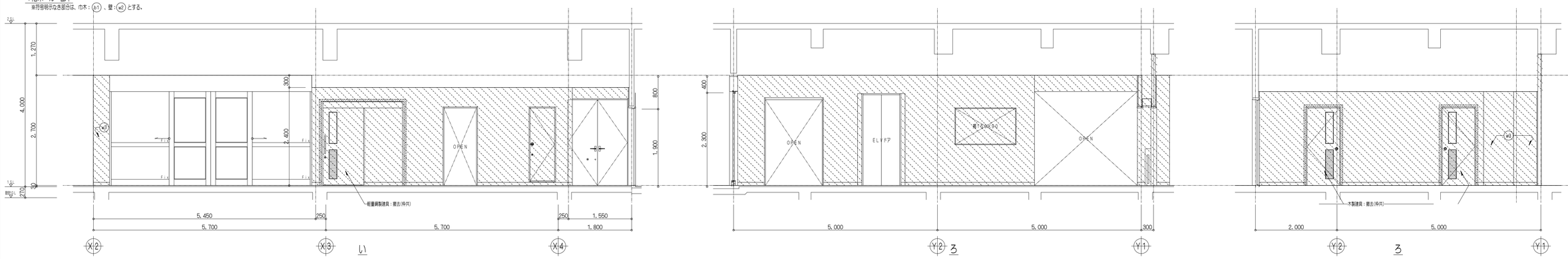
1階風除室

※符号明示なき部分は、壁：(w1)とする。



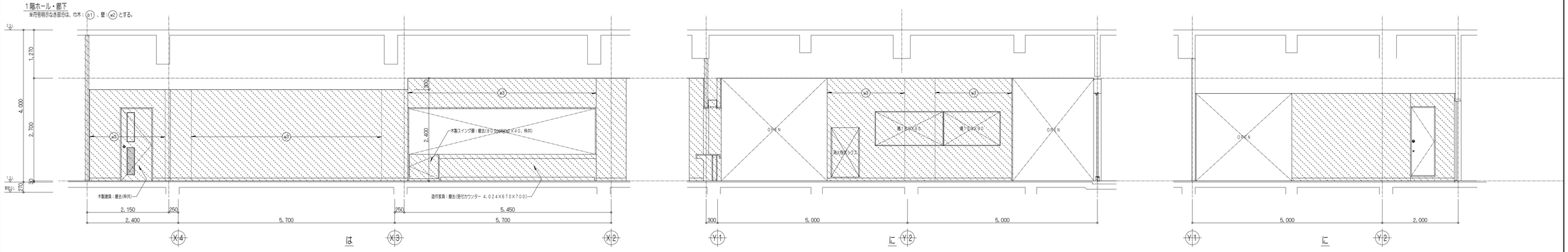
1階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



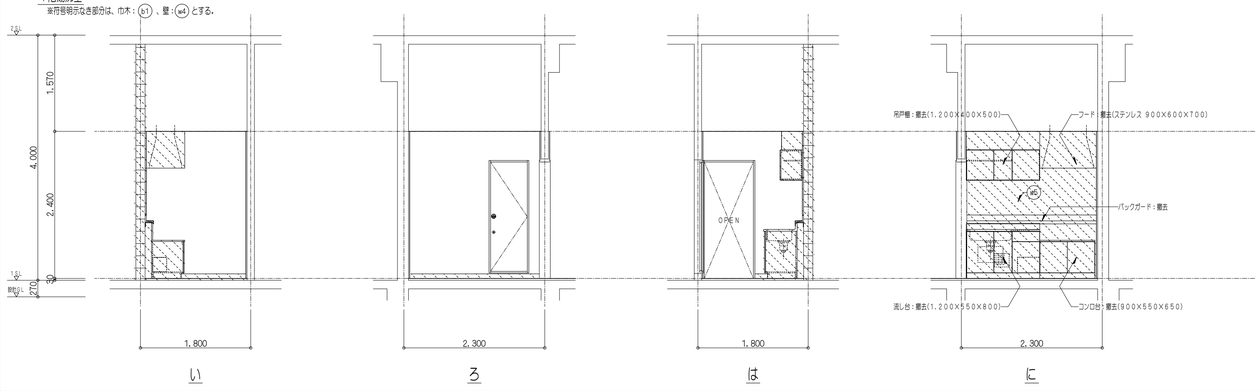
1階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



1階遮湿室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w4)とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)
- 間仕切：ＣＢｔ=150(トイレ：t=120) ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(据付下地共)

造作家具：主材－ポリエステル化粧合板フラッシュ

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w1)	壁	モルタルタイル下地	ボーダータイル (分割釘)	下地、仕上撤去
(w2)	壁	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	仕上撤去
(w3)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード t=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	面釘り仕上げ
(w5)	壁	ＣＢ積み、モルタル金ごて	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去

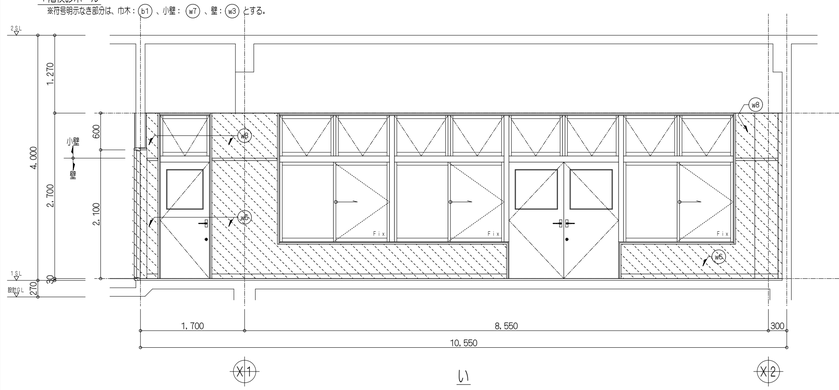
特記事項

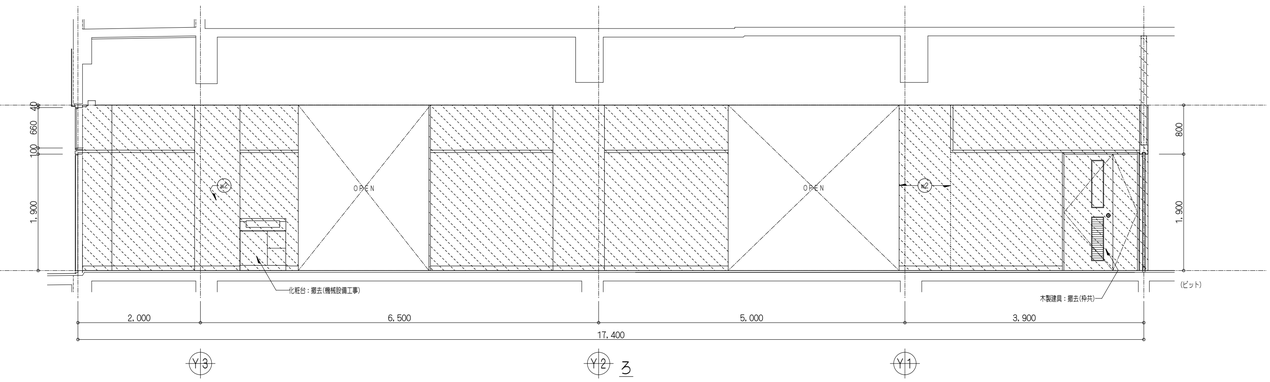
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	筑山市保健センター改修工事	A-52
		変更年月日	図面名称 現況 展開図1-1 Scale 1/50	

1階検診ホール

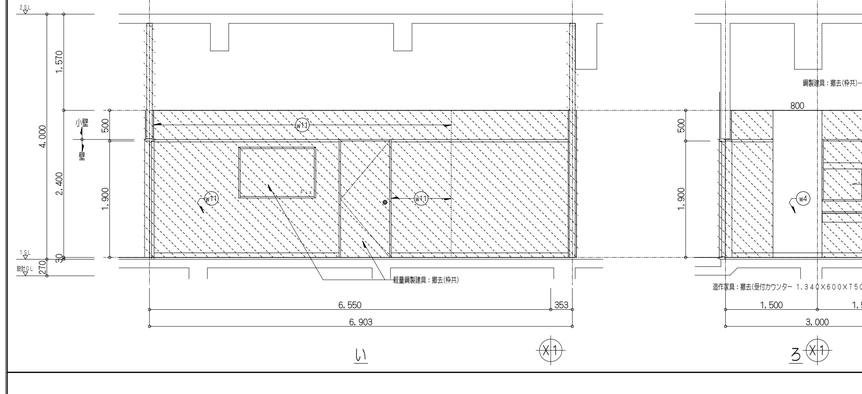
※符号明示なき部分は、巾木：b1、小壁：w7、壁：w3とする。

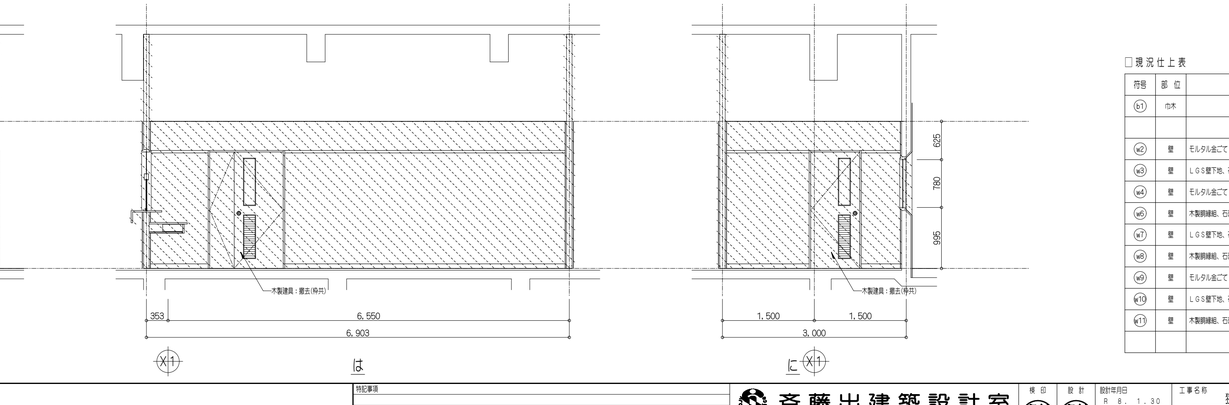




1階検診ホール

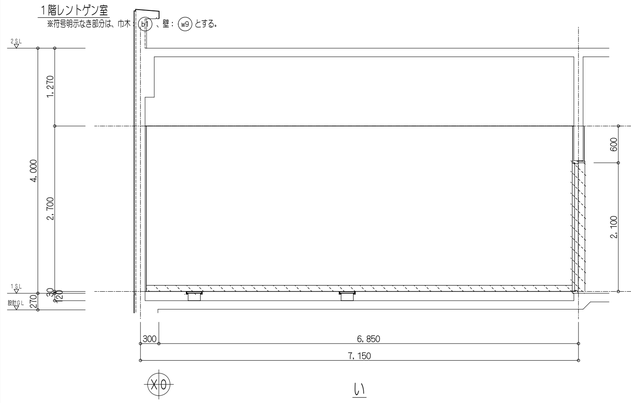
※符号明示なき部分は、巾木：b1、小壁：w7、壁：w3とする。

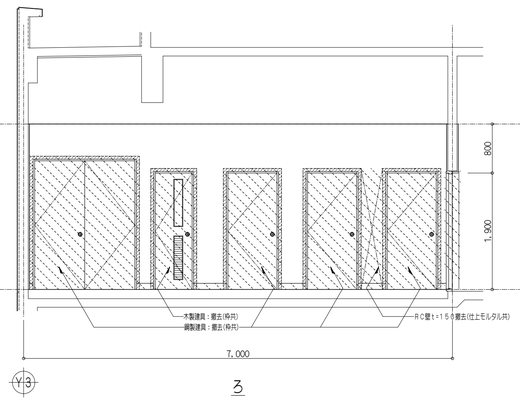


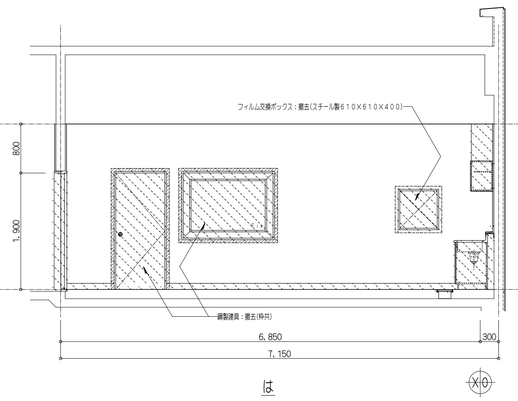


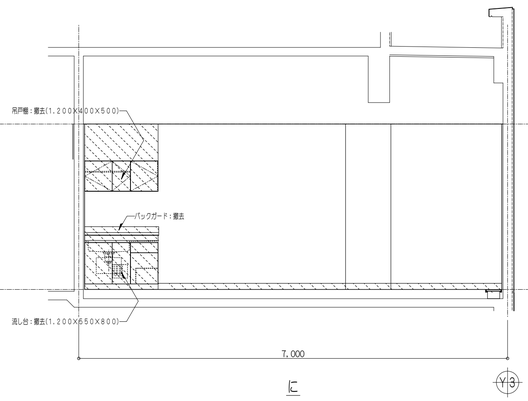
1階レントゲン室

※符号明示なき部分は、巾木：b1、壁：w9とする。



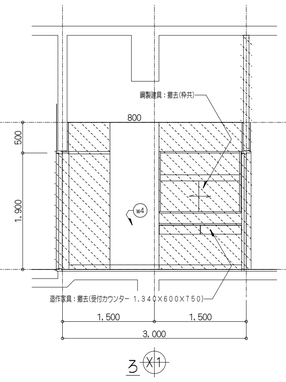






1階操作室

※符号明示なき部分は、巾木：b1、小壁：w7、壁：w10とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)
- 間仕切：ＣＢｔ=１５０(トイレ：ｔ=１２０) ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※３)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗器化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスｔ=0.8 糸幅２２５(据付下地共)

造作家具：主材－ポリエステル化粧合板フラッシュ

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
b1	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
w2	壁	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	仕上撤去
w3	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードｔ=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
w4	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	面粗り仕上げ
w6	壁	木製胴縁組、石膏ボードｔ=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
w7	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードｔ=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
w8	壁	木製胴縁組、石膏ボードｔ=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
w9	壁	モルタル金ごて	耐乱雑防護塗料	面粗り仕上げ
w10	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードｔ=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
w11	壁	木製胴縁組、石膏ボードｔ=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出 設計 齋藤出

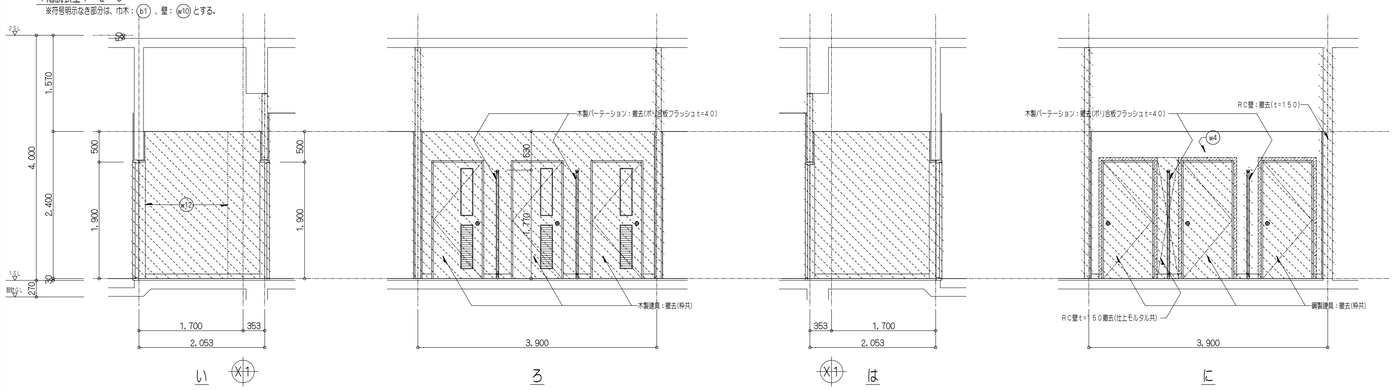
設計年月日 Ｒ８．１．30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 現況 展開図1-2
Scale 1/50

No. A-53

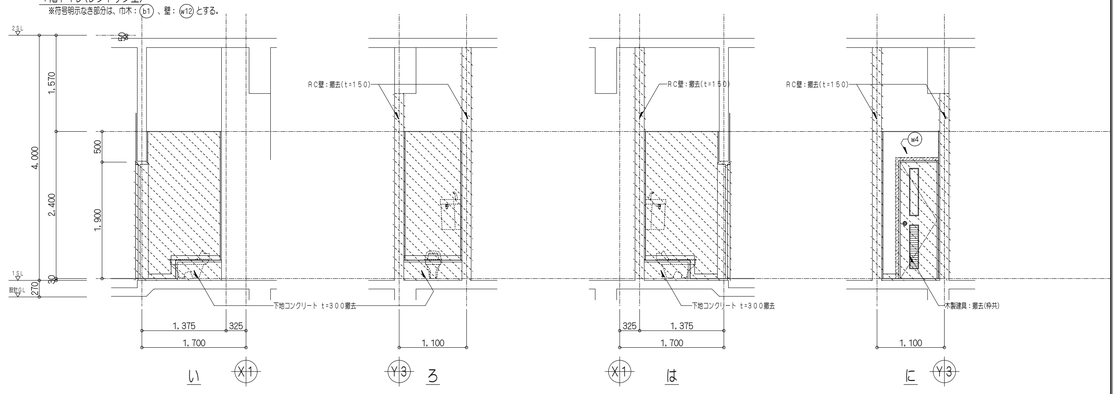
1階脱衣室1・2・3

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w10)とする。



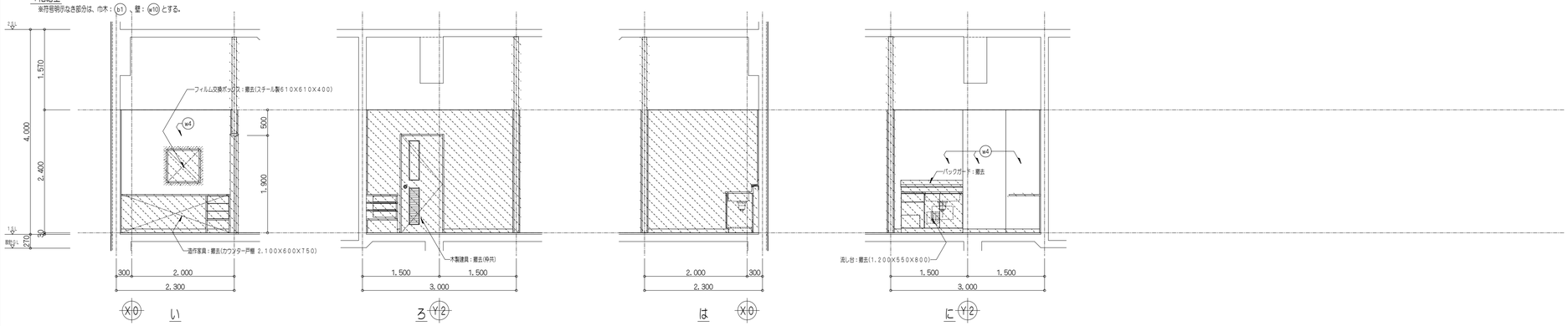
1階トイレ(レントゲン室)

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w12)とする。



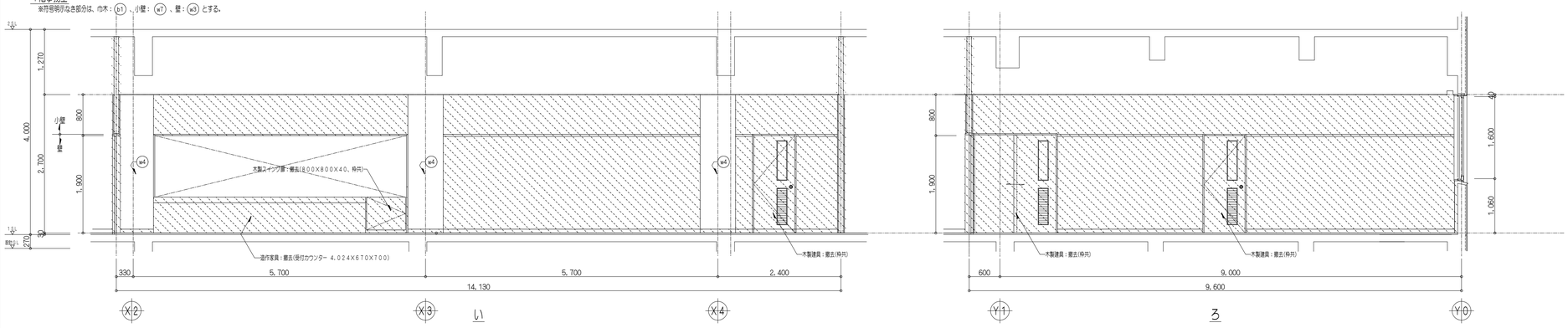
1階暗室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w10)とする。



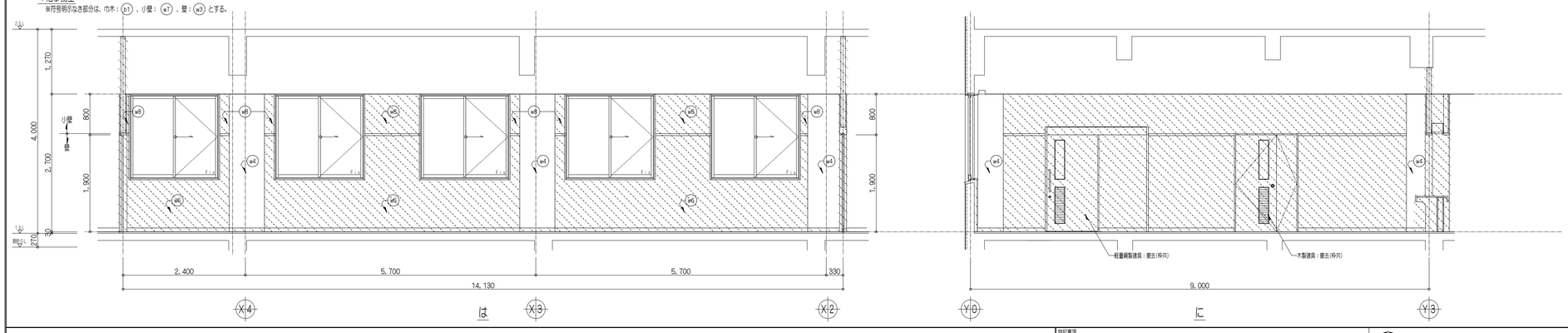
1階事務室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w3)とする。



1階事務室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w3)とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：LGS壁下地100型 床天上から天井貫板ほまで)
- 間仕切：CBt=150(トイレ：t=120) 床天上から天井貫板ほまで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(据付下地共)

造作家具：主材ポリエステル化粧合板フラッシュ

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w3)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	VP塗り	面取り仕上げ
(w5)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w7)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w8)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w10)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	下地、仕上撤去
(w12)	壁	(RC壁)、モルタル金ごて	VP塗り	下地、仕上撤去(一部RC壁撤去)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出 設計 齋藤出

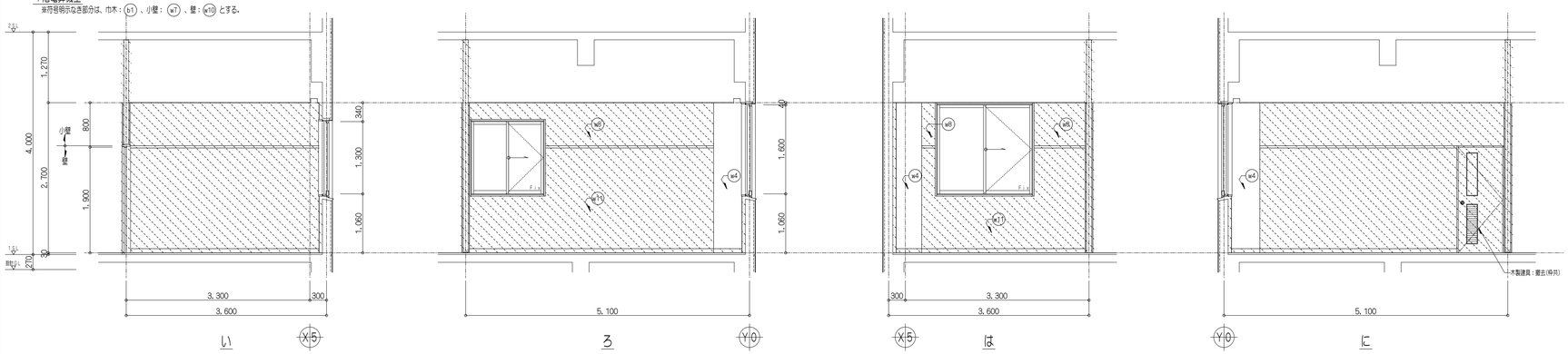
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図書名称 現況 展開図1-3
Scale 1/50

No. A-54

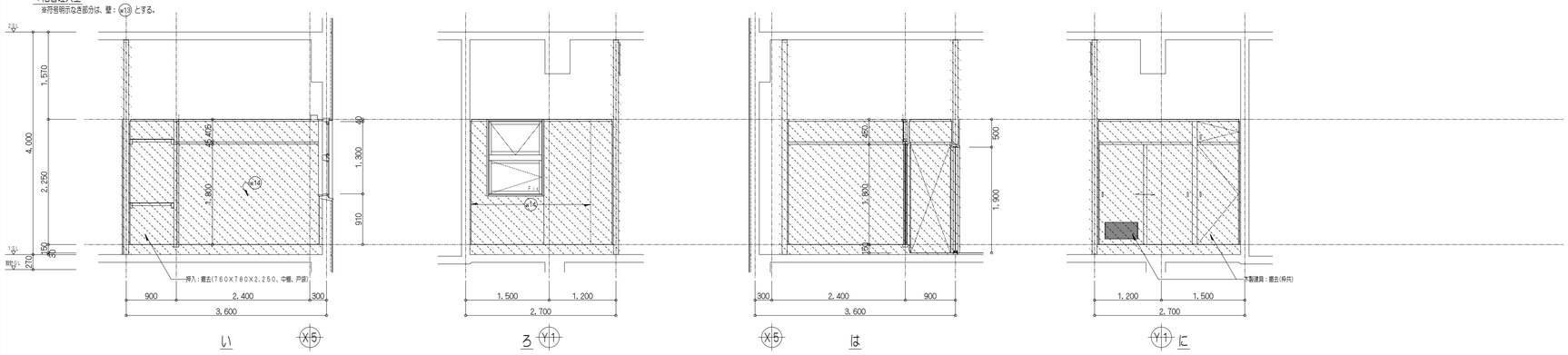
1階電算機室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



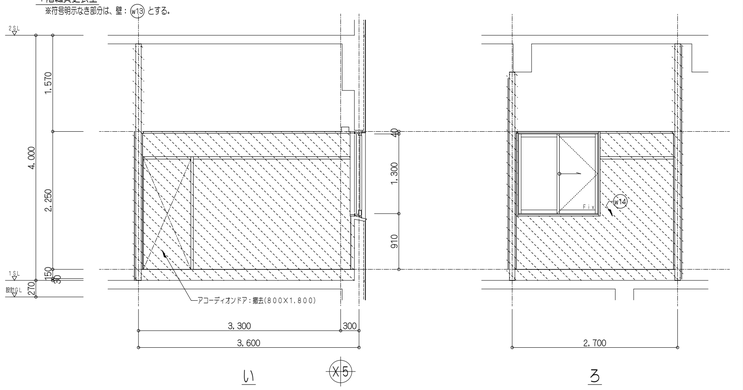
1階管理人室

※符号明示なき部分は、壁：(w13)とする。



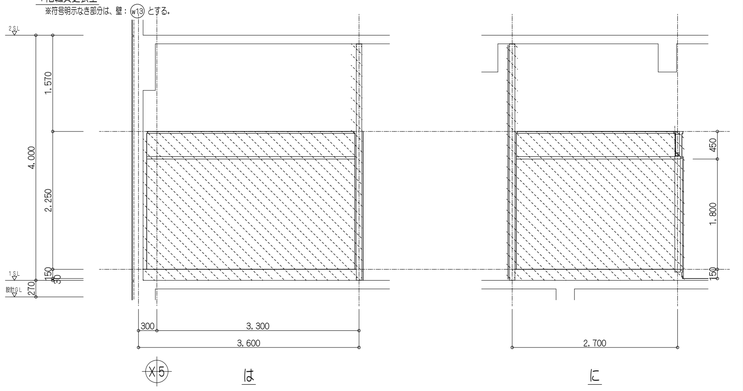
1階職員更衣室

※符号明示なき部分は、壁：(w13)とする。



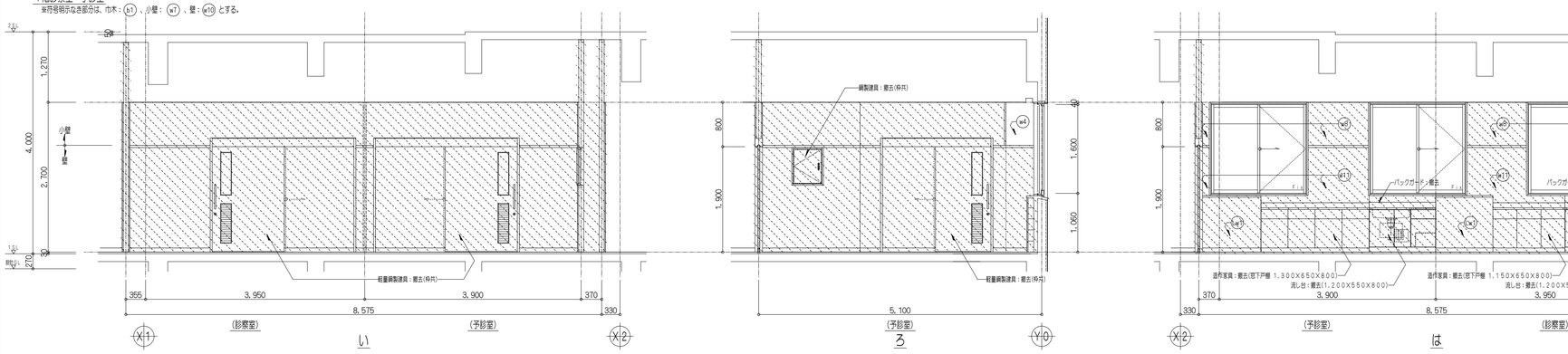
1階職員更衣室

※符号明示なき部分は、壁：(w13)とする。



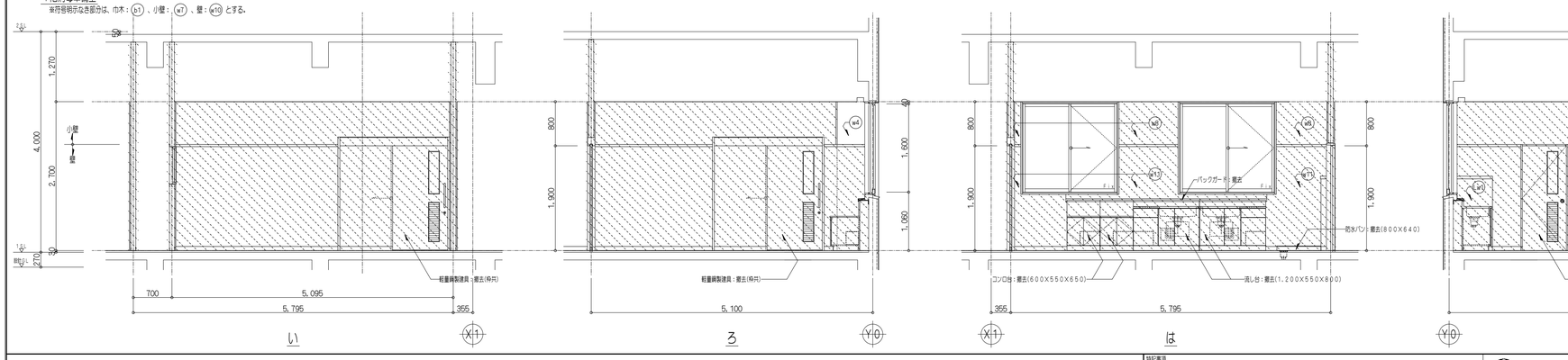
1階診察室・予診室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



1階消毒準備室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：LGS壁下地100型 床床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(既付下地共)

造作家具：主材ポリエステル化粧合板フラッシュ

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	VP塗り	面粘り仕上げ
(w6)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w7)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w8)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w10)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	下地、仕上撤去
(w11)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	VP塗り	下地、仕上撤去
(w13)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	粗面ビニールクロス	下地、仕上撤去
(w14)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	粗面ビニールクロス	下地、仕上撤去
(w1)	ライニング	CBt=100、モルタル金ごて	VP塗り	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計
齋藤出	齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30

変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事

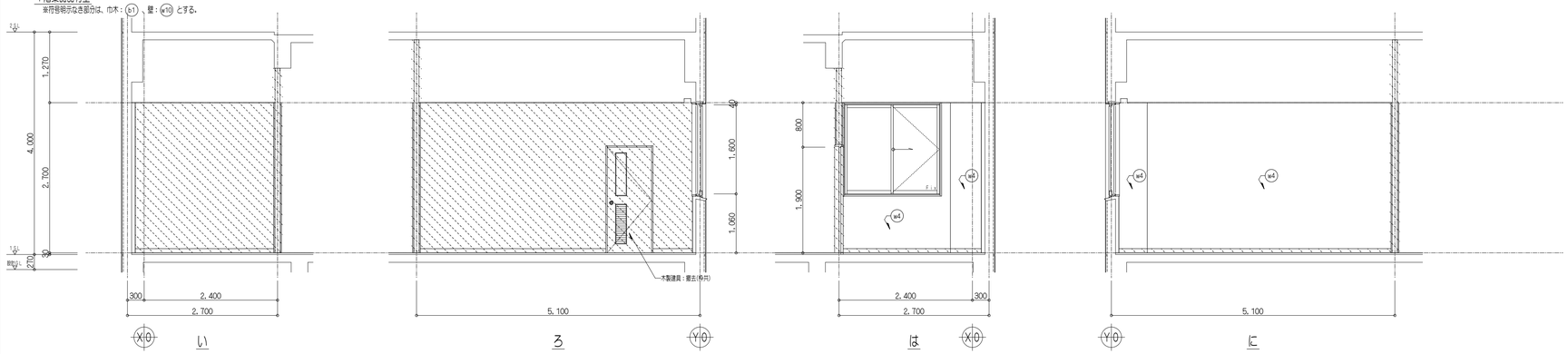
図面名称 現況 展開図1-4

Scale 1/50

No. A-55

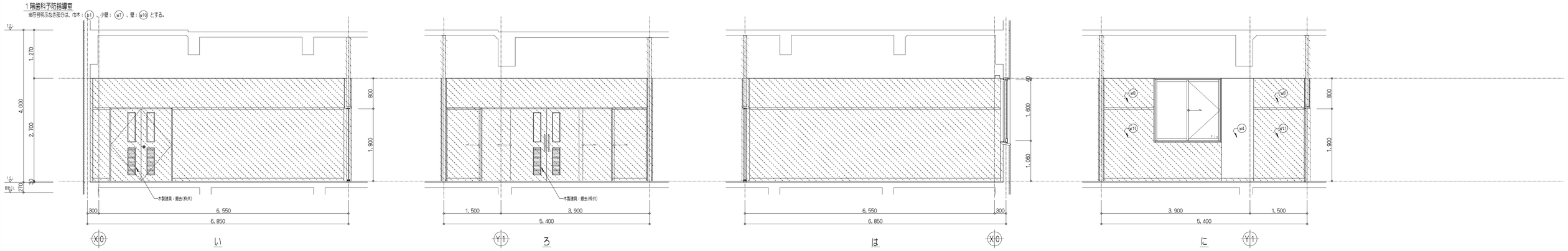
1階薬品器材室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w10)とする。



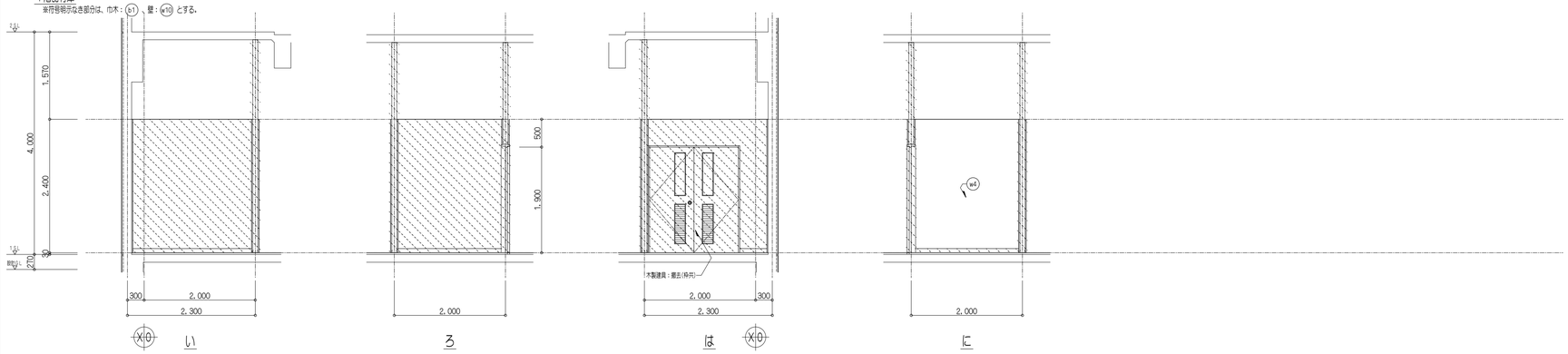
1階歯科予防指導室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



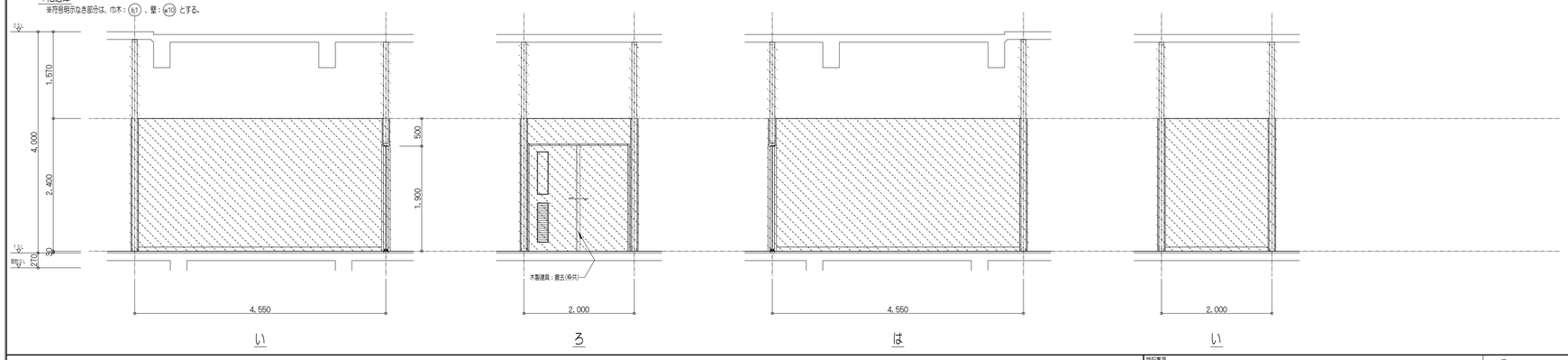
1階器材庫

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w10)とする。



1階倉庫

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w10)とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスｔ＝0.8 糸幅225(取付下地共)

造作家具：主材→ポリエステル化粧台板フラッシュ

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H＝75(※3)	仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	直貼り仕上げ
(w7)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードｔ＝9	ロックウール吸音板ｔ＝12(※3)	下地、仕上撤去
(w6)	壁	木製胴縁組、石膏ボードｔ＝9	ロックウール吸音板ｔ＝12(※3)	下地、仕上撤去
(w10)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードｔ＝9＋12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w11)	壁	木製胴縁組、石膏ボードｔ＝9＋12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検図 齋藤出

設計 齋藤出

設計年月日 Ｒ８．１．30

変更年月日

工事名称 筑山市保健センター改修工事

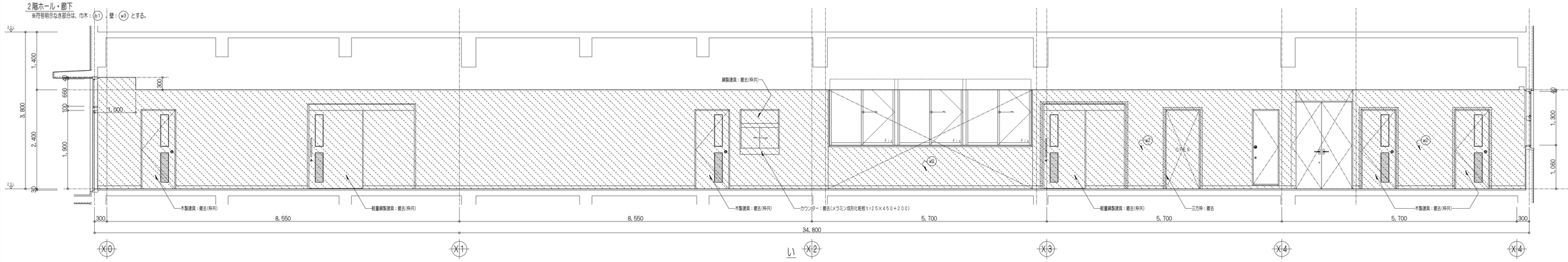
図面名称 現況 展開図1-5

Scale 1/50

No. A-56

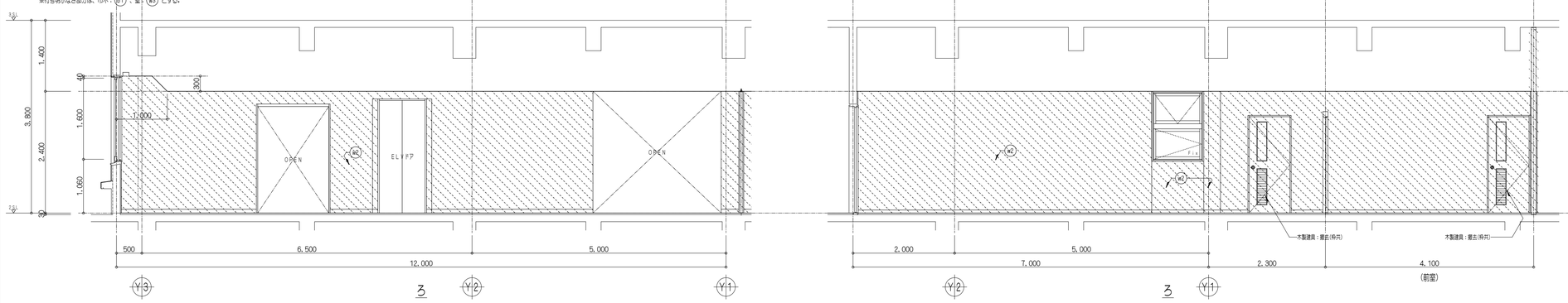
2階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



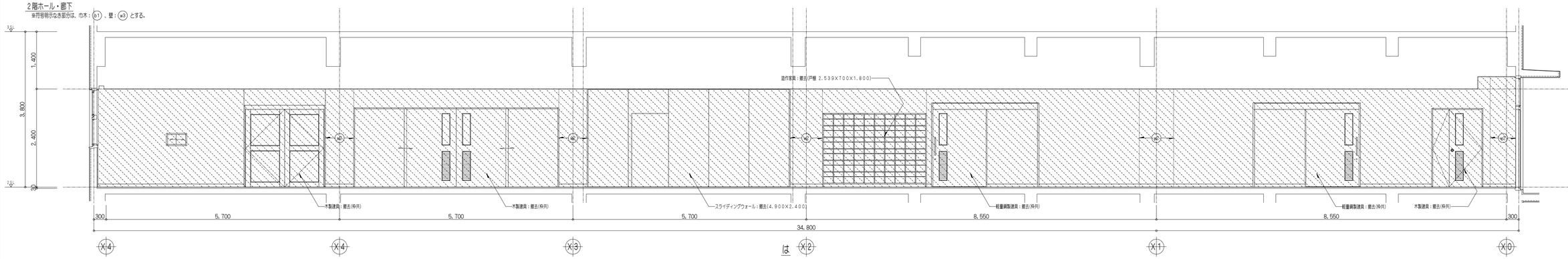
2階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



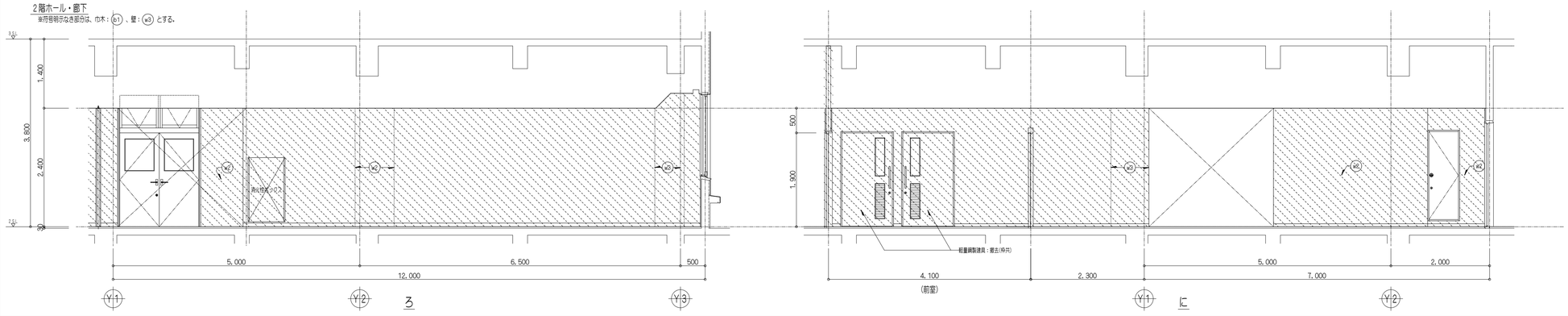
2階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



2階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：LGS壁下地100型 ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(取付下地共)

造作家具：主材＝ポリエステル化粧合板フラッシュ

三方枠：スチール製180×25

スライディングウォール：難燃合板フラッシュ(ロックウール充填) 厚さ60mm

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w2)	壁	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	仕上撤去
(w3)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室

一般建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出

設計 齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30

変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事

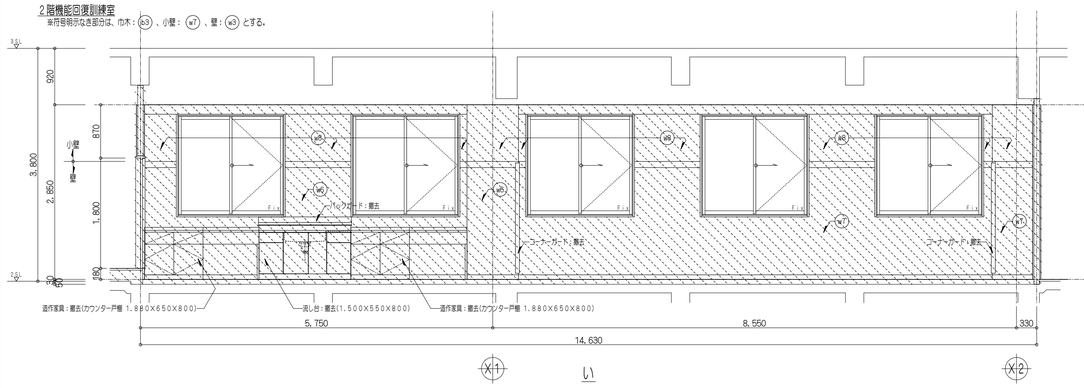
図面名称 現況 展開図2-1

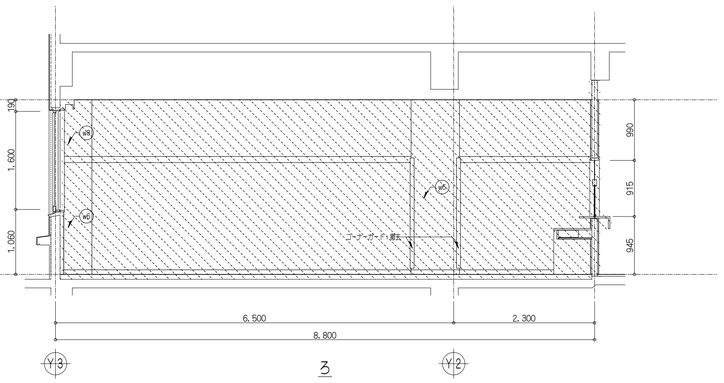
Scale 1/50

No. A-57

2階機能回復訓練室

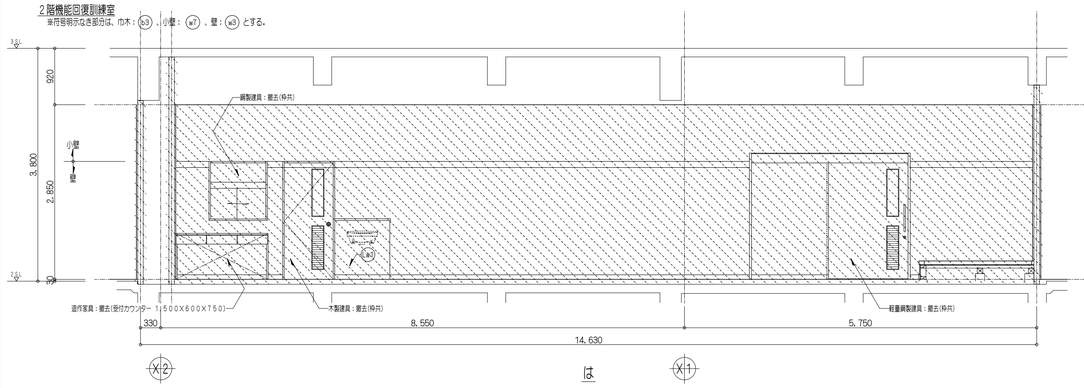
※符号明示なき部分は、巾木：(b3)、小壁：(w7)、壁：(w3)とする。

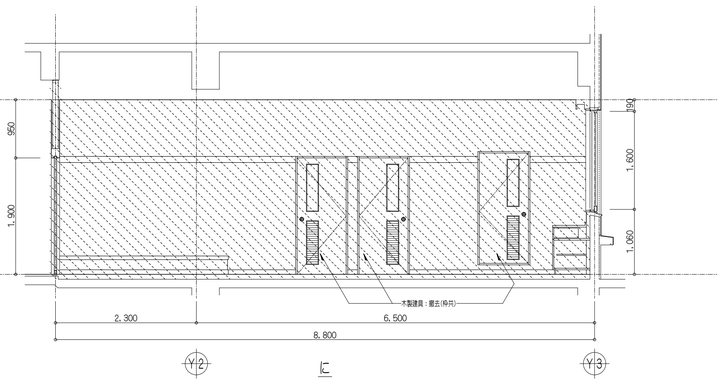




2階機能回復訓練室

※符号明示なき部分は、巾木：(b3)、小壁：(w7)、壁：(w3)とする。





凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び解放部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図所による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(床付下地共)

造作家具：主材ーポリエステル化粧合板フラッシュ

三方枠：スチール製１８０Ｘ２５

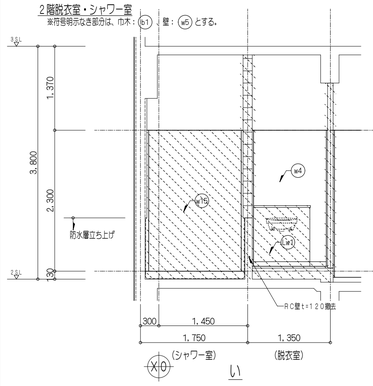
スライディングウォール：難燃合板フラッシュ(ロックウール充填) 見込６０mm

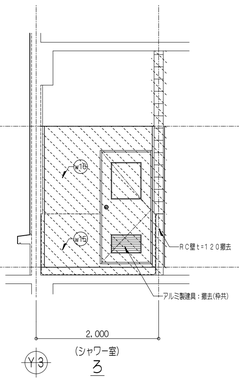
□現況仕上表

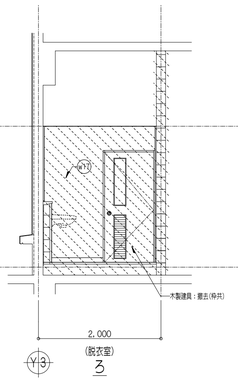
符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(b3)	巾木		木製H=75	仕上撤去
(w2)	壁	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	仕上撤去
(w3)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード+9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	面取り仕上げ
(w5)	壁	ＣＢt=150積み、モルタル金ごて	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w6)	壁	木製胴縁組、石膏ボード+9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w7)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード+9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w8)	壁	木製胴縁組、石膏ボード+9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w10)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード+9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w11)	壁	木製胴縁組、石膏ボード+9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w12)	壁	(RC壁)、モルタル金ごて	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去(一部RC壁撤去)
(w15)	壁	(RC壁)、モルタルタイル下地	陶器質タイル	下地、仕上撤去
(w16)	壁	ＣＢt=150積み、モルタル金ごて	陶器質タイル	下地、仕上撤去
(w17)	壁	石膏ボードt=12、ガい骨カルシウム板t=6(※3)	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w1)	ライニング	ＣＢt=100、モルタル金ごて	ＶＰ塗り 帯板 ステンレスt=0.8加工	下地、仕上撤去

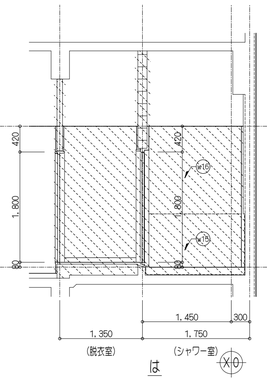
2階脱衣室・シャワー室

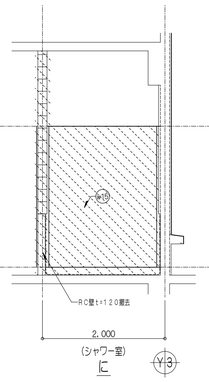
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w5)とする。

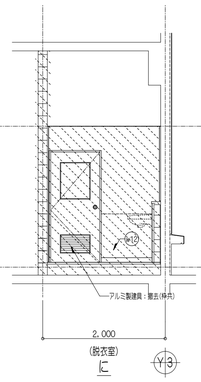






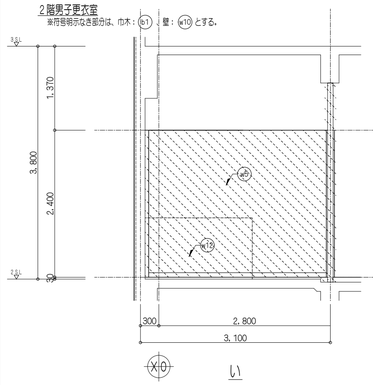


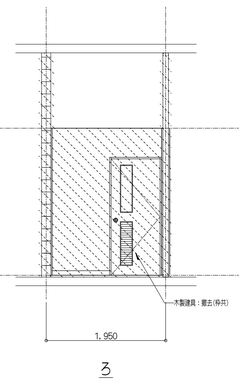


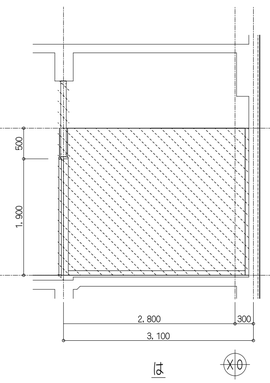


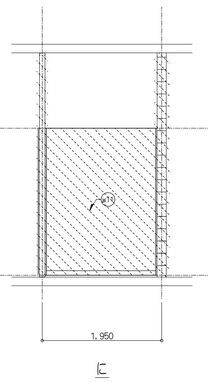
2階男子更衣室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w10)とする。



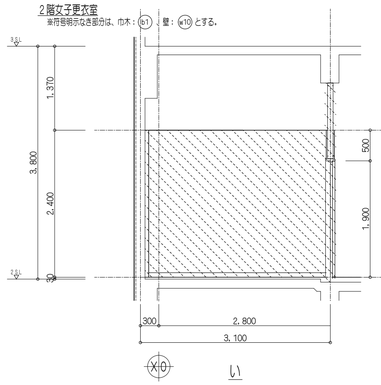


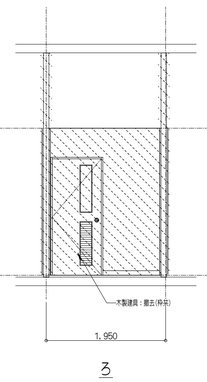


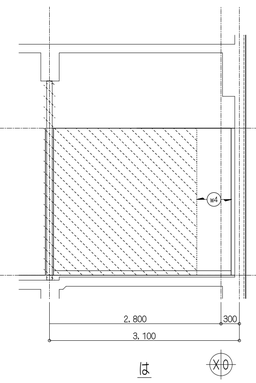


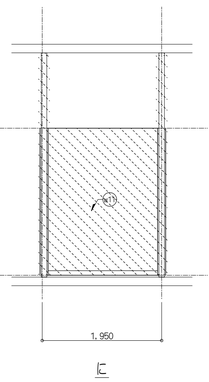
2階女子更衣室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w10)とする。









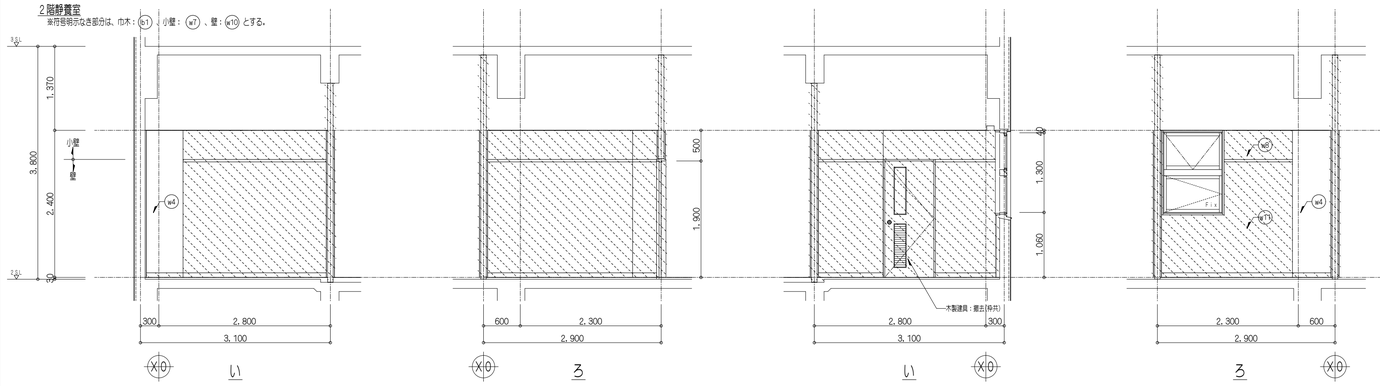
特記事項

斉藤出建築設計室
一般建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R8.1.30	狭山市保健センター改修工事	A-58
		変更年月日	図面名称 現況 展開図2-2 Scale 1/50	

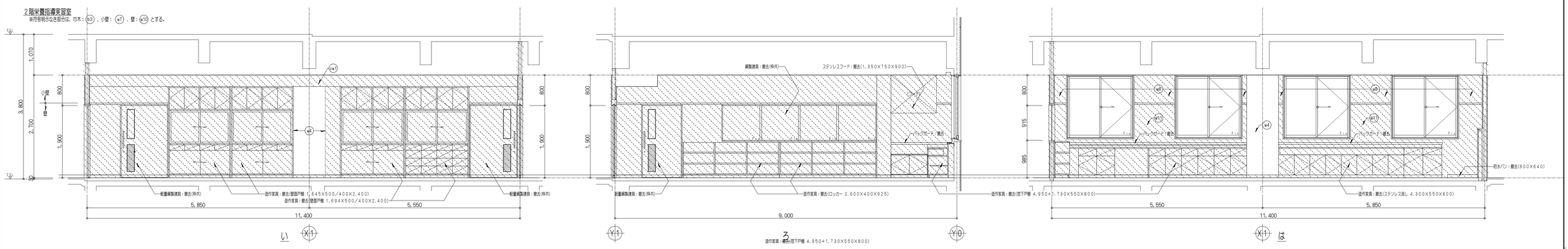
2階静養室

※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w10 とする。



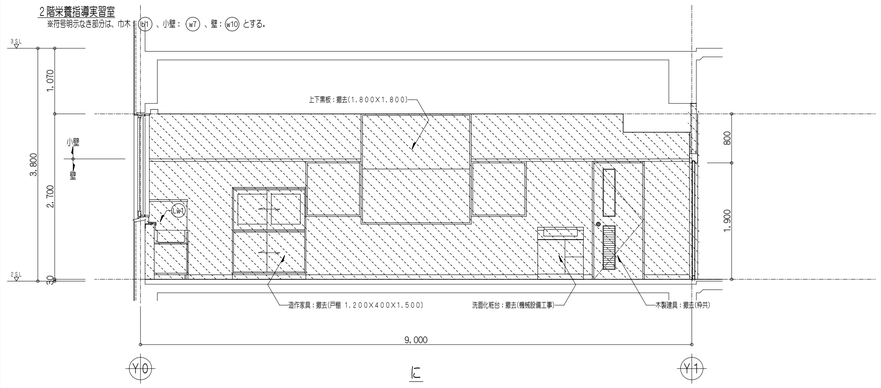
2階栄養指導実習室

※符号明示なき部分は、巾木：b3 、小壁：w7 、壁：w10 とする。



2階栄養指導実習室

※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w10 とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 (※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(取付下地共)

造作家具：主材ポリエステル化粧合板フラッシュ

三方枠：スチール製1.80X25

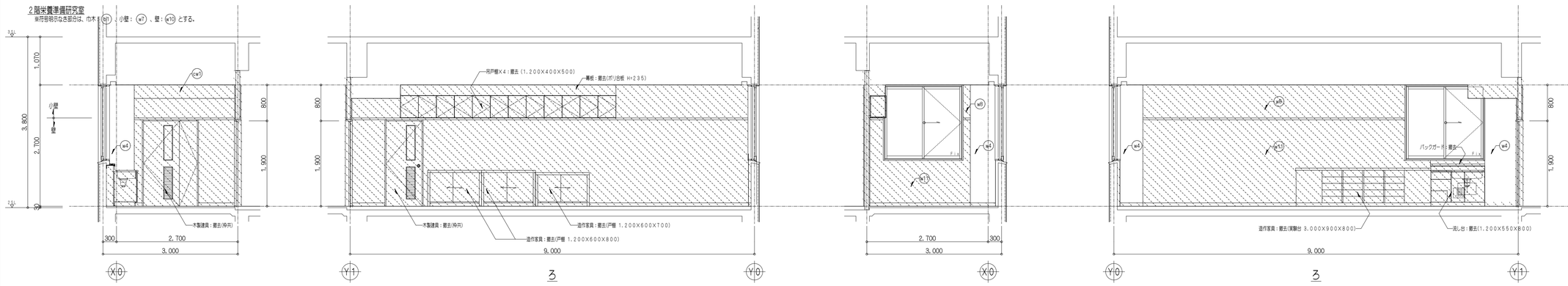
スライディングウォール：難燃合板フラッシュ(ロックウール充填) 見込60mm

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
b1	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
b3	巾木		木製H=75	仕上撤去
w4	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	意匠仕上げ
w7	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
w8	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
w10	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
w11	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
cw1	下り壁	ＬＧＳ胴縁、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)	下地、仕上撤去
w9	ライニング	ＣＢt=100、モルタル金ごて	ＶＰ塗り 巾板 ステンレスt=0.8加工	下地、仕上撤去

2階栄養準備研究室

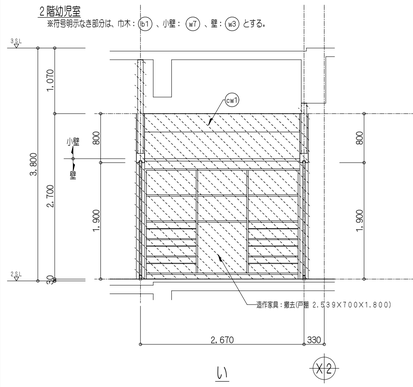
※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w10 とする。

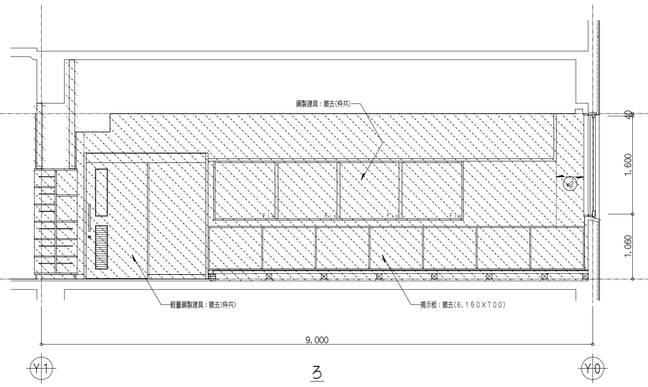


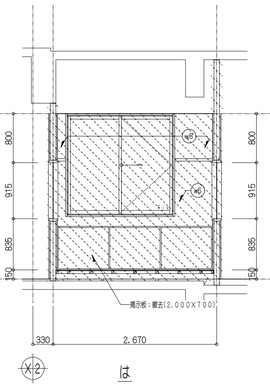
特記事項		検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30 変更年月日	狭山市保健センター改修工事 図面名称 現況 展開図2-3 Scale 1/50	A-59

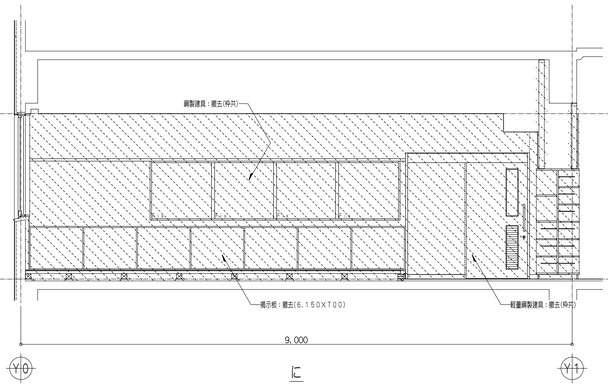
2階幼児室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w3)とする。



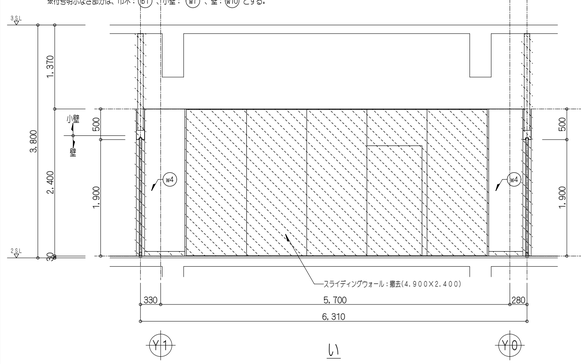


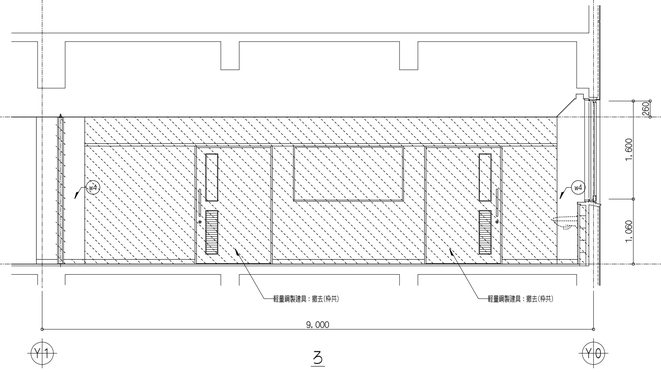


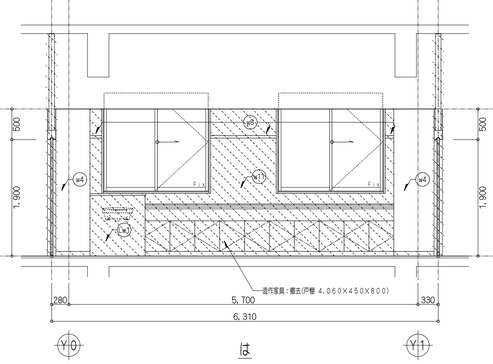


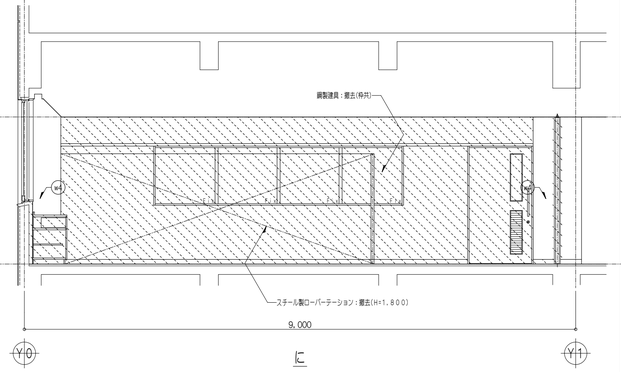
2階成人病検診室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



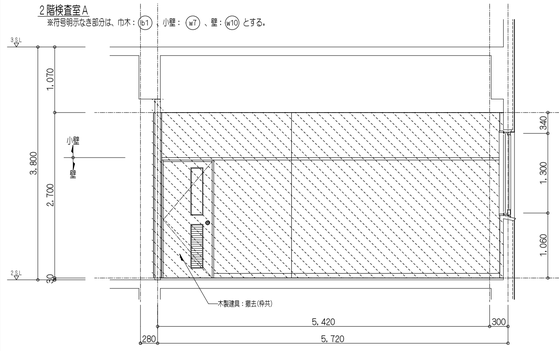


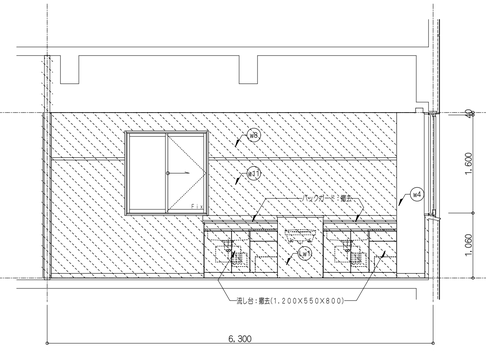


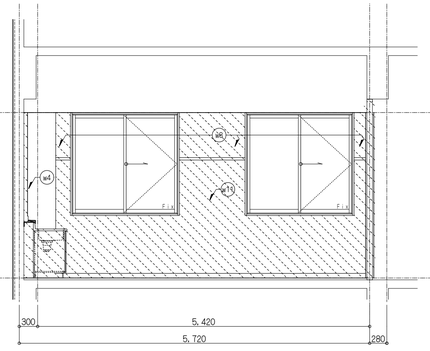


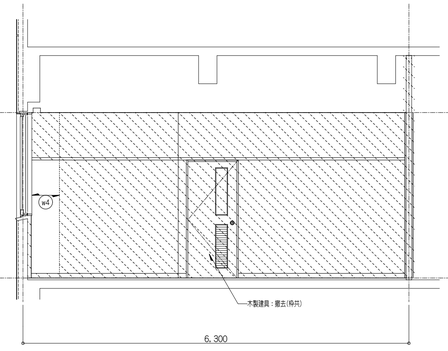
2階検査室A

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



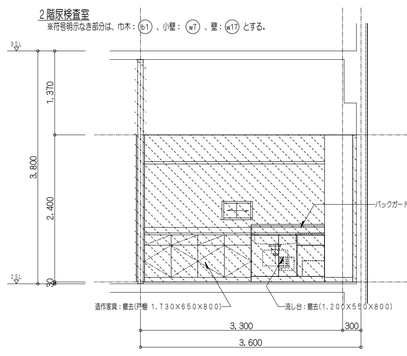


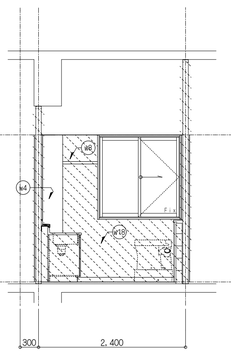


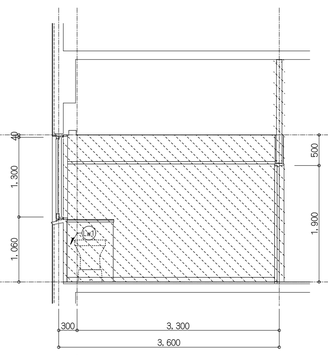


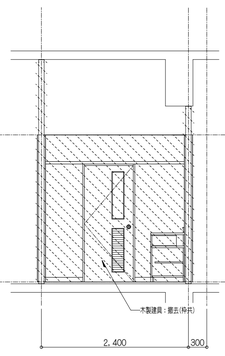
2階尿検査室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w17)とする。









凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗器化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(取付下地共)

造作家具：主材→ポリエステル化粧合板フラッシュ

三方枠：スチール製1.8X25

スライディングウォール：難燃合板フラッシュ(ロックウール充填) 見込60mm

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w2)	壁	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	仕上撤去
(w5)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	磨粉砂仕上げ
(w6)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w7)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w8)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w10)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w11)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w17)	壁	ＬＧＳ壁 石膏ボードt=12、けい酸カルシウム板t=6(※3)	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w18)	壁	木製胴縁組 石膏ボードt=12、けい酸カルシウム板t=6(※3)	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(we)	下り壁	ＬＧＳ野縁、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=9(※3)	下地、仕上撤去
(wi)	ライニング	CBt=100、モルタル金ごて	ＶＰ塗り 巾板 ステンレスt=0.8加工	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検図	設計
齋藤出	齋藤出

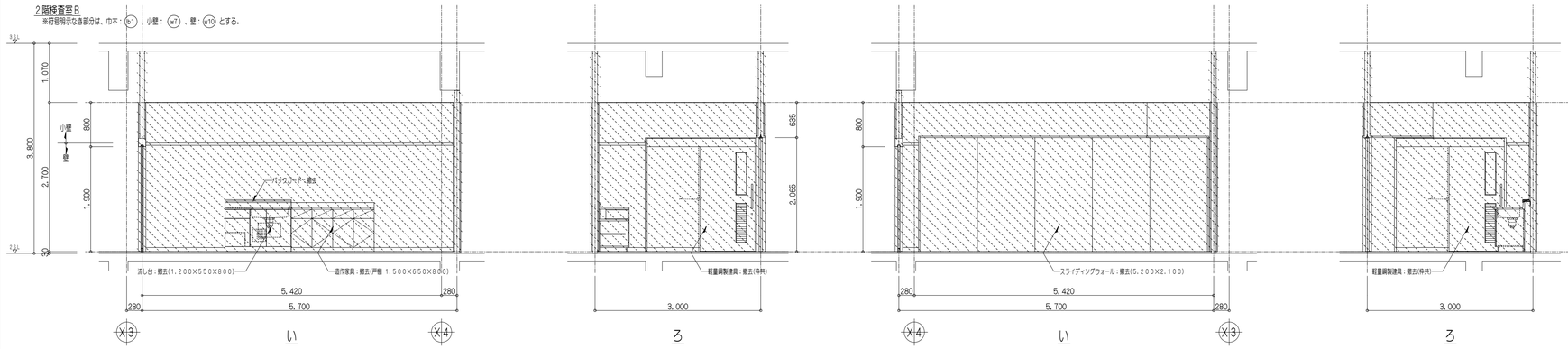
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 現況 展開図2-4
Scale 1/50

No. A-60

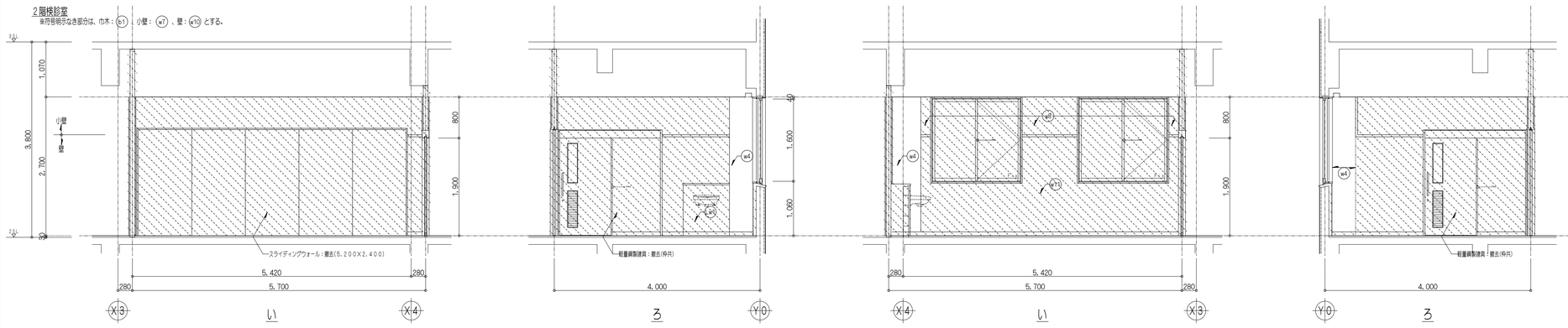
2階接客室B

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



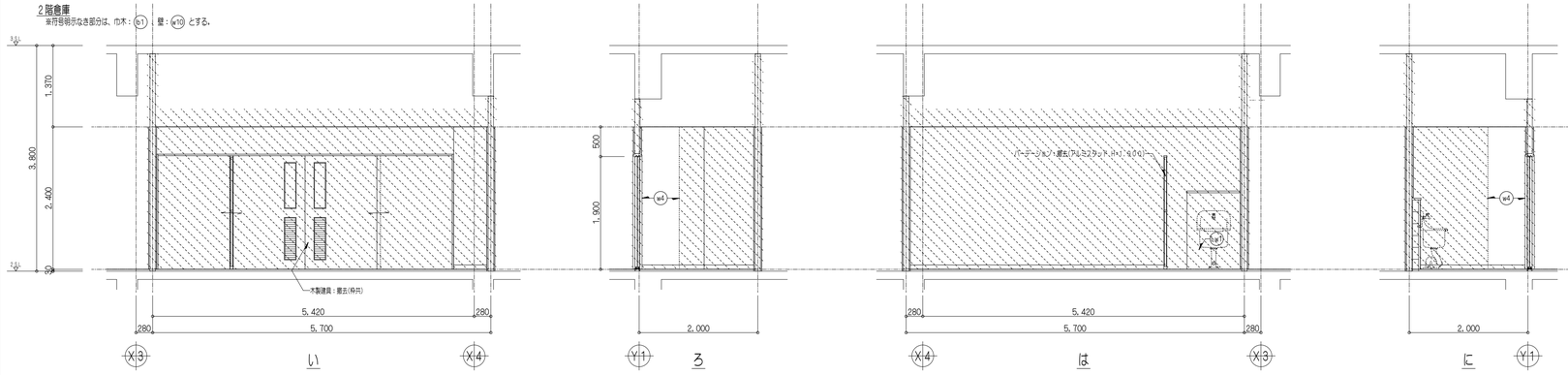
2階接診室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



2階倉庫

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w10)とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：LGS壁下地100型 ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(取付下地共)

造作家具：主材=ポリエステル化粧合板フラッシュ

三方枠：スチール製t 80X25

スライディングウォール：難燃合板フラッシュ(ロックウール充填) 見込60mm

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	VP塗り	面貼り仕上げ
(w7)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w8)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w10)	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	下地、仕上撤去
(w11)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	VP塗り	下地、仕上撤去
(w1)	ライニング	CBt=100、モルタル金ごて	VP塗り 甲板 ステンレスt=0.8加工	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出　設計 齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30

変更年月日

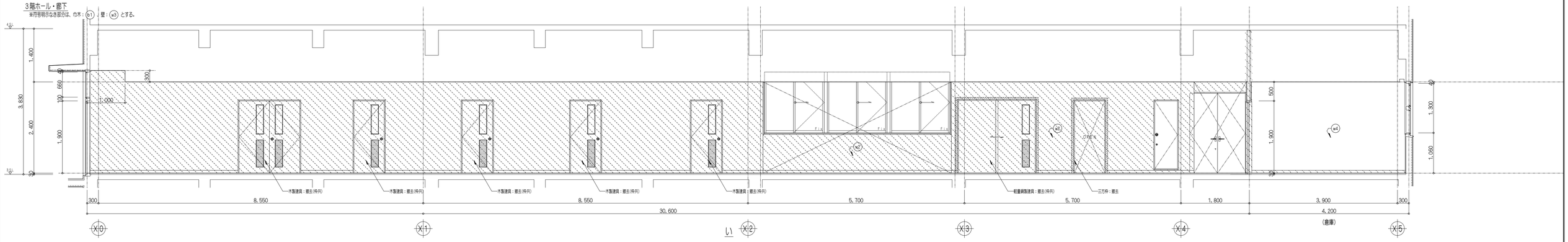
工事名称 筑山市保健センター改修工事

図書名称 現況 展開図2-5

Scale 1/50

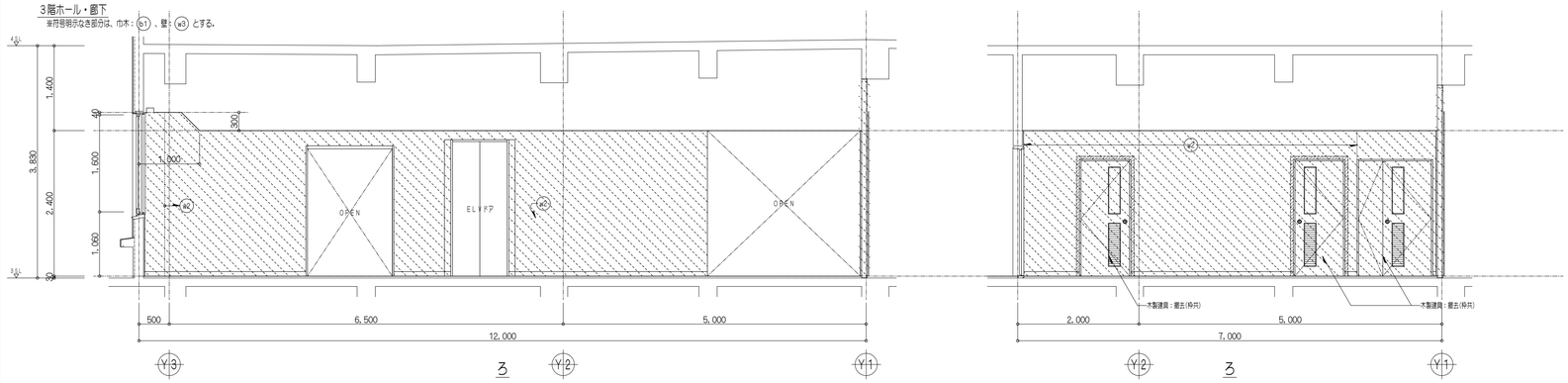
No. A-61

3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



い

3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。

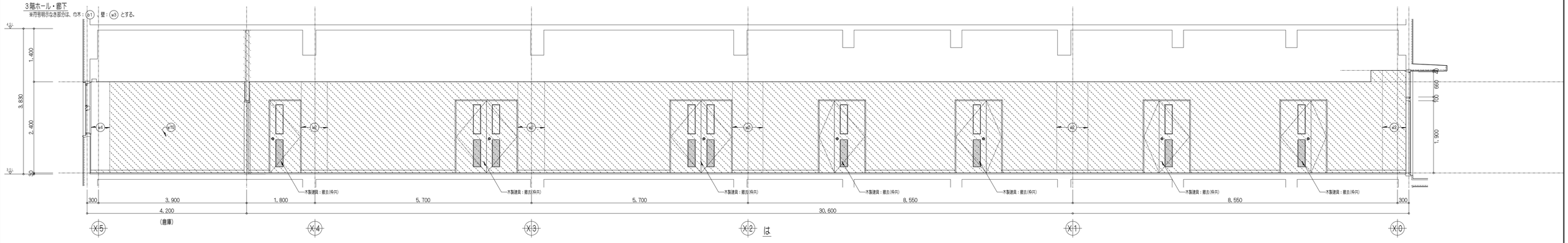


3

3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。

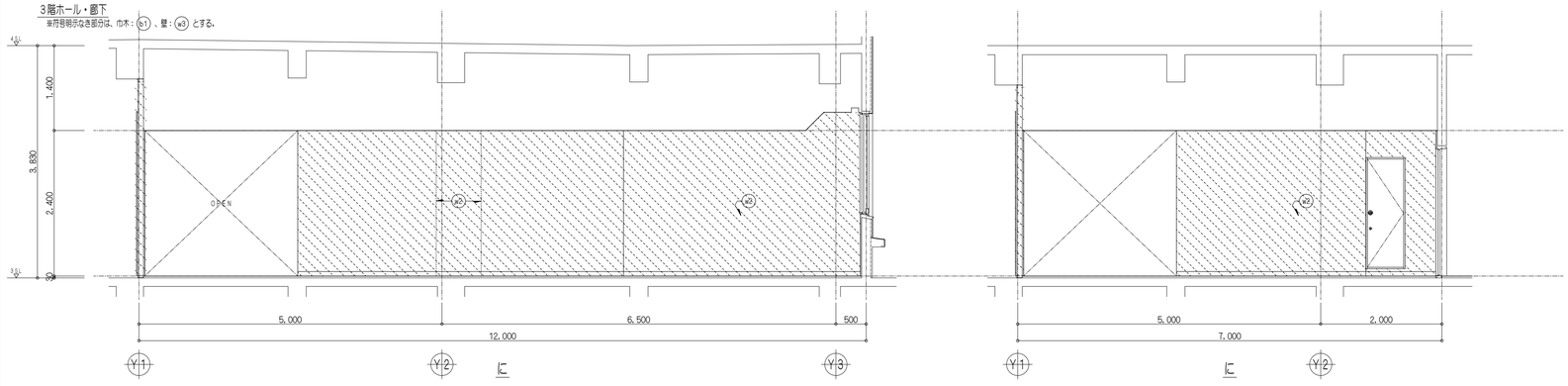
3

3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



は

3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



に

3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。

に

凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井貼板まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。
※(※3)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること
※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。
※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

- 建具・パーテーション：建具表参照
- バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(取付下地共)
- 造作家具：主材ーポリエステル化粧台板フラッシュ
- 三方枠：スチール製180X25
- スライディングウォール：難燃台板フラッシュ(ロックウール充填) 壁厚60mm

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w2)	壁	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	仕上撤去
(w3)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	直貼り仕上げ
(w10)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去

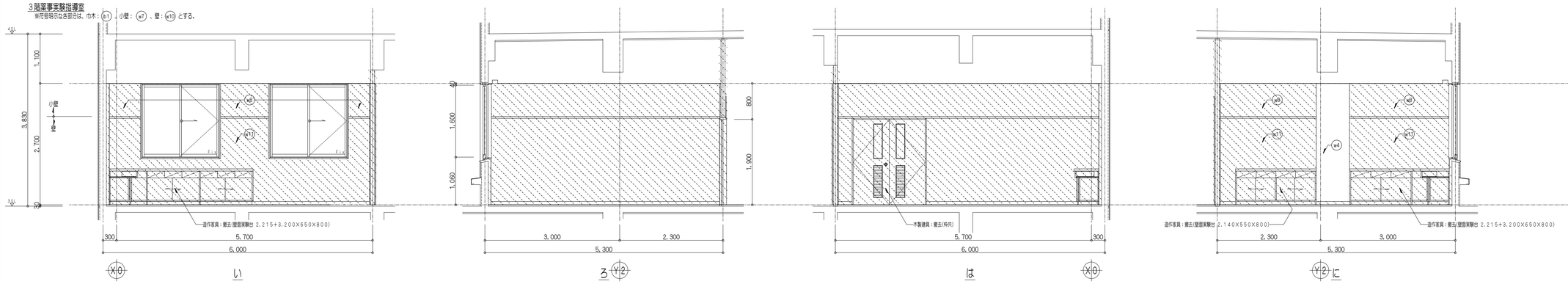
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R8.1.30	狭山市保健センター改修工事	A-62
		変更年月日	図面名称 現況 展開図3-1 Scale 1/50	

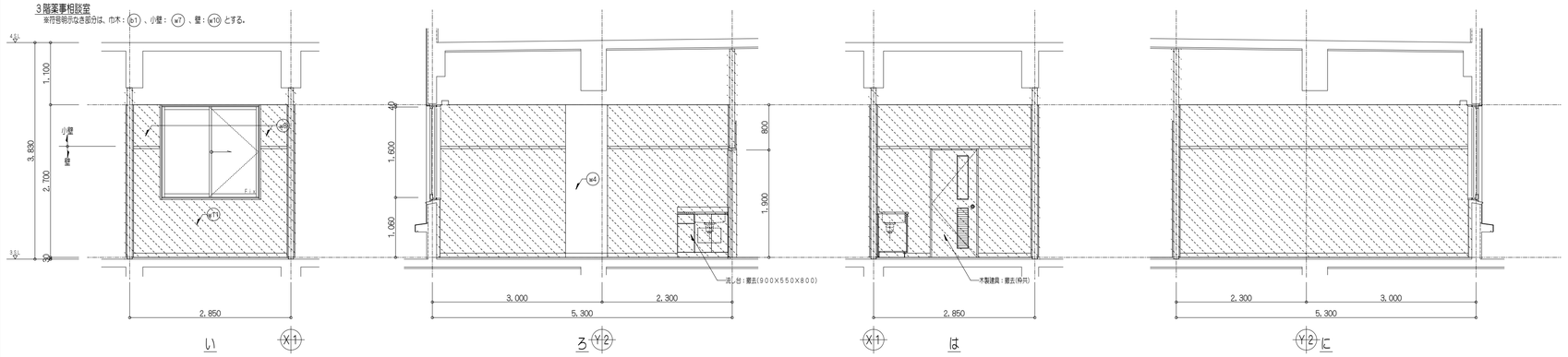
3階薬事実験指導室

※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w10 とする。



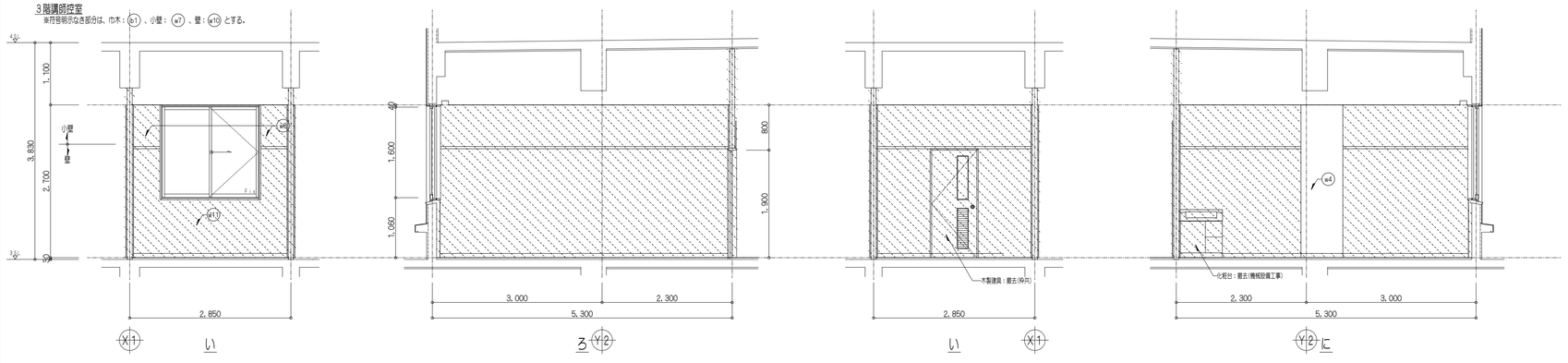
3階薬事相談室

※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w10 とする。



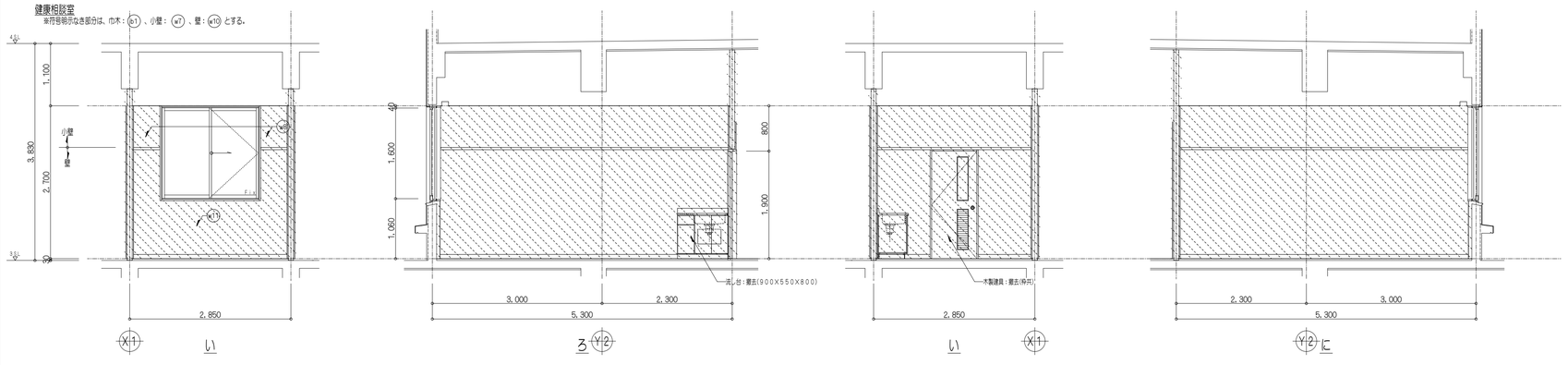
3階講師控室

※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w10 とする。



健康相談室

※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w10 とする。



凡例

撤去範囲を示す	撤去仕様
建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)	建具・パーテーション：建具表参照
間仕切：LGS壁下地100型 床床上から天井裏躯体まで)	バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(面付下地共)
※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。	造作家具：主材ポリエステル化粧台板フラッシュ
※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること	三方枠：スチール製180X25
※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。	スライディングウォール：難燃合板フラッシュ(ロックウール充填) 厚さ60mm
※凡例、仕上表以外の事項は図示による。	

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
b1	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
w4	壁	モルタル金ごて	VP塗り	面粘り仕上げ
w7	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
w8	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
w10	壁	LGS壁下地、石膏ボードt=9+12	VP塗り	下地、仕上撤去
w11	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	VP塗り	下地、仕上撤去

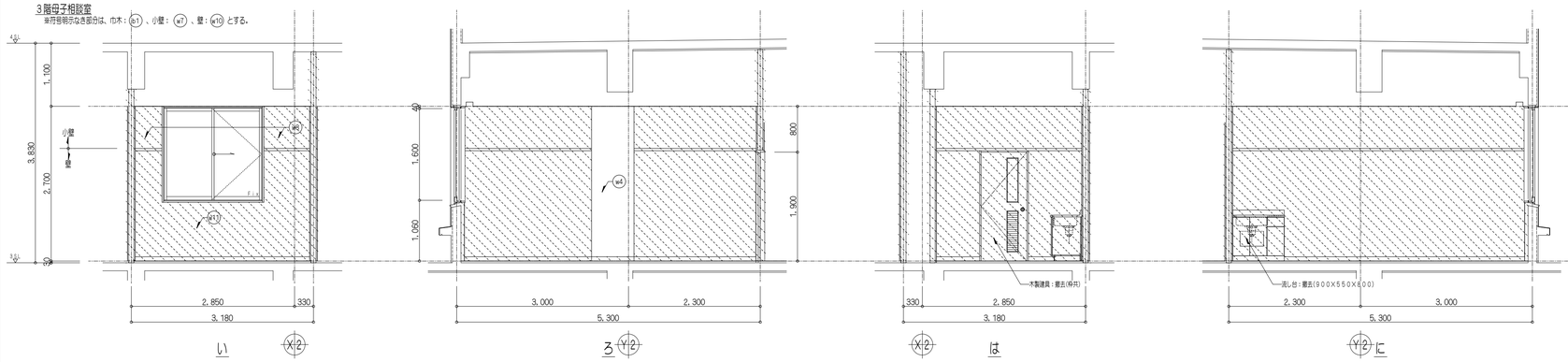
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-63
		変更年月日	図面名称 現況 展開図3-2 Scale 1/50	

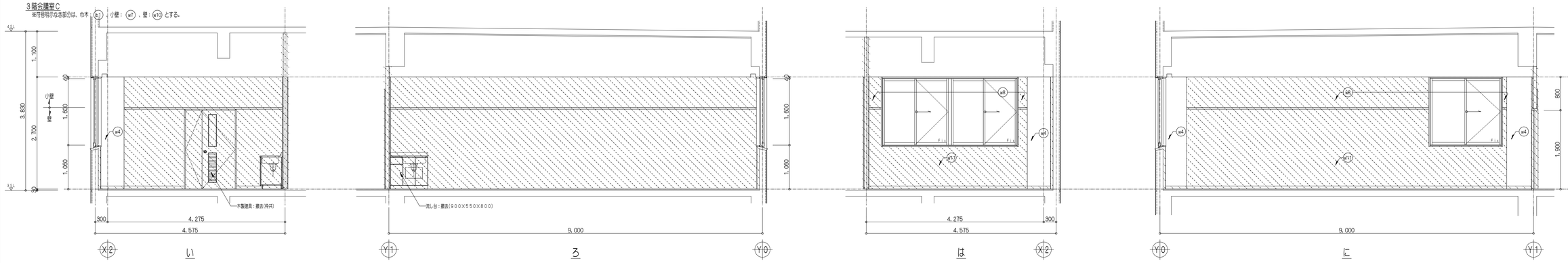
3階母子相談室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



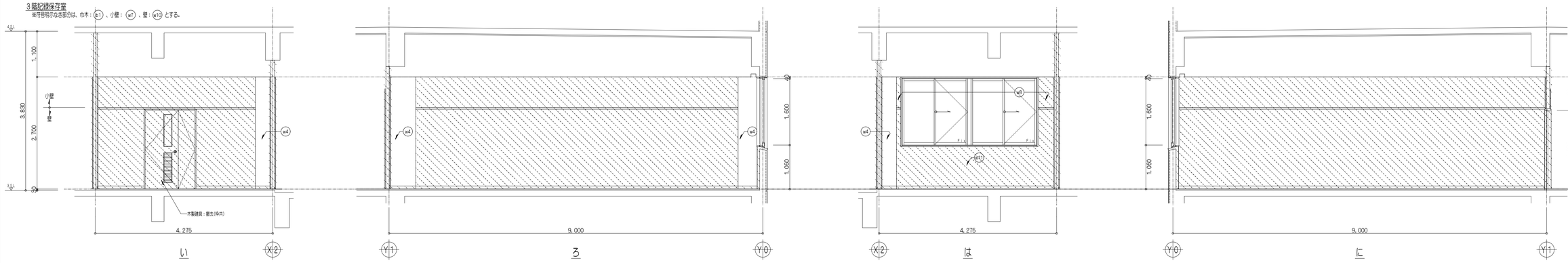
3階会議室C

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



3階記録保存室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、小壁：(w7)、壁：(w10)とする。



凡例

- 撤去範囲を示す
- 建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル3を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

- 建具・パーテーション：建具表参照
- バックガード：ステンレスt=0.8 糸幅225(固付下地共)
- 造作家具：主材ポリエステル化粧合板フラッシュ
- 三方枠：スチール製180X25
- スライディングウォール：難燃合板フラッシュ(ロックウール充填) 見込60mm

□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
(b1)	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
(w4)	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	面貼り仕上げ
(w7)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w8)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9	ロックウール吸音板t=12(※3)	下地、仕上撤去
(w10)	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
(w11)	壁	木製胴縁組、石膏ボードt=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

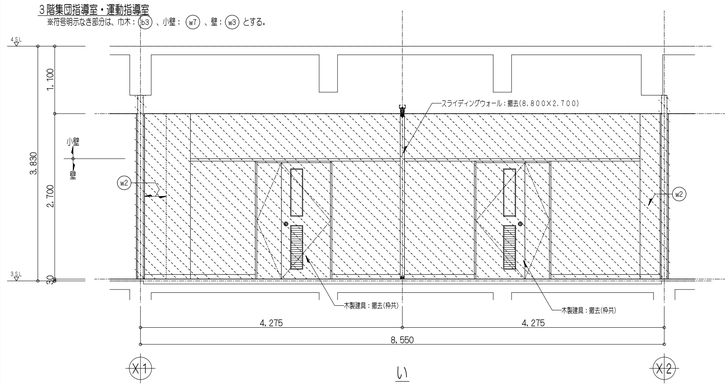
検印	設計
齋藤出	齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

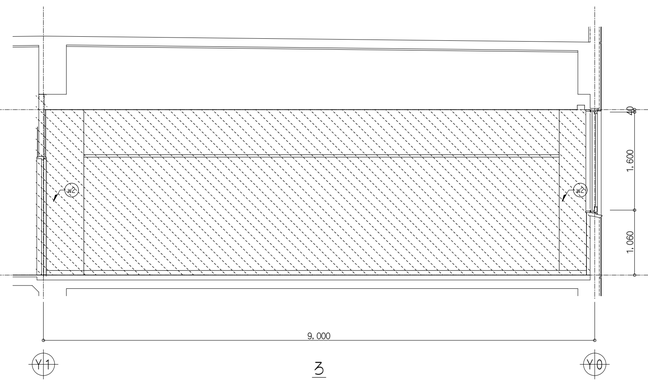
工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 現況 展開図3-3
Scale 1/50

No. A-64

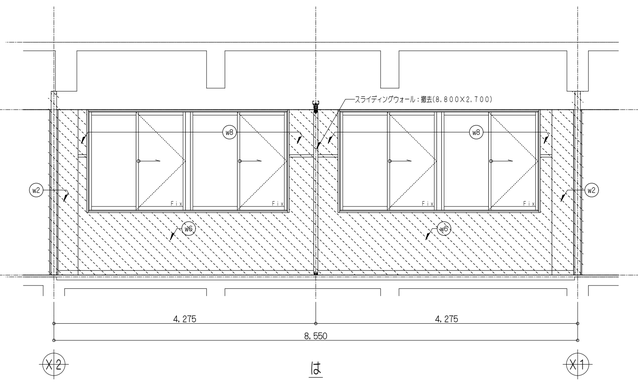
3階集団指導室・運動指導室
※符号明示なき部分は、巾木：b3 、小壁：w7 、壁：w3 とする。



い

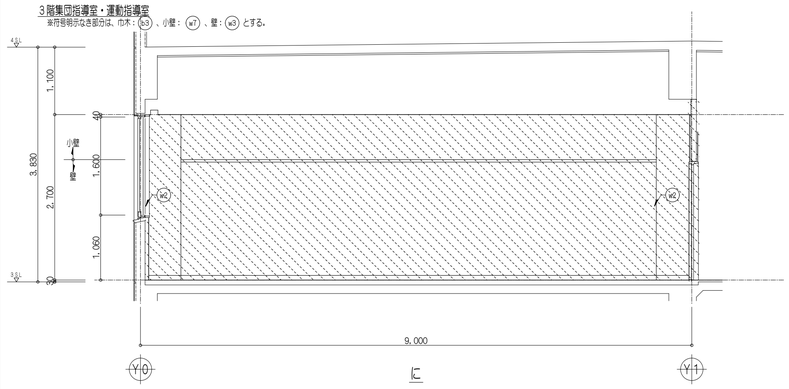


ろ



は

3階集団指導室・運動指導室
※符号明示なき部分は、巾木：b3 、小壁：w7 、壁：w3 とする。



に

凡例

搬去範囲を示す

建具周囲はつり部分を示す(撤去部及び新設部)

間仕切：ＬＧＳ壁下地１００型 ※床上から天井裏躯体まで)

※撤去については、残置既存部分に影響を与えないようにカッター入れを行い縁を切ること。

※(※3)はアスベスト含有建材レベル３を示し、作業にあたっては適正に処理すること

※衛生陶器、洗面化粧台の撤去は機械設備工事参照のこと。

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

撤去仕様

建具・パーテーション：建具表参照

バックガード：ステンレス t=0.8 糸幅２２５(固付下地共)

造作家具：主材ーポリエステル化粧合板フラッシュ

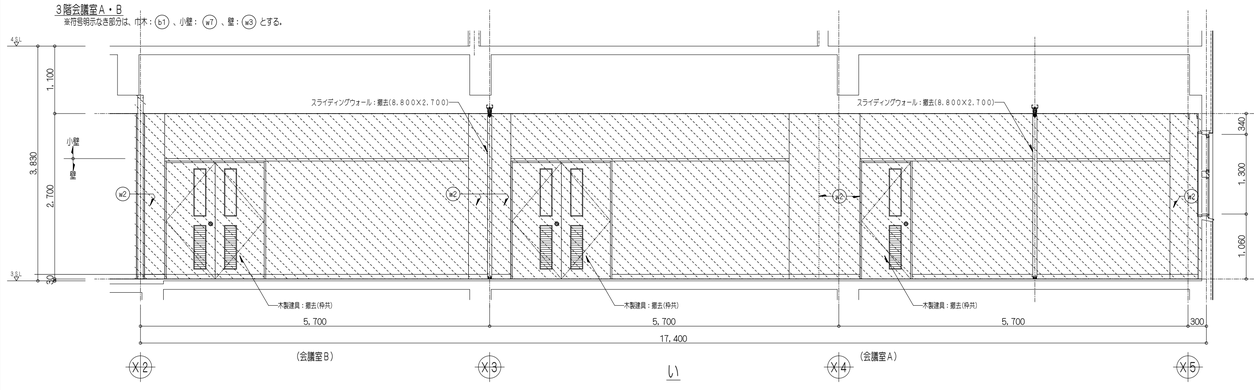
三方枠：スチール製１８０Ｘ２５

スライディングウォール：難燃合板フラッシュ(ロックウール充填) 見込６０mm

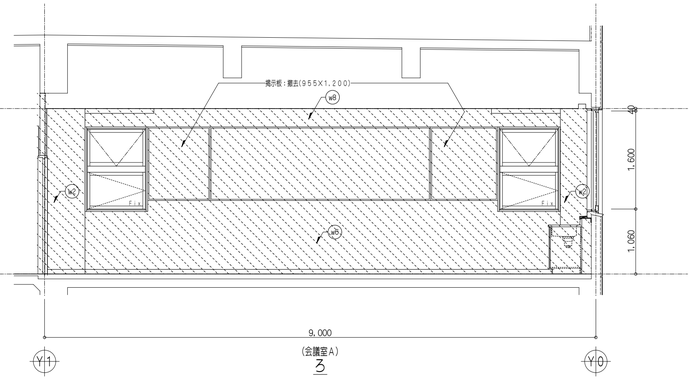
□現況仕上表

符号	部位	既存下地	既存仕上	改修処理
b1	巾木		ソフト巾木H=75(※3)	仕上撤去
b3	巾木		木製H=75	仕上撤去
w2	壁	モルタル金ごて	ビニールクロス(※3)	仕上撤去
w3	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード t=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
w4	壁	モルタル金ごて	ＶＰ塗り	面貼り仕上げ
w6	壁	木製胴縁組、石膏ボード t=9+12	ビニールクロス(※3)	下地、仕上撤去
w7	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード t=9	ロックウール吸音板 t=12(※3)	下地、仕上撤去
w8	壁	木製胴縁組、石膏ボード t=9	ロックウール吸音板 t=12(※3)	下地、仕上撤去
w10	壁	ＬＧＳ壁下地、石膏ボード t=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去
w11	壁	木製胴縁組、石膏ボード t=9+12	ＶＰ塗り	下地、仕上撤去

3階会議室Ａ・Ｂ
※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w3 とする。

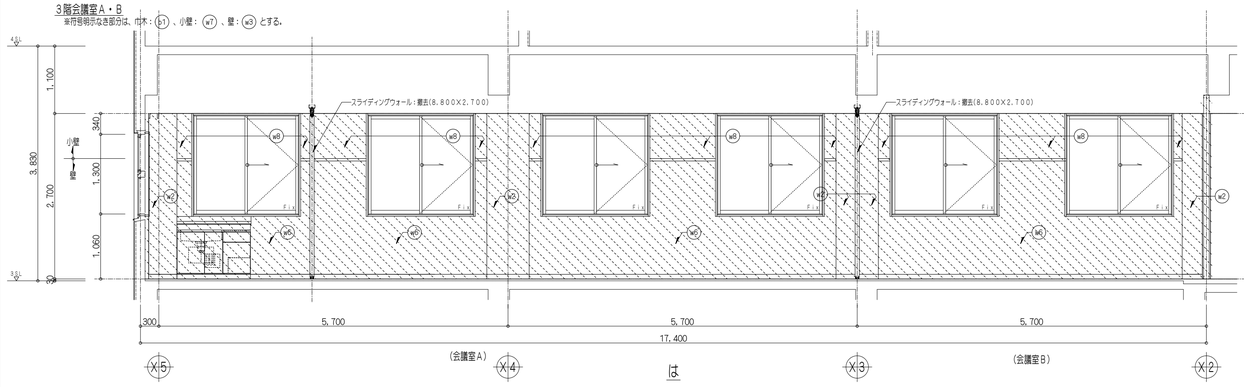


い

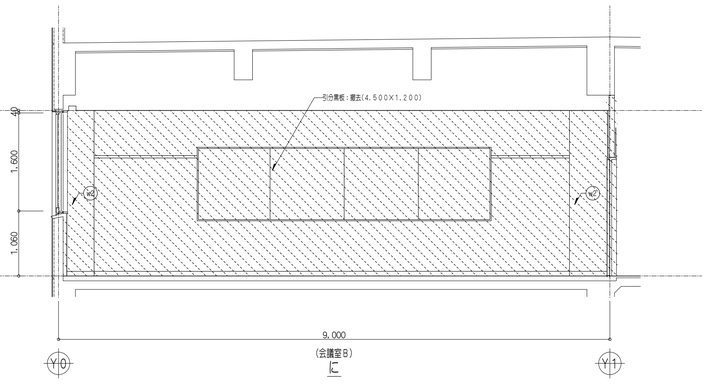


ろ

3階会議室Ａ・Ｂ
※符号明示なき部分は、巾木：b1 、小壁：w7 、壁：w3 とする。



は



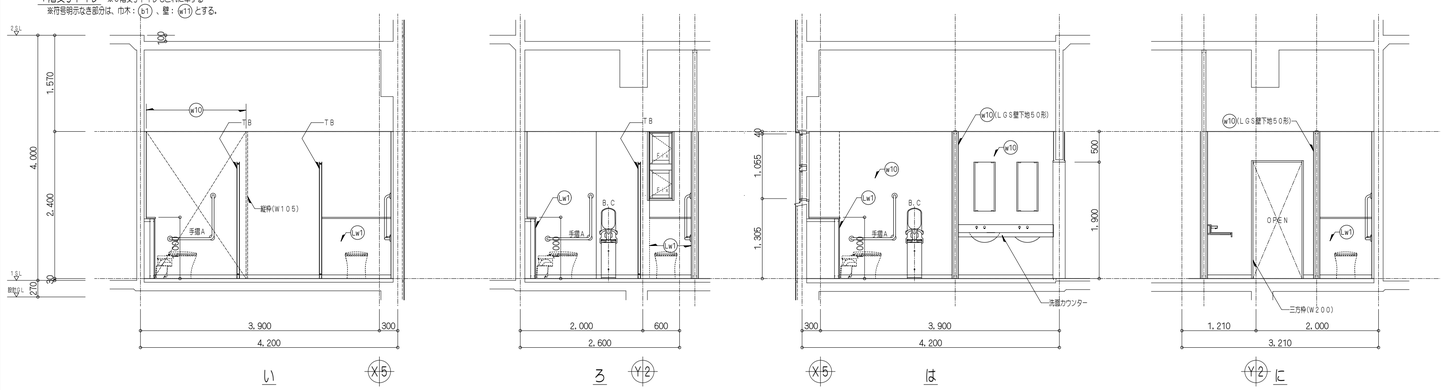
に

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-65
		変更年月日	図面名称 現況 展開図3-4 Scale 1/50	

1階女子トイレ　※3階女子トイレもこれに準ずる
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w11)とする。



凡例

建具はつりモルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)

間仕切：LGS壁下地65形 ※@450床上から天井裏躯体まで)

※バリアフリートイレ、男女共用トイレ内の器具、機器は全て機械設備工事とする

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

三方枠：ステンレスHL仕上げ 25XW

トイバック：コンパクト・パルアフリートイレパック(機械設備工事)

B.B(ベビーベッド)：樹脂製(跳ね上げ式) T80X130

B.C(ベビーチェア)：樹脂製(折りたたみ式) 280XD9X1,150

手洗カウンター：人造大理石(ボウル一体形) D=400、H=200

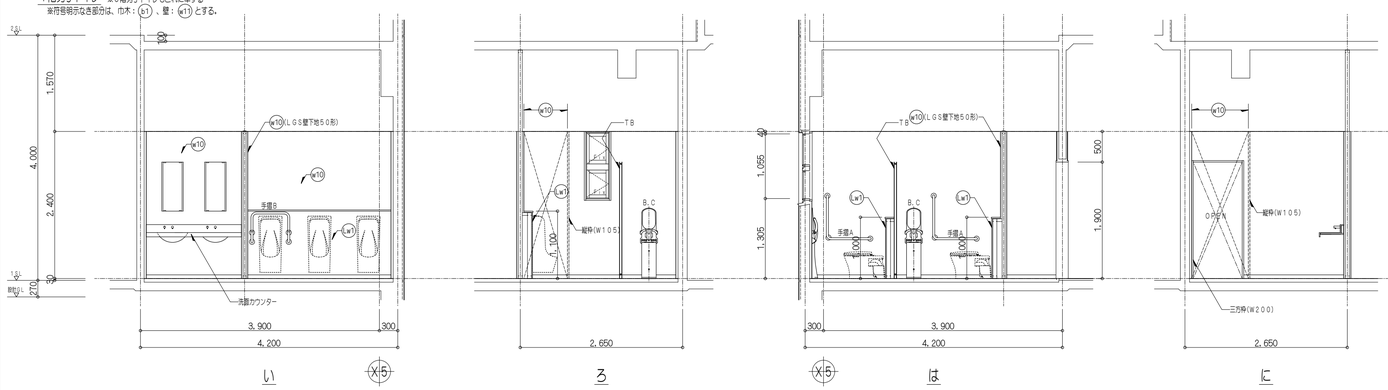
手摺：樹脂被覆タイプφ34

A：L形 T00XT00X90 ・ B：小便器 600X480X550

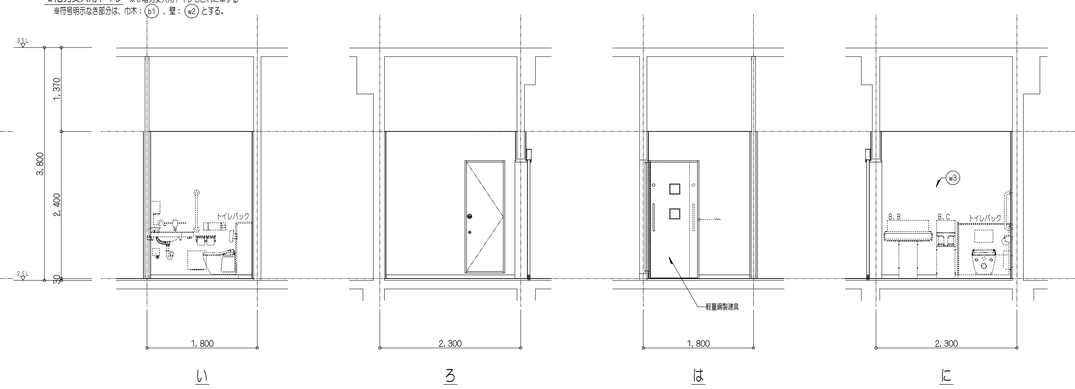
□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(w2)	壁	下地調整	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w10)	壁	LGS壁下地 シージングせっこうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w11)	壁	LGS胴縁組、シージングせっこうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w1)	壁	LGS壁下地、T-1台板t=12X2	メラミン化粧板t=3(目地シール)	甲板：メラミンポストフォームt=20X150(既製)

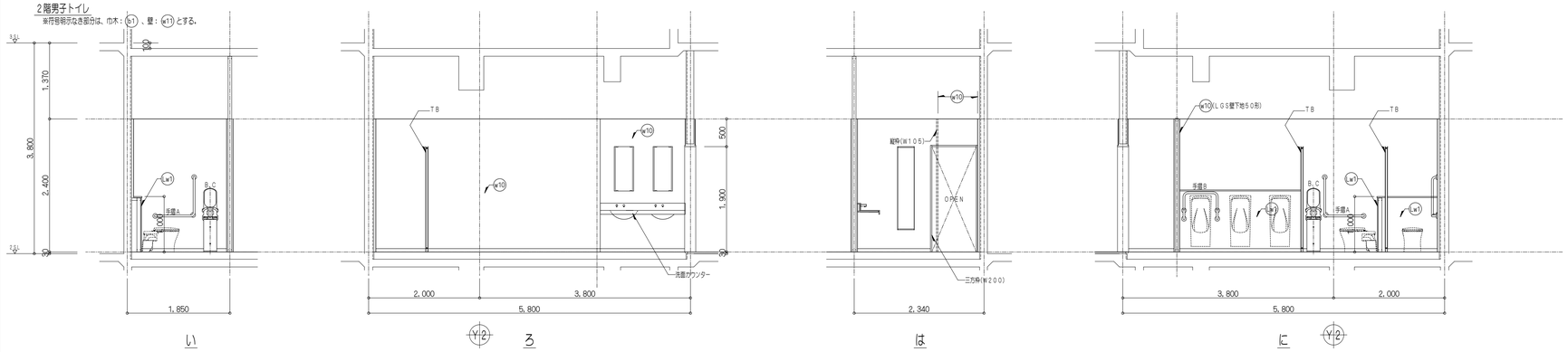
1階男子トイレ　※3階男子トイレもこれに準ずる
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w11)とする。



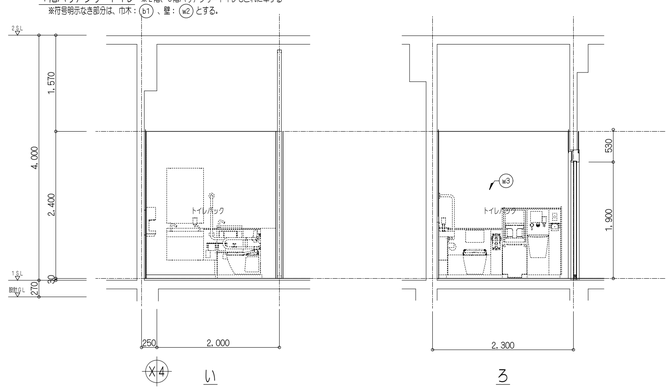
2階男女共用トイレ　※3階男女共用トイレもこれに準ずる
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



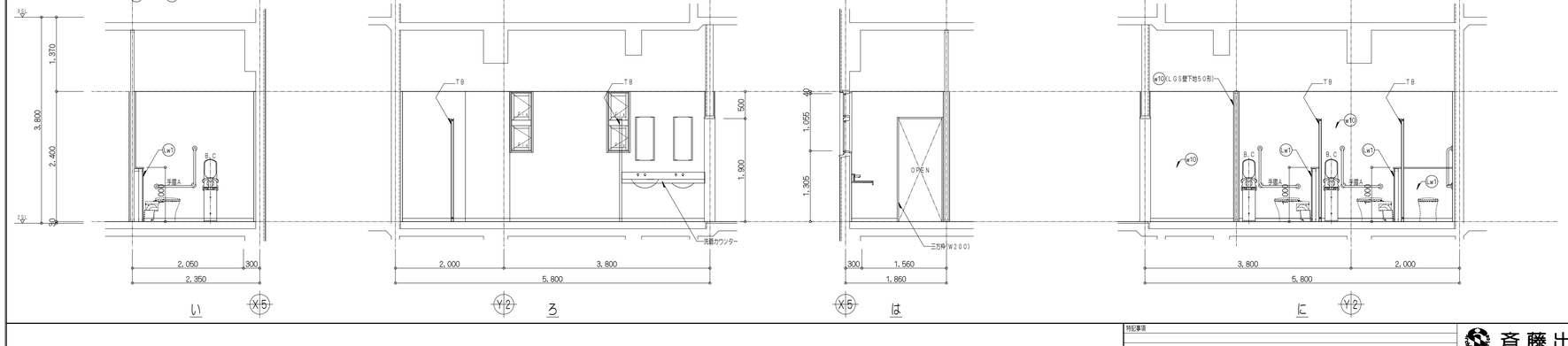
2階男子トイレ
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w11)とする。



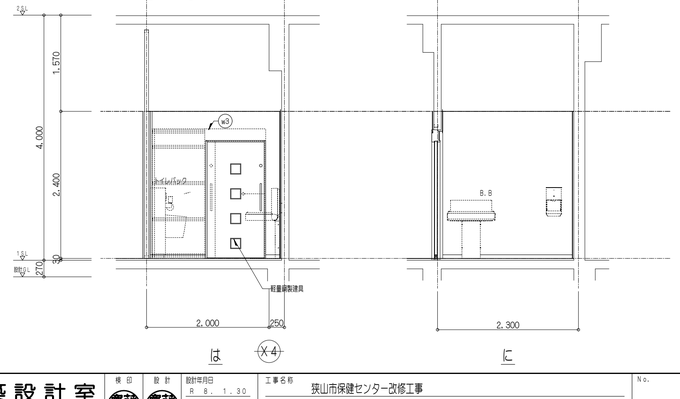
1階バリアフリートイレ　※2階、3階バリアフリートイレもこれに準ずる
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



2階男女子トイレ
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w11)とする。



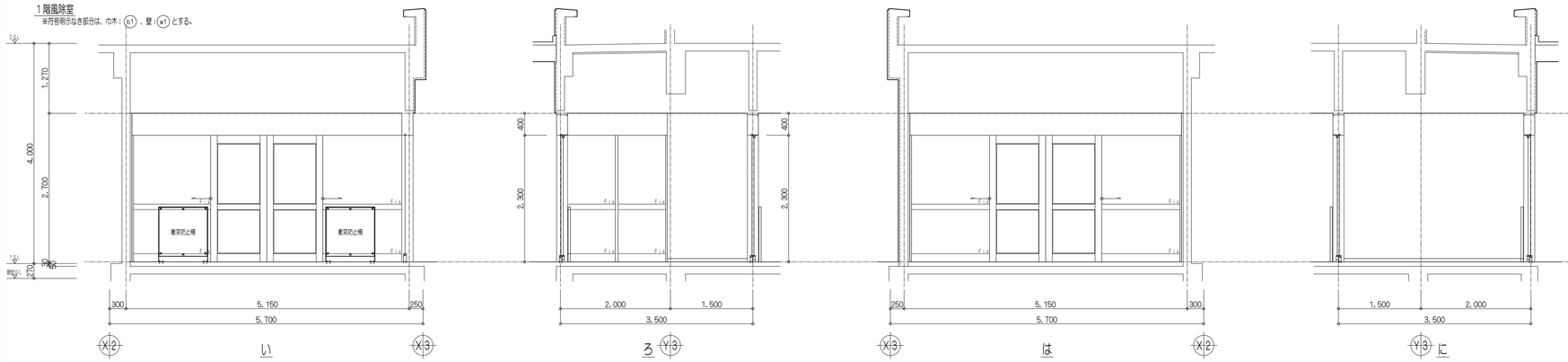
1階バリアフリートイレ　※2階、3階バリアフリートイレもこれに準ずる
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



特記事項							
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検図	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 変更年月日	工事名称 狭山市保健センター改修工事 図面名称 改修 展開図WC	Scale 1/50	No. A-66

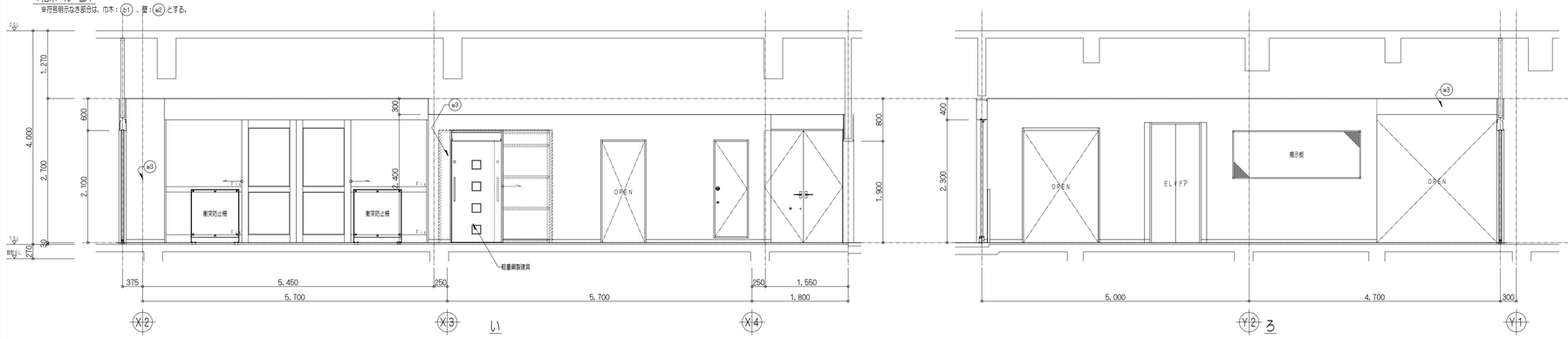
1階風除室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w1)とする。



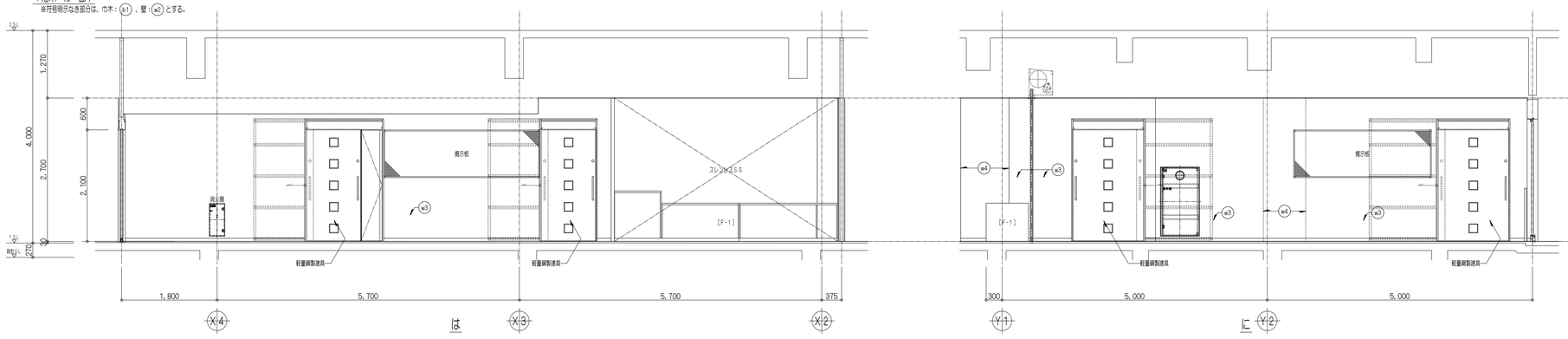
1階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



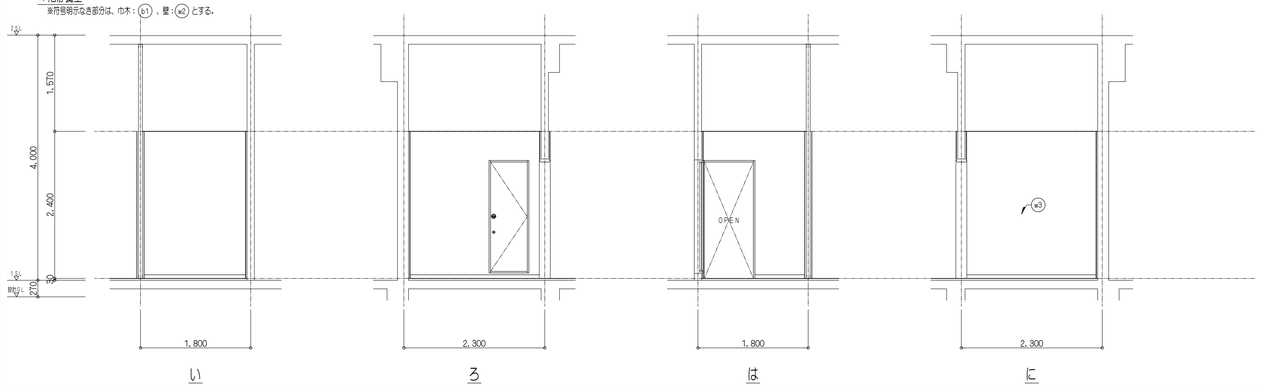
1階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



1階静養室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



凡例

- 建具周囲等モルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：ＬＧＳ壁下地６５形 ※@４５０床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

- 建具・ＳＳ・ＰＴ・ＴＢ：建具表参照
- (Ｆ-○○)：新設造作家具(家具図参照)
- 白板・掲示板：詳細図参照
- 消火器：半埋込消火器収納箱(スチール t=1.2、扉付き) ※設置場所は現場確認
- 衝突防止幅：自動ドア用安全ガード　Ｗ９００Ｘ１,０００
- フレーム　ＦＢ-９Ｘ４０(ＳＵＳ ＨＬ)、パネル 透明ポリカーボネート t=5

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスＨＬ Ｈ=６０	
(w1)	壁	ＬＧＳ胴縁組、けい酸カルシウム板 t=１２	高級自然石調製製膜仕上塗材	１段目地
(w2)	壁	下地調整	メラミン化粧板 t=３(目地シール)	
(w3)	壁	ＬＧＳ壁下地、石こうボード t=９.５+１２.５	メラミン化粧板 t=３(目地シール)	
(w4)	壁	ＬＧＳ胴縁組、石こうボード t=１２.５	メラミン化粧板 t=３(目地シール)	

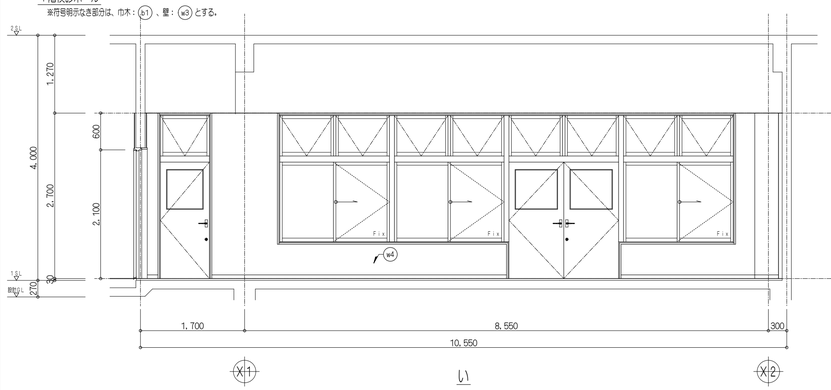
特記事項

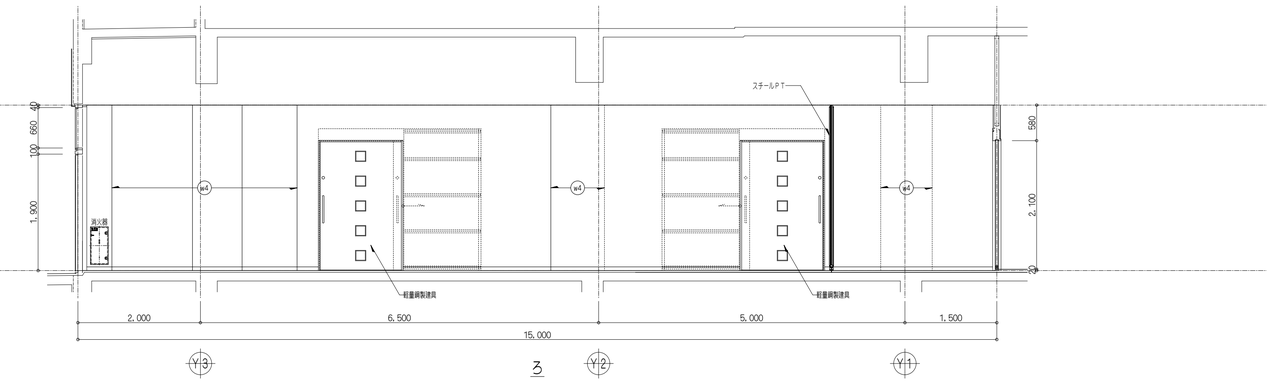
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R ８. １. ３０	狭山市保健センター改修工事	A-67
		変更年月日	図面名称 改修 展開図1-1 Scale 1/50	

1階検診ホール

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。

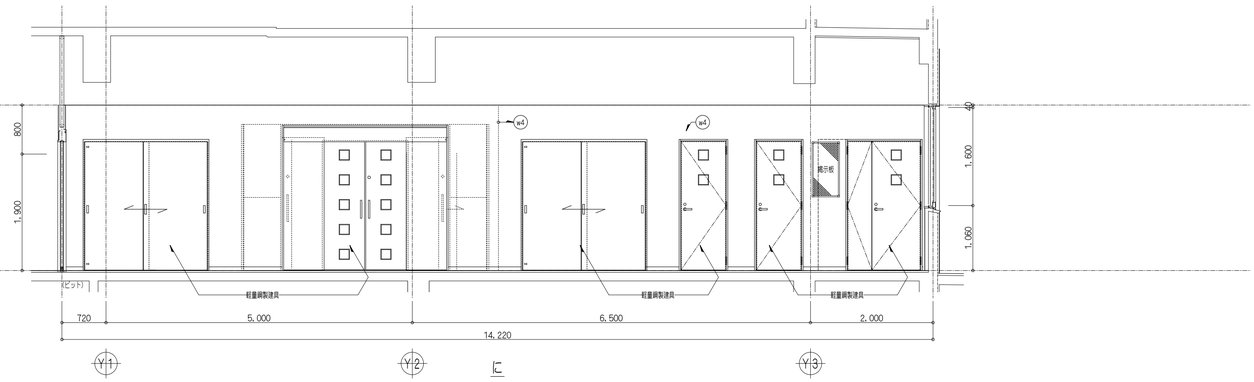




1階検診ホール

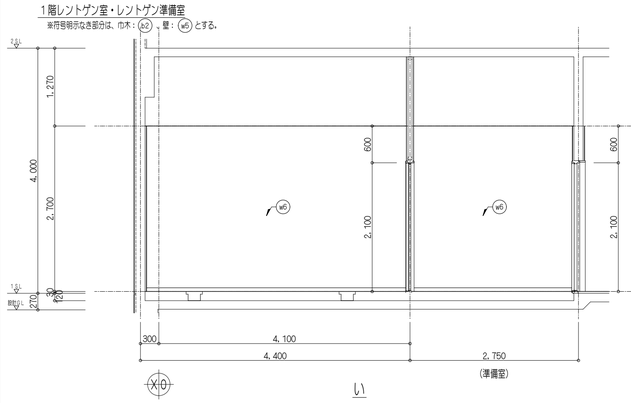
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。

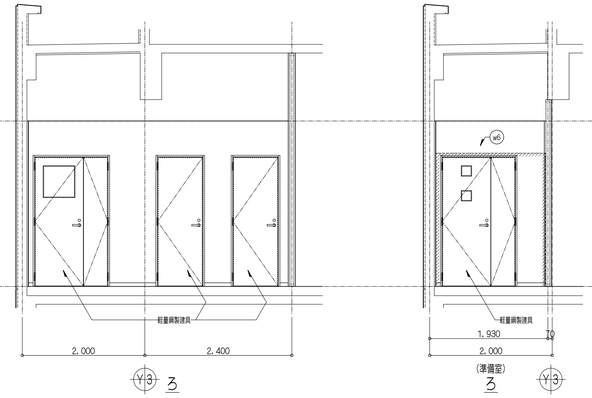


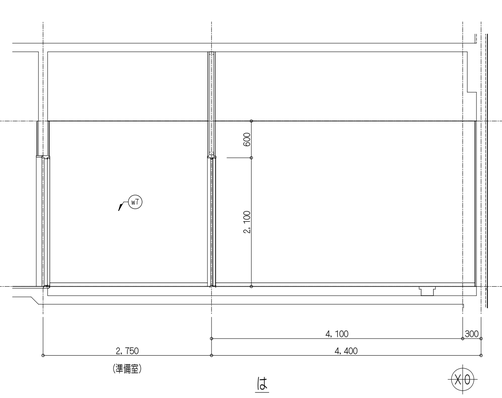


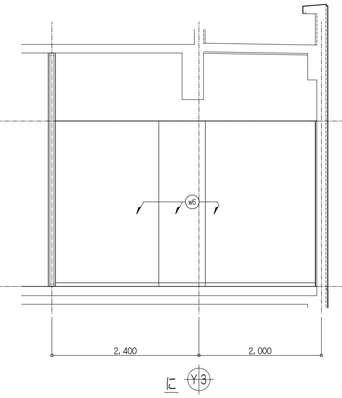
1階レントゲン室・レントゲン準備室

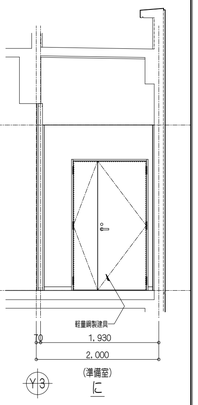
※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w5)とする。





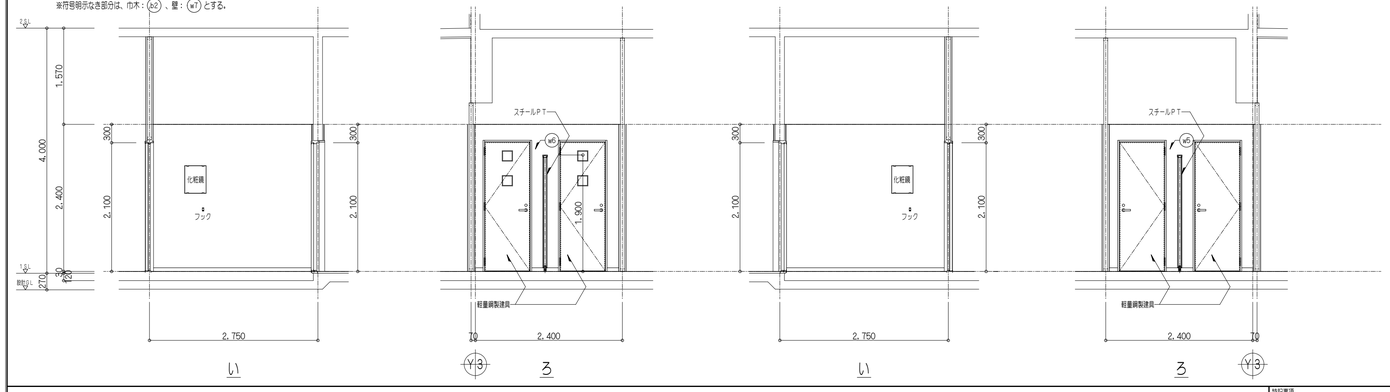






1階更衣室1・2

※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w1)とする。



凡例

- 建具周囲等モルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)
- 間仕切：LGS壁下地65形 単@450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

- 建具・SS・PT・TB：建具表参照
- [F-○○]：新設造作家具(家具図参照)
- 白板・掲示板：詳細図参照
- 消火器：半埋込消火器収納箱(スチールt=1.2、扉付き) ※設置場所は現場確認
- 化粧鏡：350X450
- フック：ステンレス製シングルフック

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS間緒組、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w5)	壁	LGS壁下地、X線遮蔽石こうボードt=12.5X2	ビニールクロス	床躯体から天井裏躯体まで施工
(w6)	壁	LGS間緒組、石こうボードt=12.5	ビニールクロス	
(w7)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=12.5X2	ビニールクロス	

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出 設計 齋藤出

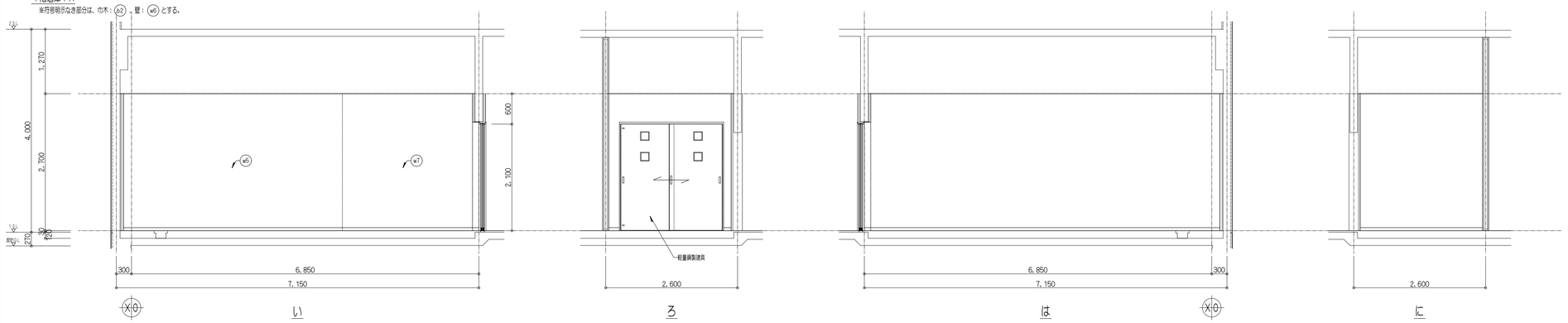
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 改修 展開図1-2
Scale 1/50

No. A-68

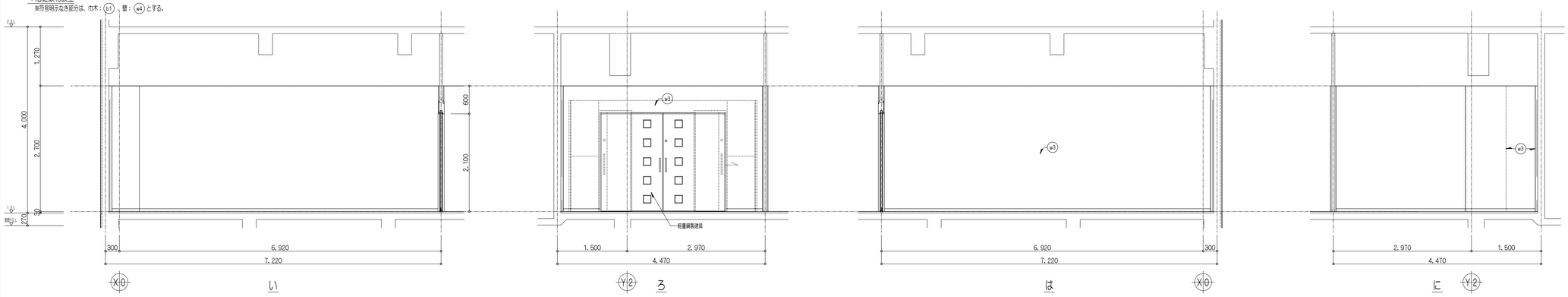
1階倉庫1A

※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w5)とする。



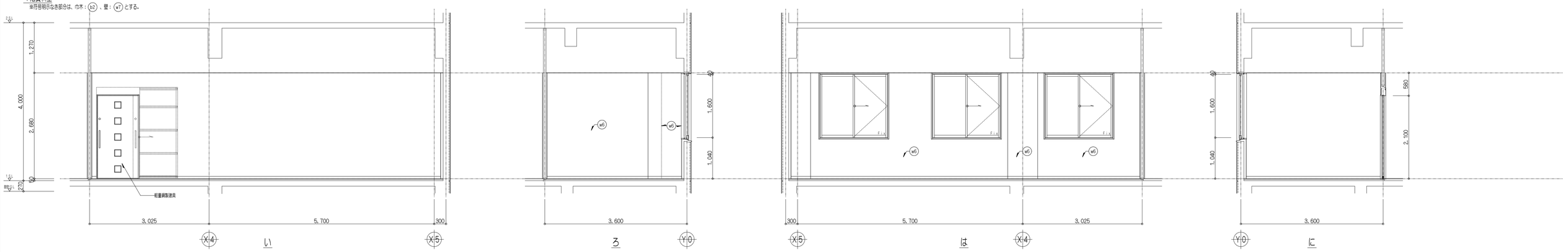
1階健康相談室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w4)とする。



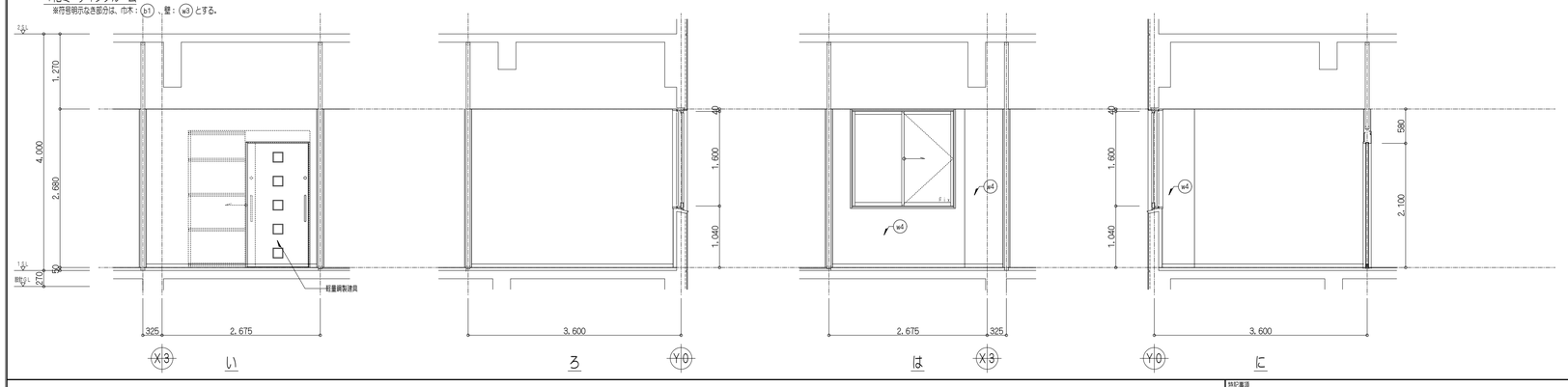
1階資料室

※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w7)とする。



1階ミーティングルーム

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



凡例

間仕切：LGS壁下地65形 ※@450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

(F-○○)：新設造作家具(家具図参照)

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボード t=9.5+12.5	メラミン化粧板 t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁組、石こうボード t=12.5	メラミン化粧板 t=3(目地シール)	
(w5)	壁	LGS壁下地、X構造耐石こうボード t=12.5X2	ビニールクロス	床躯体から天井裏躯体まで施工
(w6)	壁	LGS胴縁組、石こうボード t=12.5	ビニールクロス	
(w7)	壁	LGS壁下地、石こうボード t=12.5X2	ビニールクロス	

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出 設計 齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30

変更年月日

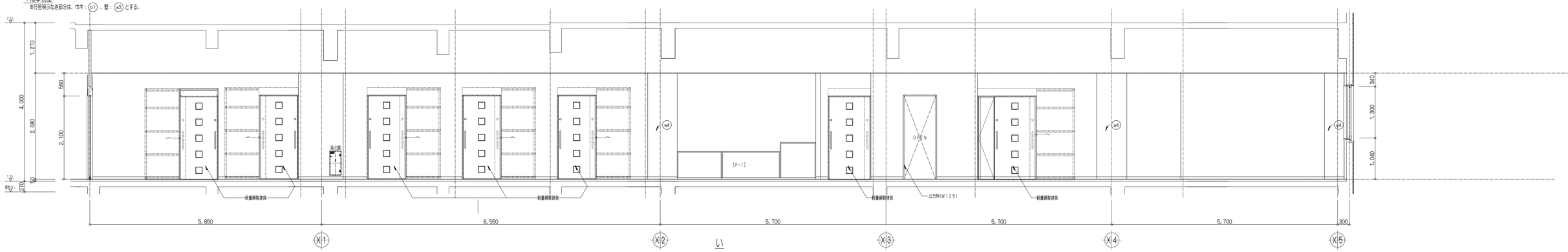
工事名称 狭山市保健センター改修工事

図面名称 改修 展開図1-3

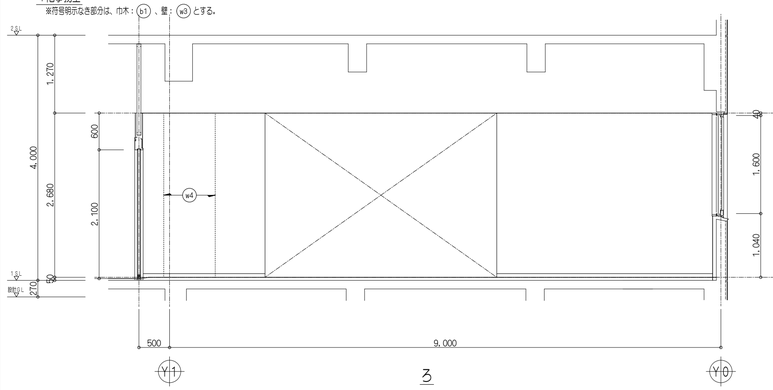
Scale 1/50

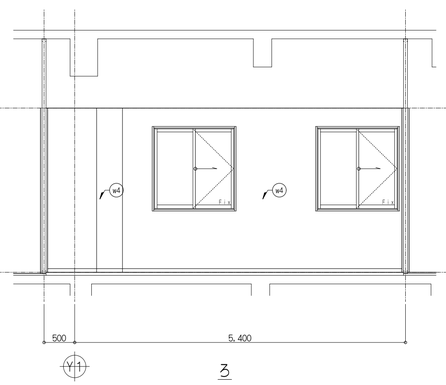
No. A-69

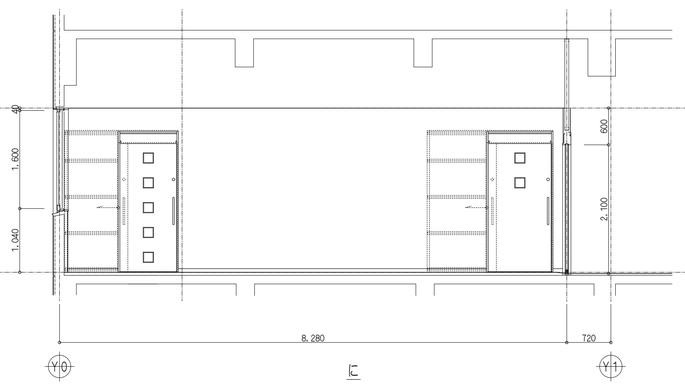
1階事務室
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



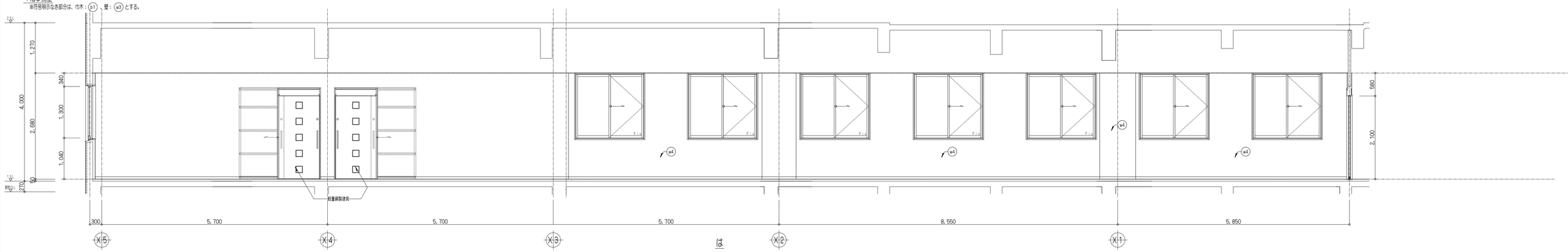
1階事務室
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



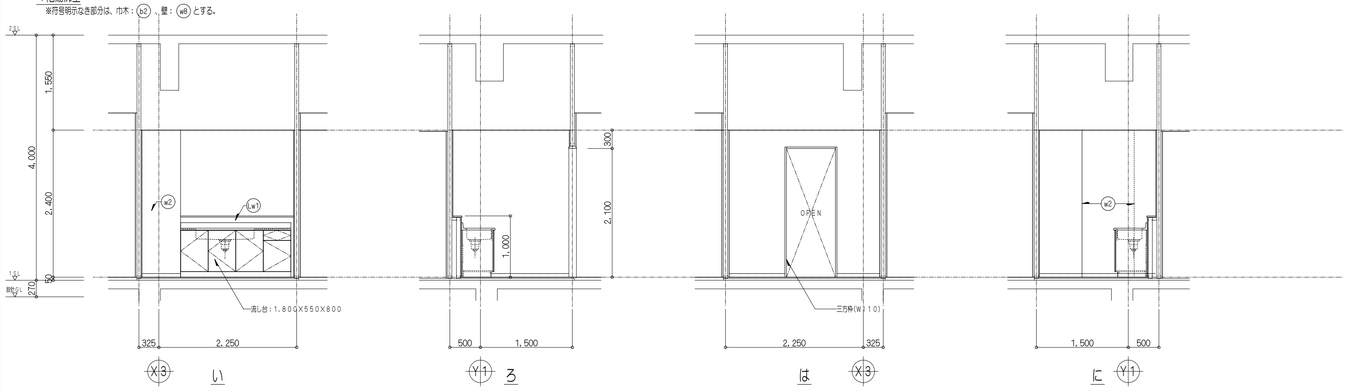




1階事務室
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



1階湯沸室
※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w8)とする。



凡例

開仕切：LGS壁下地65形 ※@450床上から天井躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

三方枠・framework：ステンレスHL仕上げ 2.5×W

消火器：半埋込消火器収納箱(スチールt=1.2、扉付き) ※設置場所は現場調整

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(w2)	壁	下地調整	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁貼、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w8)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w9)	壁	LGS壁下地、T-1合板t=12X2	メラミン化粧板t=3(目地シール)	甲板：メラミンポストフォームt=20X150(腰巾)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計
齋藤出	齋藤出

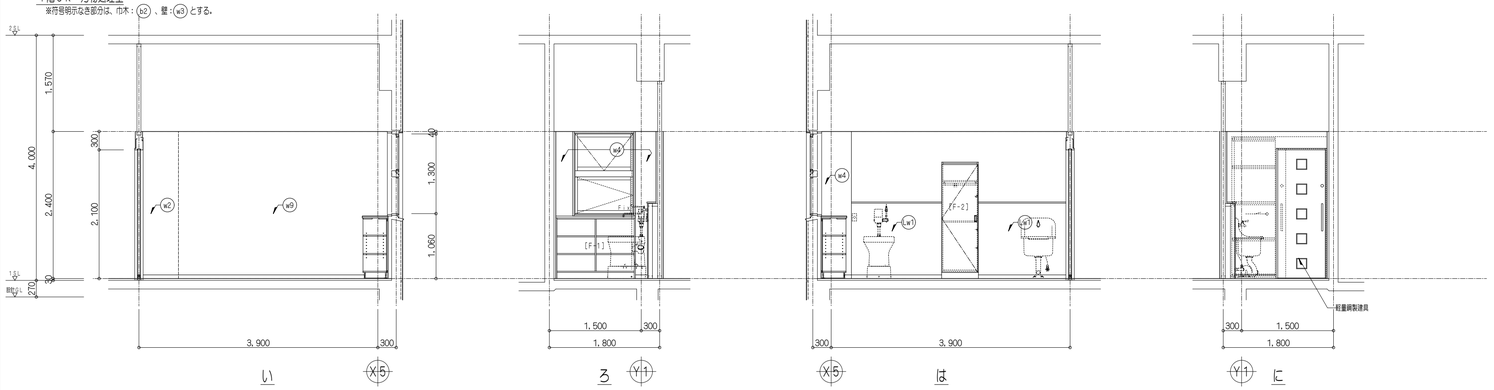
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 筑山市保健センター改修工事
図面名称 改修 展開図1-4
Scale 1/50

No. A-70

1階ＳＫ・汚物処理室

※符号明示なき部分は、巾木：b2、壁：w3とする。



凡例

間仕切：ＬＧＳ壁下地６５形 ※@４５０床上から天井裏躯体まで）

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・ＳＳ・ＰＴ・ＴＢ：建具表参照

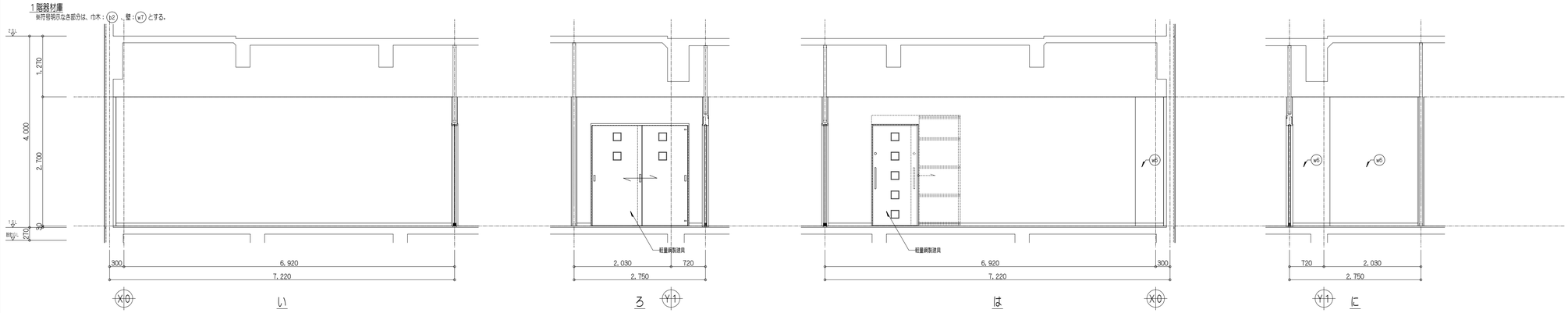
[F-○○]：新設造作家具（家具図参照）

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
b2	巾木		ソフト巾木 H=60	
w2	壁	下地調整	メラミン化粧板t=3（目地シール）	
w3	壁	ＬＧＳ壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3（目地シール）	
w4	壁	ＬＧＳ胴縁組、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3（目地シール）	
w5	壁	ＬＧＳ胴縁組、石こうボードt=12.5	ビニールクロス	
w7	壁	ＬＧＳ壁下地、石こうボードt=12.5×2	ビニールクロス	
w9	壁	石こうボードt=12.5 GL工法	メラミン化粧板t=3（目地シール）	
w1	壁	ＬＧＳ壁下地、T-1合板t=12×2	メラミン化粧板t=3（目地シール）	巾木：メラミンポストフォームt=20×150（既存）

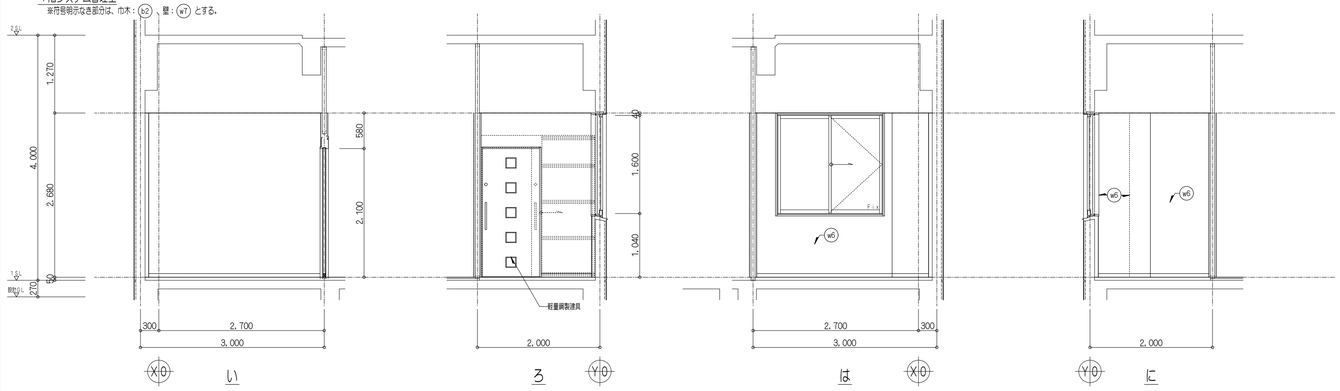
1階器材庫

※符号明示なき部分は、巾木：b2、壁：w7とする。



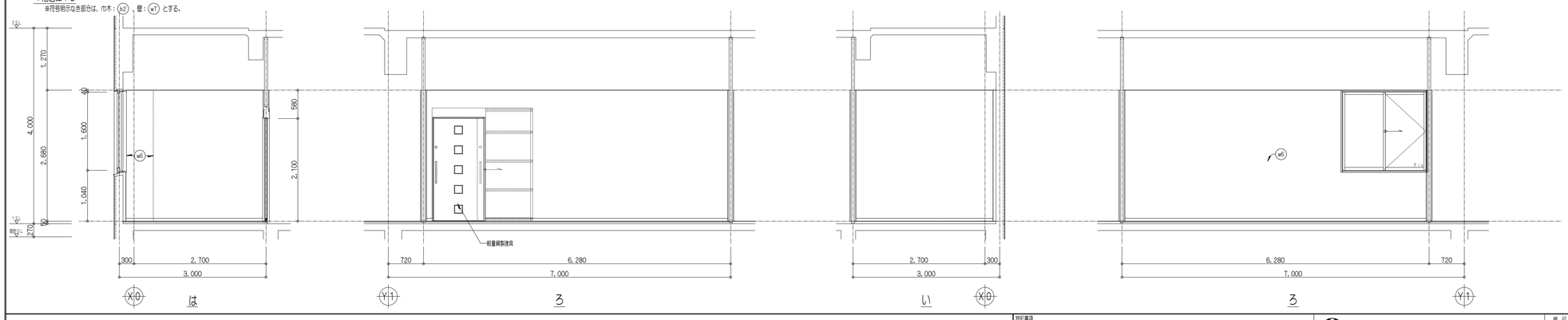
1階システム管理室

※符号明示なき部分は、巾木：b2、壁：w7とする。



1階倉庫１Ｂ

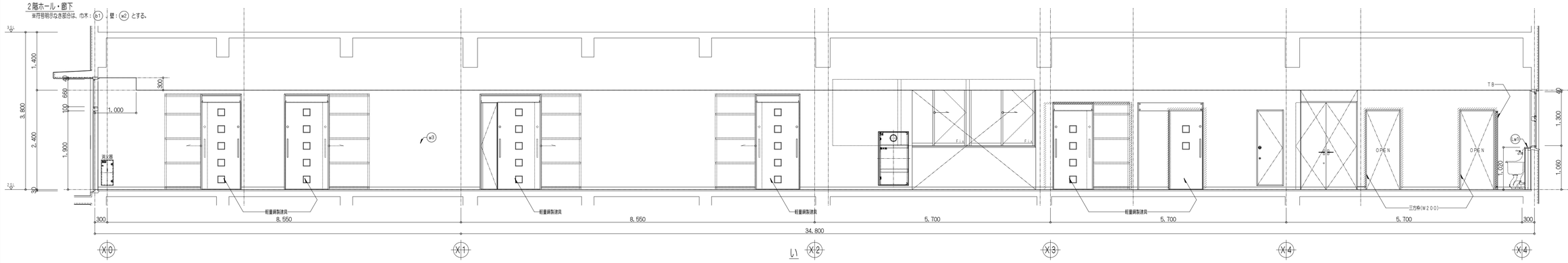
※符号明示なき部分は、巾木：b2、壁：w7とする。



特記事項								
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 Ｒ８．１．30 変更年月日	工事名称 狭山市保健センター改修工事 図面名称 改修 展開図1-5	Scale 1/50	No. A-71

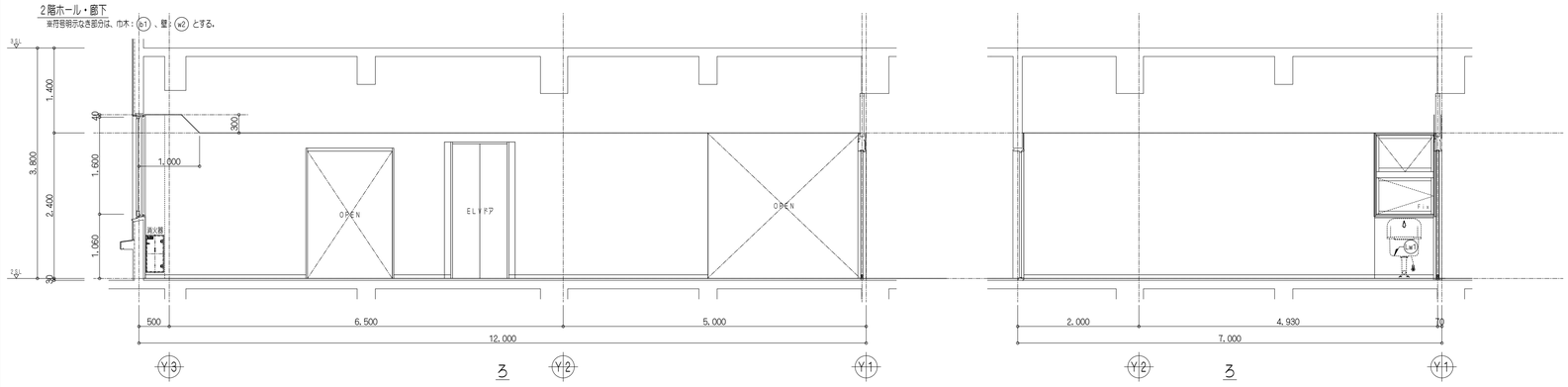
2階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



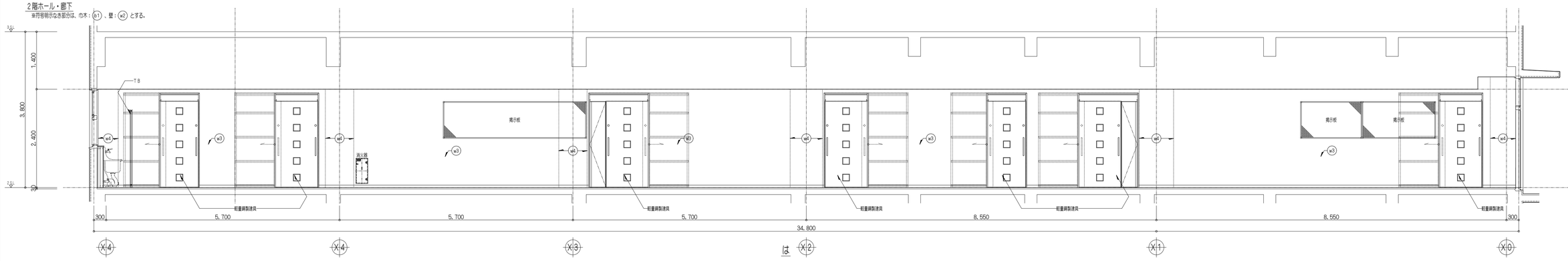
2階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



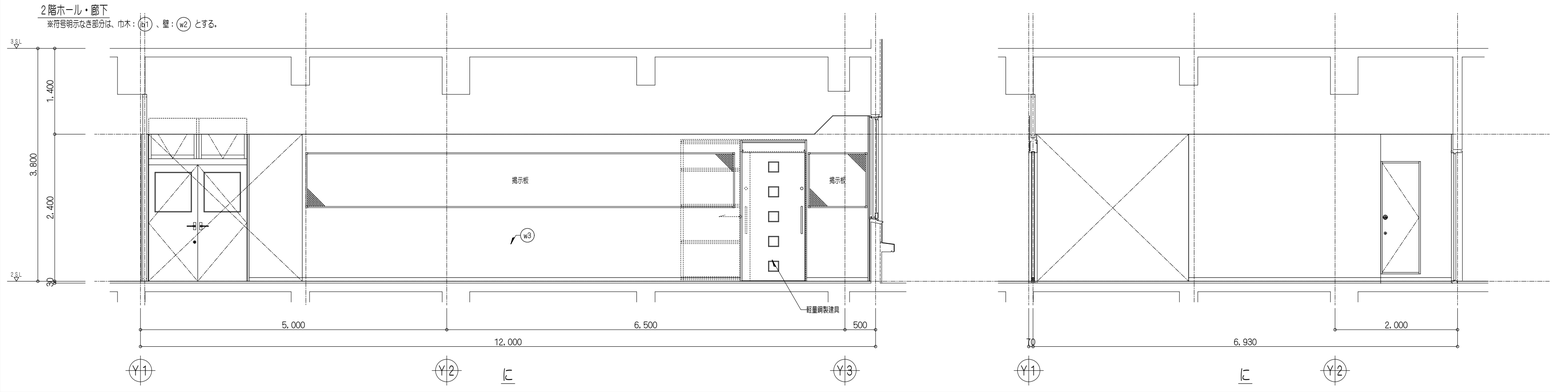
2階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



2階ホール・廊下

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



凡例

建具周囲等モルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)

間仕切：LGS壁下地65形 ※@450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

(F-○○)：新設造作家具(家具図参照)

白板・掲示板：詳細図参照

三方枠：ステンレスHL仕上げ 25XW

消火器：※埋込消火器収納箱(スチールt1.2、扉付き) ※設置場所は現場確認

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(w2)	壁	下地調整	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w5)	ライニング	軽量鉄骨壁下地65形@300 T-1合板t=12X2	メラミン化粧板t=3(目地シーリング) 甲板：メラミンポストフォームt=20X150	

特記事項

斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出

設計 齋藤出

設計年月日 R8. 1. 30

変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事

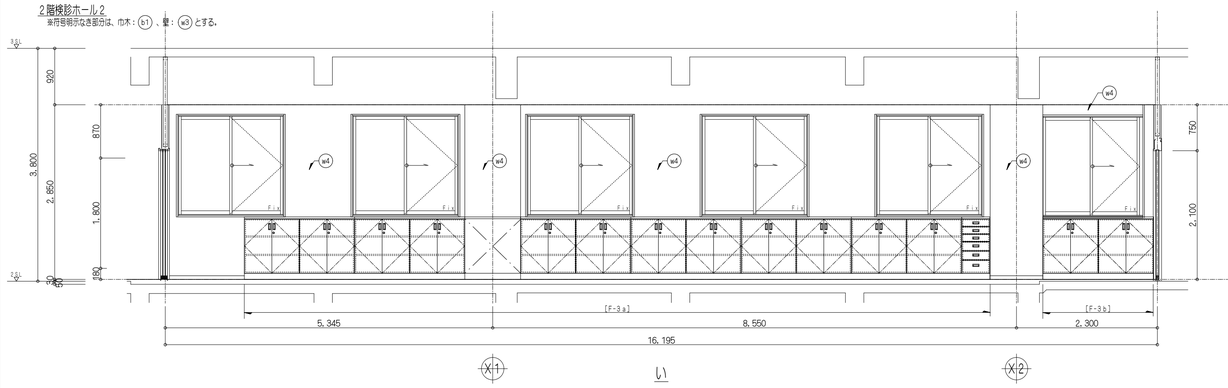
図面名称 改修 展開図2-1

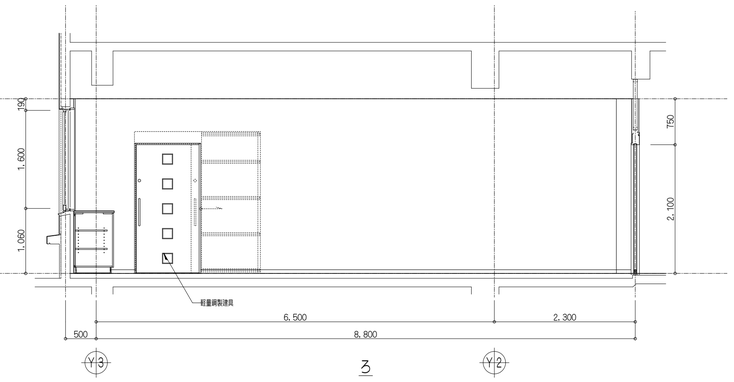
Scale 1/50

No. A-72

2階検診ホール2

※符号明示なき部分は、巾木：b1、壁：w3とする。





凡例

開仕切：LGS壁下地65形 米@450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

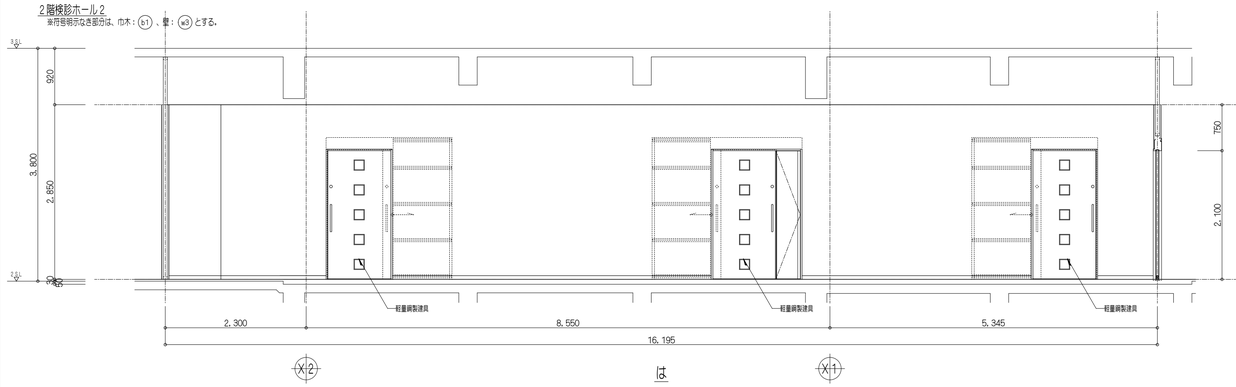
[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

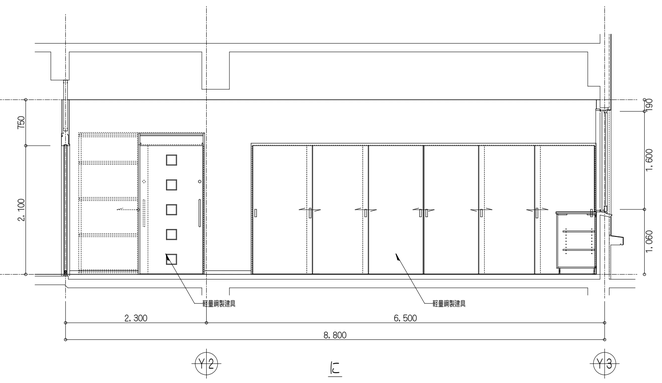
□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
b1	巾木		ステンレスHL H=60	
b2	巾木		ソフト巾木 H=60	
w3	壁	LGS壁下地、石こうボード t=9.5+12.5	メラミン化粧板 t=3(目地シール)	
w4	壁	LGS胴縁組、石こうボード t=12.5	メラミン化粧板 t=3(目地シール)	
w6	壁	LGS胴縁組、石こうボード t=12.5	ビニールクロス	
w7	壁	LGS壁下地、石こうボード t=12.5×2	ビニールクロス	

2階検診ホール2

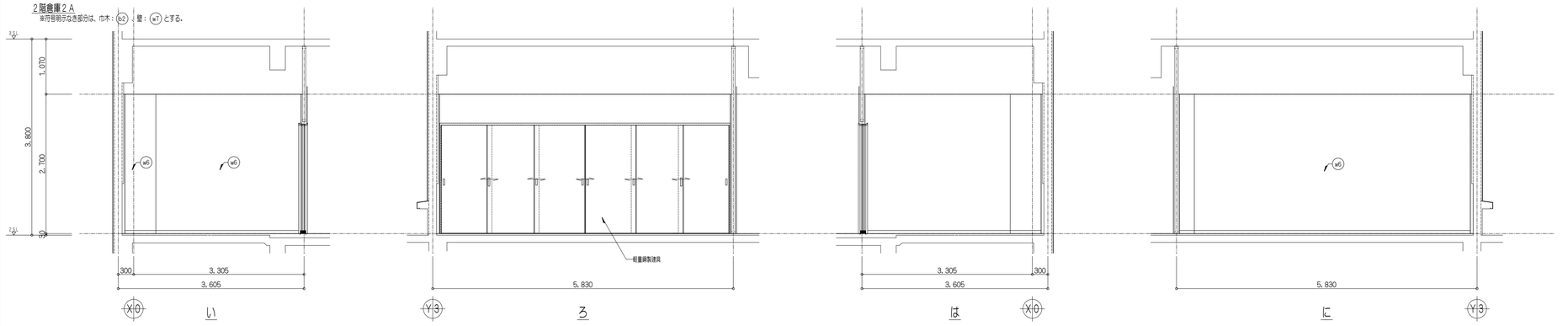
※符号明示なき部分は、巾木：b1、壁：w3とする。





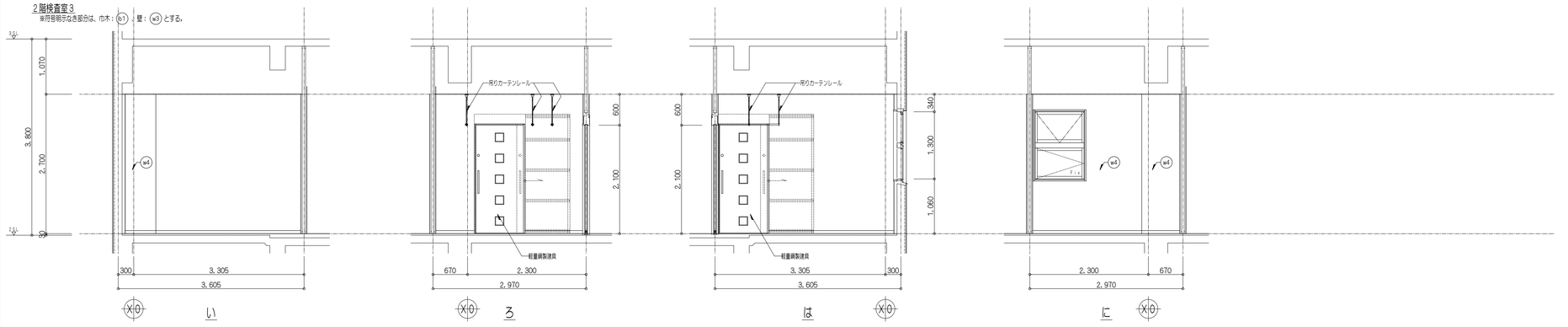
2階倉庫2A

※符号明示なき部分は、巾木：b2、壁：w7とする。



2階検査室3

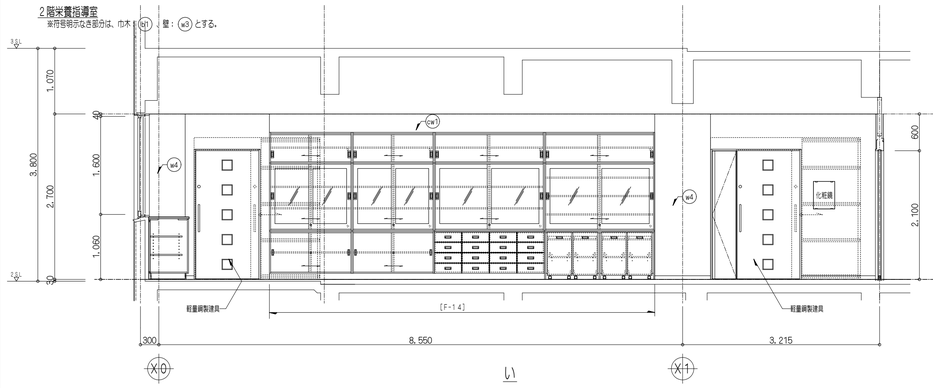
※符号明示なき部分は、巾木：b1、壁：w3とする。

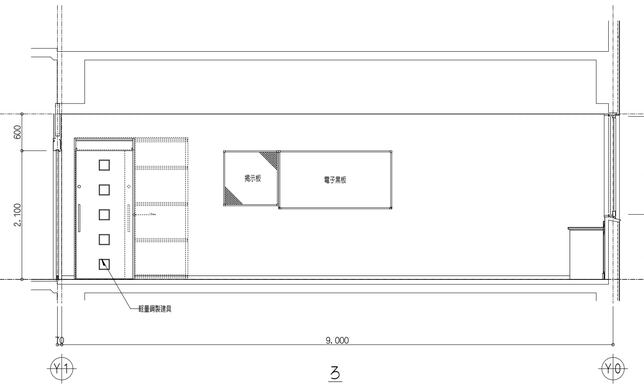


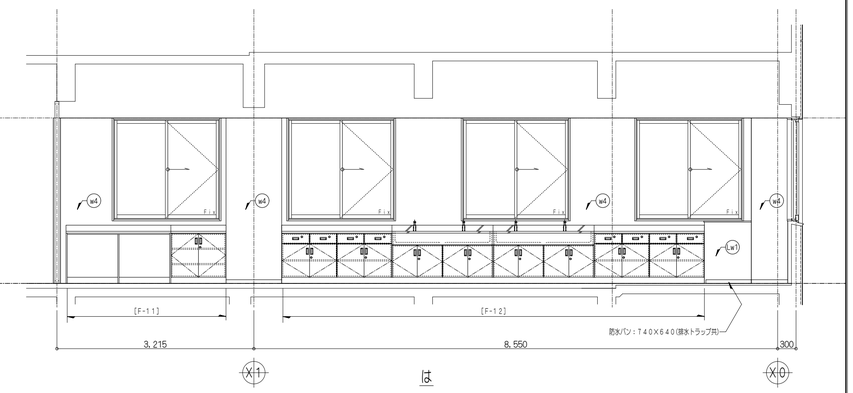
特記事項		検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
	斉藤出建築設計室	斎藤出	斎藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-73
	一般建築士 第326081号 齋藤出			変更年月日	図面名称 改修 展開図2-2 Scale 1/50	

2階栄養指導室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。

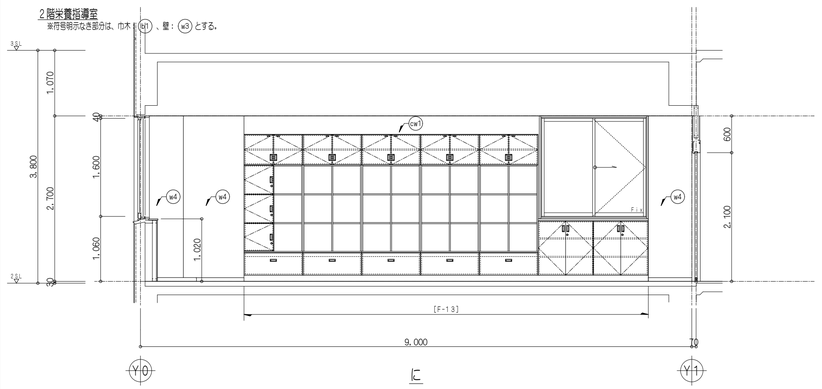






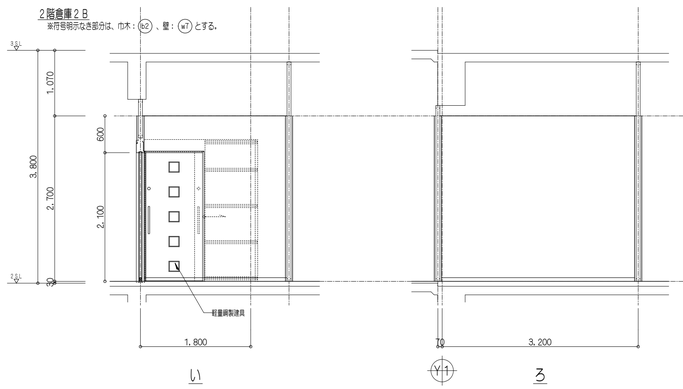
2階栄養指導室

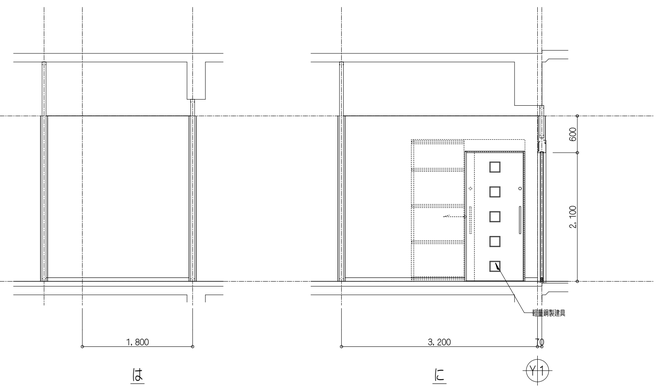
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



2階倉庫2B

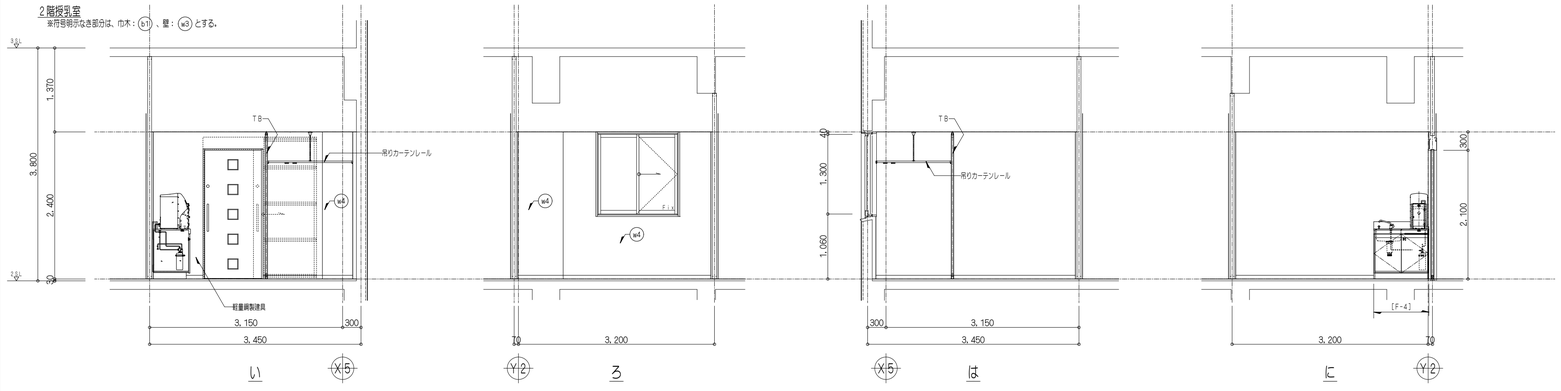
※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w1)とする。





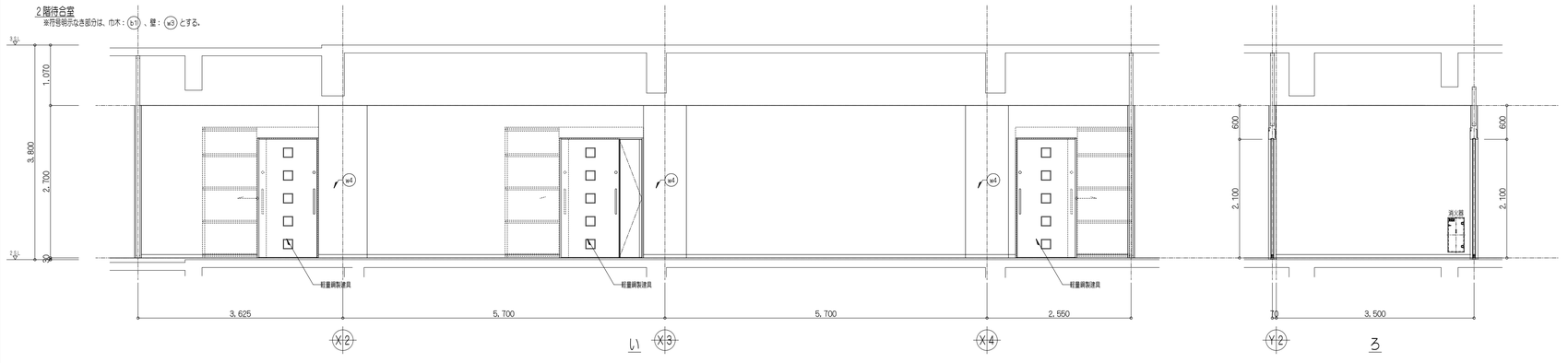
2階授乳室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



2階授乳室

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



凡例

間仕切：LGS壁下地65形 半@450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

白板・掲示板：詳細図参照

化粧鏡：350X450

消火器：半埋込消火器収納箱(スチールt=1.2、扉付き) ※設置場所は現場確認

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w1)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=12.5X2	ビニールクロス	

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出

設計 齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30

変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事

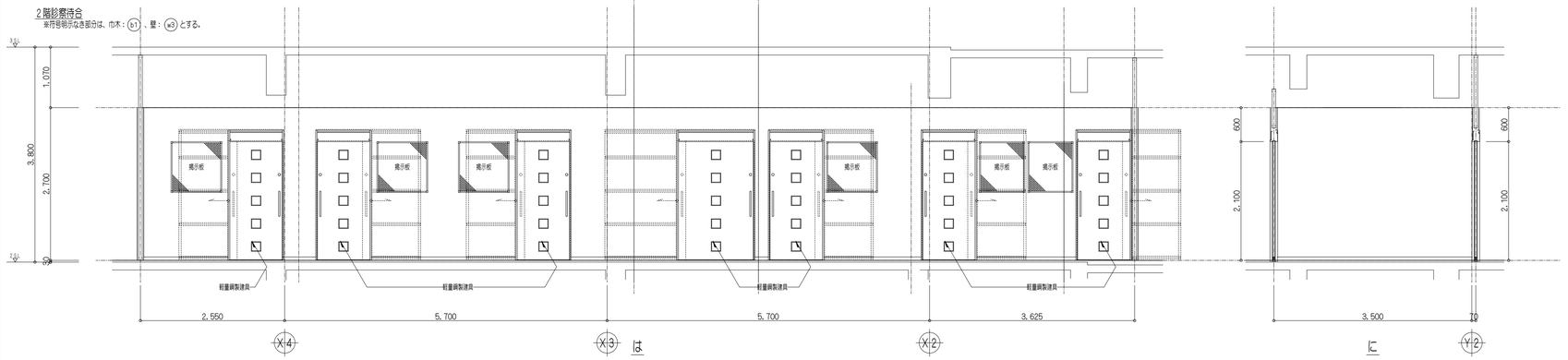
図面名称 改修 展開図2-3

Scale 1/50

No. A-74

2階診察待合

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



は　　に

凡例

開仕切：ＬＧＳ壁下地６５形 ※@４５０床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・ＳＳ・ＰＴ・ＴＢ：建具表参照

(Ｆ-○○)：新設造作家具(家具図参照)

白板・掲示板：詳細図参照

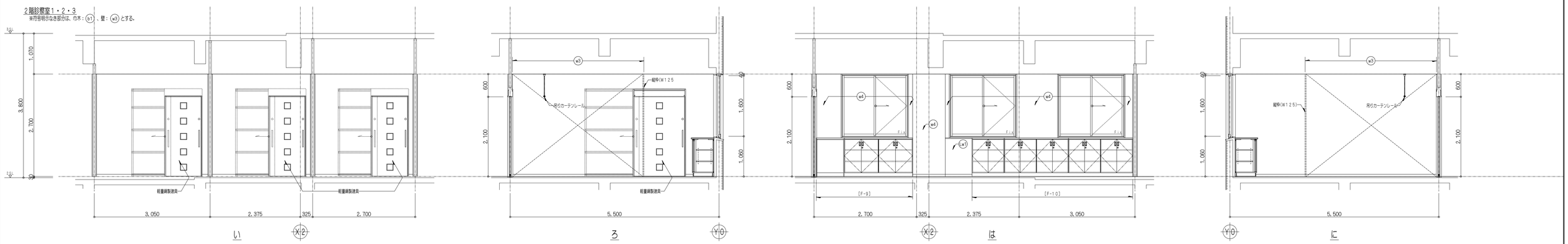
三方枠・縦枠：ステンレスＨＬ仕上げ ２５ＸＷ

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスＨＬ Ｈ１６０	
(w3)	壁	ＬＧＳ壁下地、石こうボード t＝9.5＋12.5	メラミン化粧板 t＝3(目地シール)	
(w4)	壁	ＬＧＳ胴縁組、石こうボード t＝12.5	メラミン化粧板 t＝3(目地シール)	
(w1)	壁	ＬＧＳ壁下地、T-1合板 t＝12X2	メラミン化粧板 t＝3(目地シール)	甲板：メラミンポストフォーム t＝20X150(腰巾)

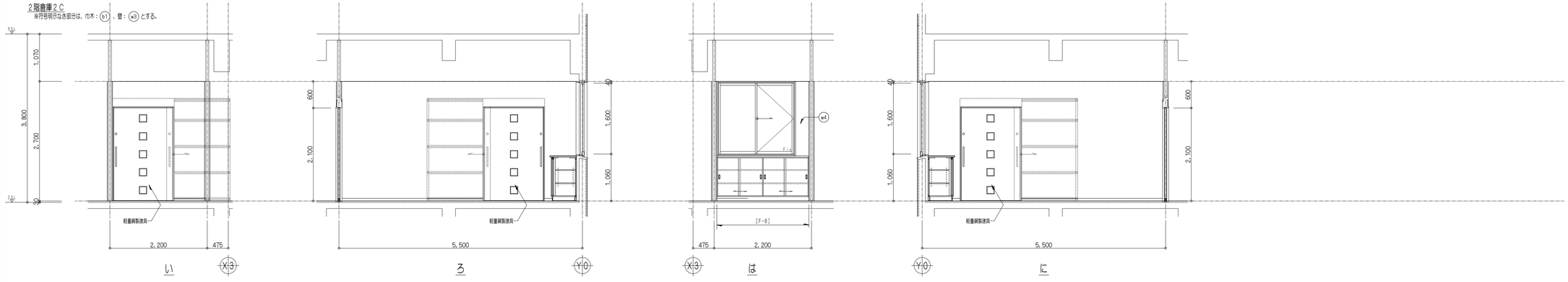
2階診察室１・２・３

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



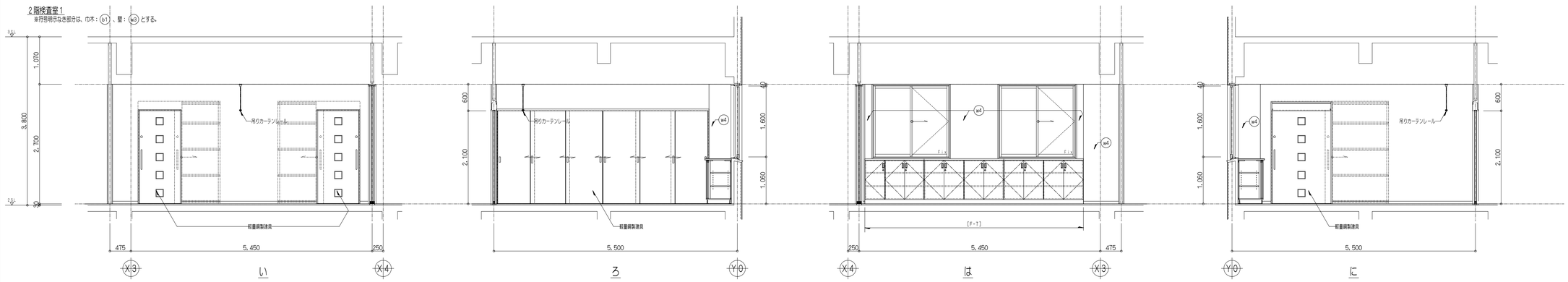
2階倉庫２Ｃ

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



2階検査室１

※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



特記事項

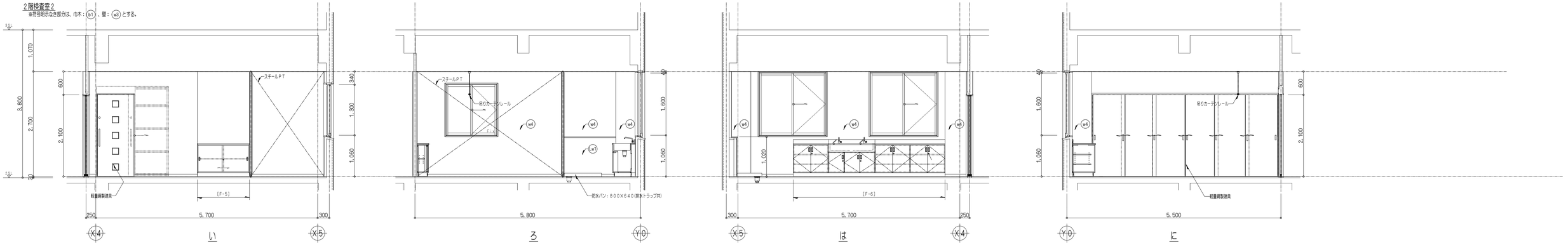
斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤 出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-75
		変更年月日	図面名称 改修 展開図2-4	Scale 1/50

2階検査室2

室符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



凡例

開仕切：LGS壁下地65形 ※@450(床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボード t=9.5+12.5	メラミン化粧板 t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁組、石こうボード t=12.5	メラミン化粧板 t=3(目地シール)	
(w1)	壁	LGS壁下地、T-1合板 t=12X2	メラミン化粧板 t=3(目地シール)	甲板：メラミンポストフォーム t=20X150(面3)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

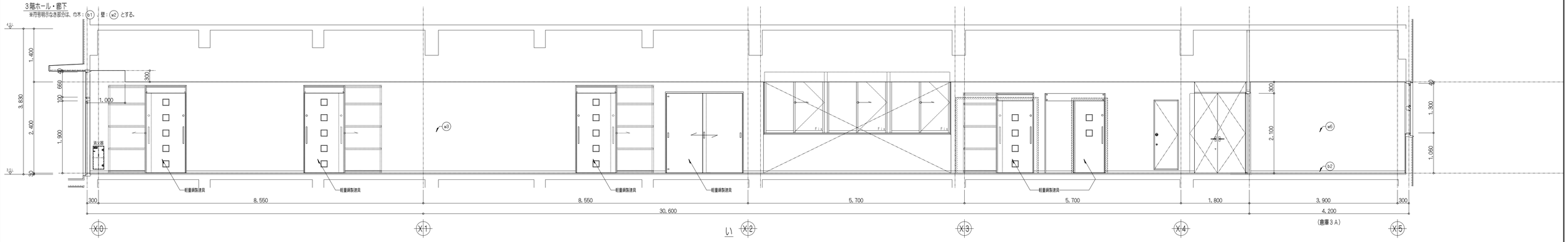
検印 齋藤出
設計 齋藤出

設計年月日 R. 8. 1. 30
変更年月日

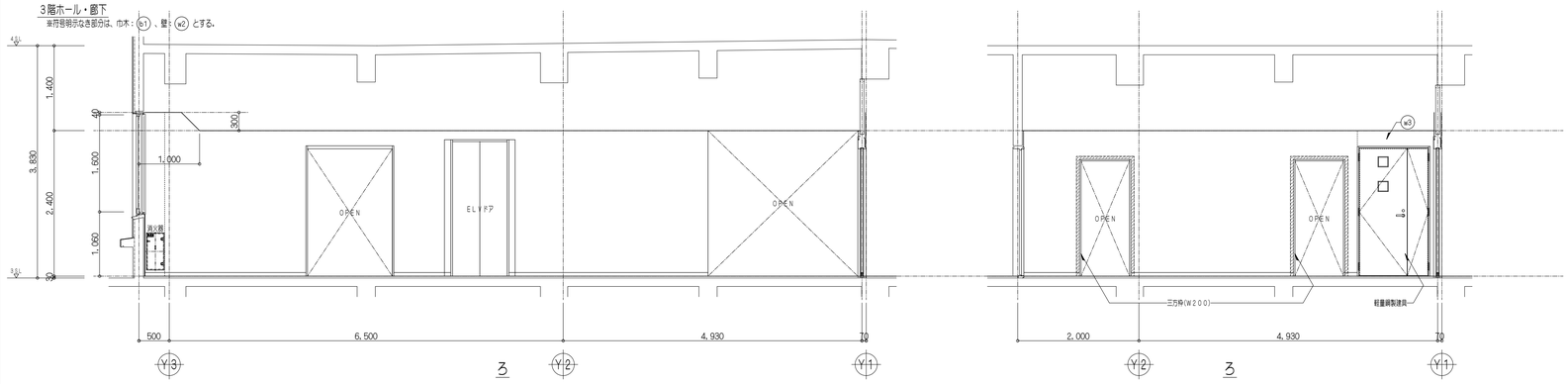
工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 改修 展開図2-5
Scale 1/50

No. A-76

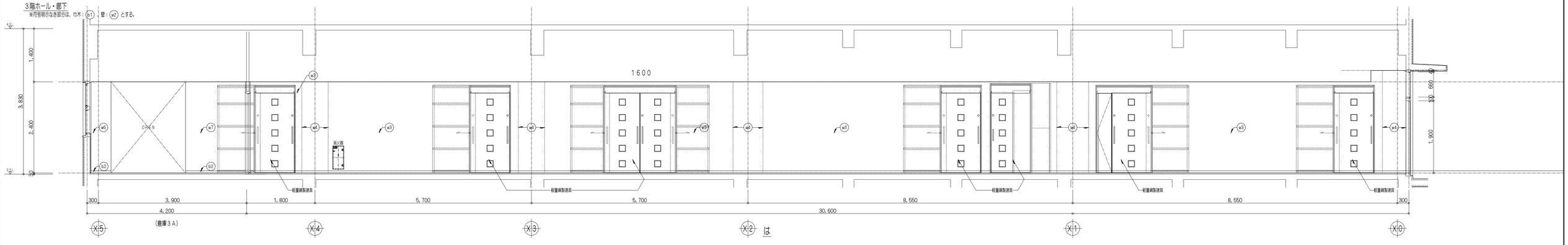
3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



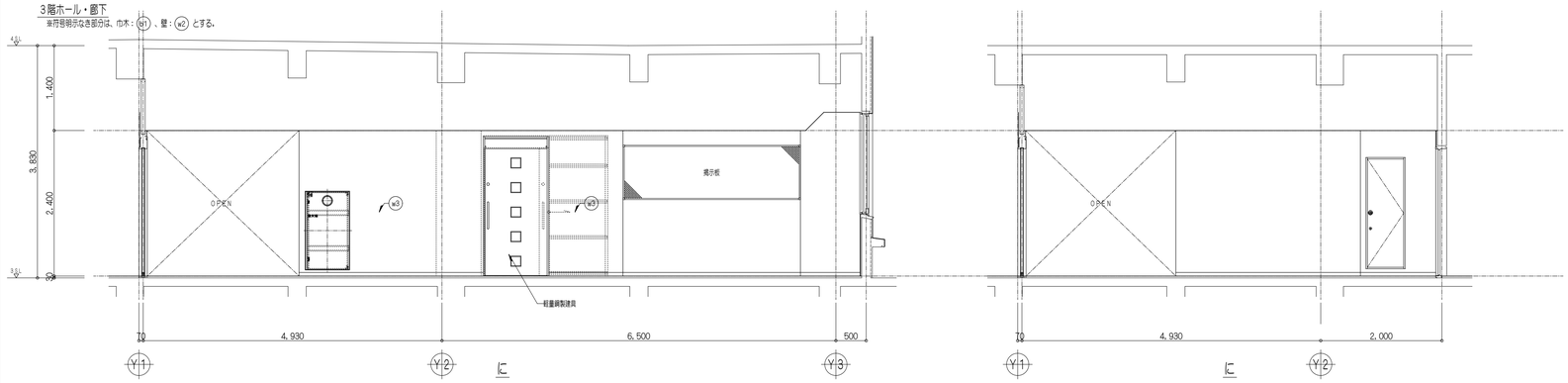
3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



3階ホール・廊下
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w2)とする。



凡例

建具周囲等モルタル充填部分を示す(撤去部及び新設部)

間仕切：LGS壁下地65形 ※@450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

白板・掲示板：詳細図参照

三方枠・縦枠：ステンレスHL仕上げ 25XW

消火器：半埋込消火器収納箱(スチールt=1.2、扉付き) ※設置場所は現場確認

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(w2)	壁	下地調整	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w5)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	ビニールクロス	
(w7)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=12.5×2	ビニールクロス	

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計
齋藤出	齋藤出

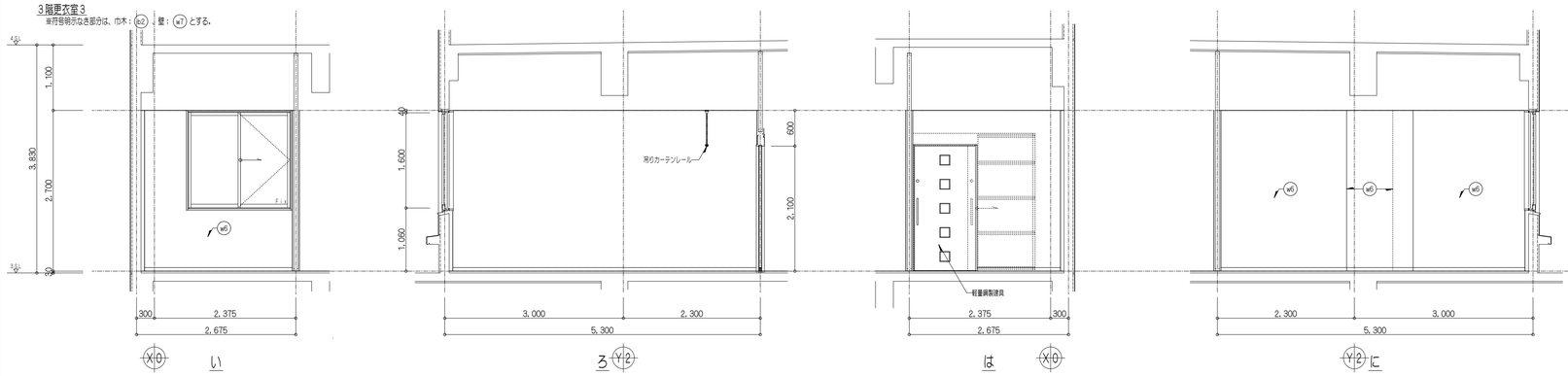
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 改修 展開図3-1
Scale 1/50

No. A-77

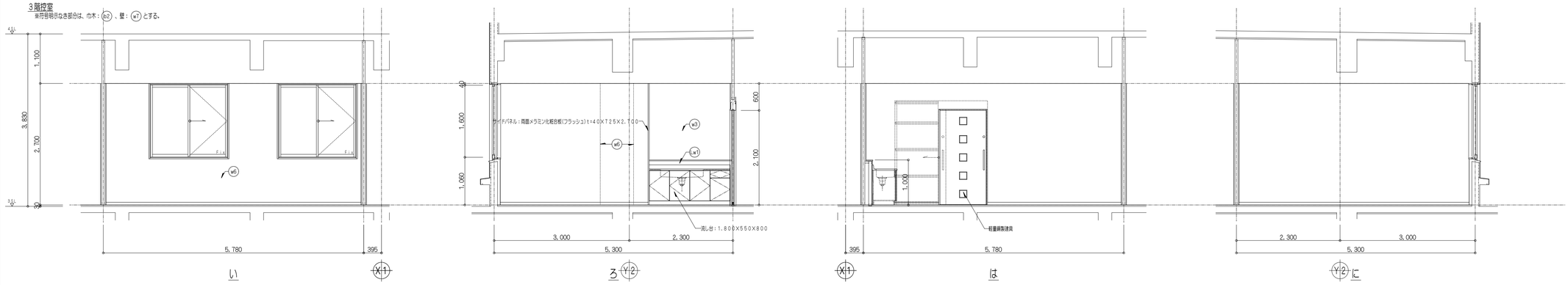
3階更衣室3

※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w1)とする。



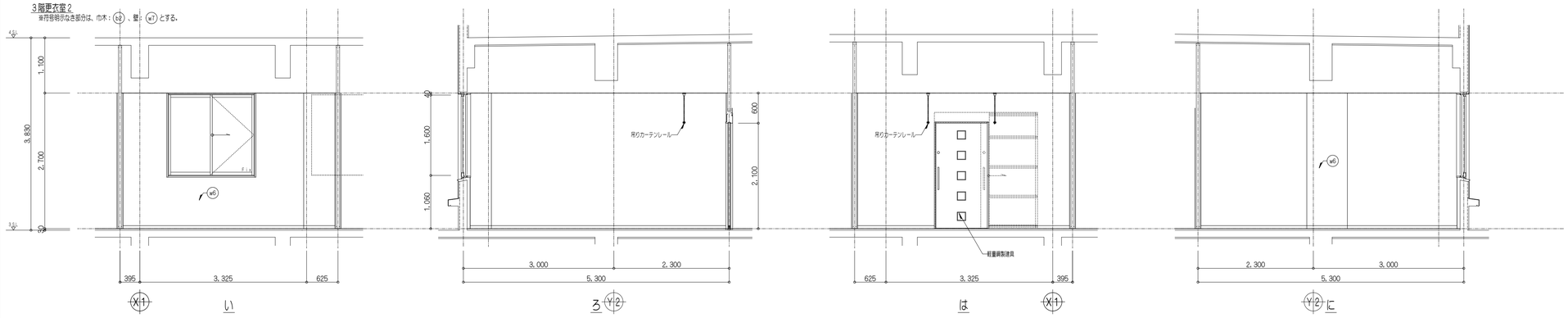
3階控室

※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w1)とする。



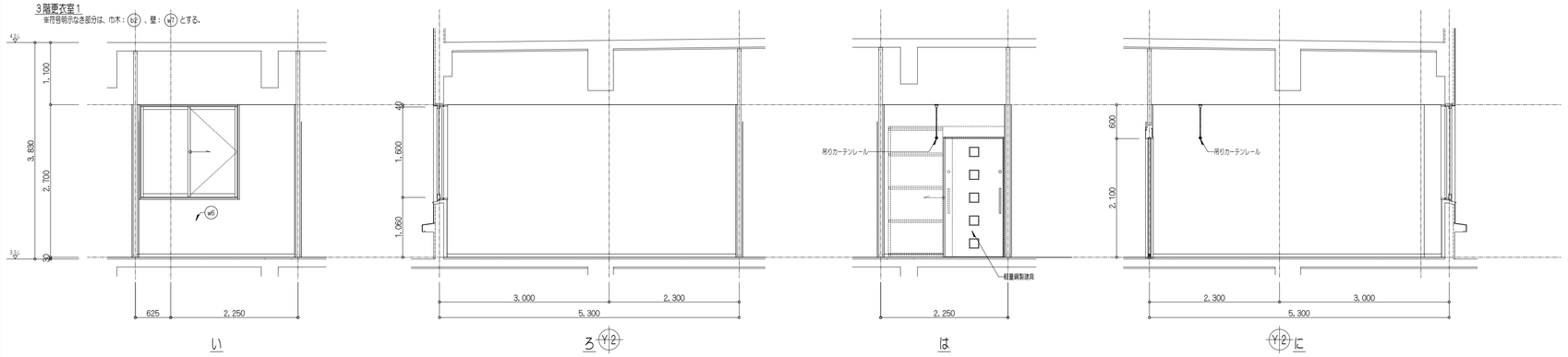
3階更衣室2

※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w1)とする。



3階更衣室1

※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w1)とする。



凡例

開仕切：LGS壁下地65形 ※@450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・GS・PT・TB：建具表参照

[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

化粧巾：350X450

フック：ステンレス製シングルフック

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
b2	巾木		ソフト巾木 H=60	
w3	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
w6	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	ビニールクロス	
w1	壁	LGS壁下地、石こうボードt=12.5X2	ビニールクロス	
w1	壁	LGS壁下地、T-1合板t=12X2	メラミン化粧板t=3(目地シール)	甲板：メラミンポストフォームt=20X150(腰)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

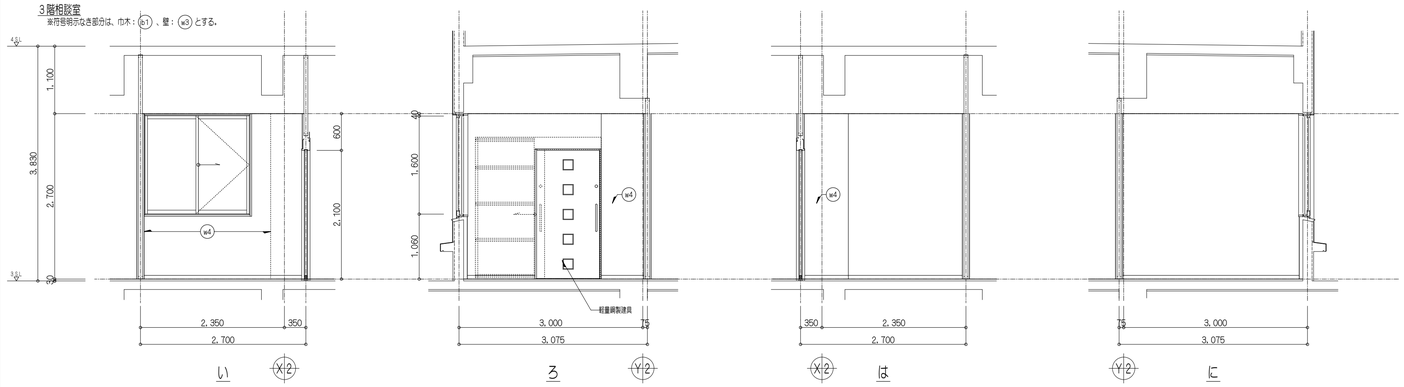
検印	設計
齋藤出	齋藤出

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

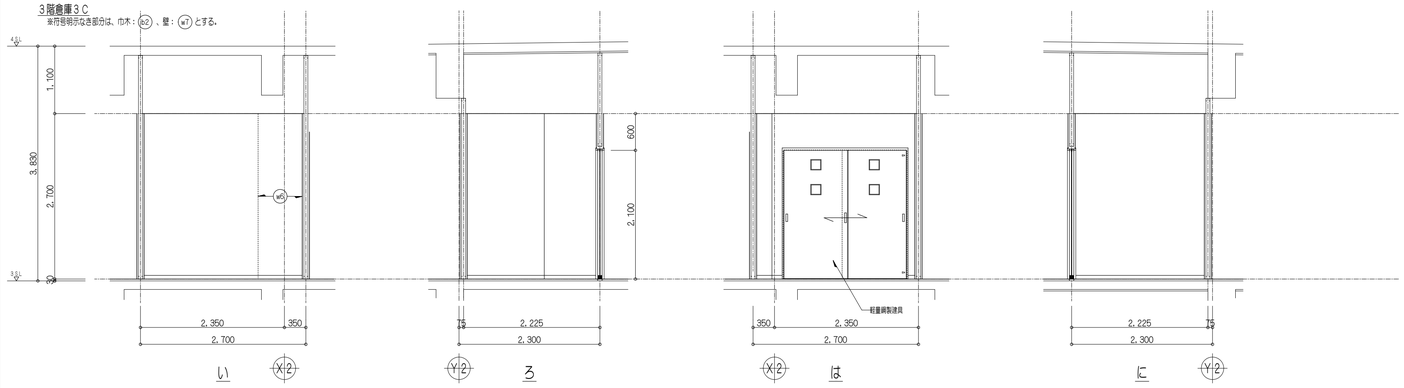
工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 改修 展開図3-2
Scale 1/50

No. A-78

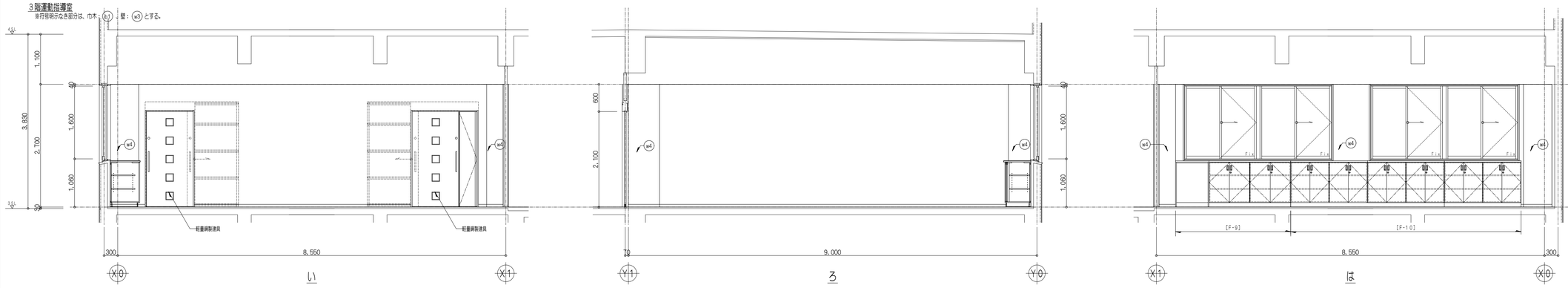
3階相談室
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



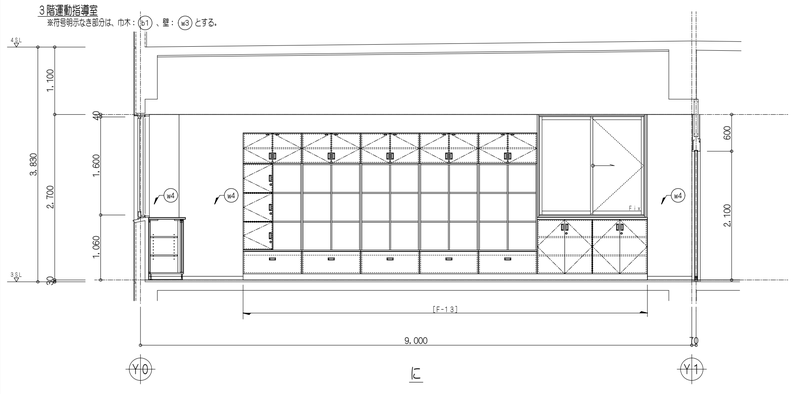
3階倉庫3C
※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w7)とする。



3階運動指導室
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



3階運動指導室
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。



凡例

開仕切：LGS壁下地65形 ※@450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・GS・PT・TB：建具表参照

[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

□改修仕上表

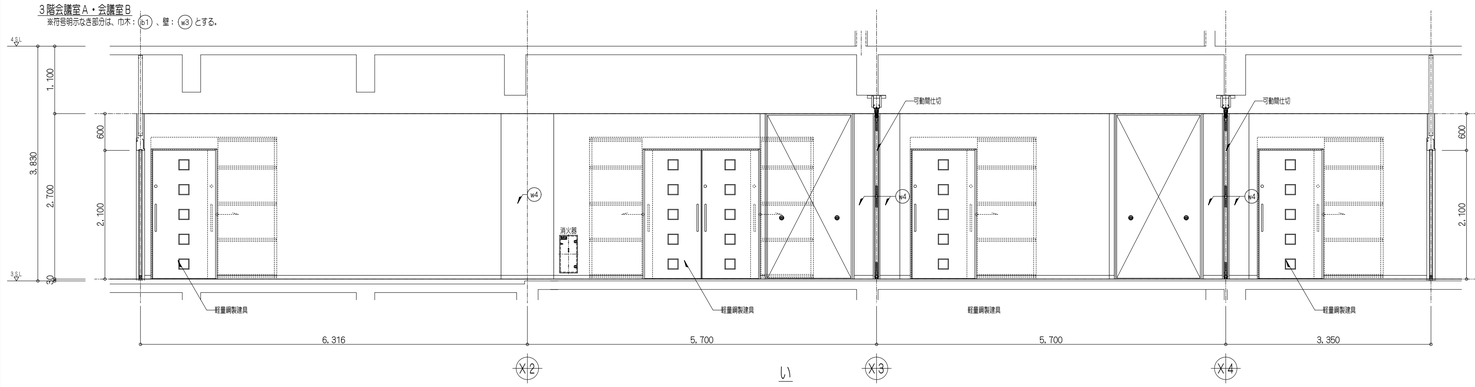
符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w6)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	ビニールクロス	
(w7)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=12.5×2	ビニールクロス	

特記事項

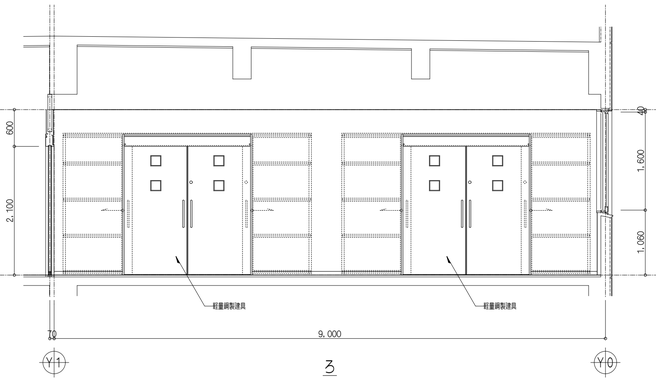
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-79
		変更年月日	図面名称 改修 展開図3-3 Scale 1/50	

3階会議室A・会議室B
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。

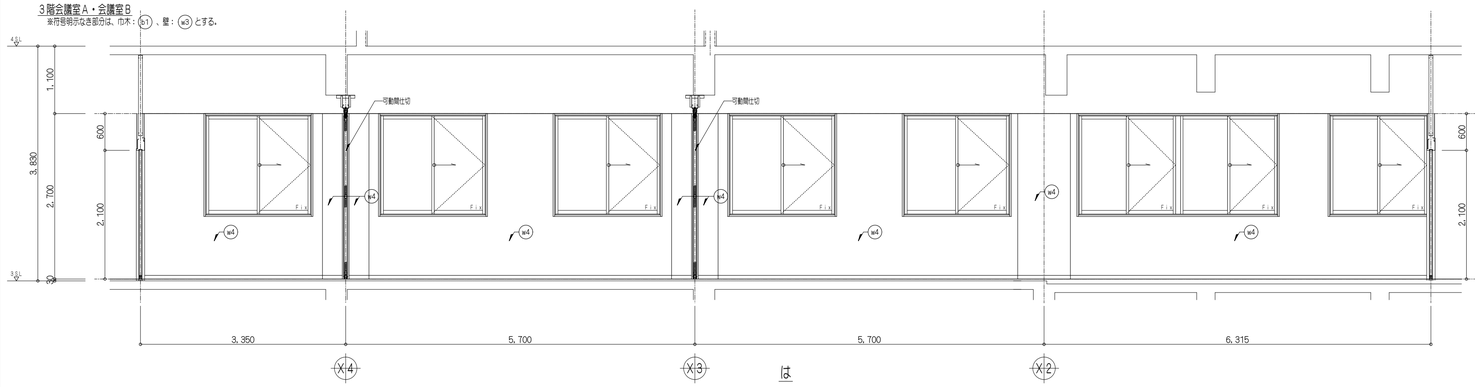


い

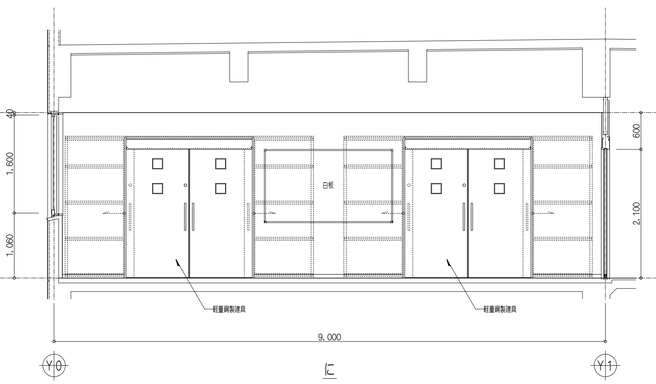


ろ

3階会議室A・会議室B
※符号明示なき部分は、巾木：(b1)、壁：(w3)とする。

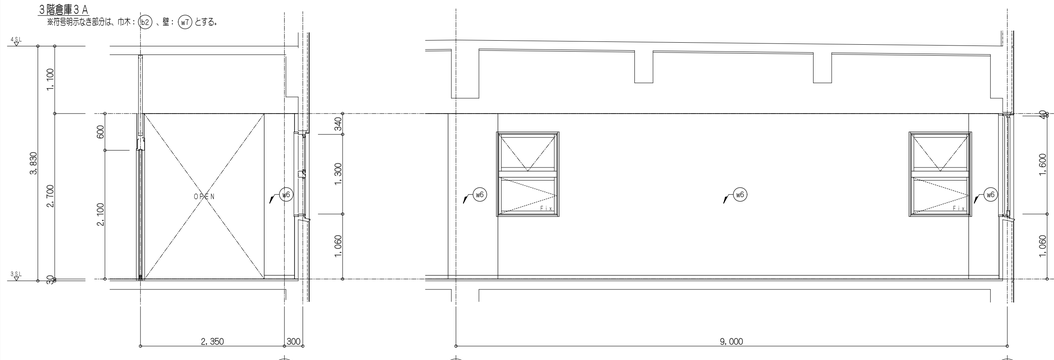


は



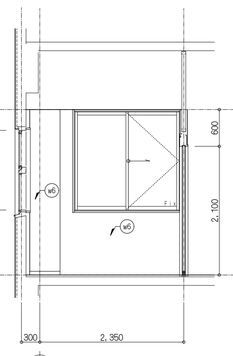
に

3階倉庫3A
※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w1)とする。

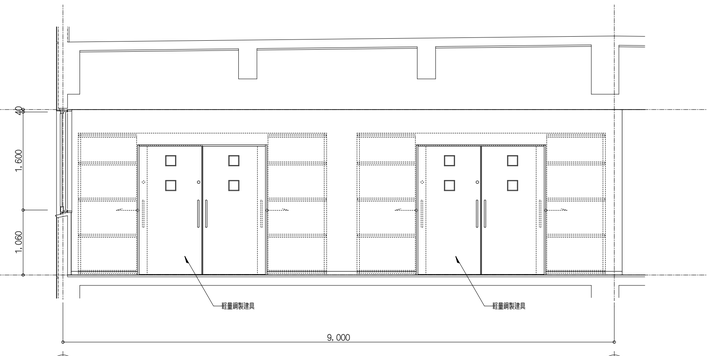


い

ろ

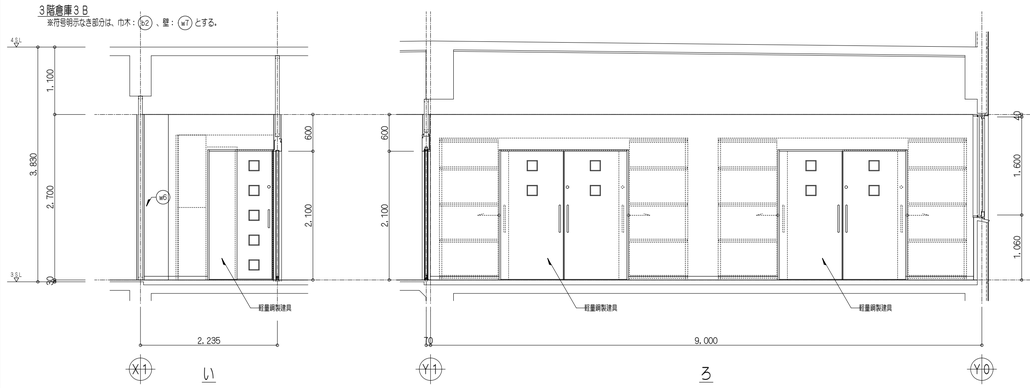


は



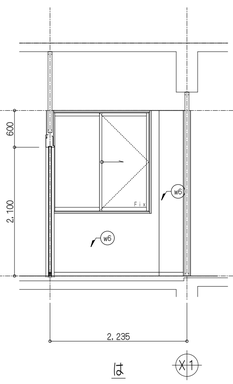
に

3階倉庫3B
※符号明示なき部分は、巾木：(b2)、壁：(w1)とする。

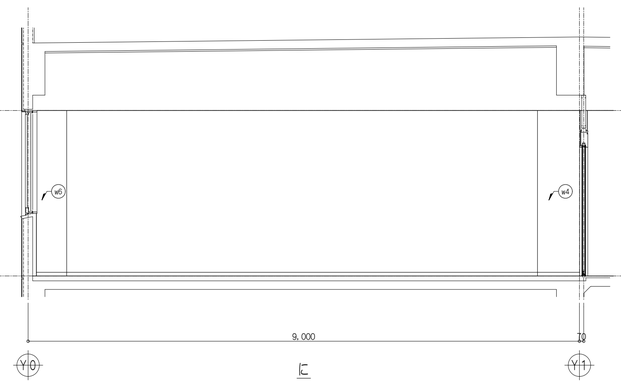


い

ろ



は



に

凡例

開仕切：LGS壁下地65形 @450床上から天井裏躯体まで)

※凡例、仕上表以外の事項は図示による。

仕様

建具・SS・PT・TB：建具表参照

[F-○○]：新設造作家具(家具図参照)

白板・掲示板：詳細図参照

消火器：半埋込消火器収納箱(スチールt=1.2、扉付き) ※設置場所は現場確認

□改修仕上表

符号	部位	改修下地	改修仕上	備考
(b1)	巾木		ステンレスHL H=60	
(b2)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(w3)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=9.5+12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w4)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	メラミン化粧板t=3(目地シール)	
(w6)	壁	LGS胴縁組、石こうボードt=12.5	ビニールクロス	
(w1)	壁	LGS壁下地、石こうボードt=12.5×2	ビニールクロス	

特記事項

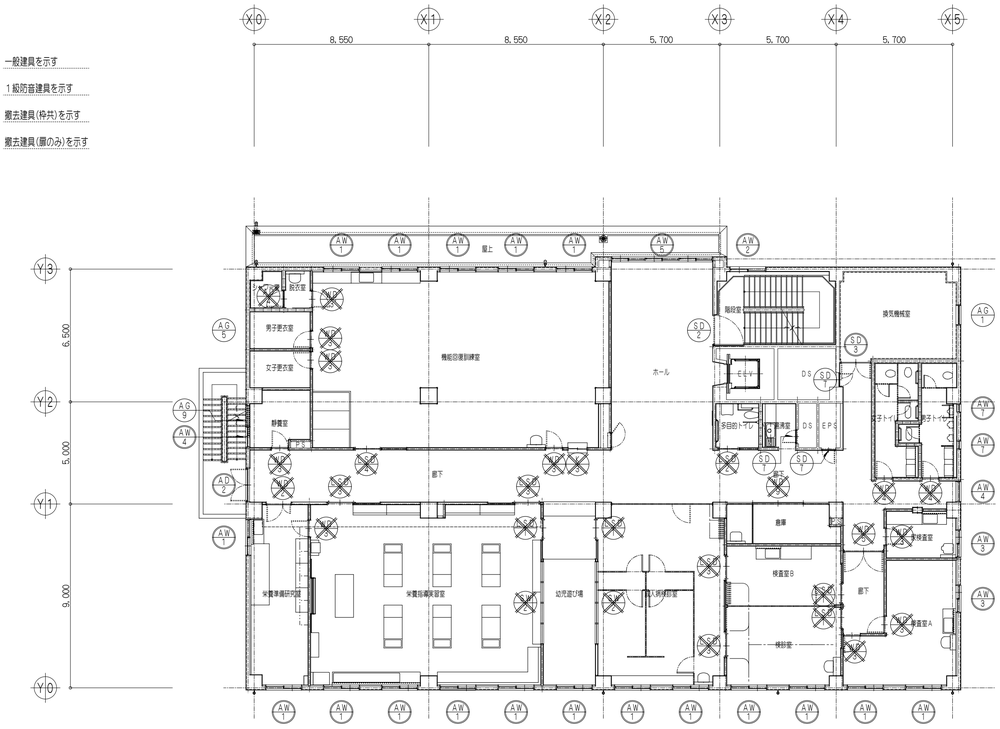
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-80
		変更年月日	図面名称 改修 展開図3-4 Scale 1/50	

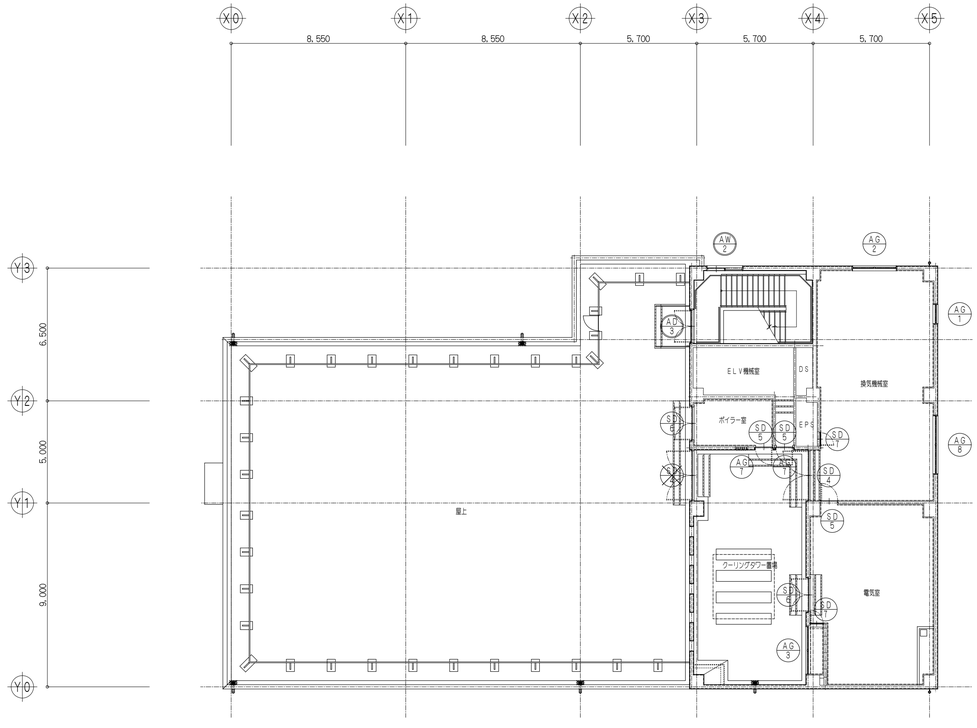
現況

凡例

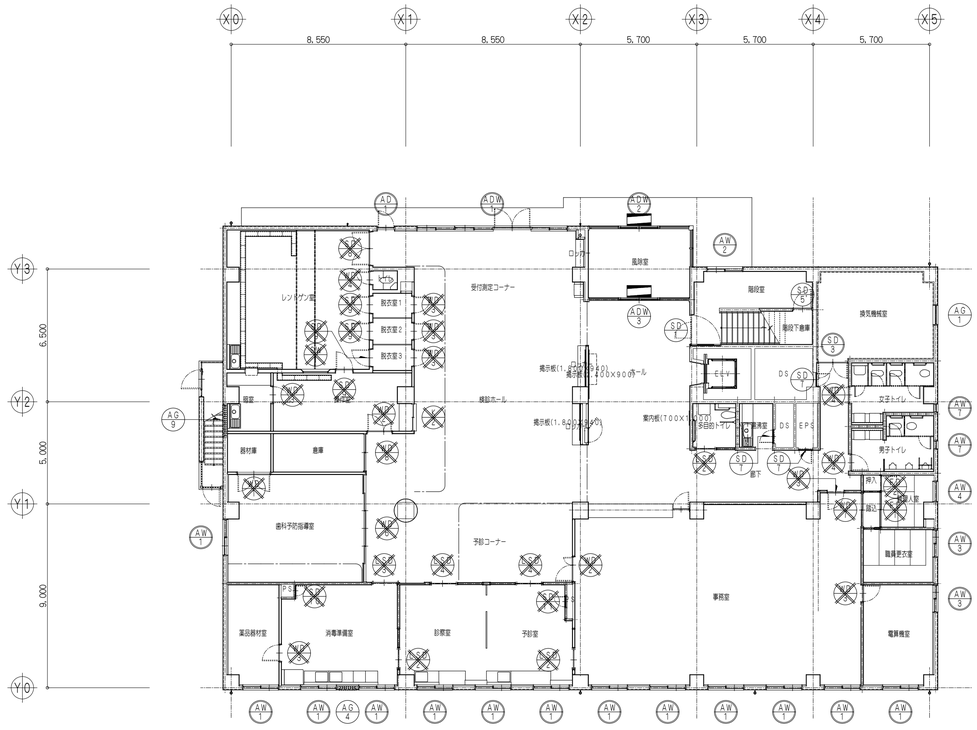
- 一般建具を示す
- 1級防音建具を示す
- 撤去建具(枠共)を示す
- 撤去建具(扉のみ)を示す



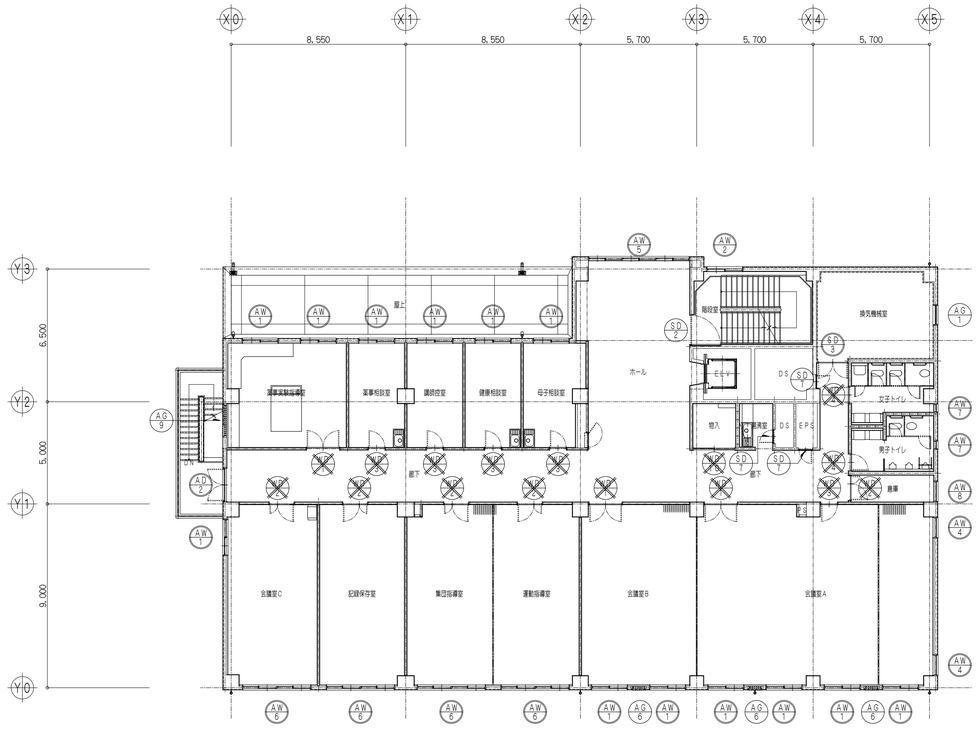
2階建具KEY-PLAN S=1/150



4階建具KEY-PLAN S=1/150

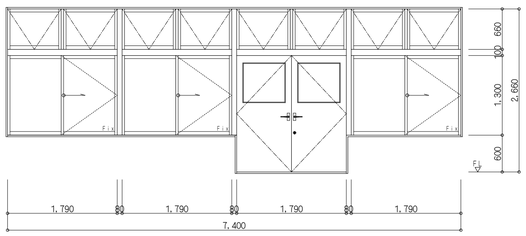
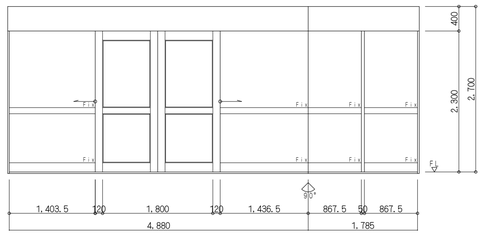
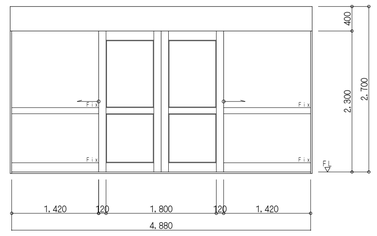


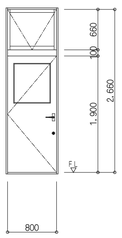
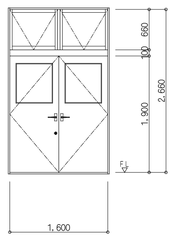
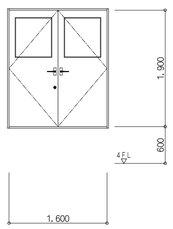
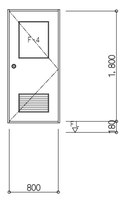
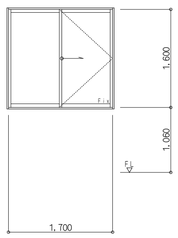
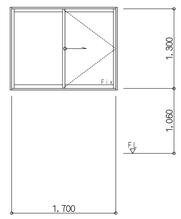
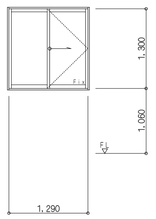
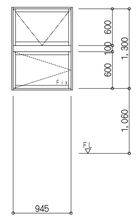
1階建具KEY-PLAN S=1/150

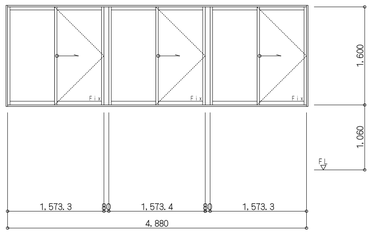
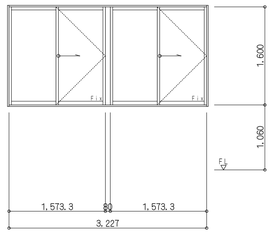
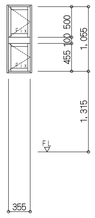
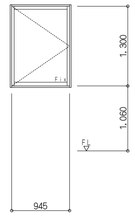


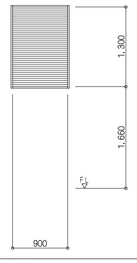
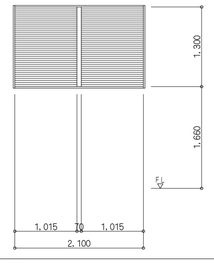
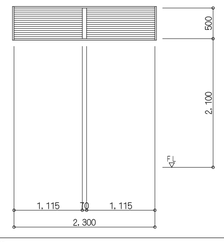
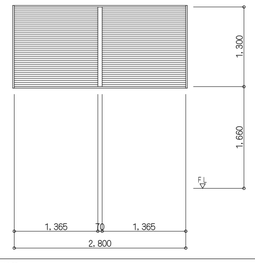
3階建具KEY-PLAN S=1/150

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 変更年月日	工事名称 狭山市保健センター改修工事 図面名称 現況 建具KEY-PLAN	No. A-81 Scale 1/150

符号・数量	ADW 1 × 1 ヶ所	ADW 2 × 1 ヶ所	ADW 3 × 1 ヶ所	
型　式	アルミ製外倒し排煙ランマ付4連片引き窓、両開き額入りフラッシュドア	アルミ製両袖付き(片側コーナー)引き分け自動ドア	アルミ製両袖付き引き分け自動ドア	
形状・寸法				
取付位置	1階検診ホール	1階風除室	1階ホール	
改　修	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート	保守、ピート	
備　考				

符号・数量	AD 1 × 1 ヶ所	AD 1 × 2 ヶ所	AD 1 × 1 ヶ所	AD 4 × 1 ヶ所	AW 1 × 44 ヶ所	AW 2 × 4 ヶ所	AW 3 × 4 ヶ所	AW 4 × 5 ヶ所
型　式	アルミ製外倒し排煙ランマ付片開き額入りフラッシュドア	アルミ製外倒し排煙ランマ付両開き額入りフラッシュドア	アルミ製両開き額入りフラッシュドア	アルミ製片開き額、ガラリ入りフラッシュドア	アルミ製片引き窓	アルミ製片引き窓	アルミ製片引き窓	アルミ製外倒し排煙ランマ付Ｆｉｘ窓
形状・寸法								
取付位置	1階検診ホール	2・3階廊下(外部階段)	4階階段室	2階シャワー室	1階喫煙、西側各室・2階喫煙、西側、北側各室・3階喫、西側、北側各室	1～4階階段室	1階電算機室、職員更衣室・2階検査室A、尿検査室	1階管理人室・2階廊下、静養室・3階会議室A
改　修	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート	撤去	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート
備　考								

符号・数量	AW 5 × 2 ヶ所	AW 6 × 4 ヶ所	AW 7 × 6 ヶ所	AW 8 × 1 ヶ所
型　式	アルミ製3連片引き窓	アルミ製3連片引き窓	アルミ製2段Ｆｉｘ窓	アルミ製片引き窓
形状・寸法				
取付位置	2階ホール・3階ホール	3階運動指導室、集団指導室、記録保存室、会議室C	1階男子、女子トイレ、2階男子トイレ・3階男子、女子トイレ	3階倉庫
改　修	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート	保守、シール、ピート
備　考				

符号・数量	AG 1 × 4 ヶ所	AG 2 × 1 ヶ所	AG 3 × 1 ヶ所	AG 8 × 1 ヶ所
型　式	アルミ製ガラリ	アルミ製2連ガラリ	アルミ製2連ガラリ	アルミ製2連ガラリ
形状・寸法				
取付位置	1～4階空調機械室	4階空調機械室	4階電気室	4階空調機械室
改　修	保守、シール	保守、シール	保守、シール	保守、シール
備　考				

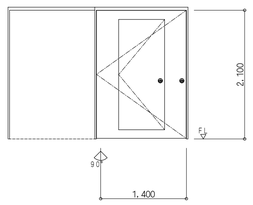
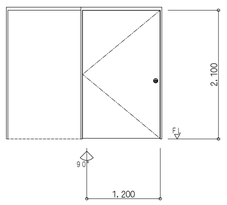
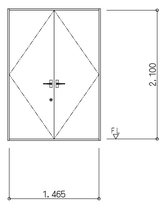
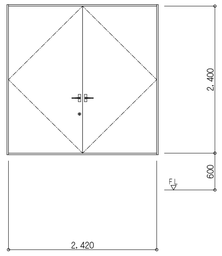
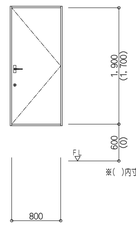
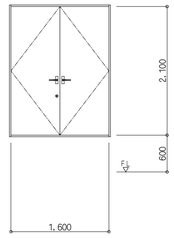
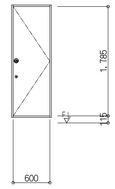
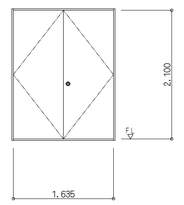
符号	W	H	数量	位置
AG-4	650	200	1	1階消毒準備室
AG-5	500	200	1	2階男子更衣室
AG-6	400	200	3	3階会議室A、B
AG-7	500	500	2	4階ボイラー室、ＥＬＶ機械室
AG-9	1,000	400	3	1階暗室・2階静養室・3階薬事実験指導室

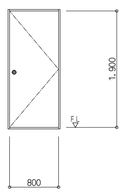
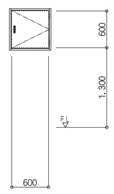
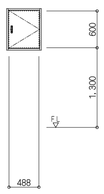
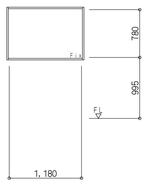
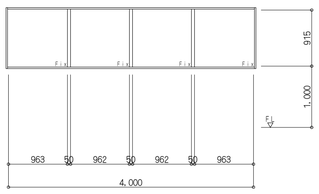
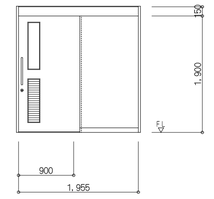
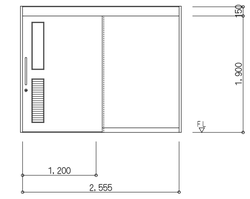
改修仕様
保　守：点検調整、清掃(クリア塗装は除く)
シール：現況建具周囲シーリングを撤去し、シーリング(ＰＵ-１５Ｘ１０)
ピート：現況ガラス留めビードを撤去し、シーリング(ＭＳ-２：５Ｘ５)※外部のみ
Ｄ　Ｐ：下地調整ＲＢ、錆止め塗布、ＤＰ塗

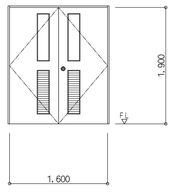
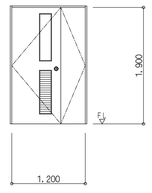
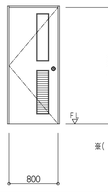
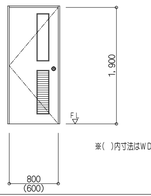
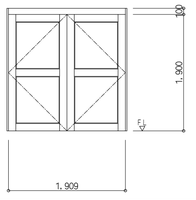
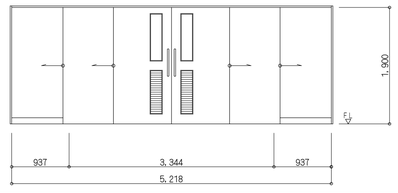
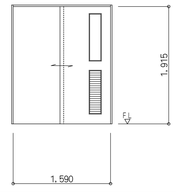
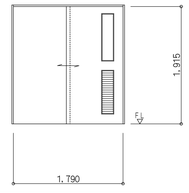
特記事項

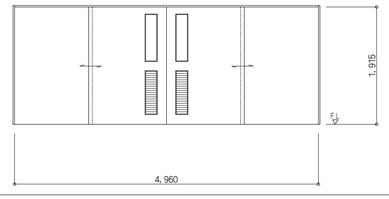
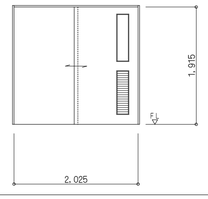
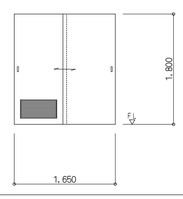
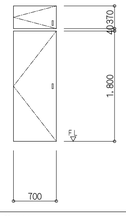
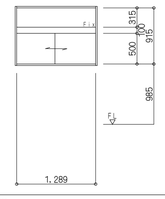
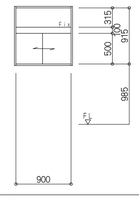
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

構 図	設 計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-82
		変更年月日	図面名称 / Scale	
			現況 建具表1 / 1/50	

符号・数量	SD-1 × 1 ヶ所	SD-2 × 2 ヶ所	SD-3 × 3 ヶ所	SD-4 × 1 ヶ所 SD-4 × 1 ヶ所 ※扉のみ撤去	SD-5 × 3 ヶ所　SD-6 × 1 ヶ所	SD-6 × 2 ヶ所	SD-7 × 11 ヶ所	SD-8 × 1 ヶ所
型　式	スチール製戸袋付き片開きフラッシュドア(扉戸付)	スチール製戸袋付き片開きフラッシュドア	スチール製両開きフラッシュドア	スチール製両開きフラッシュドア	スチール製片開きフラッシュドア	スチール製両開きフラッシュドア	スチール製片開きフラッシュドア	スチール製両開きフラッシュドア(鉛t=1.5入 枠共)
形状・寸法								
取付位置	1階階段室	2・3階階段室	1・2・3階換気機械室	4階クーリングタワー置場、空調機械室	1階階段下倉庫・4階ＥＬＶ機械室、ボイラー室、電気室	4階ボイラー室、電気室	各階ＥＰＳ、ＤＳ・4階電気室(消音チャンバー)	1階レントゲン室
改　修	保守、ＤＰ	保守、ＤＰ	保守、ＤＰ	空調機械室：保守、シール、ＤＰ クーリングタワー置場：撤去(扉のみ)、・シール、ＤＰ(枠)	保守、シール(外部建具のみ)、ＤＰ	保守、シール、ＤＰ	保守、ＤＰ	撤去
備　考								

符号・数量	SD-9 × 4 ヶ所	SD-10 × 1 ヶ所	SD-11 × 1 ヶ所	SW-1 × 1 ヶ所	SW-2 × 2 ヶ所	LSD-1 × 4 ヶ所　LSD-2 × 4 ヶ所	LSD-3 × 5 ヶ所　LSD-4 × 3 ヶ所
型　式	スチール製片開きフラッシュドア(鉛t=1.5入 枠共)	スチール製片開き点検戸	スチール製片開き点検戸	スチール製ＦＩＸ窓(鉛t=1.5入 枠共)	スチール製ＦＩＸ窓	軽量スチール製片引き扉、ガラリ入りハンガーフラッシュドア	軽量スチール製片引き扉、ガラリ入りハンガーフラッシュドア
形状・寸法							
取付位置	1階操作室、脱衣室1～3	1階消毒準備室	1階予診室	1階レントゲン室	2階幼児室	1：2階検診室、検査室B、幼児室／2：1階予診室、診察室、1・2階車椅子トイレ	3：1階消毒準備室・2階健康指導実習室、検診室、検査室B／4：1階予診室、診察室・2階機能回復訓練室
改　修	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去
備　考				ガラス：鉛ガラス、PW-6.8	ガラス：ＦＬ－5	ガラス：F-4	ガラス：F-4

符号・数量	WD-1 × 4 ヶ所	WD-2 × 8 ヶ所	WD-3 × 20 ヶ所　WD-3 × 1 ヶ所	WD-4 × 6 ヶ所　WD-4 × 1 ヶ所	WD-5 × 1 ヶ所	WD-6 × 1 ヶ所	WD-7 × 1 ヶ所	WD-8 × 1 ヶ所
型　式	木製両開き扉、ガラリ入りフラッシュドア(枠スチール)	木製親子開き扉、ガラリ入りフラッシュドア(枠スチール)	木製片開き扉、ガラリ入りフラッシュドア(枠スチール)	木製片開き扉、ガラリ入りフラッシュドア(枠スチール)	木製両開き框(枠スチール)	木製戸袋付4本引分け扉、ガラリ入フラッシュドア(枠スチール)	木製引違いガラリ入りフラッシュドア(枠スチール)	木製引違いガラリ入りフラッシュドア(枠スチール)
形状・寸法								
取付位置	1階器材庫・3階薬事実験指導室、会議室A、B	1階事務室、操作室・2階栄養準備研究室・3階倉庫、運動指導室、集団指導室、記録保存室、会議室C	1～3階各室	4：1～3階男子、女子トイレ／4'：トイレ(レントゲン室)	2階廻下	1階歯科予防指導室	1階管理人室	1階倉庫
改　修	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去
備　考	ガラス：F－4	ガラス：F－4	ガラス：F－4	ガラス：F－4	ガラス：網FW-6.8、上段)F－4	ガラス：F－4	ガラス：F－4	ガラス：F－4

符号・数量	WD-9 × 1 ヶ所	WD-10 × 1 ヶ所	FD-1 × 1 ヶ所	FD-2 × 1 ヶ所	K-2 × 1 ヶ所	K-3 × 1 ヶ所
型　式	木製4本引違い、ガラリ入フラッシュドア(枠スチール)	木製引違いガラリ入りフラッシュドア(枠スチール)	引違いガラリ入り戸襖(ベニヤフラッシュ)	らんま付片開き戸襖(ベニヤフラッシュ)	木製ランマ付ガラス引違い窓	木製ランマ付ガラス引違い窓
形状・寸法						
取付位置	2階倉庫	3階物入	1階管理人室	1階管理人室(押入)	1階操作室	2階機能訓練室
改　修	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去	撤去
備　考	ガラス：F－4	ガラス：F－4			ガラス：FL-5	ガラス：FL-5

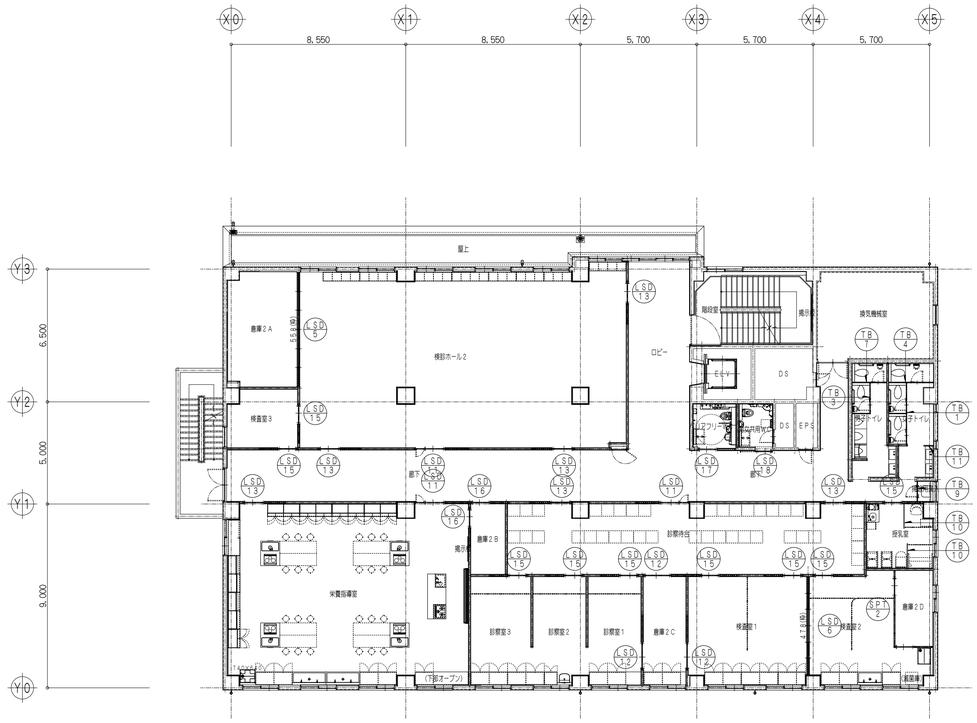
改修仕様
保　守：点検調整、清掃(クリア塗装は除く)
シール：現況建具周囲シーリングを撤去し、シーリング(PU-15X15)
ビート：現況ガラス留めビードを撤去し、シーリング(MS-2：5X5)※外部のみ
Ｄ　Ｐ：下地調整ＲＢ、錆止め塗布、ＤＰ塗
撤　去：建具、枠共撤去

特記事項

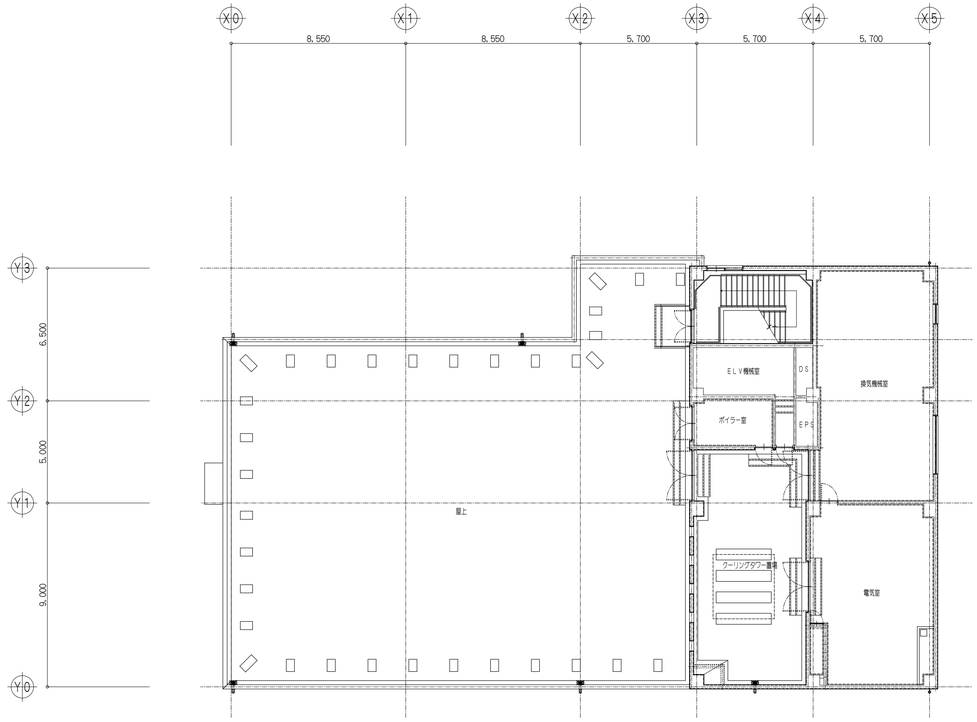
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検	設	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-83
		変更年月日	図面名称 現況 建具表2　Scale 1/50	

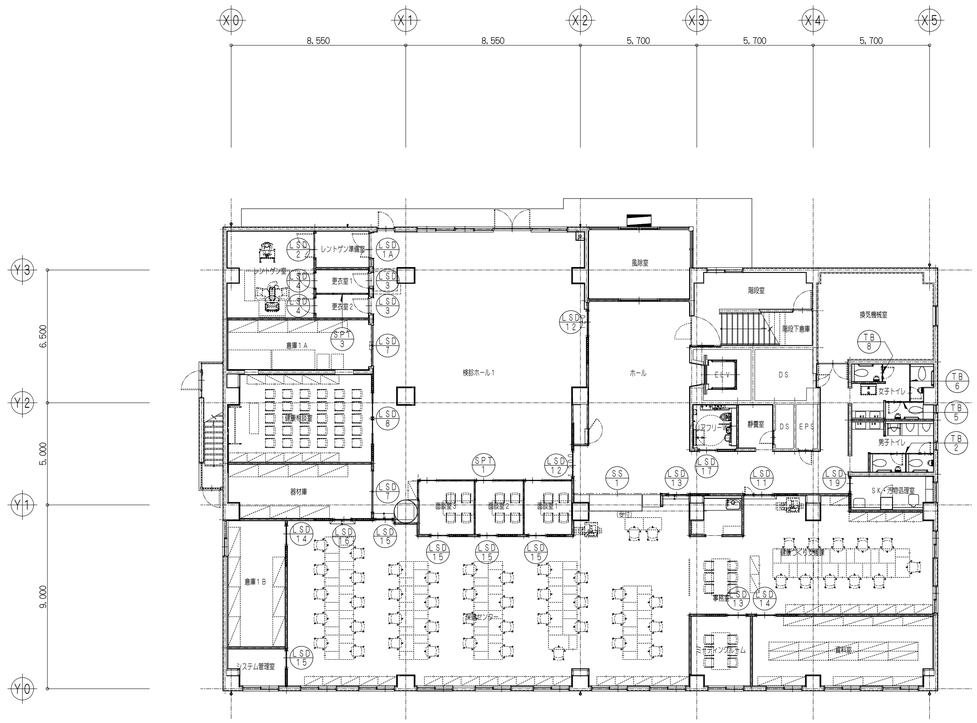
改修



2階建具KEY-PLAN S=1/150



4階建具KEY-PLAN S=1/150

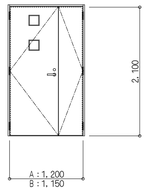
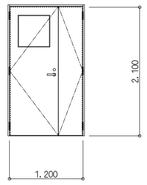
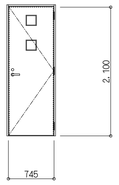
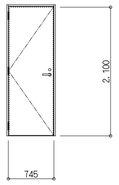
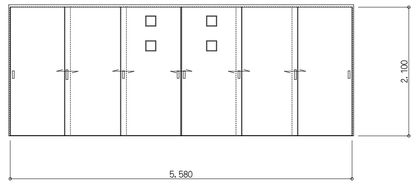
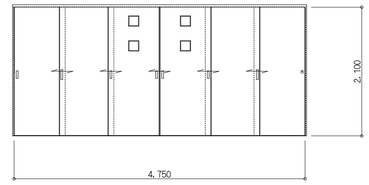


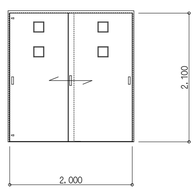
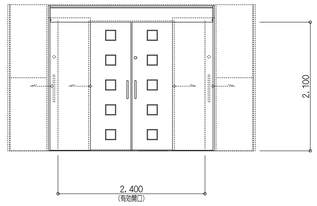
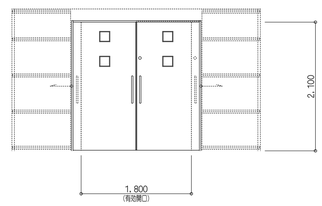
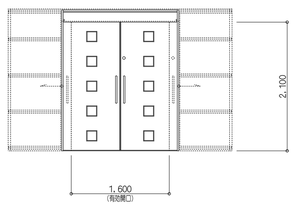
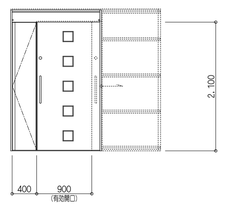
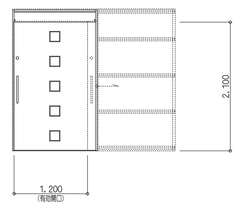
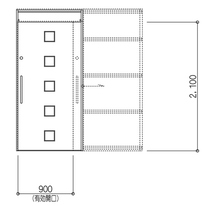
1階建具KEY-PLAN S=1/150

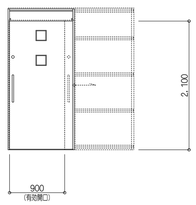
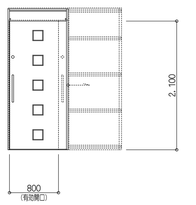
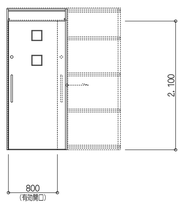
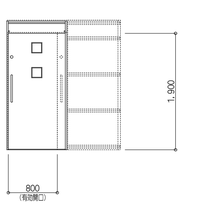
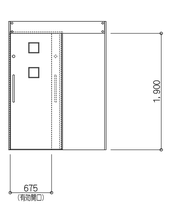
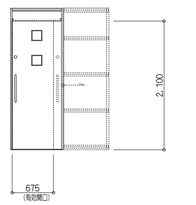
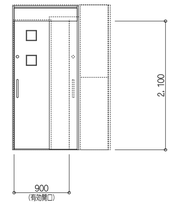


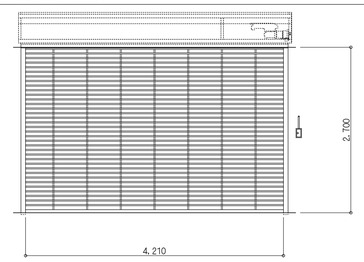
3階建具KEY-PLAN S=1/150

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-84
				変更年月日	図面名称 改修 建具KEY-PLAN	Scale 1/15

符号・数量	LSD 1A X 1 ヶ所 (内、市単独工事1ヶ所) LSD 1B X 1 ヶ所	LSD 2 X 1 ヶ所 (内、市単独工事1ヶ所)	LSD 3 X 2 ヶ所 (内、市単独工事2ヶ所)	LSD 4 X 2 ヶ所 (内、市単独工事2ヶ所)	LSD 5 X 1 ヶ所	LSD 6 X 1 ヶ所
型　式	軽量スチール製親子開き額入フラッシュドア	軽量スチール製親子開き額入フラッシュドア(X線遮断)	軽量スチール製片開き額入フラッシュドア	軽量スチール片開きフラッシュドア(X線遮断)	軽量スチール3本引分けフラッシュドア	軽量スチール3本引分けフラッシュドア
形状・寸法						
取付位置	A:1階レントゲン準備室　・　B:3階倉庫3A	1階レントゲン室(レントゲン準備室)	1階更衣室1・2	1階レントゲン室(更衣室1・2)	2階倉庫2A(模擬ホール2)	2階模倣室2(模倣室1)
改　修						
仕様[見込]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [138.5]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上(遮断材:合板+鉛シートt=1.0) [138.5]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [138.5]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上(遮断材:合板+鉛シートt=1.0) [138.5]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上
金　物	丁番、ドアクローザー、レバーハンドル、シリンダー錠(サムターン)、フラシス落し	丁番、ドアクローザー、レバーハンドル、シリンダー錠(サムターン)、フラシス落し	丁番、ドアクローザー、レバーハンドル、シリンダー錠(サムターン)	丁番、ドアクローザー、レバーハンドル、シリンダー錠(サムターン)	框込引手、ステンレスフラットレール、シリンダー錠(サムターン)	框込引手、ステンレスフラットレール、シリンダー錠(サムターン)
ガ ラ ス	型板強化ガラスt=4	放射線遮蔽用鉛ガラスt=9	型板強化ガラスt=4		型板強化ガラスt=4	型板強化ガラスt=4
備　考						

符号・数量	LSD 7 X 3 ヶ所	LSD 8 X 1 ヶ所	LSD 9 X 4 ヶ所	LSD 10 X 1 ヶ所	LSD 11 X 5 ヶ所 (内、市単独工事1ヶ所)	LSD 12 X 5 ヶ所	LSD 13 X 1 T ヶ所 (内、市単独工事2ヶ所)
型　式	軽量スチール製引違い額入フラッシュドア	軽量スチール製2連動引分け額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製引分け額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製引分け額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製片引き小扉付額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製片引き額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製片引き額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)
							
取付位置	1階格材庫、倉庫1A・3階倉庫3C	1階健康相談室	3階倉庫3A(会議室A)、倉庫3B(会議室B)	3階会議室B	1階事務室(健康づくり交流課)・2階模擬ホール2、栄養指導室、診察待合、3階運動指導室	1階模擬ホール1・2階模擬ホール2、診察室1、検査室1、倉庫2C	1階事務室、ミーティングルーム・2階健診ホール2、栄養指導室、診察待合 3階共議室A、B、運動指導室、更衣室1、2、3、授乳、相談室
改　修							
仕様[見込]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]
金　物	框込引手、ステンレスフラットレール、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)、フラシス落し	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)
ガ ラ ス	型板強化ガラスt=4	強化ガラスt=4	強化ガラスt=4	強化ガラスt=4	強化ガラスt=4	強化ガラスt=4	強化ガラスt=4
備　考							

符号・数量	LSD 14 X 2 ヶ所 (内、市単独工事2ヶ所)	LSD 15 X 14 ヶ所 (内、市単独工事5ヶ所)	LSD 16 X 3 ヶ所 (内、市単独工事1ヶ所)	LSD 17 X 3 ヶ所	LSD 18 X 2 ヶ所	LSD 19 X 1 ヶ所	LSD 20 X 1 ヶ所	
型　式	軽量スチール製片引き額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製片引き額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製片引き額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製片引き額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製片引き額入ハンガーフラッシュドア(外付け枠タイプ)	軽量スチール製片引き額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	軽量スチール製2連動片引き額入ハンガーフラッシュドア(LGS内蔵タイプ)	
								
取付位置	1階倉庫18、資料室	1階事務室(模擬ホール1、面談室1、2、3)、システム管理室 2階模倣室3、診察室1、2、3、検査室1、2、授乳室	1階器材庫(事務室:保健センター)・2階倉庫2B	1～3階バリアフリートイレ	2・3階男女共用トイレ	1階SK・汚物処理室	3階倉庫3B	
改　修								
仕様[見込]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [75]	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上	亜鉛めっき鋼板t=0.6 焼付塗装仕上 [137]	
金　物	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(大型サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(大型サムターン)、三方枠(W200)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	樹脂製引手、シリンダー錠(サムターン)	
ガ ラ ス	型板強化ガラスt=4	強化ガラスt=4、型板強化ガラスt=4	型板強化ガラスt=4	型板強化ガラスt=4	型板強化ガラスt=4	型板強化ガラスt=4	型板強化ガラスt=4	
備　考								

符号・数量	SS 1 X 1 ヶ所 (内、市単独工事1ヶ所)
型　式	ステンレス製電動プルシャッター(天井納まり)
	
取付位置	1階事務室(保健センター)
改　修	
仕様[見込]	
金　物	ステンレスパイプφ16、座板・レール、ケース板:溶融亜鉛めっき鋼板、ステンレス
ガ ラ ス	
備　考	三相200V 0.125Kw

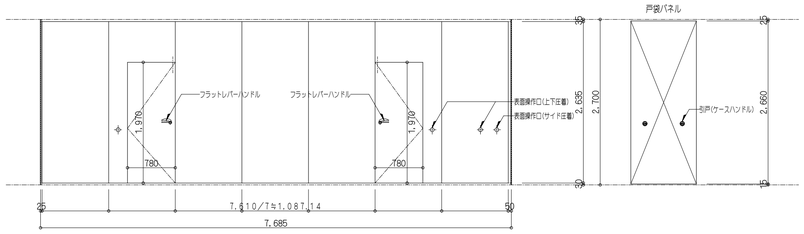
特記事項
金物は図示によるほか、標準付属金物も含む

特記事項

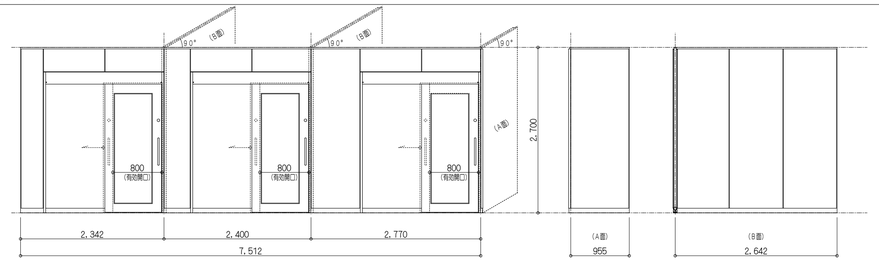
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-85
		変更年月日	図面名称 改修 建具表1 Scale 1/50	

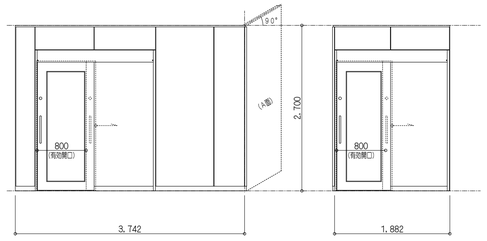
SW1

符号・数量	SW1 X 2 ヶ所
型　式	スライディングウォール(面台タイプ)
形状・寸法	
取付位置	3階会議室A・B
改　修	スライディングウォール 亜鉛めっき鋼板 t=0.5 (焼付塗装)、下張り:せっこうボード t=9.5(グラスウール充填)　[69]　　戸袋パネル メラミン化粧板、下張:中質繊維板 t=4(ペーパーコア)　[50]
仕様[見込]	
金　物	アルミ押出ハンガーレール(アルマイト処理)、水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)、スチール製戸当(焼付塗装)、引手、他付属金物一式
ガラス	
備　考	

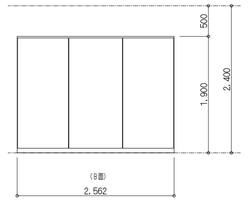
SPT1

符号・数量	SPT1 X 1 ヶ所
型　式	スチール製パーテーション
	
取付位置	1階検診ホール1(面談室1・2・3)
改　修	
仕様[見込]	SPT仕様参照
金　物	
ガラス	型板強化ガラス t=4
備　考	

SPT2

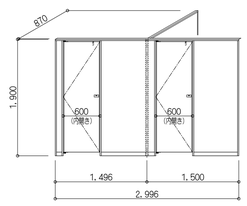
符号・数量	SPT2 X 1 ヶ所
型　式	スチール製パーテーション
	
取付位置	2階保査室2(倉庫2D)
改　修	
仕様[見込]	SPT仕様参照
金　物	
ガラス	型板強化ガラス t=4
備　考	

SPT3

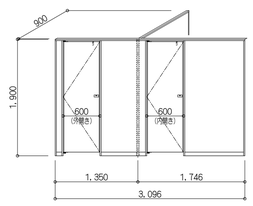
符号・数量	SPT3 X 1 ヶ所　(内、市単独工事1ヶ所)
型　式	スチール製パーテーション
	
取付位置	1階更衣室1・2
改　修	
仕様[見込]	SPT仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

SPT仕様
見込：70
骨材：冷間圧延鋼板、亜鉛めっき鋼板(焼付塗装仕上)
枠：冷間圧延鋼板(焼付塗装仕上)
パネル：表面材)亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上)・芯材)石こうﾎﾞｰﾄﾞ
ドア：インブットドア(内置タイプ 自閉仕様)
金物：ハンガー金物、シリンダー錠(サムターン)、樹脂製引手
※仕様は参考とし、類似の各メーカー仕様を優先する。
※各設備等の取付等に伴う補強は本工事に含む。

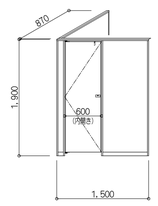
TB1

符号・数量	TB1 X 1 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	2階女子トイレ
改　修	
仕様[見込]	トイレブース仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

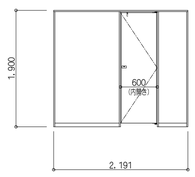
TB2

符号・数量	TB2 X 2 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	1・3階男子トイレ
改　修	
仕様[見込]	トイレブース仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

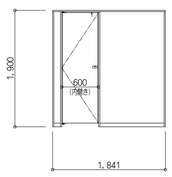
TB3

符号・数量	TB3 X 1 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	2階男子トイレ
改　修	
仕様[見込]	トイレブース仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

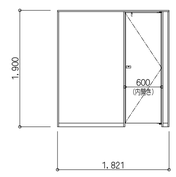
TB4

符号・数量	TB4 X 1 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	2階女子トイレ
改　修	
仕様[見込]	トイレブース仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

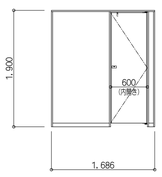
TB5

符号・数量	TB5 X 2 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	1・3階女子トイレ
改　修	
仕様[見込]	トイレブース仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

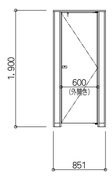
TB6

符号・数量	TB6 X 2 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	1・3階女子トイレ
改　修	
仕様[見込]	トイレブース仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

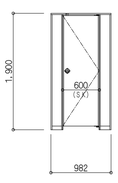
TB7

符号・数量	TB7 X 1 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	2階男子トイレ
改　修	
仕様[見込]	トイレブース仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

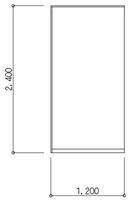
TB8

符号・数量	TB8 X 2 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	1・3階女子トイレ
改　修	
仕様[見込]	トイレブース仕様参照
金　物	
ガラス	
備　考	

TB9

符号・数量	TB9 X 1 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	2階部下(掃除用具入れ)
改　修	
仕様[見込]	
金　物	トイレブース仕様参照
ガラス	
備　考	

TB10

符号・数量	TB10 X 2 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	2階授乳室
改　修	
仕様[見込]	
金　物	トイレブース仕様参照
ガラス	
備　考	

TB11

符号・数量	TB11 X 1 ヶ所
型　式	トイレブース
	
取付位置	2階女子トイレ
改　修	
仕様[見込]	
金　物	トイレブース仕様参照
ガラス	
備　考	

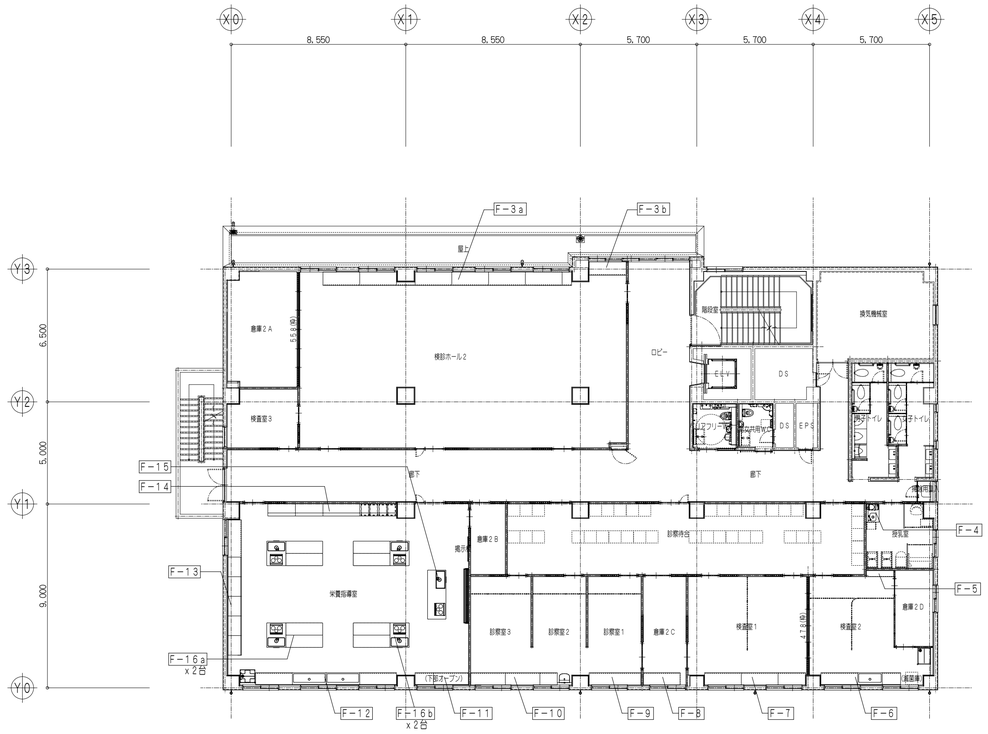
トイレブース仕様 (中心吊タイプ)
見込：40mm
笠木・エッジ類：アルミ押出形材
柱　脚：ステンレス(SUS304)ヘヤーライン仕上
パネル・ドア：表面材) 高圧メラミン樹脂板 ・ 裏打材)パーティクルボードt=9
芯材) ペーパーコア
金物(内開き)：表示付スライドラッチ、帽子掛け戸当り、非常時外開き機能付き
金物(外開き)：表示付スライドボルト、外開き戸当り、帽子掛け
金物(片引き)：SUSドアハンドル、表示付引戸錠
金物(S　K)：取手
※TB−10及び11はCLタイプとし、小口も化粧板張とする。
※仕様は参考とし、類似の各メーカー仕様を優先する。
※各設備等の取付等に伴う補強は本工事に含む。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	筑山市保健センター改修工事	A-86
		変更年月日	図面名称 改修 建具表2	Scale 1/50

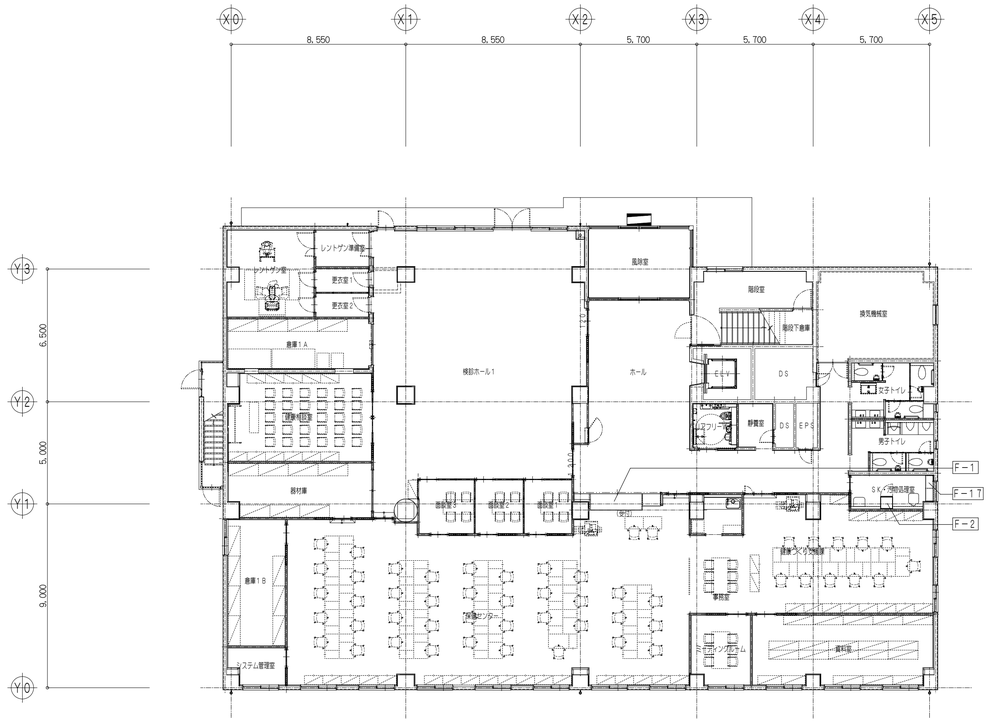
改修



2階家具KEY-PLAN S=1/150



4階家具KEY-PLAN S=1/150



1階家具KEY-PLAN S=1/150



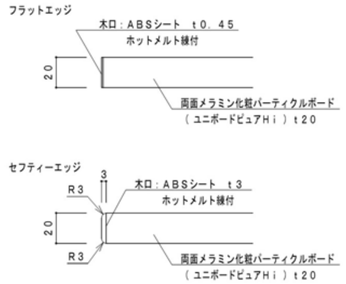
3階家具KEY-PLAN S=1/150

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検図	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-87
				変更年月日	図面名称 家具KEY-PLAN	Scale 1/150

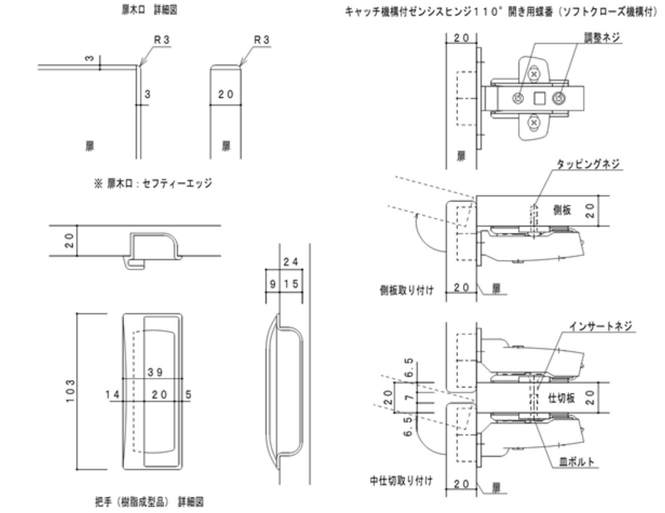
家具共通仕様　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1	本体・棚板	室内ＶＯＣ（ ホルムアルデヒド等 ）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した 両面メラミン化粧パーティクルボード（ ユニボードピュアＨｉ ）厚さ２０mm、Ｆ☆☆☆☆を使用する。 上記材料は、ＪＩＳ－Ａ５９０８適合、１８タイプ（ 曲げ強さ１８Ｎ／平方ミリメートル以上 ）とし、 ＪＩＳマーク認定の国内工場での生産品、且つグリーン購入法適合品とする。
2	木口処理	躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ ＡＢＳ製樹脂をホットメルト縫付 ）加工とする。 開き扉・抽斗前板はセフティーエッジ（ ＡＢＳ製　厚さ３mm　ホットメルト縫付 ）加工とする。
3	表面処理	本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制するために鉛筆硬度　９Ｈ　以上の表面材を使用する。 本体色については色見本帳（ ４５色以上 ）を提出の上決定する。
4	裏板	ポリエステル化粧合板　Ｆ☆☆☆　厚さ４mmを使用し、 片面フラッシュ（ ４５０mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。
5	本体組立て	組立ては、製作工場での木製ダボ組接合とし、接合部のノックダウン金物は使用不可とする。
6	巾木・台輪	ポリエステル化粧合板仕上げ　Ｆ☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。
7	建具	板戸・戸枠は、くるいやホゾ抜け防止のため、かまち組み等は不可とし１枚物とする。 引違戸の鴨居側には耐震外れ止めスライドガイド、敷居側には上下調整戸車を使用する。 戸枠付きガラス戸は、安全性のため透明強化の刻印入り　厚さ４mmを使用し メンテナンスが容易な樹脂成型（ ＡＢＳ製 ）の押縁で固定する。
8	把手・蝶番	樹脂成型品（ ＡＢＳ製 ）の把手・引手を使用する。 蝶番は、メンテナンスが容易なキャッチ機構付１１０°開きゼンシスヒンジ（ ソフトクローズ機構付 ）を使用する。 ［ 掃除用具入れの吊元側板への蝶番固定は、５点吊中３ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。］
9	鴨居・敷居	メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ ＡＢＳ製 ）を埋め込んだ鴨居と面付けの敷居（ ＡＢＳ製 ）とする。
10	抽斗箱	樹脂化粧ＭＤＦ　厚さ１５mmとする。
11	棚板受け	安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ　φ８－Ｍ６を使用する。 棚板は外れ止めシャクリ加工を施す。
12	特記事項	環境配慮及び品質確保のため、取り扱いは　ＩＳＯ　１４００１、製作は　ＩＳＯ　９００１　取得企業とする。 製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。
13	施工	家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。

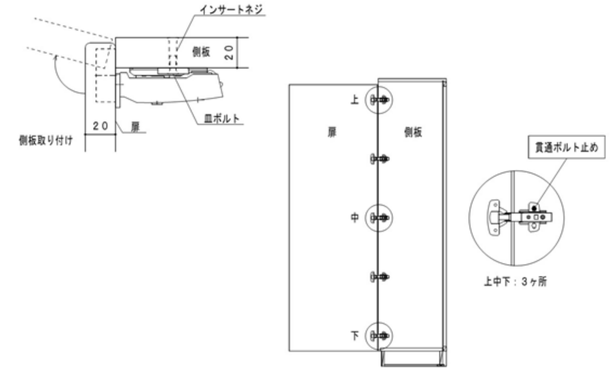
［ 木口詳細 ］



［ 開き扉詳細 ］

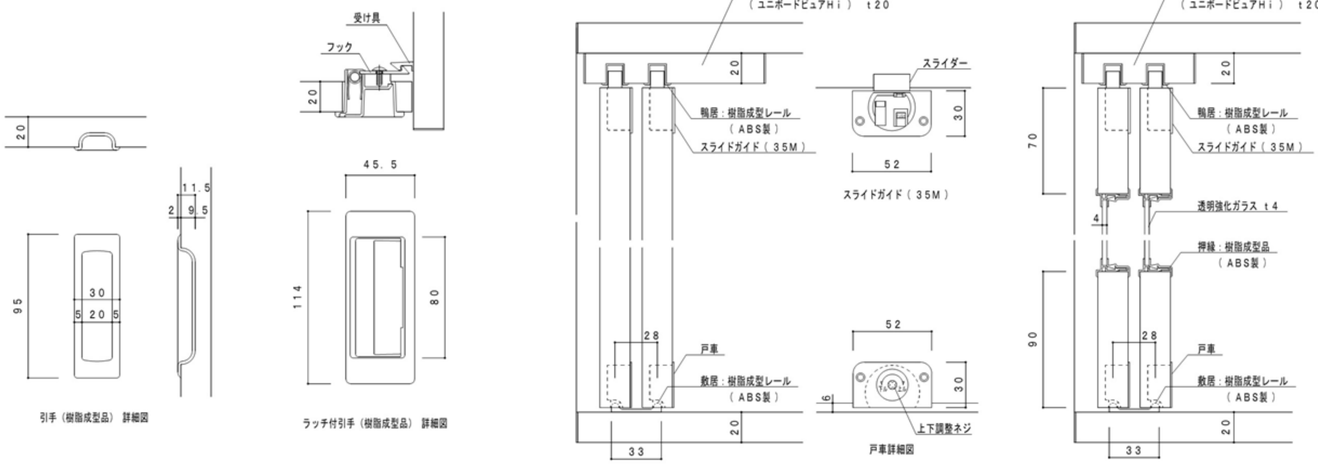


掃除用具入れの場合

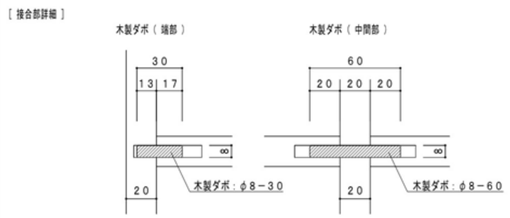


※ 吊元側板への蝶番固定は、５点吊中３ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。

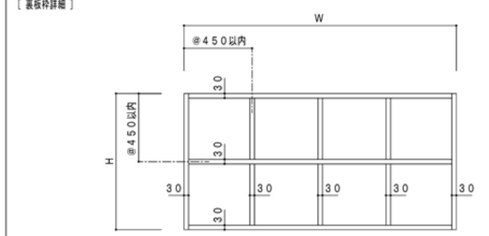
［ 引違戸詳細 ］



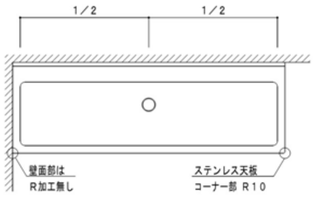
［ 接合部詳細 ］



［ 裏板枠詳細 ］

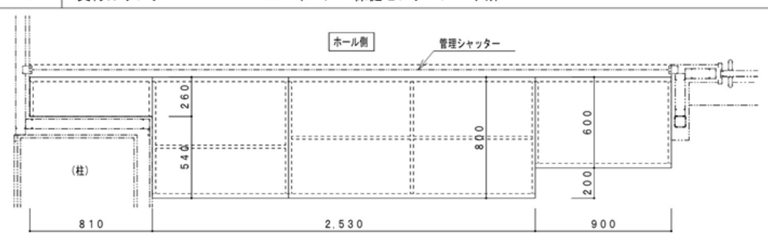


［ ステンレス納まり詳細 ］

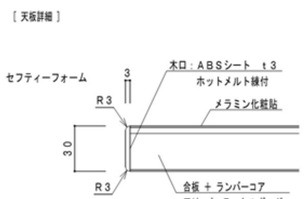


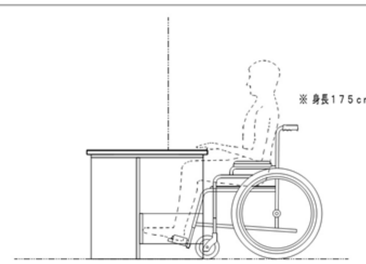
※ ステンレスシンクには結露防止処理を施す事とする。

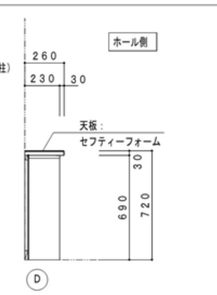
Ｆ－１　受付カウンター　　１Ｆ ホール・保健センター／１ヶ所

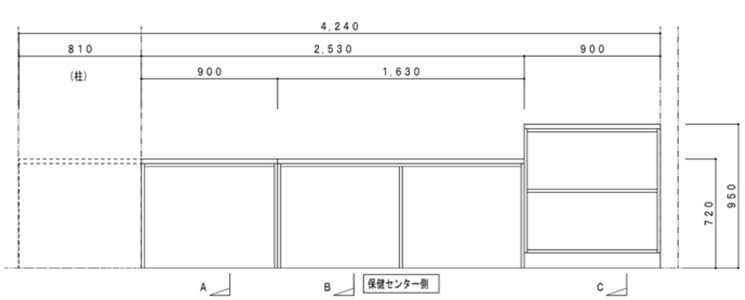


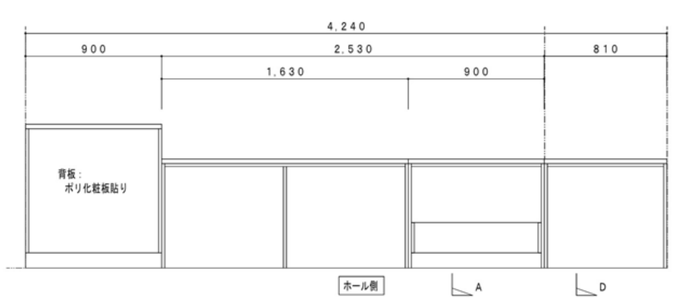
［ 天板詳細 ］

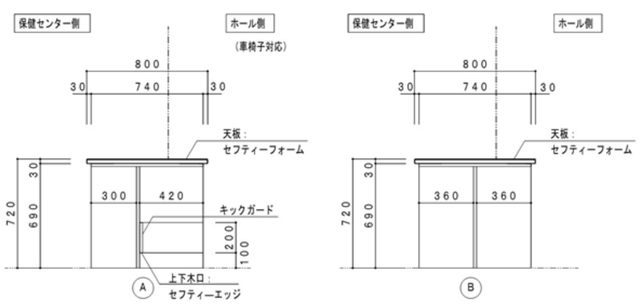








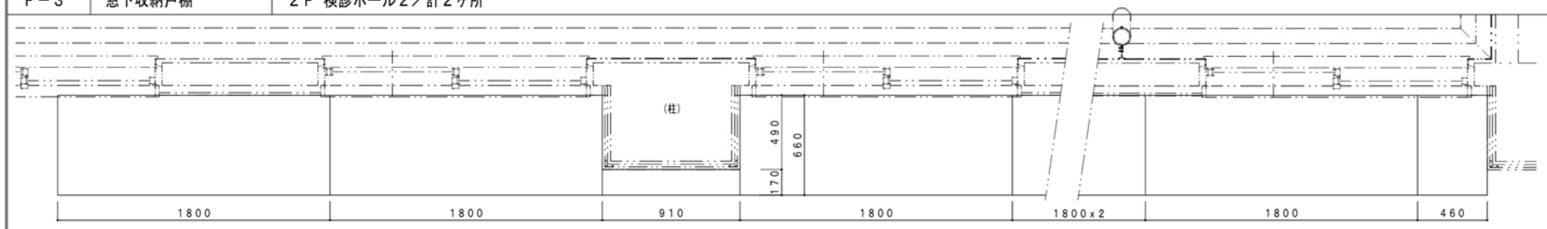


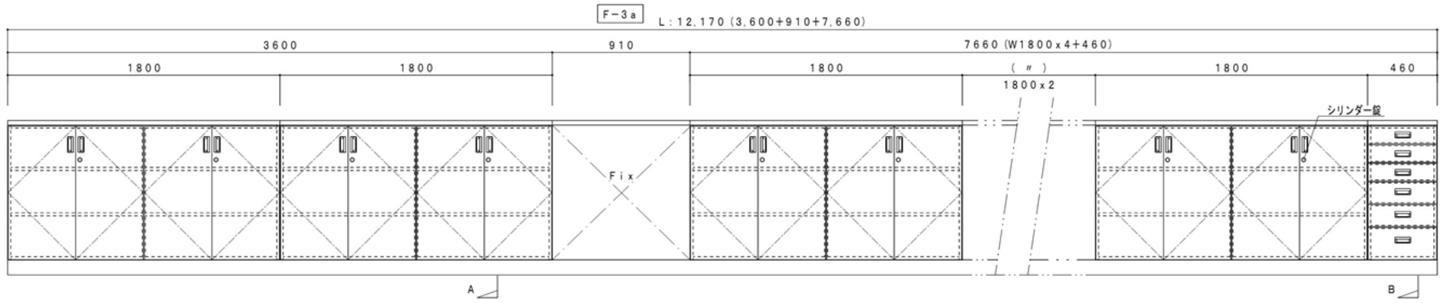


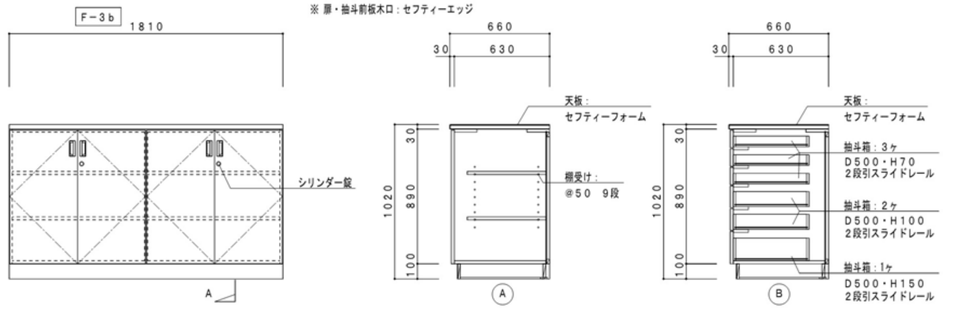
特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第３２６０８１号 齋 藤 出	検 出	設 計	設計年月日 Ｒ８．１．３０ 変更年月日	工事名称 筑山市保健センター改修工事 図面名称 家具詳細図-1	No. A-88 Scale 1/20

F－3　窓下収納戸棚　／　2F 検診ホール2／計2ヶ所

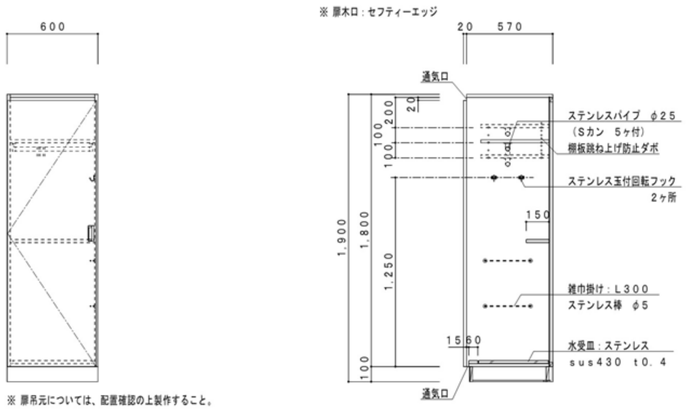
a	L：12,170	1ヶ所
b	L： 1,810	1ヶ所





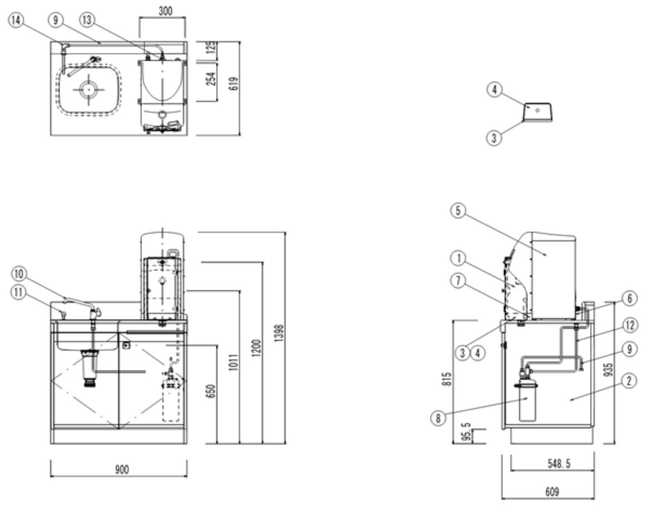


F－2　掃除用具入れ　／　1F SK・汚物処理室／1ヶ所



※ 扉吊元については、配置確認の上製作すること。

F－4　調乳機　／　2F 調乳室／1ヶ所

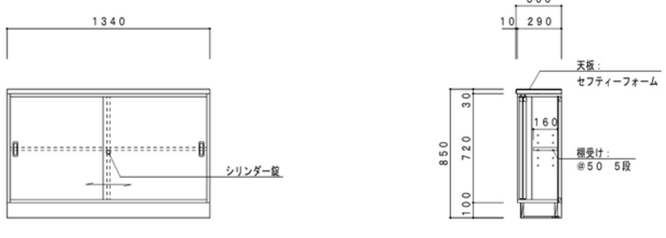


電源（定格電圧）	単相 100V
ヒータ 容量	1.5kW
電源プラグ	差込型/接地2P 125V/20A
推奨コンセント	パナソニック WK3821 WN19213
設定温度	72～81℃
発生熱量	5.4MJ/h
定格電流	15.0A
保有水量	14L
温水器質量	11Kg
キャビネット本体質量	51Kg
カバー質量	3Kg
浄水器質量	2Kg
製品重量	67Kg（運転重量：81Kg）

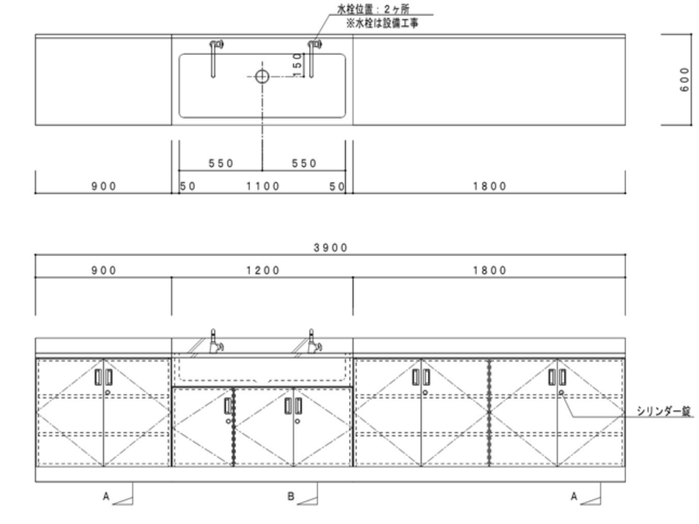
※Combi調乳機：CH22-3 同等品

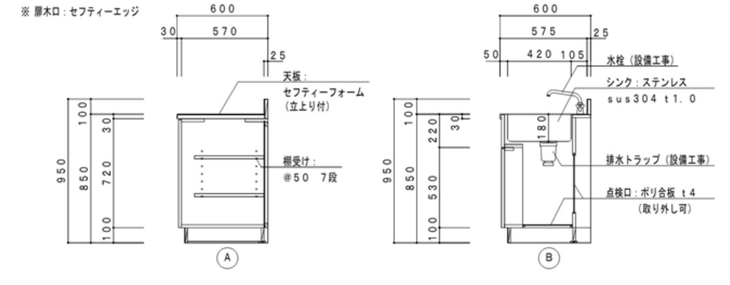
No.	部品名称	数量	備考
1	調乳カバーセット	1	
2	キャビネット本体	1	
3	トレイ	1	
4	水切り蓋	1	
5	調乳用温水器	1	
6	転倒防止金具(前後セット)	1	
7	前面下カバーセット	1	ネジ・ワッシャー付き（2組）
8	浄水器組MP-M31LZ	1	
9	フレキ管セット(L=700)	2	
10	水栓金具	1	三栄水栓 JA575-13
11	オーバーフロー用金具	1	
12	フレキ管セット(L=1000)	2	
13	異型 ジョイント	1	三栄水栓 T25-5-20×13
14	エルボ	1	三栄水栓 T204-13
15	トラスネジM6×20	2	付属部品
16	トラスタッピングネジφ4×8	2	付属部品（ワッシャー付き）
17	トラスタッピングネジφ5×16	4	付属部品
18	鍵	1	付属部品(HAFELE No.0001)
19	トラスネジM10×25	4	壁または床との締結付属部品
20	平ワッシャーM10×φ22	4	壁または床との締結付属部品
21	L金具	4	壁または床との締結付属部品

F－5　収納戸棚　／　2F 検査室2／1ヶ所



F－6　窓下収納・流し台　／　2F 検査室2／1ヶ所



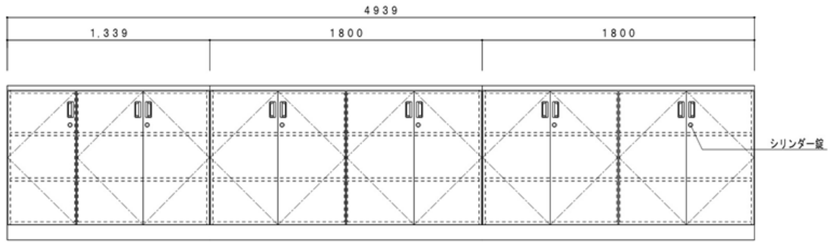


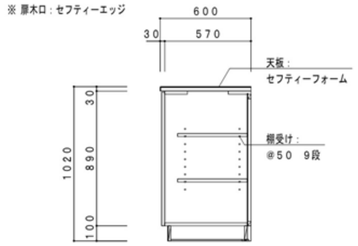
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

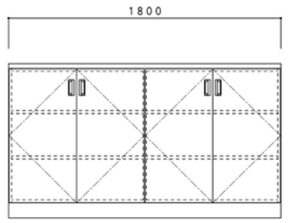
検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-89
		変更年月日	図面名称 家具詳細図-2	Scale 1/20

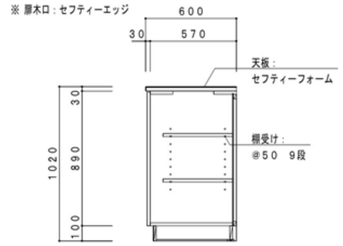
F－7　窓下収納戸棚　２Ｆ 検査室１／１ヶ所



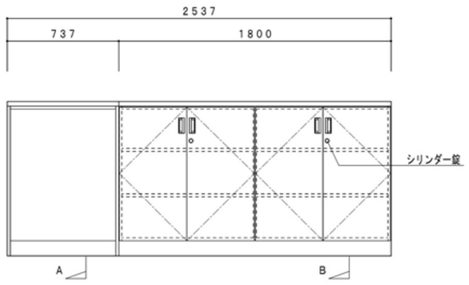


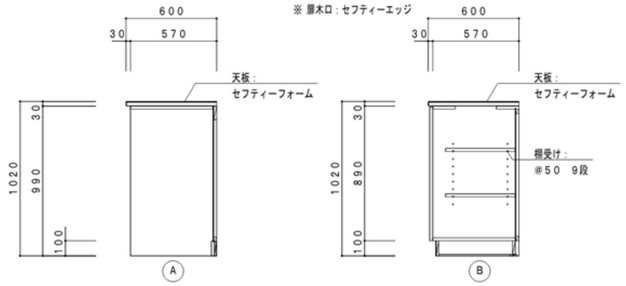
F－8　窓下収納戸棚　２Ｆ 倉庫２C／１ヶ所



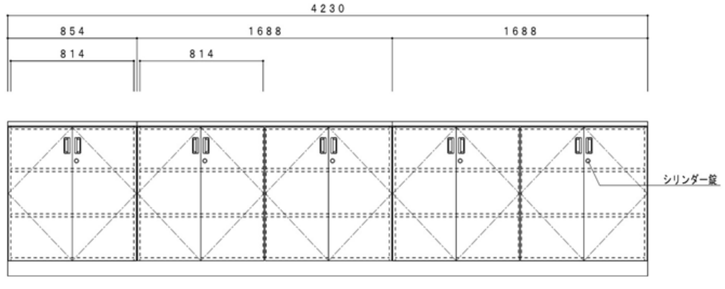


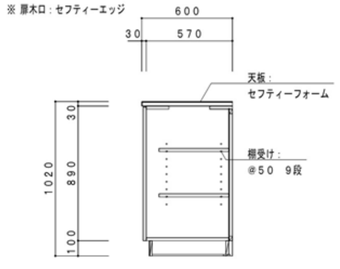
F－9　窓下収納戸棚　２Ｆ 診察室１／１ヶ所　３Ｆ 運動指導室／１ヶ所



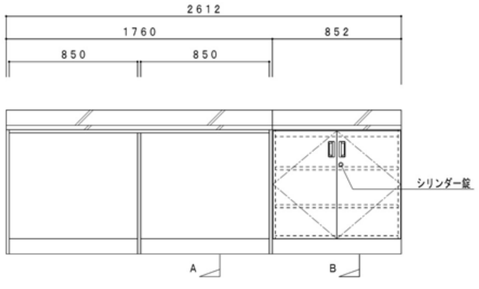


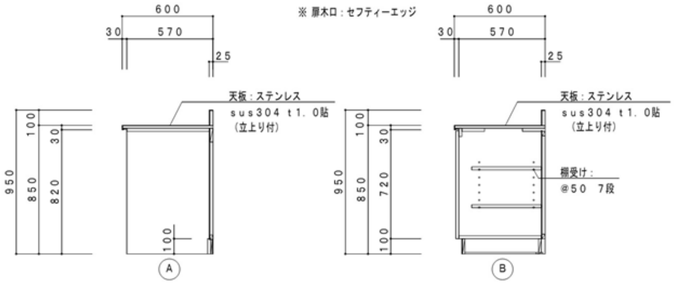
F－10　窓下収納戸棚　２Ｆ 診察室２・３／１ヶ所　３Ｆ 運動指導室／１ヶ所





F－11　窓下収納戸棚　２Ｆ 栄養指導室／１ヶ所



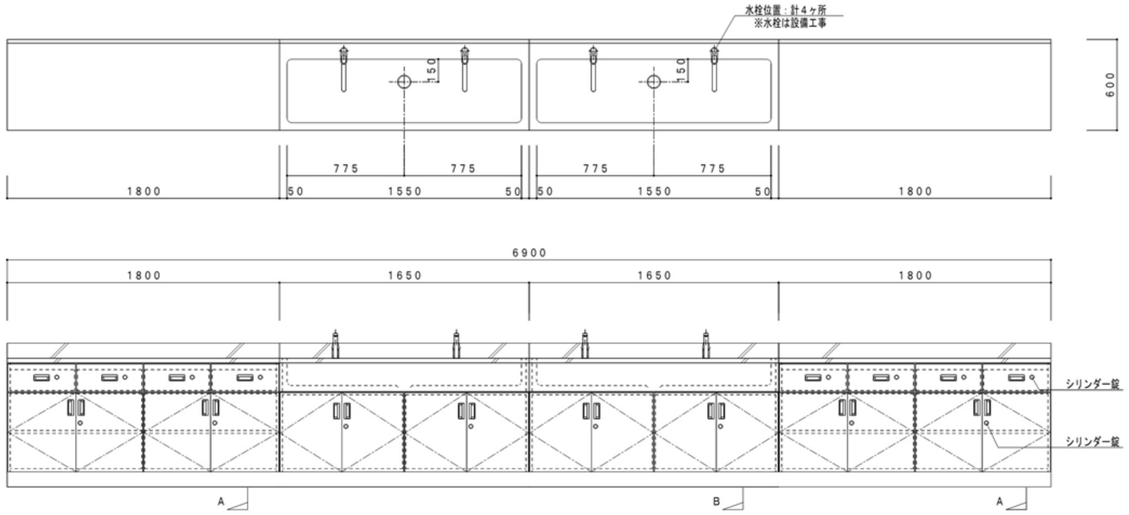


特記事項

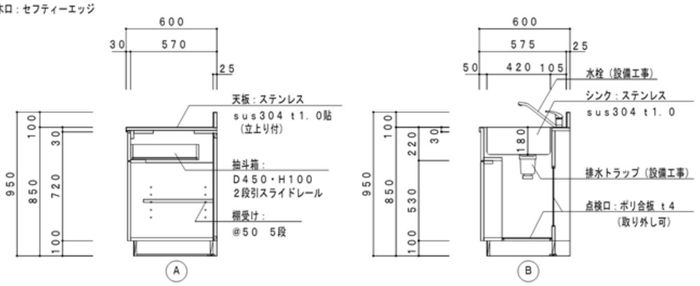
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-90
		変更年月日	図面名称 家具詳細図-3　Scale 1/20	

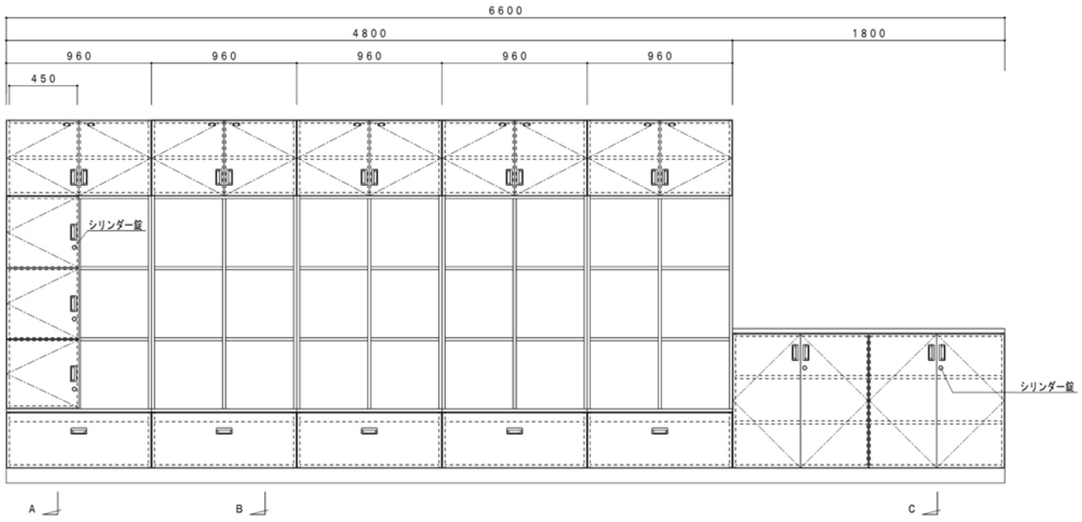
F－１２　窓下収納・流し台　２Ｆ 栄養指導室／１ヶ所



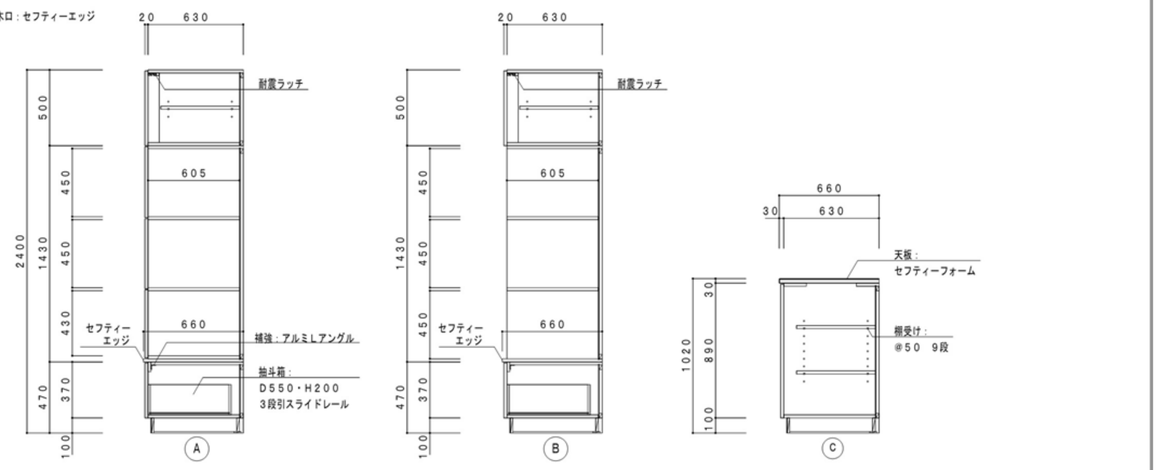
※ 扉・抽斗前板木口：セフティーエッジ



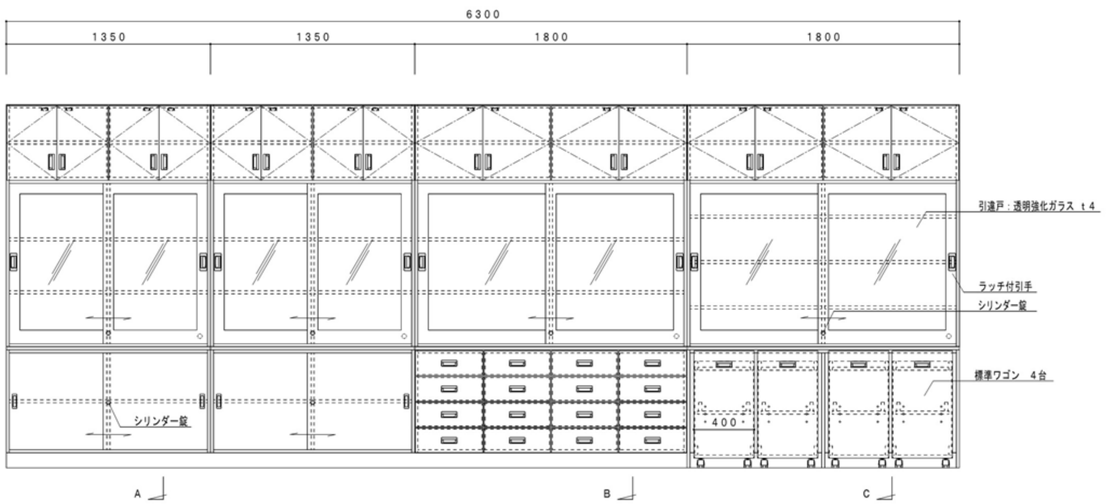
F－１３　壁面収納戸棚・窓下収納　２Ｆ 栄養指導室／１ヶ所　３Ｆ 運動指導室／１ヶ所



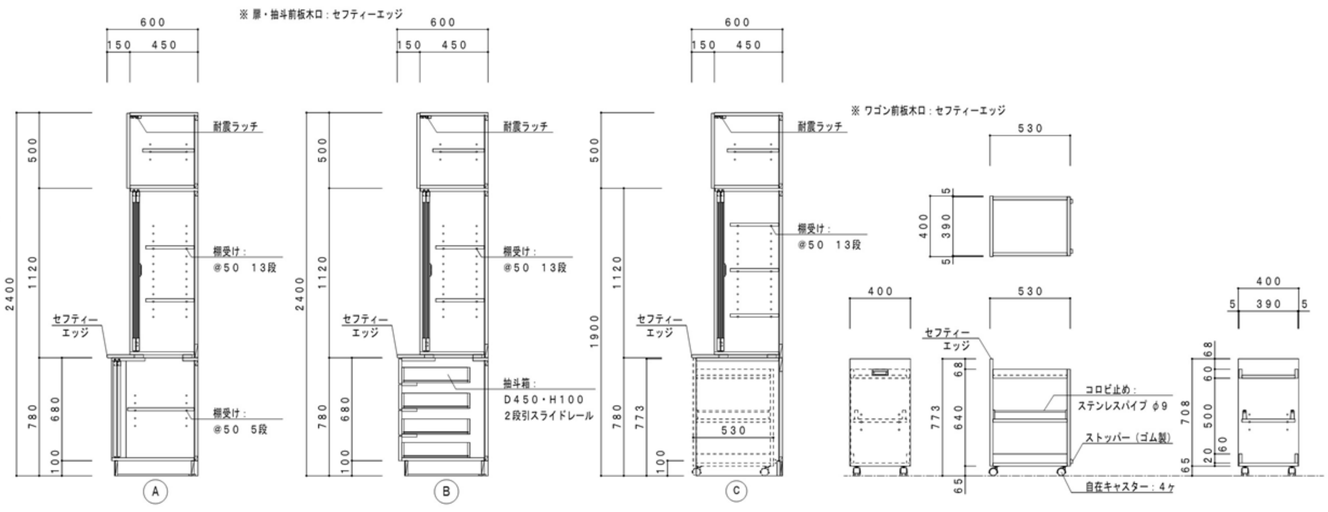
※ 扉・抽斗前板木口：セフティーエッジ



F－１４　壁面収納戸棚（ワゴン４台）　２Ｆ 栄養指導室／１ヶ所



※ 扉・抽斗前板木口：セフティーエッジ



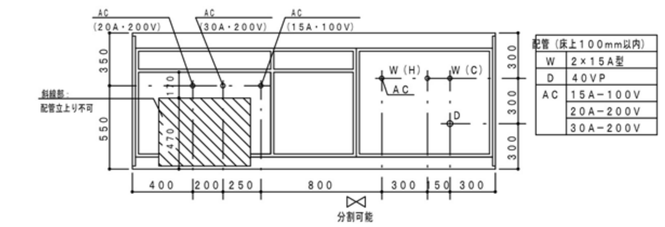
※ ワゴン前板木口：セフティーエッジ

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

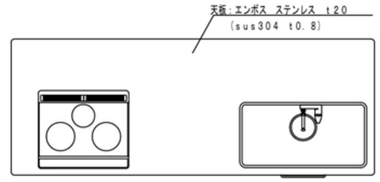
検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
斉藤出	斉藤出	R．8．1．30	狭山市保健センター改修工事	A-91
		変更年月日	図面名称 家具詳細図-4 Scale 1/20	

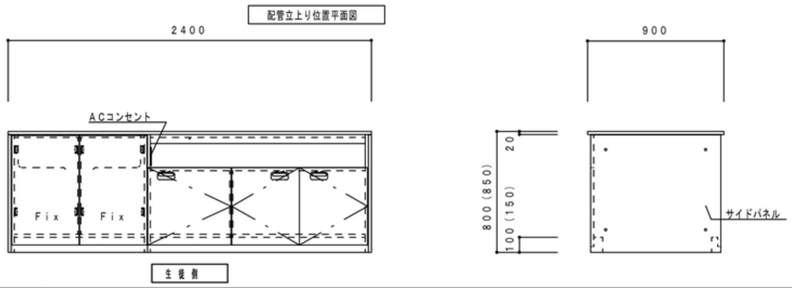
F－15　指導者用調理台　　2F 栄養指導室／1ヶ所



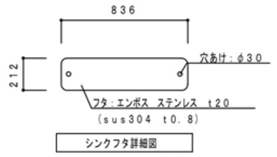
配管（床上100mm以内）	
W	2×15A型
D	40VP
AC	15A－100V
	20A－200V
	30A－200V

配管立上り位置平面図





生徒側　　教師側



シンクフタ詳細図　　計2枚

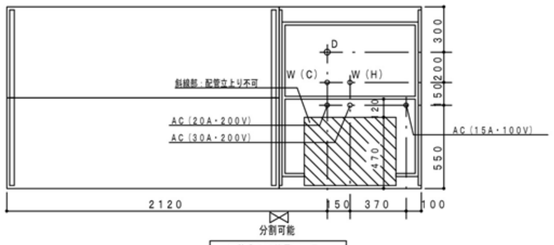
仕様		
蝶番	ゼンシスヒンジ110°開き（ソフトクローズ機構）	
ラッチ付き取手（STEX）	樹脂成型品	
水栓	折りたたみシングルレバー混合水栓　1ロ	1
排水トラップ	樹脂製ゴミ収納器付　φ180mm　40A用	1
	樹脂製排水口カバー	1
調理器具	ビルトインIHクッキングヒーター　KZ－L32AK	1
	ビルトインオーブンレンジ　NE－DB1000	1
	ストッカー　NE－DU100K	1
コンセント	AC：100V 2口アースターミナル付	2
	AC：クッキングヒーター用30A・200V 露出1口接地極付	1
	AC：オーブン用20A・200V 露出1口接地極付	1
包丁掛け	樹脂成型品	1
床固定アングル	樹脂成型品　B－1	2

※ユニボード ピュアHi：VOC低減・抗菌機能付

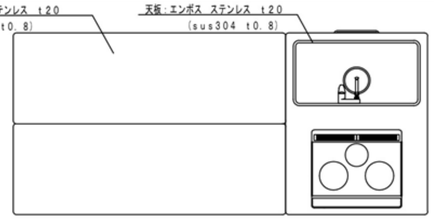
教師用調理台　標準タイプ STEX－CH0015	
寸法	W2400×D900×H800（850）mm
質量	266（275）kg
天板・フタ	エンボス ステンレス sus304 t0.8mm
厚さ	t20mm
シンク	ステンレス sus304 t1.0mm
本体	ユニボード ピュアHi t20mm F☆☆☆☆（3色より選択可）
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
	樹脂シート t0.45mm ホットメルト接着 F☆☆☆☆
サイドパネル	ユニボード ピュアHi t20mm F☆☆☆☆（3色より選択可）
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
建具類	ユニボード ピュアHi t20mm F☆☆☆☆（3色より選択可）
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
巾木	ユニボード ピュアHi t20mm F☆☆☆☆

F－16　生徒用調理台　　2F 栄養指導室／4ヶ所

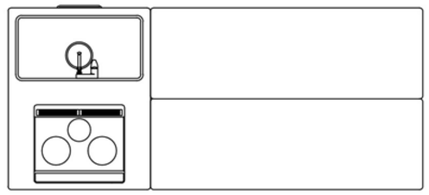
配管（床上100mm以内）	
W	2×15A型
D	40VP
AC	15A－100V
	20A－200V
	30A－200V



配管立上り位置平面図



F－16a



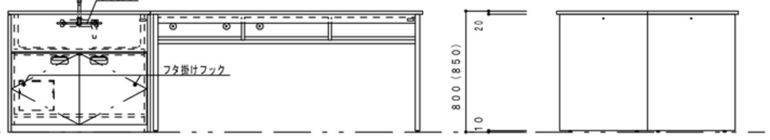
F－16b　※F－16bはF－16aの反転タイプです。

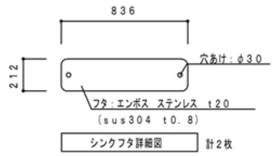
a	2ヶ所
b	2ヶ所

仕様		
ラッチ付き取手（STEX）	樹脂成型品	
水栓	折りたたみシングルレバー混合水栓　1ロ	1
排水トラップ	樹脂製ゴミ収納器付　φ180mm　40A用	1
	樹脂製排水口カバー	1
調理器具	ビルトインIHクッキングヒーター　KZ－L32AK	1
	ビルトインオーブンレンジ　NE－DB1000	1
	ストッカー　NE－DU100K	1
コンセント	AC：100V 2口アースターミナル付	1
	AC：クッキングヒーター用30A・200V 露出1口接地極付	1
	AC：オーブン用20A・200V 露出1口接地極付	1
包丁掛け	樹脂成型品	1
床固定アングル	樹脂成型品　B－1	2

※ユニボード ピュアHi：VOC低減・抗菌機能付

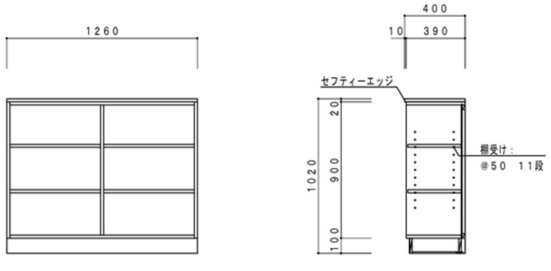
生徒用調理台　センターボックステーブル	
寸法	W2740×D1200×H800（850）mm
質量	312（319）kg
天板・フタ	エンボス ステンレス sus304 t0.8mm
厚さ	t20mm
シンク	ステンレス sus304 t1.0mm
本体	ユニボード ピュアHi t20mm F☆☆☆☆（3色より選択可）
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
	樹脂シート t0.45mm ホットメルト接着 F☆☆☆☆
サイドパネル	ユニボード ピュアHi t20・30mm F☆☆☆☆（3色より選択可）
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
建具類	ユニボード ピュアHi t20mm F☆☆☆☆（3色より選択可）
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
幕板・固定Fix	ユニボード ピュアHi t20mm F☆☆☆☆（3色より選択可）
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
巾木	ユニボード ピュアHi t20mm F☆☆☆☆
蝶番	ゼンシスヒンジ110°開き（ソフトクローズ機構）
棚板蝶番	隠し蝶番





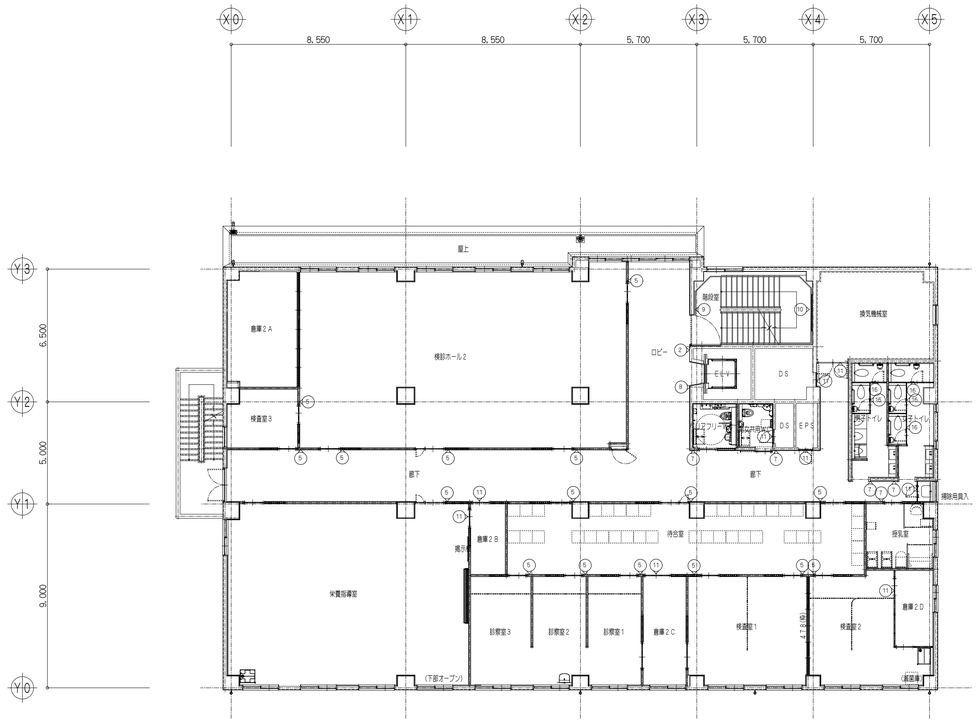
シンクフタ詳細図　　計2枚

F－17　窓下収納棚　　1F SK・汚物処理室／1ヶ所

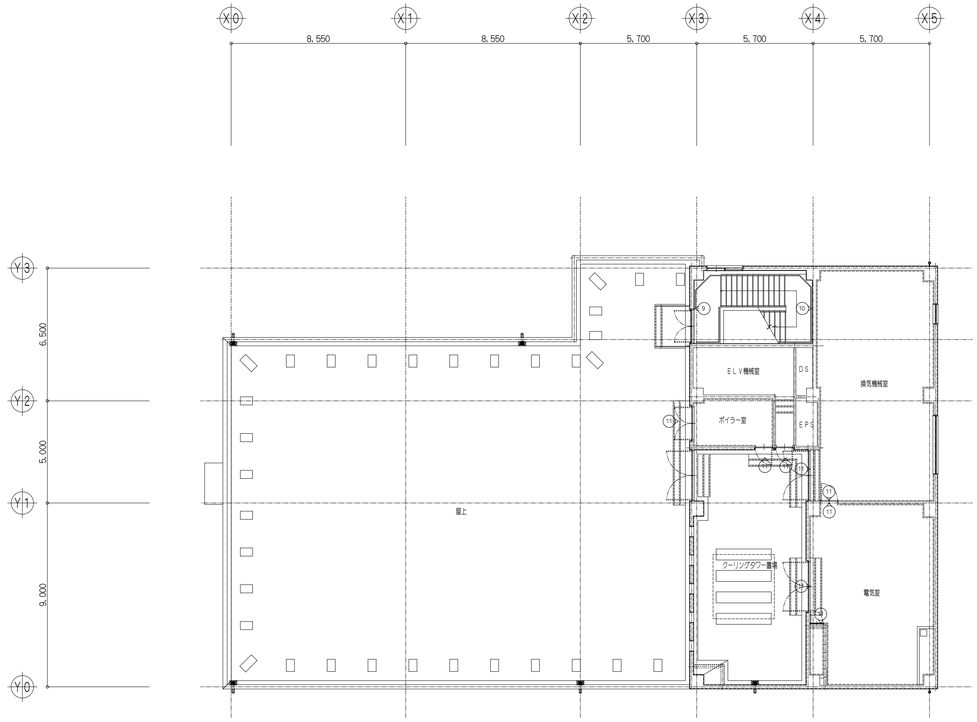


特記事項							
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検図	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-92
				変更年月日	図面名称 家具詳細図-5	Scale 1/20

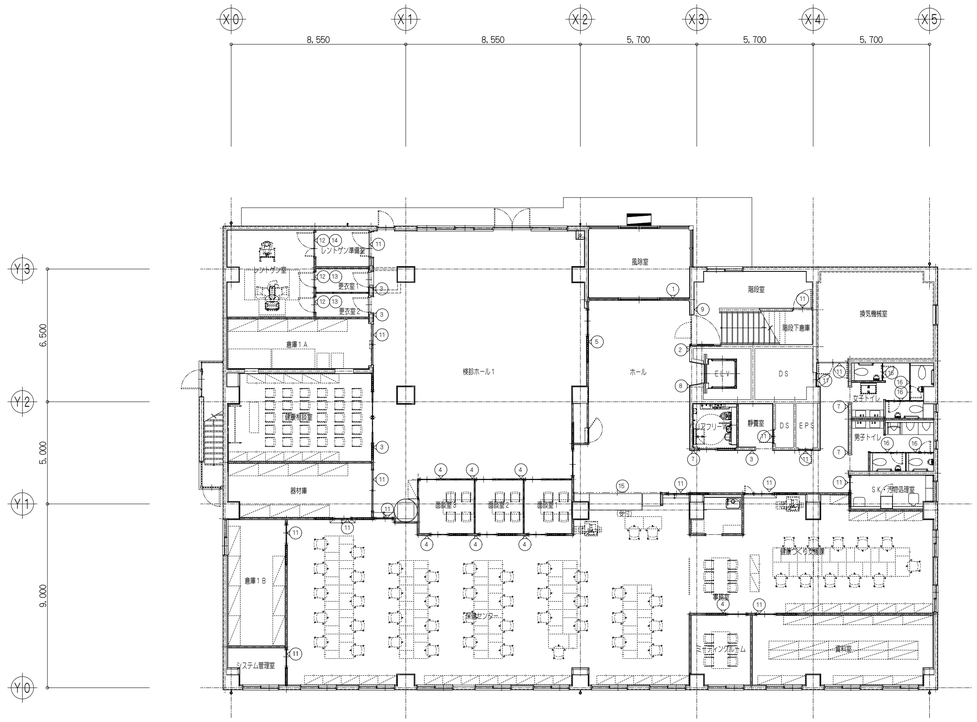
改修



2階サインＫＥＹ-ＰＬＡＮ S=1/150



4階サインＫＥＹ-ＰＬＡＮ S=1/150



1階サインＫＥＹ-ＰＬＡＮ S=1/150

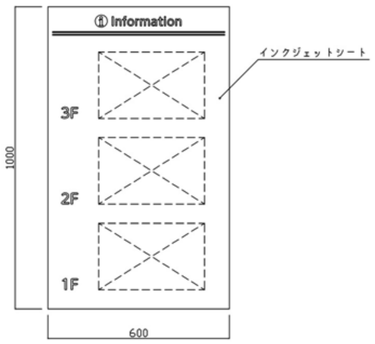


3階サインＫＥＹ-ＰＬＡＮ S=1/150

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-93
				変更年月日	図面名称 サインKEY-PLAN Scale 1/150	

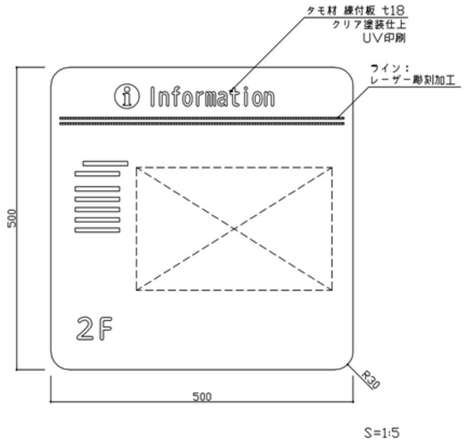
1 総合案内板

縮尺 1:10　数量 1



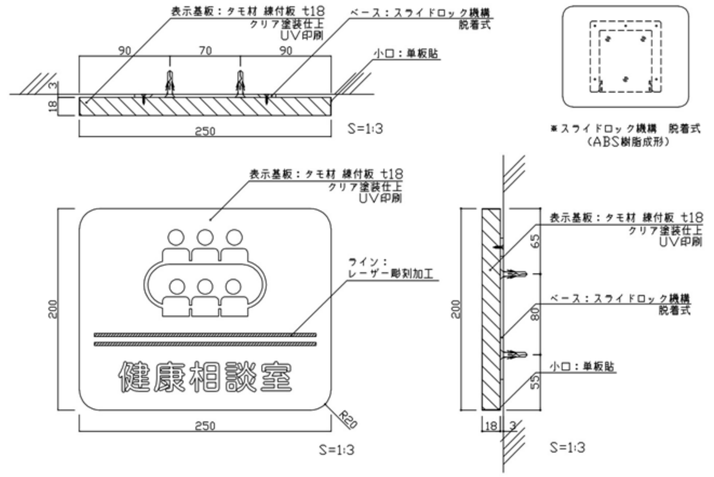
2 フロア案内板

縮尺 1:3,1:5　数量 3



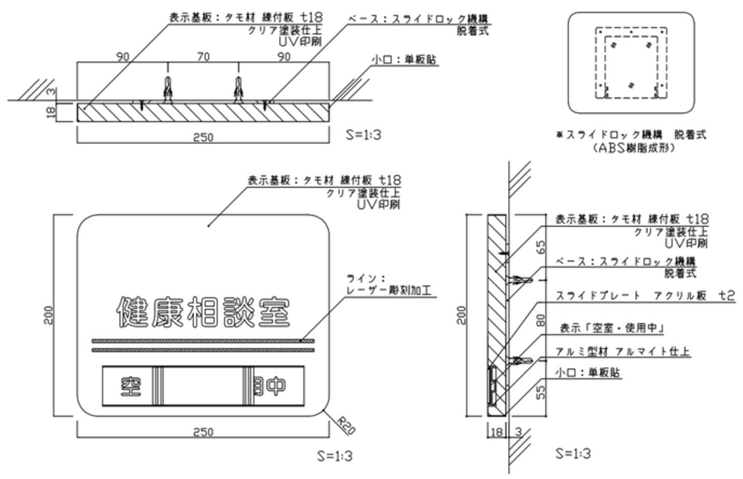
3 平付型室名札

縮尺 1:3　数量 4



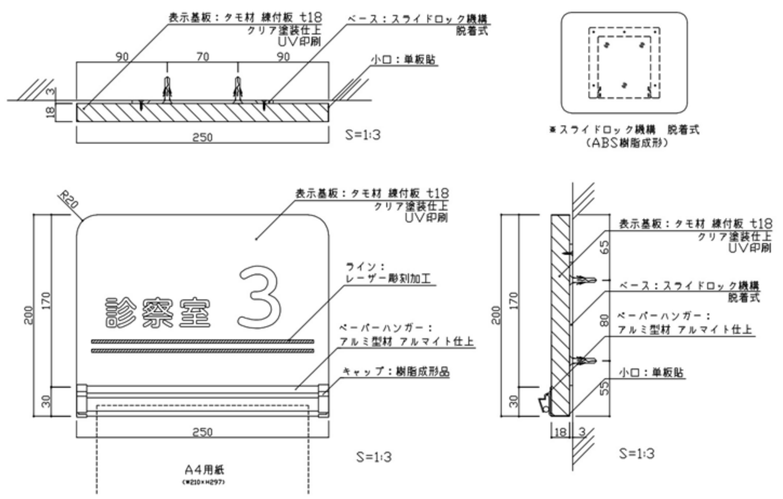
4 平付型室名札（在室表示付き）

縮尺 1:3　数量 8



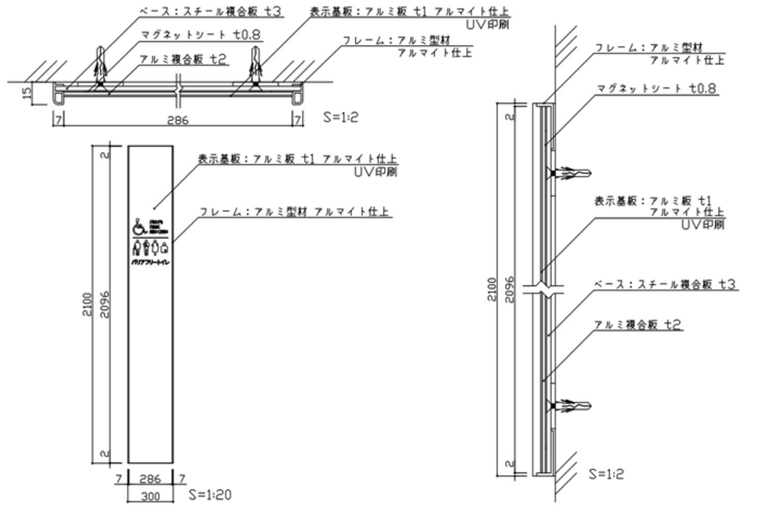
5 平付型室名札（ペーパーハンガー付き）

縮尺 1:3　数量 20



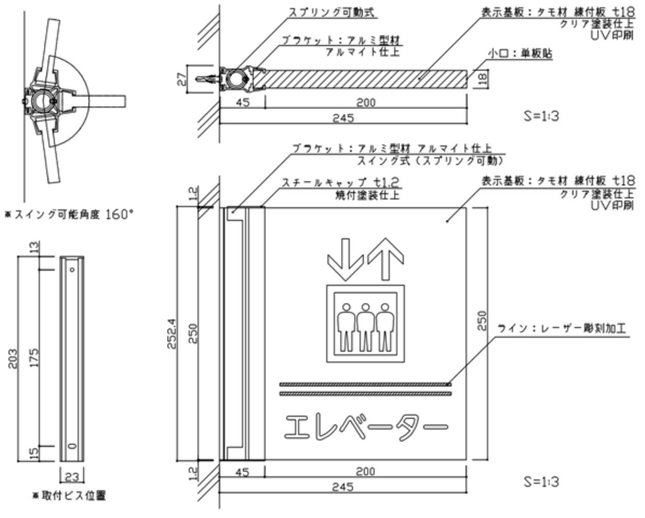
7 平付型トイレピクトサイン

縮尺 1:2,1:20　数量 12



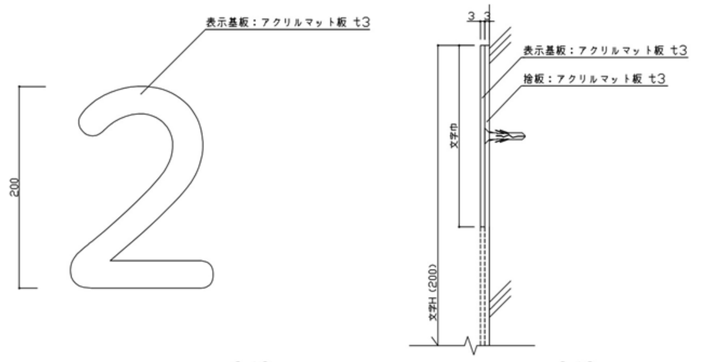
8 突出型EVピクトサイン

縮尺 1:3　数量 3



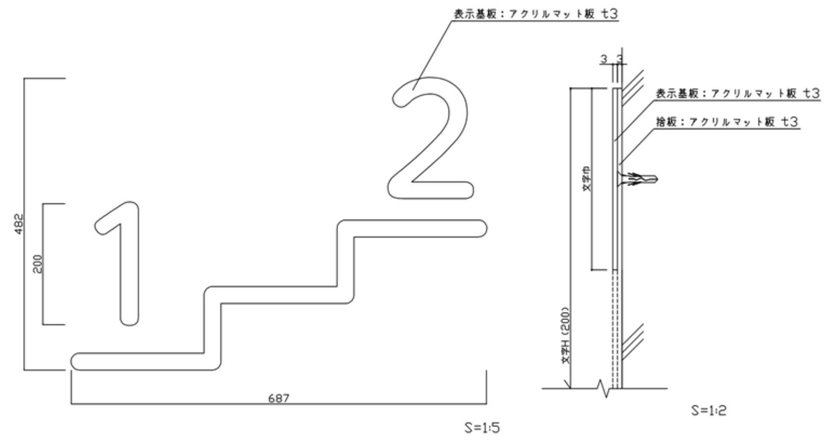
9 階数表示（当階）

縮尺 1:2,1:3　数量 4



10 階数表示（踊場）

縮尺 1:2,1:5　数量 3

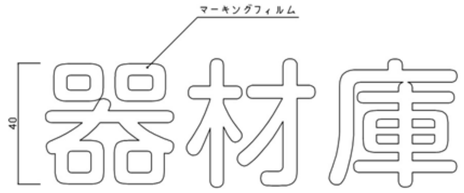


特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検図	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-94
		変更年月日	図面名称 家具詳細図-1　Scale 1/20	

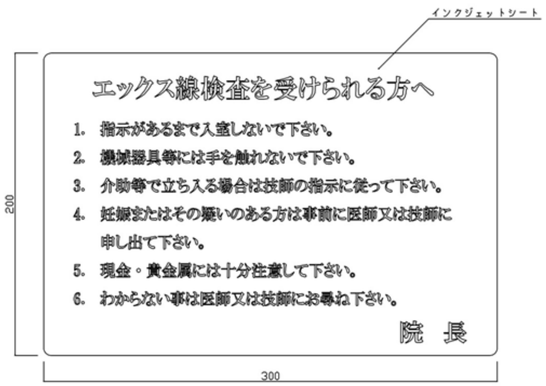
11	バックヤードサイン	縮尺 1:1	数量 44



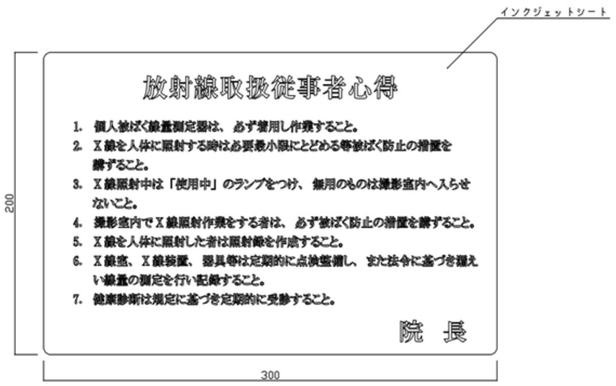
12	管理区域標識	縮尺 1:2	数量 3



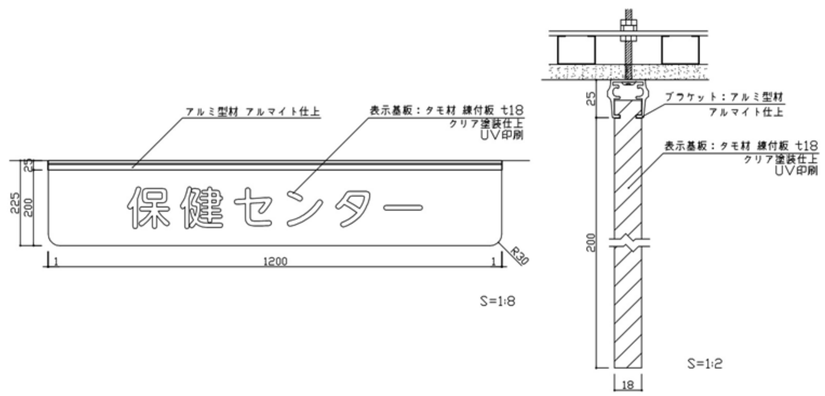
13	患者用注意事項標識	縮尺 1:2	数量 2



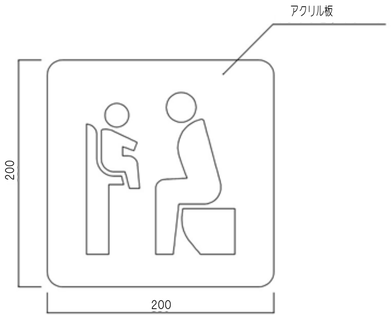
14	従業員用注意事項標識	縮尺 1:2	数量 1



15	吊下型受付カウンターサイン	縮尺 1:2,1:8	数量 1



16	ベビーチェアピクトサイン	縮尺 1:2	数量 12



■サイン特記仕様

[1]使用材料
　a．木材　　：VOC商品（ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応）
　b．アルミ　　：JIS-H4100　A-6063　S-T5（アルミ押出型材）
　c．アクリル　：JIS-K-6718-1（キャスト板），JIS-K-6718-2（押出板）
　d．ステンレス　：JIS-G4305　SUS304、HL仕上

[2]フォント
　a．書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。
　　※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。

[3]ピクトグラム
　a．図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

[4]ユニバーサルデザイン
　a．ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
　b．多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作を推奨する。

[5]取付位置・方法
　a．取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
　b．取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
　c．障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

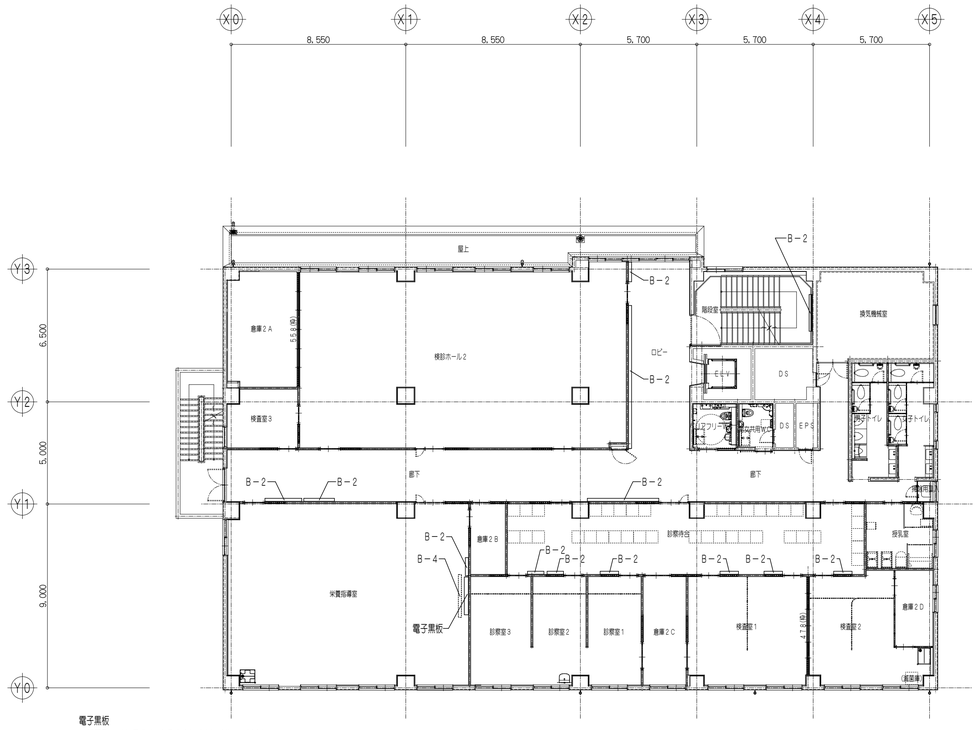
[6]その他
　a．室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
　　又、室名札脱着の際には　スライドロック機構、専用吸盤などを利用し
　　商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。
　b．サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

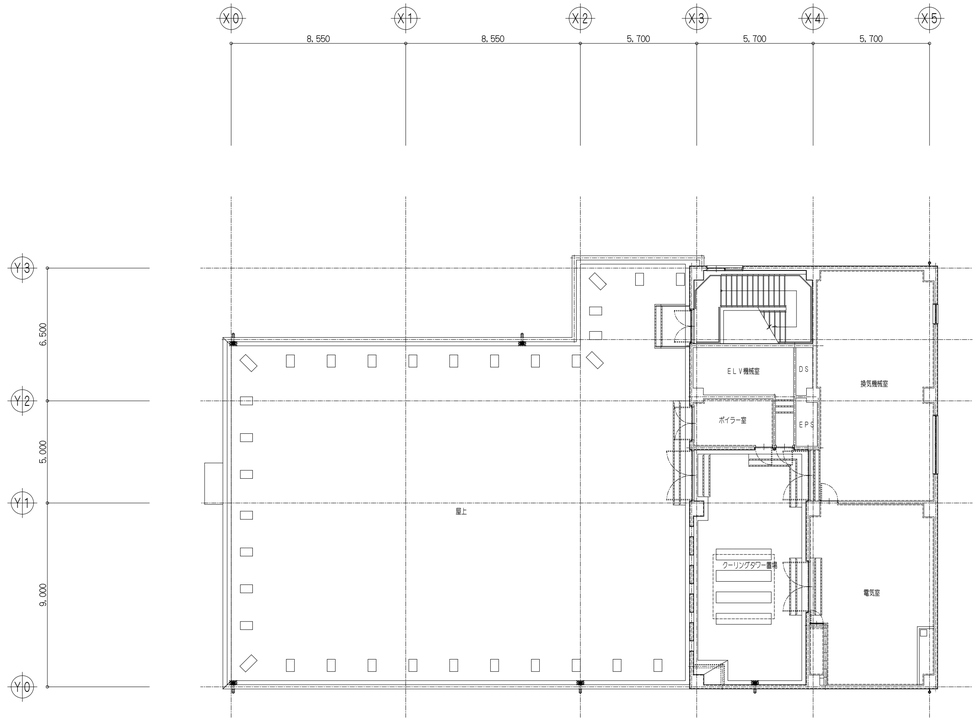
検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	A-95
		変更年月日	図面名称 サイン詳細図-2	Scale 図示

改修



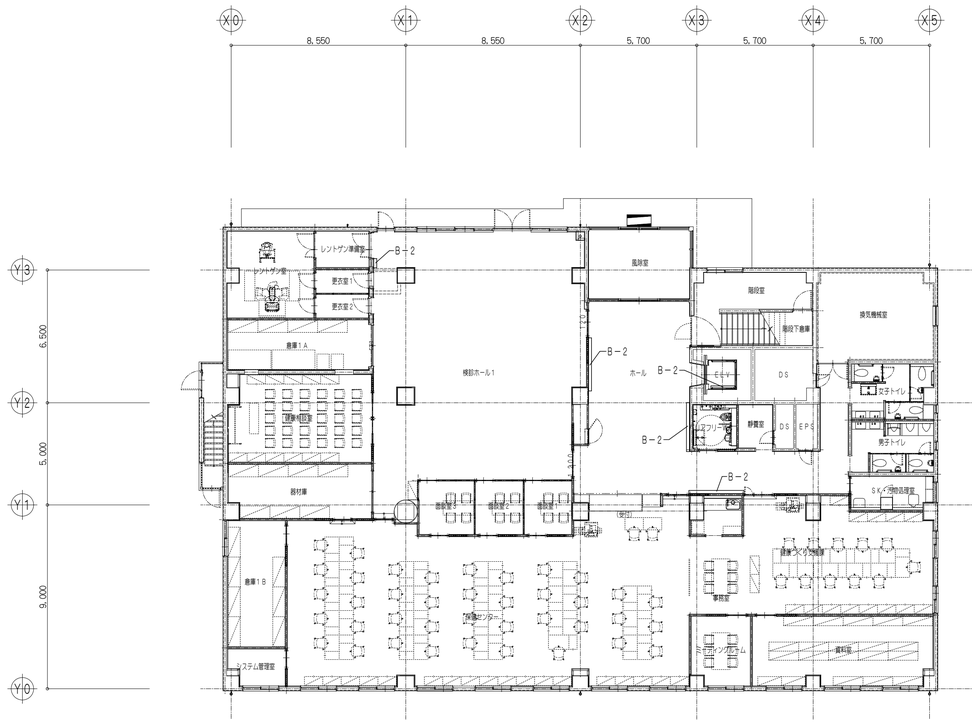
電子黒板
参考図番：ＵＬＴＲＡ-８Ｔ８６ＭＣ(株式会社ナリカ)
画面サイズ：1,895X1,066
４Ｋ／８６インチ液晶電子黒板
初期設定、３年保守含む

2階掲示板等ＫＥＹ-ＰＬＡＮ S=1／150

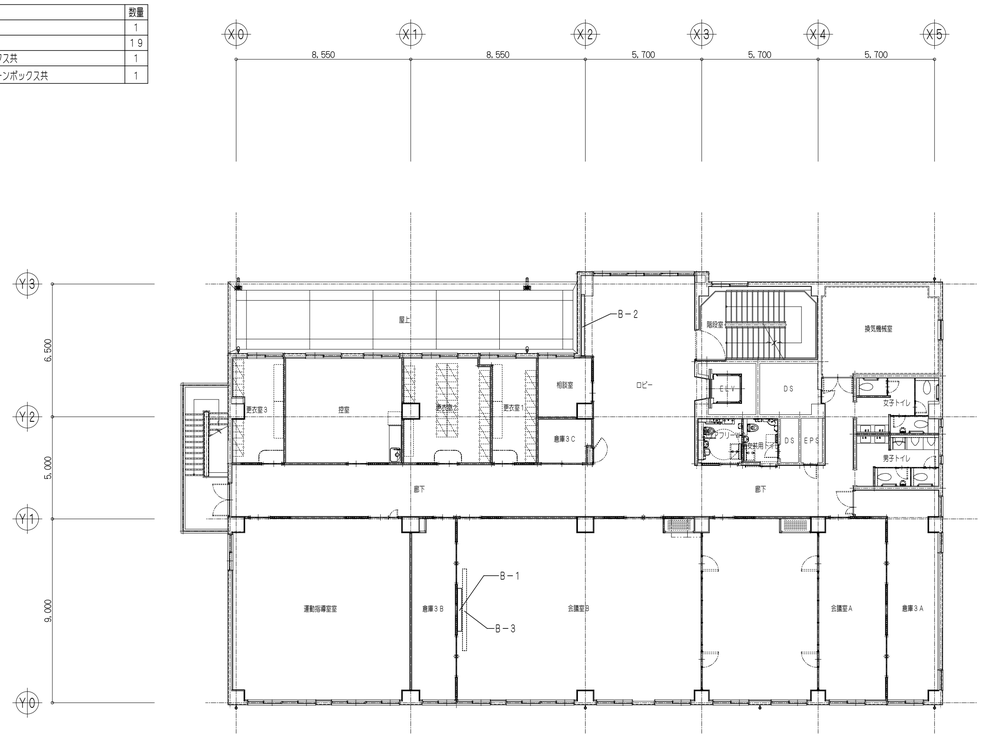


4階掲示板等ＫＥＹ-ＰＬＡＮ S=1／150

記号	製　品	数量
B－1	アルミ枠ホーロー平面白板	1
B－2	アルミ枠パンチング掲示板(ベルエース粘)	19
B－3	手動巻上げスクリーン１５０インチ アルミスクリーンボックス共	1
B－4	手動巻上げスクリーン1,800X1,800 アルミスクリーンボックス共	1



1階掲示板等ＫＥＹ-ＰＬＡＮ S=1／150

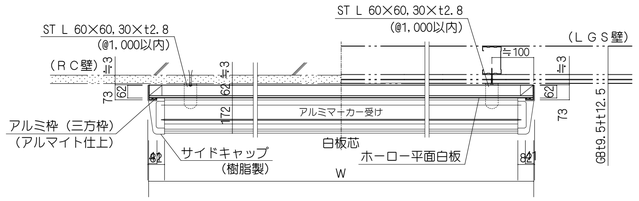


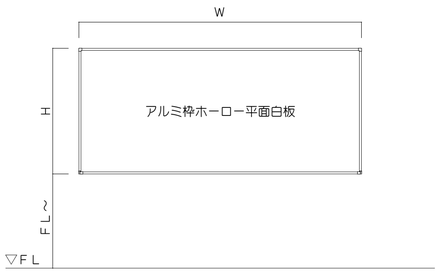
3階掲示板等ＫＥＹ-ＰＬＡＮ S=1／150

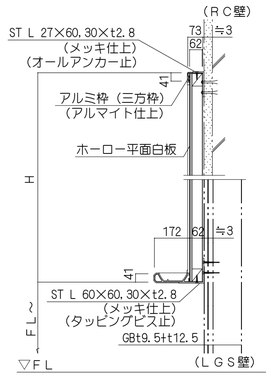
特記事項		斉藤出建築設計室	検印	設計	設計年月日	工事名称	狭山市保健センター改修工事
		一級建築士 第326081号 齋藤出	齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	図面名称	白板・掲示板、スクリーンKEY-PLAN
					変更年月日	Scale	1/150
						No.	A-96

Ｂ－１　アルミ枠ホーロー平面白板

階	室　名	W	H	数量	備　考
2	栄養指導室	1,850	950	1	
3	会議室Ｂ	2,100	1,200	1	

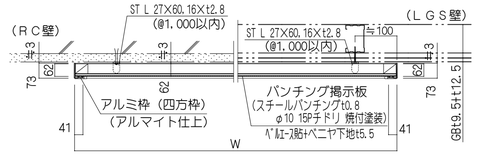


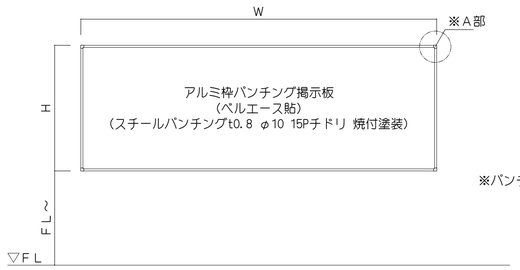


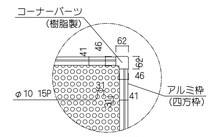


Ｂ－２　アルミ枠パンチング掲示板（ベルエース貼）

階	室　名	W	H	数量	備　考
1	検診ホール１	450	900	1	
	ホール	2,400	900	1	
		2,700	900	1	２分割
		2,600	900	1	２分割
	ＥＬＶ	1,200	900	1	
2	栄養指導室	900	900	1	
	待合室	900	900	4	
		800	900	2	
2	廊　下	3,500	900	1	２分割
		1,500	900	1	
		1,800	900	1	
	ロビー	7,000	900	1	３分割
		960	900	1	
	階段室	1,800	900	1	
3	ロビー	3,000	900	1	２分割

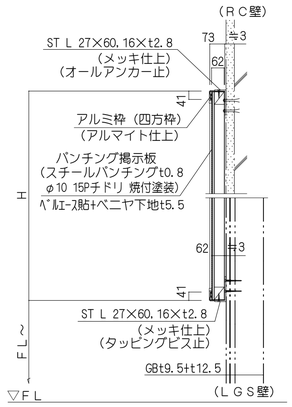






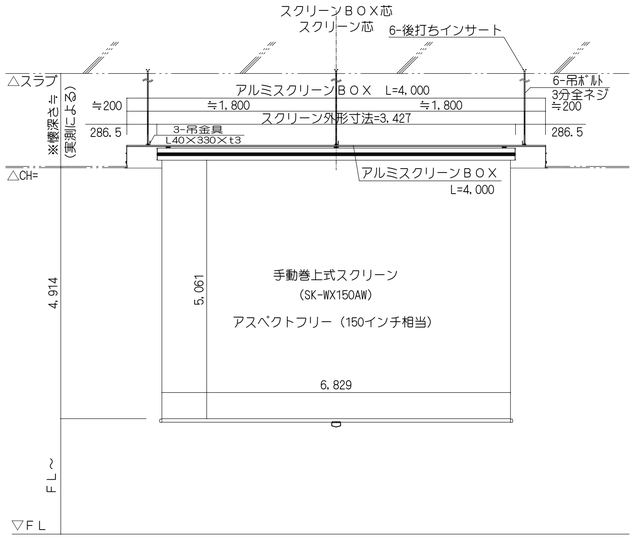
※Ａ部 詳細

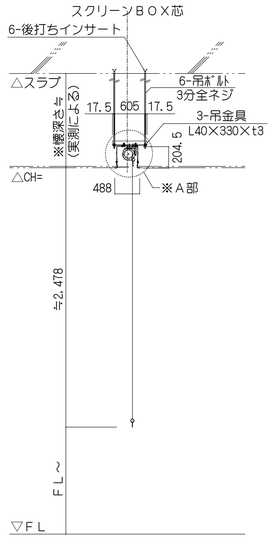
※パンチング１枚の最大寸法がW2,400×H1,200の為
掲示板に割振り目地が入ります

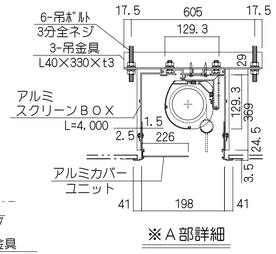


Ｂ－３　手動巻上げスクリーン150インチ　アルミスクリーンボックス共

階	室　名	インチ	数量	備　考
3	会議室Ｂ	150	1	



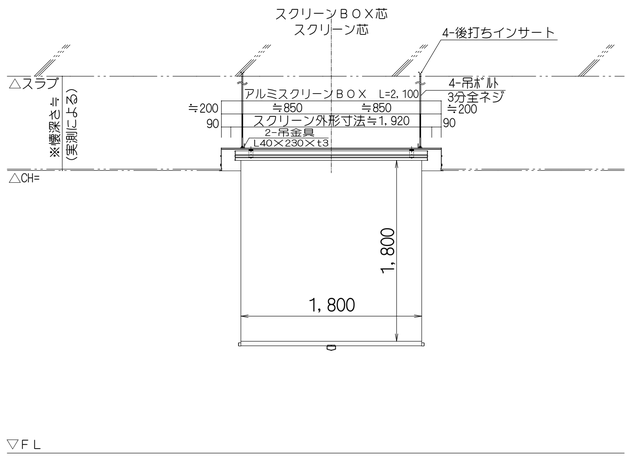


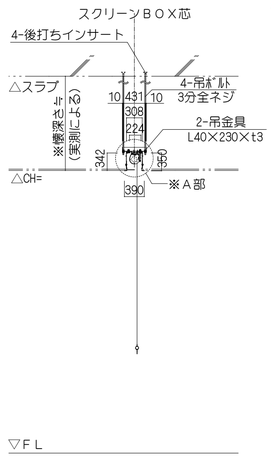


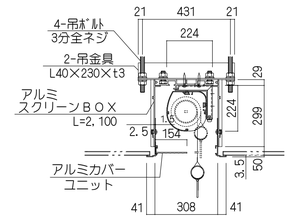
※Ａ部詳細

Ｂ－４　手動巻上げスクリーン　W=1,800×H=1,800　アルミスクリーンボックス共

階	室　名	W	H	数量	備　考
2	栄養指導室	1,800	1,800	1	



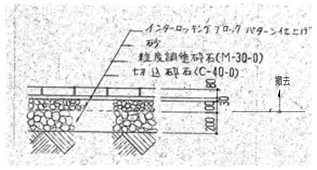




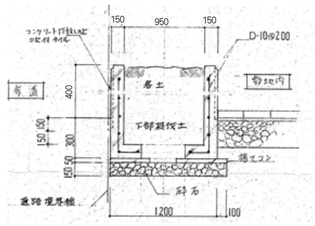
※Ａ部詳細

特記事項		斉藤出建築設計室 一般建築士 第326081号 齋藤 出	検 出	設 計	設計年月日 R 8. 1.30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-97
					変更年月日	図面名称 白板・掲示板、スクリーン詳細図 Scale 1/50・15	

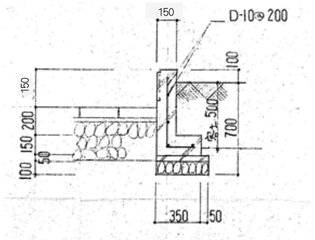
現況



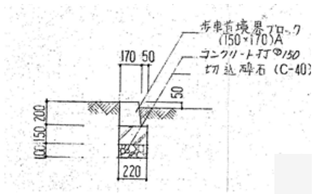
インターロッキング舗装詳細図



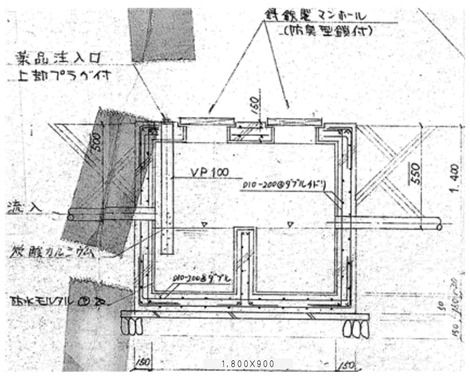
※全て撤去
花壇装詳細図



※全て撤去
土留装詳細図

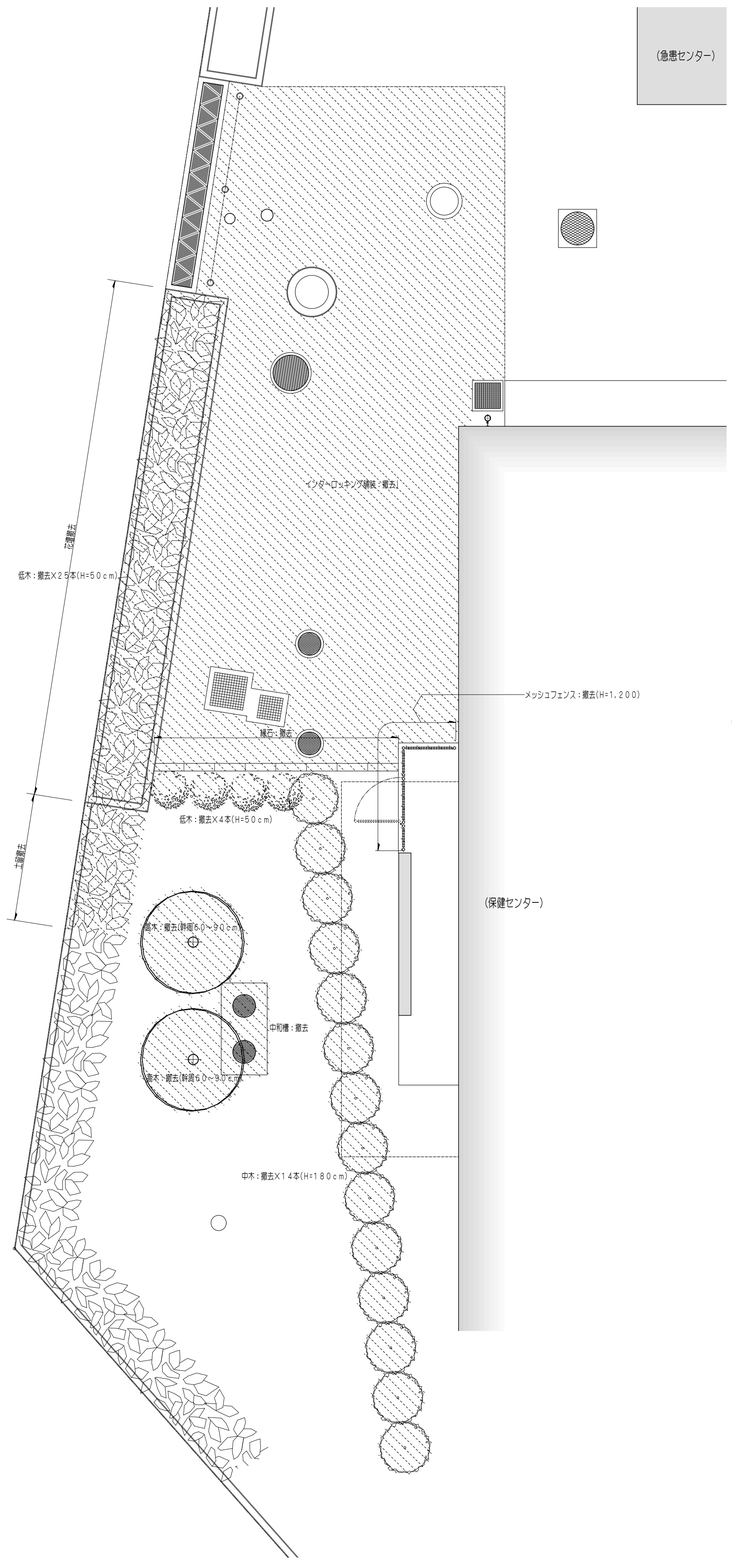


※全て撤去
縁石装詳細図

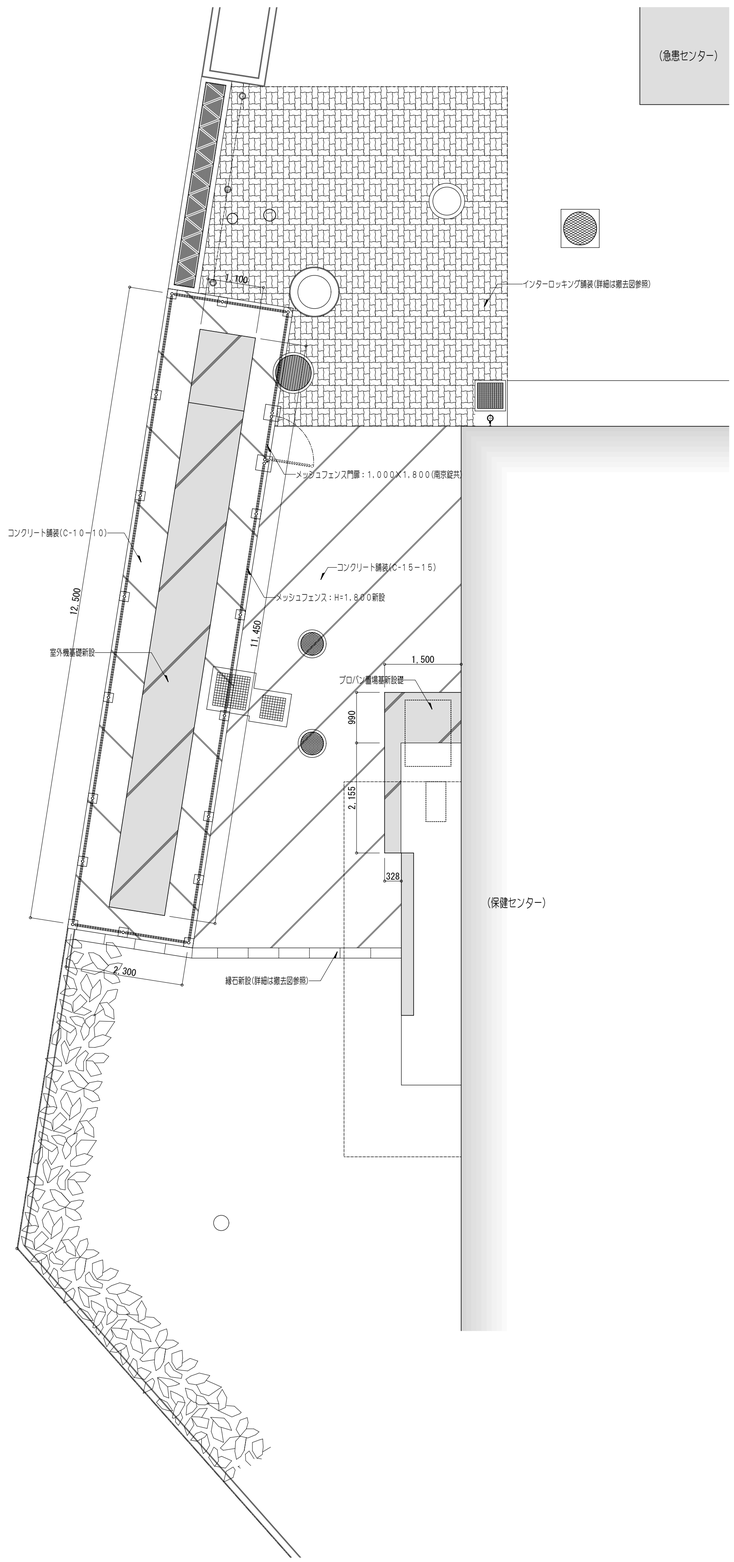


※全て撤去
中和槽詳細図

凡例
撤去範囲を示す
※排水桝、ハンドホール等は全て残す



改修



特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出
設計 齋藤出

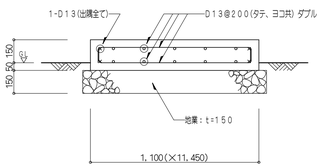
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 現況・改修 室外機設置平面図
Scale 1/50

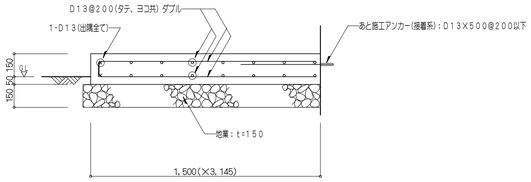
No. A-98

特記事項(室外機基礎、プロパン基礎共通)

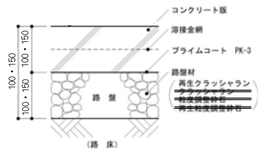
地業：再生クラッシュラン t=150
鉄筋：SD295A（重ね継手40d）
基礎コンクリート：Fc21、S18
型枠：打放型枠(B種)
※指示なき部分は C5面取りとする。
※仕上はコンクリート直金ごて押えとする。



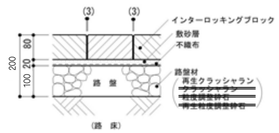
室外機基礎詳細図 S=1/30



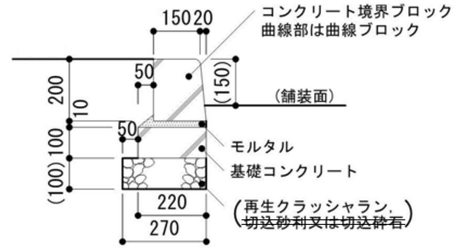
室外機基礎詳細図 S=1/30



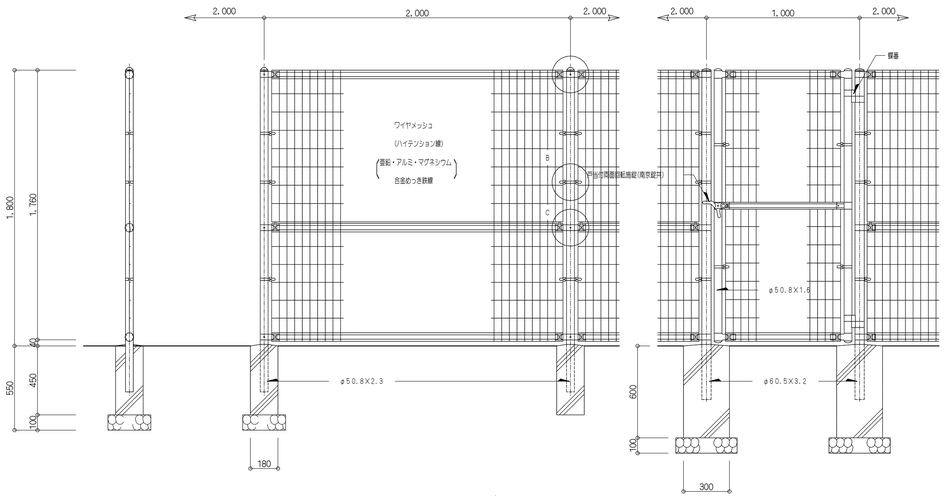
コンクリート舗装詳細図 S=1/10

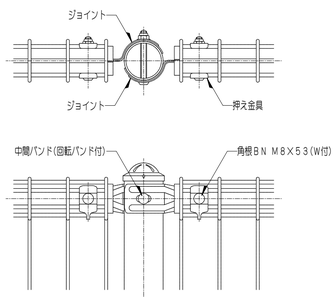


インターロッキング舗装詳細図 S=1/10

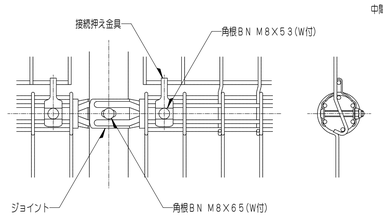


縁石詳細図 S=1/10

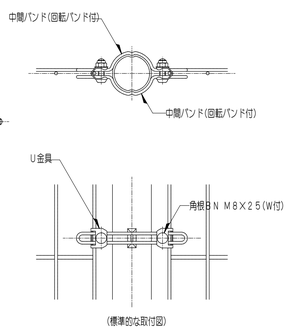




A部取付図



C部取付図



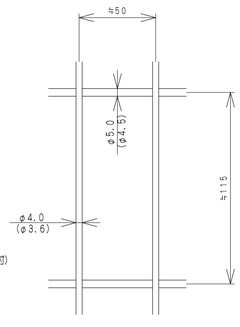
B部取付図

設計条件

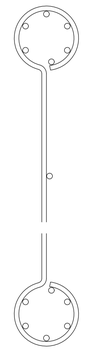
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/㎡（10t/㎡）

外装について

・主柱、ジョイント
　押え金具
　ワイヤメッシュ　---
・上部パネルバンド　---亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・下部パネルバンド　---溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・U 型 金 具　---亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット　---溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
・戸当り付両面回転施錠　---溶融亜鉛めっきのみ



ワイヤメッシュ図



パネル断面図

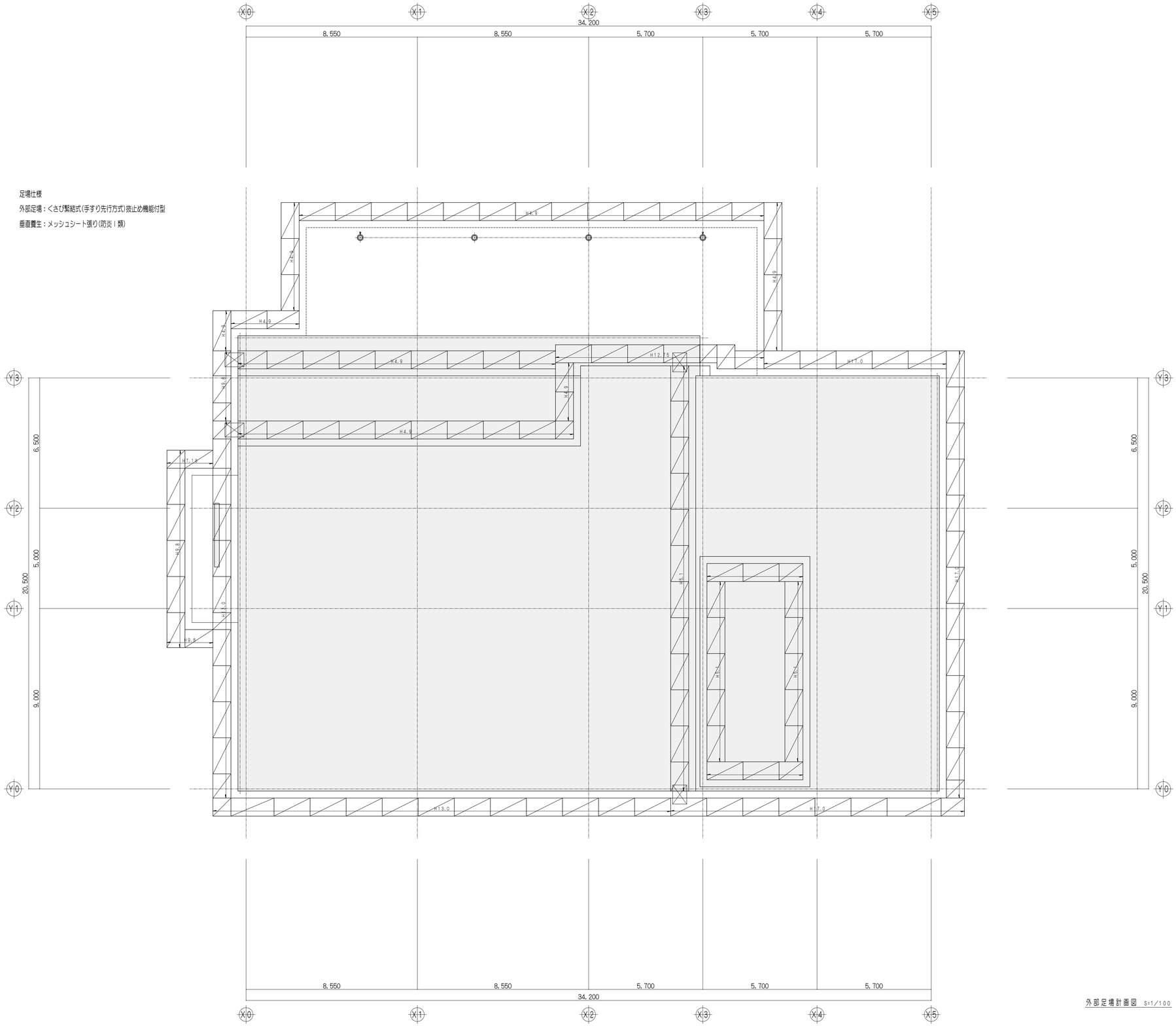
メッシュフェンス・扉詳細図 S=1/20

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. A-99
					変更年月日	図面名称 外構詳細図	Scale 1/20・10

足場仕様

外部足場：くさび緊結式(手すり先行方式)抜止め機能付型

垂直養生：メッシュシート張り(防炎Ⅰ類)



外部足場計画図 S=1/100

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 筑山市保健センター改修工事		No. A-100
				変更年月日	図面名称 外部足場計画図	Scale 1/100	

電気設備工事特記仕様書

1　工事概要

1.1　工事名　　狭山市保健センター改修工事
1.2　工事場所　　狭山市狭山台3丁目24番
1.3　工　期　　契　　約　　日　から　令和9年12月28日　まで
　　現場施工期間　　令和　　年　　月　　日　から　令和9年12月28日　まで
　　現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。
1.4　工事科目（○印の付いたものを適用する）

⊙　電灯設備	⊙　テレビ共同受信設備
⊙　動力設備	・　テレビ電波障害防除設備
・　電熱設備	・　監視カメラ設備
・　雷保護設備	・　駐車場管制設備
⊙　受変電設備	・　防犯、入退室管理設備
・　電力貯蔵設備	⊙　自動火災報知設備
・　発電設備	⊙　自動閉鎖設備
⊙　構内情報通信網設備	⊙　ガス漏れ火災警報設備
⊙　構内交換設備	⊙　電話配管設備
⊙　情報表示設備	・　中央監視制御設備
⊙　映像、音響設備	・　医療関係設備
⊙　拡声設備（非常放送設備）	・　昇降機設備
⊙　誘導支援、呼出し設備	

1.5　指定部分　　⊙ 無　　・有（　　工期：令和　　年　　月　　日）
1.6　主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
　1　専任期間の始期
　　請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間　・令和　　年　　月　　日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
　2　専任期間の終期
　　工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
　3　専任期間の中断
　　自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
1.7　建物概要
　　地上4階建　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造
1.8　工事概要
　　電気設備改修工事　一式
1.9　同時期発注の関連工事　　⊙ 建築工事　　⊙ 機械設備工事

2　工事仕様

2.1　共通仕様
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）、防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書及び監督員の指示に従い施工する。
　なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2.2　特記仕様（特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。）

項　目	特　記　事　項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくことができる。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
⑥ 監督員事務所	本工事で　・設ける（規模　　）　※設けない
⑦ 保　険	受注者は工事目的物及び工事材料について契約工期の期間中まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8　再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※　適用する（契約金額による）　・　適用しない
10　完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン　※　適用する　・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。
⑪ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事　・別途） （1）引渡しを要するもの　（　　） （2）買取処分をするもの　（　　） （3）再生資源化を図るもの（蛍光管　　） 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 （4）特別管理産業廃棄物　（　　） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

12　金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。
13　鍵	盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。
14　地中電線路	（1）管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 敷き均し土：良質土 管種別：硬質ビニル電線管（VE）／耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE）／波付硬質合成樹脂管（FEP）／ポリエチレン被覆鋼管（PLP） （2）地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。 （3）地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。
15　回路の種別行先の表示	ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。
16　電線の接続	湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。
17　電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。
18　接地工事	漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／色帯で区別する。
19　建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。
20　再生砂・再生砕石　再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、　・使用できる。　※使用できない。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
21　耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 （1）設計用水平地震力 機器の重量［kgf］に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設		⊙一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階屋上及び塔屋	機　　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機　　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備　考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤　・発電装置(防災用)・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・交換機　・火災報知器受信機　・中央監視装置　・太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
　2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
（2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

22　あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。
23　はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
24　改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 （1）内部足場　※ 脚立足場 （2）外部足場　※ A種(枠組足場)・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
25　墜落制止用器具（フルハーネス型）	※使用を要する　墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による ・使用を要しない

26　アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
27　その他	（1）施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 （2）本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 （3）本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 （4）本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 （5）特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 （6）改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 （7）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 （8）本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 （9）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 （10）工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 （11）工期中、翌月の月間工程表を前月の20日までに監督員に提出する。 （12）工期中、月毎の工事履行報告書を翌月7日までに監督員に提出する。 （13）資材・製造所等選定報告書の提出は要さない。 （14）検査を受けて使用すべき工事材料等は、監督員が指定するものとする。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3　工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する）

項　目	特　記　事　項
① 電灯設備	（1）配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートついては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 （2）照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 （3）照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS Ｃ 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 （4）分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 （5）継枠 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継枠を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継枠を必要としない。 （6）位置ボックスの省略 ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
② 動力設備	（1）動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 （2）電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3　雷保護設備	受雷部突針はＬＲ1とする。
④ 受変電設備	高圧引込　引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。（端末処理　・耐塩用　・一般用） 受電電圧　交流3相3線式　6.6kV　50Hz 柱上用高圧気中負荷開閉器(PAS)　定格電圧　7.2kV　定格電流　A 主遮断装置　定格電圧　kV　定格遮断電流　kA 変圧器設備容量　動力用　50kVA×1台／動力用　75kVA×1台／電灯用　100kVA×1台 高圧進相コンデンサ　20kVar×1台 直列リアクトル　・6％　・13％　20kVar×1台
⑤ 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6　電力貯蔵設備	・直流電源装置　・交流無停電電源装置 ・（概要）
7　発電設備	・ディーゼル発電装置　・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置　・マイクロガスタービン発電装置 ・燃料電池発電装置　・熱併給(ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ)発電装置 ・太陽光発電装置　・風力発電装置

項　目	特　記　事　項
⑧ 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
⑨ 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	（1）所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 （2）総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 （3）ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10　昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4　取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名　称	測　点	取付高さ（mm）	
		一　般	県営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	1,200
〃　（身体障害者用）	〃	1,100	1,000
〃　（人感センサー切換用）	〃	2,000	2,000
ｺﾝｾﾝﾄ、電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ、直列ﾕﾆｯﾄ（一般）	〃	300	400
〃　（和室）	〃	150	200
〃　（台上）	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床上～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	（上端1,900以下）1,500	（上端1,900以下）1,500
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900	900
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800	1,800
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000	2,000
端子盤	〃	（上端1,900以下）1,500	2,000

3　その他

3.1　他工事との取合区分
　発注図又は工事区分表による。
3.2　図面上の縮尺
　図面上の縮尺は、ＪＩＳ　Ａ1版とした縮尺とする。
3.3　疑義
　本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第1条　この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。
第2条　受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
　・種類及び処理量　　汚泥（油分を含む汚泥）　　．　m3
　・中間処理施設　　市　　地内、（株）
　・処理方法　　・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
　・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
2　受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
第3条　受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
2　受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
3　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
4　受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
第4条　受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
2　受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。
第5条　濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
2　受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
3　この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

第1条　この特記仕様書は、昇降機設備工事（新設、増設又は更新）において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」（平成28年2月19日付け国土交通省住宅局建築指導課）による。
第2条　この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。
2　昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。
3　発注者とは、本工事の発注者をいう。
4　受注者とは、本工事の受注者をいう。
5　製造者とは、昇降機の製造者をいう。
6　管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。
7　保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。
第3条　製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。
2　製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。
3　製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。
4　製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。
5　受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。
第4条　この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

工事範囲の主な既設機器メーカー

機器名称	既設機器メーカー名

官公庁等打ち合わせ機関
建築：
昇降機：
施設管理者：
電力会社：
電話会社：
ケーブルテレビ会社：
消防本部：

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8．1．30	狭山市保健センター改修工事	E-01
		変更年月日 R 7．00．00	図面名称 電気設備特記仕様書(1)　Scale NSCALE	

環境配慮（グリーン）改修工事

① アスベスト処理工事 一般共通事項

留意事項

1　本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2　アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3　この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）（以下「改修標仕」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和３年３月　厚生労働省・環境省）による。

2　アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査　[9.1.1]

・行う（下表による）

材　料　名	調査方法（１材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析

採取箇所　※　図示

分析対象

※ アスベスト ６ 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481　規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3　アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定　[9.1.1]

・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所　※ 図示

適用 レベル1	適用 レベル2	適用 レベル3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考
○	○	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	※各２点 ・各３点	
○	○	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	各２点	
○	・	・	測定４		セキュリティーゾーン入口	各１点	空気の流れを確認
○	・	・	測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各１点	除じん装置の性能確認
○	○	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
○	○	・	測定７	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	各２点（ﾚﾍﾞﾙ3は１点）	
○	○	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定９	処理作業後（シート撤去後１週間以降）	処理作業室内	各２点（ﾚﾍﾞﾙ3は１点）	
・	・	・	測定１０		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006　空気中の繊維状粒子測定方法－第１部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトン－トリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア　測定結果
イ　測定時間
ウ　測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ　サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ　マウンティング方法
カ　顕微鏡視野面積、計数視野数
キ　測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク　周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付材の撤去（レベル１）

アスベスト含有吹付け材の除去　[9.1.3]

・行う　除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　　・

5　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル２）

アスベスト含有保温材の除去　[9.1.4]

・行う

作業上の隔離

・行う
・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　　・

6　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル３）

1　アスベスト含有成形板の除去　[9.1.5]

・行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名（製品名）	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・		※　図示　　・
・		※　図示　　・
		※　図示　　・
		※　図示　　・

2　非石綿部での切断による除去

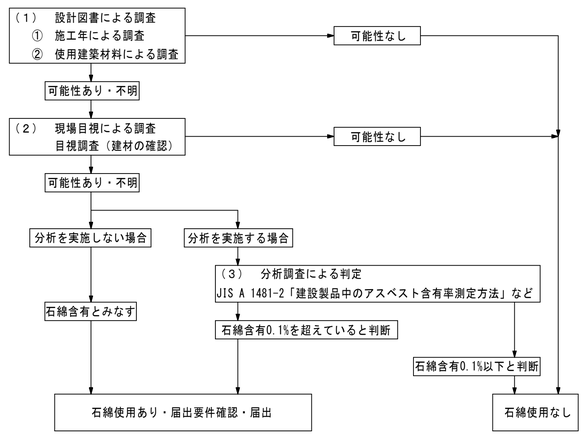
・行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材　料　名	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※　図示　　○撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※　図示　　○撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※　図示　　○撤去範囲すべて
		※　図示　　・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー



特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

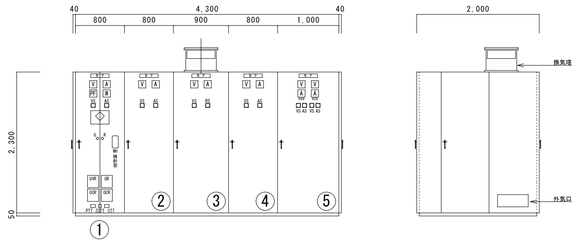
検印 齋藤出　設計 濱口

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日 R 7. 00. 00

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 電気設備特記仕様書(2)
Scale NOSCALE

No. E-02

改修前



①	高圧受電盤		(***)	(****kg)
②	レントゲン盤		(***)	(****kg)
③	一般電灯盤	No.＊	(***)	(****kg)
④	一般動力盤	No.＊	(***)	(****kg)
⑤	非常動力電灯盤	No.＊	(***)	(****kg)

凡　例

記号	名　称	備　考
PAS	高圧区分開閉器	
CH	ケーブルヘッド	
VCT	計器用変圧変流器	
DS	断路器	
PF	電力ヒューズ	
LA	避雷器	
VCB	真空遮断器	手動ﾊﾞﾈ操作
LBS	高圧気中負荷開閉器	
CT	計器用変流器	
VT	計器用変圧器	
ZCT	零相変流器	
CTT	電流試験用端子	
VTT	電圧試験用端子	
ZCTT	零相電流試験用端子	
V	電圧計	
A	電流計	
W	電力計	
COSφ	力率計	

記号	名　称	備　考
WH	電力量計	
VS	電圧計切替ｽｲｯﾁ	
AS	電流計切替ｽｲｯﾁ	
DGR	方向地絡継電器	
OCR	過電流継電器	
UVR	不足電圧継電器	
LGR	低圧地絡継電器	
T	変圧器	
C	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	
SR	直列ﾘｱｸﾄﾙ	
ZVD	零相電圧検出ｺﾝﾃﾞﾝｻ	
MCCB	配線用遮断器	
MC-DT	双投形電磁接触器	
MDA	電流計(ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ･電子式)	

電力会社より
3φ3W 6,000V 50Hz

CH
電源
POS
CH
ZCT 200A
AC100V
CH
VCT
Wh
DS×3 7.2KV 200A
PT×2 PF 6.6k/110V
KIP38sq-1C×3
F
VTT
VS
V 9000/150V
U<
(手動ﾊﾞﾈ操作) VCB 7.2kV 600A 12.5kA
CT×2 100/5A (20VA)
CTT
I> ×2
COSφ
W
AS
A

発電設備
85kVA 3φ****V
G

起動指令

2

LBS 7.2kV 100A PF C7.5A
C 3φ 20kVA (放電抵抗内蔵)

3

LBS 7.2kV 100A PF T15A **kA
TR 1 ▲ 1φ 50kVA (***型) 6600V/210-105V
IV100sq-1c×3
F VS 300V V
CTx2 300/5A 15VA
TH ▲ AS A 300/5A
▲一括 MCCB 3P

幹線番号	MCCB	容量	負荷容量	
幹線ｻｲｽﾞ	負荷名称			
X-1	MCCB	2P 100AF/100AT	50.00	
EM-CET100sq	X線電源			
	MCCB	2P 100AF/100AT		
	予備			
	MCCB	2P 100AF/100AT		
	予備			

4

LBS 7.2kV 100A PF T20A **kA
TR 2 ▲ 1φ 100kVA (***型) 6600V/210V-105V
cu5×50
F VS 300V V
CTx2 600/5A 15VA
TH ▲ AS A 600/5A
▲一括 MCCB 3P
27 ×1
27 ×2

I-1	MCCB	3P 225AF/150AT	31.00	
EM-CET60sq	1L			
I-2	MCCB	3P 100AF/100AT	21.00	
EM-CET38sq	2L			
I-3	MCCB	3P 225AF/150AT	22.00	
EM-CET60sq	3L			
I-4	MCCB	3P 100AF/100AT	10.00	
EM-CET38sq	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ電源			
I-5	MCCB	3P 100AF/ 40AT	2.50	
EM-CE8sq-3C	4L			
	MCCB	2P 100AF/ 20AT	1.00	
EEF2.0-3C	自家発ヒーター			
	MCCB	3P 100AF/ 50AT		
	ELCB	3P 225AF/150AT	39.00	
	非常電灯 No.2			
	ELCB	3P 225AF/150AT	11.00	
	非常電灯 No.1			

5

LBS 7.2kV 100A PF T15A **kA
TR 3 ▲ 3φ 75kVA (***型) 6600V/210V
IV100sq-1c×3
F VS 300V V
CTx2 400/5A
TH ▲ AS A 400/5A
▲一括 MCCB 3P
27 ×3

m-1	MCCB	3P 225AF/150AT	32.821	
EM-CET60sq	M-1			
m-2	MCCB	3P 100AF/ 50AT	5.50	
EM-CET14sq	ELV			
	MCCB	3P 100AF/ 50AT		
	予備			
	MCCB	3P 100AF/ 50AT		
	予備			
	MCCB	3P 100AF/ 50AT		
	予備			
	MCCB	3P 225AF/150AT	20.80	
	非常動力			

6

×MCCB 3P 225/175A
DT-MC 3P200A

mg-1	MCCB	3P 100AF/ 30AT	3.70	
FP-8sq	消火ﾎﾟﾝﾌﾟ			
mg-2	MCCB	3P 100AF/ 50AT	6.00	
FP-22sq	休日			
mg-3	MCCB	3P 100AF/ 75AT	7.40	
FP-8sq	M-1			
mg-4	MCCB	3P 100AF/ 50AT	3.70	
FP-8sq	M-3			

×MCCB 3P 225/175A
TR 5 ▲ スコット 50kVA 210/210-105V x2
DT-MC 3P200A
F VS 300V V
CTx2 150/5A 15VA
TH ▲ AS A 150/5A
DT-MC 3P200A
F VS 300V V
CTx2 150/5A 15VA
AS A 150/5A
▲一括 MCCB 3P
UVR+消火ﾎﾞﾝﾌﾟ起動+火報動作により、MCをOFF

lg-1	MCCB	3P 100AF/ 75AT	10.50	
EM-CET14sq	L-1,2,3,4			
	MCCB	3P 100AF/ 20AT		
	自家発充電用			
	MCCB	3P 100AF/ 20AT	0.50	
	所内電源			

lg-2	MCCB	3P 225AF/150AT	39.00	
EM-CET22sq	休日			

接地端子
E1,3 **
E2 **

※図中、×印は撤去を表す

特記事項

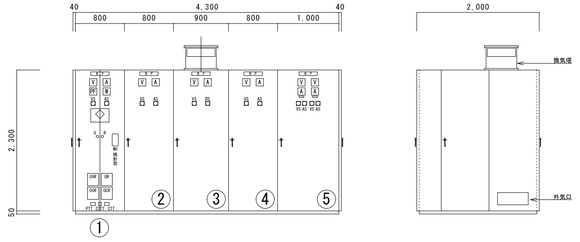
斉藤出建築設計室
一級建築士 第26081号 齋藤出

検印	設計
齋藤出	斎藤

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 受変電設備 単線結線図・参考姿図(改修前)
Scale NS
No. E-03

改修後

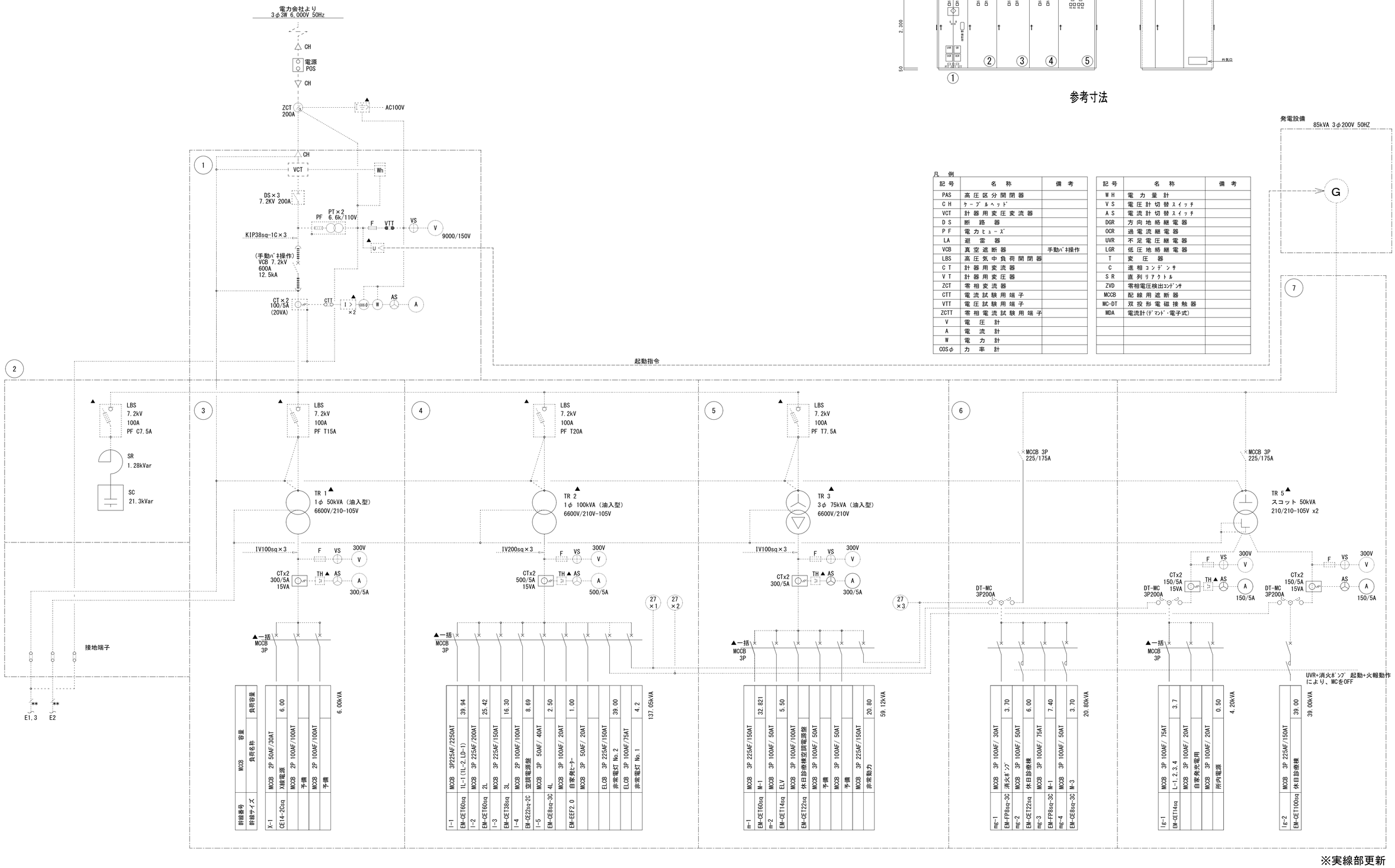


参考寸法

凡例

記号	名称	備考
PAS	高圧区分開閉器	
CH	ケーブルヘッド	
VCT	計器用変圧変流器	
DS	断路器	
PF	電力ヒューズ	
LA	避雷器	
VCB	真空遮断器	手動ﾊﾞﾈ操作
LBS	高圧気中負荷開閉器	
CT	計器用変流器	
VT	計器用変圧器	
ZCT	零相変流器	
CTT	電流試験用端子	
VTT	電圧試験用端子	
ZCTT	零相電流試験用端子	
V	電圧計	
A	電流計	
W	電力計	
COSφ	力率計	

記号	名称	備考
WH	電力量計	
VS	電圧計切替ｽｲｯﾁ	
AS	電流計切替ｽｲｯﾁ	
DGR	方向地絡継電器	
OCR	過電流継電器	
UVR	不足電圧継電器	
LGR	低圧地絡継電器	
T	変圧器	
C	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	
SR	直列ﾘｱｸﾄﾙ	
ZVD	零相電圧検出ｺﾝﾃﾞﾝｻ	
MCCB	配線用遮断器	
MC-DT	双投形電磁接触器	
MDA	電流計(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・電子式)	



※実線部更新

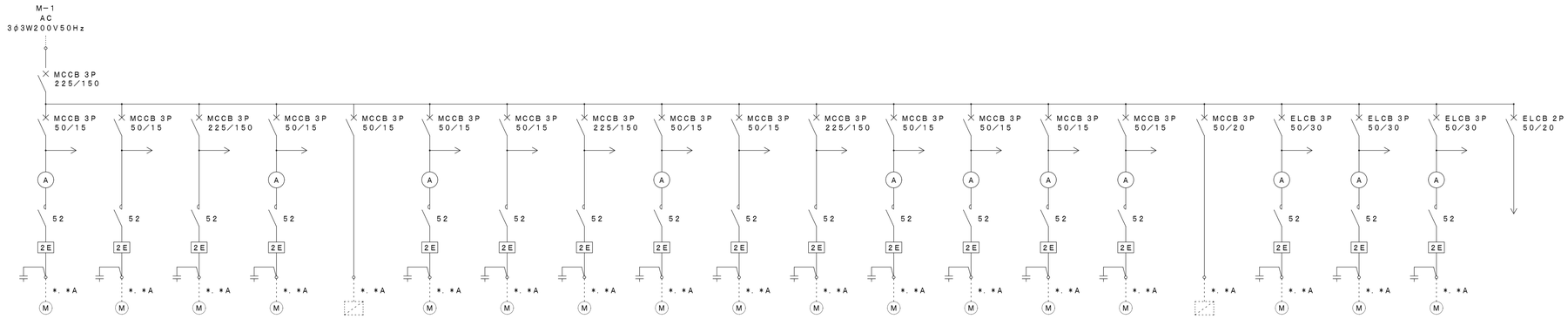
特記事項		検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
	斉藤出建築設計室	齋藤出	滝口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-04
	一級建築士 第326081号 齋藤出			変更年月日	図面名称 受変電設備 単線結線図・参考姿図(改修後) Scale NS	

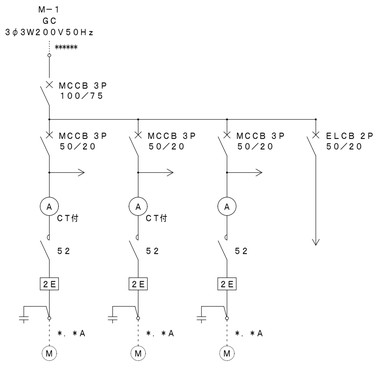
改修前

動力制御盤　単線結線図

M-1

制御盤名称		M－1	
キャビネット形式		V	
電気方式	種別	常用	自家発
	相数	3φ3W	3φ3W
	電圧 V	200	200
幹線番号		L回路	G回路
負荷容量		32．821KW	7．4KW
運転電流		＊＊＊．＊A	＊＊＊．＊A
受変電低圧盤主幹		MCCB3P＊＊＊/＊＊＊	MCCB3P＊＊＊/＊＊＊





回路番号	◇1	◇2	◇3	◇4	◇5	◇6	◇7	◇8	◇9	◇10	◇11	◇12	◇13	◇14	◇15	◇16	◇17	◇18	◇19	
負荷記号	AC－1	AC－1	AC－1	OGP－1		AC－2	AC－2	AC－2	AC－3	AC－3	AC－3	FE－2	FS－3	FE－5	FE－4					
負荷名称	送風機	ロールフィルター	加湿器(1φ200)	オイルギヤポンプ	パッケージ	送風機	ロールフィルター	加湿器(1φ200)	送風機	ロールフィルター	加湿器(1φ200)	排風機(便所)	排風機(湯沸)	排風機(栄養指導実験室)	排風機(中間局用)	冷温水発生機	冷温水ポンプ	冷却水ポンプ	冷却塔	制御用電源
負荷容量	2．20KW	0．20KW	107．0KW	0．40KW	2．60KW	2．20KW	0．2KW	107．0KW	3．70KW	0．20KW	107．0KW	0．45KW	0．45KW	0．45KW	0．45KW	3．00KW	5．50KW	7．50KW	3．00KW	
単位装置 始動方式				L		L			L			L	L	L						
単位装置 操作・制御方式	1	3	3	2－1		1	3	3	1	3	3	1	1	2－1	1		3	3	3	
単位装置 操作・制御スイッチ	B	I	I	F2		B	I	I	B	I	I	B	B	B	B		I	I	I	
連動																				
自火報停止信号による停止機能																				

回路番号	◇20	◇21	◇22	◇23
負荷記号				
負荷名称	排風機(電気機械室)	送風機(厨房)	送風機(自家発用)	制御用電源
負荷容量	1．50KW	2．20KW	3．70KW	
単位装置 始動方式	L	L	L	
単位装置 操作・制御方式	3	3	3	
単位装置 操作・制御スイッチ	I	I	I	
連動				
自火報停止信号による停止機能				

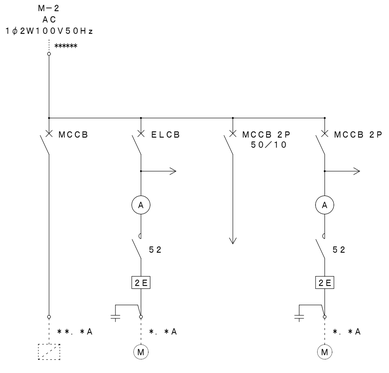
(特記)
※ WH 電力量計取付スペース

※図中，×印箇所は離線

動力制御盤　単線結線図

M－2

制御盤名称		M－2	
キャビネット形式		w	
電気方式	種別	常用	自家発
	相数	1φ2W	
	電圧 V	100	
幹線番号		L回路	
負荷容量		401W	
運転電流		＊＊＊．＊A	
受変電低圧盤主幹		MCCB3P＊＊＊/＊＊＊	



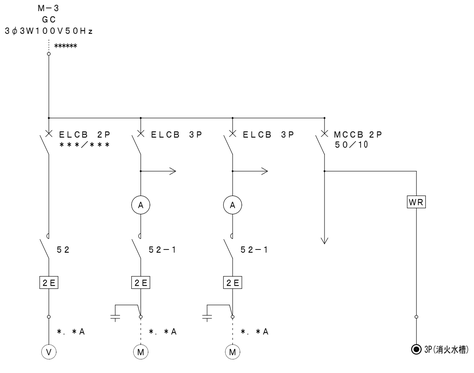
回路番号	◇1	◇2		◇3
負荷記号	B－1			
負荷名称	ボイラー	給湯循環ポンプ	制御用電源	換気扇
負荷容量	125W	250W		26W
単位装置 始動方式		L		L
単位装置 操作・制御方式		3		3
単位装置 操作・制御スイッチ		I		I
連動				
自火報停止信号による停止機能				

(特記)
※ WH 電力量計取付スペース

動力制御盤　単線結線図

M－3

制御盤名称		M－3	
キャビネット形式		w	
電気方式	種別	常用	自家発
	相数		3φ3W
	電圧 V		200
幹線番号			G回路
負荷容量			3．7KW
運転電流			＊＊＊．＊A
受変電低圧盤主幹			MCCB3P＊＊＊/＊＊＊



回路番号	◇1	◇2	◇3	
負荷記号	4－1			
負荷名称	電磁弁(給水)	揚水ポンプ		制御用電源
負荷容量	5W	3．70KW	3．70KW	
単位装置 始動方式	L	L	L	
単位装置 操作・制御方式	4－1	9		
単位装置 操作・制御スイッチ	G	G4		
連動				
自火報停止信号による停止機能				

(特記)
※ WH 電力量計取付スペース

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出　設計 濱口

設計年月日 R 8．1．30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 動力制御盤(改修前)　Scale NS

No. E-05

改修前

幹線図

l-1	m-1
60□ 31KVA 1L	60□ 32KW M-1
l-2	m-2
38□ 21KVA 2L	14□ 5.5KW ELV
l-3	m-3
60□ 22KVA 3L	CV8□-3C 屋外 3.7KW M-3
l-1	mg-1
38□ コンピューター用	CV8□-3C 屋外 3.7KW 消火ポンプ
lg-1	mg-2
14□ 14□ 14□ 14□ 0.5KVA 4L 3KVA 3L 2.5KVA 2L 4.5KVA 1L	CV22□-3C 屋外 6KW 休日診療センター
lg-2	mg-3
CV100□-3C 屋外 休日診療センター	8□ 7.4KW M-1
lg-5	x-1
8□ 2.5KVA 4L	100□ S レントゲン

凡例

記号	名称	摘要
動力設備		
	動力操作盤	
	電灯分電盤	
S	手元開閉器	鉄函入
電灯設備		
	照明器具（蛍光灯）	AC （天井）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 〃 ）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 壁 ）
	〃 （ 〃 ）	〃 （天井）
	〃 （白熱灯）	〃 （ 〃 ）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 壁 ）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 〃 ）
	〃 （水銀灯）	〃 （天井）
	〃 （蛍光灯）	AC or GAC （天井）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 〃 ）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 〃 ）
	〃 （白熱灯）	〃 （ 〃 ）
	〃 （蛍光灯）	非常照明 内蔵型（天井）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 〃 ）
	〃 （白熱灯）	〃 （ 〃 ）
	〃 （蛍光灯）	非常照明 内蔵型（天井）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 〃 ）
	〃 （白熱灯）	〃 （ 〃 ）
	〃 （蛍光灯）	非常照明 内蔵型（天井）
	〃 （ 〃 ）	〃 （ 〃 ）
	〃 （ 〃 ）	避難口 通路誘導灯
	〃 （ 〃 ）	
	タンプラスイッチ 1P10A×1	新プレート
2	〃 1P10A×2	〃
n	〃 1P10A×N	〃
2P	〃 1P10A×1・2P10A×1	〃
L	〃 1P10A×1PL	〃
3	〃 3路	〃
3	〃 1P10A×1・3路	〃
	〃 1P10A×1	ワイドタッチスイッチ
	埋込コンセント 2P15A×2□	新プレート
E	〃 2P15A×2・E端子付	〃
20AE	〃 3P20A	〃
30A	〃 3P30A	〃
E	〃 2P15A×2・E付	〃
	〃 〃	フロアーコンセント（水平調整付）
E	〃 2P15A×1・E付	フロアーコンセント（水平調整付）
A	自動点滅器	埋込型3A（公団型）
A	同上切替スイッチ	手断＊（公団型）
電話設備		
ＮＤＦ	本配線盤	別図参照
	電話受口 （壁）	
T	〃 （電話機）	
T	〃 （電話機）（床）	

記号	名称	摘要
放送設備		
	端子盤	卓上型
AMP	増幅器	別図参照
MC	マイクジャック （ 壁 ）	
MC	〃 （ 床 ）	
	スピーカー （天井）	
	〃 （ 〃 ）	
	音量調整器	
AC	アンプジャック （ 壁 ）	
CR	アンプ用コンセント （ 〃 ）	カットリレー付
SC	スピーカージャック （ 〃 ）	
	トランペットスピーカー	
電気時計設備		
	親時計	別図参照
	子時計	
インターホン設備		
t	親機	
t	子機 （ 壁 ）	
t	〃 （天井）	
TV	テレビ受口	
VTR	ビデオ装置	
	アンテナ	
	警報盤	20窓
N	押ボタン	
	復旧ボタン	
	表示ランプ	
	シャンクションボックス	
FC	〃	ファンコイル用
F	〃	ダクトファン用
	プルボックス	
	配管配線	隠蔽配管
	〃	床配管
	ケーブル配線	
	配管配線	

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

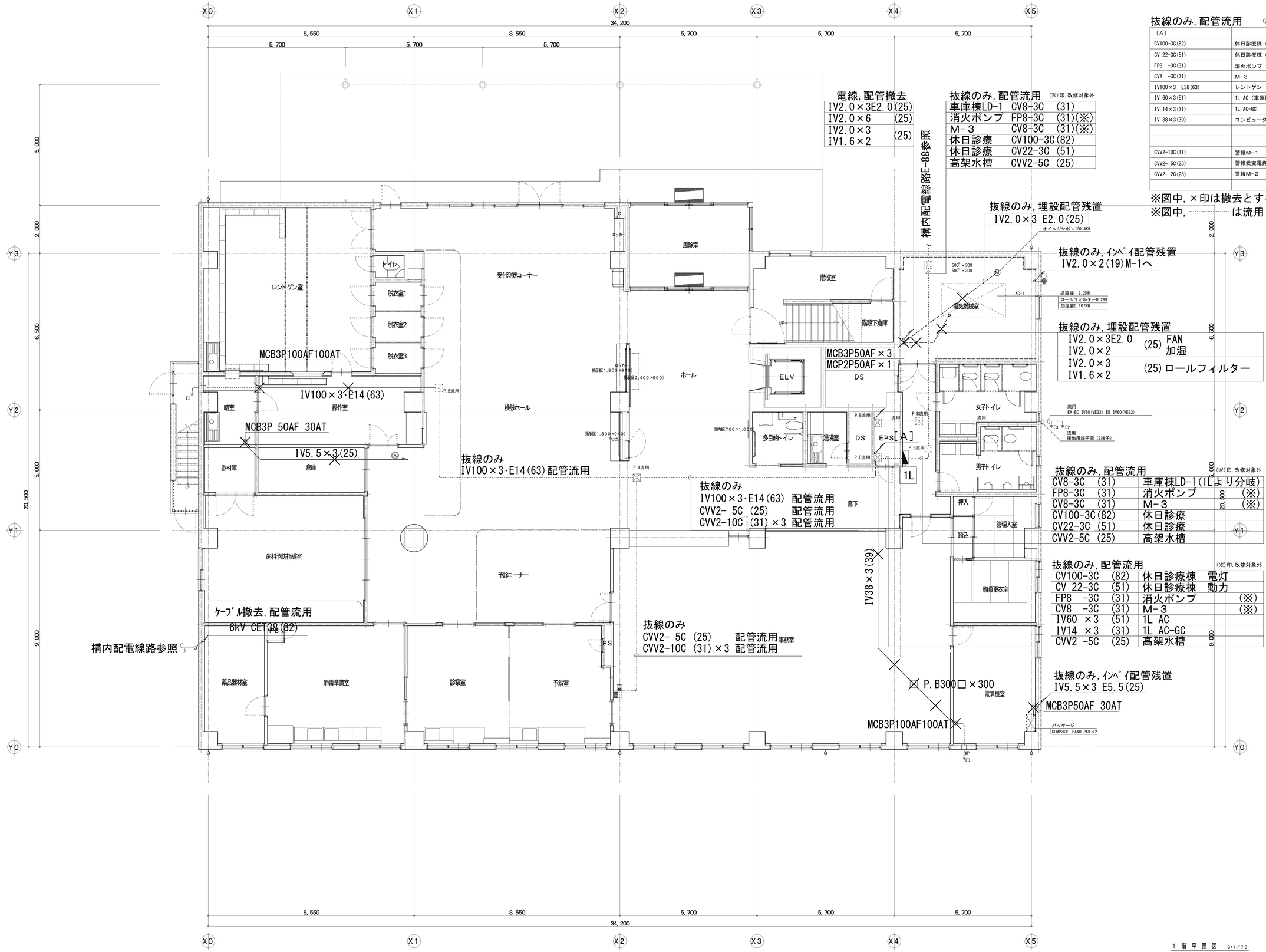
検印 齋藤出 設計 濱口

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 幹線動力設備 系統図・凡例(改修前) Scale NS

No. E-06

改修前



1階平面図 S=1/75

特記事項		検印	設計	設計年月日 R8.1.30	工事名称 狭山市保健センター改修工事
斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出		齋藤出	濱口	変更年月日	図面名称 幹線動力設備 1階平面図(改修前) Scale 1/75
					No. E-07

改修前

X0 X1 X2 X3 X4 X5

34,200

8,550 / 8,550 / 5,700 / 5,700 / 5,700

5,700 / 5,700 / 5,700

Y3 Y2 Y1 Y0

5,000 / 2,000 / 6,500 / 5,000 / 20,500 / 9,000

屋上

シャワー室 / 脱衣室 / 男子更衣室 / 女子更衣室 / 静養室 / PS / DN / UP

機能回復訓練室

廊下

電線,配管撤去
IV2.0×3E2.0(25)
IV2.0×6 (25)
IV2.0×3
IV1.6×2 (25)

電線,配管撤去
IV2.0×3E2.0(25)
IV2.0×6 (25)×2
IV2.0×3
IV1.6×2 (25)×2

電線,配管撤去
IV2.0×3 E2.0
IV2.0×2 (25) FAN 加湿
IV2.0×3
IV1.6×2 (25) ロールフィルター

抜線のみ,ｲﾝﾍﾟｲ配管残置
IV2.0×2(19)

抜線のみ,ｲﾝﾍﾟｲ配管残置
IV2.0×2(19)

抜線のみ,埋設配管残置
IV2.0×3E2.0
IV2.0×2 (25) FAN 加湿
IV2.0×3
IV1.6×2 (25) ロールフィルター

DN / 階段室 / UP / 換気機械室 / P.B200□×200

MCB3P50AF×2
MCB2P50AF×1
DS / ELV / ホール

多目的ﾄｲﾚ / 湯沸室 / DS / EPS [B] / P.B流用 / 2L / [A] / 廊下

女子ﾄｲﾚ / 男子ﾄｲﾚ

抜線のみ,配管流用
IV38×3 E5.5(51)
IV14×6 (39)

倉庫 / PS / 検査室B / 検診室

尿検査室 / 廊下 / 検査室A

抜線のみ,ｲﾝﾍﾟｲ配管残置
IV5.5×3 E5.5(25)

抜線のみ,ｲﾝﾍﾟｲ配管残置
IV5.5×3 E5.5(25)

ｹｰﾌﾞﾙ撤去,配管流用
6kV CET38(82)

P.B流用 / 栄養準備研究室

ｹｰﾌﾞﾙ撤去,配管流用
6kV CET38(82)

栄養指導実習室 / 幼児遊び場 / 成人病診察室

抜線のみ,配管流用 (※)印,改修対象外

[B]	
CV100-3C(82)	休日診療棟（既設）電灯
CV 22-3C(51)	休日診療棟（既設）動力
FP8 -3C(31)	消火ポンプ (※)
CV8 -3C(31)	M-3 (※)
IV100×3 E38(63)	レントゲン
IV 60×3(51)	1L AC（車庫棟に分岐）
IV 38×3(39)	2L AC
IV 14×3(31)	1L AC-GC
IV 38×3(39)	コンピューター
CVV2-10C(31)	警報M-1
CVV2- 5C(25)	警報受変電発電機
CVV2- 2C(25)	警報M-2

※図中,×印は撤去とする。
※図中,…… は流用とする。

2 階 平 面 図 S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. E-08
					変更年月日	図面名称 幹線動力設備 2階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前

抜線のみ，配管流用　（※）印，改修対象外

［C］	
CV100-3C(82)	休日診療棟（既設）電灯
CV 22-3C(51)	休日診療棟（既設）動力
FP8 -3C(31)	消火ポンプ （※）
CV8 -3C(31)	M-3 （※）
IV100×3 E38(63)	レントゲン
IV 60×3(51)	1L AC
IV 38×3(39)	2L AC
IV 60×3(51)	3L AC
IV 14×3(31)	1L 2L 3L AC-GC
IV 38×3(39)	コンピューター
CVV2-10C(31)	警報M-1
CVV2- 5C(25)	警報受変電発電機
CVV2 -2C(25)	警報M-2

※図中，×印は撤去とする。
※図中，…… は流用とする。

X0 X1 X2 X3 X4 X5
34,200
8,550 8,550 5,700 5,700 5,700
5,700 5,700 5,700

Y3 Y2 Y1 Y0
5,000 2,000 6,500 5,000 20,500 9,000

屋上

薬事実験指導室　薬事相談室　講師控室　健康相談室　母子相談室

廊下

ホール

階段室　UP　DN

P.B200□×200

ELV

MCB3P50AF×2
MCB2P50AF×1
DS

物入　湯沸室　DS　EPS　［C］　P.B流用　［B］　3L

女子トイレ　男子トイレ

倉庫

PS

DN

ケーブル撤去，配管流用
6kV CET38(82)

P.B流用

会議室C　記録保存室　集団指導室　運動指導室　会議室B　会議室A

抜線のみ，埋設配管残置

IV2.0×3E2.0	(25)	FAN
IV2.0×2		加湿
IV2.0×3 IV1.6×2	(25)	ロールフィルター

抜線のみ，ｲﾝﾍﾟｲ配管残置
IV2.0×2(19)

抜線のみ，ｲﾝﾍﾟｲ配管残置
IV2.0×2(19)

AC-3
FAN 3.7KW
ロールフィルター 0.2KW
加湿 0.107KW

電線，配管撤去

IV2.0×3 E2.0(25)		
IV2.0×6	(25)	×2
IV2.0×3 IV1.6×2	(25)	×2

電線，配管撤去

IV2.0×3 E2.0(25)		
IV2.0×6	(25)	×3
IV2.0×3 IV1.6×2	(25)	×3

抜線のみ，配管流用

IV60×3 E5.5(51)		
IV14×6	(39)	

抜線のみ，配管流用

IV150×3 E38	(75)	
IV2.0×2 充電	(25)	
CVV2 -2C 起動	(39)	
CVV2 -2C 確立	(39)	
CVV2 -2C 警報	(39)	

IV5.5×3 E5.5(25)

抜線のみ，ｲﾝﾍﾟｲ配管残置
IV5.5×3 E5.5(25)

3階平面図　S=1/75

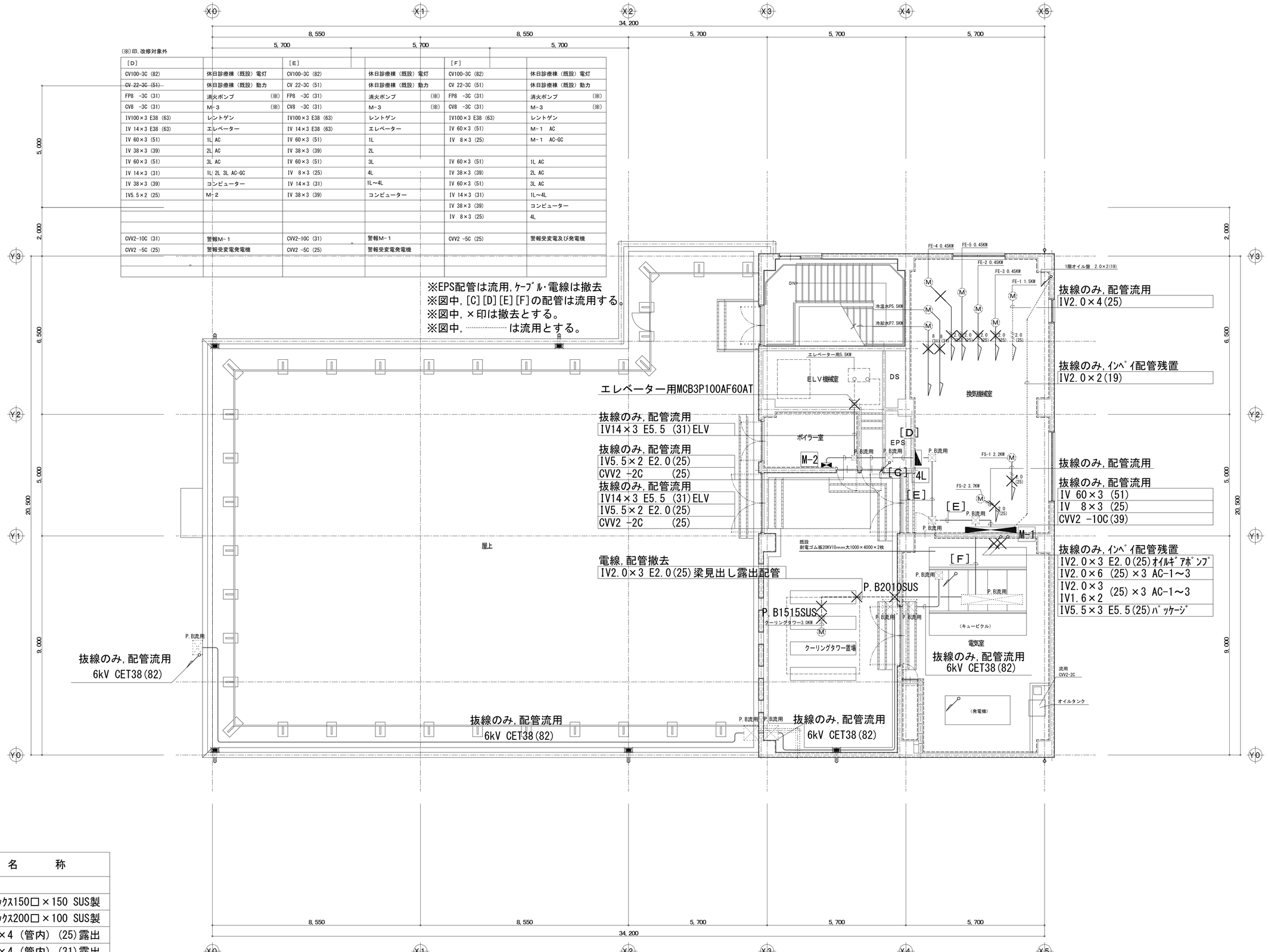
特記事項		検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
	斉藤出建築設計室	齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-09
	一級建築士 第326081号 齋藤出			変更年月日	図面名称 幹線動力設備 3階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前

(※)印, 改修対象外

[D]		[E]		[F]	
CV100-3C (82)	休日診療棟（既設）電灯	CV100-3C (82)	休日診療棟（既設）電灯	CV100-3C (82)	休日診療棟（既設）電灯
~~CV 22-3C (51)~~	休日診療棟（既設）動力	CV 22-3C (51)	休日診療棟（既設）動力	CV 22-3C (51)	休日診療棟（既設）動力
FP8 -3C (31)	消火ポンプ (※)	FP8 -3C (31)	消火ポンプ (※)	FP8 -3C (31)	消火ポンプ (※)
CV8 -3C (31)	M-3 (※)	CV8 -3C (31)	M-3 (※)	CV8 -3C (31)	M-3 (※)
IV100×3 E38 (63)	レントゲン	IV100×3 E38 (63)	レントゲン	IV100×3 E38 (63)	レントゲン
IV 14×3 E38 (63)	エレベーター	IV 14×3 E38 (63)	エレベーター	IV 60×3 (51)	M-1 AC
IV 60×3 (51)	1L AC	IV 60×3 (51)	1L	IV 8×3 (25)	M-1 AC-GC
IV 38×3 (39)	2L AC	IV 38×3 (39)	2L		
IV 60×3 (51)	3L AC	IV 60×3 (51)	3L	IV 60×3 (51)	1L AC
IV 14×3 (31)	1L 2L 3L AC-GC	IV 8×3 (25)	4L	IV 38×3 (39)	2L AC
IV 38×3 (39)	コンピューター	IV 14×3 (31)	1L~4L	IV 60×3 (51)	3L AC
IV5.5×2 (25)	M-2	IV 38×3 (39)	コンピューター	IV 14×3 (31)	1L~4L
				IV 38×3 (39)	コンピューター
				IV 8×3 (25)	4L
CVV2-10C (31)	警報M-1	CVV2-10C (31)	警報M-1	CVV2 -5C (25)	警報受変電及び発電機
CVV2 -5C (25)	警報受変電発電機	CVV2 -5C (25)	警報受変電発電機		

※EPS配管は流用, ｹｰﾌﾞﾙ･電線は撤去
※図中, [C] [D] [E] [F]の配管は流用する。
※図中, × 印は撤去とする。
※図中, ┈┈┈ は流用とする。



凡 例

記 号	名 称
☒P.B1515S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ150□×150 SUS製
☒P.B2010S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ200□×100 SUS製
2.0(25)	IV2.0×4 (管内) (25)露出
8(31)	IV8 ×4 (管内) (31)露出
----------	打込配管を表す

4 階 平 面 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印 齋藤出 設計 濱口

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 幹線動力設備 4階平面図(改修前) Scale 1/75

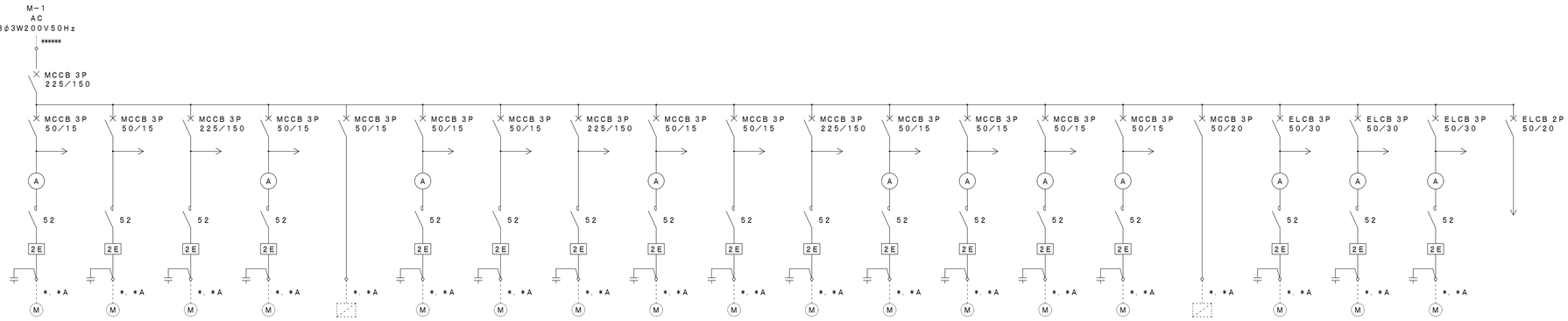
No. E-10

改修後

動力制御盤　単線結線図

M-1

制御盤名称		M－1	
キャビネット形式		V	
電気方式	種別	常用	自家発
	相数	3φ3W	3φ3W
	電圧 V	200	200
幹線番号		L回路	G回路
負荷容量		32．821KW	7．4KW
運転電流		＊＊＊．＊A	＊＊＊．＊A
受変電低圧盤主幹		MCCB3P＊＊＊/＊＊＊	MCCB3P＊＊＊/＊＊＊



回路番号	◇1	◇2	◇3	◇4	◇5	◇6	◇7	◇8	◇9	◇10	◇11	◇12	◇13	◇14	◇15	◇16	◇17	◇18	◇19	
負荷記号				OGP－1								FE－2	FS－3	FE－5						
負荷名称	予備	予備	予備	オイルギヤポンプ	予備	予備	予備	予備	予備	予備	予備	排風機(便所)	排風機(湯沸)	排風機(栄養指導実験室)	予備	予備	予備	予備	予備	制御用電源
負荷容量				0．40KW								0．45KW	0．45KW	0．45KW						
単位装置 始動方式				L								L	L	L						
単位装置 操作・制御方式				2－1								1	1	2－1						
単位装置 操作・制御スイッチ				F2								B	B	B						
連動																				
自火報停止信号による停止機能																				

◇20	◇21	◇22	◇23
排風機(電気機械室)	送風機(厨房)	送風機(自家発用)	制御用電源
1．50KW	2．20KW	3．70KW	
L	L	L	
3	3	3	
I	I	I	

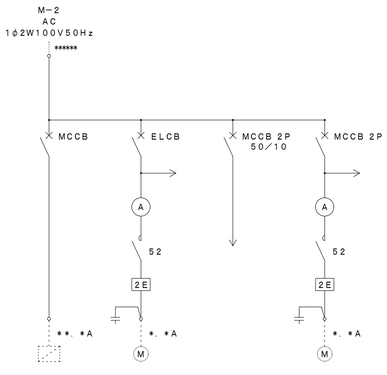
(特記)
※ WH 電力量計取付スペース

※図中，離線個所の名称を予備とする

動力制御盤　単線結線図

M－2

制御盤名称		M－2	
キャビネット形式		w	
電気方式	種別	常用	自家発
	相数	1φ2W	
	電圧 V	100	
幹線番号		L回路	
負荷容量		401W	
運転電流		＊＊＊．＊A	
受変電低圧盤主幹		MCCB3P＊＊＊/＊＊＊	



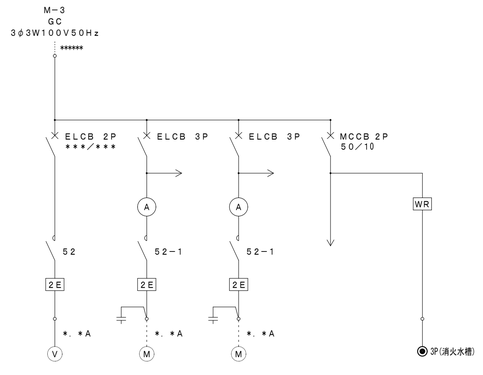
回路番号	◇1	◇2		◇3
負荷記号	B－1			
負荷名称	ボイラー	給湯循環ポンプ	制御用電源	換気扇
負荷容量	125W	250W		26W
単位装置 始動方式		L		L
単位装置 操作・制御方式		3		3
単位装置 操作・制御スイッチ		I		I
連動				
自火報停止信号による停止機能				

(特記)
※ WH 電力量計取付スペース

動力制御盤　単線結線図

M－3

制御盤名称		M－3	
キャビネット形式		w	
電気方式	種別	常用	自家発
	相数		3φ3W
	電圧 V		200
幹線番号			G回路
負荷容量			3．7KW
運転電流			＊＊＊．＊A
受変電低圧盤主幹			MCCB3P＊＊＊/＊＊＊



回路番号	◇1	◇2	◇3	
負荷記号	4－1			
負荷名称	電磁弁(給水)	揚水ポンプ		制御用電源
負荷容量	5W	3．70KW	3．70KW	
単位装置 始動方式	L	L	L	
単位装置 操作・制御方式	4－1	9		
単位装置 操作・制御スイッチ	G	G4		
連動				
自火報停止信号による停止機能				

(特記)
※ WH 電力量計取付スペース

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

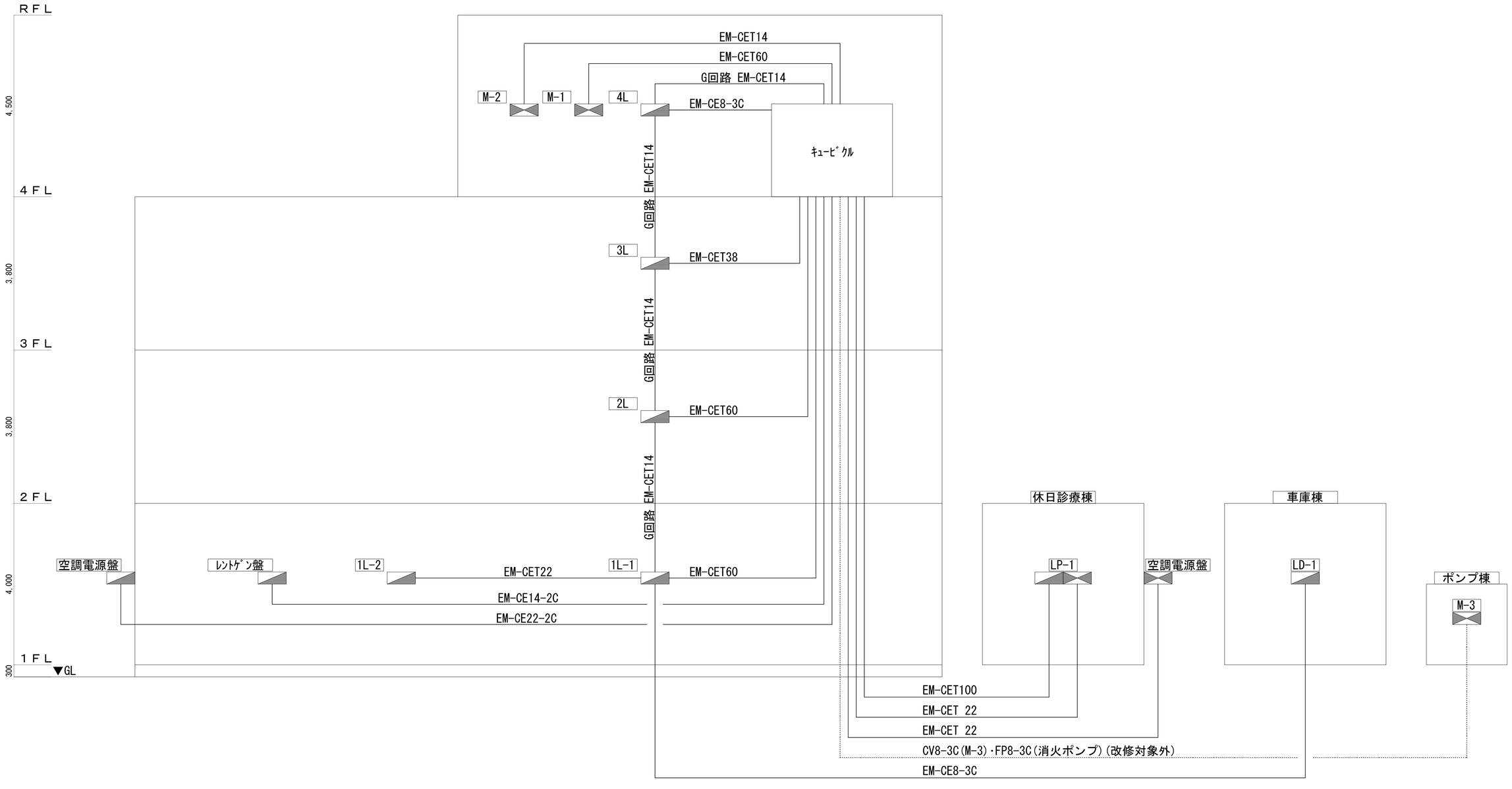
検印 齋藤出　設計 濱口

設計年月日 R 8．1．30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 動力制御盤(改修後)　Scale NS

No. E-11

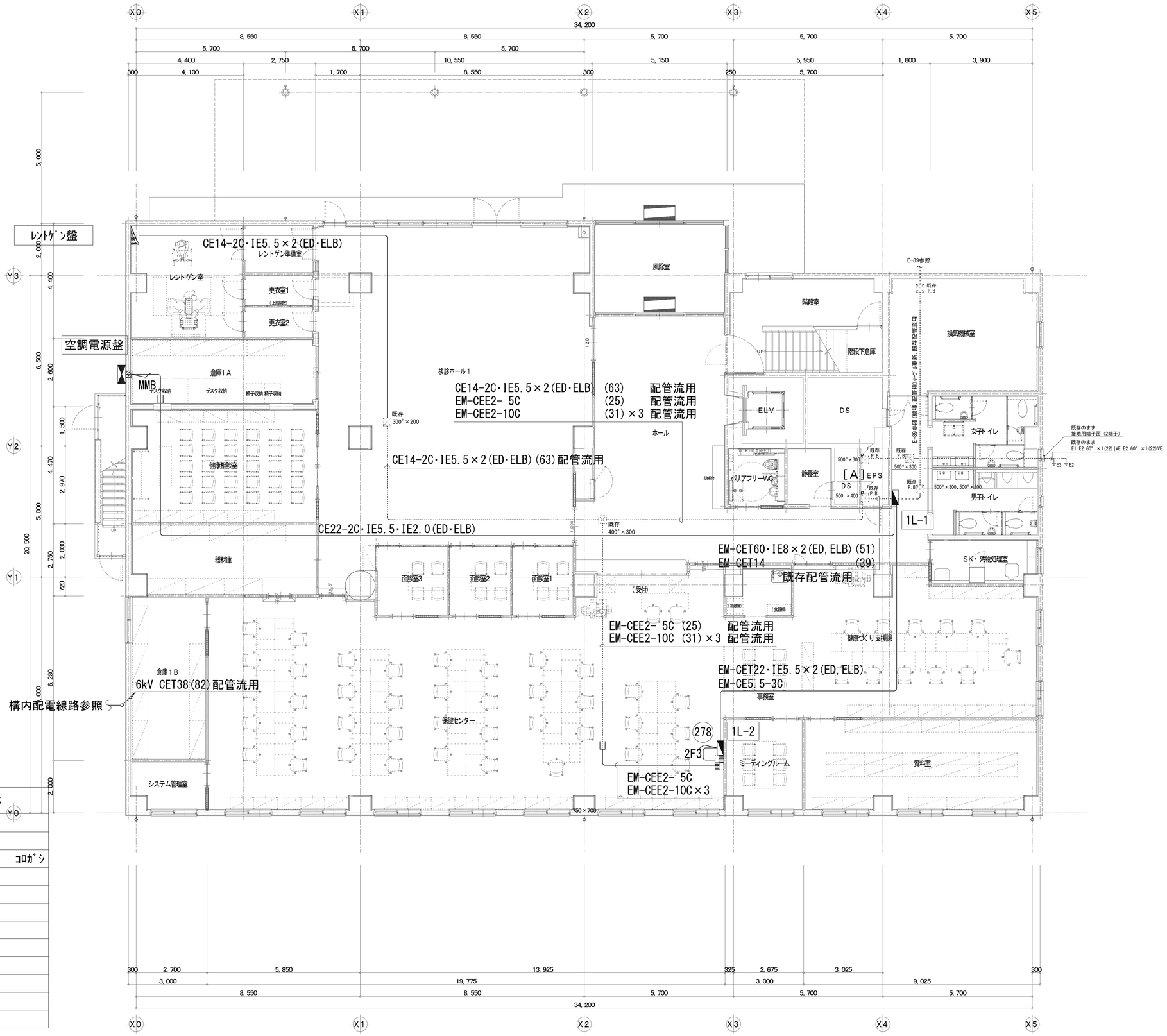
改修後



※参考図

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30. / 変更年月日 R 7. 00. 00.	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 幹線動力設備 系統図(改修後)	Scale 1/75	No. E-12

改修後



(※)印, 改修対象外

[A]	
EM-CET100 (82)既存配管流用	休日診療棟 (既設) 電灯
EM-CET22 (51)既存配管流用	休日診療棟 (既設) 動力
FP8-3C (31)	消火ポンプ (※)
CE8-3C (31)	M-3 (※)
EM-CE14-2C(63)既存配管流用	レントゲン
EM-CE22-2C(39)既存配管流用	空調電源盤
EM-CET60 (51)既存配管流用	1L AC
EM-CET14 (39)既存配管流用	1L～2L AC-GC
EM-CEE2- 5C(25)既存配管流用	警報受変電及び発電機
EM-CEE2-10C(31)既存配管流用	警報M-1
EM-IE14×2(ED,ELB)(63)	レントゲン管路と配管共用

※ED-ELBは1階～4階まで幹線を張り, 各盤まで幹線より分岐すること。

凡 例

記 号	名 称
	φ50-250L 穴空け
2F3	EM-EEF2.0-3C コロガシ
MMB	メタルモールB型
	コロガシ配線を表す
	既設を表す

1 階 平 面 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

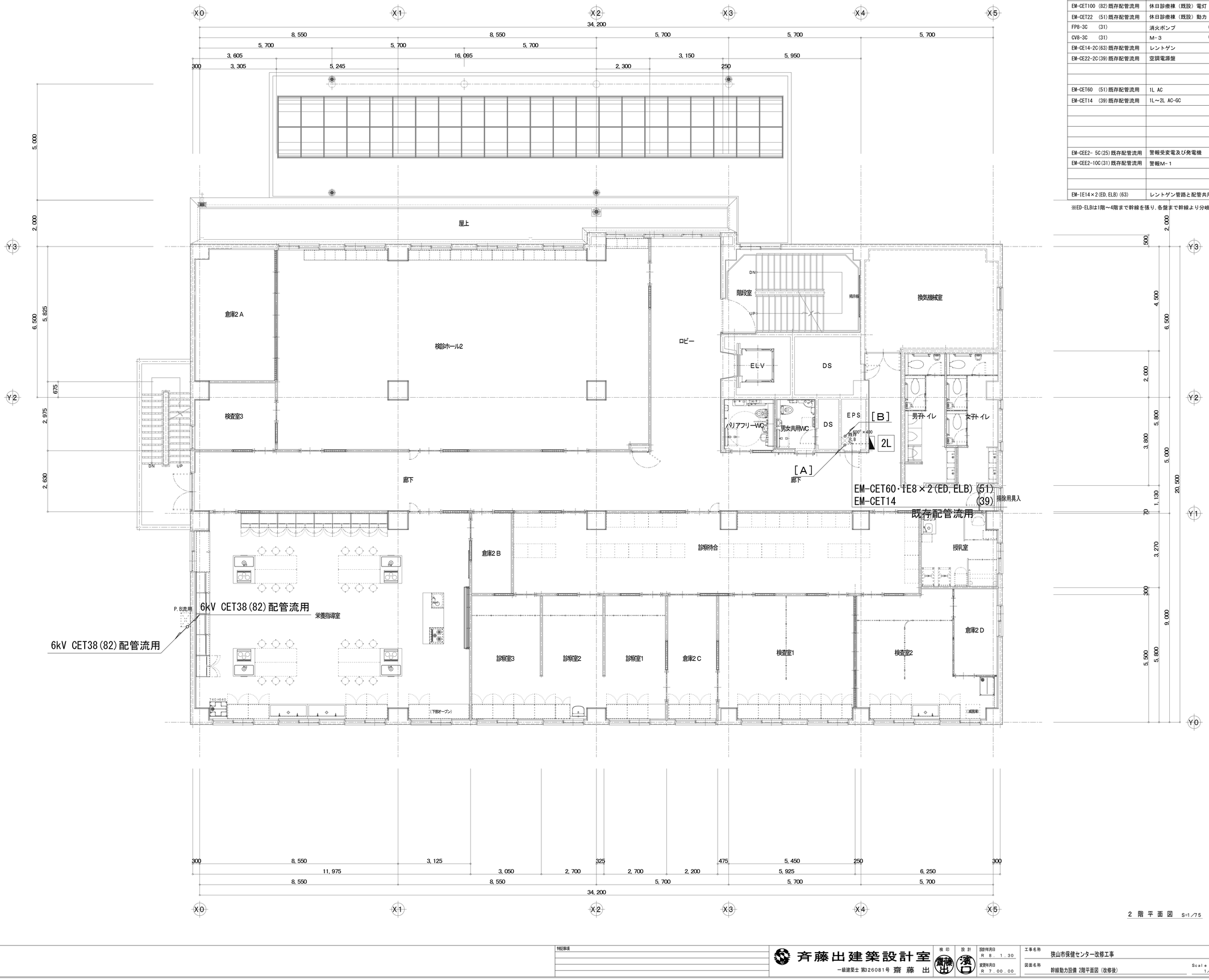
検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-13
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 幹線動力設備 1階平面図(改修後) Scale 1/75	

改修後

(※)印,改修対象外

[A]	
EM-CET100 (82)既存配管流用	休日診療棟 (既設) 電灯
EM-CET22 (51)既存配管流用	休日診療棟 (既設) 動力
FP8-3C (31)	消火ポンプ (※)
CV8-3C (31)	M-3 (※)
EM-CE14-2C(63)既存配管流用	レントゲン
EM-CE22-2C(39)既存配管流用	空調電源盤
EM-CET60 (51)既存配管流用	1L AC
EM-CET14 (39)既存配管流用	1L～2L AC-GC
EM-CEE2- 5C(25)既存配管流用	警報受変電及び発電機
EM-CEE2-10C(31)既存配管流用	警報M-1
EM-IE14×2(ED,ELB)(63)	レントゲン管路と配管共用

※ED･ELBは1階～4階まで幹線を張り,各盤まで幹線より分岐すること。



2 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印	設 計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No. E-14
				変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称	幹線動力設備 2階平面図 (改修後)	Scale 1/75

改修後

※印，改修対象外

[B]	
EM-CET100 (82)既存配管流用	休日診療棟（既設）電灯
EM-CET22 (51)既存配管流用	休日診療棟（既設）動力
FP8-3C (31)	消火ポンプ (※)
CV8-3C (31)	M-3 (※)
EM-CE14-2C(63)既存配管流用	レントゲン
EM-CE22-2C(39)既存配管流用	空調電源盤
EM-CET60 (51)既存配管流用	1L AC
EM-CET60 (51)既存配管流用	2L AC
EM-CET14 (39)既存配管流用	1L～3L AC-GC
EM-CEE2- 5C(25)既存配管流用	警報受変電及び発電機
EM-CEE2-10C(31)既存配管流用	警報M-1
EM-IE14×2(ED,ELB)(63)	レントゲン管路と配管共用

※ED･ELBは1階～4階まで幹線を張り，各盤まで幹線より分岐すること。



3 階 平 面 図 S=1/75

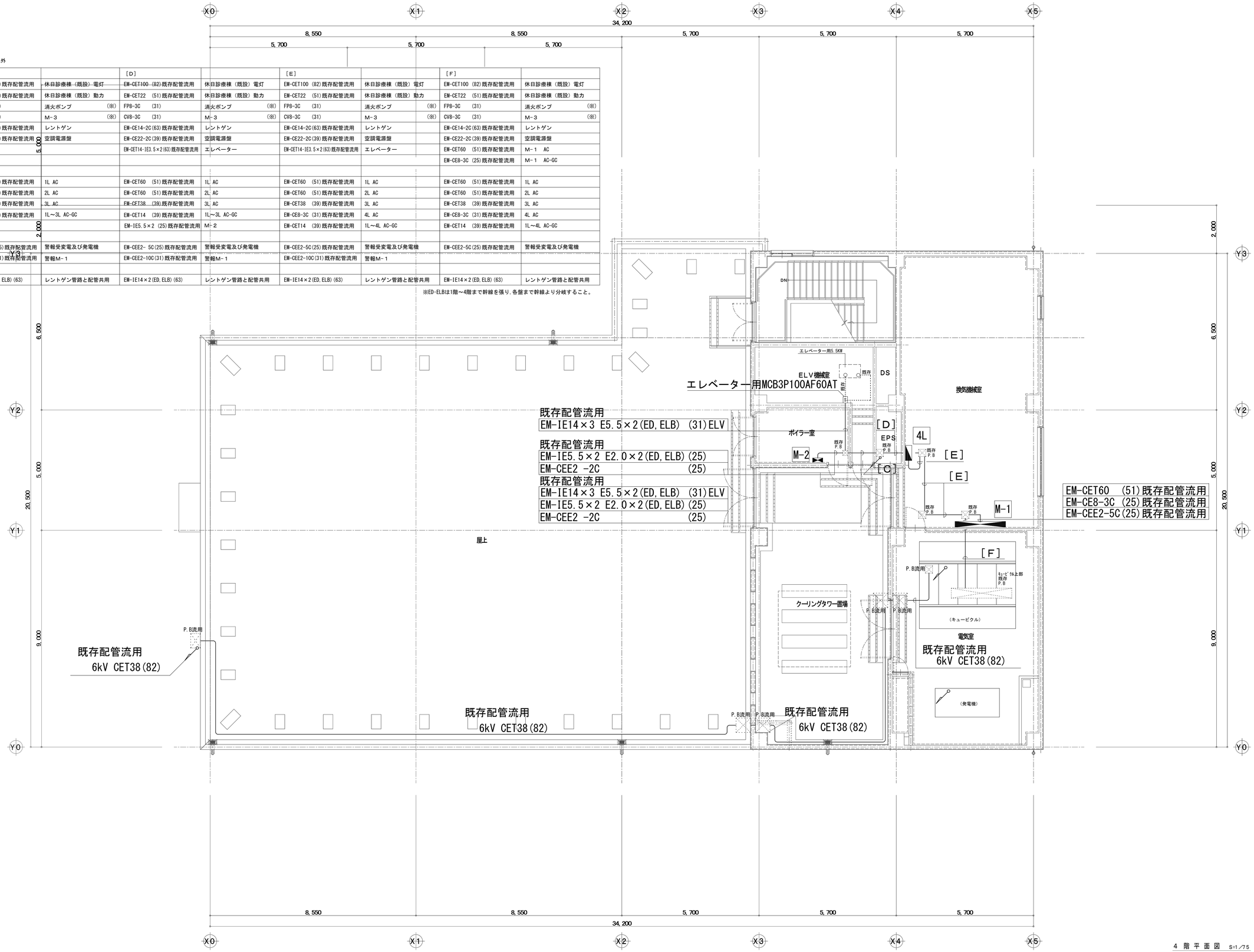
特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事		No.
				変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 幹線動力設備 3階平面図（改修後）	Scale 1/75	E-15

改修後

(※)印、改修対象外

［C］		［D］		［E］		［F］	
EM-CET100 (82)既存配管流用	休日診療棟（既設）電灯	EM-CET100 (82)既存配管流用	休日診療棟（既設）電灯	EM-CET100 (82)既存配管流用	休日診療棟（既設）電灯	EM-CET100 (82)既存配管流用	休日診療棟（既設）電灯
EM-CET22 (51)既存配管流用	休日診療棟（既設）動力	EM-CET22 (51)既存配管流用	休日診療棟（既設）動力	EM-CET22 (51)既存配管流用	休日診療棟（既設）動力	EM-CET22 (51)既存配管流用	休日診療棟（既設）動力
FP8-3C (31)	消火ポンプ (※)	FP8-3C (31)	消火ポンプ (※)	FP8-3C (31)	消火ポンプ (※)	FP8-3C (31)	消火ポンプ (※)
CV8-3C (31)	M-3 (※)	CV8-3C (31)	M-3 (※)	CV8-3C (31)	M-3 (※)	CV8-3C (31)	M-3 (※)
EM-CE14-2C(63)既存配管流用	レントゲン	EM-CE14-2C(63)既存配管流用	レントゲン	EM-CE14-2C(63)既存配管流用	レントゲン	EM-CE14-2C(63)既存配管流用	レントゲン
EM-CE22-2C(39)既存配管流用	空調電源盤	EM-CE22-2C(39)既存配管流用	空調電源盤	EM-CE22-2C(39)既存配管流用	空調電源盤	EM-CE22-2C(39)既存配管流用	空調電源盤
5,000		EM-CET14-IE3.5×2(63)既存配管流用	エレベーター	EM-CET14-IE3.5×2(63)既存配管流用	エレベーター	EM-CET60 (51)既存配管流用	M-1 AC
						EM-CE8-3C (25)既存配管流用	M-1 AC-GC
EM-CET60 (51)既存配管流用	1L AC	EM-CET60 (51)既存配管流用	1L AC	EM-CET60 (51)既存配管流用	1L AC	EM-CET60 (51)既存配管流用	1L AC
EM-CET60 (51)既存配管流用	2L AC	EM-CET60 (51)既存配管流用	2L AC	EM-CET60 (51)既存配管流用	2L AC	EM-CET60 (51)既存配管流用	2L AC
EM-CET38 (39)既存配管流用	3L AC	EM-CET38 (39)既存配管流用	3L AC	EM-CET38 (39)既存配管流用	3L AC	EM-CET38 (39)既存配管流用	3L AC
EM-CET14 (39)既存配管流用	1L～3L AC-GC	EM-CET14 (39)既存配管流用	1L～3L AC-GC	EM-CE8-3C (31)既存配管流用	4L AC	EM-CE8-3C (31)既存配管流用	4L AC
2,000		EM-IE5.5×2 (25)既存配管流用	M-2	EM-CET14 (39)既存配管流用	1L～4L AC-GC	EM-CET14 (39)既存配管流用	1L～4L AC-GC
EM-CEE2- 5C(25)既存配管流用	警報受変電及び発電機	EM-CEE2- 5C(25)既存配管流用	警報受変電及び発電機	EM-CEE2-5C(25)既存配管流用	警報受変電及び発電機	EM-CEE2-5C(25)既存配管流用	警報受変電及び発電機
EM-CEE2-10C(31)既存配管流用	警報M-1	EM-CEE2-10C(31)既存配管流用	警報M-1	EM-CEE2-10C(31)既存配管流用	警報M-1		
EM-IE14×2(ED,ELB)(63)	レントゲン管路と配管共用	EM-IE14×2(ED,ELB)(63)	レントゲン管路と配管共用	EM-IE14×2(ED,ELB)(63)	レントゲン管路と配管共用	EM-IE14×2(ED,ELB)(63)	レントゲン管路と配管共用

※ED-ELBは1階～4階まで幹線を張り、各盤まで幹線より分岐すること。



4 階 平 面 図 S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R.8.1.30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No.
			齋藤出	濱口	変更年月日 R.7.00.00	図面名称 幹線動力設備 4階平面図（改修後） Scale 1/75	E-16

改修前

分電盤リスト

特記事項					
回路記号	En ～ En	AC 100V 誘導灯 一般回路・発電機回路	配遮線断用器記号	M1	MCCB 2P1E 50／20
	非n ～ 非n	AC 100V 非常灯 一般回路・発電機回路		M2	MCCB 2P2E 50／20
	火報 ～ 火報	AC 100V 自火報受信機 一般回路・発電機回路		M3	MCCB 2P1E 50／30
	放送 ～ 放送	AC 100V 放送アンプ 一般回路・発電機回路		M4	MCCB 2P2E 50／50
	101 ～ 10n	AC 100V 共用分電盤 照明回路		E1	ELCB 2P1E 50／20
	201 ～ 20n	AC 200V 共用分電盤 照明回路		E2	ELCB 2P2E 50／20
	301 ～ 30n	AC 100V 共用分電盤 コンセント回路		E3	ELCB 2P1E 50／30
	401 ～ 40n	AC 200V 共用分電盤 コンセント回路		E4	ELCB 2P2E 50／30
	301W ～ 30nW	AC 100V 共用分電盤 コンセント回路（就業時間外ＯＦＦ回路）			※二次側配線用遮断器は協約形とする。
	103 ～ 10n	AC 100V 共用分電盤 照明回路（非常用発電機回路）	凡例	Ry	リモコンリレー 1P20A/2P20A
	201 ～ 20n	AC 200V 共用分電盤 照明回路（非常用発電機回路）		T/U	リレー制御用 T／U 4回路用
	301 ～ 30n	AC 100V 共用分電盤 コンセント回路（非常用発電機回路）		CPU	伝送ユニット 256回路 分電盤用
	401 ～ 40n	AC 200V 共用分電盤 コンセント回路（非常用発電機回路）			
	301W ～ 30nW	AC 100V 共用分電盤 コンセント回路（非常用発電機回路）(就業時間外ＯＦＦ回路)			
	401W ～ 40nW	AC 200V 共用分電盤 コンセント回路（非常用発電機回路）(就業時間外ＯＦＦ回路)			
	501 ～ 50n	AC 100V 共用分電盤 全熱交換器電源回路			
	801 ～ 80n	AC 200V 共用分電盤 空調屋内機電源回路			

付属回路記号	回路方式	記号	回路図	備考
	標準回路	A	L （ 1φ V A） 電圧・遮断電流値は盤図による	
	センサー操作回路	B	センサー MC L	MC：電磁接触器
	遠方操作回路	C	COS 遠方操作 MC L	COS：手元／ 遠方切替
	タイマー回路 （接点利用型）	D	T タイマー L （ 2時間型 、 分切替、停電補償 有 無）	TM2は2回路用
	自動点滅 タイマー回路 （MC利用型）	E	COS T AS MC L （ 時間型 、 分切替、停電補償 有 無）	COS ：手元／ 自動切替 AS：自動点滅器 TM2は2回路用
	自動点滅回路	F	COS AS MC L	COS ：手元／ 自動切替 AS：自動点滅器
	リモコンリレー 回 路	G	R RR L （ 1P100V 20A）	RR：リモコンリレー 1P20A RT：リモコントランス 2P20A
	リモコントランス 回 路	H	RT （ 100／ 24V、100VA）	
	リモコン B 回 路	I	L RT	：リモコンスイッチ
	フル2線リモコン 回 路	J	Ry L	Ry ：リモコンリレー
	フル2線リモコン 制御回路	K	伝送ユニット 256回路 4回路T／U Ry Ry RT	：リモコンスイッチ Rxn：リモコンリレー個数

分電盤一覧表

盤名称（盤形式）	電気方式 合計容量	幹線番号	幹線サイズ	主開閉器 系統	MCCB	ELCB	P	AF	AT	配線用遮断器記号	漏電回路記号	リモコンリレー 1P	リモコンリレー 2P	T／U（回路）	リモコントランス	伝送ユニット	マグネットスイッチ	タイマー停電補償付	回路番号	電圧（V）	負荷容量（VA） 電灯	コンセント	その他	負荷名称及び備考
1L G型 扉板製	1φ3W100/200V (合計) 30,940 (VA)	I-1	CET38	MCCB 3P225／175	○		2	50	20	M1	A								1	100	1，640			廊下
					○		2	50	20	M1	A								2	100	1，550			ホール
					○		2	50	20	M1	A								3	100	1，910			XTV関連撮影
					○		2	50	20	M1	A								4	100	3，200			玄関ﾁｬｲﾑ
					○		2	50	20	M1	A								A	100		2，500		操作室自販機ｺﾝｾﾝﾄ
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A								1	100	700			温浴室
					○		2	50	20	M1	A								2	100	1，160			ホール
					○		2	50	20	M1	A								3	100				歯科予防指導
					○		2	50	20	M1	A								4	100	500			ファンコイル用
						○	2	50	20	E1	A								A	100		900		温浴室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								B	100		800		管理人室コンセント
						○	2	50	20	E1	A								C	100		1，000		管理人室ACコンセント
					○		2	50	20	M1	A								D	100		1，000		管理人室ACコンセント
					○		2	50	20	M1	A								E	100		640		事務室ファンコイル
					○		2	50	20	M1	A								F	100		750		コピー収納コーナーコンセント
					○		2	50	20	M1	A								G	100		750		コピー収納コーナーコンセント
					○		2	50	20	M1	A								H	100		750		コピー収納コーナーコンセント
					○		2	50	20	M1	A								I	100		700		事務室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								J	100		500		所長室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								K	100		500		予診室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								L	100		500		診療室コンセント
						○	2	50	20	E1	A								M	100		500		消毒準備室 洗濯機コンセント
						○	2	50	20	E1	A								N	100		1，000		消毒準備室 洗濯機コンセント
					○		2	50	20	M1	A								O	100		300		消毒準備室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								P	100		1，000		消毒準備室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								Q	100		400		歯科予防指導コンセント
					○		2	50	20	M1	A								R	100		640		XTV関連撮影室ｱﾝﾌﾟﾙ
					○		2	50	20	M1	A								S	100		600		操作室
					○		2	50	20	M1	A								T	100		600		XTV関連撮影室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								U	100		700		検診ホールコンセント
					○		2	50	20	M1	A								V	100		800		検診ホールファンコイル
						○	2	50	20	E1	A								W	100		1，000		玄関ポーチコンセント
	1φ3W100/200V (合計) 4,410 (VA)	Ig-1	CET14	MCCB 3P50／30	○		2	50	20	M1	A								1	100	1，340 420			ホール
					○		2	50	20	M1	A													ヨビ
				MCCB 3P50／50	○		2	50	20	M1	A								1	100	880			
					○		2	50	20	M1	A								2	100	320			誘導灯
					○		2	50	20	M1	A								A	200		750		1F交換機
					○		2	50	20	M1	A								B	200		100		1F受信機
					○		2	50	20	M1	A								C	100		100		1F警報
					○		2	50	20	M1	A								D	100		500		薬品機器室自動ドア
					○		2	50	20	M1	A								E	100				廊下室
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	E1	A								イ	100	120			告知板
					○		2	50	20	E1	A								イ	200	2，400			外灯
					○		2	50	20	E1	A								ロ	100	900			外構灯
				ED ELB																				事務室切替ｽｲｯﾁ(自・手・断)

（注記）
1．分岐回路（30AT）以下の配線用遮断器及び漏電遮断器は2P（1Pサイズ協約型）とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印 斎藤出

設計 濱口

設計年月日 R 8．1．30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 電灯分電盤表（1）（改修前）
Scale NS

No. E-17

改修前

分電盤一覧表

盤名称（盤形式）	電気方式 合計容量	幹線番号	幹線サイズ	主開閉器 系統	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	配線用遮断器記号	付属回路記号	付属機器 リモコンリレー1P	リモコンリレー2P	T/U（回路）	リモコントランス	伝送ユニット	マグネットスイッチ	タイマー停電補償付	回路番号	電圧（V）	負荷容量（VA） 電灯	コンセント	その他	負荷名称及び備考
2L G型 鋼板製	1φ3W100/200V (合計) 21,820 (VA)	I-2	CET38	MCCB 3P225/125	○		2	50	20	M1	A								1	100	2,750			ロビー
					○		2	50	20	M1	A								2	100	2,780			換気扇
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A								1	100	510			温浴室
					○		2	50	20	M1	A								2	100	300			
						○	2	50	20	E1	A								A	100		700		便所コンセント
					○		2	50	20	M1	A								B	100		720		機能回復訓練室ファンコイル
					○		2	50	20	M1	A								C	100		500		機能回復訓練室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								D	100		700		機能回復訓練室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								E	100		500		尿検査室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								F	100		1,500		尿検査室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								G	100		500		検査室Aコンセント
					○		2	50	20	M1	A								H	100		400		検査室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								I	100		500		検診室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								J	100		1,000		検査室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								K	100		720		成人病検査室ファンコイル
					○		2	50	20	M1	A								L	100		500		成人病検査室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								M	100		540		栄養指導実習室ファンコイル
					○		2	50	20	M1	A								N	100		700		栄養指導実習室調理台
					○		2	50	20	M1	A								O	100		700		栄養指導実習室調理台
						○	2	50	20	E1	A								P	100		1,000		栄養指導実習室洗濯機
						○	2	50	20	E1	A								Q	100		500		栄養指導実習室洗濯機
					○		2	50	20	M1	A								R	100		800		栄養指導実習室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								S	100		1,000		栄養準備研究室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								T	100		400		栄養準備研究室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								U	100		400		
					○		2	50	20	M1	A								V	100		1,000		機能回復訓練室コンセント
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
	1φ3W100/200V (合計) 2,310 (VA)	Ig-1	IE14×3	MCCB 3P 50/ 20	○		2	50	20	M1	A								1	100		2,030		
					○		2	50	20	M1	A													予備
					○		2	50	20	M1	A								1	100		280		
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
3L G型 鋼板製	1φ3W100/200V (合計) 13,630 (VA)	I-3	CET60	MCCB 3P100/75	○		2	50	20	M1	A								1	100	3,110			ロビー
					○		2	50	20	M1	A								2	100	1,510			会議室
					○		2	50	20	M1	A								3	100	1,800			集団指導室
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
				MCCB 3P100/75 → 3L-1へ	○		2	50	20	M1	A								1	100	510			湿潤室
					○		2	50	20	M1	A								2	100	400			ファンコイル用
					○		2	50	20	M1	A								A	100		640		ロビーファンコイル
						○	2	50	20	E1	A								B	100		800		ロビーコンセント
					○		2	50	20	M1	A								C	100		400		保険相談室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								D	100		600		母子相談室コンセント
					○		2	50	20	M1	A								E	100		720		会議室Aファンコイル
					○		2	50	20	M1	A								F	100		640		運動指導室ファンコイル
					○		2	50	20	M1	A								G	100		700		会議室Aコンセント
					○		2	50	20	M1	A								H	100		800		会議室bコンセント
					○		2	50	20	M1	A								I	100		800		会議室cコンセント
					○		2	50	20	M1	A								J	100		200		EPS テレビブースター電源
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
	1φ3W100/200V (合計) 2,800 (VA)	Ig-1	IE14×3	MCCB 3P 50/ 20	○		2	50	20	M1	A								1	100		2600		扉下 2600
					○		2	50	20	M1	A													予備
					○		2	50	20	M1	A								1	100		200		誘導灯 2600
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
				ED ELB																				

分電盤一覧表

盤名称（盤形式）	電気方式 合計容量	幹線番号	幹線サイズ	主開閉器 系統	分岐開閉器 MCCB	ELCB	P	AF	AT	配線用遮断器記号	付属回路記号	付属機器 リモコンリレー1P	リモコンリレー2P	T/U（回路）	リモコントランス	伝送ユニット	マグネットスイッチ	タイマー停電補償付	回路番号	電圧（V）	負荷容量（VA） 電灯	コンセント	その他	負荷名称及び備考
4L T型 鋼板製	1φ3W100/200V (合計) 2,350 (VA)	I-5	CE8-3C	MCCB 3P 50/ 20	○		2	50	20	M1	A								1	100	1,100			EV機械室
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A								1	100	200			外灯
					○		2	50	20	M1	A								A	100		600		空調機械室
					○		2	50	20	M1	A								B	100				予備
					○		2	50	20	M1	A								C	100		450		予備
					○		2	50	20	M1	A								1	100		180		
	1φ3W100/200V (合計) 380 (VA)	Ig-1	EE22.0-3C	MCCB 3P 50/ 20	○		2	50	20	M1	A													予備
					○		2	50	20	M1	A								A	100		200		
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
3L-1 G型 (上部ダクト付) 鋼板製	1φ3W100/200V (合計) 8,400 (VA)	**	IE22×3	MCCB 3P100/ 75	○		2	50	30	M1	A								A	100		1,500		3F 薬事実験指導室
					○		2	50	30	M1	A								B	100		1,500		3F 薬事実験指導室
					○		2	50	30	M1	A								C	100		1,500		3F 薬事実験指導室
					○		2	50	20	M1	A								D	100		1,000		3F 薬事実験指導室
					○		2	50	20	M1	A								E	100		1,000		3F 薬事実験指導室
					○		2	50	20	M1	A								F	100		1,000		3F 薬事実験指導室
					○		2	50	20	M1	A								G	100		400		3F 薬事実験指導室
					○		2	50	20	M1	A								H	100		500		3F 薬事実験指導室
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
					○		2	50	20	M1	A									100				予備
				ED ELB																				

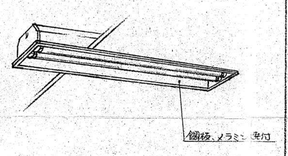
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

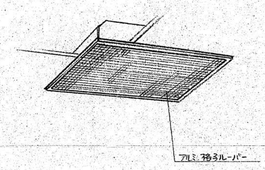
検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R. 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-18
		変更年月日	図面名称 電灯分電盤表（2）（改修前） Scale NS	

改修前

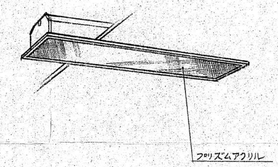
A-41	FL40W×1 埋込両板	A-42C	FL40W×2 調光	
-42	FL40W×2 〃	-41C	〃 ×1 〃	
-22	FL20W×2 〃	-41E	FL40W×1 BT付	
-21	FL20W×1 〃	-22E	FL20W×2 〃	
-42E	FL40W×2 BT付			



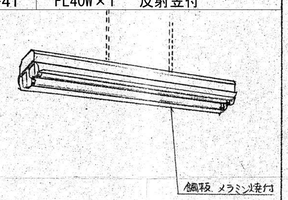
B-41	FL40W×1 埋込下面アルミルーバー			
-41E	FL40W×1 〃 〃 BT内蔵			
-24	FL 20W×4 〃 〃			
-24E	〃 〃 BT内蔵			



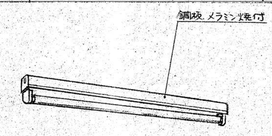
C-42	FL40W×2 埋込下面アクリズムアクリル		



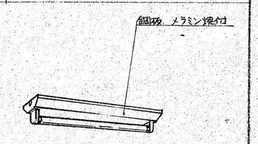
D-42P	FL40W×2 反射笠付 パイプ吊		
-42	FL40W×2 〃		
D-42E	FL40W×2 反射笠付 BT内蔵		
D-41	FL40W×1 反射笠付		



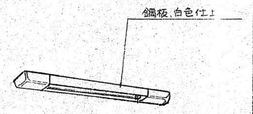
E-21	FL20W×1 笠なし器具		
-41	FL40W×1 〃		
-21G	FL20W×1 〃 (ガード付)		



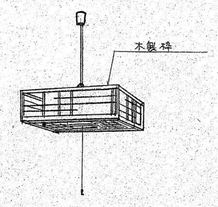
F-21	FL20W×1 避雷土		



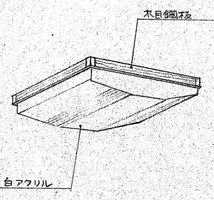
G-21	FL20W×1 流し元灯		



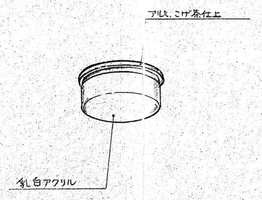
H-32	FCL32+30 ケンピペン		



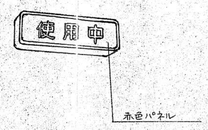
I-24	FL20W×4 シーリングライト		



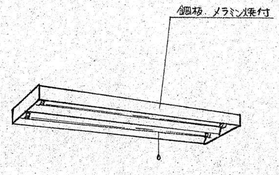
J-31	FCL30W×1 シーリングライト		
-31W	〃 〃 防水型		



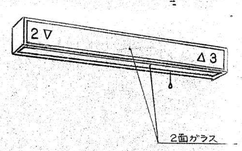
K-11	FL10×1 使用中ランプ		



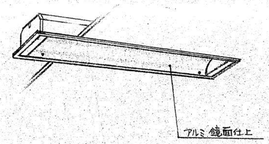
L-42E	FL40W×2 コンフォート BT内蔵		



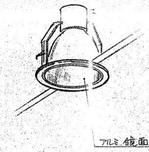
M-41E	FL40W×1 階段誘導灯 BT内蔵		



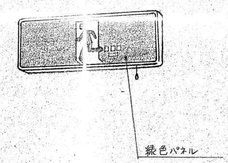
N-41	FL40W×1 黒板灯		



W-100	MF100W×1 ダウンライト		



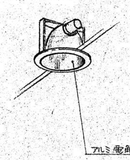
X-42	FL40W×2 避難口誘導灯		
-21	FL20W×1 〃		



Y-11	FL10W×1 廊下通路誘導灯		

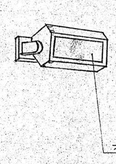


α-80	IL80W ダウンライト	b-40	IL40W ウォールライト
-40E	IL40W 〃 BT内蔵		

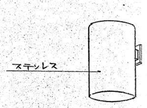




d-20	IL20W 三色灯		



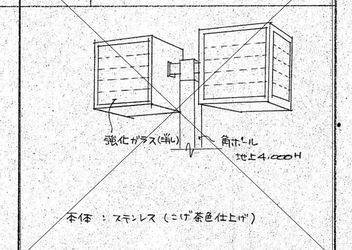
e-60	IL60W 壁ブラケット (防水型)		
e-100	IL100W 〃 (〃)		



f-40	IL40W コップ型直付灯		



※	HF-100W×2 外玄下		



特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検図 齋藤出	設計 濱口	設計年月日 R 8. 1. 30 / 変更年月日 R 7. 00. 00
					工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 照明器具姿図(改修前) / Scale NS / No. E-19

改修前

図中、電灯設備配線は下記の通り

配管配線	———	1.6×2 (19)
配管配線	——//	2.0×2 (19)
配管配線	——///	1.6×3 (19)
配管配線	——////	2.0×4 (25)
配管配線	——/////	1.6×5 (25)
配管配線	——//////	1.6×6 (25)

ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·——·——	F1.6-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-//-·——	F2.0-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-///-·——	F1.6-2C×2
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-////-·——	F2.0-2C+F2.0-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-/// F1.6	F1.6-2C+F1.6-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-////-·——	F1.6-3C×2
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-/////-·——	F1.6-3C+F1.6-2C×2

照明器具及び配線器具は全撤去する

図中※印は配管流用とし､ｹｰﾌﾞﾙ･電線は抜線する

● ◎	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×＠	新金P共	＠は図中数量参照
●3	埋込ｽｲｯﾁ 3W15A×＠	新金P共	＠は図中数量参照
○	埋込ｽｲｯﾁ 1PL15A×＠	新金P共	＠は図中数量参照
⊘	調光ｽｲｯﾁ 1P15A 500W×＠	新金P共	＠は図中数量参照
●A	自動点滅器操作ﾕﾆｯﾄ	新金P共	
A	自動点滅器 3A		

X0 X1 X2 X3 X4 X5

34,200

8,550 / 8,550 / 5,700 / 5,700 / 5,700

5,700 / 5,700 / 5,700

Y3 Y2 Y1 Y0

5,000 / 2,000 / 6,500 / 5,000 / 20,500 / 9,000

検診ホール	
B41	× 30
B41E	× 7
X42	× 1

ホール	
a80	× 14
a40E	× 2
E21	× 2
X42	× 1
Y11	× 1
B24	× 4

玄関ポーチ	
W100	× 16

風除室	
a80	× 4
a40E	× 1

階段室	
B24	× 1
B24E	× 1
X21	× 1

倉 庫	
E21	× 1

D S	
E21	× 1

機械室	
D42P	× 2

外 部	
e100	× 5

レントゲン室	
A41C	× 8
a40E	× 2
A21	× 3
f40	× 1
K11	× 4

操作室	
A42	× 2
a40E	× 1
A22	× 1

暗 室	
J31	× 1
K11	× 1
d20	× 1

倉 庫	
A42	× 1

器材室	
A41	× 4

歯科予防指導室	
A42	× 4

薬品器材室	
A42	× 2

消毒準備室	
A42	× 4

診察室	
A42	× 2
A41E	× 1

予診室	
A42	× 2
A41E	× 1

事務室	
C42	× 25
E41	× 3

女子トイレ	
A41	× 2
b40	× 1

男子トイレ	
A42	× 1
b40	× 2

多目的トイレ	
A22E	× 1
K11	× 1

廊 下	
A41	× 2
A41E	× 2
Y11	× 1

湯 沸 室	
A21	× 1
G21	× 1

管理人室	
H32	× 1

E P S	
F21	× 1

職員更衣室	
I24	× 1

電算機室	
A42	× 2

受付測定コーナー / 風除室 / 階段室 / 階段下倉庫 / 換気機械室 / 女子トイレ / 男子トイレ / 多目的トイレ / 湯沸室 / 廊下 / 押入 / 管理人室 / 職員更衣室 / 電算機室 / 事務室 / レントゲン室 / 脱衣室1 / 脱衣室2 / 脱衣室3 / トイレ / 検診ホール / 操作室 / 暗室 / 器材室 / 倉庫 / 歯科予防指導室 / 予診コーナー / 薬品器材室 / 消毒準備室 / 診察室 / 予診室 / ホール / ELV / DS / EPS / PS / 踏込

e100 / 1.6×2(19)※ / 2.0×2(19)※ / F1.6 / 照明器具なしｹｰﾌﾞﾙ中継ﾎﾞｯｸｽ

1 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検 印	設 計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事		No. E-20
		齋藤出	濱口	変更年月日	図面名称 電灯設備 1階平面図(改修前)	Scale 1/75	

改修前

図中、電灯設備配線は下記の通り

配管配線	———	1.6×2 (19)
配管配線	——//——	2.0×2 (19)
配管配線	——///——	1.6×3 (19)
配管配線	——##——	2.0×4 (25)
配管配線	——###——	1.6×5 (25)
配管配線	——###——	1.6×6 (25)

ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·——·——	F1.6-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·//·——	F2.0-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·##·——	F1.6-2C×2
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·##·——	F2.0-2C+F2.0-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·##·——	F1.6-2C+F1.6-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·###·——	F1.6-3C×2
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·###·——	F1.6-3C+F1.6-2C×2

照明器具及び配線器具は全撤去する
図中※印は配管流用とし､ｹｰﾌﾞﾙ･電線は抜線する

●◎	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×＠	新金P共	＠は図中数量参照
●3	埋込ｽｲｯﾁ 3W15A×＠	新金P共	＠は図中数量参照
○	埋込ｽｲｯﾁ 1PL15A×＠	新金P共	＠は図中数量参照
⊘	調光ｽｲｯﾁ 1P15A 500W×＠	新金P共	＠は図中数量参照
●A	自動点滅器操作ﾕﾆｯﾄ	新金P共	
A	自動点滅器 3A		

X0 X1 X2 X3 X4 X5
34,200
8,550 8,550 5,700 5,700 5,700
5,700 5,700 5,700
Y3 Y2 Y1 Y0
5,000 2,000 6,500 5,000 20,500 9,000

シャワー・脱衣室
J31W × 2

機能回復訓練室
A42 × 11
A42E × 6

ロビー・廊下
B41 × 12
B41E × 4
X42 × 2
Y11 × 2
A41 × 5
A41E × 3

階 段
L42E × 1
M41E × 1

機械室
D42P × 2

男子更衣室
A41 × 1

女子更衣室
A41 × 1

静養室
A42E × 1

階段室
e100 × 1

栄養準備研修室
A42 × 1
A42E × 2

栄養指導実習室
A42 × 8
A42E × 4
N41 × 2

幼児遊び場
A42 × 1
A42E × 2

成人病検診室
B41 × 8
B41E × 4
Y21 × 1

検査室B
A42 × 1
A42E × 1
A41E × 1
a80 × 1

検診室
A42 × 2
A42E × 2
A41E × 1

検査室
A42 × 1
A42E × 1
A41E × 1

女子トイレ
A41 × 2
b40 × 2

男子トイレ
A41 × 2
b40 × 2

EPS
F21 × 1

多目的トイレ
A22E × 1
K11 × 1

湯沸室
A21 × 1
G21 × 1

倉 庫
A41 × 2

尿検査室
A42 × 1
A42E × 1

検査室A
A42 × 1
A42E × 1
A41E × 1

廊下
A41E × 1
X21 × 1

2 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8 . 1 . 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. E-21
				変更年月日	図面名称 電灯設備 2階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前

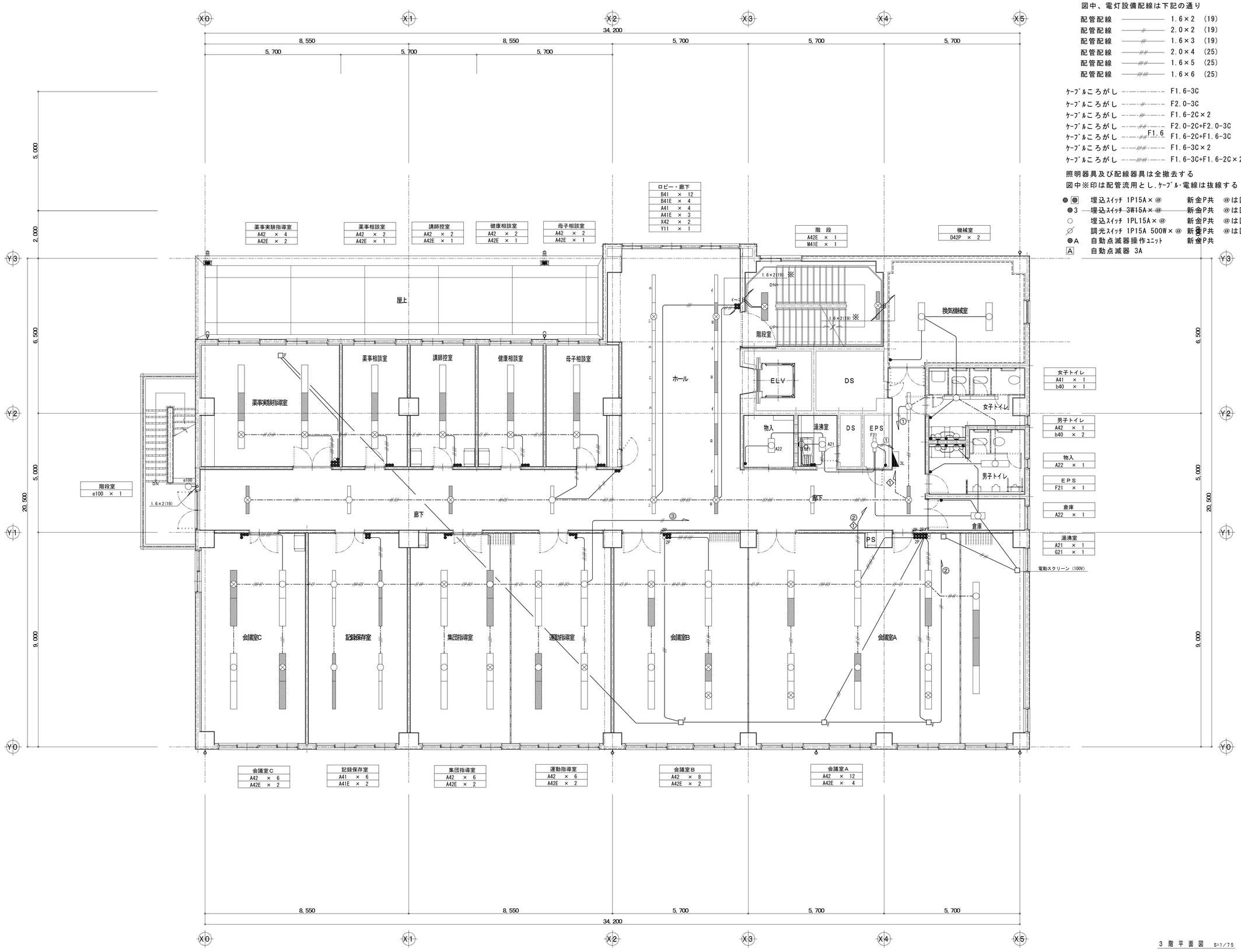
図中、電灯設備配線は下記の通り

配管配線	———	1.6×2 (19)
配管配線	———//	2.0×2 (19)
配管配線	———///	1.6×3 (19)
配管配線	———////	2.0×4 (25)
配管配線	———/////	1.6×5 (25)
配管配線	———//////	1.6×6 (25)

ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·——·——	F1.6-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-//-·——	F2.0-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-///-·——	F1.6-2C×2
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-////-·——	F2.0-2C+F2.0-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-/// F1.6	F1.6-2C+F1.6-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-////-·——	F1.6-3C×2
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·-/////-·——	F1.6-3C+F1.6-2C×2

照明器具及び配線器具は全撤去する
図中※印は配管流用とし､ｹｰﾌﾞﾙ･電線は抜線する

●◎	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×@	新金P共	@は図中数量参照
●3	埋込ｽｲｯﾁ 3W15A×@	新金P共	@は図中数量参照
○	埋込ｽｲｯﾁ 1PL15A×@	新金P共	@は図中数量参照
⊘	調光ｽｲｯﾁ 1P15A 500W×@	新金P共	@は図中数量参照
●A	自動点滅器操作ﾕﾆｯﾄ	新金P共	
A	自動点滅器 3A		



3 階 平 面 図 S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. E-22
					変更年月日	図面名称 電灯設備 3階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前

図中、電灯設備配線は下記の通り

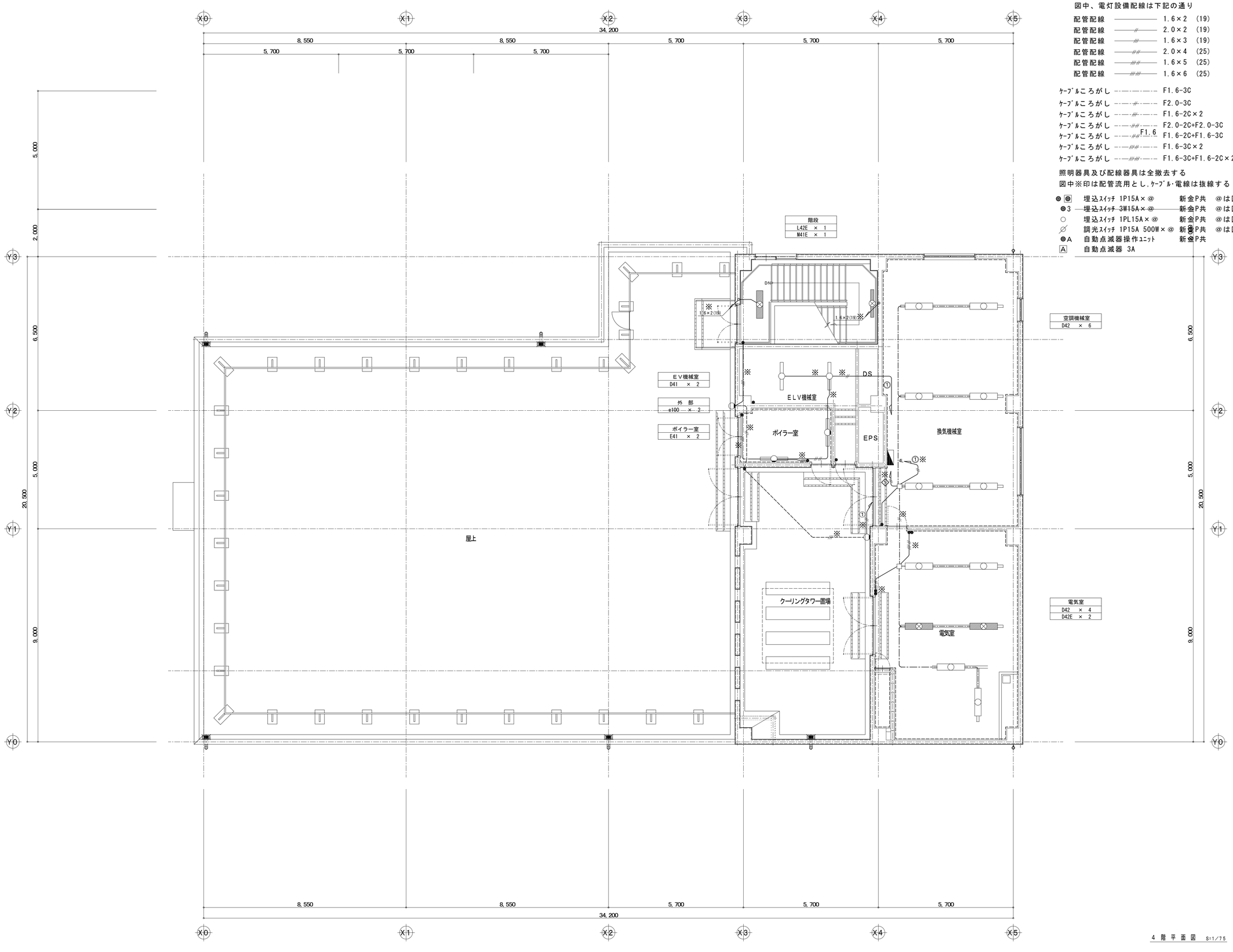
配管配線	———	1.6×2 (19)
配管配線	———/———	2.0×2 (19)
配管配線	———// ———	1.6×3 (19)
配管配線	———//———	2.0×4 (25)
配管配線	———///———	1.6×5 (25)
配管配線	———///———	1.6×6 (25)

ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·—·——	F1.6-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·—/—·——	F2.0-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·—//—·——	F1.6-2C×2
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·—///—·——	F2.0-2C+F2.0-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·—///—·—— F1.6	F1.6-2C+F1.6-3C
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·—////—·——	F1.6-3C×2
ｹｰﾌﾞﾙころがし	——·—////—·——	F1.6-3C+F1.6-2C×2

照明器具及び配線器具は全撤去する

図中※印は配管流用とし､ｹｰﾌﾞﾙ･電線は抜線する

● ◎	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×@	新金P共	@は図中数量参照
●3	埋込ｽｲｯﾁ 3W15A×@	新金P共	@は図中数量参照
○	埋込ｽｲｯﾁ 1PL15A×@	新金P共	@は図中数量参照
⊘	調光ｽｲｯﾁ 1P15A 500W×@	新金P共	@は図中数量参照
●A	自動点滅器操作ﾕﾆｯﾄ	新金P共	
A	自動点滅器 3A		

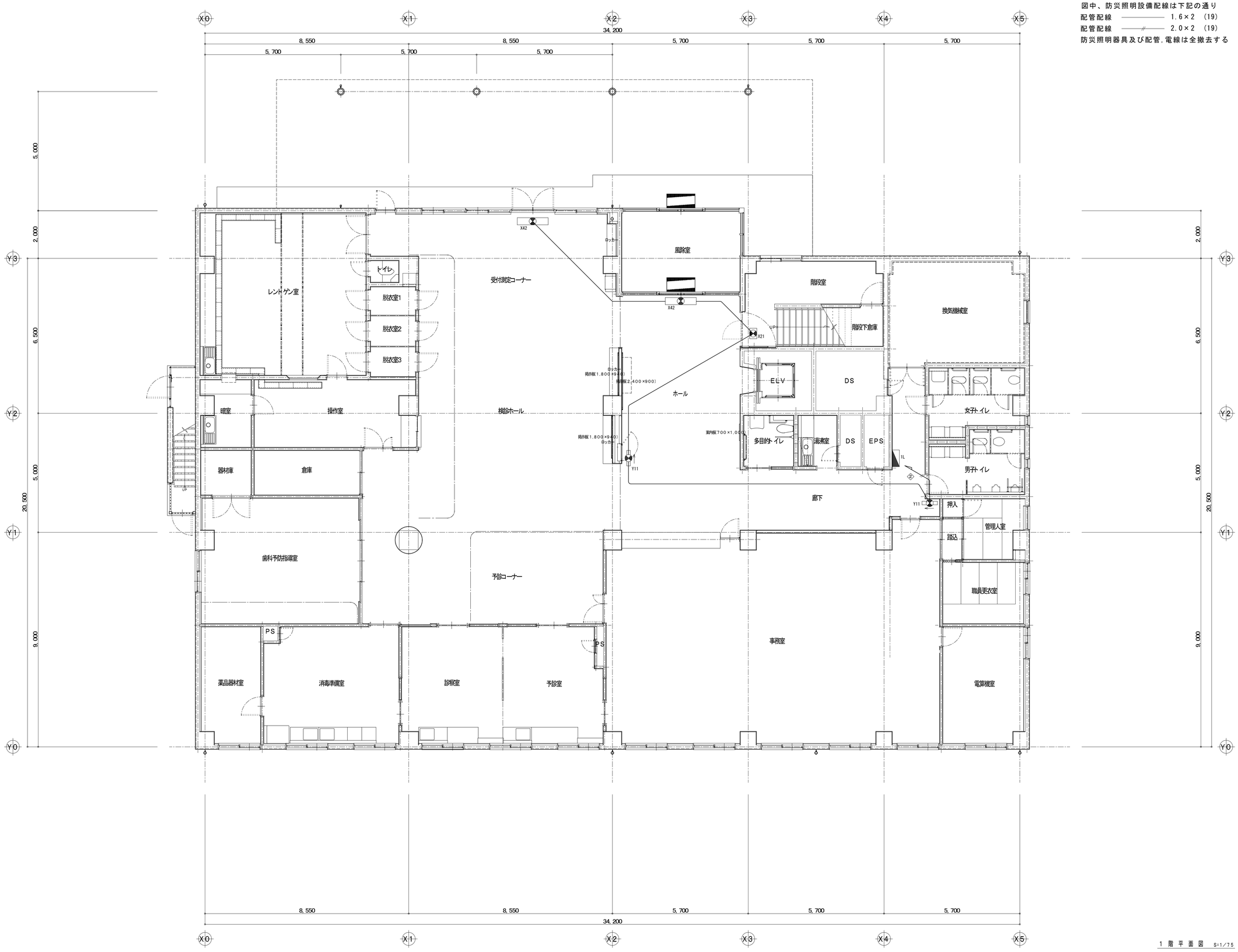


4 階 平 面 図 S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. E-23
					変更年月日	図面名称 電灯設備 4階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前

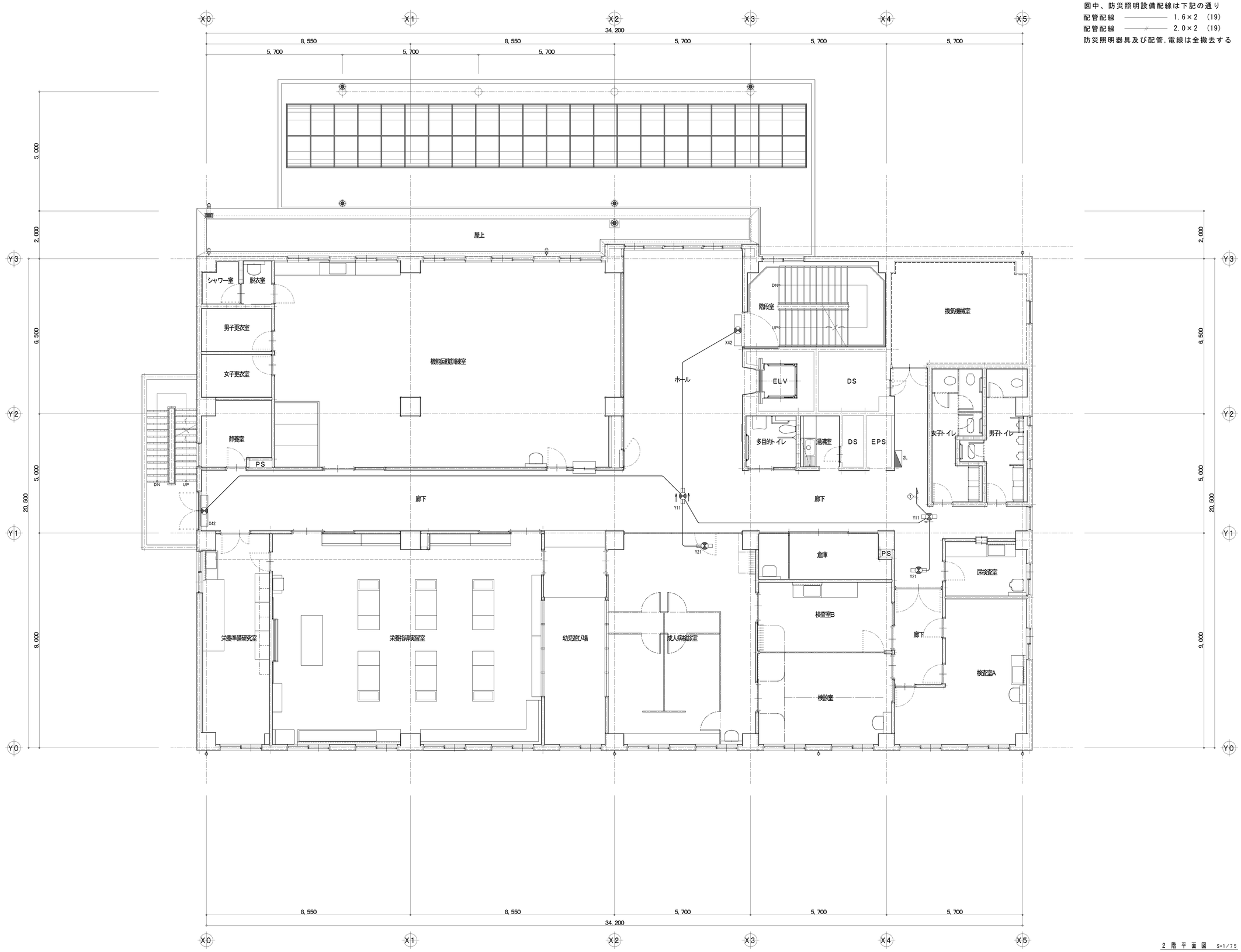
図中、防災照明設備配線は下記の通り
配管配線 ——— 1.6×2 (19)
配管配線 ——//—— 2.0×2 (19)
防災照明器具及び配管,電線は全撤去する



1 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事		No. E-24
				変更年月日	図面名称 防災照明設備 1階平面図(改修前)	Scale 1/75	

図中、防災照明設備配線は下記の通り
配管配線 ——— 1.6×2 (19)
配管配線 ——//—— 2.0×2 (19)
防災照明器具及び配管,電線は全撤去する



2 階 平 面 図 S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. E-25
					変更年月日	図面名称 防災照明設備 2階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前

図中、防災照明設備配線は下記の通り
配管配線 ——— 1.6×2 (19)
配管配線 ———// 2.0×2 (19)
防災照明器具及び配管,電線は全撤去する



3 階 平 面 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-26
		変更年月日	図面名称 防災照明設備 3階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修後

分電盤結線図

1L-1 ②

QB～1L-1
25.10kVA
CET60
ED 14mm2
ELB14mm2

PL
F
ELCB3P
225AF/150AT
■
1L-2へ
LD-1へ

回路	P	MCCB AF/AT	付加機能	容量(VA)	負荷内容
誘	2	20		50	誘導灯電源
101	2	20		700	風除・ﾎｰﾙ・廊下・検診ﾎｰﾙ1
102	2	20		450	面談・倉庫・健康相談・更衣室1-2
103	2	20		450	換気機械室・DS・EPS
104	2	20	ELB・T	50	外灯(壁面)・外部階段
105	2	20	ELB・WT	50	外部軒下
106	2	20		200	給湯・倉庫1A・1B ﾚﾝﾄｹﾞﾝ・器具庫
非	2	20		10	非常灯電源
	2	20			予備×2回路
			小計	1960	
201	2	20	ELB	600	給湯室ｶﾞｯﾄ
202	2	20	ELB	100	給湯室ﾚﾝｼﾞ
203	2	20	ELB	700	給湯室冷蔵庫
204	2	20		600	面談室1・2・3
205	2	20		400	ｼｽﾃﾑ管理
206	2	20		400	ｼｽﾃﾑ管理
207	2	20		600	検診ﾎｰﾙ
208	2	20		600	検診ﾎｰﾙ
209	2	20		600	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ準備
210	2	20		600	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ
211	2	20		400	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ
212	2	20		600	健康相談
213	2	20		600	ﾎｰﾙ
214	2	20		900	換気機械・階段・ﾎｰﾙ・ELV
215	2	20	ELB	600	男子ﾄｲﾚ
216	2	20	ELB	900	女子ﾄｲﾚ
217	2	20	ELB	60	洗面手洗・男子ﾄｲﾚ・SK
218	2	20	ELB	1260	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ
219	2	20	ELB	400	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ
220	2	20	ELB	1000	検診車
221	2	20	ELB	1000	検診車
222	2	20	ELB	1000	給湯電気温水器
223	2	20	ELB	350	外部ｶﾞｽ給湯器
224	2	20	ELB	800	自動販売機
225	2	20		400	換気扇電源
226	2	20		1224	空調換気扇
227	2	20		712	空調換気扇
228	2	20		10	自動ﾄﾞｱ
	2	20			予備×6回路
			小計	17416	
301	2	20		400	ﾘﾈﾝ折り機
302	2	100/60	ELB	2000	検診車用
303	2	100/60	ELB	2000	検診車用
304	2	100/60	ELB	2000	検診車用
305	2	20		468	GHP室内機
306	2	20		820	調湿外気処理機
	2	20			予備×4回路
			小計	7688	
A	2	20		380	電灯発電機回路
B	2	20		400	ｺﾝｾﾝﾄ発電機回路(主装置)
	2	20			予備×2回路
			小計	1280	

発電機回路
2L～1L-1
1.30kVA
CE5.5-3C
PL
F
ELCB3P
50AF/20AT
■
1L-2へ

1L-2 ③

1L-1～1L-2
13.27kVA
CET22
ED 5.5mm2
ELB5.5mm2

PL
F
ELCB3P
100AF/100AT
■

回路	P	MCCB AF/AT	付加機能	容量(VA)	負荷内容
火	2	20		200	火災報知設備電源
151	2	20		1100	健康づくり支援課・保健ｾﾝﾀｰ
	2	20			予備×1回路
			小計	1300	
251	2	20		400	事務所・健康づくり支援課ﾊｰﾈｽ
252	2	20		400	事務所・健康づくり支援課ﾊｰﾈｽ
253	2	20		400	事務所・健康づくり支援課ﾊｰﾈｽ
254	2	20		400	事務所・健康づくり支援課ﾊｰﾈｽ
255	2	20		600	事務所・健康づくり支援課
256	2	20		1000	事務所複合機
257	2	20		200	事務所・健康づくり支援課ﾌﾛｱ
258	2	20		800	資料室・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ
259	2	20		400	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾊｰﾈｽ
260	2	20		400	受付
261	2	20		600	受付ﾊｰﾈｽ
262	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
263	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
264	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
265	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
266	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
267	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
268	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
269	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
270	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
271	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
272	2	20		400	保健ｾﾝﾀｰﾊｰﾈｽ
273	2	20		600	保健ｾﾝﾀｰ
274	2	20		600	保健ｾﾝﾀｰ
275	2	20		600	保健ｾﾝﾀｰ
276	2	20		1000	保健ｾﾝﾀｰ複合機
277	2	20		70	受付ﾌﾛｱ
278	2	20		100	警報盤電源
	2	20			予備×4回路
			小計	13370	
A	2	20		220	電灯発電機回路
	2	20			予備×1回路
			小計	220	

発電機回路
1L-1～1L-2
0.22kVA
CE5.5-3C
PL
F
ELCB3P
50AF/20AT
■

2L ②

QB～2L
25.42kVA
CET60
ED 14mm2
ELB14mm2

PL
F
ELCB3P
225AF/200AT
■

回路	P	MCCB AF/AT	付加機能	容量(VA)	負荷内容
誘	2	20		50	誘導灯電源
101	2	20		200	ﾛﾋﾞｰ・廊下・換気機械室
102	2	20		810	診察待合・検査・診察室
103	2	20		250	倉庫・検診室3
104	2	20		350	ﾄｲﾚ・授乳室・DS・EPS
105	2	20		1050	栄養指導・検診ﾎｰﾙ2
非	2	20		10	非常灯電源
	2	20			予備×2回路
			小計	2720	
201	2	20	ELB	1500	授乳室
202	2	20	ELB	400	授乳室
203	2	20		200	検査室1・天井ﾚｰﾙ
204	2	20		800	検査室1・2
205	2	20		700	検査室2洗濯機
206	2	20		600	検査室・検診室
207	2	30		600	検診室
208	2	20		400	診察待合
209	2	20	ELB	1000	栄養指導調理台
210	2	20	ELB	1000	栄養指導調理台
211	2	20	ELB	1000	栄養指導調理台
212	2	20	ELB	1000	栄養指導調理台
213	2	20	ELB	1000	栄養指導調理台
214	2	20		800	栄養指導
215	2	20	ELB	600	栄養指導生ｺﾞﾐ処理機
216	2	20	ELB	700	栄養指導冷蔵庫
217	2	20		1200	栄養指導炊飯器
218	2	20		1200	栄養指導炊飯器
219	2	20	ELB	700	栄養指導洗濯機
220	2	20		600	検診ﾎｰﾙ2
221	2	20		600	検診ﾎｰﾙ2
222	2	30		600	検診ﾎｰﾙ2
223	2	20		200	検査室3
224	2	20		300	検査室3
225	2	20		400	倉庫
226	2	30		200	換気機械室
227	2	20	ELB	600	男子ﾄｲﾚ
228	2	20	ELB	900	女子ﾄｲﾚ
229	2	20	ELB	70	洗面手洗・男子ﾄｲﾚ
230	2	20	ELB	600	男女共用ﾄｲﾚ
231	2	20	ELB	1260	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ
232	2	20	ELB	600	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ
233	2	20		600	廊下
234	2	20		250	換気扇電源
235	2	20		1440	空調換気扇
	2	20			予備×5回路
			小計	25420	
301	2	30	ELB	5800	栄養指導室調理台IH
302	2	30	ELB	5800	栄養指導室調理台IH
303	2	30	ELB	5800	栄養指導室調理台IH
304	2	30	ELB	5800	栄養指導室調理台IH
305	2	30	ELB	5800	栄養指導室調理台IH
306	2	20		664	GHP室内機
307	2	20		1000	検査室2滅菌庫
308	2	20	ELB	1600	栄養指導室電子ｵｰﾌﾞﾝﾚﾝｼﾞ
309	2	20	ELB	1600	栄養指導調理台電子ｵｰﾌﾞﾝﾚﾝｼﾞ
310	2	20	ELB	1600	栄養指導調理台電子ｵｰﾌﾞﾝﾚﾝｼﾞ
311	2	20	ELB	1600	栄養指導調理台電子ｵｰﾌﾞﾝﾚﾝｼﾞ
312	2	20	ELB	1600	栄養指導調理台電子ｵｰﾌﾞﾝﾚﾝｼﾞ
313	2	20	ELB	1600	栄養指導調理台電子ｵｰﾌﾞﾝﾚﾝｼﾞ
	2	20			予備×3回路
			小計	40264	
A	2	20		1010	電灯発電機回路
	2	20			予備×1回路
			小計	1010	

発電機回路
3L～2L
1.01kVA
CE8-3C
PL
F
ELCB3P
50AF/20AT
■
1L-1へ

分電盤仕様

■ 分電盤凡例

・盤形状　①埋込形　②壁掛形　③自立形　④屋外壁掛形　⑤屋外自立形

・盤名称
5 L － 2 B
添　字：英数字（省略可）
盤番号：数字
用　途　L：分電盤
　　LP：電灯動力盤
　　S：手元開閉器盤
階　B1：地下一階
　　1　一階
　　〃
　　P　PH階

・付加機能記号
ELB ELCB
▲ リモコンリレー
■ 漏電警報付
□ 警報接点付
T タイマー(24時間停電補償付)
WT ウィークリータイマー
（曜日・24時間停電保証付）
MC マグネット
●A 自動点滅器
27 不足電圧リレー
RS 調光T/U
LS 直入れ回路

■ 特記事項（● 印を本工事に適用する）

	項目	標準	特記
分岐回路記号	① 数字	●常用回路(1φ100V)	電灯100番台　ｺﾝｾﾝﾄ回路200番台
	① 数字	●常用回路(1φ200V)	ｺﾝｾﾝﾄ回路300番台
	① 数字	●常用回路(3φ200V)	動力回路400番台
	Ⓐ 英字	●発電回路(1φ100V)	
	Ⓐ 英字	●発電回路(3φ200V)	
	非 漢字	●常用回路(1φ100V)	非常灯電源
	誘 漢字	●常用回路(1φ100V)	誘導灯電源
	火 漢字	●常用回路(1φ100V)	火災報知設備電源
盤仕様	計器	●一般	
	把手・錠	●埋込型　●有	
	函体・塗装	●鋼板製　●指定色	
	扉開き	●800巾まで片開き	
その他	不平衡負荷	●設備不平衡率30%以下	
	ELCB特性	●分岐回路は30mA、0.1秒	○浴室ｺﾝｾﾝﾄ用15mA、0.1秒
	非常用回路	●赤色ストッパー付	
	電力量計	○検定付	○パルス発信付

■ 注記

1. 漏電遮断機回路が組込まれる分電盤には専用の接地端子を設ける。
   ただし、共用接地（2Ω以下）の場合は個別の接地端子は設けないものとする。
2. MCCB1Pにはニュートラスイッチを設けること。
3. 図示する盤には避雷器(SPD)を設ける。
   避雷器仕様：クラスⅡ(JIS C5381-11)準拠
4. 警報は主遮断器漏電警報及び避雷器(SPD)故障を各々一括して警報盤に移報する。
5. 分電盤1L-1に接地極試験用端子x2を設けること。
6. 分電盤の非常照明用しゃ断器には非常用の照明装置である旨の表示を施すこと。
   (S45建告1830号)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第26081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-27
		変更年月日	図面名称 電灯分電盤表(1)(改修後) Scale NS	

改修後

分電盤結線図

3L

②

QB～3L
16.30kVA

CET38
ED 8mm2
ELB 8mm2

PL
F
ELCB3P
225AF/125AT
■

回路	P	MCCB AF/AT	付加機能	容量(VA)	負荷内容
誘	2	20		50	誘導灯電源
101	2	20		470	ﾛﾋﾞｰ･廊下
102	2	20		850	会議室･倉庫3B･運動指導室
103	2	20		510	倉庫･相談室･更衣室･控室
104	2	20		600	ﾄｲﾚ･換気機械室･DS･EPS
非	2	20		10	非常灯電源
	2	20			予備×1回路
			小計	2490	
201	2	20		600	会議室A
202	2	20		600	会議室A
203	2	20		600	会議室B
204	2	20		600	会議室B
205	2	20		600	会議室B
206	2	20		800	運動指導室
207	2	20		200	更衣室
208	2	30		400	控室
209	2	20	ELB	1000	控室電気温水器
210	2	20		400	換気機械室
211	2	20	ELB	600	男子ﾄｲﾚ
212	2	20	ELB	900	女子ﾄｲﾚ
213	2	20	ELB	600	洗面手洗･男子ﾄｲﾚ
214	2	20	ELB	400	男女共用ﾄｲﾚ
215	2	20	ELB	1260	男女共用ﾄｲﾚ
216	2	20	ELB	600	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ
217	2	20	ELB	600	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ
218	2	20		600	ﾛﾋﾞｰ
219	2	20		800	相談室･倉庫
220	2	20		350	換気扇電源
221	2	20		937	空調換気扇
222	2	20		367	空調換気扇
	2	20			予備×4回路
			小計	13814	

発電機回路
4L～3L
0.92kVA
CET14

PL
F
ELCB3P
50AF/20AT
■
2Lへ

回路	P	MCCB AF/AT	付加機能	容量(VA)	負荷内容
A	2	20		920	電灯発電機回路
	2	20			予備×1回路
			小計	920	

4L

②

QB～4L
1.30kVA

CE5.5-3C
ED 2mm2
ELB 2mm2

PL
F
ELCB3P
50AF/20AT
■

回路	P	MCCB AF/AT	付加機能	容量(VA)	負荷内容
101	2	20		1100	電気･換気機械･ELV･ﾎﾞｲﾗｰ
102	2	20	ELB		外部
	2	20			予備×1回路
			小計	1100	
201	2	20	ELB	200	電気･換気機械･ELV･ﾎﾞｲﾗｰ･外部
	2	20			予備×1回路
			小計	200	

発電機回路
QB～4L
0.25kVA
CE5.5-3C

PL
F
ELCB3P
50AF/20AT
■
3Lへ

回路	P	MCCB AF/AT	付加機能	容量(VA)	負荷内容
A	2	20		50	電灯発電機回路
B	2	20		200	電気室ｺﾝｾﾝﾄ
	2	20			予備×1回路
			小計	250	

空調電源盤

②

QB～
空調電源盤
8.69kVA

CE22-2C
ED5.5mm2
ELB 2mm2

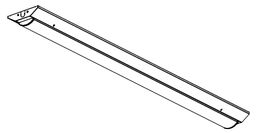
PL
F
■

回路	P	MCCB AF/AT	付加機能	容量(VA)	負荷内容
a	2	50/30	ELB	1330	GHP-A-1
b	2	50/20	ELB	650	GHP-A-3
c	2	50/20	ELB	1800	GHP-H-1
d	2	50/20	ELB	1800	GHP-H-2
e	2	50/20	ELB	1510	GHP-H-3
f	2	50/20	ELB	1600	EHP-A-1
	2				予備ｽﾍﾟｰｽ×1回路
			小計	8690	

| 特記事項 | | | | |

改修後

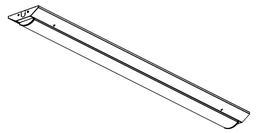
V32　My40形3200固定 V形150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:3200lm 定格消費電力:18.9W 消費効率:169.3lm/W

LSS9-4-30 LN9(AHTN)

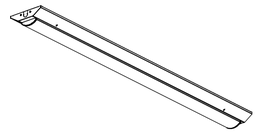
V40　My40形4000固定 V形150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:4000lm 定格消費電力:24.6W 消費効率:162.6lm/W

LSS9-4-37 LN9(AHTN)

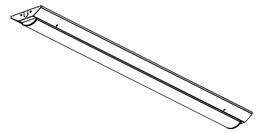
V52　My40形5200固定 V形150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:5200lm 定格消費電力:32.2W 消費効率:161.4lm/W

LSS9-4-48 LN9(AHTN)

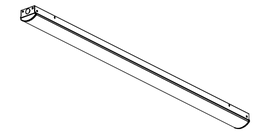
V69　My40形6900固定 V形150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:6900lm 定格消費電力:42.7W 消費効率:161.5lm/W

LSS9-4-65 LN9(AHTN)

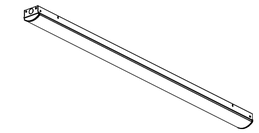
L40　My40形4000固定 トラフ



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:4000lm 定格消費電力:24.6W 消費効率:162.6lm/W

LSS1-4-37 LN9(AHTN)

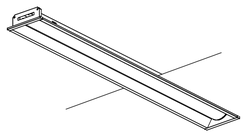
L52　My40形5200固定 トラフ



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:5200lm 定格消費電力:32.2W 消費効率:161.4lm/W

LSS1-4-48 LN9(AHTN)

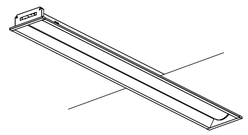
B32　My40形3200固定 埋込150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:3100lm 定格消費電力:18.9W 消費効率:164lm/W
埋込穴:150×1235

LRS6-4-30 LN9(AHTN)

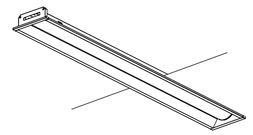
B40　My40形4000固定 埋込150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:3870lm 定格消費電力:24.6W 消費効率:157.3lm/W
埋込穴:150×1235

LRS6-4-37 LN9(AHTN)

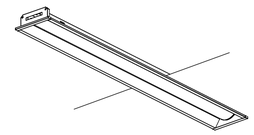
B52　My40形5200固定 埋込150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:5030lm 定格消費電力:32.2W 消費効率:156.2lm/W
埋込穴:150×1235

LRS6-4-48 LN9(AHTN)

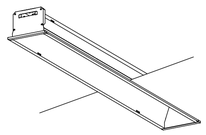
B69　My40形6900固定 埋込150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:6680lm 定格消費電力:42.7W 消費効率:156.4lm/W
埋込穴:150×1235

LRS6-4-65 LN9(AHTN)

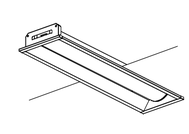
BA69　My40形6900固定 埋込150幅ファインベース+乳白カバー付



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:6040lm 定格消費電力:42.7W 消費効率:149.8lm/W
埋込穴:150×1235
※B31011:乳白カバー付

LRS6SA20-4-60 LN9(AHTN)+B31011

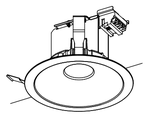
BB32　My20形3200固定 埋込150幅



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
電圧100~242V
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
光束維持時間:40000時間
器具光束:3080lm 定格消費電力:20.6W 消費効率:149.5lm/W

LRS6-2-30 LN9(AHTN)

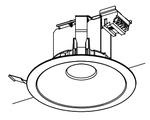
D10　クラス100 50K 一般形MC DLφ150



ダウンライト 昼白色(5000K) Ra83
AC100V~242V共用タイプ
固定出力
光源寿命:40000時間
光束:960lm 消費電力:6.8W 消費効率:141.1lm/W
埋込穴:Φ150

LRS1-08 LN9(AHN)

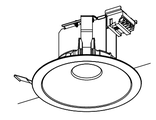
D15　クラス150 50K 一般形MC DLφ150



ダウンライト 昼白色(5000K) Ra83
AC100V~242V共用タイプ
固定出力
光源寿命:40000時間
光束:1580lm 消費電力:11.3W 消費効率:139.8lm/W
埋込穴:Φ150

LRS1-13 LN9(AHN)

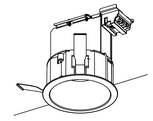
D20　クラス200 50K 一般形MC DLφ150



ダウンライト 昼白色(5000K) Ra83
AC100V~242V共用タイプ
固定出力
光源寿命:40000時間
光束:1940lm 消費電力:13.7W 消費効率:141.6lm/W
埋込穴:Φ150

LRS1-17 LN9(AHN)

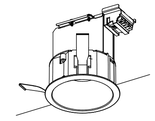
DA06　クラス60 50K 深枠MC DLφ100



ダウンライト 昼白色(5000K) Ra83
AC100V~242V共用タイプ
固定出力
光源寿命:40000時間
光束:550lm 消費電力:4.4W 消費効率:125.0lm/W
埋込穴:Φ100

LRS1-05 LN9(AHN)

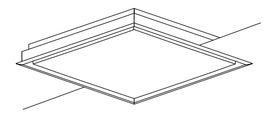
DB15　クラス150 35K 深枠MC DLφ100



ダウンライト 温白色(3500K) Ra83
AC100V~242V共用タイプ
固定出力
光源寿命:40000時間
光束:1310lm 消費電力:11.3W 消費効率:115.9lm/W
埋込穴:Φ100

三菱 EL-D22/1(152WWM) AHN

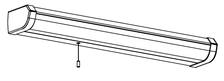
SK60　My600調光 □450埋込フラット形



Myシリーズ 昼白色(5000K) Ra85
100V~242V共用タイプ
連続調光 25~100
本体:鋼板・白色仕上
光源寿命:40,000時間
光束:5870lm 消費電力:35W 消費効率:167.7lm/W
埋込穴:□450

LRS15-4-58 LX9(AHTX)

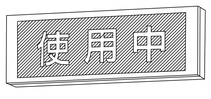
FV20　LEDランプ搭載 キッチンライト



直管形LEDﾗﾝﾌﾟ搭載ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ Ra83
本体:鋼板 白色塗装仕上
光源寿命:40,000時間

三菱 EL-LFV20051 1HN(13N4)

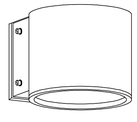
使用中　表示灯(使用中)　LED6W



昼白色、５０００Ｋ、Ｒａ７５
壁・天井面取付兼用
枠：プラスチック（クールホワイトつや消し仕上）
光束維持時間４００００時間（光束維持率７０%）

ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ NNF11930LE1+FK11531

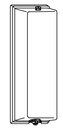
WV10　LEDクラス100 ブラケットWP



エクステリア 昼白色(5000K) Ra83
100V~242V共用タイプ
本体:アルミ 黒色塗装仕上
光源寿命:40,000時間(光束維持率85%)
光束:960lm 消費電力:6.8W 消費効率:141.1lm/W

三菱 EL-WV1010AN/K AHN

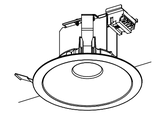
WV04　LEDクラス40 ブラケットWPセンサー付



ポーチ灯 壁面取付専用[軒下用]
人感センサ マルチタイプ
昼白色(5000K) Ra82 電圧100V
本体:高耐食性めっき鋼板
光束維持時間:40,000時間
器具光束:470lm 定格消費電力:7.4W 消費効率:63.5lm/W

三菱 EL-V0300AN 1LN

WD25　クラス250 50K 一般形MC DLφ150WP+ﾘﾆｭｰｱﾙﾌﾟﾚｰﾄ



ダウンライト 昼白色(5000K) Ra83
AC100V~242V共用タイプ
固定出力
軒下用 防雨形
光源寿命:40000時間
光束:2250lm 消費電力:16.3W 消費効率:138.0lm/W
埋込穴:Φ150

三菱 EL-WV01/3(52NM) AHN
EL-X0054(ﾘﾆｭｰｱﾙﾌﾟﾚｰﾄ)

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-29
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 照明器具参考姿図(改修後) Scale NS	

改修後

レントゲン室
B40× 4

レントゲン準備室
B52× 1
使用中× 1

更衣室1･2
B40× 2
使用中× 2

検診ホール1
SK60×13

風除室
SK60× 2

ホール
BB32× 7
SK60× 3

階段下倉庫
L40× 1

換気機械室
L40× 4

外部壁面
WV10× 8

外部軒下
WD25×16

外部職員出入口
WV04× 1

「使用中」照明のSW

※(101)～ 100V電灯回路は1L-1盤へ

※(228) 自動ﾄﾞｱ回路は1L-1盤へ

倉庫1A
V52× 2

健康相談室
B32× 6

器材庫
V52× 2

DS
L40× 2

女子ﾄｲﾚ
D15× 5
DA06× 2

男子ﾄｲﾚ
D15× 4
DA06× 4

SK･汚物処理室
V40× 2

EPS
L40× 1

静養室
B40× 1

※1 ｸ3ｻ3ｾ3 ｹ3ｼ ｿ3 ｺ3ｽ3

※(151) 100V電灯回路は事務所内1L-2盤へ

倉庫1B
V52× 2

ｼｽﾃﾑ管理室
B69× 1

保健ｾﾝﾀｰ
B69×22
DA06× 4

面談室1･2･3
B52× 3

湯沸室
FV20× 1
V32× 1

健康づくり支援課
B69× 8

ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ
B69× 1

資料室
V32× 6

ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰWC
D20× 2

凡 例

記 号	名 称
●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×1 新金P共
●3	埋込ｽｲｯﾁ 3W15A×1 新金P共
●4	埋込ｽｲｯﾁ 4W15A×1 新金P共
●✓	埋込ｽｲｯﾁ LED調光 新金P共
●RA	埋込ｽｲｯﾁ 操作ﾕﾆｯﾄ 新金P共
●AD	埋込ｽｲｯﾁ 自動ﾄﾞｱ 新金P共
S/A	人感ｾﾝｻｰ 8A 親器
S/B	人感ｾﾝｻｰ 子器
S/C	人感ｾﾝｻｰ 換気扇連動 子器
S/F	人感ｾﾝｻｰ 照明+換気扇連動
▨	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1連新金ｶﾊﾞｰP共
□MM.B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用
⊠P.B1515S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 150□×150 SUS製
MMA	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型
※	既設打込配管流用
═══	ﾚｰｽｳｪｲ 40×30 EEF1.6-3C
---▨---	φ25-150L 穴空け
▨	照明斜線部発電機回路兼用
●L	EM-EEF1.6-2C･3C埋込ｺﾝｾﾝﾄ ｺﾛｶﾞｼ
2F3 ●L	EM-EEF2.0-2C･3C埋込ｺﾝｾﾝﾄ ｺﾛｶﾞｼ
2F5 ●H	EM-EEF2.0-2C+3Cｼｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ ｺﾛｶﾞｼ
1.6 ●T	EM-IE1.6×3電話受口 管内
2.0 ●LAN	EM-IE2.0×3LAN受口 管内
2.0 ●TV	EM-IE2.0×5ﾃﾚﾋﾞ受口 管内
@	@EM-EEF1.6-2C･3Cの組合せ
(例) 7	EM-EEF1.6-2C×2+3C×1
(例) 8	EM-EEF1.6-2C×1+3C×2

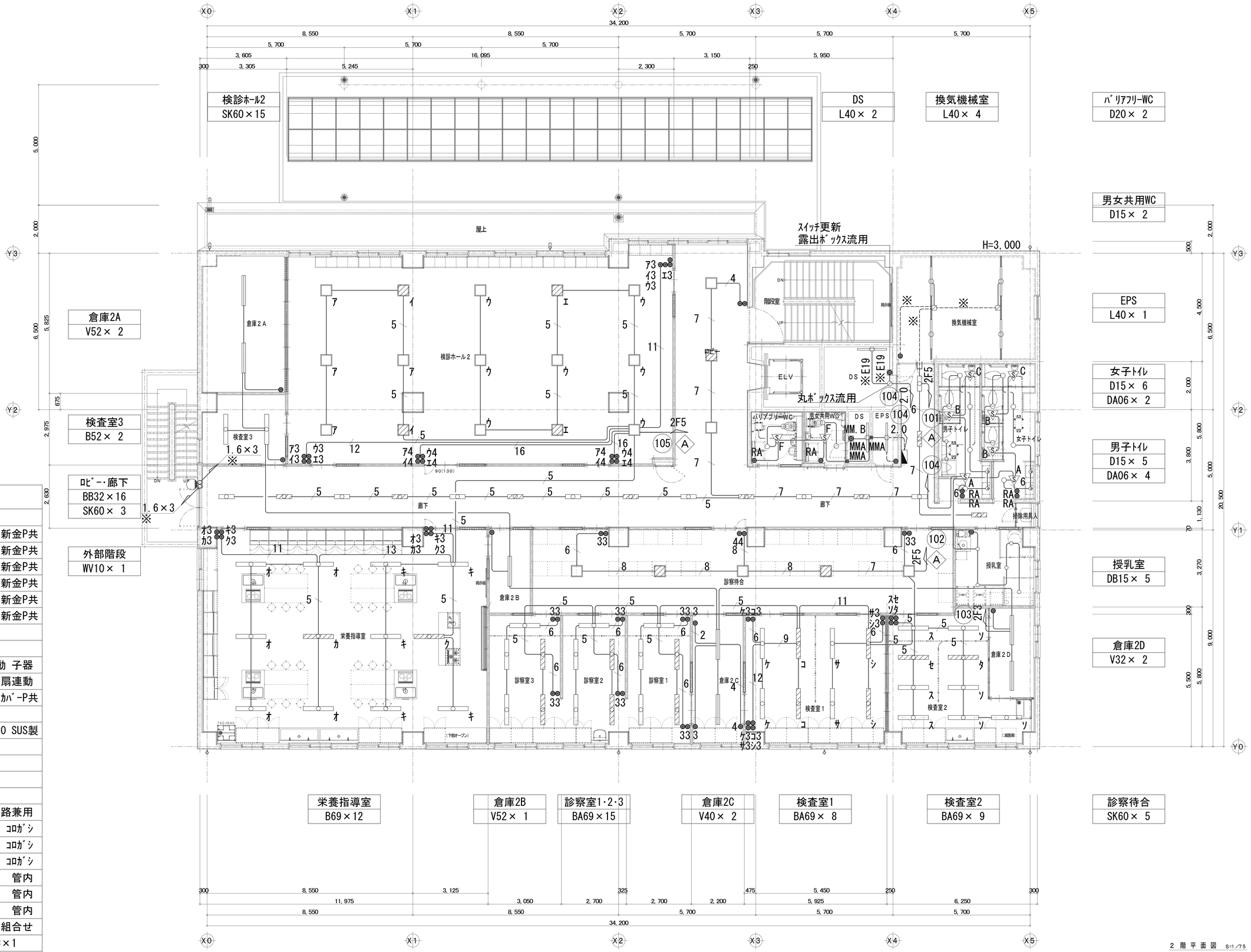
1 階 平 面 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱	R 8. 1.30	狭山市保健センター改修工事	E-30
		変更年月日 R 7.00.00	図面名称 電灯設備 1階平面図（改修後） Scale 1/75	

改修後



凡 例

記 号	名 称
●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×1 新金P共
●3	埋込ｽｲｯﾁ 3W15A×1 新金P共
●4	埋込ｽｲｯﾁ 4W15A×1 新金P共
◎	埋込ｽｲｯﾁ LED調光 新金P共
●RA	埋込ｽｲｯﾁ 操作ﾕﾆｯﾄ 新金P共
●AD	埋込ｽｲｯﾁ 自動ﾄﾞｱ 新金P共
S A	人感ｾﾝｻｰ 8A 親器
S B	人感ｾﾝｻｰ 子器
S C	人感ｾﾝｻｰ 換気扇連動 子器
S F	人感ｾﾝｻｰ 照明+換気扇連動
⊘	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1連新金ｶﾊﾞｰP共
□MM. B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用
⊠P. B1515S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 150□×150 SUS製
MMA	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型
※	既設打込配管流用
	ﾚｰｽｳｪｲ
φ25-150L	φ25-150L 穴空け
	照明斜線部発電機回路兼用
	EM-EEF1.6-3C ｺﾛｶﾞｼ
2F3	EM-EEF2.0-3C ｺﾛｶﾞｼ
2F5	EM-EEF2.0-2C+3C ｺﾛｶﾞｼ
1.6	EM-IE1.6×3 管内
2.0	EM-IE2.0×3 管内
2.0	EM-IE2.0×5 管内
@	@EM-EEF1.6-2C･3Cの組合せ
(例) 7	EM-EEF1.6-2C×2+3C×1
(例) 8	EM-EEF1.6-2C×1+3C×2

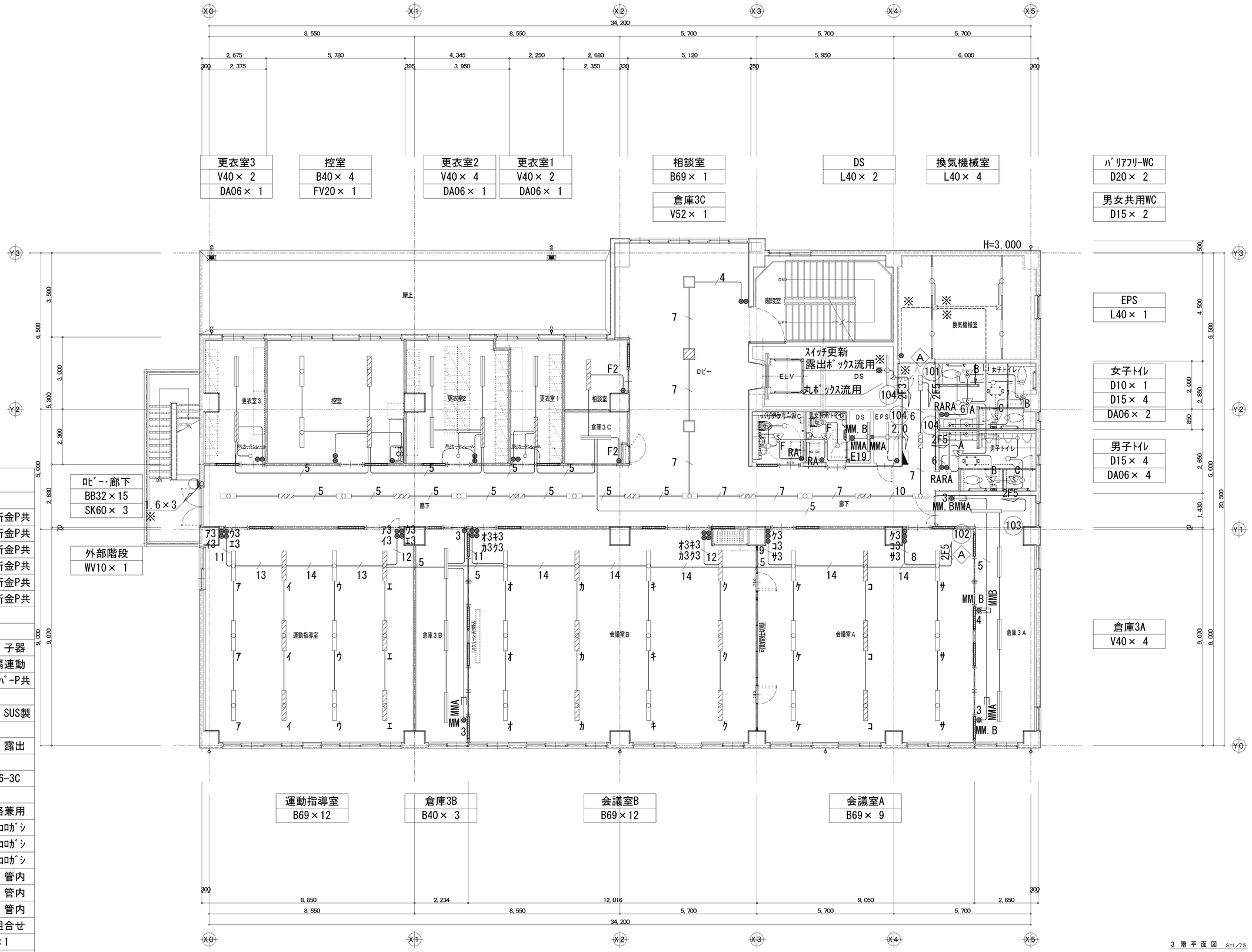
2 階 平 面 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第26081号 齋 藤 出

検 印	設 計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-31
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 電灯設備 2階平面図（改修後） Scale 1/75	

改修後



凡　例

記　号	名　　称
●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×1 新金P共
●3	埋込ｽｲｯﾁ 3W15A×1 新金P共
●4	埋込ｽｲｯﾁ 4W15A×1 新金P共
●LED	埋込ｽｲｯﾁ LED調光 新金P共
●RA	埋込ｽｲｯﾁ 操作ﾕﾆｯﾄ 新金P共
●AD	埋込ｽｲｯﾁ 自動ﾄﾞｱ 新金P共
S A	人感ｾﾝｻｰ 8A 親器
S B	人感ｾﾝｻｰ 子器
S C	人感ｾﾝｻｰ 換気扇連動 子器
S F	人感ｾﾝｻｰ 照明+換気扇連動
▨	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1連新金ｶﾊﾞｰP共
□MM. B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用
⊠P. B1515S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 150□×150 SUS製
MMA・B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A・B型
E19	電線管 E19 露出
※	既設打込配管流用
	ﾚｰｽｳｪｲ 40×30 EEF1.6-3C
φ	φ25-150L 穴空け
	照明斜線部発電機回路兼用
	EM-EEF1.6-3C コロｶﾞｼ
2F3	EM-EEF2.0-3C コロｶﾞｼ
2F5	EM-EEF2.0-2C+3C コロｶﾞｼ
1.6	EM-IE1.6×3 管内
2.0	EM-IE2.0×3 管内
2.0	EM-IE2.0×5 管内
@	@EM-EEF1.6-2C・3Cの組合せ
(例) 7	EM-EEF1.6-2C×2+3C×1
(例) 8	EM-EEF1.6-2C×1+3C×2

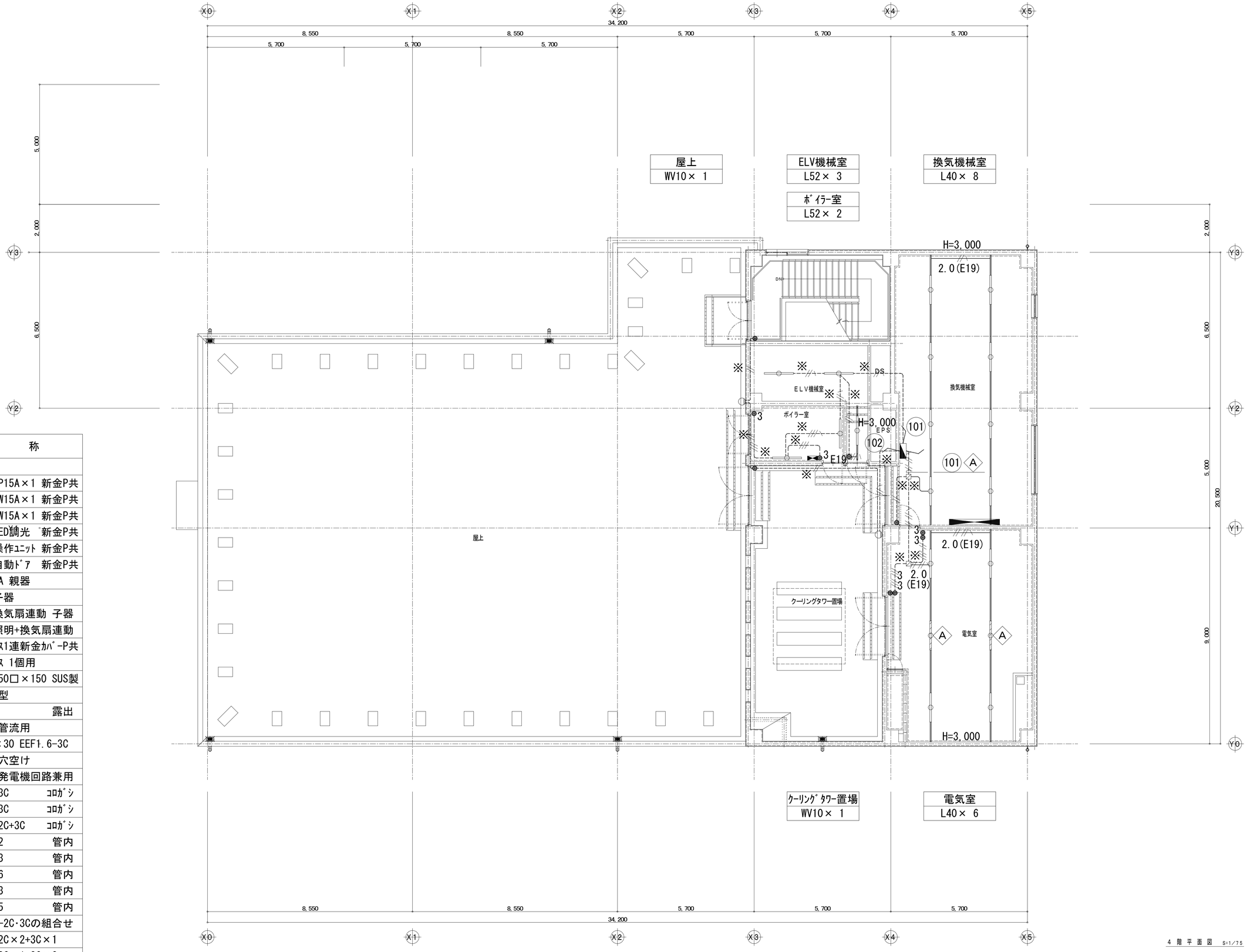
3 階 平 面 図　S=1／75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	斎藤	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-32
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 電灯設備 3階平面図（改修後） Scale 1／75	

改修後



4 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

記 号	名 称
●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×1 新金P共
●3	埋込ｽｲｯﾁ 3W15A×1 新金P共
●4	埋込ｽｲｯﾁ 4W15A×1 新金P共
◎	埋込ｽｲｯﾁ LED調光 新金P共
●RA	埋込ｽｲｯﾁ 操作ﾕﾆｯﾄ 新金P共
●AD	埋込ｽｲｯﾁ 自動ﾄﾞｱ 新金P共
S A	人感ｾﾝｻｰ 8A 親器
S B	人感ｾﾝｻｰ 子器
S C	人感ｾﾝｻｰ 換気扇連動 子器
S F	人感ｾﾝｻｰ 照明+換気扇連動
▨	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1連新金ｶﾊﾞｰP共
□ MM.B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用
⊠ P.B1515S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 150□×150 SUS製
MMA・B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A・B型
E19	電線管 E19 露出
※	既設打込配管流用
	ﾚｰｽｳｪｲ 40×30 EEF1.6-3C
▨ φ25-150L	φ25-150L 穴空け
▨	照明斜線部発電機回路兼用
	EM-EEF1.6-3C ｺﾛｶﾞｼ
2F3	EM-EEF2.0-3C ｺﾛｶﾞｼ
2F5	EM-EEF2.0-2C+3C ｺﾛｶﾞｼ
1.6	EM-IE1.6×2 管内
1.6	EM-IE1.6×3 管内
1.6	EM-IE1.6×6 管内
2.0	EM-IE2.0×3 管内
2.0	EM-IE2.0×5 管内
@	@EM-EEF1.6-2C・3Cの組合せ
(例) 7	EM-EEF1.6-2C×2+3C×1
(例) 8	EM-EEF1.6-2C×1+3C×2

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印 齋藤出 設計 濱口

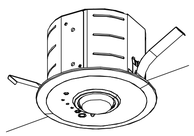
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日 R 7. 00. 00

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 電灯設備 4階平面図（改修後）
Scale 1/75

No. E-33

改修後

a09 LED ダウンライト非常灯BT付低天井φ100



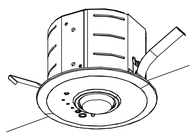
蓄電池内蔵形・LED光源
リモコン自己点検機能タイプ
非常用照明器具型式評定番号:LALE-013
本体:鋼板・亜鉛めっき鋼板
消費電力:1.0W
二種ビニル絶縁電線 架橋ポリエチレン絶縁電線
ニッケル水素蓄電池

K1-LRS11-1

ランプ LED221lm

光束 221 lm		光束比 100.00 %			保守率 0.93		露下巾 2.00 m		照度範囲 2.00 lx	
器具高さ(m)		2.1	2.4	2.6	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	
単体配置	A1	3.9	4.0	4.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
直線配置	A2	8.8	9.6	10.1	10.2	7.9	2.1	0.0	0.0	
四角配置	A4	6.9	7.7	8.2	9.1	8.9	8.4	6.5	3.2	
	A0	2.9	3.1	3.1	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	

a13 LED ダウンライト非常灯BT付低天井φ100



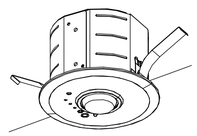
蓄電池内蔵形・LED光源
リモコン自己点検機能タイプ
非常用照明器具型式評定番号:LALE-013
本体:鋼板・亜鉛めっき鋼板
消費電力:1.0W
二種ビニル絶縁電線 架橋ポリエチレン絶縁電線
ニッケル水素蓄電池

K1-LRS11-2

ランプ LED252lm

光束 252 lm		光束比 100.00 %			保守率 0.93		露下巾 2.00 m		照度範囲 2.00 lx	
器具高さ(m)		2.1	2.4	2.6	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	
単体配置	A1	4.3	4.7	4.9	5.1	3.4	0.0	0.0	0.0	
直線配置	A2	9.3	10.4	11.0	12.2	12.9	10.2	5.0	0.0	
四角配置	A4	7.2	8.0	8.6	9.6	11.9	11.3	10.8	9.9	
	A0	3.2	3.4	3.6	3.8	2.5	0.0	0.0	0.0	

a31 LED ダウンライト非常灯BT付中天井φ100



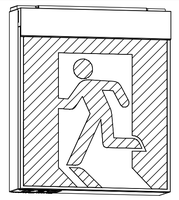
蓄電池内蔵形・LED光源
リモコン自己点検機能タイプ
非常用照明器具型式評定番号:LALE-014
本体:鋼板・亜鉛めっき鋼板
消費電力:1.4W
二種ビニル絶縁電線 架橋ポリエチレン絶縁電線
ニッケル水素蓄電池

K1-LRS11-3

ランプ LED998lm

光束 998 lm		光束比 100.00 %			保守率 0.93		露下巾 2.00 m		照度範囲 2.00 lx	
器具高さ(m)		2.1	2.4	2.6	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	
単体配置	A1	5.6	6.1	6.4	7.0	8.0	8.7	6.5	0.0	
直線配置	A2	11.6	13.1	14.0	15.7	19.1	21.4	22.8	15.1	
四角配置	A4	8.6	9.7	10.4	11.9	15.1	17.8	19.9	17.6	
	A0	4.0	4.5	4.8	5.2	6.0	6.1	5.3	0.0	

Xc1 LED誘導灯C級片面直付



高輝度誘導灯ルクセントLEDs 壁・天井直付形・吊下兼用形
本体:プラスチック・白色仕上(マンセルNo.N9.0)
誘導灯型式認定番号:1AS111-3558

SH1-FSF20-C 1EL

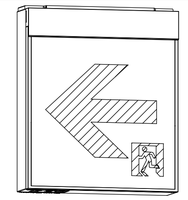
WXc1 LED誘導灯C級片面直付WP



高輝度誘導灯ルクセントLEDs 天井直付形・吊下兼用形
本体:プラスチック・白色仕上(マンセルNo.N9.0)
誘導灯型式認定番号:1AS111-3483

三菱 WSH1951B 1EL+SI-1081S

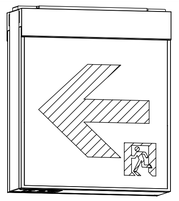
Yc1 LED誘導灯C級片面直付



高輝度誘導灯ルクセントLEDs 壁・天井直付形・吊下兼用形
本体:プラスチック・白色仕上(マンセルNo.N9.0)
誘導灯型式認定番号:1AS111-3558

ST1-FSF22-C 1EL

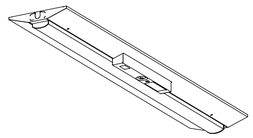
Yc2 LED誘導灯C級両面直付



高輝度誘導灯ルクセントLEDs 壁・天井直付形・吊下兼用形
本体:プラスチック・白色仕上(マンセルNo.N9.0)
誘導灯型式認定番号:1AS221-3559

ST1-FSF23-C 1EL

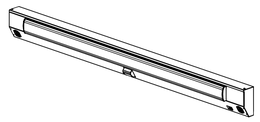
k32 My40形3200固定 V形230幅非常灯



Mysシリーズ 非常用照明器具 昼白色(5000K) Ra83
電圧100～242V
段調光機能付
ハイブリッドナノコーティング(ホコリ,すす汚れ防止)ライトユニット
評定番号:LALE-022 誘導灯型式認定番号:3AE-1077
二種ビニル絶縁電線 架橋ポリエチレン絶縁電線 Ni-MH蓄電池
器具光束:3170lm 定格消費電力:20.5W 消費効率:154.61m/W

K1-LSS10-4-30(AHTN)

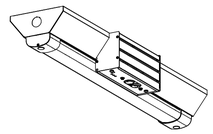
kb32 My40形3200固定 階段通路誘導灯



Mysシリーズ 昼白色(5000K) Ra83
階段通路誘導灯兼用形センサ付
100V~242V共用タイプ
段調光機能付
非常用照明器具型式評定番号:LALE-030 誘導灯型式認定番号:3AE-1074
二種ビニル絶縁電線 架橋ポリエチレン絶縁電線 Ni-MH蓄電池
器具光束:3200lm 定格消費電力:21.3W 消費効率:150.21m/W

LDS2-SK1-LBF11 LN9(AHTN)

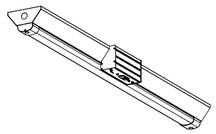
k16w My20形1600固定 V形150幅非常灯WP



Mysシリーズ 昼白色(5000K) Ra85
100~242V共用タイプ
段調光機能付
非常用照明器具型式評定番号:LALE-047 誘導灯型式認定番号:3AE-1088
二種ビニル絶縁電線 架橋ポリエチレン絶縁電線 Ni-MH蓄電池
器具光束:1530lm 定格消費電力:13.1W 消費効率:116.71m/W

三菱 MY-WVH215430A/N AHTN

k32w My40形3200固定 V形150幅非常灯WP



Mysシリーズ 昼白色(5000K) Ra85
100~242V共用タイプ
段調光機能付
非常用照明器具型式評定番号:LALE-047 誘導灯型式認定番号:3AE-1088
二種ビニル絶縁電線 架橋ポリエチレン絶縁電線 Ni-MH蓄電池
器具光束:3070lm 定格消費電力:22.9W 消費効率:134lm/W

三菱 MY-WVH430430A/N AHTN

- ワイヤレスリモコン



三菱 RZB03

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

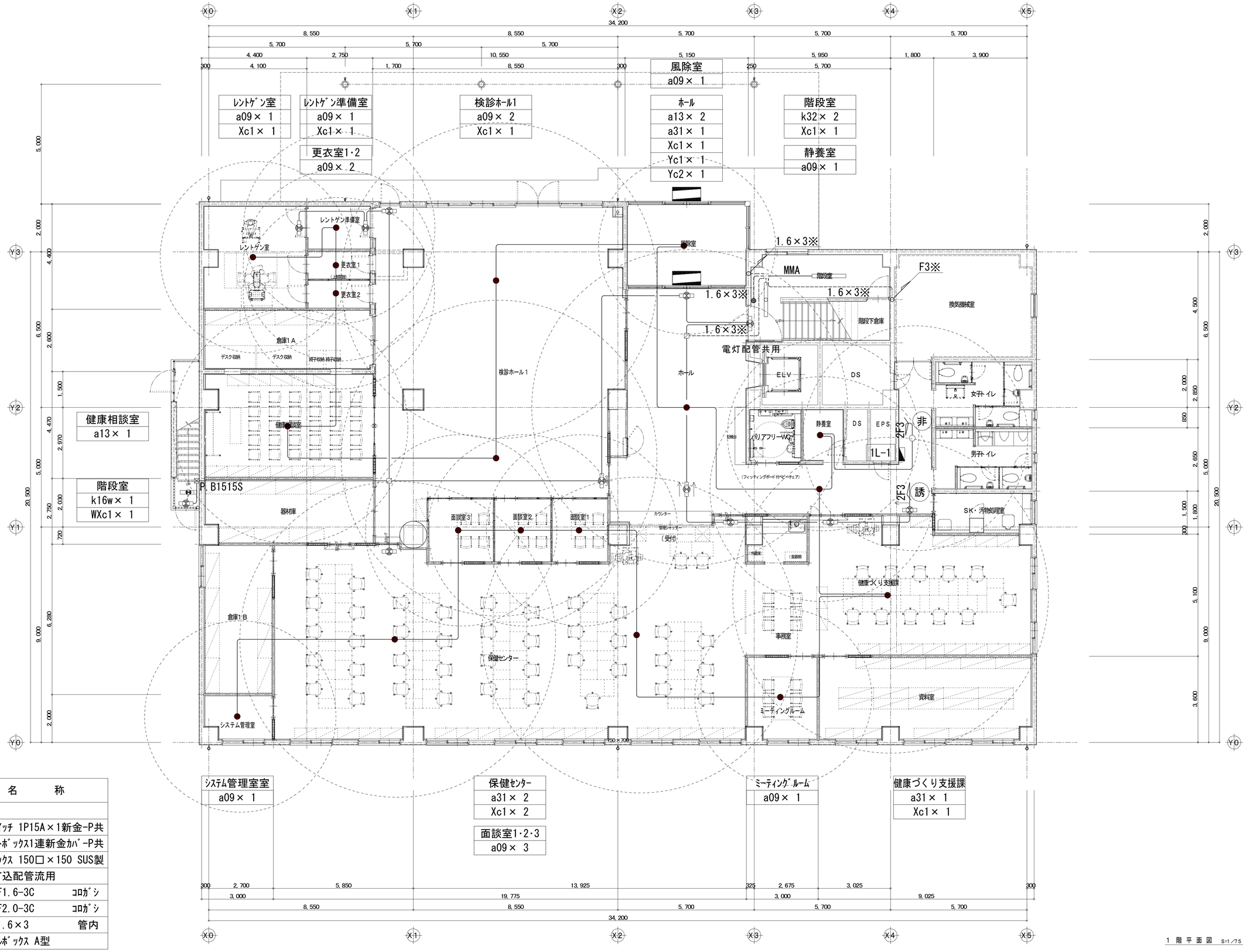
検印 齋藤出
設計 齋藤

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日 R 7. 00. 00

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 防災照明参考姿図(改修後)
Scale NS

No. E-34

改修後



凡　例	

記　号	名　　称	
●	埋込ｽｲｯﾁ 1P15A×1新金-P共	
▨	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1連新金ｶﾊﾞｰP共	
⊠P.B1515S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 150□×150 SUS製	
---------※	既設打込配管流用	
————	EM-EEF1.6-3C	ｺﾛｶﾞｼ
——2F3	EM-EEF2.0-3C	ｺﾛｶﾞｼ
——1.6×3	EM-IE1.6×3	管内
——MMA	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ A型	

システム管理室室
a09× 1

保健ｾﾝﾀｰ
a31× 2
Xc1× 2

面談室1･2･3
a09× 3

ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ
a09× 1

健康づくり支援課
a31× 1
Xc1× 1

1 階 平 面 図　S=1／75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計
斎藤出	濱口

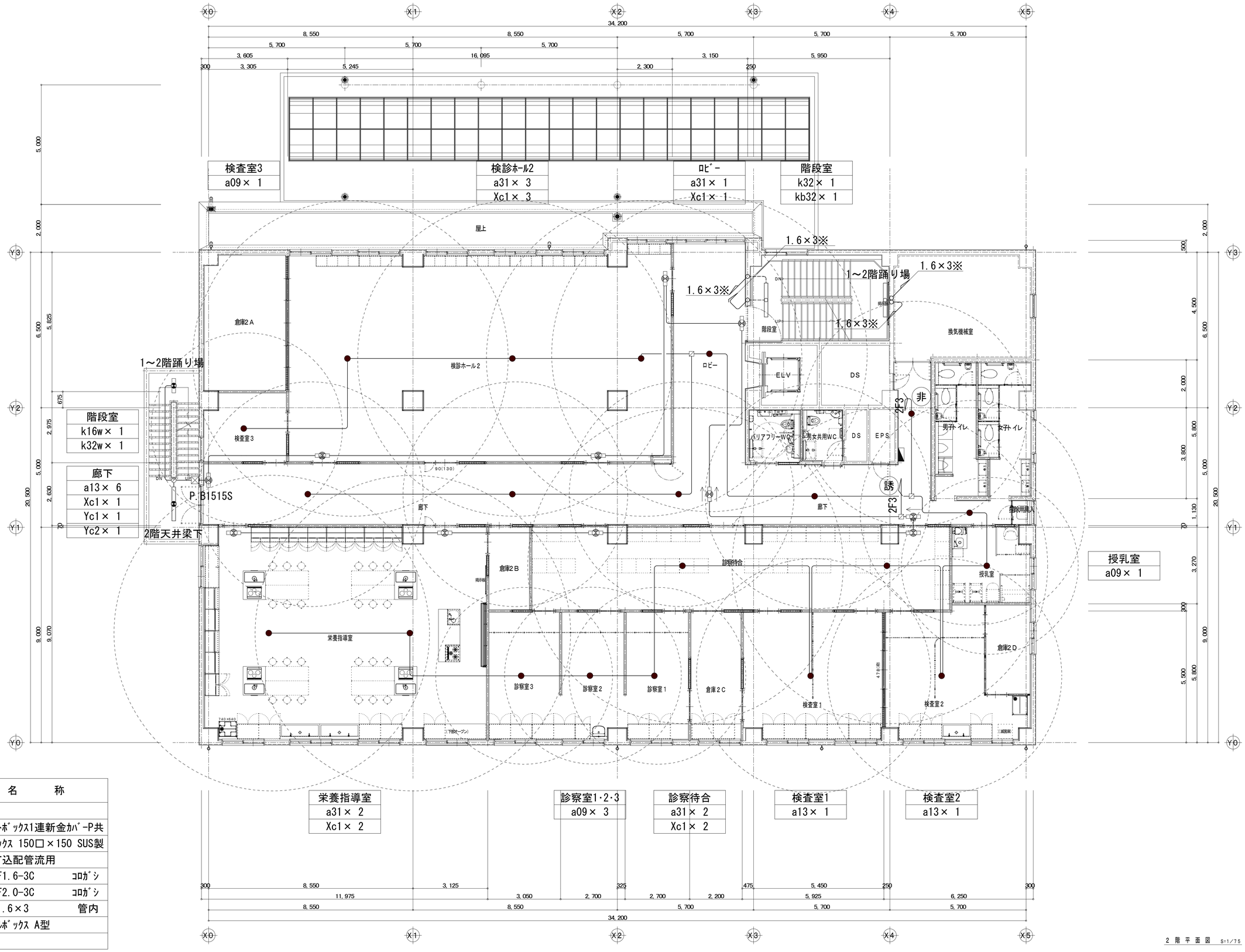
設計年月日	R 8. 1.30
変更年月日	R 7.00.00

工事名称　狭山市保健センター改修工事

図面名称　防災照明設備 1階平面図（改修後）　Scale 1／75

No. E-35

改修後



凡　例

記　号	名　　称	
▽	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1連新金ｶﾊﾞｰP共	
☒P.B1515S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 150□×150 SUS製	
---------※	既設打込配管流用	
————	EM-EEF1.6-3C	ｺﾛｶﾞｼ
——2F3	EM-EEF2.0-3C	ｺﾛｶﾞｼ
——1.6×3	EM-IE1.6×3	管内
——MMA	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ A型	

2階平面図　S=1/75

特記事項

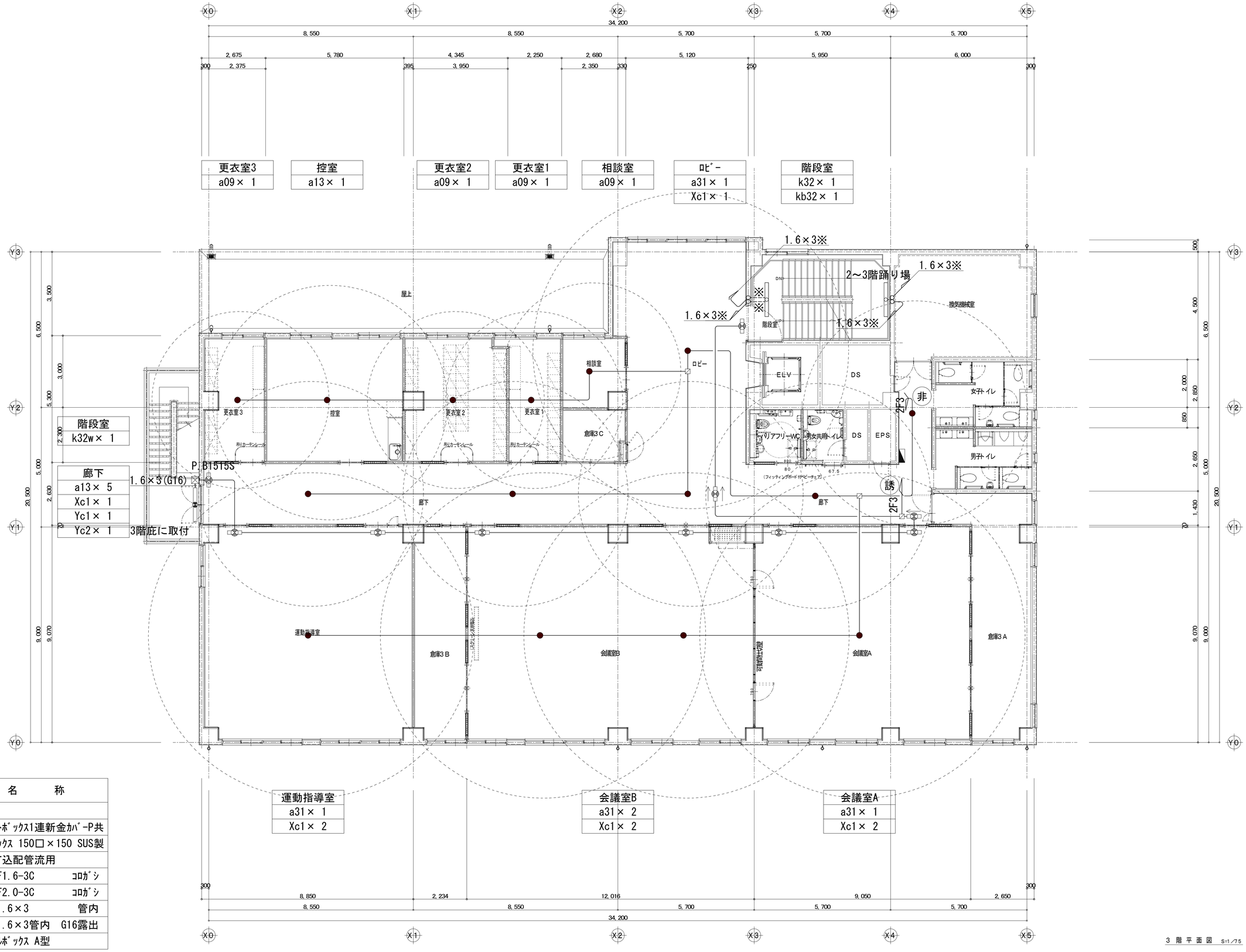
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計
齋藤出	濱

設計年月日 R 8. 1.30
変更年月日 R 7.00.00

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 防災照明設備 2階平面図（改修後）
Scale 1/75
No. E-36

改修後



凡 例

記 号	名 称
☐	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ1連新金ｶﾊﾞｰP共
☒P.B1515S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 150□×150 SUS製
------※	既設打込配管流用
————	EM-EEF1.6-3C ｺﾛｶﾞｼ
——2F3	EM-EEF2.0-3C ｺﾛｶﾞｼ
——1.6×3	EM-IE1.6×3 管内
1.6×3(G16)	EM-IE1.6×3管内 G16露出
——MMA	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ A型

3 階 平 面 図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

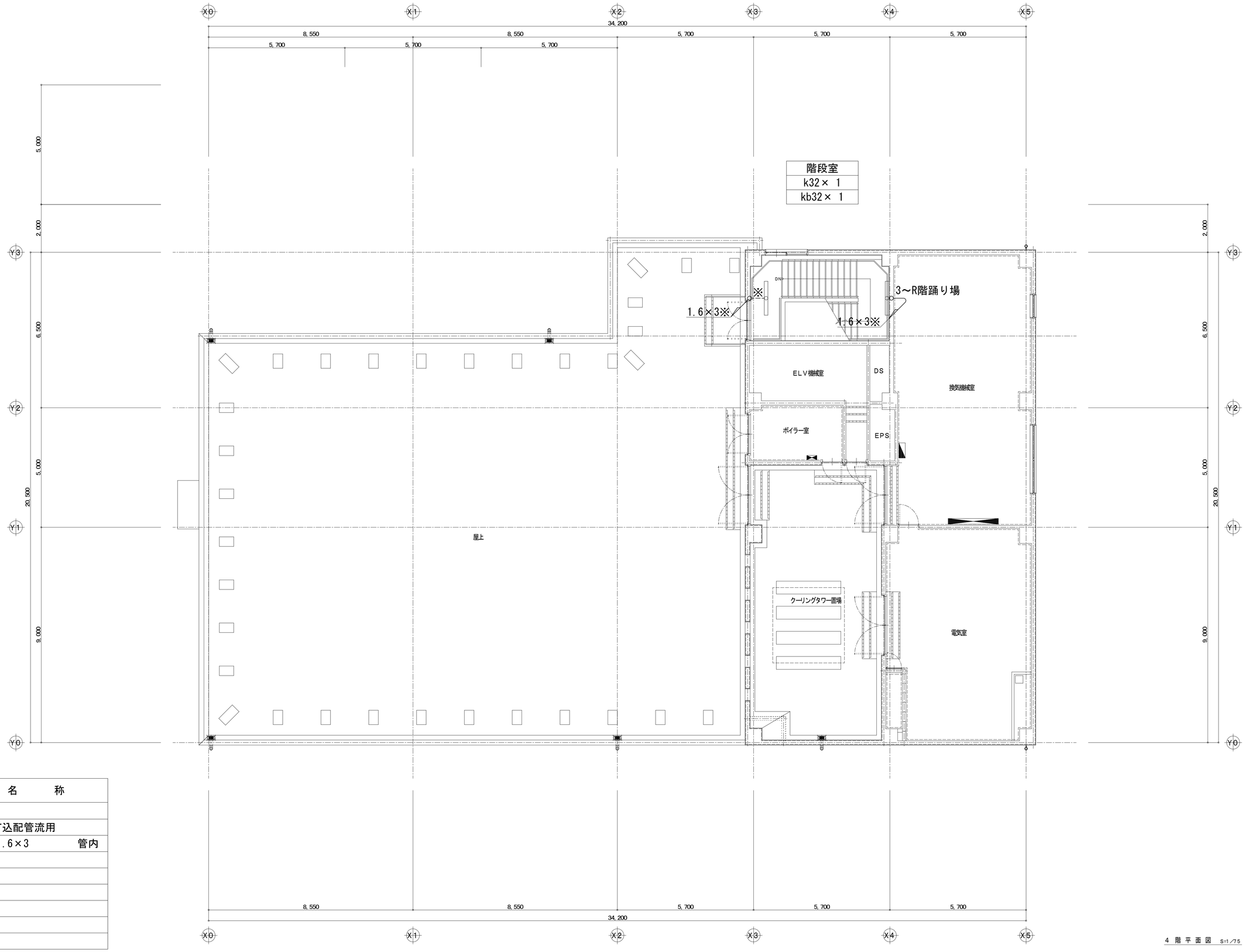
検印 齋藤出 設計 濱口

設計年月日 R 8. 1.30
変更年月日 R 7.00.00

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 防災照明設備 3階平面図（改修後） Scale 1/75

No. E-37

改修後



凡　例

記　号	名　　称
※	既設打込配管流用
1.6×3	EM-IE1.6×3　　管内

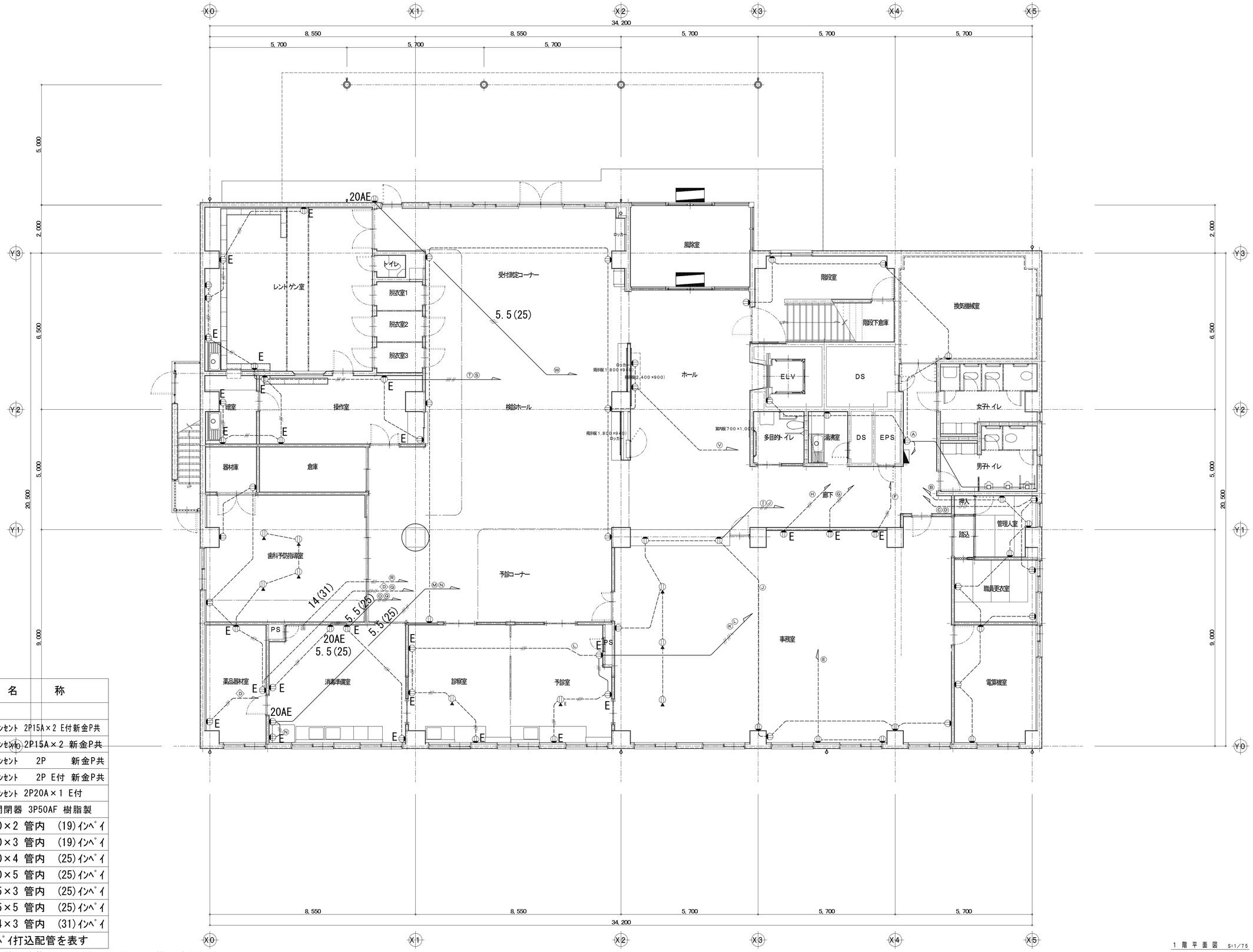
4 階 平 面 図　S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	斉藤	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-38
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 防災照明設備 4階平面図（改修後） Scale 1/75	

改修前



凡　例

記　号	名　　称
E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 E付新金P共
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 新金P共
	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2P 新金P共
E	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2P E付 新金P共
20AE	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P20A×1 E付
S	手元開閉器 3P50AF 樹脂製
————	IV2.0×2 管内 (19)ｲﾝﾍﾟｲ
————	IV2.0×3 管内 (19)ｲﾝﾍﾟｲ
————	IV2.0×4 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
————	IV2.0×5 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
5.5(25)	IV5.5×3 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
5.5(25)	IV5.5×5 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
14(25)	IV 14×3 管内 (31)ｲﾝﾍﾟｲ
----------	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す

※配線器具，電線，配管は全撤去とし，床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

1 階 平 面 図　S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

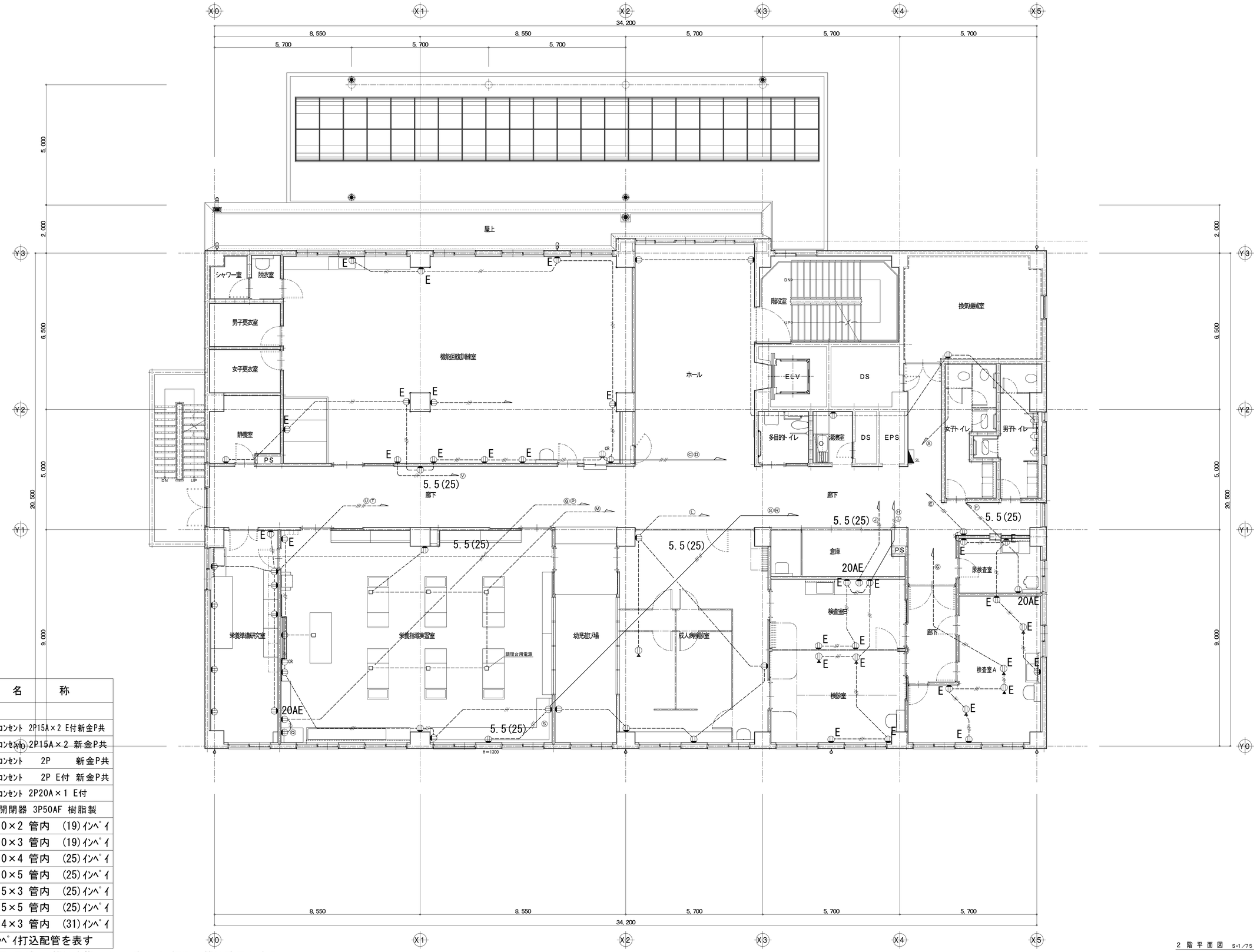
検印 斉藤出　設計 濱口

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 コンセント設備 1階平面図(改修前)
Scale 1/75

No. E-39

改修前



凡　例

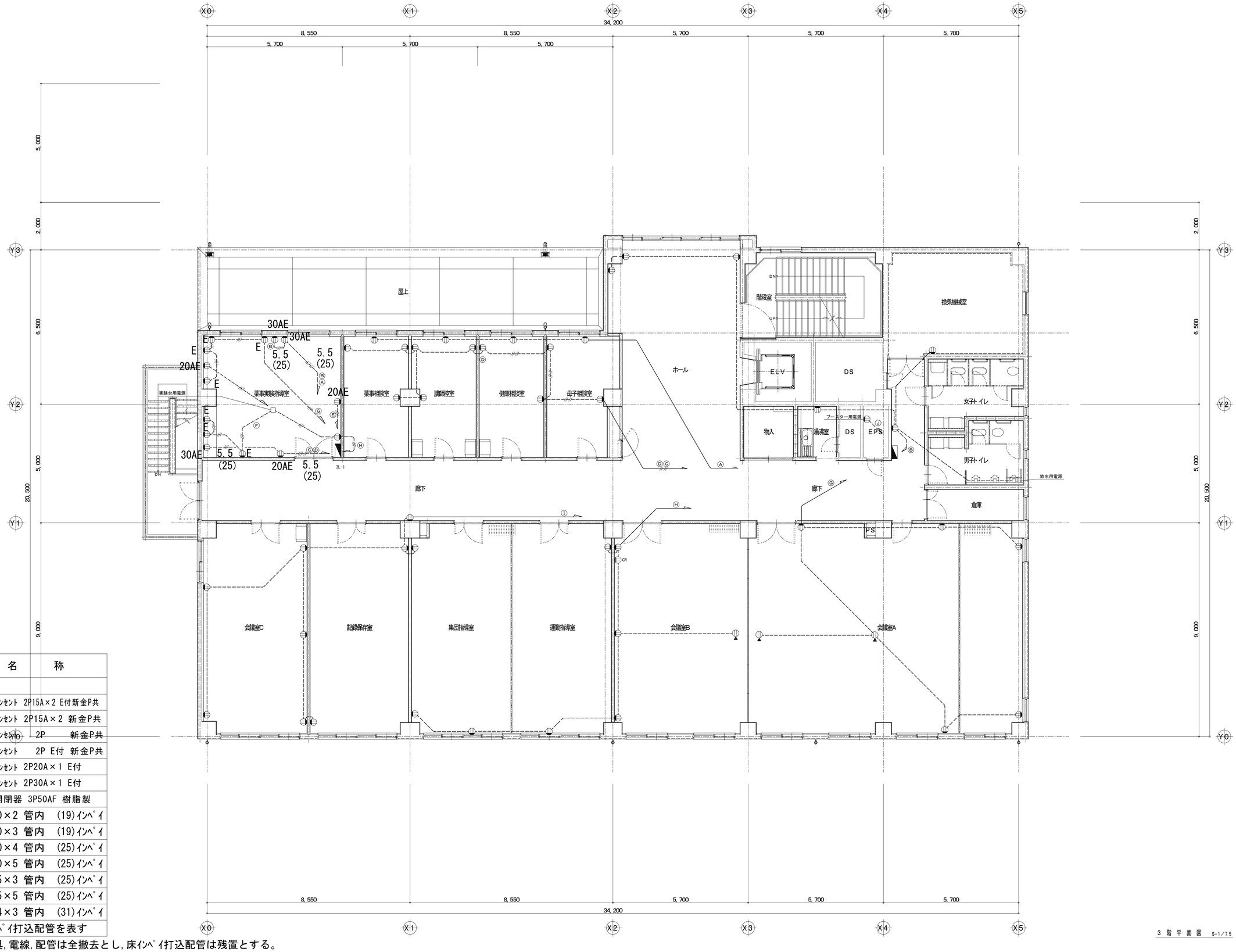
記　号	名　　称
E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 E付新金P共
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 新金P共
	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2P 新金P共
E	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2P E付 新金P共
20AE	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P20A×1 E付
S	手元開閉器 3P50AF 樹脂製
————	IV2.0×2 管内 (19)ｲﾝﾍﾟｲ
————	IV2.0×3 管内 (19)ｲﾝﾍﾟｲ
————	IV2.0×4 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
————	IV2.0×5 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
5.5(25)	IV5.5×3 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
5.5(25)	IV5.5×5 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
14(31)	IV 14×3 管内 (31)ｲﾝﾍﾟｲ
----------	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す

※特記なき配線器具，電線，配管は全撤去とし，床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

2 階 平 面 図　S=1／75

特記事項		斉藤出建築設計室	検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
		一級建築士 第26081号 齋藤 出	齋藤出	濱	R 8．1．30	狭山市保健センター改修工事	E-40
					変更年月日	図面名称 コンセント設備 2階平面図(改修前) Scale 1／75	

改修前



凡　例

記　号	名　　称
E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 E付新金P共
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 新金P共
	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2P 新金P共
E	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2P E付 新金P共
20AE	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P20A×1 E付
30AE	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P30A×1 E付
S	手元開閉器 3P50AF 樹脂製
————	IV2.0×2 管内 (19)ｲﾝﾍﾟｲ
———//———	IV2.0×3 管内 (19)ｲﾝﾍﾟｲ
———//———	IV2.0×4 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
———//———	IV2.0×5 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
5.5(25)	IV5.5×3 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
5.5(25)	IV5.5×5 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
14(31)	IV 14×3 管内 (31)ｲﾝﾍﾟｲ
----------	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す

※特記なき配線器具,電線,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

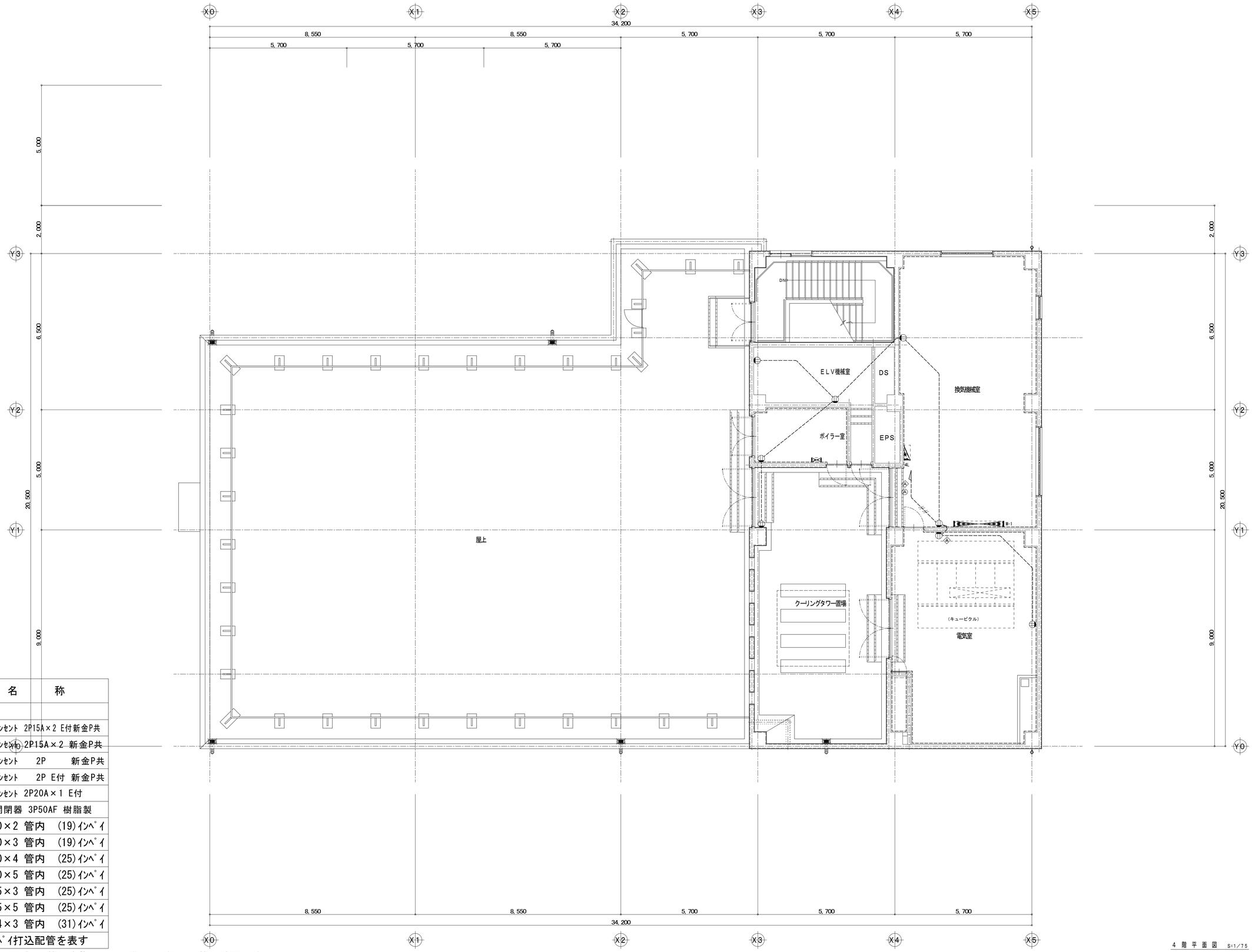
3 階 平 面 図　S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-41
		変更年月日	図面名称 コンセント設備 3階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前



凡　例

記　号	名　　称
E	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 E付新金P共
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2 新金P共
	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2P 新金P共
E	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2P E付 新金P共
20AE	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P20A×1 E付
S	手元開閉器 3P50AF 樹脂製
———	IV2.0×2 管内 (19)ｲﾝﾍﾟｲ
——//——	IV2.0×3 管内 (19)ｲﾝﾍﾟｲ
——//——	IV2.0×4 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
——//——	IV2.0×5 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
5.5(25)	IV5.5×3 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
5.5(25)	IV5.5×5 管内 (25)ｲﾝﾍﾟｲ
14(31)	IV 14×3 管内 (31)ｲﾝﾍﾟｲ
----------	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す

※特記なき配線器具,電線,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

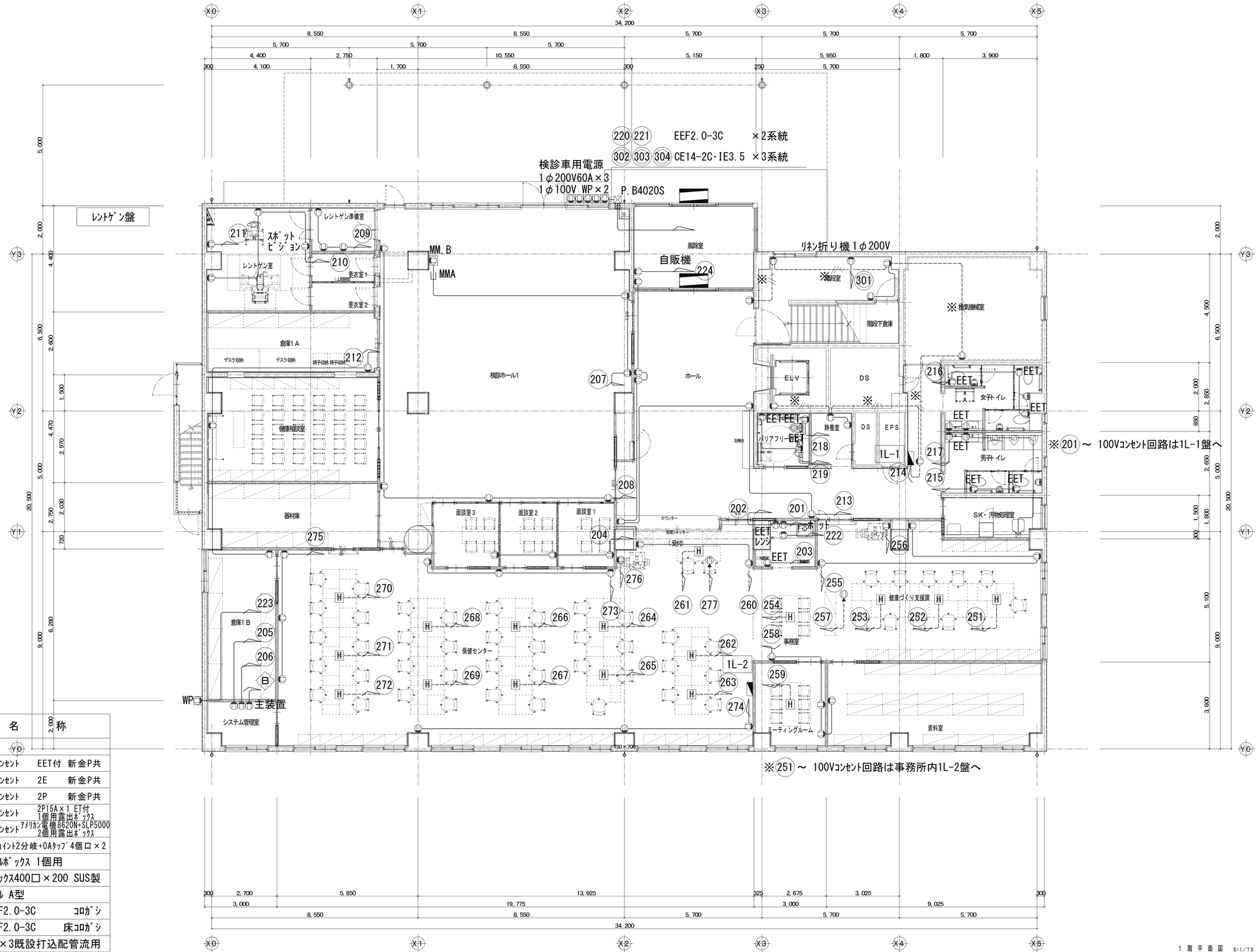
4 階 平 面 図　S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-42
		変更年月日	図面名称 コンセント設備図 4階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修後



凡　例

記　号	名　称	
EET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	EET付 新金P共
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2E 新金P共
	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ	2P 新金P共
WP	防水ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×1 ET付 1個用露出ﾎﾞｯｸｽ
200V	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	ｱﾒﾘｶﾝ電機8620N+SLP5000 2個用露出ﾎﾞｯｸｽ
H	ﾊｰﾈｽｼﾞｮｲﾝﾄ2分岐+OAﾀｯﾌﾟ4個口×2	
MM.B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用	
P.B4020S	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ400口×200 SUS製	
MMA	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A型	
————	EM-EEF2.0-3C	ｺﾛｶﾞｼ
- - - - - -	EM-EEF2.0-3C	床ｺﾛｶﾞｼ
----//-- ※	IE2.0×3既設打込配管流用	
14・3.5	EM-CE14-2C+IE3.5	ｺﾛｶﾞｼ

1階平面図 S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

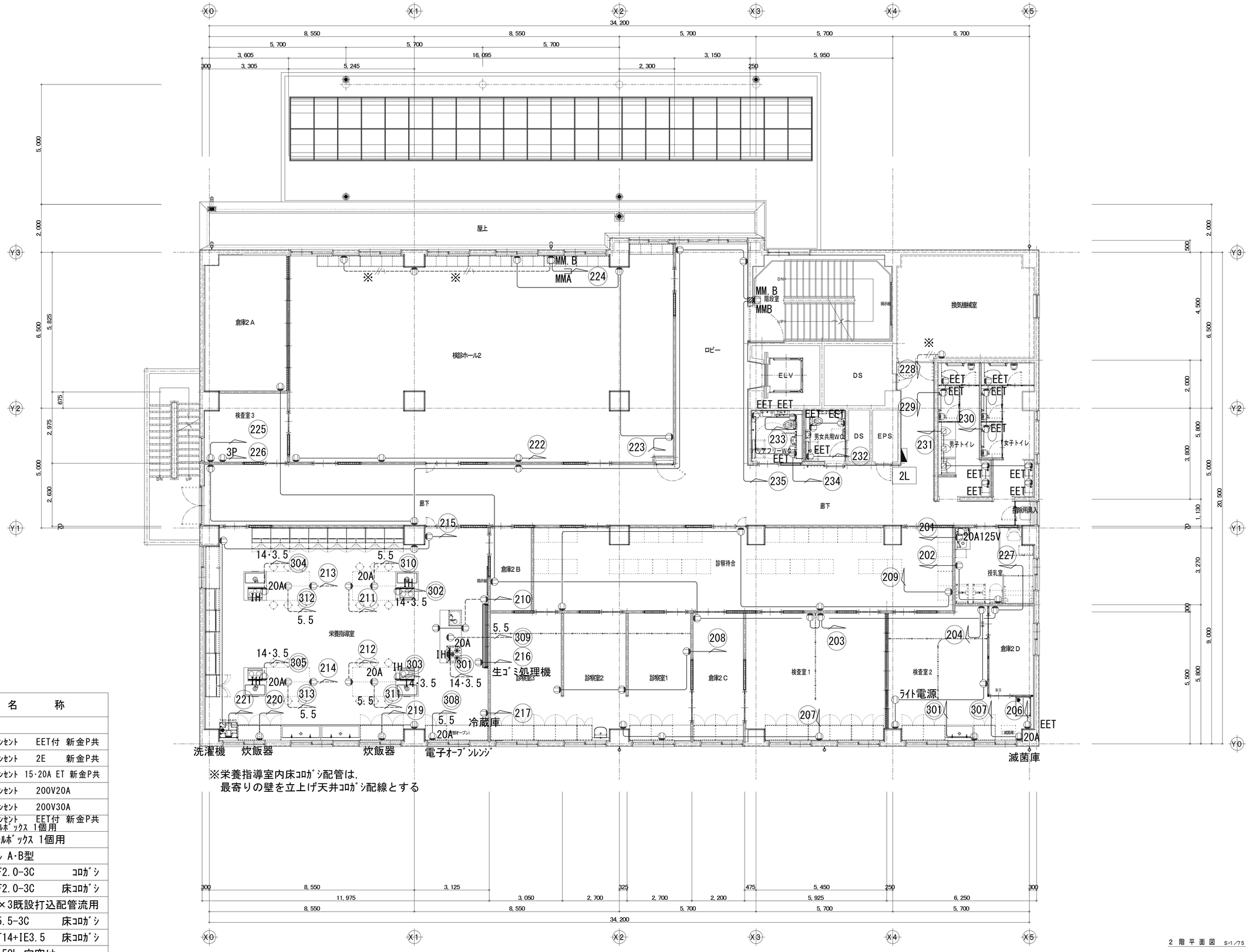
検印 齋藤出　設計 濱口

設計年月日 R 8. 1. 30.
変更年月日 R 7. 00. 00.

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 コンセント設備 1階平面図（改修後） Scale 1/75

No. E-43

改修後



凡　例

記　号	名　　称
EET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ　EET付 新金P共
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ　2E　新金P共
20A125V	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 15·20A ET 新金P共
20A	露出ｺﾝｾﾝﾄ　200V20A
IH	露出ｺﾝｾﾝﾄ　200V30A
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ　EET付 新金P共 ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用
MM. B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用
MMA·B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A·B型
———	EM-EEF2. 0-3C　ｺﾛｶﾞｼ
- - - - -	EM-EEF2. 0-3C　床ｺﾛｶﾞｼ
----//---※	IE2. 0×3既設打込配管流用
5. 5	EM-CE5. 5-3C　床ｺﾛｶﾞｼ
14·3. 5	EM-CET14+IE3. 5　床ｺﾛｶﾞｼ
----▨----	φ31-150L 穴空け

2 階 平 面 図　S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 / 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 コンセント設備 2階平面図（改修後） Scale 1/75	No. E-44

改修後



3 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

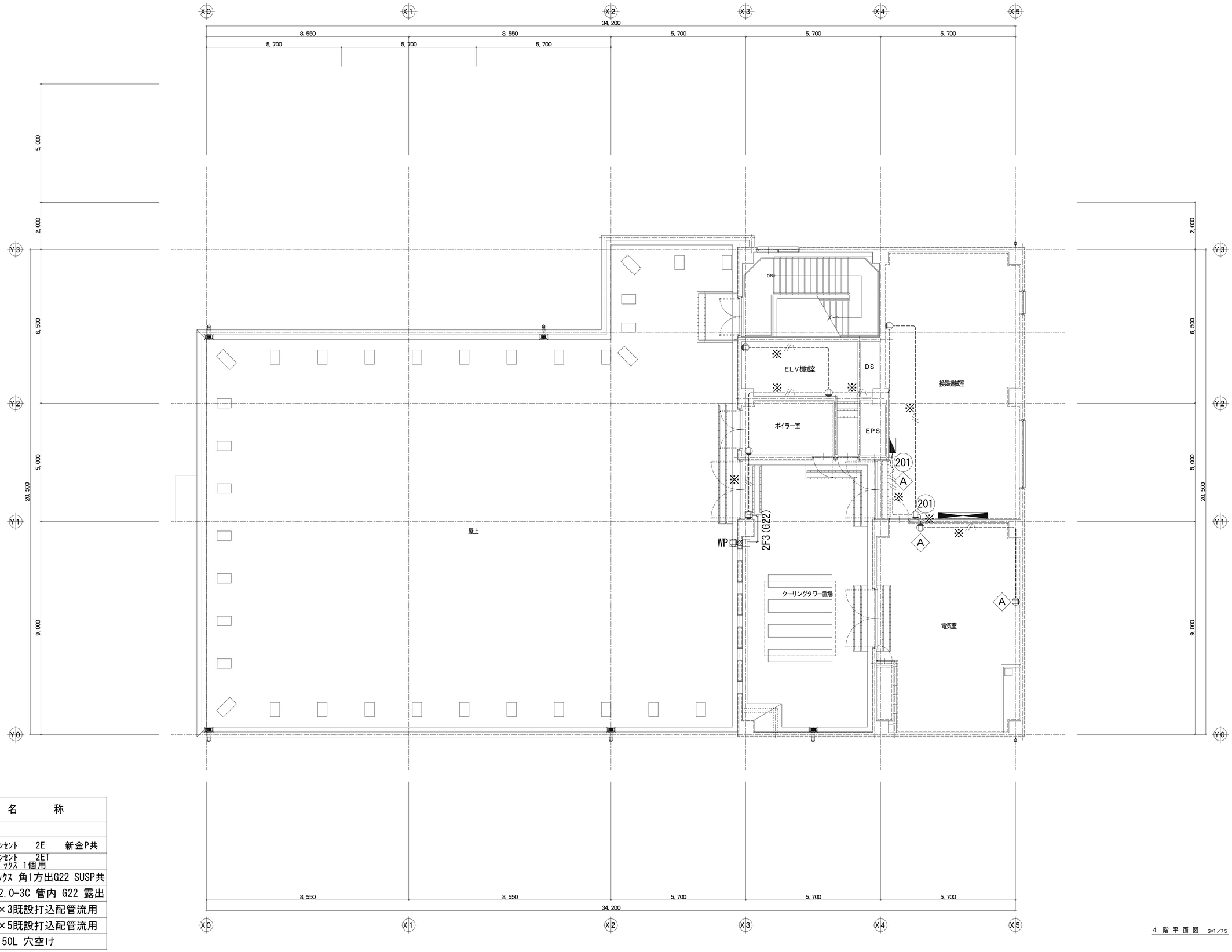
記 号	名 称
EET	埋込ｺﾝｾﾝﾄ EET付 新金P共
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2E 新金P共
	ｱｯﾌﾟｺﾝｾﾝﾄ 2E
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ EET付 新金P共 ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用
MM.B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙﾎﾞｯｸｽ 1個用
MMA・B	ﾒﾀﾙﾓｰﾙ A・B型
————	EM-EEF2.0-3C ｺﾛｶﾞｼ
- - - - - - - - -	EM-EEF2.0-3C 床ｺﾛｶﾞｼ
----//// ※	IE2.0×3既設打込配管流用
----▨----	φ31-150L 穴空け

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-45
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 コンセント設備 3階平面図（改修後） Scale 1/75	

改修後



凡　例

記　号	名　　称
◎	埋込ｺﾝｾﾝﾄ　2E　新金P共
◎WP	防水ｺﾝｾﾝﾄ　2ET 露出ﾎﾞｯｸｽ 1個用
□	露出ﾎﾞｯｸｽ 角1方出G22 SUSP共
2F3(G22)	EM-EEF2.0-3C 管内 G22 露出
----//-※	IE2.0×3既設打込配管流用
----//-※	IE2.0×5既設打込配管流用
----▨----	φ31-150L 穴空け

4 階 平 面 図　S=1/75

特記事項

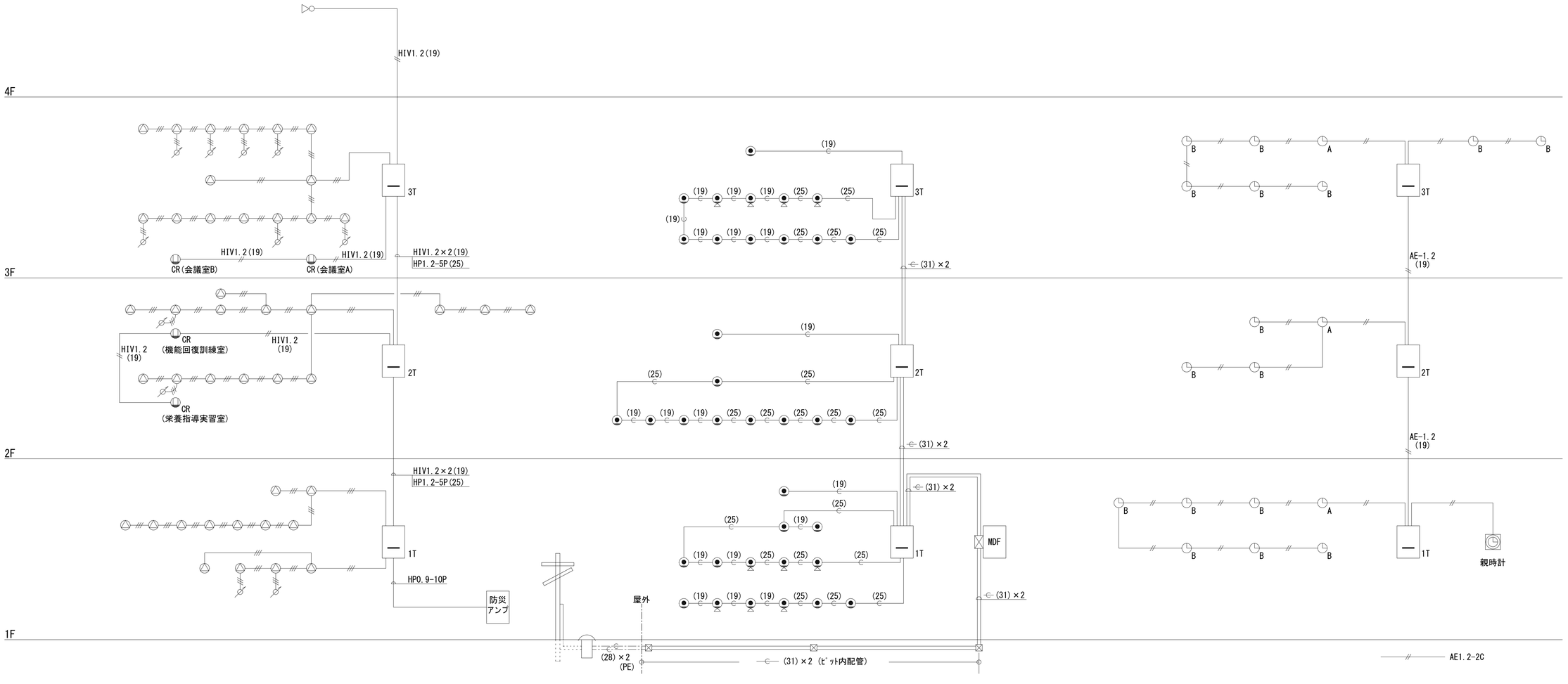
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-46
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 コンセント設備 4階平面図（改修後） Scale 1/75	

改修前

端子盤リスト

盤名称	電話	放送・時計	テレビ	備考
1T	60P	20P	4分岐	ｾﾊﾟﾚｰﾄ付
2T	50P	10P	2分岐	〃
3T	30P	10P	混合器 2分岐	〃



非常放送設備系統図　HP1.2-3C

電話配管系統図

時計設備系統図

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第26081号 齋藤 出

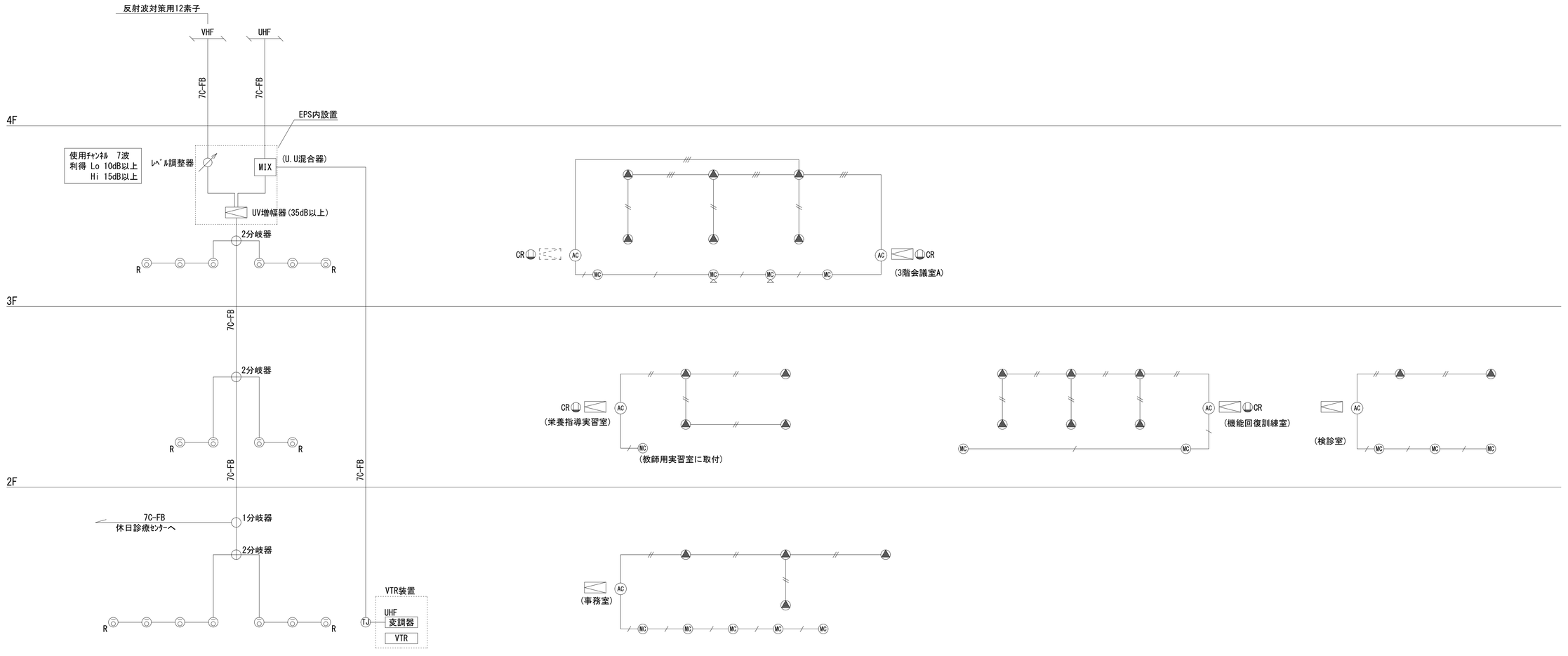
検印 齋藤出　設計 濱口

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 弱電設備 系統図(1)(改修前)
Scale NS

No. E-47

改修前

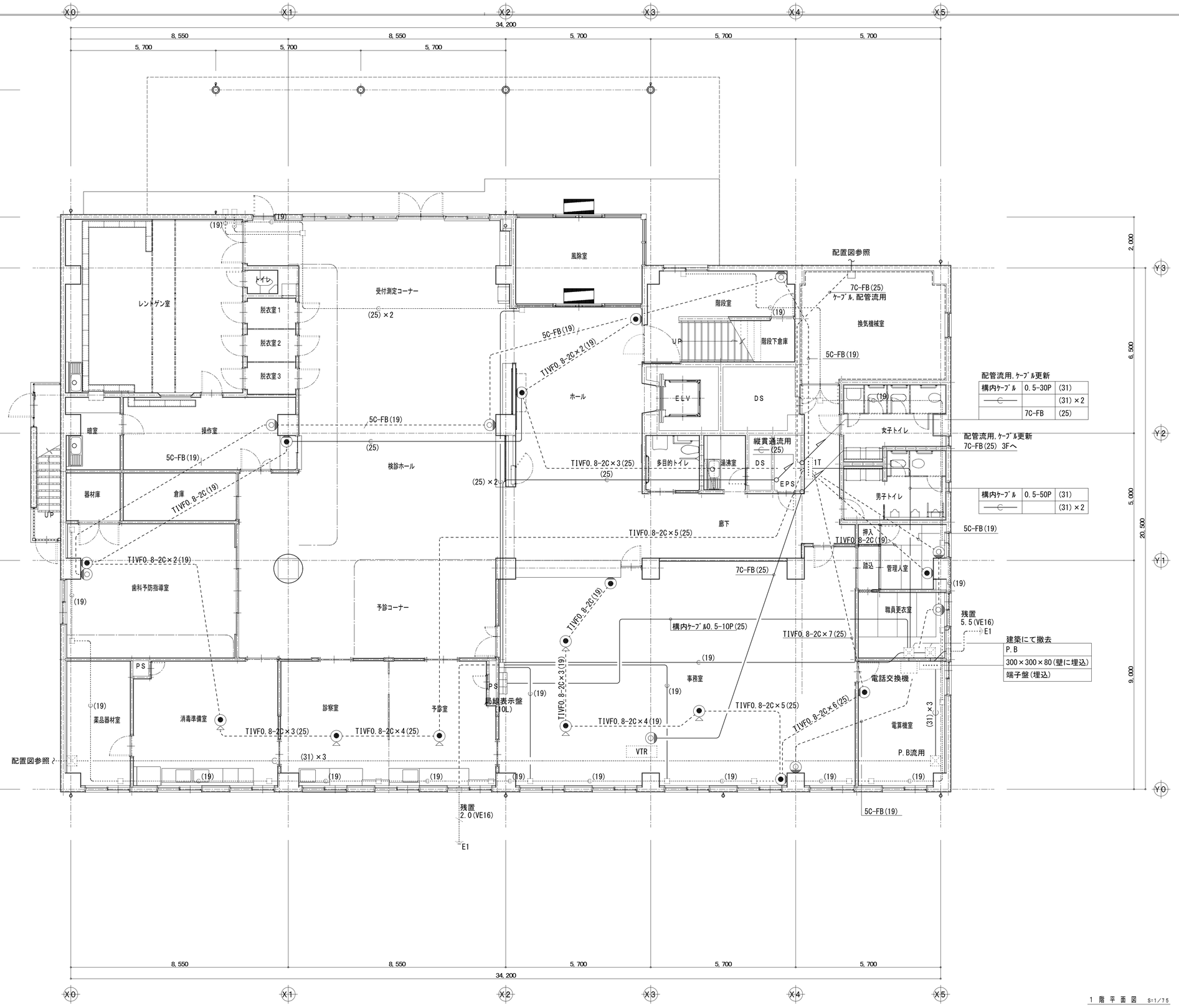


ﾃﾚﾋﾞ共聴設備系統図
※特機なきｹｰﾌﾞﾙは5C-FBとする

局部放送設備系統図

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事		No. E-48
				変更年月日	図面名称 弱電設備 系統図(2)(改修前)	Scale NS	

改修前



1階平面図 S=1/75

凡　例

記　号	名　称
5C-FB(19)	5C-FB　管内　(19)ｲﾝﾍﾟｲ
7C-FB(25)	7C-FB　管内　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
TIVF0.8-2C×@	TIVF0.8-2C 管内
	@は本数を表す(19)(25)ｲﾝﾍﾟｲ
(19)	空配管　(19)ｲﾝﾍﾟｲ
(25)	空配管　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
(25)×2	空配管×2　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
---------	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す
.....	既設流用を表す
◉	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極2芯 埋込新金P共
◉	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極2芯 ﾌﾛｱ 新金P共
◎	ﾃﾚﾋﾞ直列ﾕﾆｯﾄ 1端子 新金P共

※特記なき配線器具,ｹｰﾌﾞﾙ,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

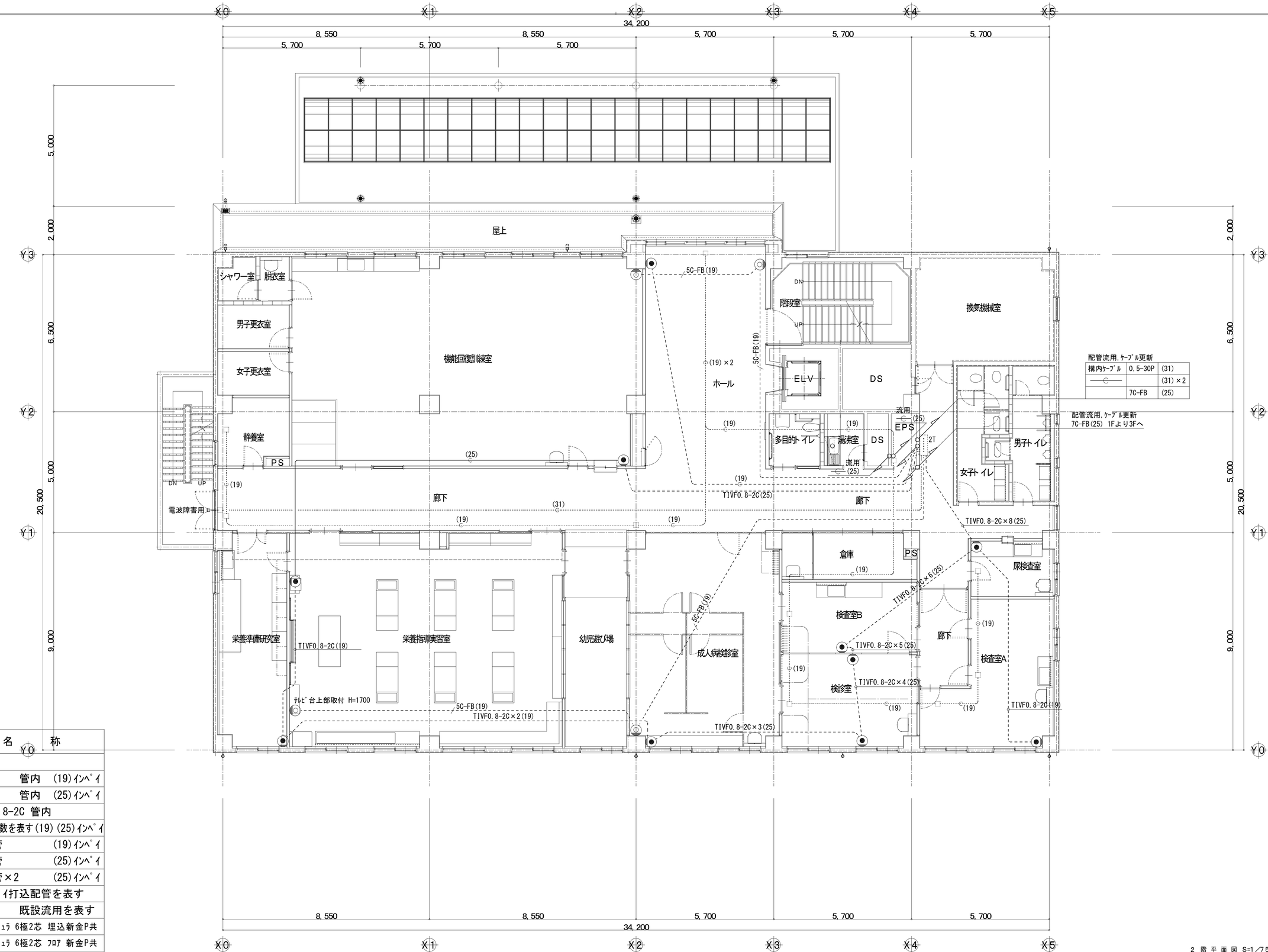
検印 齋藤出　設計 斉藤

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 電話・テレビ共聴・警備配管設備 1階平面図(改修前)
Scale 1/75

No. E-49

改修前



2 階 平 面 図 S=1／75

凡　例

記　号	名　　称
5C-FB(19)	5C-FB　管内　(19)ｲﾝﾍﾟｲ
7C-FB(25)	7C-FB　管内　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
TIVF0.8-2C×@	TIVF0.8-2C 管内
	@は本数を表す(19)(25)ｲﾝﾍﾟｲ
(19)	空配管　(19)ｲﾝﾍﾟｲ
(25)	空配管　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
(25)×2	空配管×2　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
----------	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す
....	既設流用を表す
◉	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極2芯 埋込新金P共
◉	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極2芯 ﾌﾛｱ 新金P共
◎	ﾃﾚﾋﾞ直列ﾕﾆｯﾄ 1端子 新金P共

※特記なき配線器具,ｹｰﾌﾞﾙ,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-50
		変更年月日	図面名称 電話・テレビ共聴・警備配管設備 2階平面図(改修前) Scale 1／75	

改修前



凡　例

記　号	名　称
5C-FB(19)	5C-FB　管内　(19)ｲﾝﾍﾟｲ
7C-FB(25)	7C-FB　管内　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
TIVF0.8-2C×@	TIVF0.8-2C 管内
	@は本数を表す(19)(25)ｲﾝﾍﾟｲ
(19)	空配管　(19)ｲﾝﾍﾟｲ
(25)	空配管　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
(25)×2	空配管×2　(25)ｲﾝﾍﾟｲ
	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す
	既設流用を表す
	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極2芯 埋込新金P共
	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極2芯 ﾌﾛｱ 新金P共
	ﾃﾚﾋﾞ直列ﾕﾆｯﾄ 1端子 新金P共

※特記なき配線器具,ｹｰﾌﾞﾙ,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

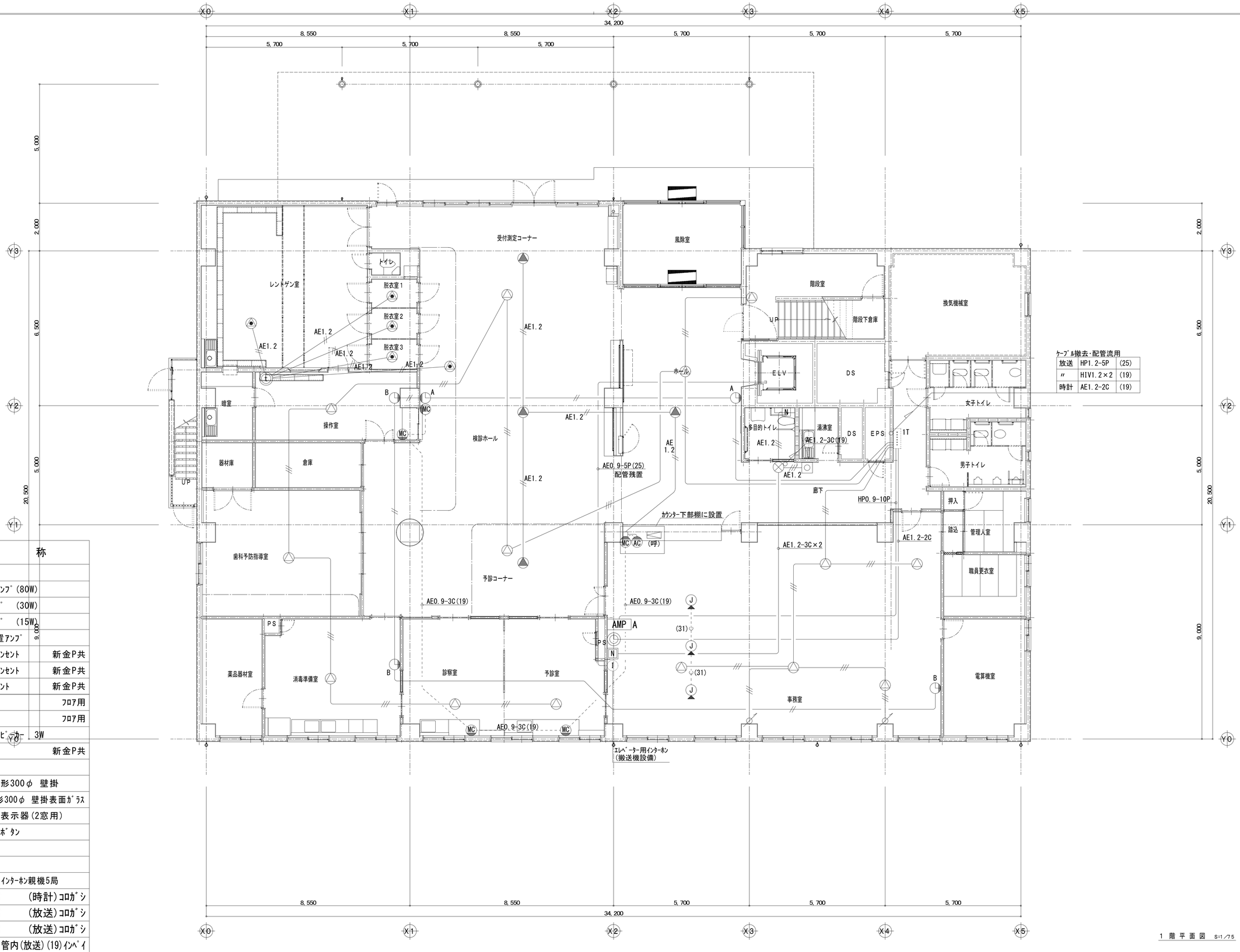
3 階 平 面 図　S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印	設 計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-51
		変更年月日	図面名称 電話・テレビ共聴・警備配管設備 3階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前



ｹｰﾌﾞﾙ撤去･配管流用

放送	HP1.2-5P	(25)
〃	HIV1.2×2	(19)
時計	AE1.2-2C	(19)

1 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

記 号	名 称	
AMP A	非常放送ｱﾝﾌﾟ (80W)	
AMP B	業務用ｱﾝﾌﾟ (30W)	
AMP C	業務用ｱﾝﾌﾟ (15W)	
AMP(呼)	呼出し装置ｱﾝﾌﾟ	
CR	ｶｯﾄﾘﾚｰ付ｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
MC	ﾏｲｸｼﾞｬｯｸｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
AC	ｱﾝﾌﾟ用ｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
J	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝ	ﾌﾛｱ用
MC	ﾏｲｸｼﾞｬｯｸ	ﾌﾛｱ用
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ 3W	
	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	新金P共
	親時計	
A	小時計 丸形300φ 壁掛	
B	小時計 丸形300φ 壁掛表面ｶﾞﾗｽ	
N	ﾄｲﾚ呼出し表示器(2窓用)	
N	ﾄｲﾚ呼出しﾎﾞﾀﾝ	
	表示灯	
	復旧ﾎﾞﾀﾝ	
t	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ室用ｲﾝﾀｰﾎﾝ親機5局	
	AE1.2-2C (時計)ｺﾛｶﾞｼ	
AE1.2	AE1.2-2C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
	HP1.2-3C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
HIV1.2	HIV1.2×2 管内(放送)(19)ｲﾝﾍﾟｲ	
AE1.2	AE1.2-3C (ﾄｲﾚ呼出)ｺﾛｶﾞｼ	
	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す	

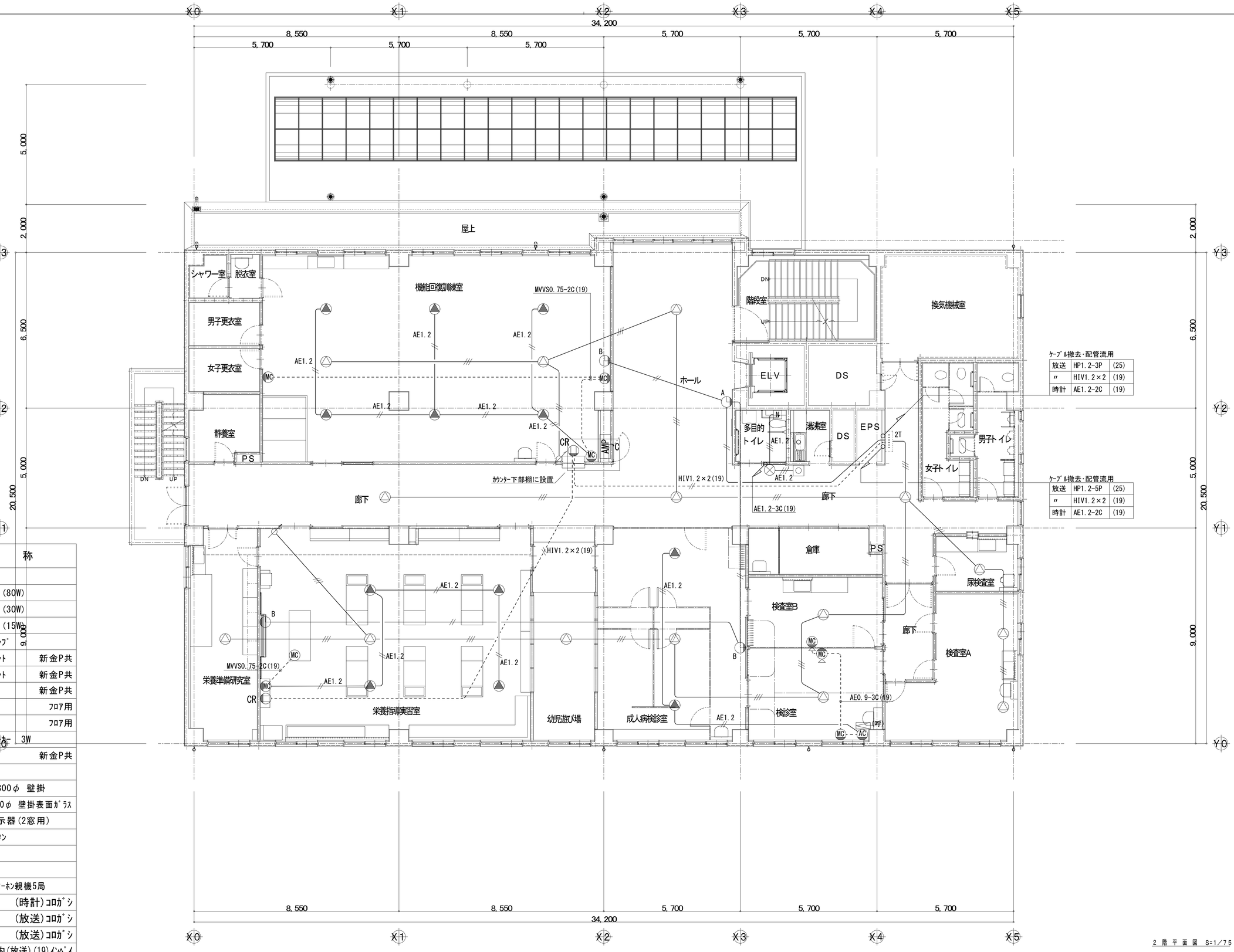
※特記なき機器,配線器具,電線,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	齋藤出	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-52
		変更年月日	図面名称 電気時計・拡声・トイレ呼出設備 1階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前



2 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

記 号	名 称	
AMP A	非常放送ｱﾝﾌﾟ(80W)	
AMP B	業務用ｱﾝﾌﾟ (30W)	
AMP C	業務用ｱﾝﾌﾟ (15W)	
AMP(呼)	呼出し装置ｱﾝﾌﾟ	
CR	ｶｯﾄﾘﾚｰ付ｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
MC	ﾏｲｸｼﾞｬｯｸｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
AC	ｱﾝﾌﾟ用ｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
J	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝ	ﾌﾛｱ用
MC	ﾏｲｸｼﾞｬｯｸ	ﾌﾛｱ用
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ 3W	
	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	新金P共
	親時計	
A	小時計 丸形300φ 壁掛	
B	小時計 丸形300φ 壁掛表面ｶﾞﾗｽ	
N	ﾄｲﾚ呼出し表示器(2窓用)	
N	ﾄｲﾚ呼出しﾎﾞﾀﾝ	
	表示灯	
	復旧ﾎﾞﾀﾝ	
t	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ室用ｲﾝﾀｰﾎﾝ親機5局	
AE1.2	AE1.2-2C (時計)ｺﾛｶﾞｼ	
AE1.2	AE1.2-2C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
HP1.2	HP1.2-3C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
HIV1.2	HIV1.2×2 管内(放送)(19)ｲﾝﾍﾟｲ	
AE1.2	AE1.2-3C (ﾄｲﾚ呼出)ｺﾛｶﾞｼ	
----------	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す	

※特記なき機器,配線器具,電線,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

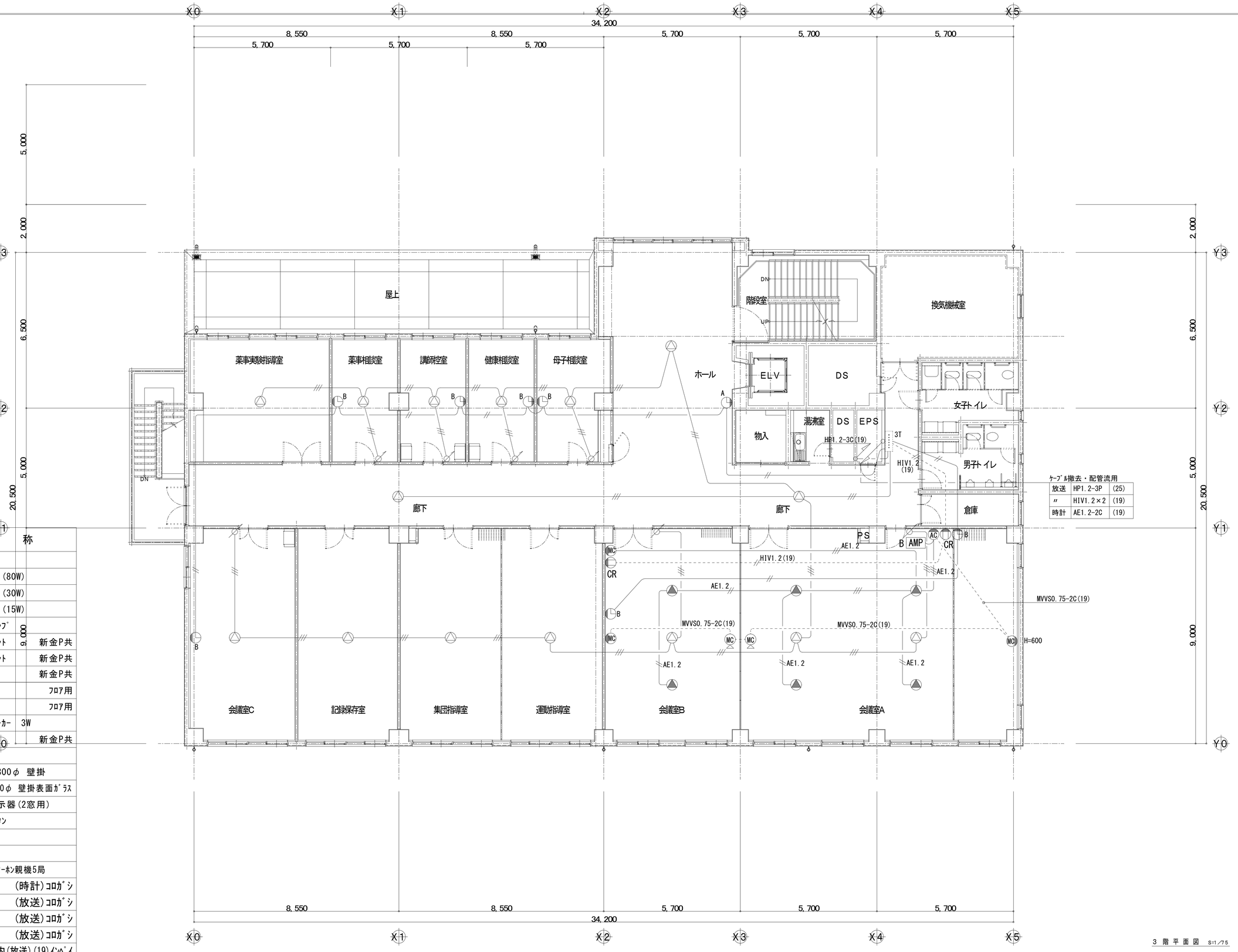
検印 齋藤出 設計 濱口

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 電気時計・拡声・トイレ呼出設備 2階平面図(改修前)
Scale 1/75

No. E-53

改修前



ｹｰﾌﾞﾙ撤去・配管流用

放送	HP1.2-3P	(25)
〃	HIV1.2×2	(19)
時計	AE1.2-2C	(19)

3 階 平 面 図 S=1/75

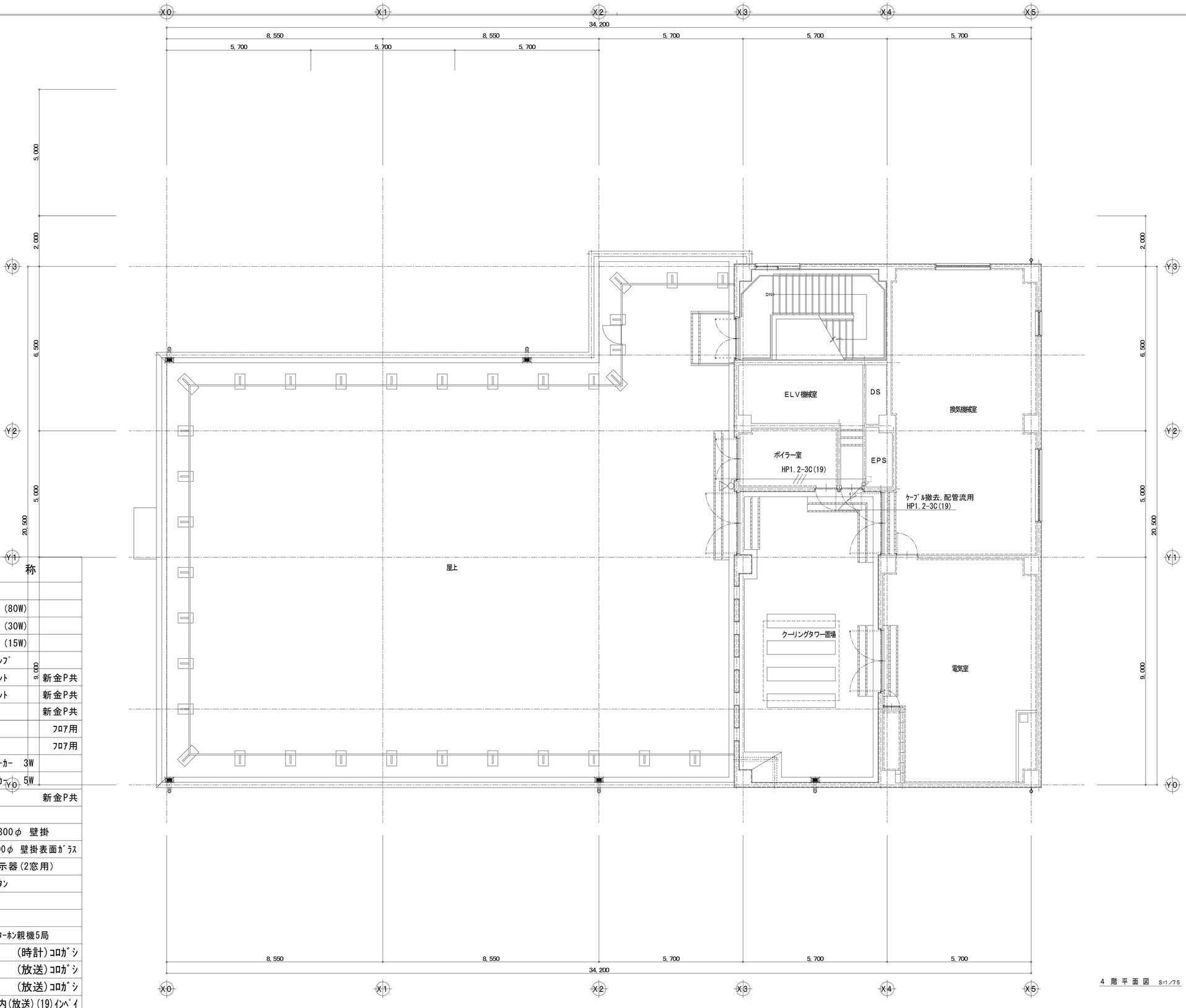
凡　例

記　号	名　称	
AMP A	非常放送ｱﾝﾌﾟ(80W)	
AMP B	業務用ｱﾝﾌﾟ (30W)	
AMP C	業務用ｱﾝﾌﾟ (15W)	
AMP(呼)	呼出し装置ｱﾝﾌﾟ	
CR	ｶｯﾄﾘﾚｰ付ｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
MC	ﾏｲｸｼﾞｬｯｸｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
AC	ｱﾝﾌﾟ用ｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
J	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝ	ﾌﾛｱ用
MC	ﾏｲｸｼﾞｬｯｸ	ﾌﾛｱ用
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ 3W	
	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	新金P共
	親時計	
A	小時計 丸形300φ 壁掛	
B	小時計 丸形300φ 壁掛表面ｶﾞﾗｽ	
N	ﾄｲﾚ呼出し表示器(2窓用)	
N	ﾄｲﾚ呼出しﾎﾞﾀﾝ	
	表示灯	
	復旧ﾎﾞﾀﾝ	
t	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ室用ｲﾝﾀｰﾎﾝ親機5局	
	AE1.2-2C (時計)ｺﾛｶﾞｼ	
AE1.2	AE1.2-2C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
AE1.2	AE1.2-3C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
	HP1.2-3C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
HIV1.2	HIV1.2×2 管内(放送)(19)ｲﾝﾍﾟｲ	
AE1.2	AE1.2-3C (ﾄｲﾚ呼出)ｺﾛｶﾞｼ	
	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す	

※特記なき機器,配線器具,電線,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項							
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事		No. E-54
				変更年月日	図面名称 電気時計・拡声・トイレ呼出設備 3階平面図(改修前)	Scale 1/75	

改修前



4 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

記 号	名 称	
AMP A	非常放送ｱﾝﾌﾟ(80W)	
AMP B	業務用ｱﾝﾌﾟ (30W)	
AMP C	業務用ｱﾝﾌﾟ (15W)	
AMP(呼)	呼出し装置ｱﾝﾌﾟ	
CR	ｶｯﾄﾘﾚｰ付ｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
MC	ﾏｲｸｼﾞｬｯｸｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
AC	ｱﾝﾌﾟ用ｺﾝｾﾝﾄ	新金P共
J	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝ	ﾌﾛｱ用
MC	ﾏｲｸｼﾞｬｯｸ	ﾌﾛｱ用
	天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰ 3W	
	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄｽﾋﾟｰｶｰ 5W	
	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	新金P共
	親時計	
A	小時計 丸形300φ 壁掛	
B	小時計 丸形300φ 壁掛表面ｶﾞﾗｽ	
N	ﾄｲﾚ呼出し表示器(2窓用)	
N	ﾄｲﾚ呼出しﾎﾞﾀﾝ	
	表示灯	
	復旧ﾎﾞﾀﾝ	
t	ﾚﾝﾄｹﾞﾝ室用ｲﾝﾀｰﾎﾝ親機5局	
AE1.2	AE1.2-2C (時計)ｺﾛｶﾞｼ	
AE1.2	AE1.2-2C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
HP1.2	HP1.2-3C (放送)ｺﾛｶﾞｼ	
HIV1.2	HIV1.2×2 管内(放送)(19)ｲﾝﾍﾟｲ	
AE1.2	AE1.2-3C (ﾄｲﾚ呼出)ｺﾛｶﾞｼ	
	床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管を表す	

※特記なき機器,配線器具,電線,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項

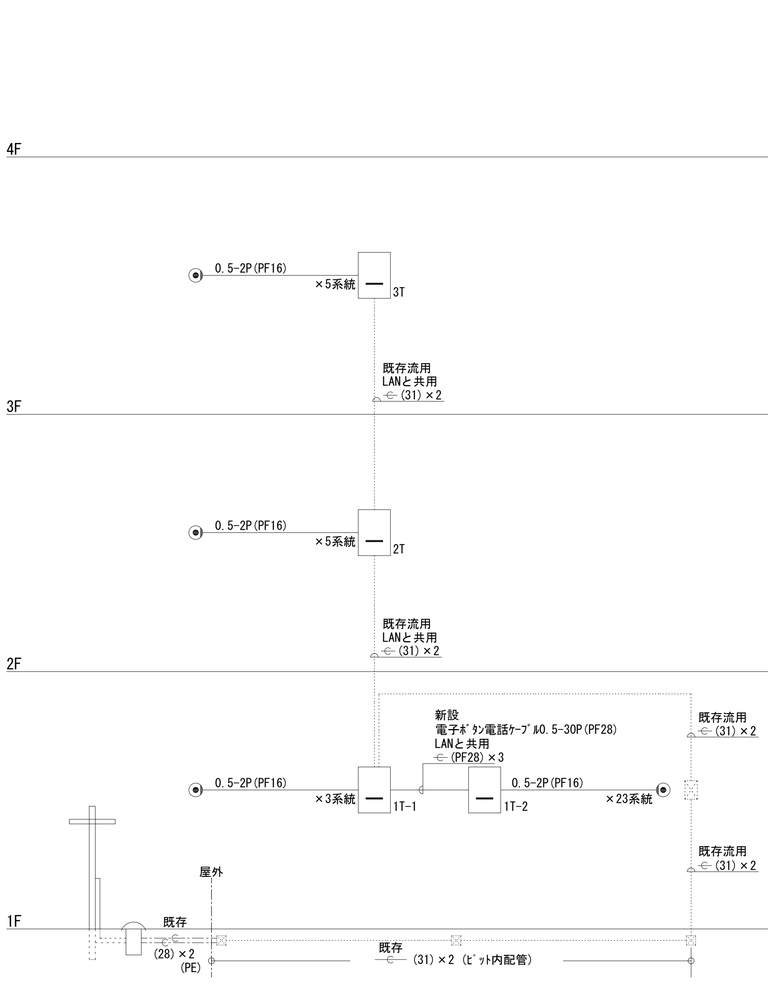
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印	設 計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-55
		変更年月日	図面名称 電気時計・拡声・トイレ呼出設備 4階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修後

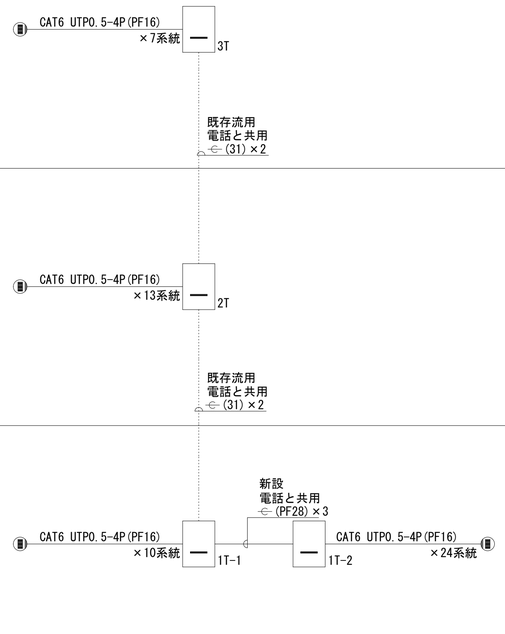
端子盤リスト

盤名称	電話 (端子台)	放送・時計 (端子台)	テレビ	備考
1T-1	150P	20P	1分岐 2分配	内機のみ更新
1T-2	100P	20P		〃
2T	50P	10P	1分岐	〃
3T	30P	10P	増幅器 1分岐 ﾀﾞﾐｰ抵抗器	〃

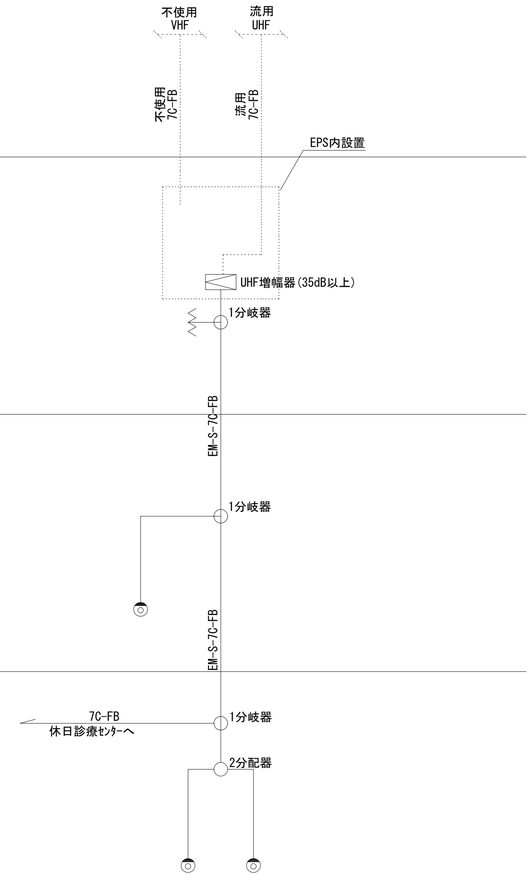


電話配管・配線系統図

0.5-2P(PF16)	電子ﾎﾞﾀﾝ電話ｹｰﾌﾞﾙ0.5-2P(PF16)



LAN配管・配線系統図



ﾃﾚﾋﾞ共聴設備系統図

※特記なきｹｰﾌﾞﾙはEM-S-5C-FBとする

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

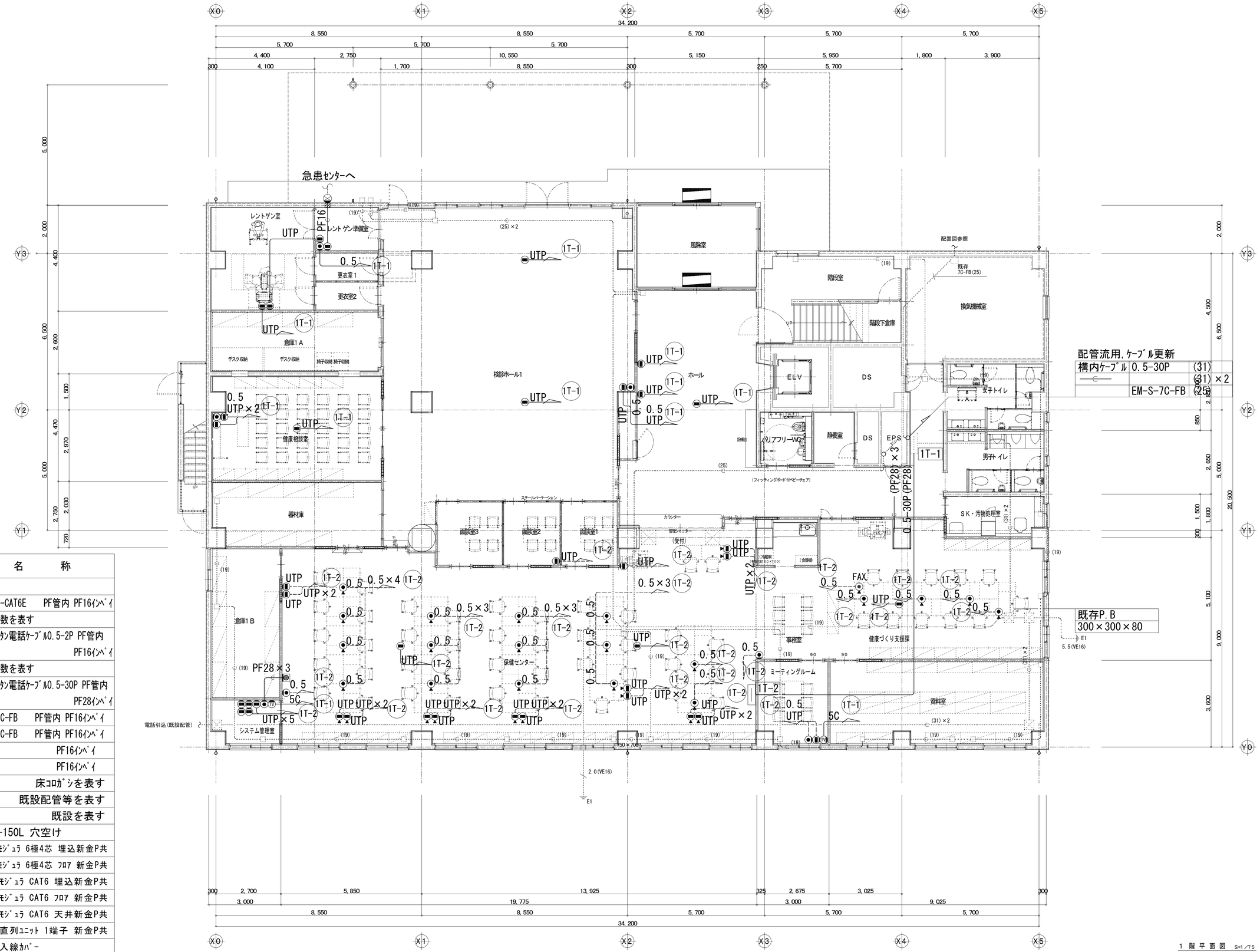
検印 齋藤出 設計 濱口

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 弱電設備 系統図(改修後)
Scale NS

No. E-56

改修後



配管流用,ｹｰﾌﾞﾙ更新

構内ｹｰﾌﾞﾙ	0.5-30P	(31)
―C―		(31)×2
	EM-S-7C-FB	(25)

凡　例

記　号	名　　称
UTP	EM-UTP-CAT6E　PF管内 PF16ｲﾝﾊﾟｲ
UTP×@	@は本数を表す
0.5	電子ﾎﾞﾀﾝ電話ｹｰﾌﾞﾙ0.5-2P PF管内 PF16ｲﾝﾊﾟｲ
0.5×@	@は本数を表す
0.5-30P(PF28)	電子ﾎﾞﾀﾝ電話ｹｰﾌﾞﾙ0.5-30P PF管内 PF28ｲﾝﾊﾟｲ
5C	EM-S-5C-FB　PF管内 PF16ｲﾝﾊﾟｲ
7C	EM-S-7C-FB　PF管内 PF16ｲﾝﾊﾟｲ
PF16	空配管　PF16ｲﾝﾊﾟｲ
PF28	空配管　PF16ｲﾝﾊﾟｲ
----------	床ｺﾛｶﾞｼを表す
小文字表記	既設配管等を表す
	既設を表す
	φ25-150L 穴空け
	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極4芯 埋込新金P共
	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極4芯 ﾌﾛｱ 新金P共
	情報ﾓｼﾞｭﾗ CAT6 埋込新金P共
	情報ﾓｼﾞｭﾗ CAT6 ﾌﾛｱ 新金P共
	情報ﾓｼﾞｭﾗ CAT6 天井新金P共
TV	ﾃﾚﾋﾞ直列ﾕﾆｯﾄ 1端子 新金P共
	防雨入線ｶﾊﾞｰ
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ2連 新金P

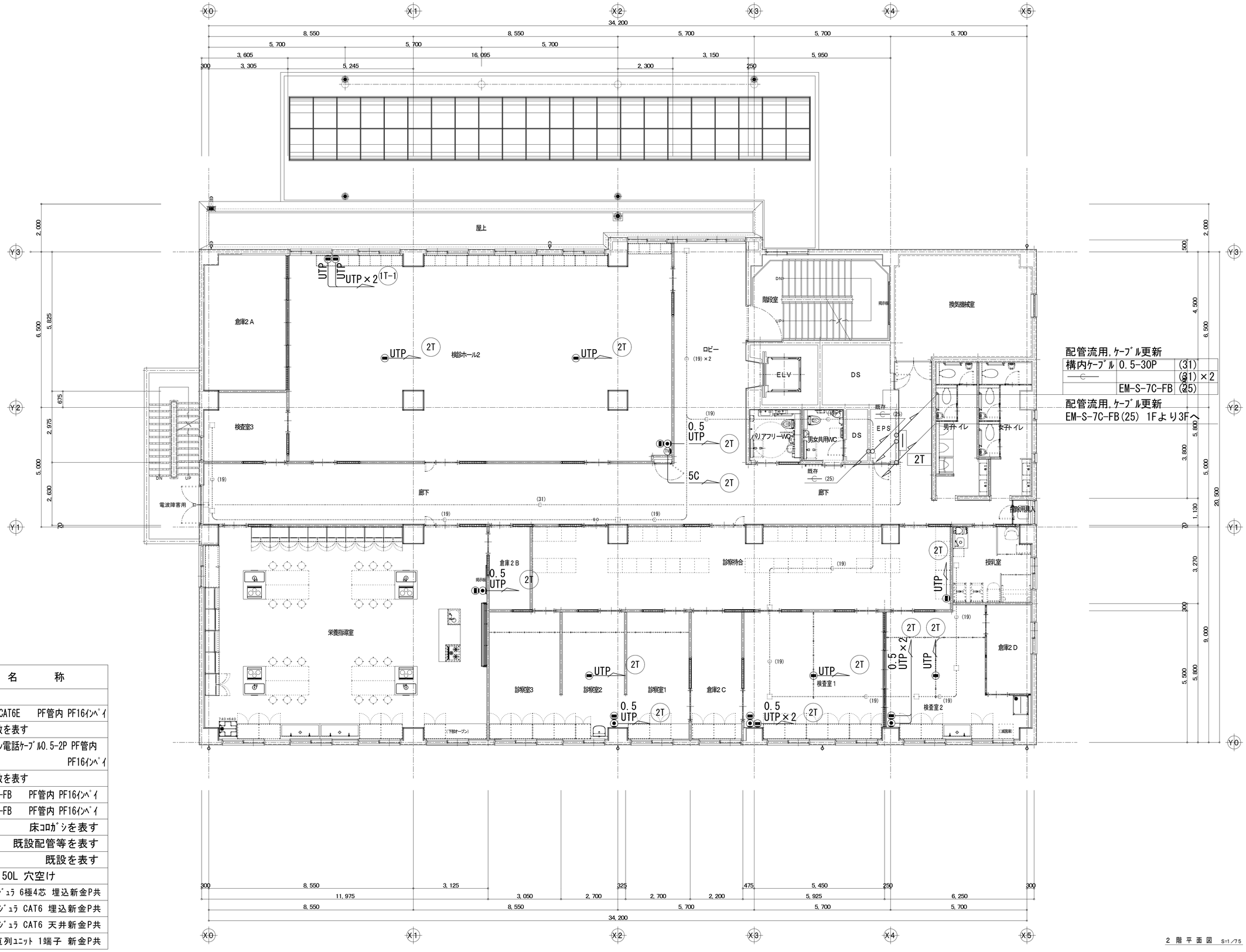
1 階 平 面 図　S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第26081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-57
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 弱電設備 1階平面図（改修後） Scale 1/75	

改修後



凡　例

記　号	名　　称
UTP	EM-UTP-CAT6E　PF管内 PF16ｲﾝﾍﾟｲ
UTP×@	@は本数を表す
0.5	電子ﾎﾞﾀﾝ電話ｹｰﾌﾞﾙ0.5-2P PF管内 PF16ｲﾝﾍﾟｲ
0.5×@	@は本数を表す
5C	EM-S-5C-FB　PF管内 PF16ｲﾝﾍﾟｲ
7C	EM-S-7C-FB　PF管内 PF16ｲﾝﾍﾟｲ
----------	床ｺﾛｶﾞｼを表す
小文字表記	既設配管等を表す
	既設を表す
	φ25-150L 穴空け
	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極4芯 埋込新金P共
	情報ﾓｼﾞｭﾗ CAT6 埋込新金P共
	情報ﾓｼﾞｭﾗ CAT6 天井新金P共
TV	ﾃﾚﾋﾞ直列ﾕﾆｯﾄ 1端子 新金P共

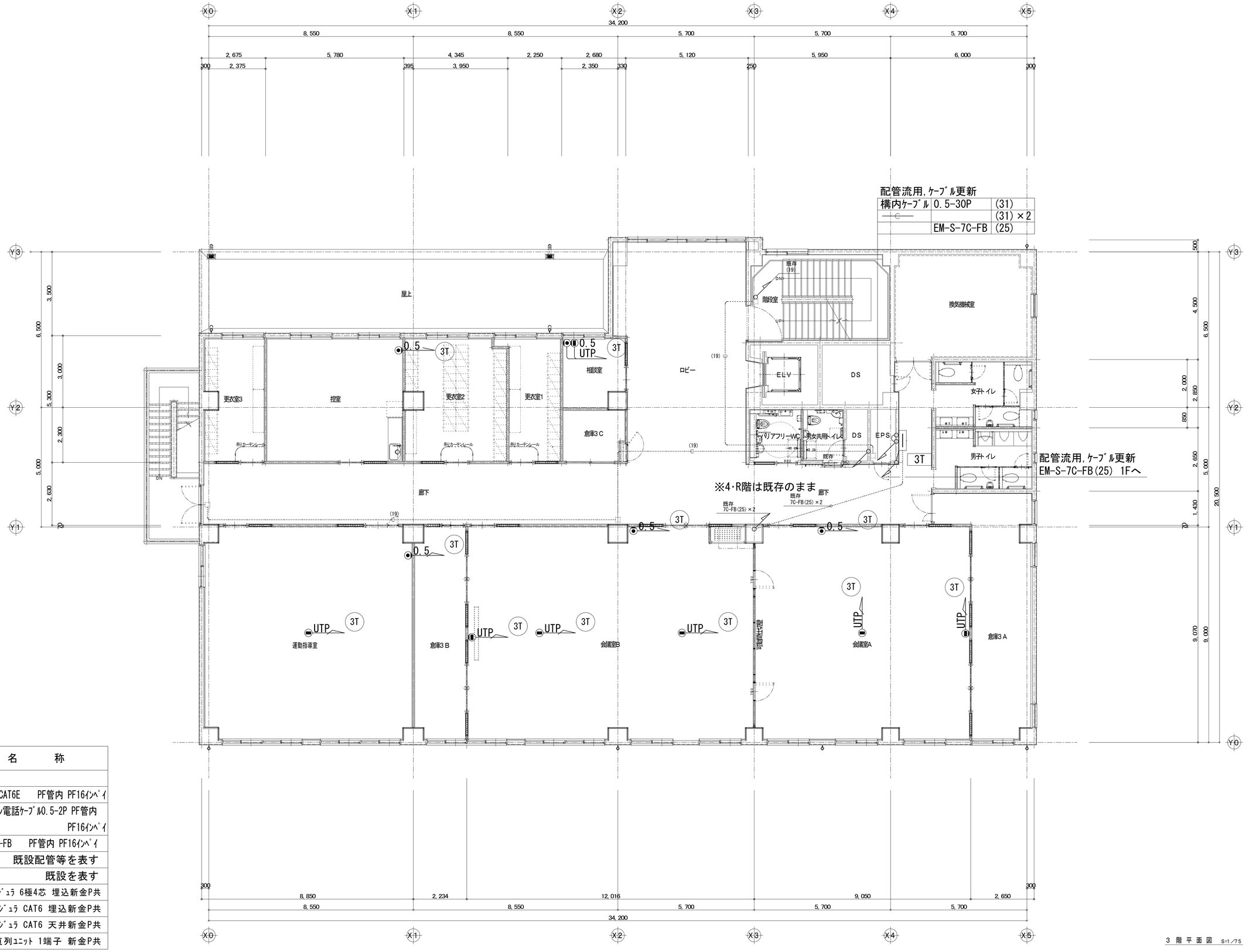
2 階 平 面 図　S=1/75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱	R 8. 1.30	狭山市保健センター改修工事	E-58
		変更年月日 R 7.00.00	図面名称 弱電設備 2階平面図（改修後） Scale 1/75	

改修後



3 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

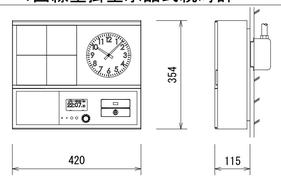
記 号	名 称
UTP	EM-UTP-CAT6E PF管内 PF16ｲﾝﾊﾟｲ
0.5	電子ﾎﾞﾀﾝ電話ｹｰﾌﾞﾙ0.5-2P PF管内 PF16ｲﾝﾊﾟｲ
7C	EM-S-7C-FB PF管内 PF16ｲﾝﾊﾟｲ
小文字表記	既設配管等を表す
	既設を表す
◉	電話ﾓｼﾞｭﾗ 6極4芯 埋込新金P共
▬	情報ﾓｼﾞｭﾗ CAT6 埋込新金P共
▬	情報ﾓｼﾞｭﾗ CAT6 天井新金P共
TV	ﾃﾚﾋﾞ直列ﾕﾆｯﾄ 1端子 新金P共

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-59
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 弱電設備 3階平面図（改修後） Scale 1/75	

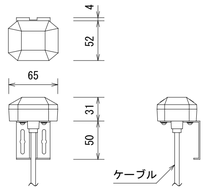
1回線壁掛型水晶式親時計



親時計	
水晶発振周波数	4194.304kHz
精度	週差±0.7秒以内
	時刻補正装置接続時は積算誤差0秒
精度保証温度範囲	0℃～+40℃
子時計回線出力信号	DC24V 30秒有極信号
子時計出力回線数	1回線
子時計駆動数	1回線当り最大30個（1個12mA）
サマータイム機能	キー及びジョグダイヤルにより設定
	ただしサマータイムの修正は自動
うるう秒調整	キー及びジョグダイヤルにより設定
	ただしうるう秒調整は自動
入力電源	AC100V～240V±10% 50/60Hz 22W（最大）
停電時電源	密閉型ニッケル水素蓄電池（DC24V）内装
停電時動作時間	約30時間
ケース	ABS樹脂及び鋼板 グレー色
タイムサーバー（長波／GPSアンテナ,SNTPサーバー,30秒規正接続時に動作）	
ネットワークプロトコル	NTPv3/v4 SNTPv3/v4
時刻補正装置	
SNTPサーバーに接続又は長波／GPSアンテナ（オプション品）を接続することで時刻補正が可能	
SNTPクライアント機能	
ネットワークプロトコル	SNTPv4

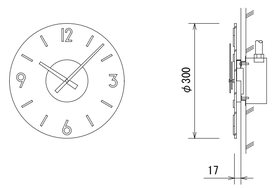
KM-80-1P相当

ＧＰＳアンテナ



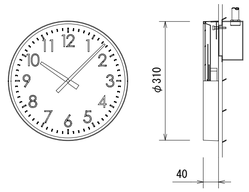
アンテナ部	
ケース	ポリカーボネート樹脂 グレー色
受信周波数	1575.42MHz
受信感度	-145dBm（コールドスタート時）
取付金具	ステンレス

φ300半埋込型子時計



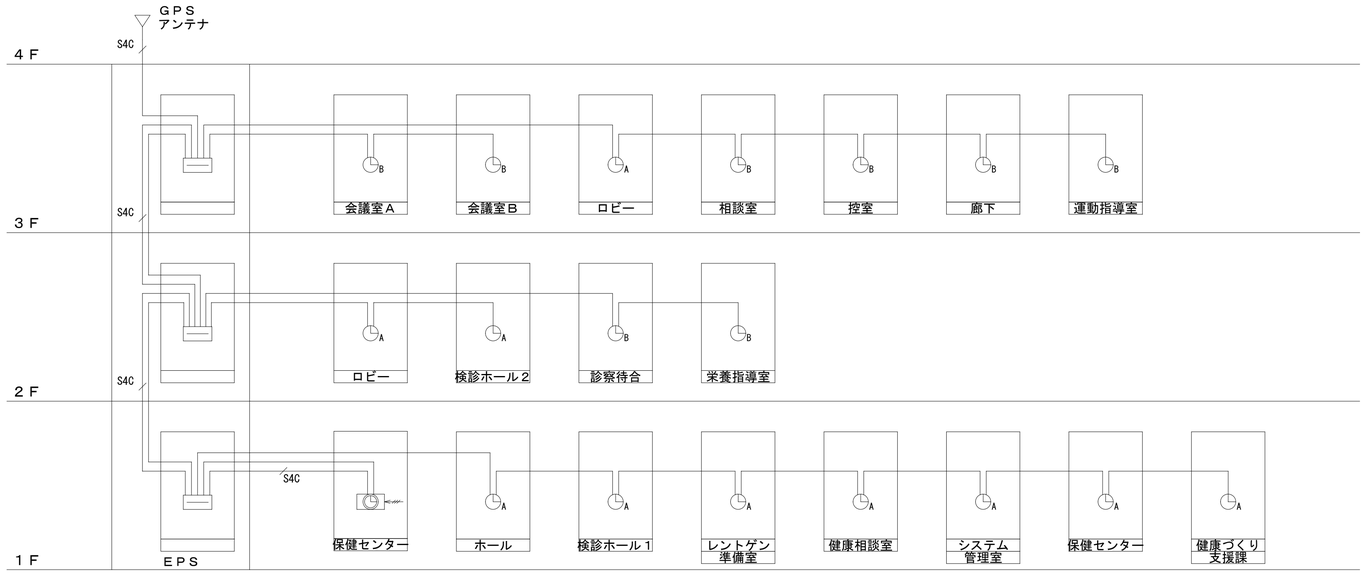
文字板	アクリル板 透明
文　字	黄銅・ホワイトブロンズメッキ
指　針	アルミニウム 黒色
化粧板	黄銅・ホワイトブロンズメッキ
機　体	DC24V 有極30秒運針

φ310壁掛子時計



ケース	鋼板 クリーム色
文字板	アルミニウム 白色
文　字	黒色
指　針	アルミニウム 黒色
風　防	ガラス 透明 t2
機　体	DC24V 有極30秒運針

系統図



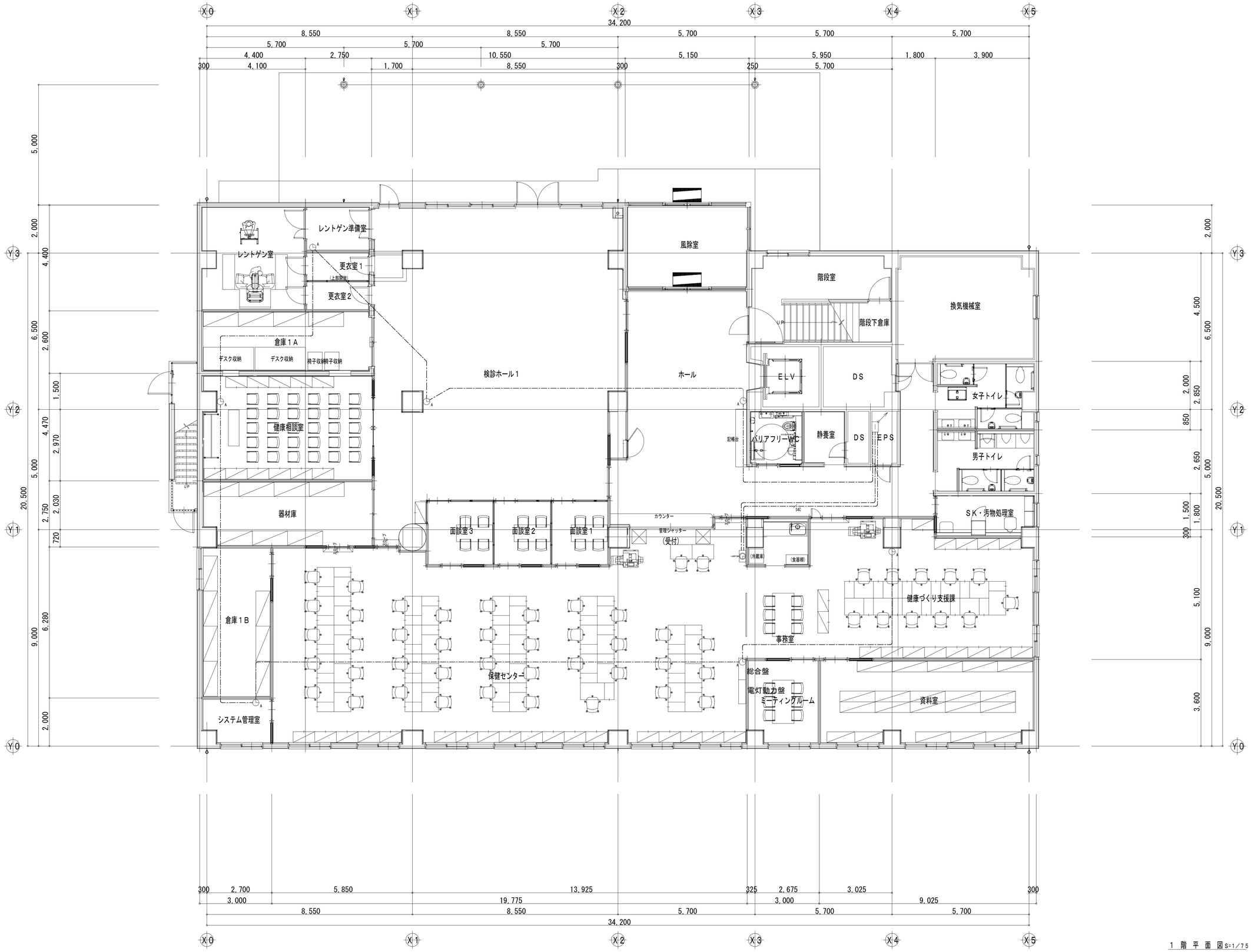
配線凡例

	ＥＭ－ＡＥ１．２－２Ｃ
S4C	Ｓ－ＭＶＶＳ－０．３×４Ｃ
	ＡＣ１００Ｖ　アース付

ZZ252258-1

特記事項									
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第26081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事		No. E-60
				変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 電気設備 機器参考姿図・系統図 改修後	Scale NS	

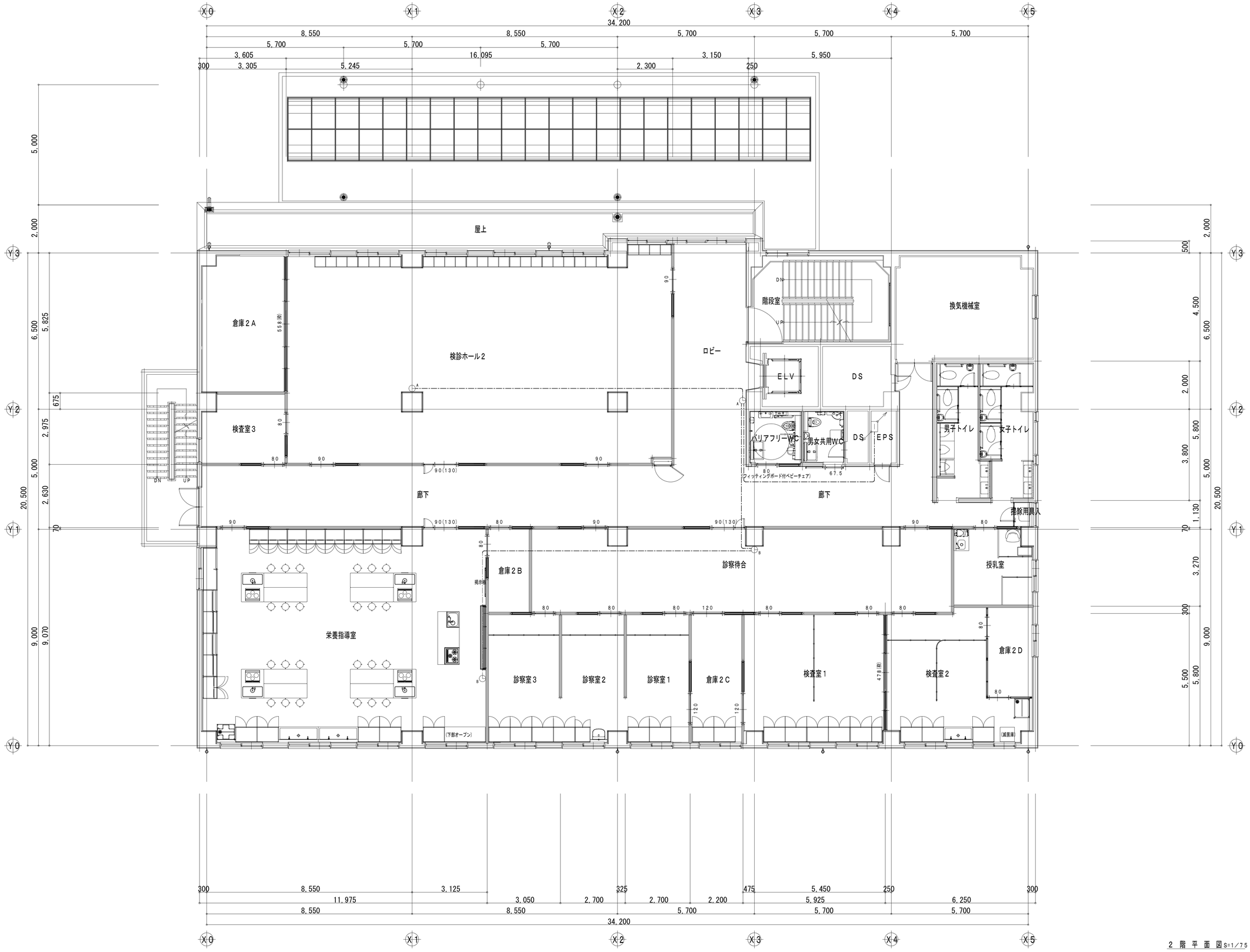
改修後



1 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事			No.	
				変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 電気時計設備 1階平面図（改修後）	Scale 1/75		E-6.1	

改修後



２ 階 平 面 図 S=1／75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No.	
				変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 電気時計設備 2階平面図(改修後) Scale 1／75		E-62

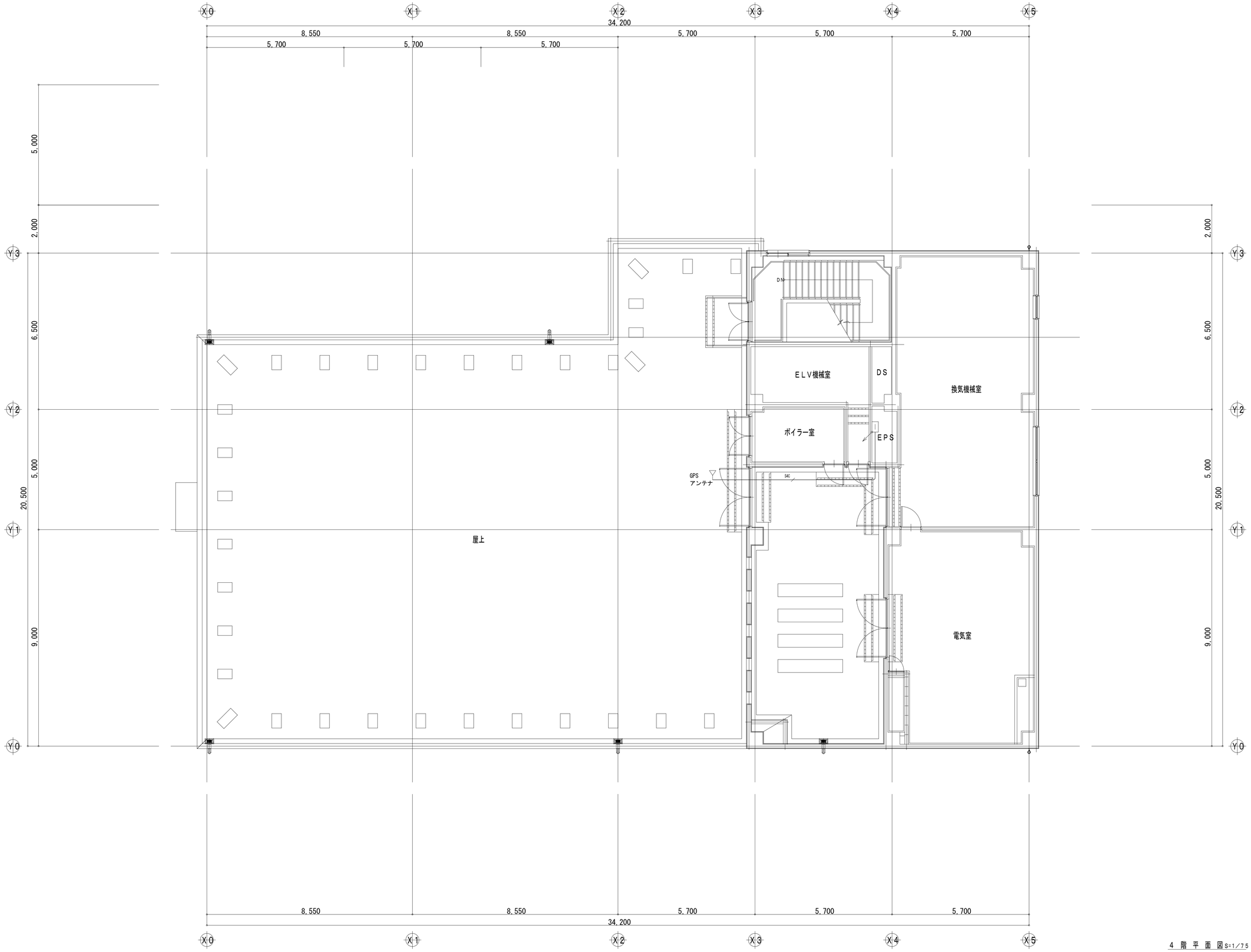
改修後



3 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1.30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No.
				変更年月日 R 7.00.00	図面名称	電気時計設備 3階平面図(改修後) Scale 1/75	E-63

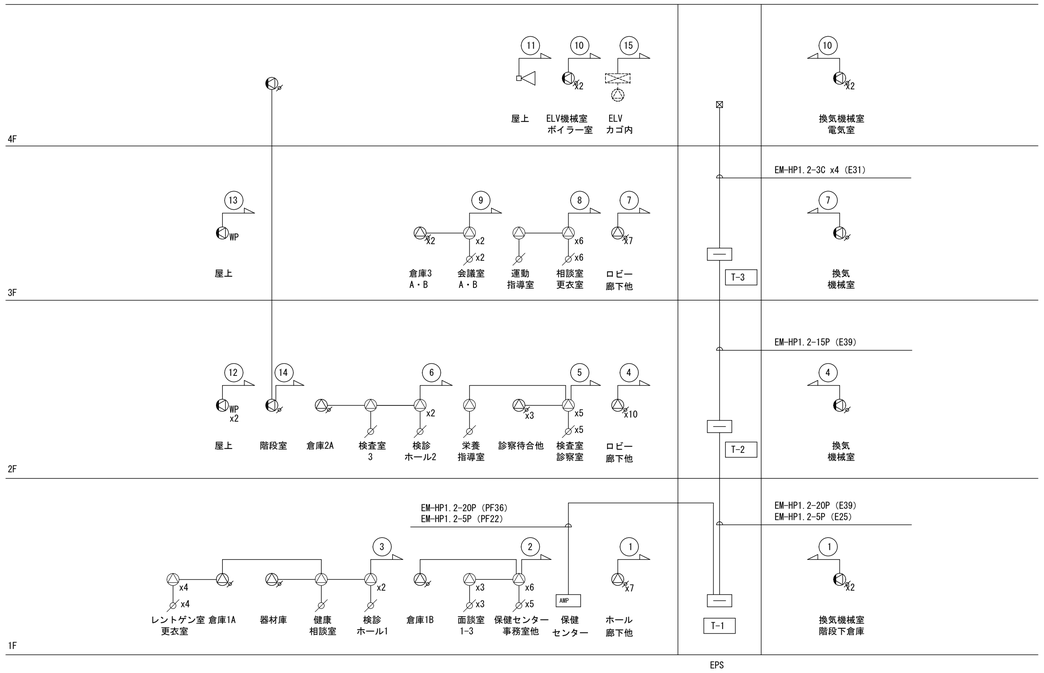
改修後



4 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R.8.1.30.	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No.	E-64
				変更年月日 R.7.10.00.	図面名称 電気時計設備 4階平面図(改修後) Scale 1/75		

非常放送設備　系統図



凡　例

シンボル	品　　名
AMP	非常業務放送装置
	天井埋込型スピーカー（ATT無）
W	天井埋込型スピーカー（ATT付）
W	壁掛型スピーカー（ATT付）
WP	屋外用スピーカー
	ホーンスピーカー
	アッテネータ

配管・配線

※特記なき配管配線は下記とする。

———— EM-HP1.2-3C　　保護管（PF16）又は（E19）

※二重天井内はコロガシ配線とし、立上げ・引き下げ
　壁・梁貫通部は上記保護管により保護のこと。

※ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、
　国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施す事とする。

回線容量表

非常系統番号	業務系統番号	階	放送区域	使用スピーカー種類・入力（W）・数量						合 計（W）	
					W	W	WP		EV		
				1W	1W	1W	5W	6W	1W		ATT
1	1	1階	ホール、廊下 他		7	2				9 W	
	2		保健センター、事務室 他	9	1					10 W	8
	3		検診ホール1 他	7	2					9 W	6
2	4	2階	ロビー、廊下 他		10	1				11 W	
	5		診察室、栄養指導室 他	6	3					9 W	6
	6		検診ホール2 他	3	1					4 W	2
3	7	3階	ロビー、廊下 他		7	1				8 W	
	8		更衣室、運動指導室 他	7						7 W	7
	9		会議室	2	2					4 W	2
4	10	4階	電気室、ELV機械室 他			4				4 W	
	11		屋上				1			6 W	
5	12	2階	屋上				2			10 W	
6	13	3階	屋上				1			5 W	
7	14		階段室			2				2 W	
8	15		ELVカゴ内						1	1 W	
	16		（予備）								
	17		（予備）								
	18		（予備）								
	19		（予備）								
	20		（予備）								
			合　計（台）	34	33	10	3	1	1	82 台	31
			合　計（W）	34	33	10	15	6	1	99 W	

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印　設計

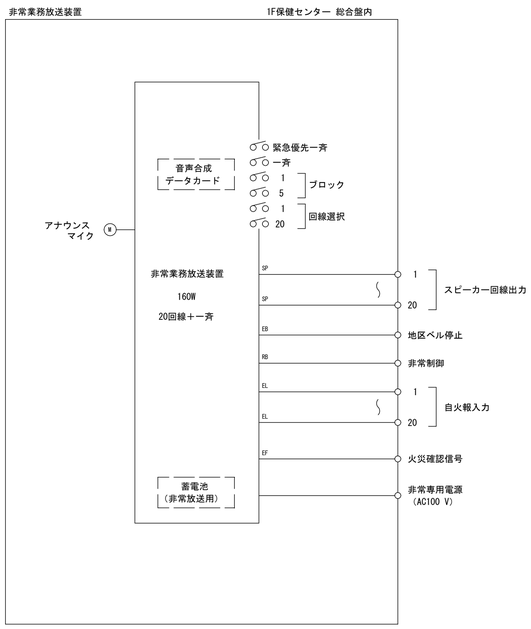
設計年月日 R 6. 1.30
変更年月日 R 7. 00. 00

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 拡声設備 系統図(改修後)　Scale NS

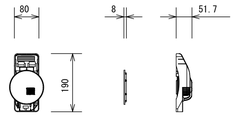
No. E-65

改修後

非常業務放送設備　ブロック図



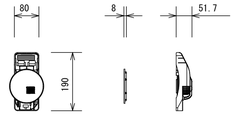
天井埋込型スピーカー（ATT無）



L級

スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミバンチング/ABS樹脂

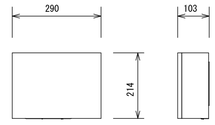
天井埋込型スピーカー（ATT付）



L級

スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミバンチング/ABS樹脂
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）

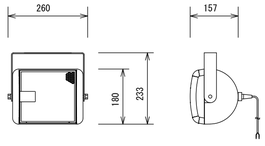
壁掛型スピーカー（ATT付）



L級

スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W (1 m)
周波数特性	120 Hz～13 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）
キャビネット	木製

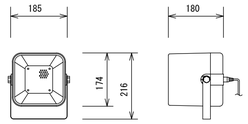
屋外用スピーカー



L級

スピーカーユニット	14 cmフルレンジコーン型（耐水・耐UV）
定格入力	15 W／5 W／2.5 W／1.5 W
出力音圧レベル	91 dB/W (1m)
周波数特性	100 Hz～18 kHz
入力インピーダンス	670 Ω／2 kΩ／4 kΩ／6.7 kΩ
防水性能	IPX5準拠（JIS C 0920：2003）
耐候性	重耐塩対応

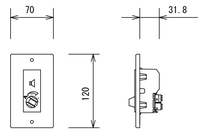
ホーンスピーカー



L級

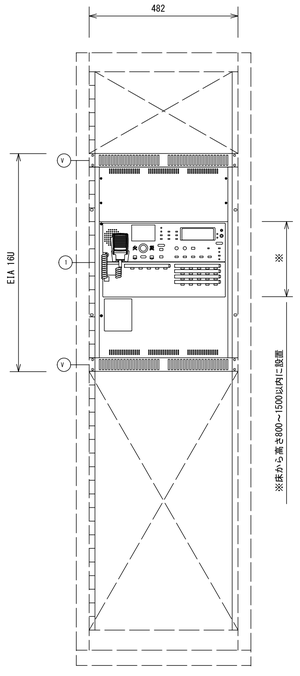
スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	96 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz～15 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920-2003）

アッテネータ



入力容量	6 W (0.5 W～6 W適合)
入力インピーダンス	1.7 kΩ～20 kΩ
音量調節	5段階（OFF、-18、-12、-6、0 dB）

非常業務放送装置（総合盤に組込）



1	非常業務放送装置
V	ベンチレートパネル

非常業務放送装置	
定格出力	160 W（D級増幅方式、出力トランスレス）
出力制御	20回線および一斉
非常放送	音声警報式、一斉火災放送移行機能付
ブロック放送	最大5ブロック（緊急優先1、緊急優先2、業務、BGM）
自火報連動	連動、連動一斉
音声警報メッセージ	日本語・英語・中国語・韓国語　150種類
業務放送メッセージ	38種類
業務放送優先順位	51段階
操作スイッチ	非常起動、非常復旧、火災放送、緊急優先一斉、一斉、他
ネットワーク機能	NTP、状態取得、状態出力、ログ取得、設定
表　　示	火災、発報放送、火災放送、非火災放送、出火階、作動、他
液晶表示	カラー表示
	14文字 x 9行（放送内容表示、起動元表示等）
状態出力	最大3回路14種類以上
音声入力	アナウンスマイク、報時チャイム、電話ページング、
	アナウンスユニット/無線、ユニットケース、BGM入力、マイク x2、
	ライン、非常リモコン、マルチ業務リモコン、業務リモコン
プログラムタイマー	内蔵
モニタースピーカー	出力 0.45 W（音量調節器、ハウリング防止回路付）
カラーユニバーサルデザイン	対応
緊急地震速報	対応
電　　源	常用：AC100 V、非常時：DC24 V（ニッカド蓄電池）

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

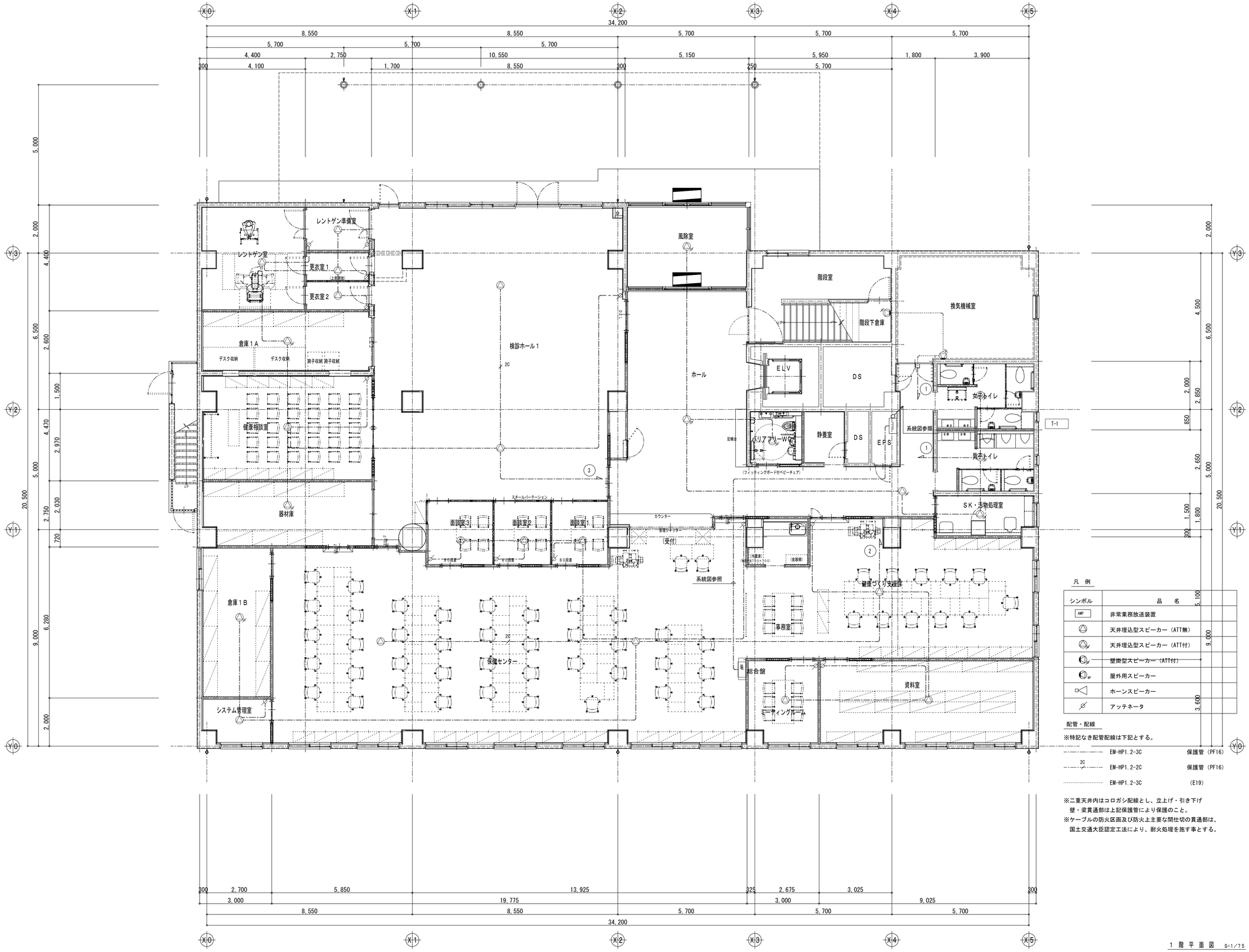
検印　設計

設計年月日　R 8. 1. 30
変更年月日　R 7. 00. 00

工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　拡声設備 機器参考姿図(改修後)
Scale　NS

No. E-66

改修後



凡例

シンボル	品名
AMP	非常業務放送装置
	天井埋込型スピーカー（ATT無）
ATT	天井埋込型スピーカー（ATT付）
ATT	壁掛型スピーカー（ATT付）
	屋外用スピーカー
	ホーンスピーカー
	アッテネータ

配管・配線

※特記なき配管配線は下記とする。

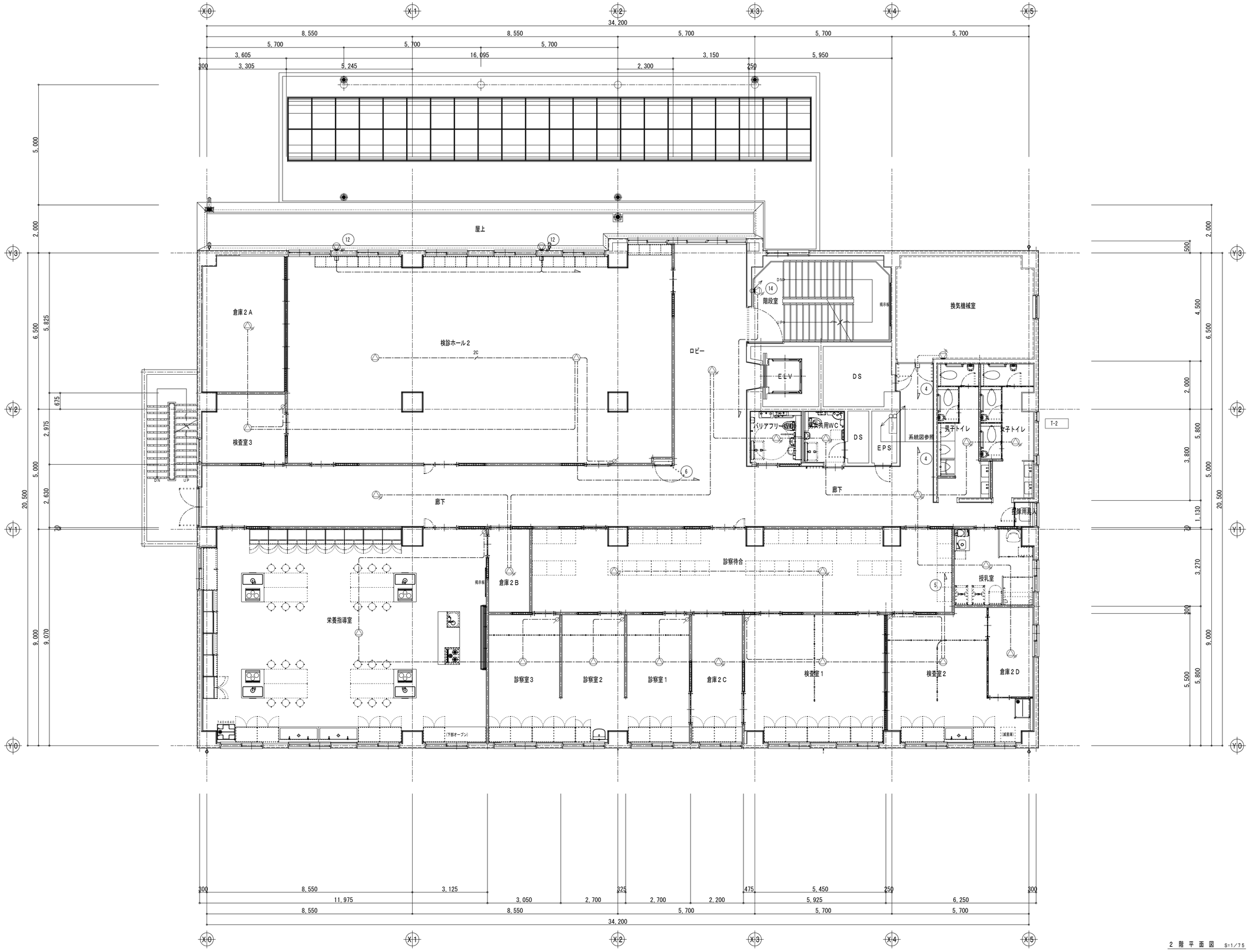
	EM-HP1.2-3C	保護管（PF16）
2C	EM-HP1.2-2C	保護管（PF16）
	EM-HP1.2-3C	（E19）

※二重天井内はコロガシ配線とし、立上げ・引き下げ
壁・梁貫通部は上記保護管により保護のこと。
※ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、
国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施す事とする。

1階平面図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 / 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 拡声設備 1階平面図(改修後) Scale 1/75	No. E-67

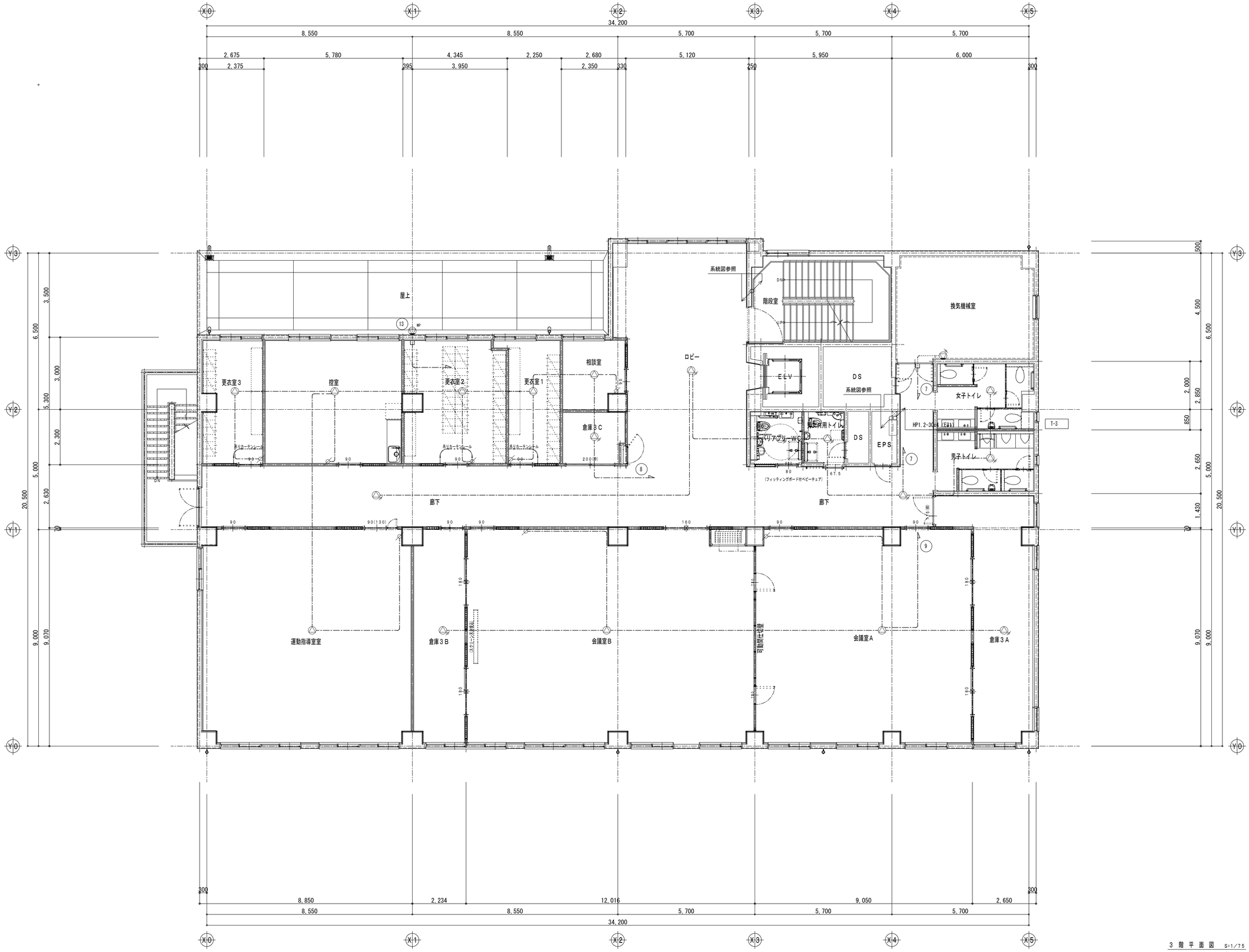
改修後



2 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No.	E-68
				変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 拡声設備 2階平面図(改修後) Scale 1/75		

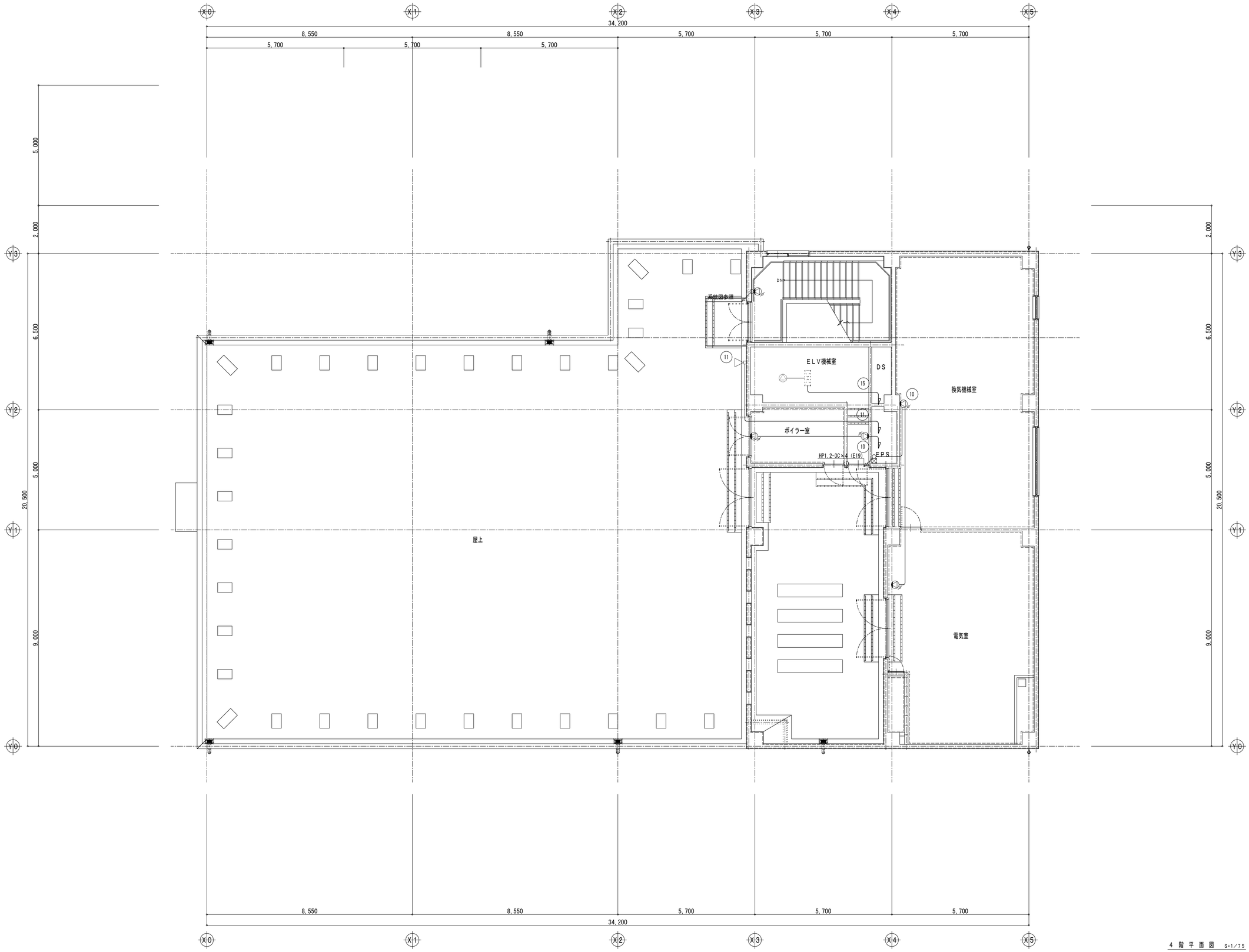
改修後



3 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 / 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No.	E-69
					図面名称 拡声設備 3階平面図(改修後) Scale 1/75		

改修後

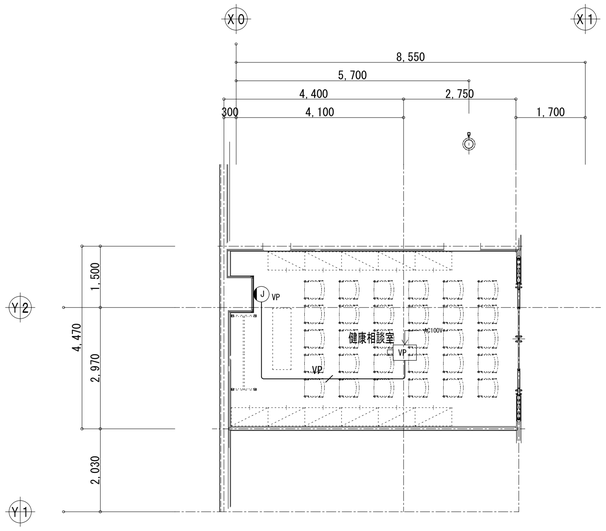


4 階 平 面 図 S=1/75

特記事項								
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 図面名称 拡声設備 4階平面図(改修後)	Scale 1/75	No.	E-70

改修後

健康相談室　AV設備　平面図（A1：1/75）



凡　例

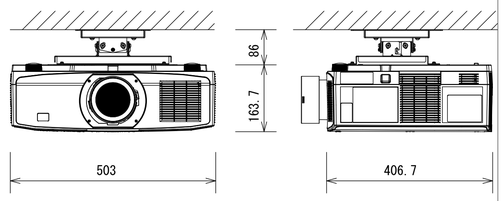
記　号	名　称
VP	プロジェクター（天吊）
J VP	壁面映像コンセント

配管・配線

特記無き配管配線は下記による。

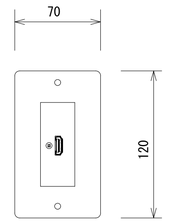
VP ——— EM-UTP0.5-4P（Cat.6）　保護管（PF16）　ｲﾝﾍﾞｲ

VP　プロジェクター（天吊）



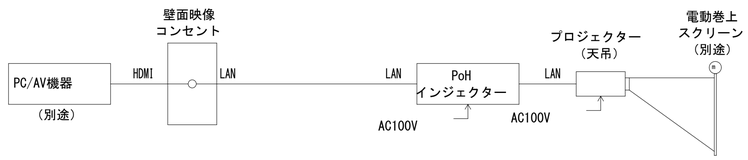
方　　式	3原色液晶シャッタ投映方式
パネルサイズ	0.76型 x3枚（アスペクト比16：10）
画素数	2,304,000画素（1920 x 1200）
光　　源	レーザーダイオード+蛍光体
投写レンズ	2.3倍　電動ズーム・電動フォーカスレンズ
	焦点距離：21.8-49.8 mm
明るさ	7,300 lm（標準レンズ、ワイド時）
コントラスト比	3,000,000：1（ダイナミックコントラストオン時）
最大表示解像度	デジタル：4096 x 2160
入力端子	HDMIタイプA x2　(HDCP1.4)
	HDBaseT x1
音声出力	ステレオミニジャック x1（全信号共通）
コントロール端子	RJ-45 x1（10BASE-T/100BASE-TX）
	RS-232C（D-Sub9ピン）　x1
	ステレオミニジャック x1
USBポート	USBタイプA x1
電源・消費電力	AC100 V 50/60 Hz、最大465 W
質　　量	15 kg（本体+レンズ+金具）

J VP　壁面映像コンセント

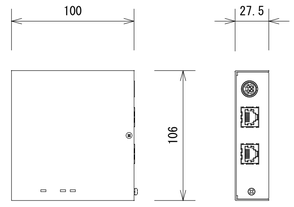


電　　源	PoH受電（IEEE802.3a相当）または12V 0.3A
映像入力	HDMI x1
映像出力	HDBaseT x1
出力解像度	VGA～4K@60（4:2:0）
機　　能	ロングリーチモード対応
プレート	新金属
適合ボックス	1個用スイッチボックス

健康相談室　AV設備　ブロック図



VP　PoHインジェクター



入力信号	HDBaseT（RJ-45）
出力信号	HDBaseT（RJ-45）
電　　源	DC 12V（専用ACアダプタ付属）約32W
質　　量	0.3kg

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印　設計

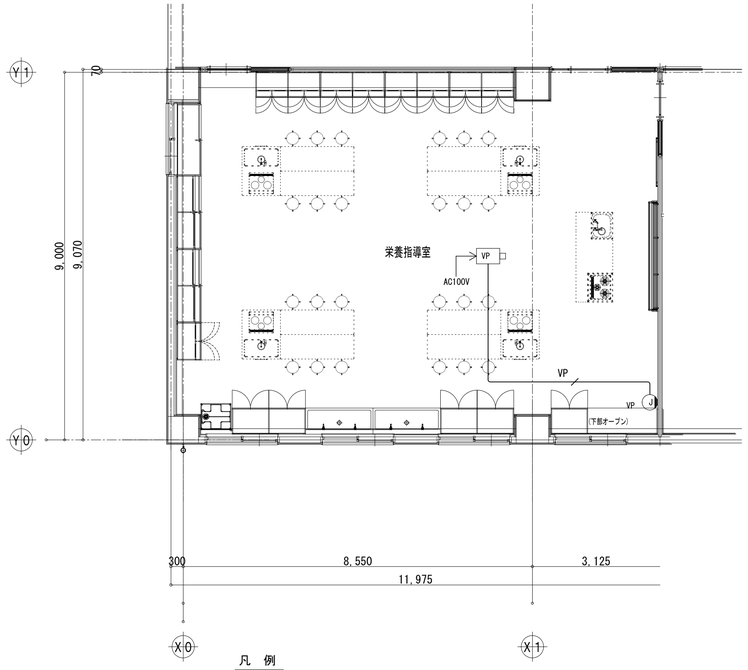
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日 R 7. 00. 00

工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　AV設備 1階平面図 機器参考姿図(改修後)
Scale 1/75

No. E-71

改修後

栄養指導室　AV設備　平面図（A1：1/75）



凡　例

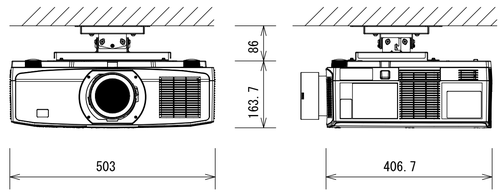
記　号	名　称
VP	プロジェクター（天吊）
J VP	壁面映像コンセント

配管・配線

特記無き配管配線は下記による。

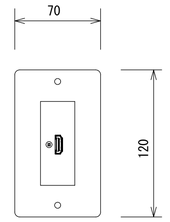
VP ／ EM-UTP0.5-4P（Cat.6）　保護管（PF16）　ｲﾝﾍﾞｲ

VP　プロジェクター（天吊）



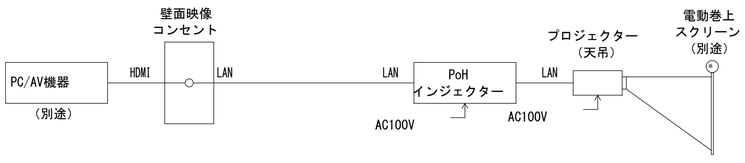
方　　式	3原色液晶シャッタ投映方式
パネルサイズ	0.76型 x3枚（アスペクト比16：10）
画素数	2,304,000画素（1920 x 1200）
光　　源	レーザーダイオード+蛍光体
投写レンズ	2.3倍　電動ズーム・電動フォーカスレンズ
	焦点距離：21.8-49.8 mm
明るさ	7,300 lm（標準レンズ、ワイド時）
コントラスト比	3,000,000：1（ダイナミックコントラストオン時）
最大表示解像度	デジタル：4096 x 2160
入力端子	HDMIタイプA x2　(HDCP1.4)
	HDBaseT x1
音声出力	ステレオミニジャック x1（全信号共通）
コントロール端子	RJ-45 x1（10BASE-T/100BASE-TX）
	RS-232C（D-Sub9ピン）　x1
	ステレオミニジャック x1
USBポート	USBタイプA x1
電源・消費電力	AC100 V 50/60 Hz、最大465 W
質　　量	15 kg（本体+レンズ+金具）

J VP　壁面映像コンセント

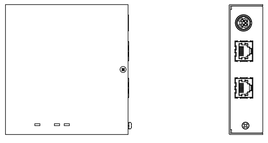


電　　源	PoH受電（IEEE802.3a相当）または12V 0.3A
映像入力	HDMI x1
映像出力	HDBaseT x1
出力解像度	VGA～4K@60（4:2:0）
機　　能	ロングリーチモード対応
プレート	新金属
適合ボックス	1個用スイッチボックス

栄養指導室　AV設備　ブロック図



VP　PoHインジェクター



入力信号	HDBaseT（RJ-45）
出力信号	HDBaseT（RJ-45）
電　　源	DC 12V（専用ACアダプタ付属）約32W
質　　量	0.3kg

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印 斎藤出　設計 濱口

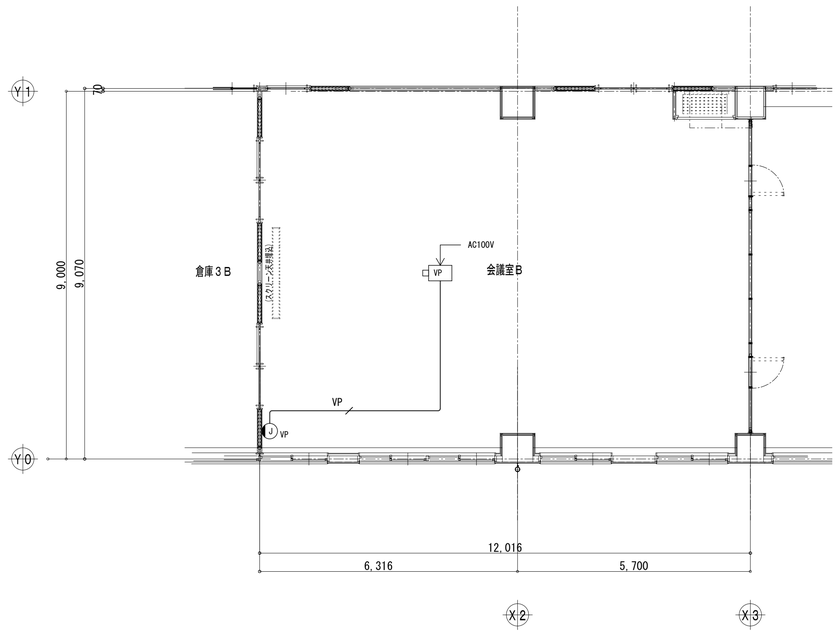
設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日 R 7. 00. 00

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 AV設備 2階平面図 機器参考姿図(改修後)
Scale 1/75

No. E-72

改修後

会議室B　AV設備　平面図（A1：1/75）



凡　例

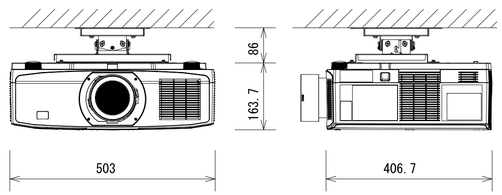
記　号	名　称
VP	プロジェクター（天吊）
J VP	壁面映像コンセント

配管・配線

特記無き配管配線は下記による。

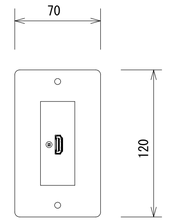
VP　EM-UTP0.5-4P（Cat.6）　保護管（PF16）　ｲﾝﾍﾞｲ

VP　プロジェクター（天吊）



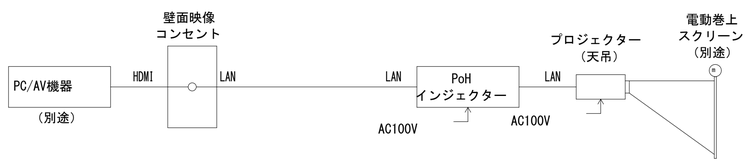
方　式	3原色液晶シャッタ投映方式
パネルサイズ	0.76型 x3枚（アスペクト比16：10）
画素数	2,304,000画素（1920 x 1200）
光　源	レーザーダイオード+蛍光体
投写レンズ	2.3倍　電動ズーム・電動フォーカスレンズ
	焦点距離：21.8-49.8 mm
明るさ	7,300 lm（標準レンズ、ワイド時）
コントラスト比	3,000,000：1（ダイナミックコントラストオン時）
最大表示解像度	デジタル：4096 x 2160
入力端子	HDMIタイプA x2　(HDCP1.4)
	HDBaseT x1
音声出力	ステレオミニジャック x1（全信号共通）
コントロール端子	RJ-45 x1（10BASE-T/100BASE-TX）
	RS-232C（D-Sub9ピン）　x1
	ステレオミニジャック x1
USBポート	USBタイプA x1
電源・消費電力	AC100 V 50/60 Hz、最大465 W
質　量	15 kg（本体+レンズ+金具）

J VP　壁面映像コンセント

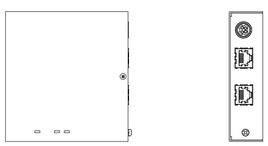


電　源	PoH受電（IEEE802.3a相当）または12V 0.3A
映像入力	HDMI x1
映像出力	HDBaseT x1
出力解像度	VGA～4K@60（4:2:0）
機　能	ロングリーチモード対応
プレート	新金属
適合ボックス	1個用スイッチボックス

会議室B　AV設備　ブロック図



VP　PoHインジェクター



入力信号	HDBaseT（RJ-45）
出力信号	HDBaseT（RJ-45）
電　源	DC 12V（専用ACアダプタ付属）約32W
質　量	0.3kg

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印　設計

設計年月日　R 8．1．30
変更年月日　R 7．00．00

工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　AV設備 3階平面図 機器参考姿図(改修後)
Scale　1/75

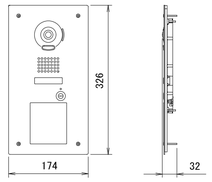
No.　E-73

改修後

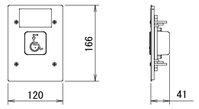
Ⓓ 外部受付用カメラ付ドアホン子機＋増設呼出ボタン

JP-CAR
KBW-BCA

外部受付用カメラ付ドアホン子機



増設呼出ボタン



外部受付用カメラ付ドアホン子機

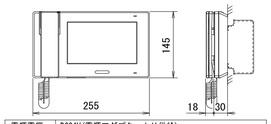
電源電圧	モニター付親機または映像長距離・監視カメラ接続
	アダプターから供給
形　状	壁埋込型（適合ボックス B-CAR）
材　質	ステンレス
カメラ	1/4カラーCMOS
備　考	増設呼出ボタン接続可
	防塵・防まつ形(JIS C 0920 IP54 相当)

増設呼出ボタン

形　状	壁埋込型（JIS3個用スイッチボックス）
材　質	ステンレス
備　考	防雨形(JIS C 0920 IPX3 相当)

Ⓣ モニター付親機

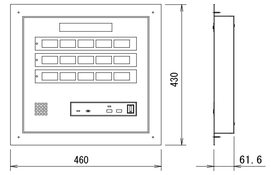
JP-4MED



電源電圧	DC24V(電源アダプターより供給)
形　状	据置・壁取付両用型
	(JIS2個用または3個用スイッチボックス)
	(卓上使用の場合、卓上スタンド(JPW-S)を使用する)
材　質	難燃性樹脂
モニター	7型TFTカラー液晶
通話方式	拡声自動交互通話
	受話器・電話型同時通話
録画機能	自動・手動録画、再生、保存

15L １５窓用呼出表示器

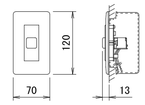
CBN-15C
CBN-FK15



電源電圧	AC100V　50/60Hz（内部電源DC12V）
形　状	盤組込型
材　質	SPCC t1.2
窓　数	１５窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯
備　考	

復旧ボタン

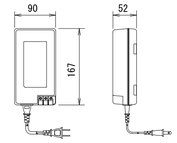
NBR-2A-C



形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	樹脂

P 電源アダプタ

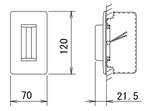
PS-2420A



電源電圧	AC100V
出力電圧	DC24V
出力電流	2A
形　状	据置・壁取付（専用金具）両用
材　質	樹脂

廊下灯

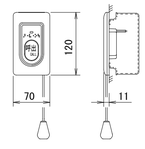
CBR-4B



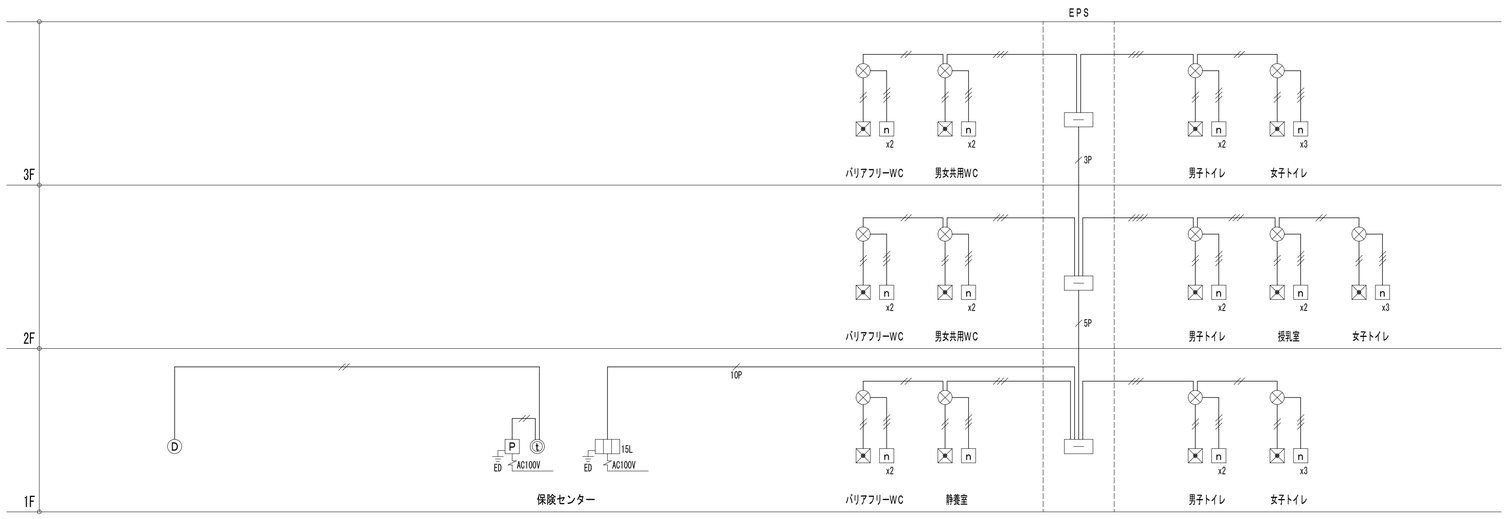
形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	本体:ＡＢＳ樹脂、カバー:ポリカ（アイスグレード）
表示灯	赤色（ＬＥＤ）

n 呼出ボタン（引きヒモ付）

NBR-7HWA-TC110



形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	自己消火性樹脂
備　考	点字案内文（ヨビダシ）、英文表示（CALL）
	呼出確認表示灯付、ひも式・押ボタン式両用
	防まつ形(JIS C0920 IPX4相当)
	引きひも 110cm(調節可)



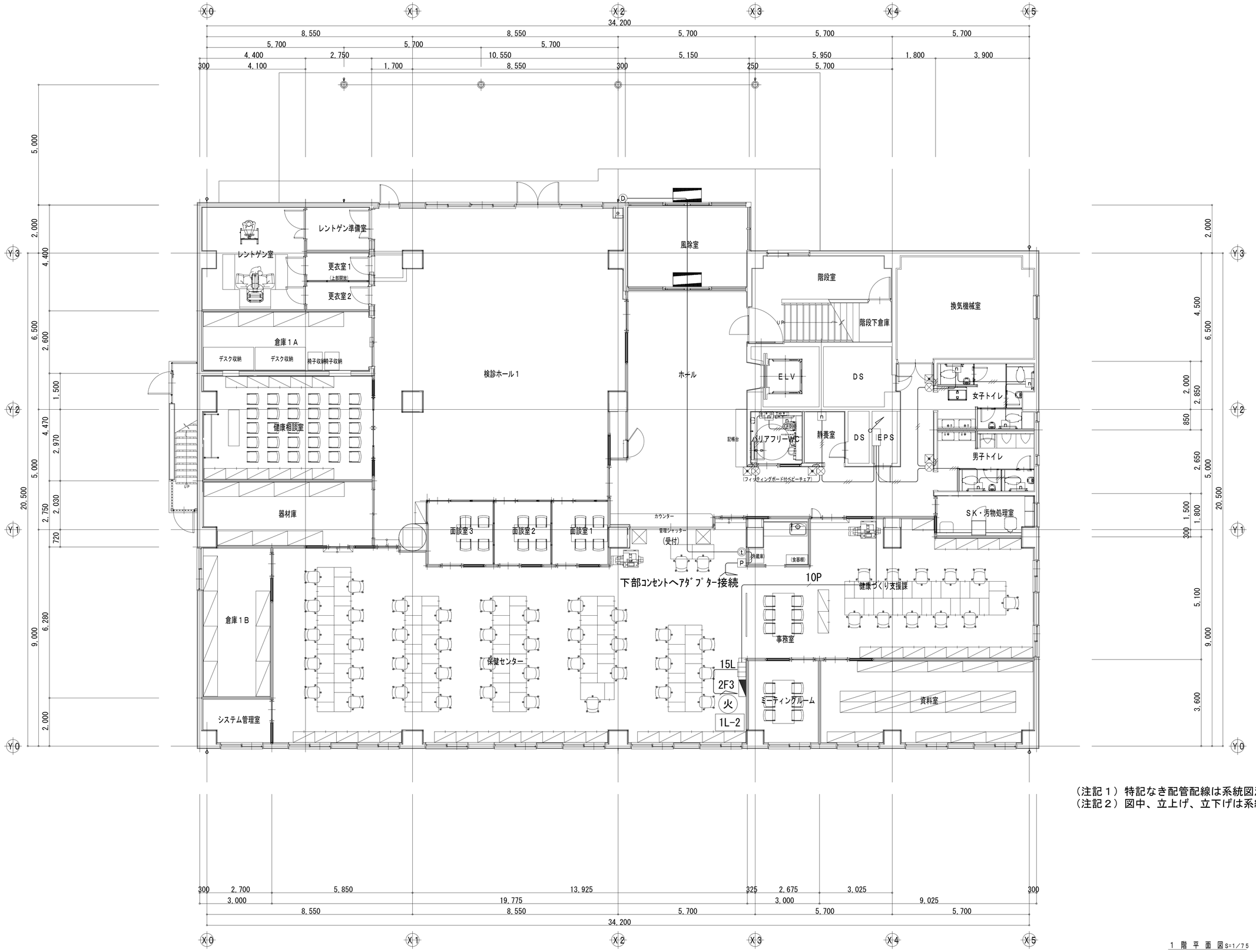
（注記）特記なき配管配線は下記とする。

	AE0.9-2C	(PF16)
	AE0.9-3C	(PF16)
	AE0.9-4C	(PF16)
3P	AE0.9-3P	(PF22)
5P	AE0.9-5P	(PF22)
10P	AE0.9-10P	(PF28)

インターホン・トイレ呼出設備　系統図

特記事項		斉藤出建築設計室	検印	設計	設計年月日 R 8 . 1 . 30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No.
		一級建築士 第326081号 齋 藤 出	斎藤出	濱口	変更年月日 R 7 . 00 . 00	図面名称	誘導支援設備 凡例・系統図(改修後) Scale 1/75	E-74

改修後

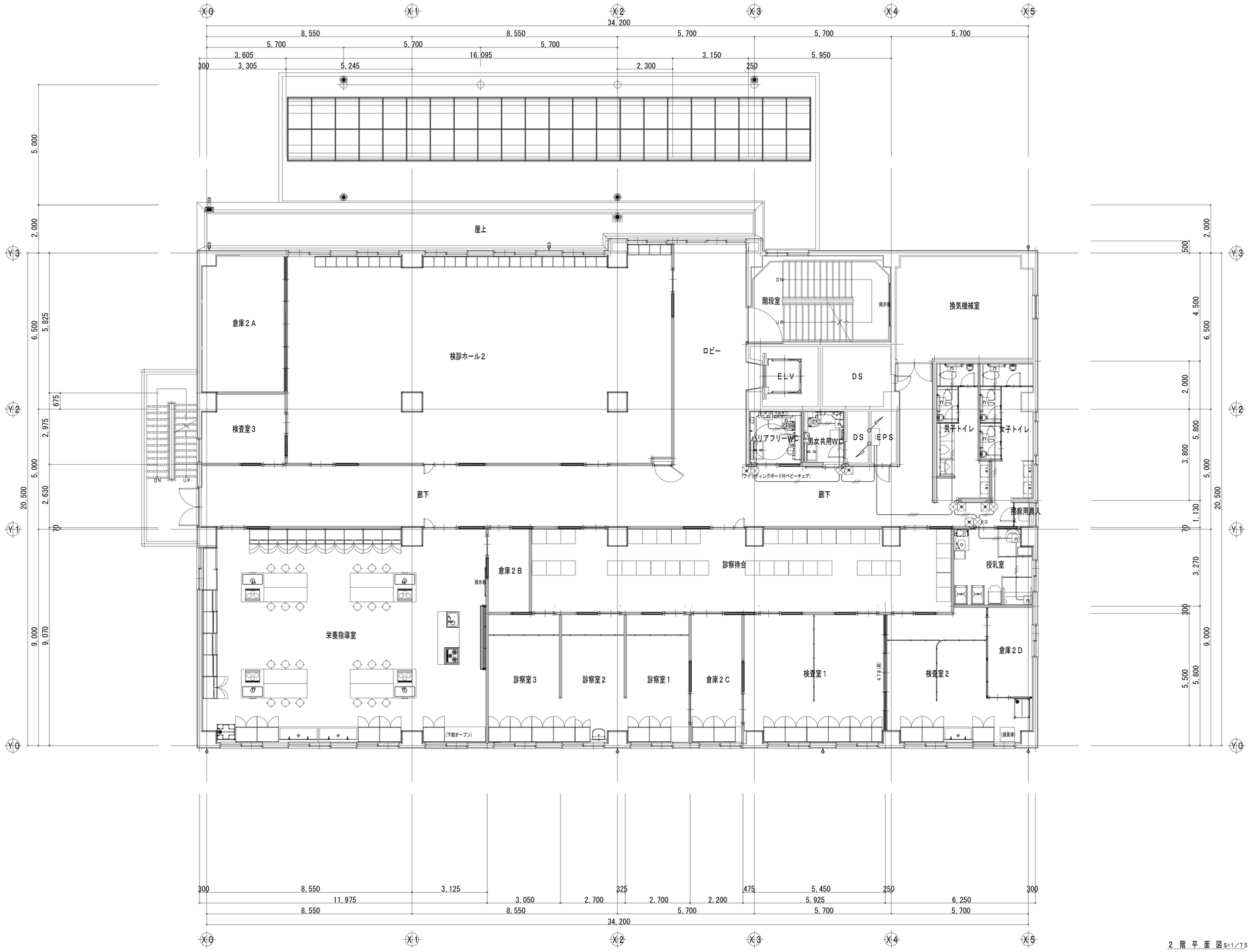


（注記１）特記なき配管配線は系統図注記参照とする。
（注記２）図中、立上げ、立下げは系統図参照とする。

1 階 平 面 図 S=1／75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第26081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8．1．30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No.
				変更年月日 R 7．00．00	図面名称	誘導支援設備 1階平面図(改修後) Scale 1/75	E-75

改修後



2 階 平 面 図 S=1／75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8．1．30 / 変更年月日 R 7．00．00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 誘導支援設備 2階平面図(改修後) Scale 1／75	No.	E-76

改修後

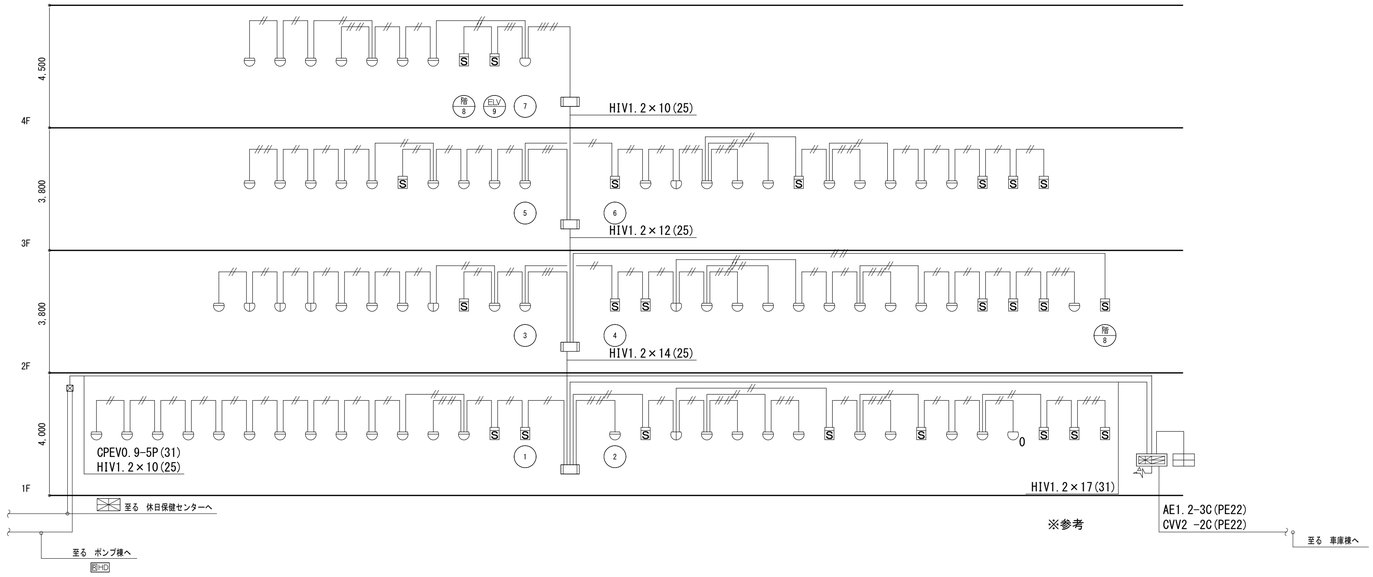


3 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 / 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 誘導支援設備 3階平面図(改修後)	Scale 1/75	No. E-77

凡例			新設	既設
記号	名称	備考		
	複合盤	（既設）（保健相談センター）		○
	受信機	（既設）（休日保健センター）		○
MS	機械警備制御盤	（設備工事）	○	
ELV	エレベータ制御盤	（設備工事）	○	
	機器収容箱	露出縦型，配線処理端子付 (P)(B) 収容	○	
	機器収容箱	消火栓内蔵，配線処理端子付 (P)(B) 収容	○	
(P)	Ｐ型発信機	１級，リング型表示灯	○	
		（ＡＣ２４Ｖ，ＬＥＤ，消火栓内蔵は点滅式）付		
(B)	火災警報ベル	ＤＣ２４Ｖ，１０ｍＡ	○	
Ω	終端抵抗	１０ＫΩ	○	
S	光電式スポット型感知器	２種，非蓄積型	○	
(S)	光電式スポット型感知器	２種，非蓄積型，床型点検ＢＯＸ付	○	
	差動式スポット型感知器	２種	○	
	定温式スポット型感知器	１種，７５℃	○	
	定温式スポット型感知器	１種，７５℃，防水型	○	
	定温式スポット型感知器	特種，６５℃，防水型	○	
R	移報器	表示灯電源供給用 ４０ＶＡ （制御盤組込）	○	
R HD	消火栓ポンプ制御盤	R 組込 （衛生工事）	○	
1	警戒区域番号	火災表示用		
階	警戒区域番号	火災表示用，階段用		
ELV	警戒区域番号	火災表示用，ＥＬＶ用		
MD	動作区域番号	専用感知器連動用		
防火	動作区域番号	防火戸，防火シャッタ用		
ガス	警戒区域番号	ガス漏れ表示用（個別監視用）		
	警戒区域線			
S	光電式スポット型感知器	３種，非蓄積型	○	
EB	自動閉鎖装置	DC24V 0.05A，防火戸用		○
検	検知器	都市ガス用，ＡＣ１００Ｖ，天井付，アダプター付	○	○
	ケーブル配線	天井いんぺい	○	○
	外線路	地中埋設		○
	配管配線	いんぺい	○	
	配管配線	露出	○	○
	配管配線立上げ引下げ		○	○
□ ⊠	ジャンクション，プルボックス		○	○

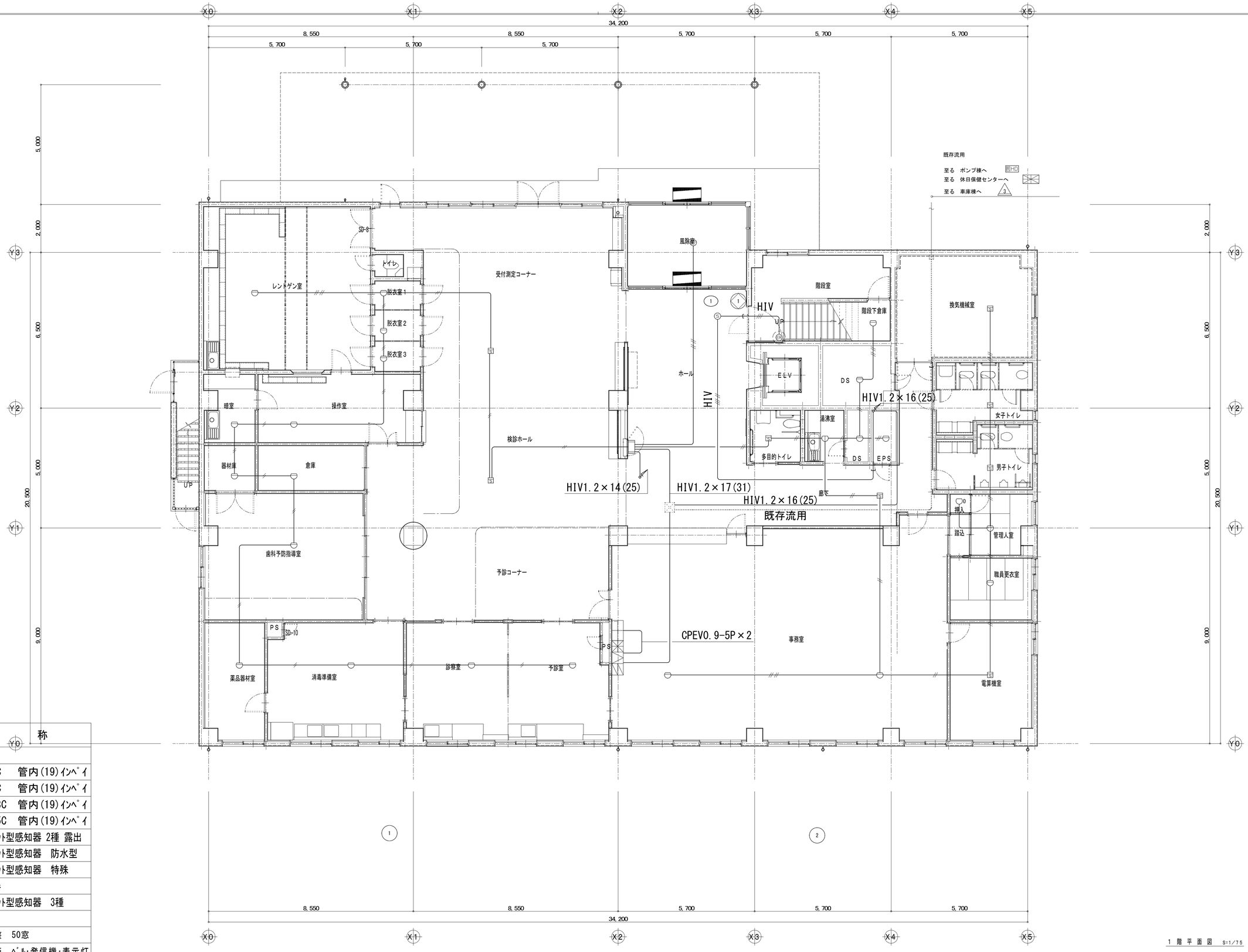
※参考



設備系統図

特記事項									
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 図面名称 火災報知設備 凡例・注記・系統図(改修前)	Scale NS	No.	E－78

改修前



1階平面図　S=1/75

凡　例

記　号	名　称
——//——	AE1.2-2C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
——///——	AE1.2-4C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
——//HIV——	HIV1.2-3C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
——///HIV——	HIV1.2-5C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 2種 露出
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　防水型
0	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　特殊
S	煙感知器
S	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　3種
	複合盤
	警報表示盤　50窓
	機器収容箱　ﾍﾞﾙ･発信機･表示灯
ER	自動閉鎖装置
.....	既存流用

※特記なき配線器具,ｹｰﾌﾞﾙ,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

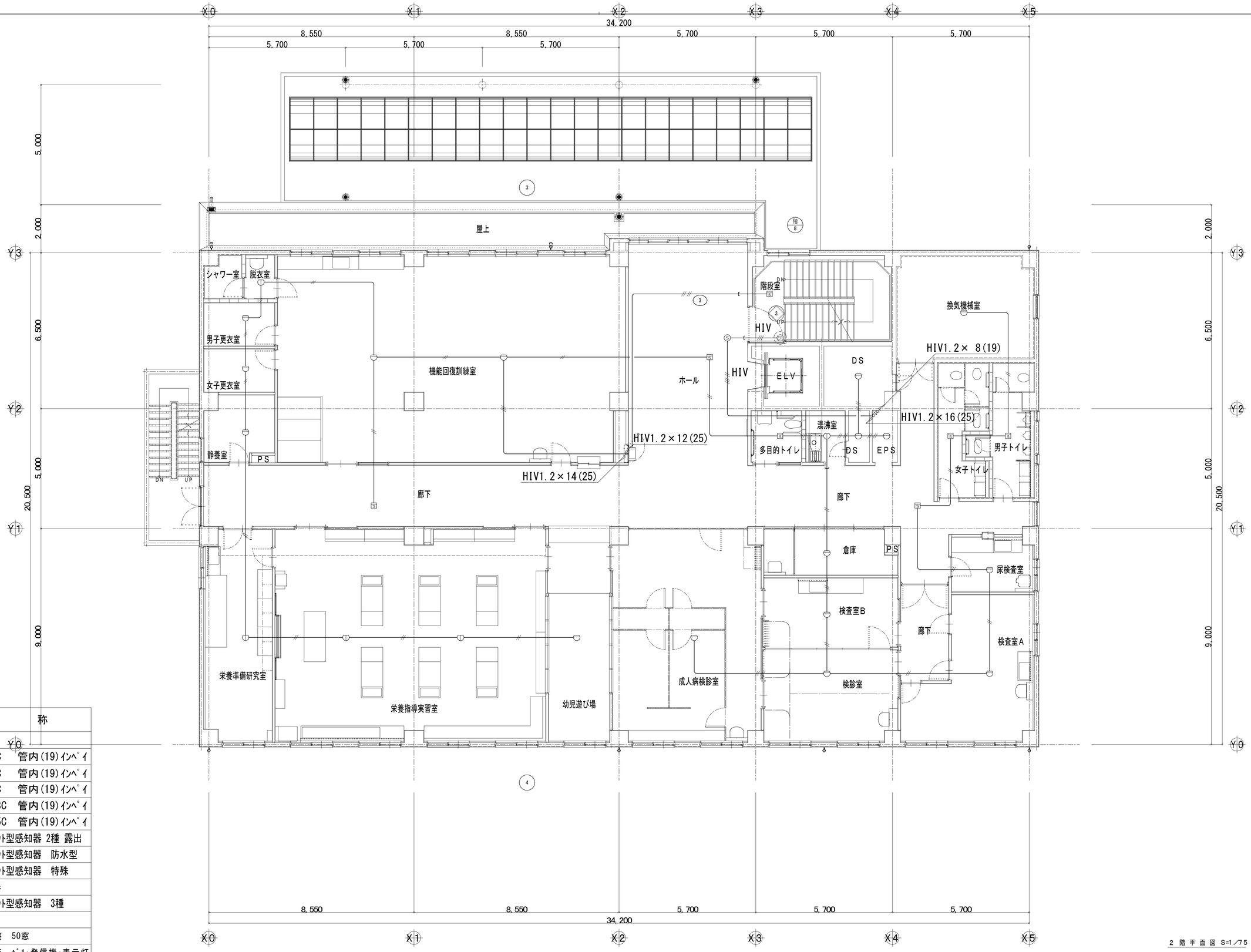
検印　設計

設計年月日　R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　火災報知設備 1階平面図(改修前)
Scale　1/75

No.　E-79

改修前



2 階 平 面 図 S=1／75

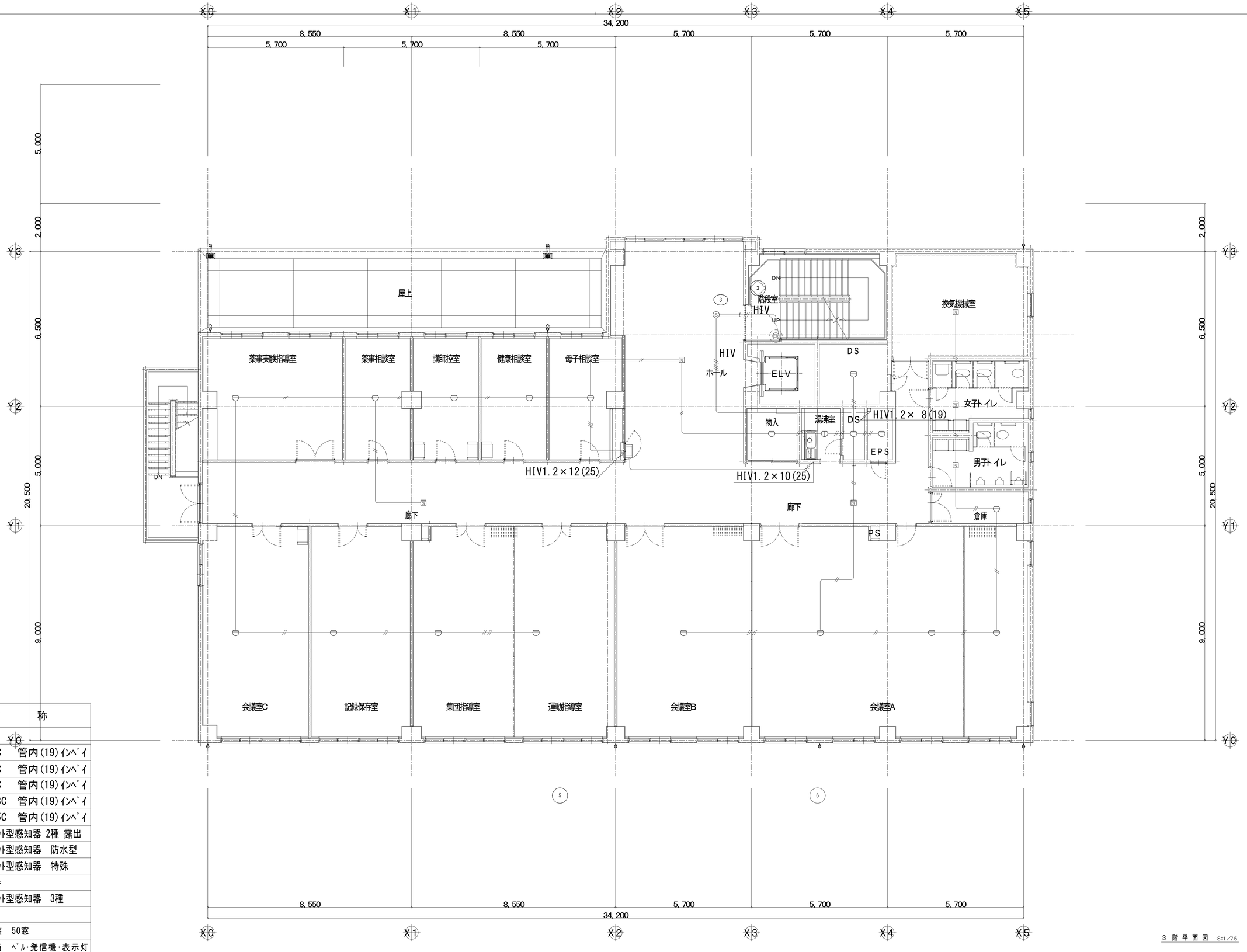
凡　例

記　号	名　　称
	Y0
―//―	AE1.2-2C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
―///―	AE1.2-3C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
―////―	AE1.2-4C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
HIV ―///―	HIV1.2-3C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
HIV ―////―	HIV1.2-5C　管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 2種 露出
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　防水型
0	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　特殊
S	煙感知器
S	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器　3種
	複合盤
	警報表示盤　50窓
	機器収容箱　ﾍﾞﾙ・発信機・表示灯
ER	自動閉鎖装置
.....	既存流用

※特記なき配線器具,ｹｰﾌﾞﾙ,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項							
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No.
				変更年月日	図面名称	火災報知設備 2階平面図(改修前) Scale 1／75	E-80

改修前



3 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

記 号	名 称
	AE1.2-2C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
	AE1.2-3C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
	AE1.2-4C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
HIV	HIV1.2-3C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
HIV	HIV1.2-5C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 2種 露出
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 防水型
0	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 特殊
S	煙感知器
S	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 3種
	複合盤
	警報表示盤 50窓
	機器収容箱 ﾍﾞﾙ・発信機・表示灯
ER	自動閉鎖装置
	既存流用

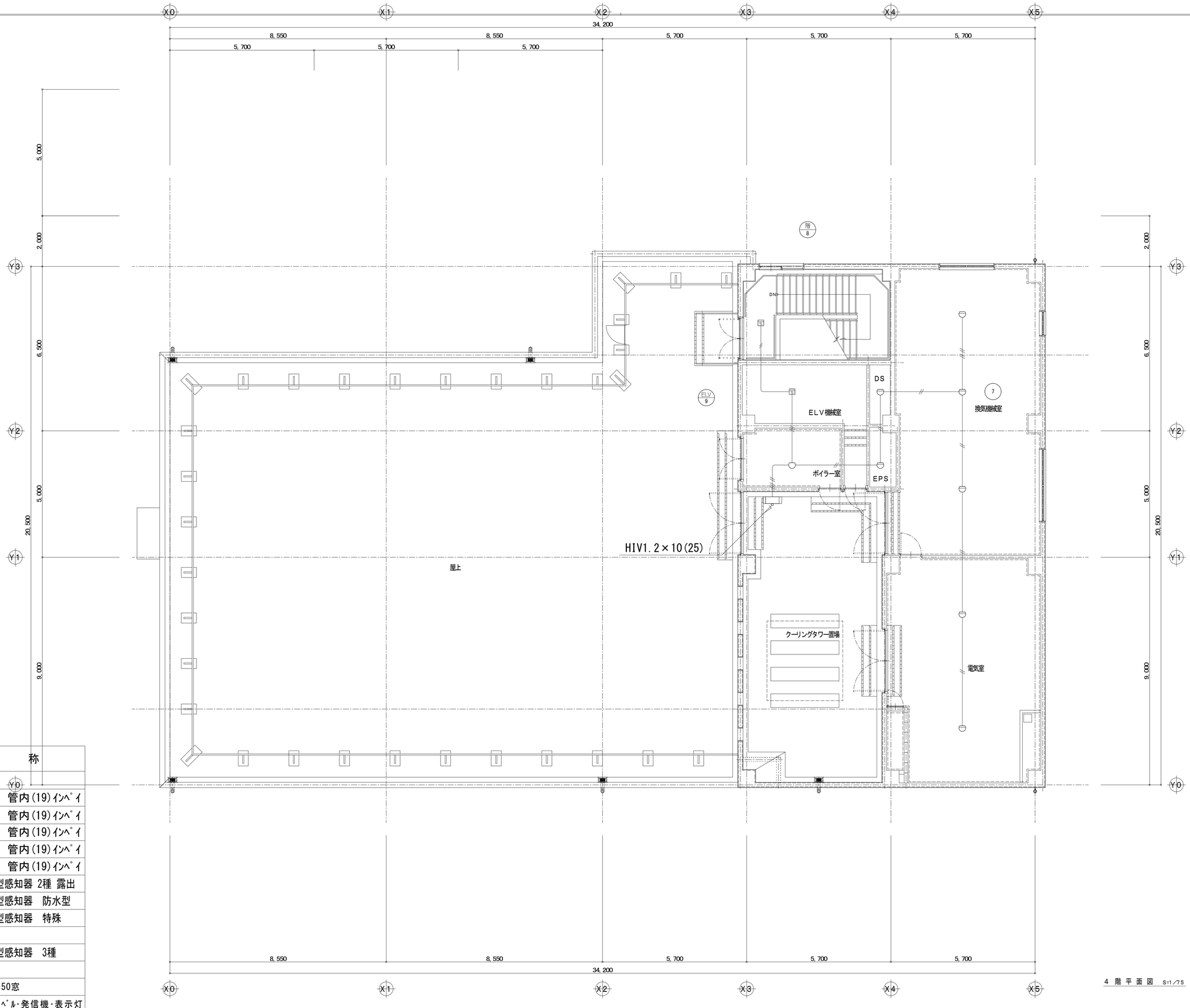
※特記なき配線器具,ｹｰﾌﾞﾙ,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	斎藤	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-81
		変更年月日	図面名称 火災報知設備 3階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修前



4 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

記 号	名 称
	AE1.2-2C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
	AE1.2-3C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
	AE1.2-4C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
HIV	HIV1.2-3C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
HIV	HIV1.2-5C 管内(19)ｲﾝﾍﾟｲ
	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 2種 露出
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 防水型
0	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 特殊
S	煙感知器
S	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 3種
	複合盤
	警報表示盤 50窓
	機器収容箱 ﾍﾞﾙ・発信機・表示灯
ER	自動閉鎖装置
	既存流用

※特記なき配線器具,ｹｰﾌﾞﾙ,配管は全撤去とし,床ｲﾝﾍﾟｲ打込配管は残置とする。

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印	設 計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-82
		変更年月日	図面名称 火災報知設備 4階平面図(改修前) Scale 1/75	

改修後

凡例

記号	名称	備考	新設	既設
	複合盤	（既設）（保健相談センター）		○
	受信機	（既設）（休日保健センター）		○
MS	機械警備制御盤	（設備工事）	○	
ELV	エレベータ制御盤	（設備工事）	○	
	機器収容箱	露出縦型，配線処理端子付 (P)(B)収容	○	
	機器収容箱	消火栓内蔵，配線処理端子付 (P)(B)収容	○	
(P)	Ｐ型発信機	１級，リング型表示灯	○	
		（ＡＣ２４Ｖ，ＬＥＤ，消火栓内蔵は点滅式）付		
(B)	火災警報ベル	ＤＣ２４Ｖ，１０ｍＡ	○	
Ω	終端抵抗	１０ＫΩ	○	
S	光電式スポット型感知器	２種，非蓄積型	○	
(S)	光電式スポット型感知器	２種，非蓄積型，床型点検ＢＯＸ付	○	
⊖	差動式スポット型感知器	２種	○	
◯	定温式スポット型感知器	１種，７５℃	○	
◯	定温式スポット型感知器	１種，７５℃，防水型	○	
◯。	定温式スポット型感知器	特種，６５℃，防水型	○	
R	移報器	表示灯電源供給用　４０ＶＡ　（制御盤組込）	○	
R HD	消火栓ポンプ制御盤	R組込　（衛生工事）	○	
№	警戒区域番号	火災表示用		
階	警戒区域番号	火災表示用，階段用		
ELV	警戒区域番号	火災表示用，ＥＬＶ用		
MD	動作区域番号	専用感知器連動用		
防火	動作区域番号	防火戸，防火シャッタ用		
GAS	警戒区域番号	ガス漏れ表示用（個別監視用）		
——・——	警戒区域線			
S	光電式スポット型感知器	３種，非蓄積型	○	
EB	自動閉鎖装置	DC24V 0.05A，防火戸用		○
K	検知器	都市ガス用，ＡＣ１００Ｖ，天井付，アダプター付	○	○
——・——	ケーブル配線	天井いんぺい	○	○
——・——	外線路	地中埋設		○
————	配管配線	いんぺい	○	
- - - - -	配管配線	露出	○	○
	配管配線立上げ引下げ		○	○
□ ⊠	ジャンクション，プルボックス		○	○

《注　記》

1．今回工事概要について
・今回工事は既存エリア建築改修に伴う防災設備の新設、改修工事とする。

2．改修に伴う既設端末機器について下記の項目を行う
・既設感知器は撤去、新設を行う。
・既設発信機は撤去、新設を行う。
・既設火災警報ベルは撤去、新設を行う。
・既設機器収容箱は撤去、新設を行う。
・既設ガス漏れ検知器は撤去、新設を行う。ただし、車庫棟のガス漏れ検知器は改修範囲移外のため、既設流用とする。
・その他の端末機器は全て再使用する。

3．改修に伴う複合盤について
・今回工事エリアの監視、制御は既設Ｐ型複合盤（５０回線）にて行う。
また既設Ｐ型複合盤（５０回線）は撤去・再使用とする。
１）回線内訳

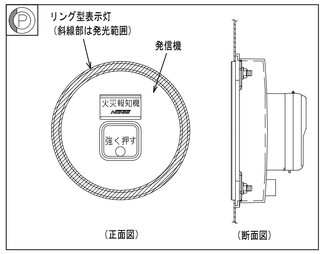
火災表示	９Ｌ	
火災表示（休日保健センター）	１Ｌ	
消火ポンプ始動表示（ＨＤ）	１Ｌ	
消火ポンプ故障表示（ＨＤ）	１Ｌ	
消火ポンプ呼水槽減水表示（ＨＤ）	１Ｌ	＋３１Ｌ（予備）　＝　５０Ｌ
防火戸、シャッタ閉鎖表示	３Ｌ	
ガス漏れ警報表示	２Ｌ	
ガス漏れ警報表示（車庫棟）	１Ｌ	

２）移報信号内訳：
・機械警備制御盤へ火災代表信号移報（無電圧、ａ接点、１Ｌ）
・エレベータ制御盤へ火災代表信号移報（無電圧、ａ接点、１Ｌ）
・既存休日保健センター既設受信機へ火災代表信号移報（無電圧、ａ接点、１Ｌ）

4．感知器は確認灯付とする。

5．地区ベル鳴動方式は一斉鳴動方式とする。

6．リング型表示灯付発信機の参考外観図は下記とする。



消火設備にリング型表示灯を内蔵する場合、取り付け用加工（スタッド加工）は衛生工事とする。

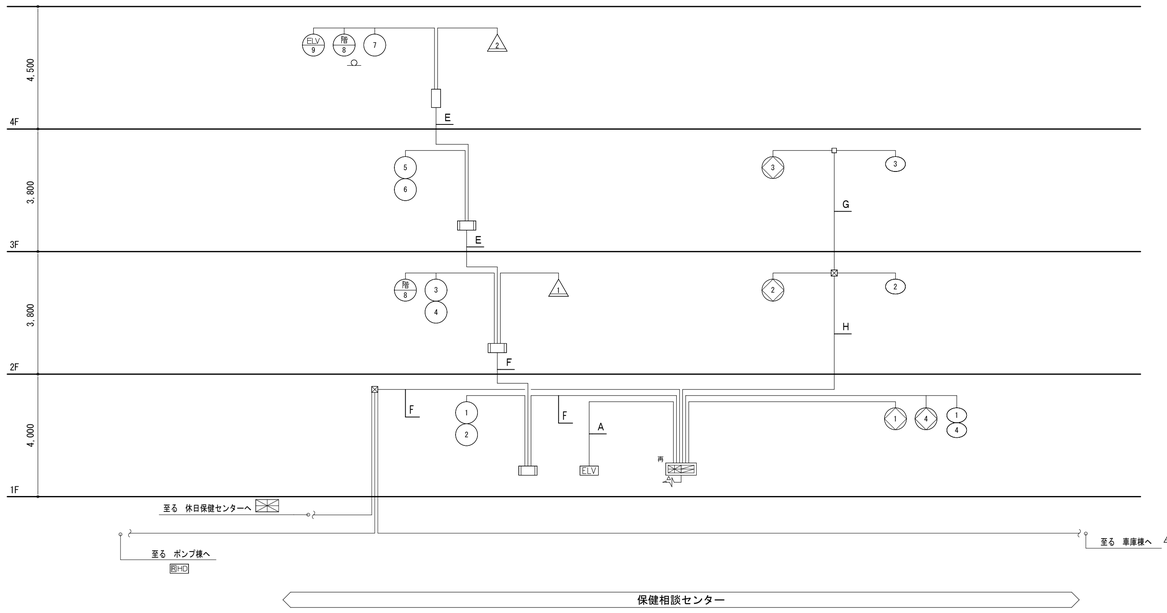
7．図面中の表現は下記とする。
・実　線 …… 新　設
・細　線 …… 既　設
・◯ …… 結線替え又は離線
・機器に記す　再　印は　機器の撤去・再使用を表す

8．特記なき配管配線は下記とする。

	ＥＭ－ＡＥ０．９－　２Ｃ（１９）
（感知器）	ＥＭ－ＡＥ０．９－　４Ｃ（１９）
呼	ＥＭ－ＨＰ０．９－　２Ｃ（１９）
防SS	ＥＭ－ＨＰ１．２－　３Ｃ（１９）
防	ＥＭ－ＡＥ０．９－　２Ｃ（１９）
	既設配線配線

ＥＭ－ＡＥ；警報用エコマテリアルケーブル
ＥＭ－ＨＰ；耐熱エコマテリアルケーブル

2重天井部分はケーブルころがし配線、直天井で打ち込み配管出来ない部分は露出配管配線とする。



配管配線内訳表

記号	配管配線内訳
A	ＥＭ－ＨＰ０．９－　２Ｃ（１９）
B	ＥＭ－ＨＰ０．９－　４Ｃ（１９）
C	ＥＭ－ＨＰ０．９－　３Ｐ（１９）
D	ＥＭ－ＨＰ０．９－　５Ｐ（２５）
E	ＥＭ－ＨＰ０．９－１０Ｐ（３１）
F	ＥＭ－ＨＰ０．９－１５Ｐ（３１）
G	ＥＭ－ＨＰ１．２－　３Ｐ（２５）
H	ＥＭ－ＨＰ１．２－　５Ｐ（２５）
I	ＥＭ－ＨＰ１．２－１０Ｐ（３１）
J	ＥＭ－ＡＥ０．９－　２Ｃ（１９）
K	ＥＭ－ＡＥ０．９－　４Ｃ（１９）

設　備　系　統　図

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

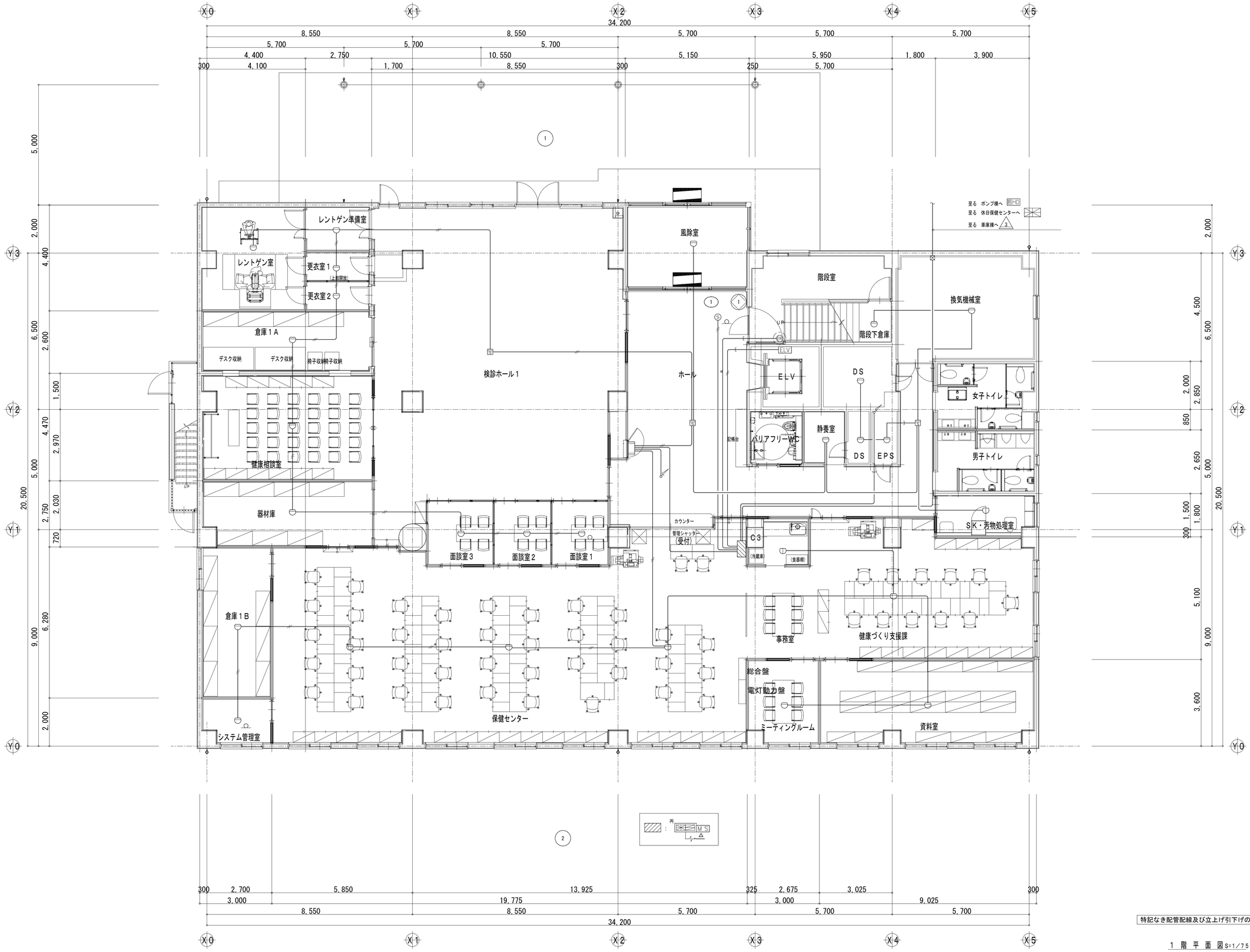
検印 齋藤出　設計 齋藤

設計年月日 Ｒ８．１．３０
変更年月日 Ｒ７．００．００

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 火災報知設備 凡例・注記・系統図(改修後)
Scale NS

No. E－８３

改修後

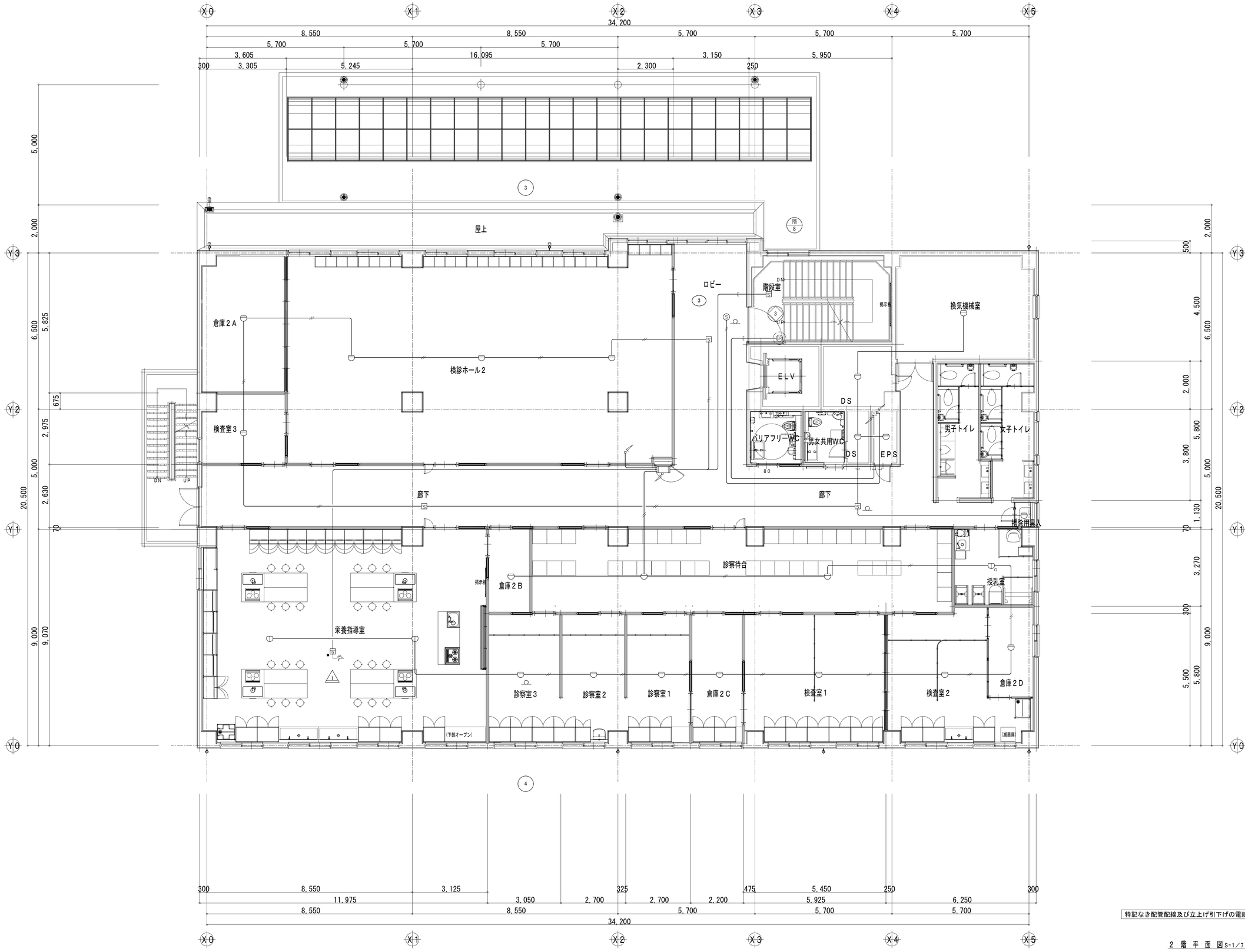


特記なき配管配線及び立上げ引下げの電線本数は系統図参照とする。

1 階 平 面 図 S=1/75

特記事項							
	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 図面名称 火災報知設備 1階平面図(改修後) Scale 1/75		No. E-84

改修後



特記なき配管配線及び立上げ引下げの電線本数は系統図参照とする。

2 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1 30 / 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 火災報知設備 2階平面図(改修後) Scale 1/75	No. E-85

改修後

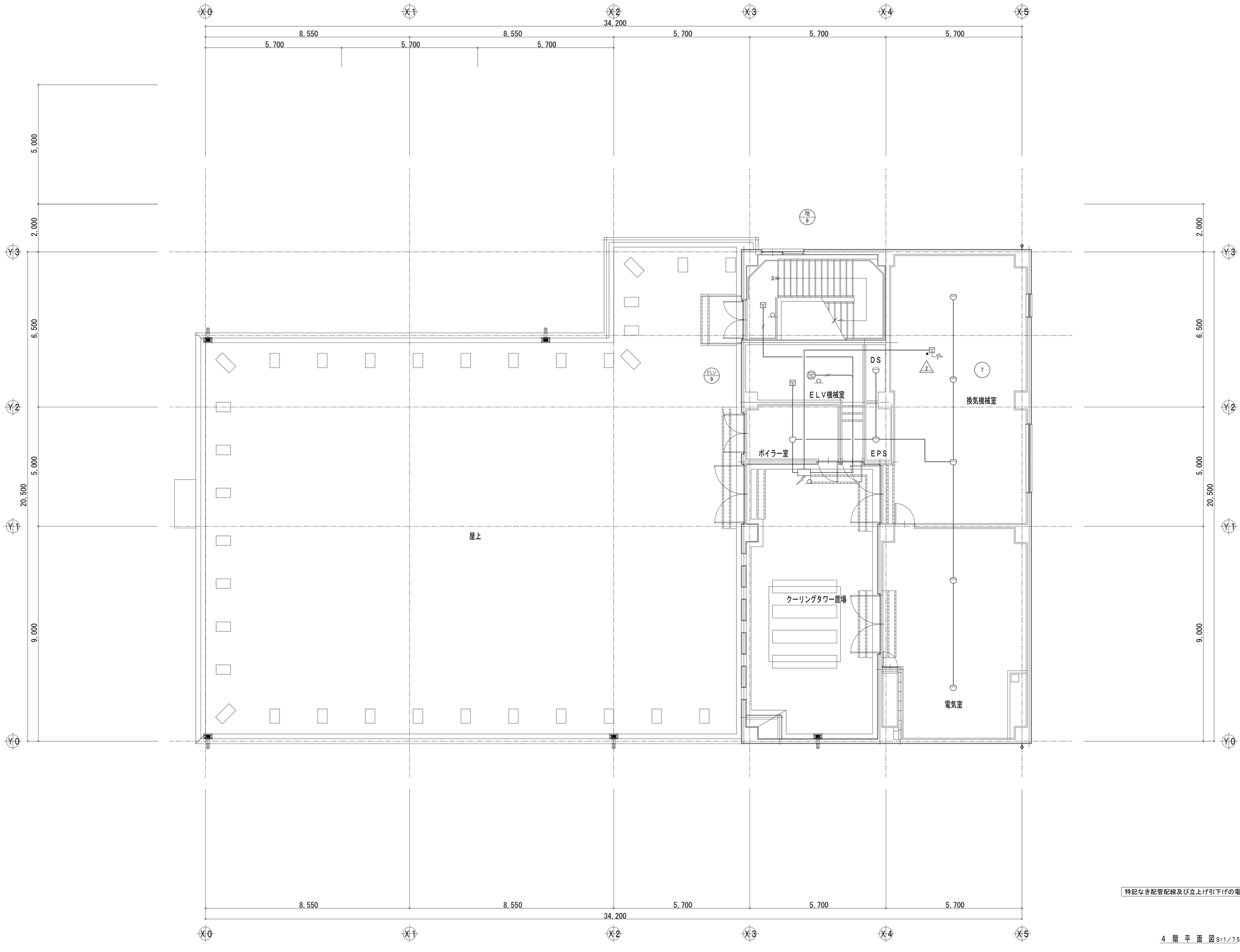


特記なき配管配線及び立上げ引下げの電線本数は系統図参照とする。

3 階 平 面 図 S=1/75

特記事項		斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1. 30 / 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 火災報知設備 3階平面図(改修後) Scale 1/75	No. E-86

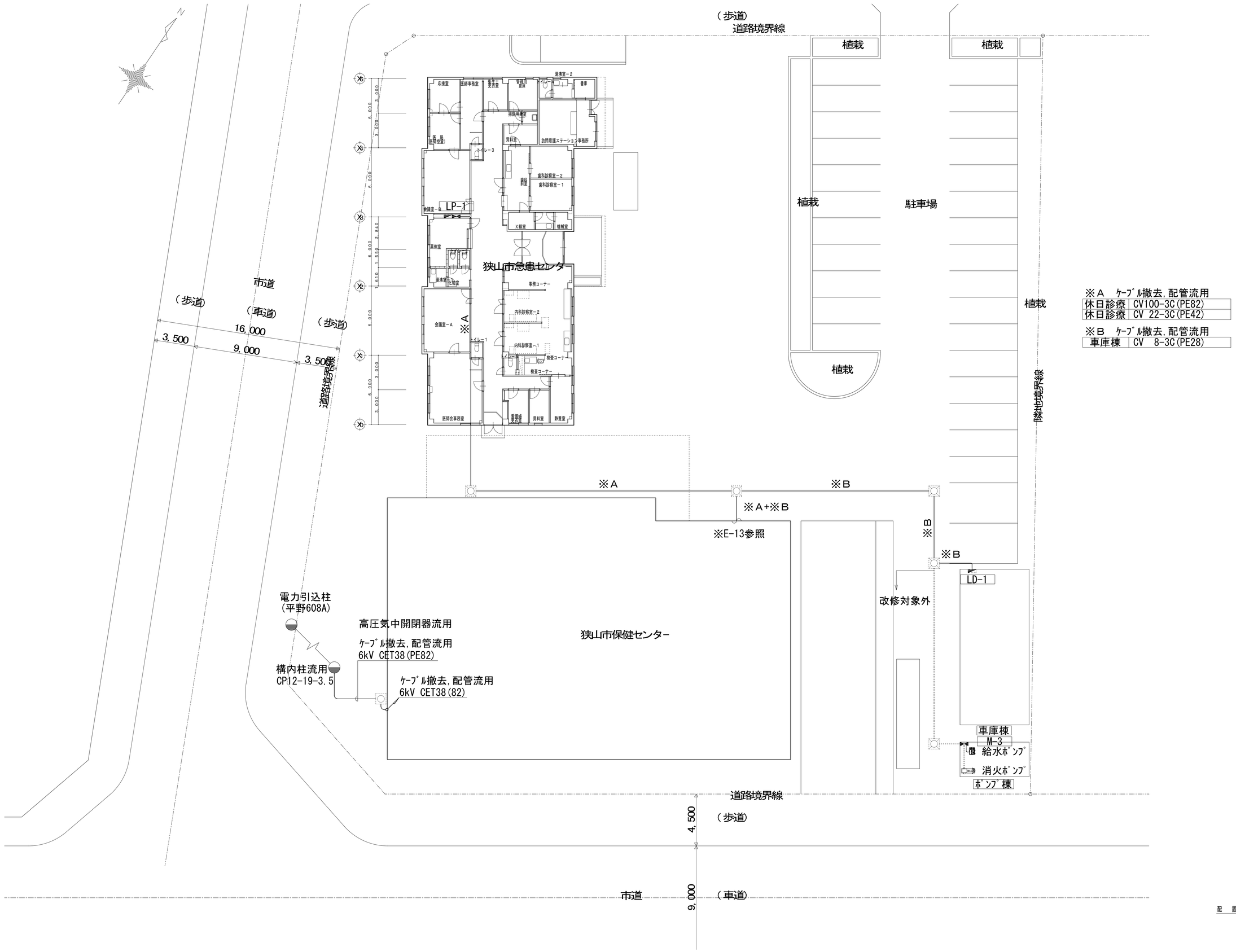
改修後



特記なき配管配線及び立上げ引下げの電線本数は系統図参照とする。

4 階 平 面 図 S=1/75

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1 30 / 変更年月日 R 7. 00. 00	工事名称 狭山市保健センター改修工事 / 図面名称 火災報知設備 4階平面図(改修後) Scale 1/75	No. E-87



※Ａ　ｹｰﾌﾞﾙ撤去，配管流用

休日診療	CV100-3C(PE82)
休日診療	CV 22-3C(PE42)

※Ｂ　ｹｰﾌﾞﾙ撤去，配管流用

車庫棟	CV 8-3C(PE28)

配　置　図　S=1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印　設計

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 構内配電線路 屋外平面図(改修前)
Scale 1/150

No. E-88

（歩道）
道路境界線
植栽
植栽
植栽
駐車場
植栽
植栽
隣地境界線
市道
（歩道）
（車道）
（歩道）
16,000
3,500
9,000
3,500
道路境界線
X6
X5
X4
X3
X2
X1
6,000
3,000
6,000
6,000
2,840
6,000
1,540
1,610
6,000
6,000
3,000
応接室
医師事務室
看護師更衣室
管理用倉庫
イレ-2
書庫
処置兼診察室
資料室
訪問看護ステーション事務所
イレ-3
歯科前室
歯科診察室-2
歯科診察室-1
会議室-B
LP-1
X線室
機械室
薬剤室
イレ-4
洗浄室
倉庫
狭山市急患センター
事務コーナー
内科診察室-2
会議室-A
※A
イレ-1
内科診察室-1
検査コーナー
検査コーナー
医師会事務室
看護婦更衣室
資料室
静養室
※A
※B
※A＋※B
※E-13参照
※B
※B
LD-1
改修対象外
電力引込柱
（平野608）
高圧気中開閉器流用
ケーブル端末処理材耐塩型新設，配管流用
6kV CET38(PE82)
狭山市保健センター
構内柱流用
CP12-19-3.5
配管流用
6kV CET38(82)
車庫棟
M-3
給水ポンプ
消火ポンプ
ポンプ棟
道路境界線
4,500
（歩道）
市道
9,000
（車道）

※A　ケーブル更新，既存配管流用

休日診療	EM-CET100(PE82)
休日診療	EM-CET 22(PE42)

※B　ケーブル更新，既存配管流用

車庫棟	EM-CE8-3C(PE28)

配　置　図　S=1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

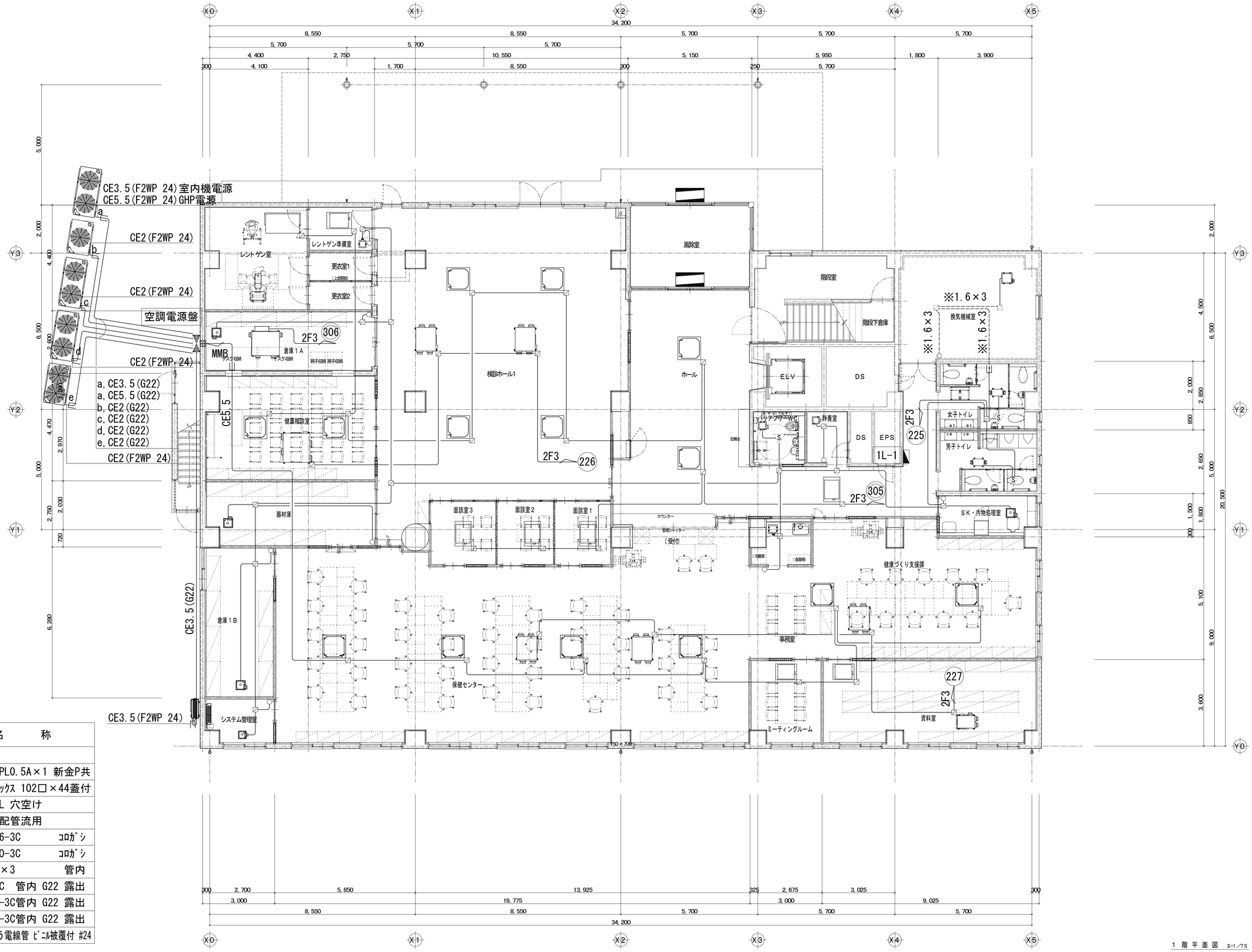
検印　設計

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 構内配電線路 屋外平面図(改修後)
Scale 1/150

No. E-89

改修後



凡　例

記　号	名　　称
○	埋込ｽｲｯﾁPL0.5A×1 新金P共
▨	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ 102口×44蓋付
——▨——	φ25-250L 穴空け
------※	既設打込配管流用
———	EM-EEF1.6-3C　ｺﾛｶﾞｼ
——2F3——	EM-EEF2.0-3C　ｺﾛｶﾞｼ
1.6×3	EM-IE1.6×3　管内
CE2(G22)	EM-CE2-3C　管内 G22 露出
CE3.5(G22)	EM-CE3.5-3C管内 G22 露出
CE5.5(G22)	EM-CE5.5-3C管内 G22 露出
(F2WP 24)	金属製可とう電線管 ﾋﾞﾆﾙ被覆付 #24

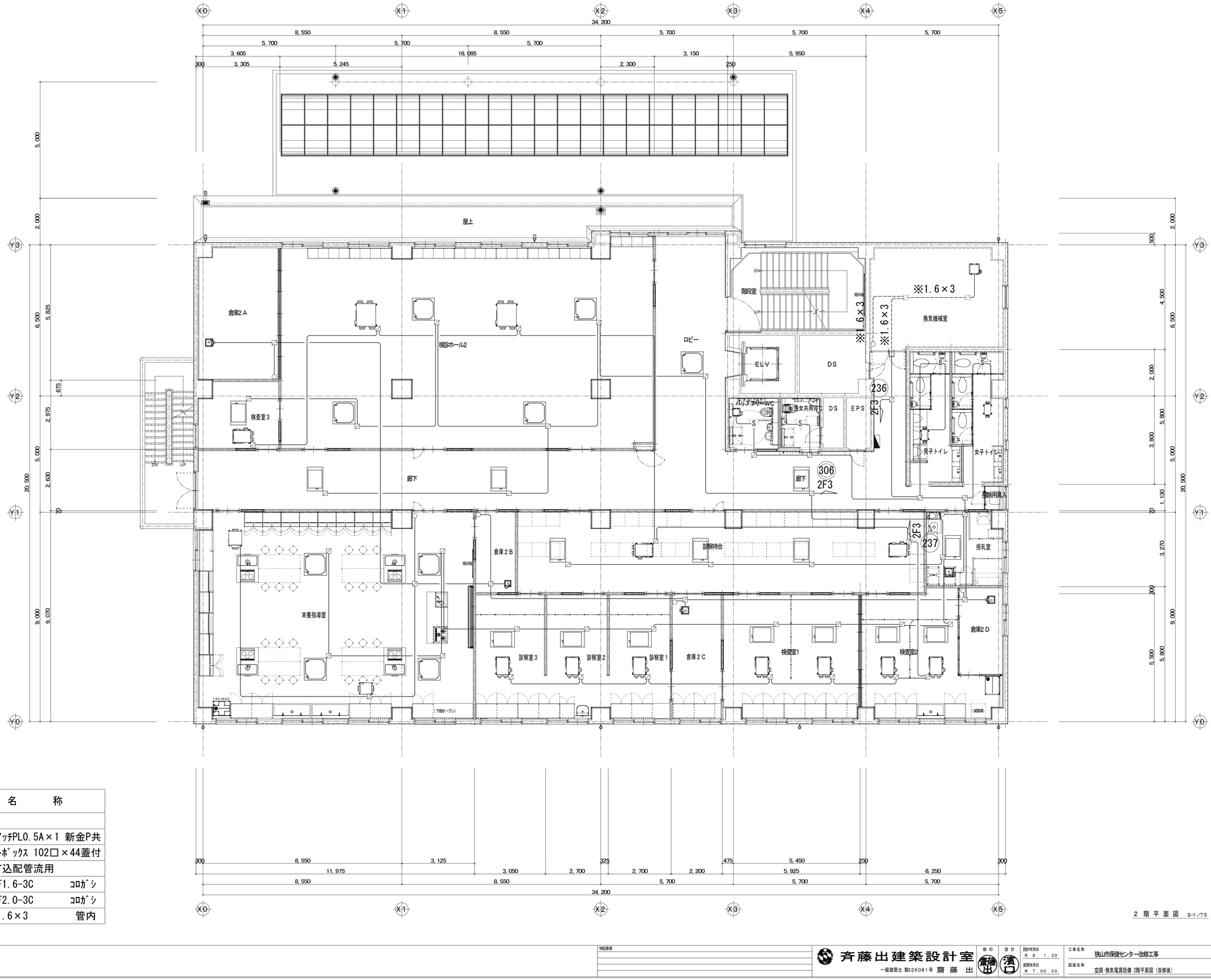
1 階 平 面 図　S=1／75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-90
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 空調・換気電源設備 1階平面図（改修後） Scale 1／75	

改修後



凡　例

記　号	名　　称	
○	埋込ｽｲｯﾁPL0.5A×1 新金P共	
▨	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ 102口×44蓋付	
----※	既設打込配管流用	
———	EM-EEF1.6-3C	ｺﾛｶﾞｼ
2F3	EM-EEF2.0-3C	ｺﾛｶﾞｼ
1.6×3	EM-IE1.6×3	管内

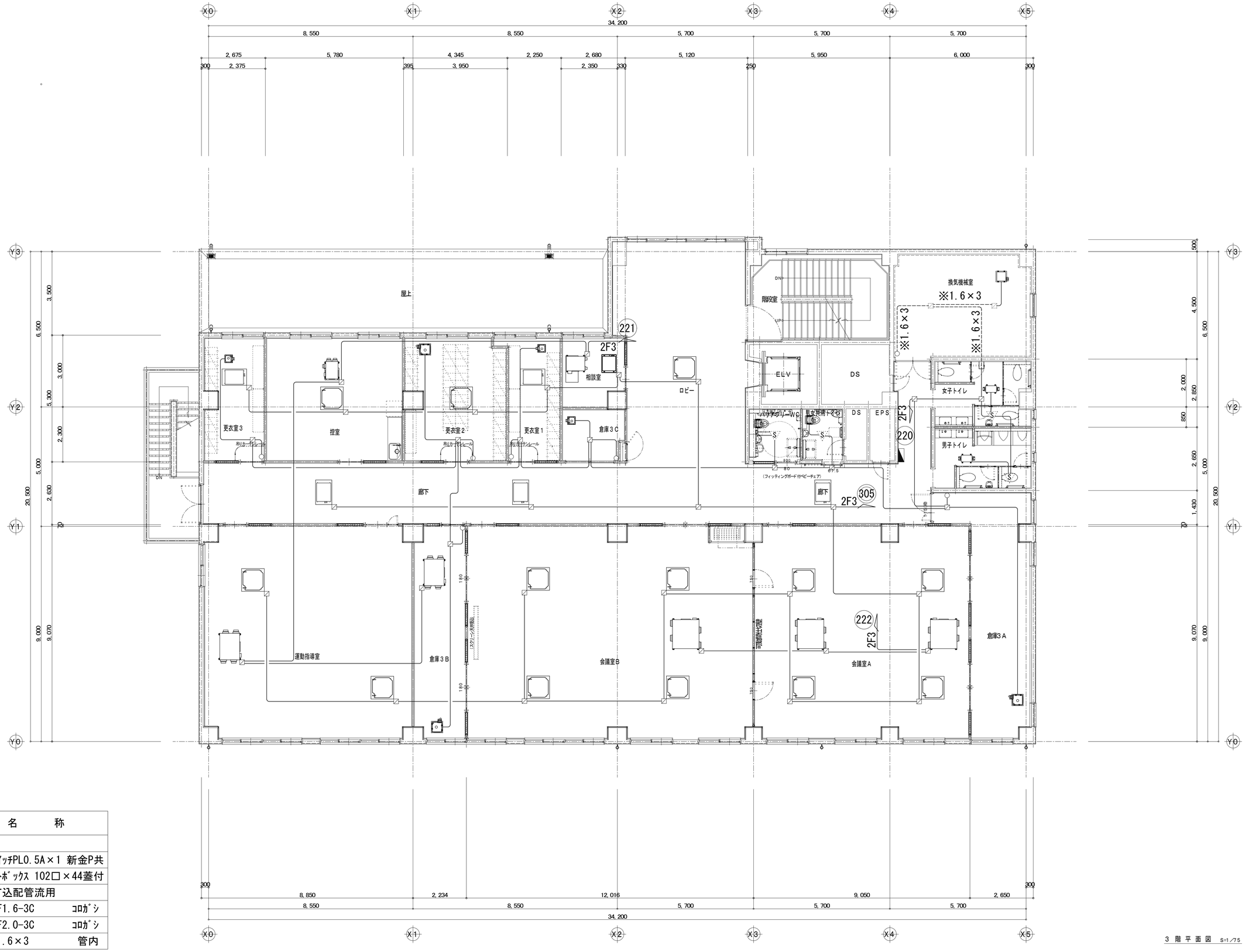
2 階 平 面 図　S=1／75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8. 1. 30	狭山市保健センター改修工事	E-91
		変更年月日 R 7. 00. 00	図面名称 空調・換気電源設備 2階平面図（改修後） Scale 1／75	

改修後



3 階 平 面 図 S=1/75

凡 例

記 号	名 称	
○	埋込ｽｲｯﾁPL0.5A×1 新金P共	
▨	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ 102口×44蓋付	
※	既設打込配管流用	
	EM-EEF1.6-3C	ｺﾛｶﾞｼ
2F3	EM-EEF2.0-3C	ｺﾛｶﾞｼ
1.6×3	EM-IE1.6×3	管内

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

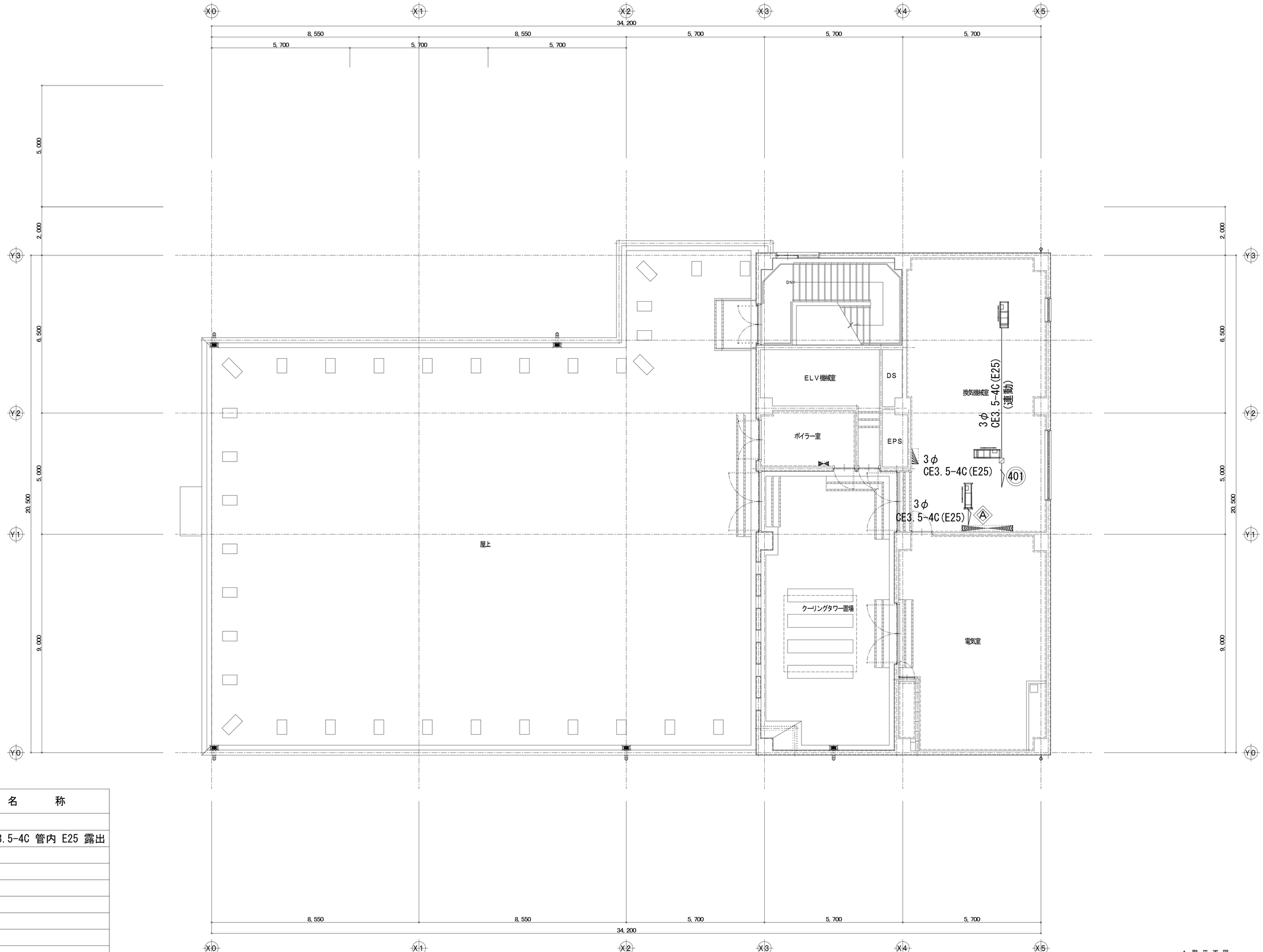
検印 齋藤出 設計 濱口

設計年月日 R 8. 1.30
変更年月日 R 7.00.00

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 空調・換気電源設備 3階平面図（改修後）
Scale 1/75

No. E-92

改修後



凡　例

記　号	名　　称
CE3.5-4C(E25)	EM-CE3.5-4C 管内 E25 露出

4 階 平 面 図　S=1／75

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	濱口	R 8 . 1 . 30	狭山市保健センター改修工事	E-93
		変更年月日 R 7 . 00 . 00	図面名称 空調・換気電源設備 4階平面図（改修後） Scale 1／75	

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1　工事名称　狭山市保健センター改修工事
2　工事場所　狭山市狭山台３丁目２４番地
3　工　期　契　約　日　から　令和　年　月　日
　現場施工期間　令和　年　月　日　から　令和　年　月　日
　現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

4　建物概要

	建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
①	狭山市保健センター	ＲＣ造	地上 4階	2,396	１５項	
②						
③						
④						
⑤						

5　工事種目（●印を付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別 ①	②	③	④	⑤	屋外
● 空気調和設備	一式					
● 換気設備	一式					
○ 排煙設備						
● 自動制御設備	一式					
● 衛生器具設備	一式					
● 給水設備	一式					
● 排水設備	一式					
● 給湯設備	一式					
● 消火設備	一式					
○ 厨房機器設備						
● ガス設備	一式					

6　指定部分　※無　・有
　対象部分：　工期：令和　年　月　日

7　主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
　1　専任期間の始期
　請負契約締結の日から、(・現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間　・令和　年　月　日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
　2　専任期間の終期
　工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
　3　専任期間の中断
　自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8　工事範囲　図示のとおり

9　機械設備工事概要

10　電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。

11　同時期発注の関連工事
　(・)建築工事　(・)電気設備工事

Ⅱ　工事仕様

1　共通仕様
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）、防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書及び監督員の指示に従い施工する。
　なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2　特記仕様
（1）章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は、(・)印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
　(・)印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章：●一般共通事項特記事項

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。 使用機材等については、ｱｽﾍﾞｽﾄ含有の有無を確認し、ｱｽﾍﾞｽﾄを含む機材は、使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 電気保安技術者	※置く　・置かない
③ 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
④ 技能士の適用	(・)配管施工（配管工事）　・建築板金施工（風道制作及び取付け） (・)熱絶縁施工（保温工事）・冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付）
⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね３ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。
6 監督員事務所	本工事で　・設ける（規模　　）　※設けない
⑦ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。
⑧ 工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。
⑨ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが　※できる　・できない
⑩ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。　・本工事とする。
⑪ 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。
⑫ 埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）　・山砂の類
⑬ 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、　・使用できる。　※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、１購入あたり１検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
⑭ 発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は　※本工事　・別途） （１）引渡しを要するもの（　　） （２）資取処分をするもの（　　） （３）再生資源化を図るもの（・硬質塩化ビニル管　・　　） （４）特別管理産業廃棄物（　　） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。
⑮ 容量等の表示	（１）機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
⑯ 配管	（１）地中埋設配管（排水管を除く） １）地中埋設標（コンクリート製）　※要（図示の箇所）　・不要 ２）地中埋設鈑（キャッツアイ）　※要（舗装部の分岐、曲部）・不要 ３）埋設表示テープ（２倍折込み）　※要　・不要
⑰ 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度K_H及び設計用鉛直震度K_V（K_H／２）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類 ・特定の施設 重要機器	・特定の施設 一般機器	・一般の施設 重要機器	・一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
	〈2.0〉	〈1.5〉	〈1.5〉	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
	〈1.5〉	〈1.0〉	〈1.0〉	〈0.6〉
１階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
	〈1.5〉	〈1.0〉	〈1.0〉	〈0.6〉

（注）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
　〈　〉内の数値は水槽類に適用する。
※上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４階）
　中間階とは地下階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）
重要機器は次のものを示す。
　給水装置　排水装置　換気機器　空調機器　熱源機器
　防災設備　監視制御設備　危険物貯蔵装置
　火を使用する設備　避難経路上に設置する機器

⑰-1 あと施工アンカー　機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
　重量１００ｋｇを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
　施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
　金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
　接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
　（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）
　あと施エアンカーの試験は、アンカーの種類毎に１か所引張試験を実施すること。

章：●一般共通事項特記事項（続き）

項目	特記事項
⑱ 防露保温工事	標準仕様書第２編によるほか下記による。 空気調和設備工事の保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b ・(ハ)・Ⅶ
	天井内、ＰＳ内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B ・(イ)・Ⅱ
	天井内、ＰＳ内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅱ
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	D ・(ロ)・Ⅱ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・Ⅱ
冷水・冷温水管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ
	機械室、書庫、倉庫	B ・(ハ)・Ⅲ
	天井内、ＰＳ内及び空隙壁中	C1・(イ)・Ⅲ
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	D ・(ハ)・Ⅲ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	E3・(ハ)・Ⅲ
温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B ・(イ)・Ⅰ
	天井内、ＰＳ内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	D ・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・Ⅰ

（注）１．冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。
　屋内露出部　※保温化粧カバー（※樹脂製　・亜鉛メッキ鋼板製　・ＳＵＳ製）
　屋外露出部　※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング　・ＳＵＳラッキング
　・保温化粧カバー（※樹脂製　・亜鉛メッキ鋼鈑製　・ＳＵＳ製）
２．施工種別Ｂの材料及び施工順序４、５に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
３．機器類の保温材の種別は、（※グラスウール保温材　・ロックウール保温材）とする。

ダクトの保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・ＸⅠ
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	Ⅰ ・(イ)・ＸⅠ
	屋内隠ぺい、ＤＳ内	Ⅰ ・(ロ)・ＸⅠ
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	K3・(イ)・ＸⅠ
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・ＸⅠ
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N ・(イ)・ＸⅠ
	屋内隠ぺい、ＤＳ内	N ・(ロ)・ＸⅠ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	P3・(イ)・ＸⅠ
消音内貼り	サプライチャンバー	M ・(ロ)・Ⅸ
	消音チャンバー・消音エルボ	L ・(ロ)・Ⅷ

給排水衛生設備工事の保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b ・(ハ)・Ⅶ
	天井内	c2・(ロ)・Ⅶ
	ＰＳ内及び空隙壁中	―
	県営住宅ＰＳ内	c2・(ハ)・Ⅶ
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	―
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	―
	機械室、書庫、倉庫	―
	天井内	c2・(ロ)・Ⅶ
	ＰＳ及び空隙壁中	―
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
給湯管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b ・(イ)・Ⅰ
	天井内	c2・(ロ)・Ⅰ
	ＰＳ内及び空隙壁中	d ・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	e3・(イ)・Ⅰ

（注）１．消火、排水及び通気管のうち見えかかり部は塗装を施す。
２．排水管の管種が耐火二層管、耐火ＶＰの場合は、保温を要しない。
３．施工種別ｂの材料及び施工順序３、４に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
４．機器類の保温材の種別は、（※グラスウール　・ロックウール）とする。
５．消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。
６．便所内露出ＳＵＳ管及び流し内露出ＳＵＳ管は保温を要しない。
７．空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。
※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてＦ☆☆☆とする。

⑲ 防凍保温　※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚40mmの防凍保温を行うこと。
・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は
下記仕様により防凍保温を行う。
※保温仕様は保温厚さを40mmとする。
・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

⑳ 塗装　下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。
※機械室、書庫、倉庫　・
下記の金属電線管は塗装を行う。
※屋外露出　※多湿箇所　屋内露出（※見えかかり部　・　　）

㉑ 電線　特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
　ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

●一般共通事項特記事項（付加事項）

項目	特記事項
㉒ はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてＸ線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
㉓ 管の埋設深さ	（１）公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 （２）構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで６００ｍｍとする。 （３）その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで３００ｍｍとする。
㉔ 既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
㉕ 絶縁継手の設置・種別	※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分　※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※５０Ａ以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ　・全て絶縁フランジ
㉖ 天井仕上げ区分	（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
㉗ 他工事との取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。
㉘ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
㉙ 保険	受注者は工事目的物及び工事材料について契約工期の期間中、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。
㉚ 配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
㉛ 墜落制止用器具（フルハーネス型）	※使用を要する　墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による ・使用を要しない
㉜ 誘導電動機	三相誘導電動機はＪＩＳ Ｃ ４２１３（ＩＥ３）トップランナーモーターとする。
㉝ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品運用ガイドライン　※適用する　・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。
㉞ その他	工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること及、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

●改修一般事項（付加事項）

項目	特記事項
① 共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。
② 改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 （１）内部足場　※　脚立足場　・枠組足場　・ （２）外部足場　※Ａ種（枠組足場）　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の⑵手すり据置方式又は⑶手すり先行専用足場方式により行うものとする。
③ 既存部分養生・既存家具等養生	（１）関係受注業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は（２）による。） （２）本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート　・合板　・
④ 備品等の移動	(・)別途工事　・本工事　※接続配管等の取外し、接続は本工事
5 仮設間仕切り	（１）関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は（２）による。） （２）本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※Ａ種　単管下地全面シート張り　・
⑥ 撤去後機材の扱い	（１）改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 （２）撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有すものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。
⑦ 支持金物の再使用	（１）インサート金物　・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる　※新品 （２）形鋼支持金物等　・再使用できる　※新品
⑧ あと施工アンカーの種別	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
⑨ フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入　・フロン再生後引き渡し　・未再生引き渡し 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。
⑩ 総合調整	・全体再調整　※改修部及び影響部のみ調整
⑪ 既設基礎類の解体はつり	建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。
⑫ アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。
⑬ その他	（１）図面上の縮尺は、ＪＩＳ　Ａ1版とした縮尺とする。 （２）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。

2024.4

特記事項

斉藤出建築設計室 一級建築士 第26081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8. 1.30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. M-01
			変更年月日	図面名称 特記仕様書(１) Scale N/S	

●空気調和設備

（3）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

（4）ＦＦ式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について
ＦＦ式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。

① 設計温湿度

	外気		屋内					
			一般系統					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	37.2℃	47.1%	26 ℃	50.0%	℃	%	℃	%
冬期	0.7℃	48.9%	20 ℃	40.0%	℃	%	℃	%

※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。

② 総合試運転調整
※本工事 ・別途
風量調整 ※する ・しない
水量調整 ・する ※しない
騒音の測定 ・する ※しない
室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない
初期運転状態の記録 ※する ・しない
工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない

3 煙道
（1）鉄板厚 （※3．2mm ・4．5mm ）
（2）ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない
（3）ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は８０Φとする）・設けない

4 煙突
※別途 ・本工事

5 長方形ダクト
※低圧ダクト（亜鉛鉄板製）
長辺の長さ１５００mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法
それ以外の部分 ※アングルフランジ工法
・高圧１ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧２ダクト（亜鉛鉄板製）
・ステンレス製ダクト（・Ａ区分 ※Ｂ区分）・塩ビ製ダクト（・Ａ区分 ※Ｂ区分）

⑥ 円形ダクト
※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無）
(注)１ 使用区分は図示による。

⑦ 風量測定口
取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダクト

⑧ チャンバー
（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバ及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。
・３００×３００ ・３００×５００ ※４００×６００ ・５５０×７５０
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

⑨ 吹出口及び吸込口ボックス
※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製

⑩ ダンパー
（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）定格入力ＤＣ24Ｖ，0.7Ａ以下
（2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）

⑪ 配管材料
（1）冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白）・
（2）冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白）・
（3）ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
（4）冷媒管 ※断熱材被覆銅管
（保温厚㎜ ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上）
（5）ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管ＶＰ
ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（ｴｽﾛﾝACﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟ相当品）
・耐火二層管ＶＰ（ＦＤＰＳ－１）
・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管ＶＰ
（消防協議事項： ）
ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧１mを超える配管には使用しない。
（6）油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
（7）蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
還管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管
（8）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管
※配管用炭素鋼鋼管（白） ・

⑫ 弁類
規格はＪＩＳ又はＪＶとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び共通仕様書による。
また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。

13 温度計
取付部は下記による。
※熱源機器の冷温水管(出入口共),冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共)
※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンバー、レタンダクト、
外気取入ダクト及びレタンチャンバー
※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・

14 圧力計
取付部は下記による。
※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共）
※空気調和機の冷温水管（出入口共）
※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・

15 瞬間流量計
瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※１個 ・ 個）付属とする。
・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。
・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。

16 油面制御装置
※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・着脱形）を設ける。
制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御
・返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。

※直交流式 ・向流型
17 冷却塔
※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・
補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。

●換気設備

⑱ 空気熱源ヒートポンプ空調機
標準仕様書によるほか下記による。
（1）圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御
（2）冷媒 ＨＦＣ（Ｒ４１０Ａ、Ｒ３２又はＲ４０７Ｃ）
（注1）Ｒ４１０Ａを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。
（注2）Ｒ３２を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。
（3）埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。

① 長方形ダクト
※低圧ダクト（亜鉛鉄板製）
長辺の長さ１５００mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法
それ以外の部分 ※アングルフランジ工法
・高圧１ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧２ダクト（亜鉛鉄板製）
・ステンレス製ダクト（・Ａ区分 ※Ｂ区分）・塩ビ製ダクト（・Ａ区分 ※Ｂ区分）

② 円形ダクト
※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
・耐火二層換気管又は耐火ＶＰ ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無）
(注)１ 使用区分は図示による。

③ 風量測定口
取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
送風機吐出ダクト又は吸込ダクト，外気取入ダクト

④ チャンバー
（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。
・３００×３００ ・３００×５００ ※４００×６００ ・５５０×７５０
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

⑤ ダンパー
（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）定格入力ＤＣ24Ｖ，0.7Ａ以下
（2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）

⑥ 多湿箇所の排気ダクト
（1）排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（ＶＵ）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管）を使用できる。
※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） ・
（2）水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける

⑦ 保温
下記のダクトの保温を行う。
※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト
仕様はＮ・（ロ）・ＸＩとする。
保温施工範囲は、給気用ＯＡダクトは全て、また、排気用ＥＡダクトは外壁より１mの部分とする。
※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はｈ・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）

⑧ 試運転調整
風量調整 ※する ・しない
風量測定 ※する ・しない
騒音の測定 ・する ※しない

○排煙設備

1 ダクト ※亜鉛鉄板 ・

2 排煙口の形式 ※天井取付（・スリット形 ※スイング形）
・壁取付 （・スリット形 ・スイング形）

3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式（遠隔操作 ・不要 ・要）

4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書（（一財）日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。

●自動制御

① 中央監視制御装置 ※有り ・無し

② 構成・機能 図示による

③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてＥＭ電線またはＥＭケーブルとする。
屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

●衛生器具設備

① 小便器用節水装置 JIS Ｂ 2026（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。

② バリアフリー対応 ㋑小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形
手すり（・本工事 ※別途工事）
㋺洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部） ・レバー式水栓（一部）
・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式
※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド
㋩鏡 ※６００×８００（耐食鏡） ・傾斜鏡（・照明無 ・照明付）

③ 衛生器具付属水栓 （1）器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式
（2）水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。

④ 自動水栓類の電源 ※ＡＣ１００Ｖ ・乾電池等 ・自己発電

⑤ 暖房便座 （1）JIS Ａ 4422（温水洗浄便座）とする。
（2）機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房
（3）温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式
（4）使用流体は、飲料用水道水とする。
（5）リモコン ・ＡＣ１００Ｖ ・乾電池等 ※自己発電

⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク
器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。
・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式（※センサー式・タッチスイッチ式）
・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。

7 大便器耐火カバー ※設ける（ピット内は除く） ・設けない

⑧ 掃除流し ※共栓なしとする。 ・共栓付とする。

9 排水器具用ｺﾞﾑ継手 ※使用できる ・使用できない

10 標記板 大便器、小便器の洗浄水用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。

⑪ 水せっけん入れ せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。

●給水設備

⑫ 擬音装置
・女子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・別途工事）
・男子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・別途工事）
・バリアフリートイレブースに設置する。（※本工事 ・別途工事）

⑬ その他
衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。

① 配管材料
配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。

	施工箇所	管種別
上水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※ＳＵＳ ・ＳＧＰ－ＰＤ ・ポリブテン管
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管）	※ＳＵＳ ・ＳＧＰ－ＰＤ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	保温をしない屋外露出部	※ＳＵＳ ・ＳＧＰ－ＰＤ
	地中埋設部（水道直結部分）	・ＨＩＶＰ ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	地中埋設部（一般部分）	※ＨＩＶＰ ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）
	便所天井内、ＰＳ内（注５）	※高密度ポリエチレン管（３２Ａ以上）
	便所天井内	※ポリブテン管（１０mm保温付）
	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管
	その他の部分	※ＳＵＳ ・ＳＧＰ－ＰＤ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
中水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※ＳＵＳ ・ＳＧＰ－ＰＤ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	湿潤シンダー内配管	※ＳＵＳ ・ＳＧＰ－ＰＤ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	保温をしない屋外露出部	※ＳＵＳ ・ＳＧＰ－ＰＤ
	地中埋設部（一般部分）	※ＨＩＶＰ ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	便所天井内、ＰＳ内（注５）	※高密度ポリエチレン管（３２Ａ以上）
	便所天井内	※ポリブテン管（１０mm保温付）
	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管
	その他の部分	※ＳＵＳ ・ＳＧＰ－ＰＤ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管

(注)１．ＳＵＳとは、JIS Ｇ 3448 またはJWWA Ｇ 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮 ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾛｯｸ ※拡管）便所・廊下流し廻り露出配管（※拡管）とする。
２．ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。
３．飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。
４．建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用桝を設ける。
５．口径２５Ａにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。
６．高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（ＰＥ１００）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。
７．地中埋設部（水道直結部分）は水道事業者の指示による。

② 一体形タンク
一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。

③ 水栓
※給湯用水栓を除き大きさの呼び１３の水栓は、節水コマとする。
・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。

④ 量水器
※親メーター（※貸与品 ・ ） ・子メーター（※買い取り・ ）

⑤ 量水器桝
※水道事業者指定品 ・標準図ＭＣ形

⑥ 弁類
規格はＪＩＳ又はＪＶとし、水道直結部分は１０Ｋとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び標準仕様書による。

⑦ 水栓柱
・防寒コンクリート水栓柱（１２００Ｌ） ※不凍給水栓

⑧ 建物導入部配管
図示部分について下記のとおり施工する。
※埋設用フレキシブルジョイント２本をＬ字状に設ける。
・標準図施工４（ ・（ａ） ・（ｂ） ・（ｃ））

⑨ 検針方法
水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。

１０ 水道利用加入金
水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。

１１ 本管取出し
水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。

●排水設備

① 配管材料
配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。

	施工箇所	管種別
雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ
	厨房等の温排水	※ＳＧＰ（白）・
	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・ＳＧＰ（白）
	その他の部分	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・排水用ﾉﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷ塗装鋼管
	その他の部分	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
共通	地中埋設部	※ＲＳ－ＶＵ又はリサイクルＶＵ ・ＶＵ ・卵形管（ゴム輪接合） ※ＲＥＰ－ＶＵ(軽荷重の場合) ・ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ
通気配管	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・ＳＧＰ（白）
	その他の部分	※リサイクルＶＰ又はＲＦ－ＶＰ ・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

（注）１．リサイクルＶＰ、リサイクルＶＵはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第２編２．１．２．６による。
２．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。
３．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はＹ４５度で行う。

●給湯設備

② 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップする。

③ 満水試験継手 ３階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。
※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット

④ 桝の適用 別紙桝表による。

① 配管材料
・露出部 Ｍ銅管 その他 保温付被覆銅管（Ｍ銅管）
・一般配管用ステンレス鋼管
・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）

② 絶縁フランジ 取付部は下記による。
※銅管と銅管及びこれに類する部分
※銅管とステンレス管及びこれに類する部分

③ 弁類 （1）規格はＪＩＳ又はＪＶとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示による。
（2）ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。

④ ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型

⑤ 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。

●消火設備

① 配管材料
屋内消火栓用 一般配管※ＳＧＰ（白） ・ＳＴＰＧ370（白）Sch40
地中埋設※ＳＧＰ－ＶＳ ・ＨＩＶＰ
・高密度ポリエチレン管（消火用）
消火用 一般配管※ＳＧＰ（白） ・ＳＴＰＧ370（白）Sch40
地中埋設※ＳＧＰ－ＶＳ ・ＨＩＶＰ
・高密度ポリエチレン管（消火用）
不活性ガス消火用 ※ＳＴＰＧ370（白）Sch40 ・ＳＴＰＧ370（白）Sch80

2 建物導入部配管
図示部分について下記のとおり施工する。
※埋設用フレキシブルジョイント２本をＬ字状に設ける。
・標準図施工４（ ・（ａ） ・（ｂ） ・（ｃ））

●ガス設備

① 配管材料
㊀都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はＰＥ管を原則とする。
㊀液化石油ガス 一般配管 ※ 合成樹脂被覆銅管 ・ ＳＧＰ（白）
地中埋設 ※ ＰＥ管 ・

② ガス漏れ警報遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。

③ 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。

○厨房設備

1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。

2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓

3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編１・６・１の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第１条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第２条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） ． m3
・中間処理施設 市 地内、（株）
・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
２ 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第３条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
２ 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
３ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
４ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

第４条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
２ 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第５条 濁水処理については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
２ 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
３ この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

2024.4

環境配慮（グリーン）改修工事

① アスベスト処理工事 一般共通事項

留意事項

1　本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2　アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3　この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）（以下「改修標仕」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和３年３月　厚生労働省・環境省）による。

② アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査　[9.1.1]

・ 行う（下表による）

材　料　名	調査方法（１材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析

採取箇所　※　図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481　規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

③ アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定　[9.1.1]

・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所　※　図示

適用 レベル1	適用 レベル2	適用 レベル3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考
○	○	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	※各２点 ・各３点	
○	○	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	各２点	
○	・	・	測定４		セキュリティーゾーン入口	各１点	空気の流れを確認
○	・	・	測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各１点	除じん装置の性能確認
○	○	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
○	○	・	測定７	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
○	○	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定９	処理作業後（シート撤去後１週間以降）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
・	・	・	測定１０		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006　空気中の繊維状粒子測定方法－第１部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトン－トリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア　測定結果
イ　測定時間
ウ　測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ　サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ　マウンティング方法
カ　顕微鏡視野面積、計数視野数
キ　測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク　周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

④ アスベスト吹き付け材の撤去（レベル１）

アスベスト含有吹付け材の除去　[9.1.3]

・行う　除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　　・

⑤ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル２）

アスベスト含有保温材の除去　[9.1.4]

・行う

作業上の隔離

・行う

・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　　・

⑥ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル３）

1　アスベスト含有成形板の除去　[9.1.5]

○行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名（製品名）	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・		※　図示　　・
・		※　図示　　・
		※　図示　　・
		※　図示　　・

2　非石綿部での切断による除去

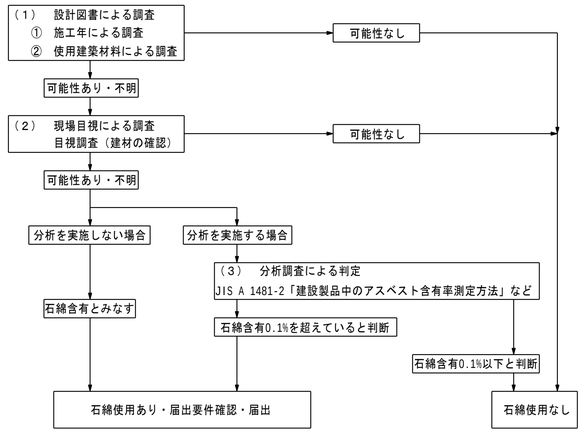
・行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材　料　名	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※　図示　○撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※　図示　○撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※　図示　○撤去範囲すべて
		※　図示　・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

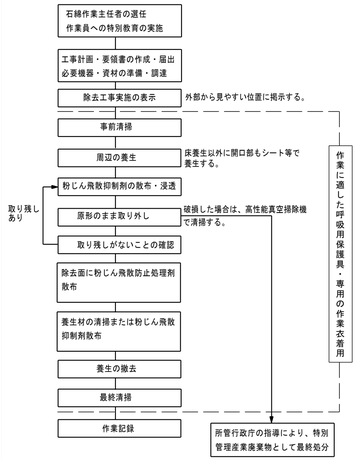


＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1　成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル２）

成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。

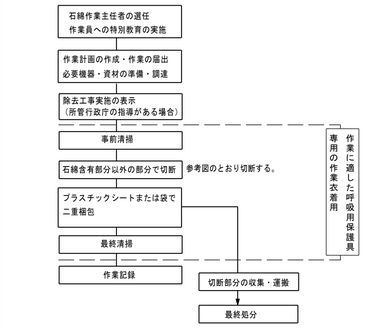
＜作業フローチャート＞



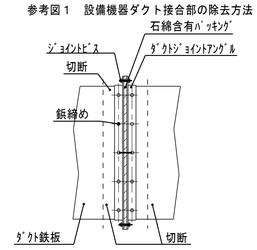
2　非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】(レベル３)

建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

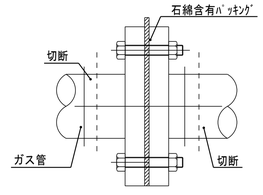
＜作業フローチャート＞



参考図１　設備機器ダクト接合部の除去方法



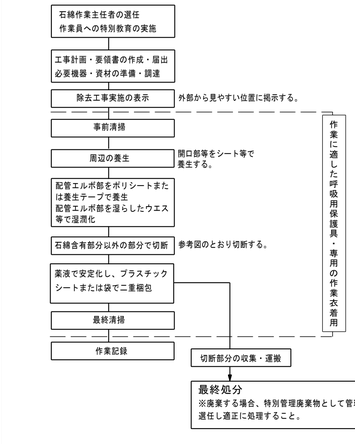
参考図２　配管フランジパッキンの除去方法



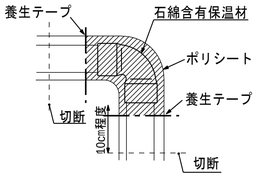
3　非石綿部での切断による除去【配管保温材】(レベル２)

直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

＜作業フローチャート＞



参考図３　石綿含有保温材付配管の除去方法



2024.4

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出　設計 川村

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 特記仕様書(3)
Scale N/S

No. M-03

□既　存　凡　例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
―― - ――	給水管	ビット、屋外露出部:ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PD)	☼	給水栓			矩形ダクト	亜鉛鉄板
		建物内一般:ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA)		湯水混合栓			スパイラルダクト	亜鉛鉄板
		土中：耐衝撃性硬質塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）		シャワーユニット		SA	給気ダクト	
―― I ――	給湯管（往）	保温付被覆銅管(M)	◁	シャワー金具		RA	還気ダクト	
―― II ――	給湯管（還）	保温付被覆銅管(M)		散水栓	ｽﾃﾝﾚｽ製ボックス（鍵付）共	OA	外気ダクト	
				量水器	親メーター（水道局貸与）	EA	排気ダクト	※火気使用排気ダクトについてはロックウール50t巻きとする
――>――	汚水管	建物内一般：排水用鋳鉄管		ガスコック				※ダクト板厚については火災予防条例に準拠するものとする。
		竪　管：排水用鋳鉄管		床排水金物	Ａタイプ：非防水層用，Ｂタイプ：防水層用	VOA	換気(往)ダクト	
		ビット：排水用鋳鉄管		床上掃除口	Ａタイプ：非防水層用，Ｂタイプ：防水層用	VEA	換気(還)ダクト	
―― : ――	雑排水管	建物内一般：配管用炭素鋼鋼管(SGP白)		ベントキャプ	埋込形、ＳＵＳ製		フレキシブルダクト	
		竪　管：配管用炭素鋼鋼管(SGP白)					キャンバス継手	
		ビット：配管用炭素鋼鋼管(SGP白)		インバート桝	コンクリート桝、鋳鉄製防臭蓋、化粧蓋(防臭タイプ)			
				ため桝	コンクリート桝、コンクリート蓋、鋳鉄製防臭蓋、化粧蓋	∅ VD	風量調整ダンパー	
―― : ――	屋外排水管	硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	T	トラップ桝	コンクリート桝、、鋳鉄製防臭蓋、化粧蓋(防臭タイプ)	● FD	防火ダンパー	
―― RD ――	雨水管	硬質塩化ビニル管（ＶＰ）		集水桝	コンクリート桝、格子蓋	∅ CD	逆流防止ダンパー	
- - - - - - - - - -	通気管	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)	⊗	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋、ワンタッチ式ステンレス蓋	∅ MD	モーターダンパー	
			㊎	公設桝				
―― X ――	消火配管	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)					丸形フード	ステンレス製、防虫金網付、指定色塗装仕上
						FD	丸形フード	ステンレス製、防虫金網付、FD付、指定色塗装仕上
―― G ――	都市ガス管	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)						
						R	冷媒管ユニット	メーカー標準品又は冷媒用被覆銅管（Ｌ型）、屋内外連絡配管配線共
			CH	冷温水(往)	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)	D	ドレン管	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)
			CHR	冷温水(還)	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)			
			C	冷水(往)	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)			
⋈ GV	仕切弁	ＪＩＳ−5K	CR	冷水(還)	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)	―― - ――	加湿給水管	建物内一般:ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA)
⋈ CV	逆止弁	ＪＩＳ−１０K	CD	冷却水(往)	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)		冷媒管分岐ユニット	メーカー標準品
	フレキシブル継手	SUS製	CDR	冷却水(還)	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)	⋈ GV	仕切弁	（直結）ＪＩＳ−１０K，（その他）ＪＩＳ−5K
	ゴムフレキ継手		E	膨張管	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)	⋈ CV	逆止弁	ＪＩＳ−１０K、SUS製
	減圧弁						フレキシブル継手	SUS製
	電磁弁							
	定流量弁					R	リモコンスイッチ	空調機用
	安全弁					R	リモコンスイッチ	空調換気扇用
Ⓐ	自動エア抜弁							
	Y形ストレーナー							
Ⓢ	ストレーナー							

□改　修　後　凡　例

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
―― - ――	給水管	土　中:水道用耐震型高性能ポリエチレン管（継手：電気融着継手）	☼	給水栓			矩形ダクト	亜鉛鉄板、グラスウールダクト
		建物内:水道用耐震型高性能ポリエチレン管（継手：電気融着継手）		湯水混合栓			スパイラルダクト	亜鉛鉄板、ステンレスダクト
		散水栓系統：耐衝撃性硬質塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）		シャワーユニット		SA	給気ダクト	
			◁	シャワー金具		RA	還気ダクト	
―― I ――	給湯管（往）	保温付架橋ポリエチレン配管		散水栓	ｽﾃﾝﾚｽ製ボックス（鍵付）共	OA	外気ダクト	
		保温仕様は公共建築工事標準仕様（モデル建物法の保温仕様Ｃ）とする。		量水器	親メーター（水道局貸与）	EA	排気ダクト	※火気使用排気ダクトについてはロックウール50t巻きとする
				ガスコック				※ダクト板厚については火災予防条例に準拠するものとする。
――>――	汚水管	建物内一般：建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管		床排水金物	Ａタイプ：非防水層用，Ｂタイプ：防水層用	VOA	換気(往)ダクト	
		竪　管：建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管		床上掃除口	Ａタイプ：非防水層用，Ｂタイプ：防水層用	VEA	換気(還)ダクト	
		ビット：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）		ベントキャプ	埋込形、ＳＵＳ製		フレキシブルダクト	
―― : ――	雑排水管	建物内一般：建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管					キャンバス継手	
		竪　管：建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管		インバート桝	コンクリート桝、鋳鉄製防臭蓋、化粧蓋(防臭タイプ)			
		ビット：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）		ため桝	コンクリート桝、コンクリート蓋、鋳鉄製防臭蓋、化粧蓋	∅ VD	風量調整ダンパー	
―― : ――	屋外排水管	硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	T	トラップ桝	コンクリート桝、、鋳鉄製防臭蓋、化粧蓋(防臭タイプ)	● FD	防火ダンパー	
―― RD ――	雨水管	硬質塩化ビニル管（ＶＰ）		集水桝	コンクリート桝、格子蓋	∅ CD	逆流防止ダンパー	
- - - - - - - - - -	通気管	建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管	⊗	小口径塩ビ桝	塩ビ蓋、ワンタッチ式ステンレス蓋	∅ MD	モーターダンパー	
			㊎	公設桝				
							丸形フード	ステンレス製、防虫金網付、指定色塗装仕上
―― X ――	消火配管	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)				FD	丸形フード	ステンレス製、防虫金網付、FD付、指定色塗装仕上
―― G ――	都市ガス管	配管用炭素鋼鋼管(SGP白)				R	冷媒管ユニット	メーカー標準品又は冷媒用被覆銅管（Ｌ型）、屋内外連絡配管配線共
						D	ドレン管	横引管：(40Aまで)空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)
								竪　管：(40A以上)耐火二層管
								ビット：硬質塩化ビニル管
			⋈ GV	仕切弁	ＪＩＳ−5K	―― - ――	加湿給水管	耐衝撃性塩化ビニル管（HIVP）
			⋈ CV	逆止弁	ＪＩＳ−１０K		冷媒管分岐ユニット	メーカー標準品
				フレキシブル継手	SUS製	⋈ GV	仕切弁	（直結）ＪＩＳ−１０K，（その他）ＪＩＳ−5K
				ゴムフレキ継手		⋈ CV	逆止弁	ＪＩＳ−１０K、SUS製
				減圧弁			フレキシブル継手	SUS製
				電磁弁				
				定流量弁		R	リモコンスイッチ	空調機用
				安全弁		R	リモコンスイッチ	空調換気扇用
			Ⓐ	自動エア抜弁				
				Y形ストレーナー				
			Ⓢ	ストレーナー				

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8 . 1 .30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. M-04
				変更年月日	図面名称 凡例	Scale N/S

□衛生器具集計表　（改修前）

器具名称	型番	付属品	合計	2階																								3階												屋外	備考
				レントゲン室	暗室	歯科予防指導室	消毒準備室	診察室	予診室	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	湯室	沸室	機能回復訓練室	シャワー室	脱衣室	栄養準備研究室	栄養準備実習室	成人病健診	倉庫	検査室A	検査室B	検診室	尿検査室	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	湯室	廊下	健康相談室	母子相談室	講師控室	薬事相談室	会議室A	会議室C	男子トイレ	女子トイレ	湯室	沸室	薬事実験指導室		
洋風大便器	C21（FV付）	フラッシュバルブ、洗浄便座	7							1	1														1	2										1	1					（TOTO）
和風大便器	C750V	フラッシュバルブ、洗浄便座	8							1	2														1	1										1	2					（TOTO）
洋風大便器	C750AV+S670B	ロータンク	1	1																																					（TOTO）
洋風大便器	C111T4	フラッシュバルブ、洗浄便座	2									1															1														（TOTO）
小便器	U307C+TEA85		9							3															3											3					（TOTO）
洗面器	L220D	自動水石けん供給栓：TLK06S01JA	1												1																										（TOTO）
洗面器	L221CF		2														1												1													（TOTO）
洗面器	L331R		12							2	2														2	2										2	2					（TOTO）
洗面器	L103D		2									1															1														（TOTO）
洗面化粧台	LD601R	LC601	7	1														1											1	1	1	1		1							（TOTO）
医療用手洗器	L25M		5					1	1											1		1		1																	（TOTO）
化粧鏡	TS119AS5		22	1						2	2				1			1				1		1		2	2			1	1	1	1		1	2	2				（TOTO）
化粧鏡	LM480		2									1															1														（TOTO）
掃除流し	SK22A		3								1										1															1					（TOTO）
汚物流し	SK33		1																					1																	（TOTO）
自在水栓	T36R13		3	1											1			1																								（TOTO）
混合栓	TGK3		3										1																1									1			（TOTO）
混合栓	TF21AHN		24		1		2	1	1									1	12			2	1		1										1				1		（TOTO）
胴長水栓	T2820		1			1																																			（TOTO）
ホースカラン	T2613		2				1												1																						（TOTO）
散水栓	T2713		4																																					4	（TOTO）
シャワーセット	TGM140CF		1													1																									（TOTO）

□衛生器具集計表　（改修後）

器具名称	型番	付属品	合計	1階						2階								3階							4階		屋外	備考
				MWC	WWC	バリアフリートイレ	汚物処理室	給湯コーナー		MWC	WWC	バリアフリーWC	男女共用トイレ	S K	診察室2	検査室2	栄養指導実習室	MWC	WWC	バリアフリーWC	男女共用トイレ	換気機械室	控室					
洋風大便器	CFS498BCK	洗浄便座一体型大便器（床排水）、棚付二連紙巻器：YH702、センサースイッチ+エコリモコン、洗浄便座:TCF5534AE-100V-311W、他付属品一式	17	2	3					2	3		1					2	3		1							（TOTO）
コンパクト多機能トイレパック	UADBK61L1A1ADD2BB	壁掛大便器（壁排水）、壁給水、化粧パネル一式(エンドパネル共)、洗浄便座:TCF5841AUPR-100V-1260W、オストメイト付、他付属品一式	1			1																						（TOTO）
コンパクト多機能トイレパック	UADBK31L1A1AND2BB	壁掛大便器（壁排水）、壁給水、化粧パネル一式(エンドパネル共)、洗浄便座:TCF5841AUPR-100V-1260W、他付属品一式	1									1																（TOTO）
コンパクト多機能トイレパック	UADAK81R1A1ADD2BB	壁掛大便器（壁排水）、壁給水、化粧パネル一式(エンドパネル共)、洗浄便座:TCF5841AUPR-100V-1260W、幼児用小便器付、他付属品一式	1																			1						（TOTO）
小便器	UFS900R	壁掛自動洗浄小便器（壁排水）、壁給水、他付属品一式	9	3						3								3										（TOTO）
汚物流し	SKL330DNFP	自動フラッシュバルブ、レバー式自在水栓：TK133EQ13C、補高台、他付属品一式	1				1																					（TOTO）
掃除用流し	SK22A	横水栓：T23AE20C、壁排水金具、アングル形止水栓、バックハンガー、リムカバー、他付属品一式	3				1							1									1					（TOTO）
マーブライトカウンター	MKHBツインデッキ	長さ1500、奥行400、ボウルW500、自動単水栓：TENA125AWx2、自動水石けん供給栓：TLK06S01JAx2、床給水止水栓x2、床排水金具x2、他付属品一式	6	1	1					1	1							1	1									（TOTO）
カウンター一体洗面器	MLRB32BAR	自動水栓一体形電気温水器：REAH03B11RS26SK-100V-505W、床給水止水栓、床排水金具、他付属品一式	2										1								1							（TOTO）
手洗器	LSE850TS	自動単水栓：TLE41501J-100V-10W、止水栓、床排水金具、バックハンガー、他付属品一式	1												1													（TOTO）
L型手すり（前出１２０）	T112CL10	付属品一式	17	2	3					2	3		1					2	3		1							（TOTO）
小便器用手すり	T112CU22	付属品一式	3	1						1								1										（TOTO）
チャームボックス	YKB102	付属品一式	11		3						3		1						3		1							（TOTO）
ベビーチェア	YKA15S	付属品一式	14	2	3					2	3		1					1	1		1							（TOTO）
ベビーシート	YKA25S	付属品一式	6		1	1						1	1							1	1							（TOTO）
フィティングボード	YKA41R	付属品一式	2										1								1							（TOTO）
化粧鏡	YMK52K	サイズ480x1100、付属品一式	12	2	2					2	2							2	2									（TOTO）
化粧鏡	YM6090A	サイズ600x900、付属品一式	5			1						1	1								1	1						（TOTO）
戸当たりフック	YKH21R	付属品一式	10			2						2	2								2	2						（TOTO）
シングルフック	YKH20R	付属品一式	9	3						3								3										（TOTO）
クリーンドライ	TYC420WC	100V-645W、付属品一式	5			1						1	1								1	1						（TOTO）
洗濯機パン	PWP740N2W	740x640サイズ、縦引き排水トラップ、他付属品一式	1														1											
洗濯機パン	PWP800N2W	800x640サイズ、縦引き排水トラップ、他付属品一式	1													1												
洗濯機用水栓	TW11R	洗濯機用横水栓、緊急止水機能付、他付属品一式	2													1	1											
シングルレバー混水栓	TKS05301J		6					1									4						1					
シングルレバー混水栓	KM6071ECHS	センサー付混合水栓、100V-10W、止水栓x2、他付属品一式	2													2												（KVK）
流し用排水トラップ	ZY51	付属品一式	3													1	2											（KVK）
カップリング付散水栓	T28UNH13	逆止弁付横水栓、他付属品一式	1																								1	（TOTO）
洗浄便座管理清掃用リモコン	TCA393		1	1																								（TOTO）

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検図 齋藤出　設計 川村

設計年月日 R.8.1.30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 衛生器具集計表
Scale N.S

No. M-05

機器表(1)

電源周波数：50Hz

記号	機器名称	台数	機器仕様	相(φ)	電圧(V)	消費電力(KW)	設置場所 階	設置場所 室名	備考(参考型番)
＜給排水衛生設備＞									
WP－1	加圧給水	1組	形式：推定末端圧力一定給水ユニット(インバータ方式)、	3	200	3.7	屋外	受水槽ポンプ室	（荏原製作所）
	ポンプユニット		プレミアム高効率モーター(IE3)						40BNAME3.7N
	（上水供給用）		ステンレス製多段渦巻ポンプx2、2台単独交互運転、						
			口径:40φ、水量：290ﾘｯﾀｰ/min、揚程:0.33MPa、						
			始動圧力：0.30MPa、停止圧力：0.36MPa						
			制御盤(漏電遮断器、保護装置、通常表示、故障表示、						
			外部接点)、凍結防止ヒーター、防振架台、他付属品一式共						
GB－1	ガス給湯器	1台	形式：屋外壁掛形、業務用給湯専用	1	100	263W	屋外	屋外機器置場	（ノーリツ）
			給湯能力:58.7kW(32号)、ガス消費量(TG):58.7kW、						GQ-C3223WZ
			配管カバー、メインリモコン、リモコンコード、						
			他付属品一式						
EH－1	電気温水器	1台	形式：角型（台下設置形）、貯湯量：25リッター	1	200	2.0	2階	検査室２	（日本イトミック）
			先止式、雑用、デジタル式ウィークリータイマー内蔵型、						ESN25BRX220E0
			温度固定混合バルブ、逃し弁付減圧弁、						
			膨張水排出装置（BCH-M）、他付属品一式共						
EH－2	電気温水器	2台	形式：角型（台下設置形）、貯湯量：12リッター	1	100	1.1	1階	湯沸室	（日本イトミック）
			先止式、雑用、デジタル式ウィークリータイマー内蔵型、				3階	控室	ESN12BRX111E0
			温度固定混合バルブ、逃し弁付減圧弁、						
			膨張水排出装置（BCH-M）、他付属品一式共						
＜消火設備＞									
FP－1	消火ポンプユニット	1台	形式:1号屋内消火栓用ポンプユニット	3	200	3.7	屋外	受水槽ポンプ室	（消防法認定品）
			口径:50A、水量:150リッター/min、揚程:0.52MPa、						（荏原製作所）
			呼水槽:50リッター、始動方式:直入れ						50MEFU353.7
			制御盤（消火水槽･呼水槽用満減水警報及び同遠方表示端子、						
			進相コンデンサー）、フート弁(ろ過装置付)､スルース弁､						
			フレキシブル管､他付属品一式共						
FB－1	1号屋内消火栓	3台	形式:総合盤付易操作性1号消火栓、屋内埋込形、	-	-	-	1階	廊下	（消防法認定品）
	屋内設置		放水量:150リッター/min以上、水平防護距離:25m、				2階	廊下	
			放水圧力:0.17MPa以上、消火栓弁:30A、				3階	廊下	
			ホース:30A×30m、噴霧切替ノズル:25A						
			本体寸法：750Wx230Dx1350H						
FB－2	1号屋内消火栓	1台	形式:総合盤付易操作性1号消火栓、屋外露出形、	-	-	-	4階	屋外	（消防法認定品）
	屋外設置		放水量:150リッター/min以上、水平防護距離:25m、						
			放水圧力:0.17MPa以上、消火栓弁:30A、						
			ホース:30A×30m、噴霧切替ノズル:25A						
			本体寸法：750Wx230Dx1350H						

注記

1．全ての選定機器は公共建築工事標準仕様とし、型式は参考型番とし相当品とする。
2．機器表に記載のガス消費量及び消費電力は参考値とする。また、機器重量及び外形寸法についても参考値とする。
3．消防法令に基づいて届出（火を使用する設備等の届出）対象の屋外機については、消防と協議の上、屋外機置場に消火器（消火器ボックス含む）を設置すること。
4．選定する機器の能力は、仕様に記載された数値以上とする。
5．電気温水器の定格加熱能力及び定格消費電力は、JIS C 9219の定格条件及び試験方法による。
6．空冷ヒートポンプエアコンの能力及び消費電力は、JIS B 8616,JIS9612及びJRA4002、JRA4069、JRA4053に規定された定格条件による。
7．全熱交換機の全熱交換効率は、JIS B 8628に規定された定格時エンタルピ交換効率とする。
8．換気ファンの電動機出力[kW]は、JIS C 9603（換気扇）で規定された消費電力に、0.75を乗じた値とする。
9．換気ファンの電動機は、JIS C 4213に規定された低圧トップランナーモーターとする。
10．屋外設置機器のアンカーボルトナットはステンレス製とし、塩ビ製キャップにて保護する事とする。
11．特記なき天吊機器は防振吊金具にて防振対策を行うこと。
12．給湯設備機器は告示に基づく固定を行うものとする。
13．特記なき機器は公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版を適用とする。
14．GHP停電自立運転は下記について留意すること。
・停電時において、内蔵されている蓄電池装置にて自立運転が可能であること。
・自立運転時において、室内機、搬送ファン、コンセントおよび照明器具等に電源を供給する。
・上記要件を満たす空調機器等を選定すること。
なお、機器表や平面図記載の機器構成や配線仕様などは参考とし、詳細な仕様については、選定メーカーの指定する仕様に限り、別途監督員と協議し決定するものとする。

記号	機器名称	台数	機器仕様	相(φ)	電圧(V)	冷房消費電力(KW)	暖房消費電力(KW)	設置場所 階	設置場所 室名	備考(参考型番)
＜冷暖房換気設備＞										
＜事務系統＞										
GHP-A-1	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：停電時自立運転対応ビル用マルチエアコン、	1	200	1.33	1.19	屋外	屋外機置場	（パナソニック）
	マルチ屋外機		都市ガス仕様、相当馬力：20馬力		発電時	0.13	0.13			U-GB560U1D
			冷房能力：56 kW 暖房能力：63 kW							
			冷媒：R410A							
			ガス消費量(非発電時) 冷房：46.1kW、暖房：42.7kW							
			ガス消費量(発電時) 冷房：49.2kW、暖房：45.6kW							
			発電機容量：4.5kVA							
			公共建築工事標準仕様、防振パッド、							
			臭化低減機能、分岐配管セット、ドレンホースキット、							
			制御アダプター基盤、電源切替盤、他付属品一式							
			機器重量：870 kg							
			外形寸法：2026Wx880Dx2228H							
GHP-A-1A	ガスヒートポンプエアコン	4台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	40W	40W	1階	保健センター事務室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力：8.0 kW 暖房能力：9.0 kW							S-G80UU1
			防振吊金具、センサー付省エネ天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-A-1B	ガスヒートポンプエアコン	2台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	35W	35W	1階	健康づくり支援課	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力：7.1 kW 暖房能力：8.0 kW							S-G71UU1
			防振吊金具、センサー付省エネ天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-A-1C	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式： 天井吊形	1	200	40W	40W	1階	資料室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力：5.6 kW 暖房能力：6.3 kW							S-G56TU1
			防振吊金具、ドレンアップキット、							
			ロングライフフィルター、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-A-1D	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（1方向吹出）	1	200	37W	30W	1階	ミーティングルーム	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力：3.6 kW 暖房能力：4.0 kW							S-G36DMU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
GHP-A-3	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：ビル用マルチエアコン、	1	200	0.65	0.41	屋外	屋外機置場	（パナソニック）
	マルチ屋外機		都市ガス仕様、相当馬力：10馬力							U-GH280U1D
			冷房能力：28.0 kW 暖房能力：31.5 kW							
			冷媒：R410A							
			ガス消費量 冷房：30.2kW、暖房：26.5kW							
			公共建築工事標準仕様、防振パッド、							
			臭化低減機能、分岐配管セット、ドレンホースキット、							
			制御アダプター基盤、他付属品一式							
			機器重量：495 kg							
			外形寸法：1400Wx880Dx2228H							
GHP-A-3A	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	25W	25W	3階	ロビー	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力：5.6 kW 暖房能力：6.3 kW							S-G56UU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
GHP-A-3B	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	20W	20W	3階	更衣室２	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力：4.5 kW 暖房能力：5.0 kW							S-G45UU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
GHP-A-3C	ガスヒートポンプエアコン	3台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（2方向吹出）	1	200	25W	25W	3階	廊下	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力：4.5 kW 暖房能力：5.0 kW							S-G45LU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、							
			外気取り入れダクトフランジ、他付属品一式							
GHP-A-3D	ガスヒートポンプエアコン	2台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（2方向吹出）	1	200	25W	25W	3階	更衣室１	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力：2.8 kW 暖房能力：3.2 kW					3階	更衣室３	S-G28LU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印 齋藤出

設計 川村

設計年月日 R 8 . 1 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 機器表(1)
Scale N/S

No. M-06

機器表(2)

電源周波数：50Hz

記号	機器名称	台数	機器仕様	相(φ)	電圧(V)	冷房消費電力(KW)	暖房消費電力(KW)	設置場所 階	設置場所 室名	備考(参考型番)
EHP-A-1	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：セパレートシングルエアコン	1	200	1.53	1.6	屋外	屋外機置場	（パナソニック）
	屋外機		冷房能力： 5.0 kW 暖房能力： 5.6 kW							PA-P56K7SGB
			冷媒：R32							
			防振パッド、コンクリート製据置台							
			機器重量： 42 kg							
			外形寸法： 799Wx299Dx630H							
EHP-A-1A	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式：壁掛形					1階	システム管理室	
	屋内機		制御アダプター基盤、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
＜保健センター系統＞										
GHP-H-1	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：ビル用マルチエアコン、	1	200	1.8	1.7	屋外	屋外機置場	（パナソニック）
	マルチ屋外機		都市ガス仕様、相当馬力：30馬力							U-GH850U1D
			冷房能力： 85.0 kW 暖房能力： 95.0 kW							
			冷媒：R410A							
			ガス消費量 冷房：78.0kW、暖房：69.2kW							
			公共建築工事標準仕様、防振パッド、							
			臭化低減機能、分岐配管セット、ドレンホースキット、							
			制御アダプター基盤、他付属品一式							
			機器重量： 810 kg							
			外形寸法： 2026Wx880Dx2228H							
GHP-H-1A	ガスヒートポンプエアコン	4台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	35W	35W	1階	検診ホール1	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 7.1 kW 暖房能力： 8.0 kW							S-G71UU1
			防振吊金具、センサー付省エネ天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-H-1B	ガスヒートポンプエアコン	3台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	25W	25W	1階	ホール	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 5.6 kW 暖房能力： 6.3 kW					2階	ロビー	S-G56UU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
GHP-H-1C	ガスヒートポンプエアコン	2台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	20W	20W	1階	健康相談室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 4.5 kW 暖房能力： 5.0 kW							S-G45UU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-H-1D	ガスヒートポンプエアコン	4台	屋内機型式：天井埋込カセット形（2方向吹出）	1	200	25W	25W	1階	廊下	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 4.5 kW 暖房能力： 5.0 kW					2階	廊下	S-G45LU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、							
			外気取り入れダクトフランジ、他付属品一式							
GHP-H-1E	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式：天井ビルトインカセット形	1	200	65W	65W	1階	レントゲン室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 5.6 kW 暖房能力： 6.3 kW							S-G56FU1
			防振吊金具、ビルトイン大パネル、							
			フィルターチャンバー、ロングライフフィルター、							
			ドレンアップキット、自然気化式加湿器、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
GHP-H-1F	ガスヒートポンプエアコン	3台	屋内機型式：天井埋込カセット形（1方向吹出）	1	200	37W	30W	1階	面談室1	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 2.2 kW 暖房能力： 2.5 kW					1階	面談室2	S-G22DMU1
			防振吊金具、標準天井パネル、					1階	面談室3	
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、							
			外気取り入れダクトフランジ、他付属品一式							
GHP-H-1G	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式：天井埋込カセット形（1方向吹出）	1	200	37W	30W	1階	レントゲン準備室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 2.2 kW 暖房能力： 2.5 kW							S-G22DMU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
			他付属品一式							

記号	機器名称	台数	機器仕様	相(φ)	電圧(V)	冷房消費電力(KW)	暖房消費電力(KW)	設置場所 階	設置場所 室名	備考(参考型番)
GHP-H-2	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：ビル用マルチエアコン、	1	200	1.8	1.74	屋外	屋外機置場	（パナソニック）
	マルチ屋外機		都市ガス仕様、相当馬力：30馬力							U-GH850U1D
			冷房能力： 85.0 kW 暖房能力： 95.0 kW							
			冷媒：R410A							
			ガス消費量 冷房：78.0kW、暖房：69.2kW							
			公共建築工事標準仕様、防振パッド、							
			臭化低減機能、分岐配管セット、ドレンホースキット、							
			制御アダプター基盤、他付属品一式							
			機器重量： 810 kg							
			外形寸法： 2026Wx880Dx2228H							
GHP-H-2A	ガスヒートポンプエアコン	4台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	35W	35W	2階	検診ホール2	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 7.1 kW 暖房能力： 8.0 kW							S-G71UU1
			防振吊金具、センサー付省エネ天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-H-2B	ガスヒートポンプエアコン	4台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	25W	25W	2階	栄養指導室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 5.6 kW 暖房能力： 6.3 kW							S-G56UU1
			防振吊金具、センサー付省エネ天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
GHP-H-2C	ガスヒートポンプエアコン	5台	屋内機型式：天井埋込カセット形（2方向吹出）	1	200	25W	25W	2階	検査室1	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 3.6 kW 暖房能力： 4.2 kW					2階	診察室1	S-G36LU1
			防振吊金具、標準天井パネル、					2階	診察室2	
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、					2階	診察室3	
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-H-2D	ガスヒートポンプエアコン	5台	屋内機型式：天井埋込カセット形（2方向吹出）	1	200	25W	25W	2階	検査室2	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 2.8 kW 暖房能力： 3.2 kW					2階	診察待合	S-G28LU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-H-2E	ガスヒートポンプエアコン	2台	屋内機型式：天井埋込カセット形（1方向吹出）	1	200	37W	30W	2階	検査室3	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 2.2 kW 暖房能力： 2.5 kW					2階	授乳室	S-G22DMU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出

設計 川村

設計年月日 R 8 . 1 .30

変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事

図面名称 機器表(2)

Scale N/S

No. M-07

機器表(3)

電源周波数：50Hz

記号	機器名称	台数	機器仕様	相(φ)	電圧(V)	冷房消費電力(KW)	暖房消費電力(KW)	設置場所 階	設置場所 室名	備考(参考型番)
GHP-H-3	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：ビル用マルチエアコン、	1	200	1.51	0.775	屋外	屋外機置場	（パナソニック）
	マルチ屋外機		都市ガス仕様、相当馬力：25馬力							U-GH710U1D
			冷房能力： 71.0 kW 暖房能力： 80.0 kW							
			冷媒：R410A							
			ガス消費量 冷房：63.3kW、暖房：59.3kW							
			公共建築工事標準仕様、防振パッド、							
			臭化低減機能、分岐配管セット、ドレンホースキット、							
			制御アダプター基盤、他付属品一式							
			機器重量： 730 kg							
			外形寸法： 1650Wx880Dx2228H							
GHP-H-3A	ガスヒートポンプエアコン	2台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	40W	40W	3階	運動指導室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 8.0 kW 暖房能力： 9.0 kW							S-G80UU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-H-3B	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	35W	35W	3階	控室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 7.1 kW 暖房能力： 8.0 kW							S-G71UU1
			防振吊金具、センサー付省エネ天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-H-3C	ガスヒートポンプエアコン	8台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（4方向吹出）	1	200	25W	25W	3階	会議室A	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 5.6 kW 暖房能力： 6.3 kW					3階	会議室B	S-G56UU1
			防振吊金具、センサー付省エネ天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			自然気化式加湿器、サーモ付ワイヤードリモコン、							
			他付属品一式							
GHP-H-3D	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式： 天井埋込カセット形（1方向吹出）	1	200	37W	30W	3階	相談室	（パナソニック）
	屋内機		冷房能力： 2.2 kW 暖房能力： 2.5 kW							S-G22DMU1
			防振吊金具、標準天井パネル、							
			ドレンアップキット、ロングライフフィルター、							
			サーモ付ワイヤードリモコン、他付属品一式							
RC－M	集中管理リモコン	1台	型式： タッチパネル式集中管理リモコン	1	100	10W	10W	1階	保健センター事務室	（パナソニック）
			室外ユニット：最大60台、室内ユニット：最大128台							CZ-10ESM5
			最大8ゾーン/一斉、ゾーン、グループ制御							
			運転/停止、運転モード、温度設定、							
			週間スケジュール							
			通信アダプター（CZ-10APB3B）							
PT－1	加圧シスターン	3台	形式：定圧給水ポンプ、	1	100	0.2	0.2	1階	換気機械室	（テラル）
			水槽容量：50リッター（高密度ポリエチレン製）					2階	換気機械室	RMB0.5-
			口径:25φ、水量：20ﾘｯﾀｰ/min、揚程:0.2MPa、					3階	換気機械室	25THP6-205S
			満水フロートスイッチ、ドレンアダプター、							
			専用架台、他付属品一式							

記号	機器名称	台数	機器仕様	相(φ)	電圧(V)	消費電力(KW)	設置場所 階	設置場所 室名	備考
＜換気設備＞									
＜事務系統＞									
ＨＥＸ－Ａ－１	空調換気扇	3台	型式： 天井埋込ダクト形 口径： 200φ	1	100	206W	1階	保健センター事務室	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 400ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ				1階	健康づくり支援課	FY-M500ZD11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、リモコン(FY-SSUL1)、他付属品一式						
ＨＥＸ－Ａ－２	空調換気扇	1台	型式： 天井埋込カセット形 口径： 150φ	1	100	94W	1階	資料室	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 300ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ						FY-M350ZB11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、カセット式ルーバー、リモコン(FY-SSUL1)、						
			他付属品一式						
ＦＥ－Ａ－１	排風機	1台	型式： 天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	40W	3階	更衣室2	（パナソニック）
			口径： 150φ 風量： 200ｍ3/h						FY-32CK8
			静圧： 80Ｐａ						
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ－Ａ－２	排風機	2台	型式： 天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	25W	3階	更衣室1	（パナソニック）
			口径： 150φ 風量： 120ｍ3/h				3階	更衣室3	FY-27C8
			静圧： 80Ｐａ						
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ－Ａ－３	排風機	1台	型式： 天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	20W	1階	システム管理室	（パナソニック）
			口径： 100φ 風量： 100ｍ3/h						FY-24SK7
			静圧： 80Ｐａ						
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						
＜保健センター系統＞									
ＨＥＸ－Ｈ－１	空調換気扇	2台	型式： 天井埋込ダクト形 口径： 250φ	1	100	426W	1階	健康相談室	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 700ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ				3階	会議室B	FY-M800ZD11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、リモコン(FY-SSUL1)、他付属品一式						
ＨＥＸ－Ｈ－２	空調換気扇	1台	型式： 天井埋込ダクト形 口径： 200φ	1	100	206W	3階	運動指導室	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 550ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ						FY-M500ZD11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、リモコン(FY-SSUL1)、他付属品一式						
ＨＥＸ－Ｈ－３	空調換気扇	2台	型式： 天井埋込ダクト形 口径： 200φ	1	100	206W	2階	検診ホール2	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 500ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ						FY-M500ZD11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、リモコン(FY-SSUL1)、他付属品一式						
ＨＥＸ－Ｈ－４	空調換気扇	2台	型式： 天井埋込ダクト形 口径： 200φ	1	100	206W	1階	検診ホール1	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 450ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ						FY-M500ZD11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、リモコン(FY-SSUL1)、他付属品一式						
ＨＥＸ－Ｈ－５	空調換気扇	3台	型式： 天井埋込ダクト形 口径： 200φ	1	100	206W	3階	会議室A	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 420ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ				3階	会議室B	FY-M500ZD11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、リモコン(FY-SSUL1)、他付属品一式						
ＨＥＸ－Ｈ－６	空調換気扇	2台	型式： 天井埋込カセット形 口径： 150φ	1	100	82W	2階	診察待合	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 210ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ						FY-M250ZB11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、カセット式ルーバー、リモコン(FY-SSUL1)、						
			他付属品一式						
ＨＥＸ－Ｈ－７	空調換気扇	1台	型式： 天井埋込カセット形 口径： 150φ	1	100	82W	3階	控室	（パナソニック）
	＜シックハウス対応換気＞		風量： 200ｍ3/h 静圧： 100Ｐａ						FY-M250ZB11
			エンタルピー交換効率： （冷房） 63.5 %						
			（暖房） 71.5 %						
			防振用吊金具、カセット式ルーバー、リモコン(FY-SSUL1)、						
			他付属品一式						

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出 設計 川村

設計年月日 R 8 . 1 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 機器表(3)
Scale N/S

No. M-08

機器表(4)

電源周波数：50Hz

記号	機器名称	台数	機器仕様	相(φ)	電圧(V)	消費電力(KW)	設置場所 階	設置場所 室名	備考
ＨＥＸ-Ｈ-８	空調換気扇	９台	型式：天井埋込カセット形 口径：100φ	1	100	50W	２階	検査室１	（パナソニック）
	<シックハウス対応換気>		風量：100ｍ3/h 静圧：100Ｐａ				２階	検査室２	FY-M150ZB11
			エンタルピー交換効率：（冷房）63.5 %				２階	検査室３	
			（暖房）71.5 %				２階	診察室１	
			防振用吊金具、カセット式ルーバー、リモコン(FY-SSUL1)、				２階	診察室２	
			他付属品一式				２階	診察室３	
							３階	相談室	
ＤＳＣ-Ｈ-１	調湿外気処理機	１台	型式：天井埋込ダクト形 口径：200φ	1	200	0.82	１階	レントゲン室	（ダイキン工業）
			風量：250ｍ3/h 静圧：120Ｐａ						HDMP50F
			加湿暖房性能：3.3 kW						
			除湿冷房性能：2.5 kW						
			加湿量：1.73 kg/h						
			除湿量：2.90 kg/h						
			防振用吊金具、ワイヤードリモコン、他付属品一式						
ＦＳ-Ｈ-１	送風機	１台	型式：片吸込シロッコファン 天吊形	3	200	2.2	４階	機械室	（荏原製作所）
			口径：#2-1/2 風量：4930ｍ3/h					(機械室系統)	21/2SRM452.2
			静圧：200Ｐａ						
			スプリング防振天井吊金具共、						
			サーモスイッチ発停（電気工事）、他附属品一式						
ＦＳ-Ｈ-２	送風機	１台	型式：片吸込シロッコファン 天吊形	3	200	3.7	４階	機械室	（荏原製作所）
			口径：#2-1/2 風量：8210ｍ3/h					(自家発系統)	21/2SRM453.7
			静圧：190Ｐａ						
			スプリング防振天井吊金具共、						
			自家発運転連動（電気工事）、他附属品一式						
ＦＳ-Ｈ-３	送風機	１台	型式：ストレートシロッコファン 天吊埋込給気形	1	100	0.3	２階	栄養指導室	（パナソニック）
			口径：250φ 風量：1250ｍ3/h						FY-25KCF3
			静圧：180Ｐａ						
			防振吊金具共、強弱スイッチ（FY-SW80）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-１	排風機	１台	型式：片吸込シロッコファン 床置形	3	200	1.5	４階	機械室	（荏原製作所）
			口径：#2-1/2 風量：4560ｍ3/h					(機械室系統)	21/2SRM451.5
			静圧：200Ｐａ						
			床置スプリング防振架台共、						
			FS-H-1連動（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-２	排風機	１台	型式：ストレートシロッコファン 天吊埋込厨房形	1	100	0.3	２階	栄養指導室	（パナソニック）
			口径：250φ 風量：1500ｍ3/h						FY-25TCF3
			静圧：180Ｐａ						
			FS-H-3連動（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-３	排風機	６台	型式：ストレートシロッコファン 天吊埋込標準形	1	100	57W	１階	男子トイレ	（パナソニック）
			口径：150φ 風量：300ｍ3/h				１階	女子トイレ	FY-20DZ4
			静圧：80Ｐａ				２階	男子トイレ	
			防振吊金具共、遅れ機能付人感センサー（電気工事）、他附属品一式				２階	女子トイレ	
							３階	男子トイレ	
							３階	女子トイレ	

記号	機器名称	台数	機器仕様	相(φ)	電圧(V)	消費電力(KW)	設置場所 階	設置場所 室名	備考
ＦＥ-Ｈ-４	排風機	３台	型式：天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	82W	１階	換気機械室	（パナソニック）
			口径：150φ 風量：420ｍ3/h				２階	換気機械室	FY-38S7
			静圧：100Ｐａ				３階	換気機械室	
			防振吊金具共、２４時間タイムSW（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-５	排風機	１台	型式：天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	52W	３階	倉庫3A	（パナソニック）
			口径：150φ 風量：330ｍ3/h						FY-32SG7
			静圧：80Ｐａ						
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-６	排風機	２台	型式：天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	42W	２階	倉庫2A	（パナソニック）
			口径：150φ 風量：230ｍ3/h				３階	倉庫3B	FY-32SK7
			静圧：80Ｐａ						
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-７	排風機	４台	型式：天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	40W	１階	器材庫	（パナソニック）
			口径：150φ 風量：200ｍ3/h				１階	倉庫1A	FY-32CK8
			静圧：80Ｐａ				１階	倉庫1B	
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式				１階	SK・汚物処理室	
ＦＥ-Ｈ-８	排風機	１台	型式：天井埋込形換気扇 コンパクトキッチン用 低騒音形	1	100	56W	１階	湯沸室	（パナソニック）
			口径：150φ 風量：200ｍ3/h						FY-30SDM
			静圧：80Ｐａ						
			防振吊金具共、グリスフィルタールーバー、						
			動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-９	排風機	１台	型式：天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	30W	２階	倉庫2C	（パナソニック）
			口径：150φ 風量：140ｍ3/h						FY-27CK8
			静圧：80Ｐａ						
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-１０	排風機	５台	型式：天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	25W	１階	バリアフリーWC	（パナソニック）
			口径：150φ 風量：130ｍ3/h				２階	バリアフリーWC	FY-27C8
			静圧：80Ｐａ				２階	男女共用トイレ	
			防振吊金具共、遅れ機能付人感センサー（電気工事）、他附属品一式				３階	バリアフリーWC	
							３階	男女共用トイレ	
ＦＥ-Ｈ-１１	排風機	３台	型式：天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	20W	１階	レントゲン準備室	（パナソニック）
			口径：100φ 風量：100ｍ3/h				２階	授乳室	FY-24SK7
			静圧：80Ｐａ				２階	倉庫2D	
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						
ＦＥ-Ｈ-１２	排風機	３台	型式：天井埋込形換気扇 低騒音形	1	100	13W	１階	静養室	（パナソニック）
			口径：100φ 風量：70ｍ3/h				２階	倉庫2B	FY-24CK8
			静圧：80Ｐａ				３階	倉庫3C	
			防振吊金具共、動作表示灯付SW（電気工事）、他附属品一式						

特記事項

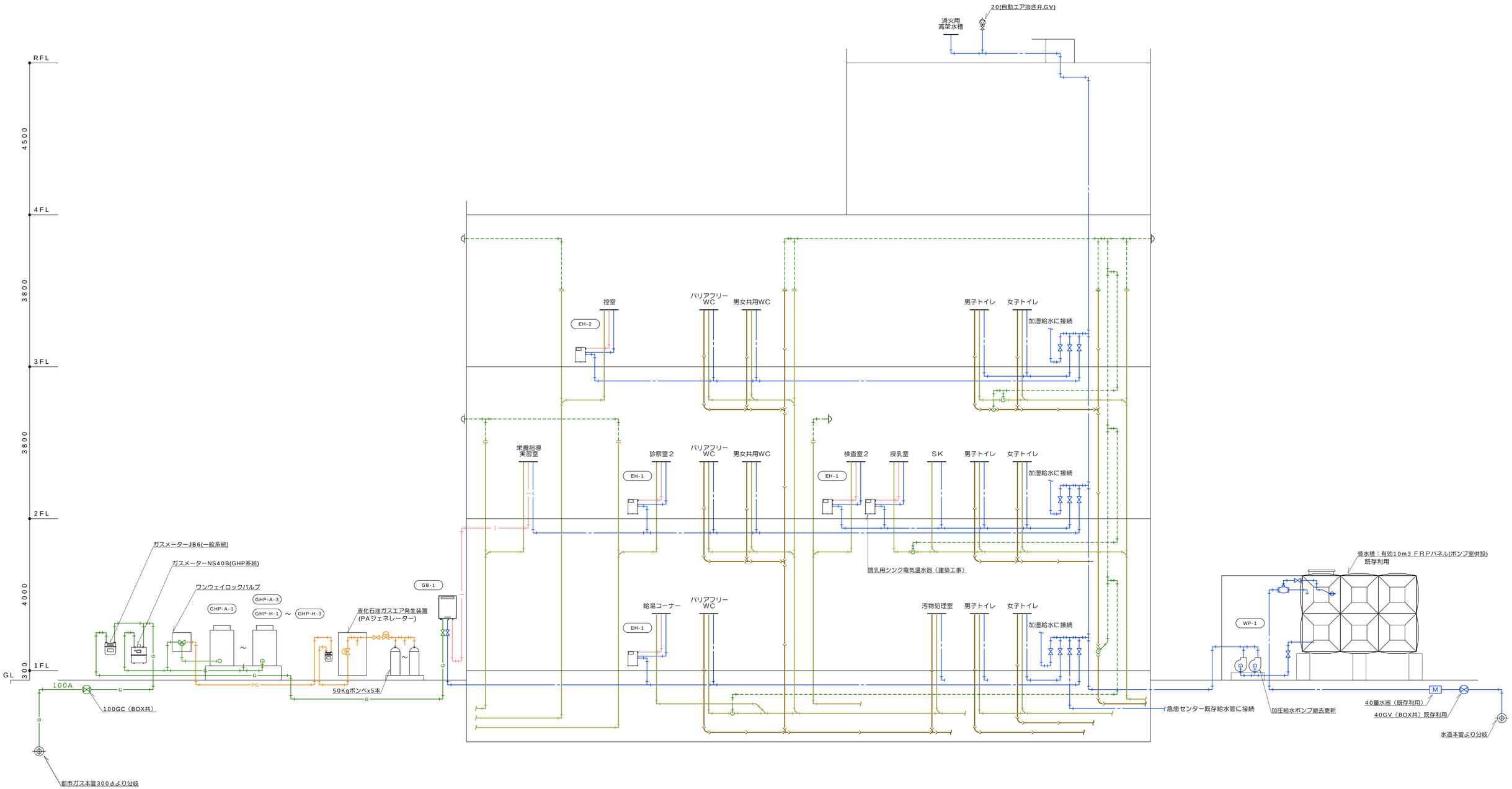
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出 設計 川村

設計年月日 R 8. 1 .30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 機器表(4)
Scale N/S

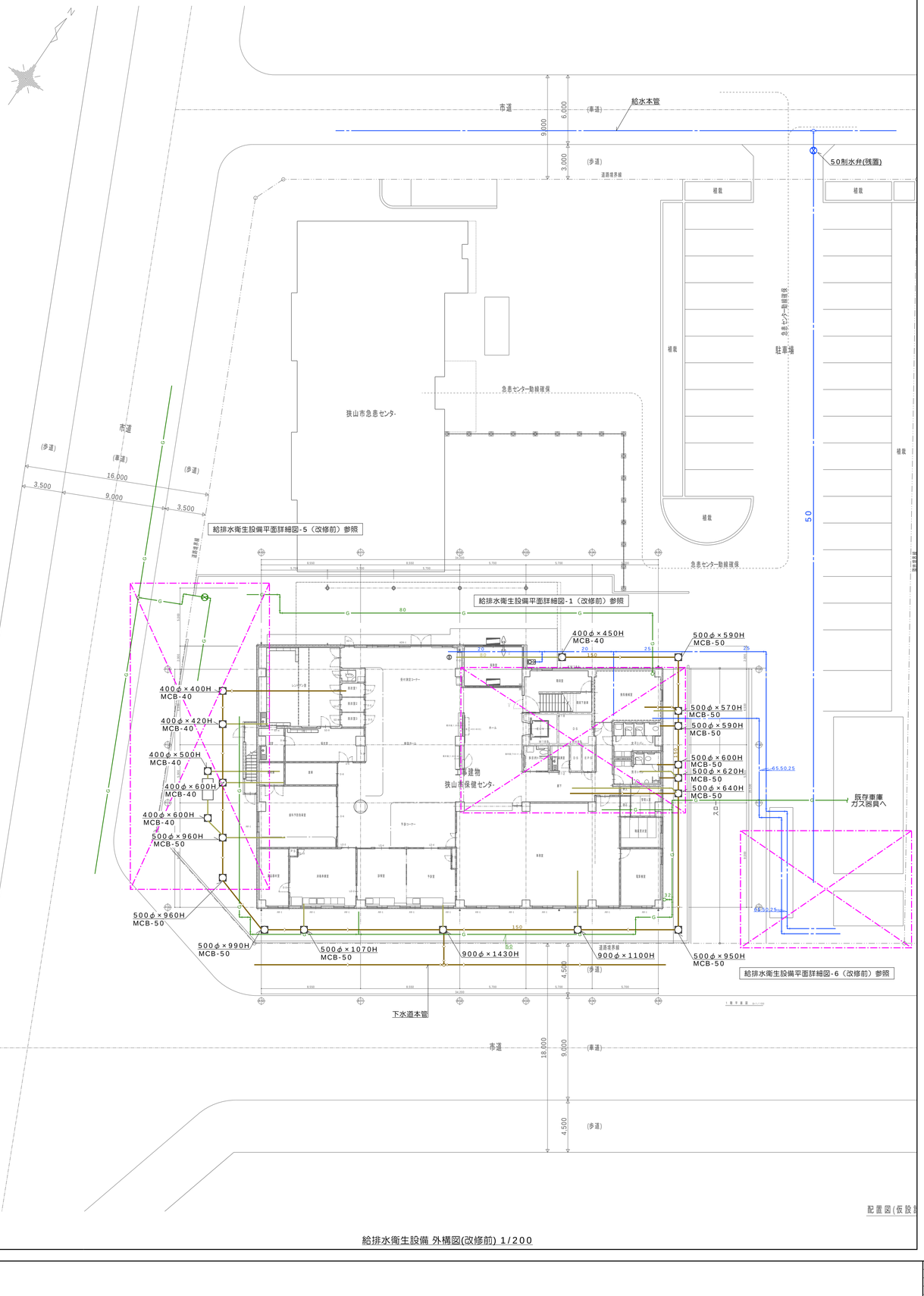
No. M-09



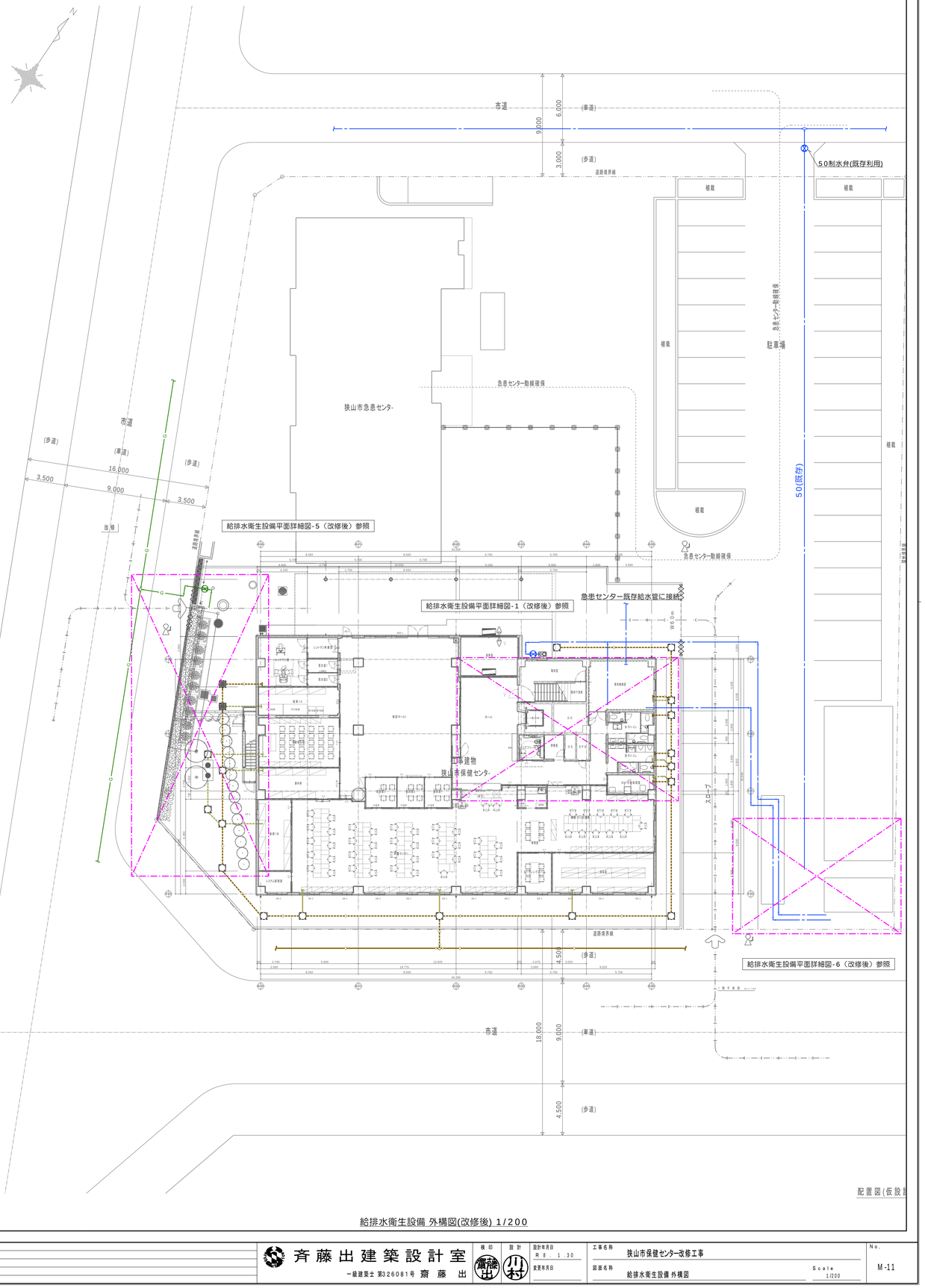
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	川村	R 8 . 1 .30	狭山市保健センター改修工事	M-10
		変更年月日	図面名称 給排水衛生設備 系統図 Scale N/S	



給排水衛生設備 外構図(改修前) 1/200

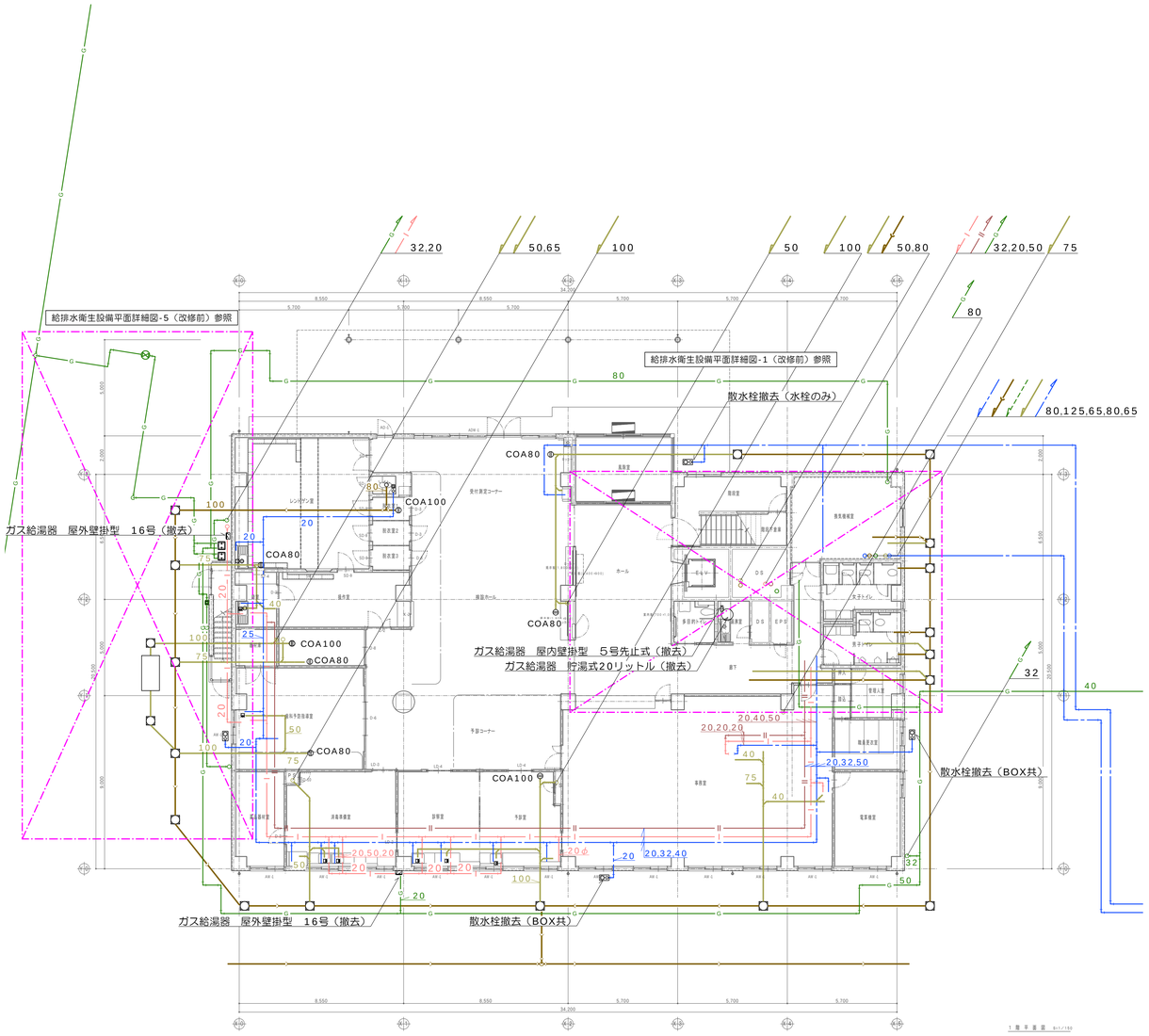


給排水衛生設備 外構図(改修後) 1/200

特記事項

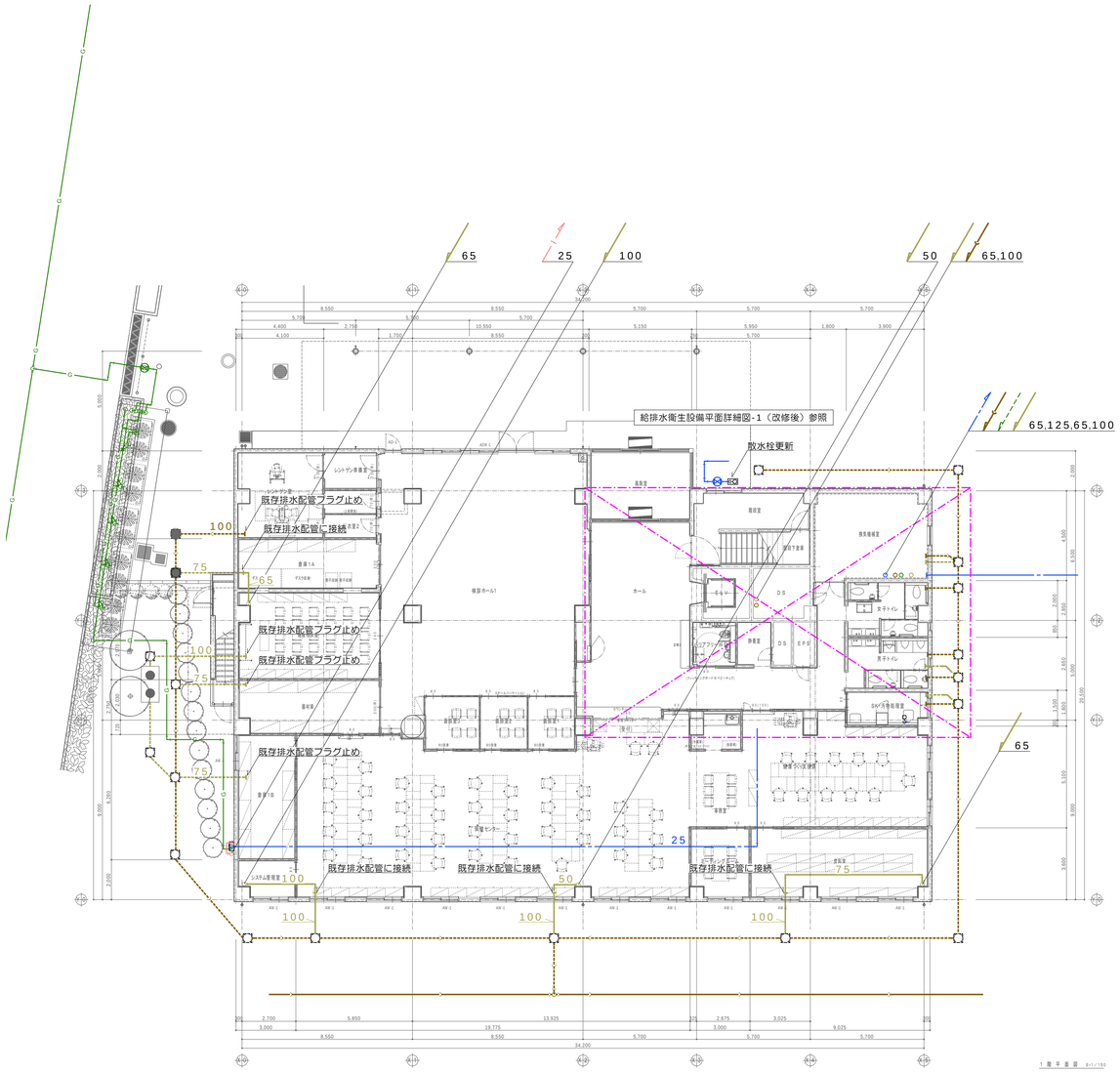
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No.
齋藤出	川村	R 8. 1.30	図面名称	給排水衛生設備 外構図 Scale 1/200	M-11
		変更年月日			



撤去機器表					
記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所	
				階	室名
	ガス給湯器	1台	形式:屋内壁掛型　5号先止式	1階	湯沸室
			機器重量：　6 kg		
			外形寸法：　290Wx140Dx370H		
	ガス給湯器	1台	形式:貯湯式20リットル	1階	湯沸室
			機器重量：　15 kg		
			外形寸法：　430φx630H		
	ガス給湯器	2台	形式:屋外壁掛型　16号	1階	外部
			機器重量：　13 kg		
			外形寸法：　350Wx170Dx530H		

給排水衛生設備1階平面図（改修前）　1/150



給排水衛生設備1階平面図（改修後）　1/150

特記事項

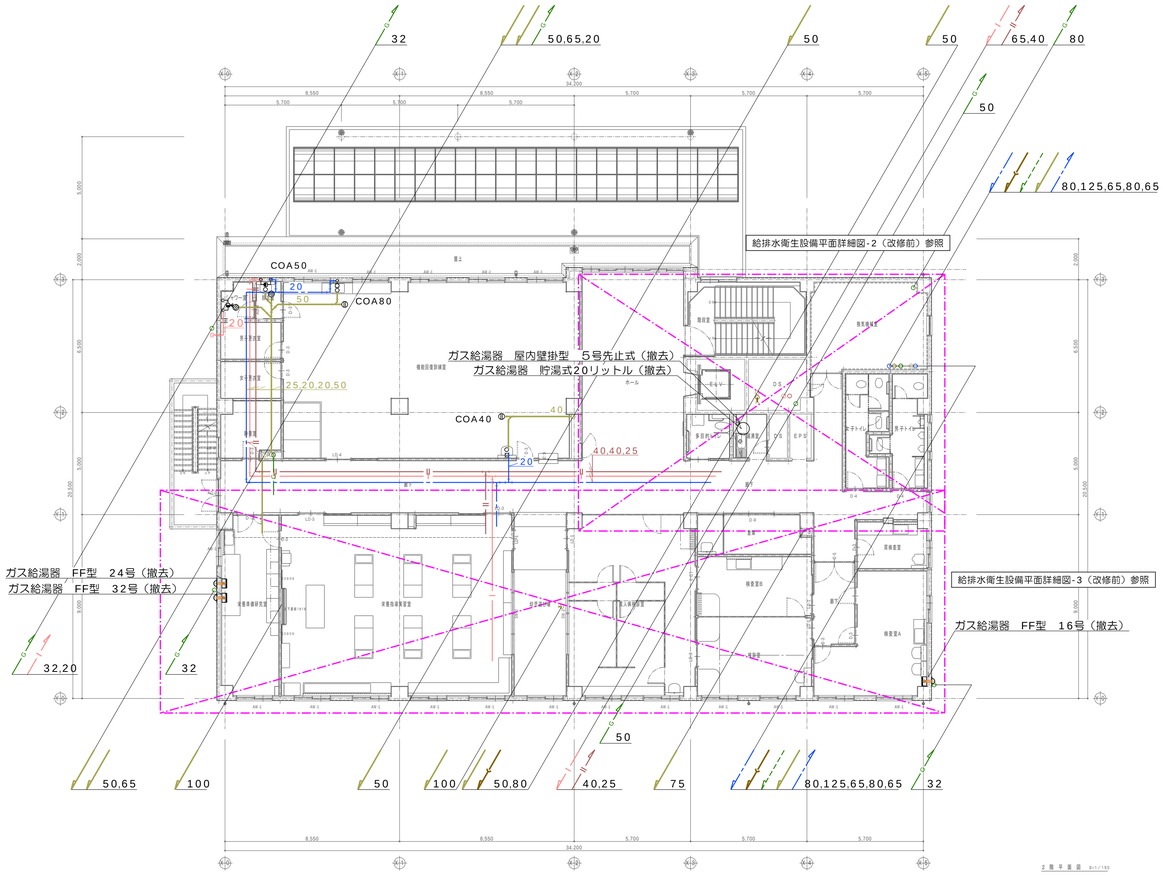
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出　設計 川村

設計年月日 R 8 1 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 給排水衛生設備 1階平面図
Scale 1/150

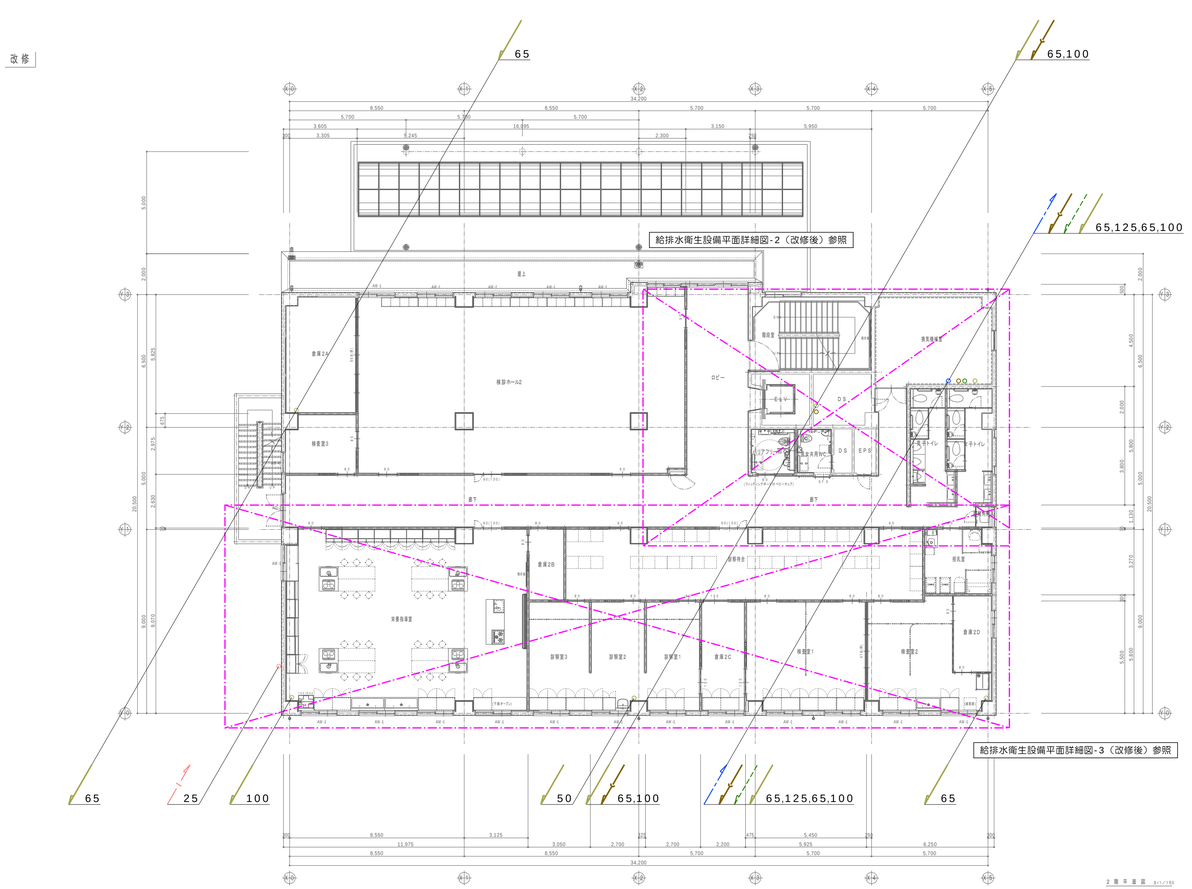
No. M-12



撤去機器表					
記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所	
				階	室名
	ガス給湯器	１台	形式:屋内壁掛型　５号先止式	２階	湯沸室
			機器重量：　６kg		
			外形寸法：　290Wx140Dx370H		
	ガス給湯器	１台	形式:貯湯式20リットル	２階	湯沸室
			機器重量：　15kg		
			外形寸法：　430φx630H		
	ガス給湯器	１台	形式:屋内壁掛型ＦＦ式　３２号給排気筒、給排気トップ共撤去	２階	栄養準備室
			機器重量：　25kg		
			外形寸法：　350Wx170Dx560H		
	ガス給湯器	１台	形式:屋内壁掛型ＦＦ式　２４号給排気筒、給排気トップ共撤去	２階	栄養準備室
			機器重量：　16kg		
			外形寸法：　350Wx170Dx560H		
	ガス給湯器	１台	形式:屋内壁掛型ＦＦ式　１６号給排気筒、給排気トップ共撤去	２階	検査室A
			機器重量：　15kg		
			外形寸法：　350Wx170Dx560H		

給排水衛生設備2階平面図（改修前）　1/150

改修



給排水衛生設備2階平面図（改修後）　1/150

特記事項

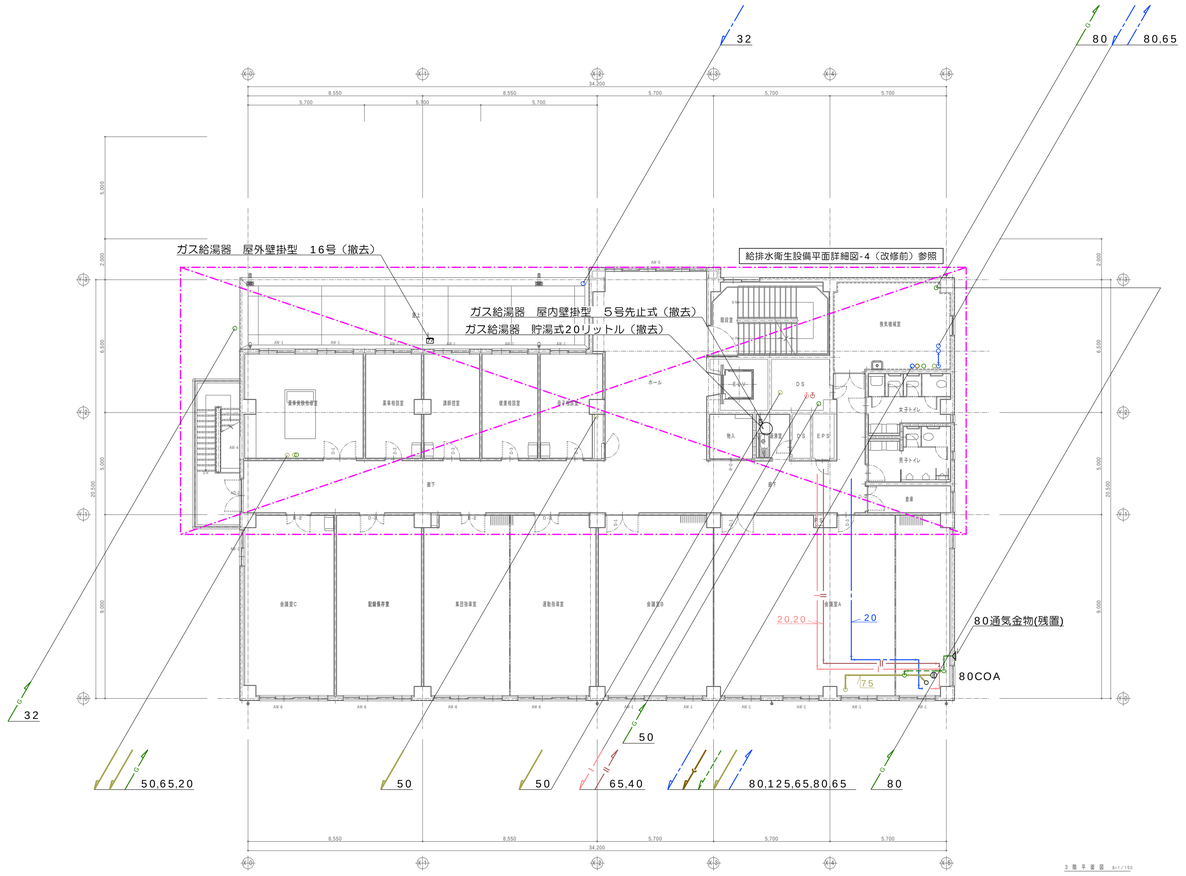
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出　設計 川村

設計年月日 R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 給排水衛生設備 2階平面図
Scale 1/150

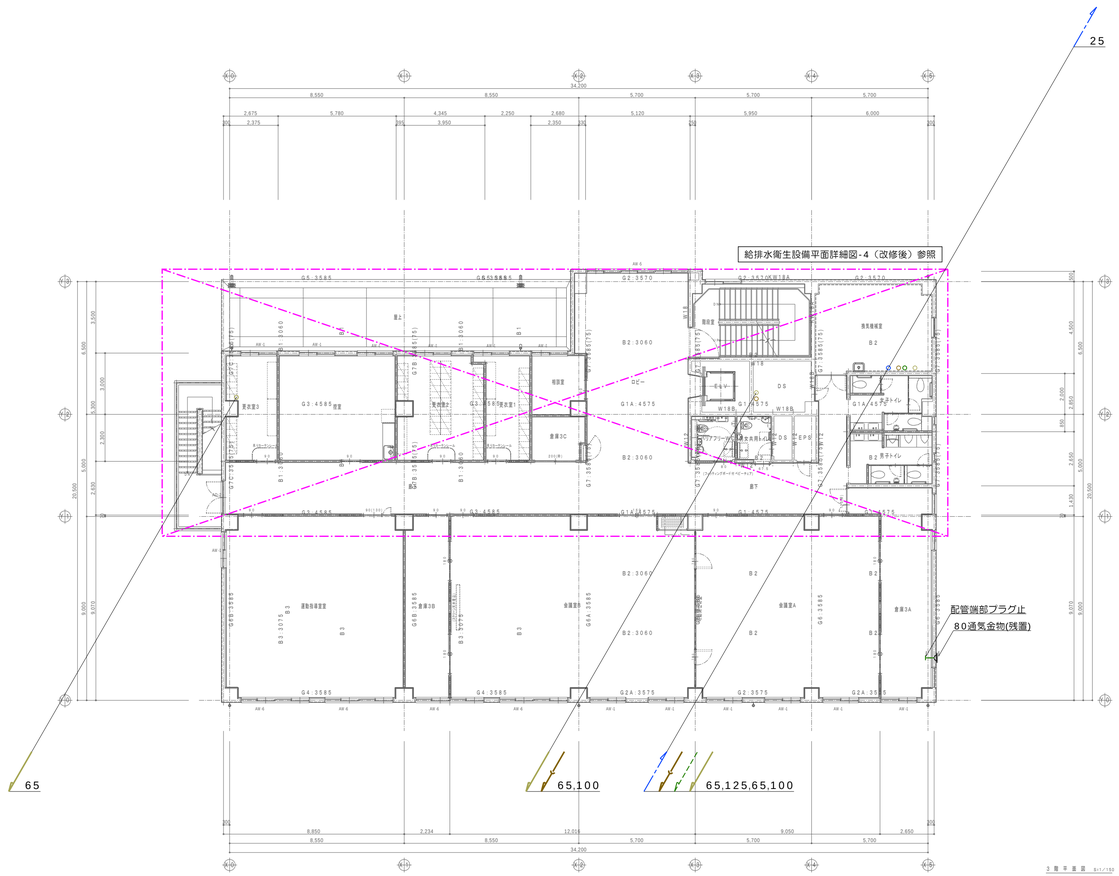
No. M-13



撤去機器表					
記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所	
				階	室名
	ガス給湯器	1台	形式:屋内壁掛型　5号先止式	3階	湯沸室
			機器重量：　6kg		
			外形寸法：　290Wx140Dx370H		
	ガス給湯器	1台	形式:貯湯式20リットル	3階	湯沸室
			機器重量：　15kg		
			外形寸法：　430φx630H		
	ガス給湯器	1台	形式:屋外壁掛型　16号	3階	屋上
			機器重量：　13kg		
			外形寸法：　350Wx170Dx530H		

給排水衛生設備3階平面図（改修前） 1/150

改修



給排水衛生設備3階平面図（改修後） 1/150

特記事項

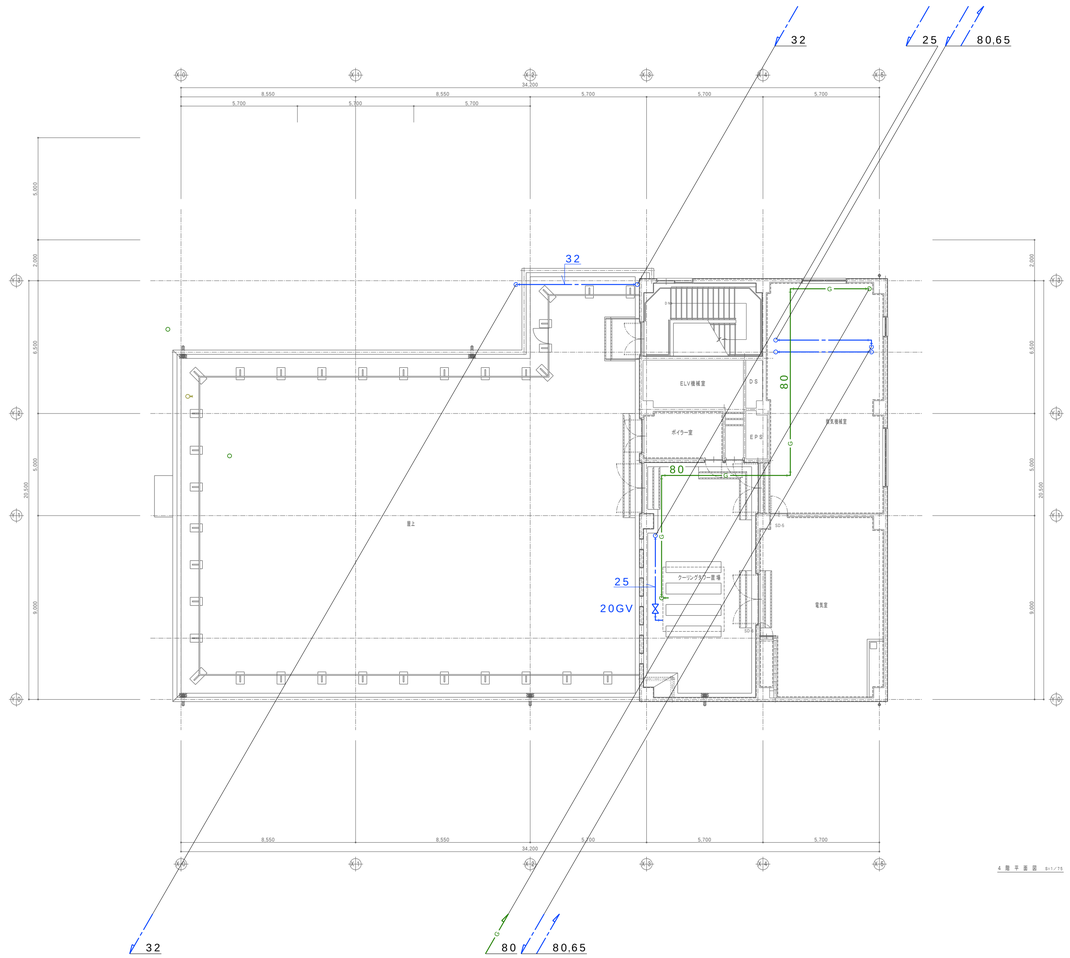
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印　設計

設計年月日　R 8. 1.30
変更年月日

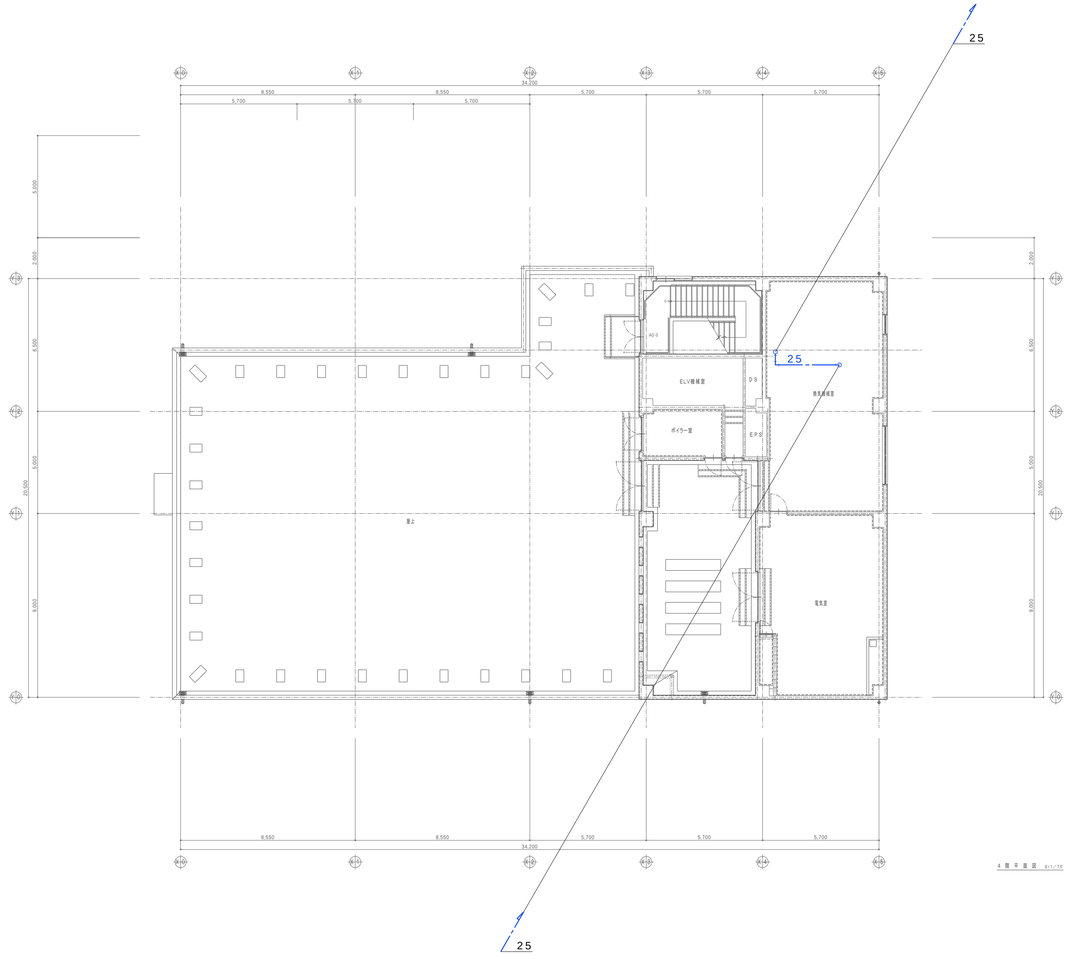
工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　給排水衛生設備 3階平面図
Scale　1/150

No.　M-14



給排水衛生設備4階平面図（改修前） 1/150

改修



給排水衛生設備4階平面図（改修後） 1/150

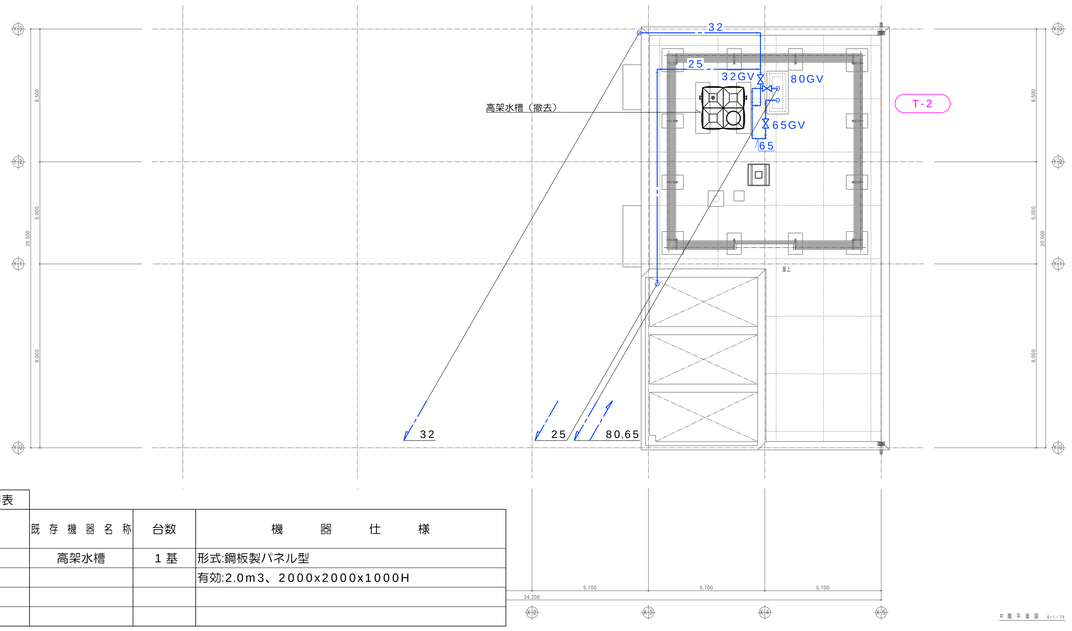
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計
齋藤出	川村

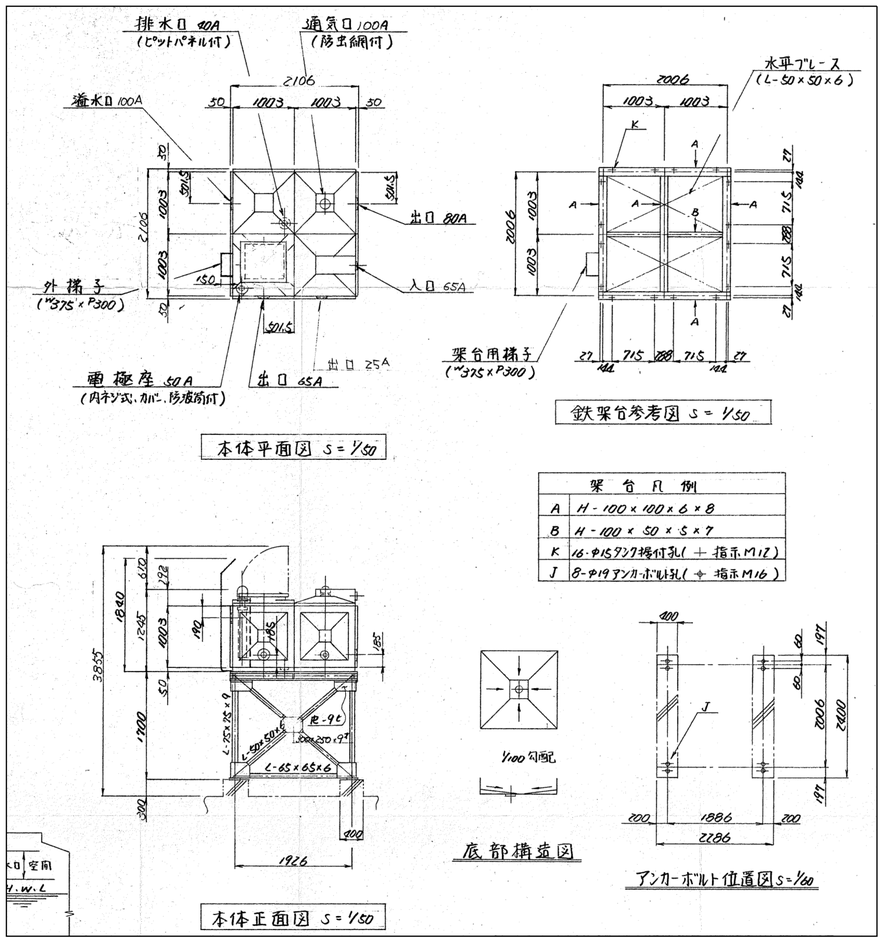
設計年月日 R 8 . 1 30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 給排水衛生設備 4階平面図
Scale 1/150
No. M-15



撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様
T-2	高架水槽	1基	形式:鋼板製パネル型
			有効:2.0m3、2000x2000x1000H

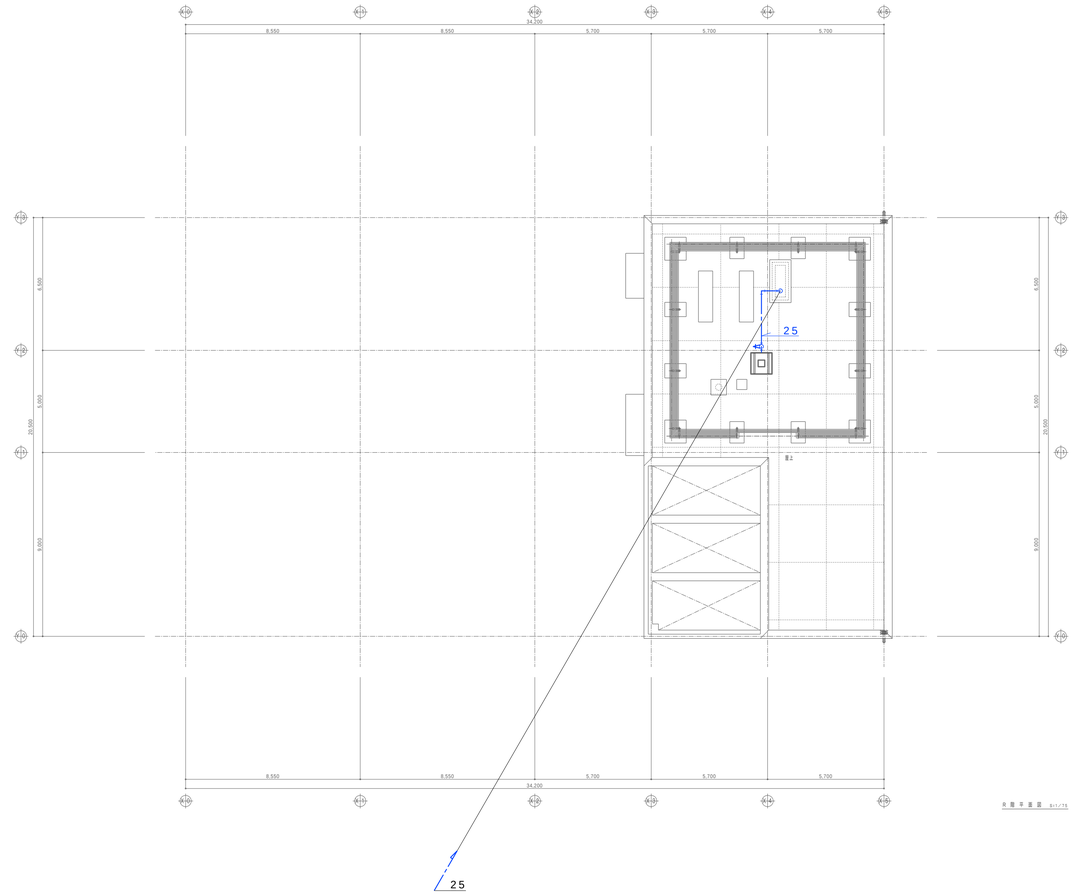


高架水槽鉄骨架台参考図

給排水衛生設備R階平面図（改修前） 1/150

改修

機器廻り弁類
消火用補助水槽
補給水： 25FJ,25GV,25BT
20自動エア抜き弁,20GV



給排水衛生設備R階平面図（改修後） 1/150

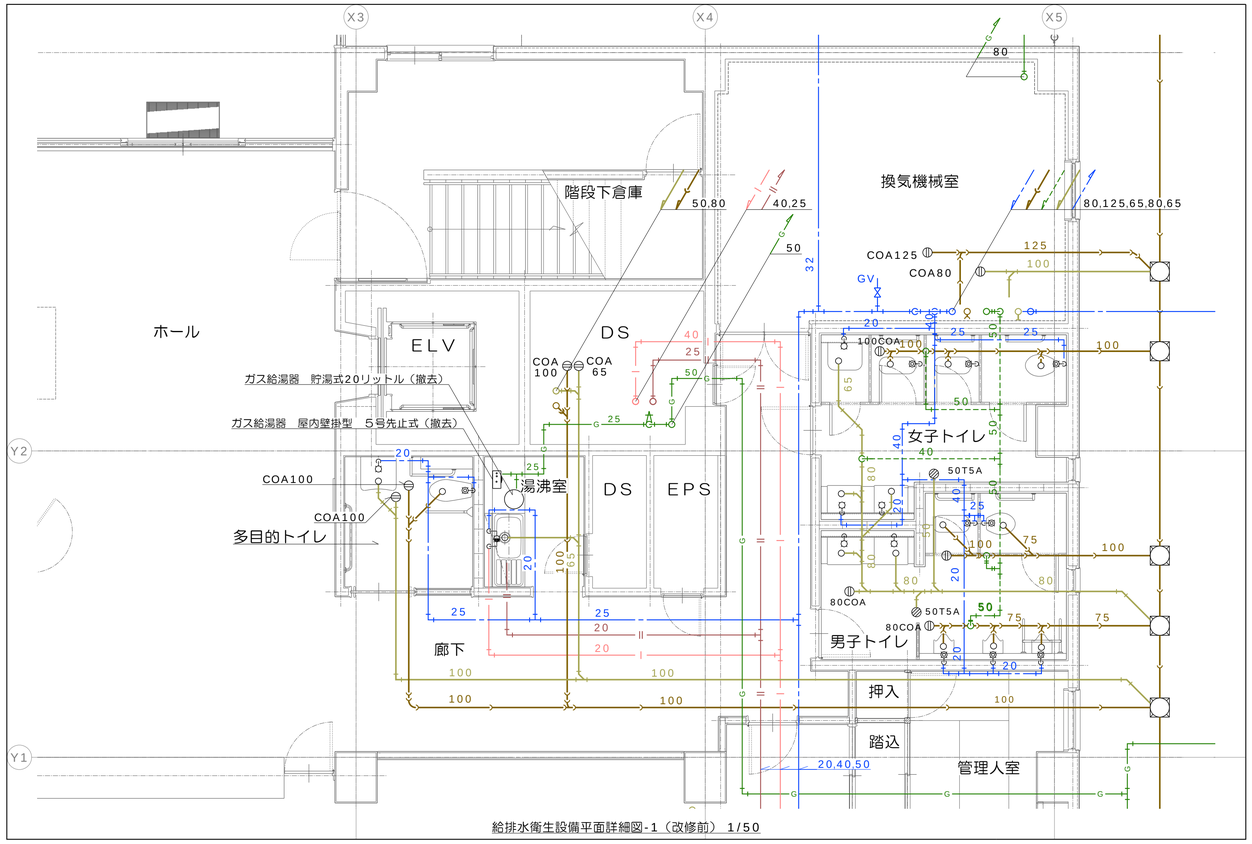
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

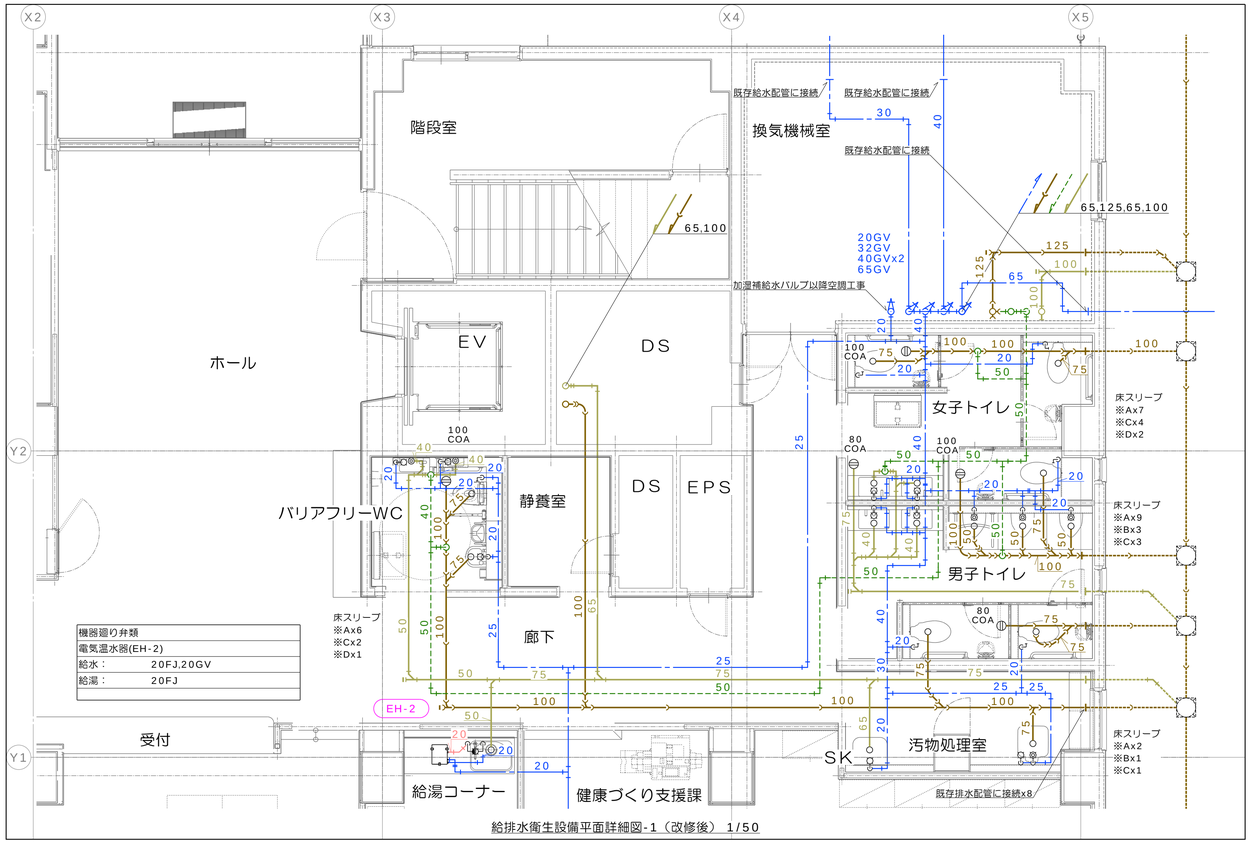
検図 齋藤出
設計 川村

設計年月日 R.8.1.30
変更年月日

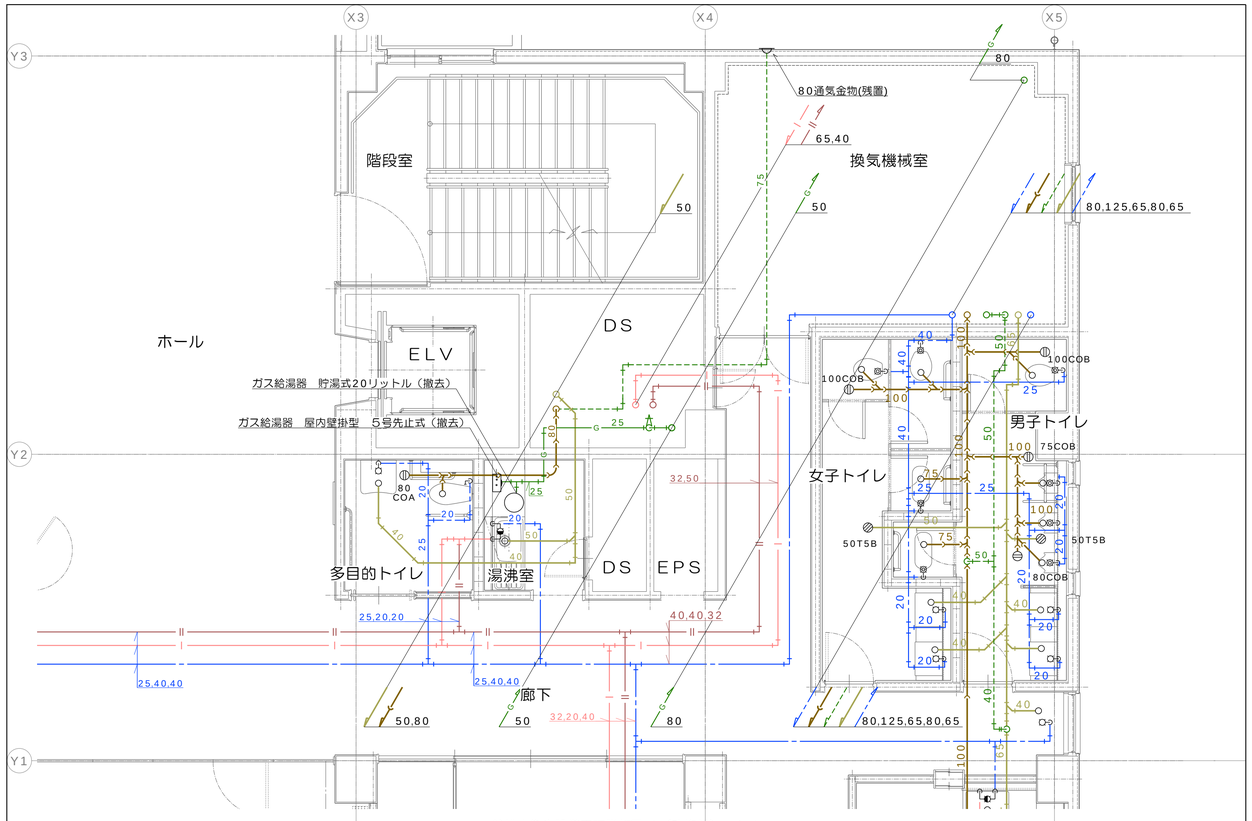
工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 給排水衛生設備R階平面図
Scale 1/150
No. M-16



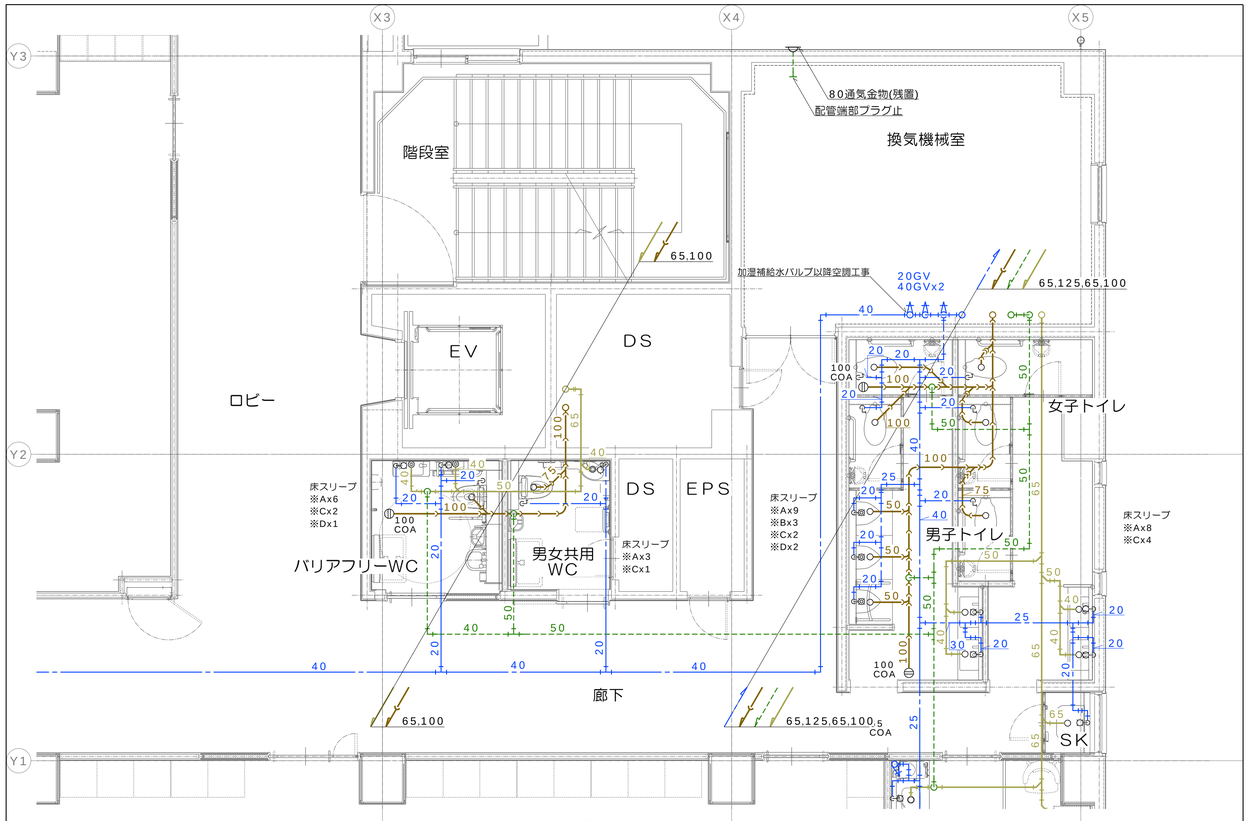
給排水衛生設備平面詳細図-1（改修前） 1/50



給排水衛生設備平面詳細図-1（改修後） 1/50



給排水衛生設備平面詳細図-2（改修前） 1/50

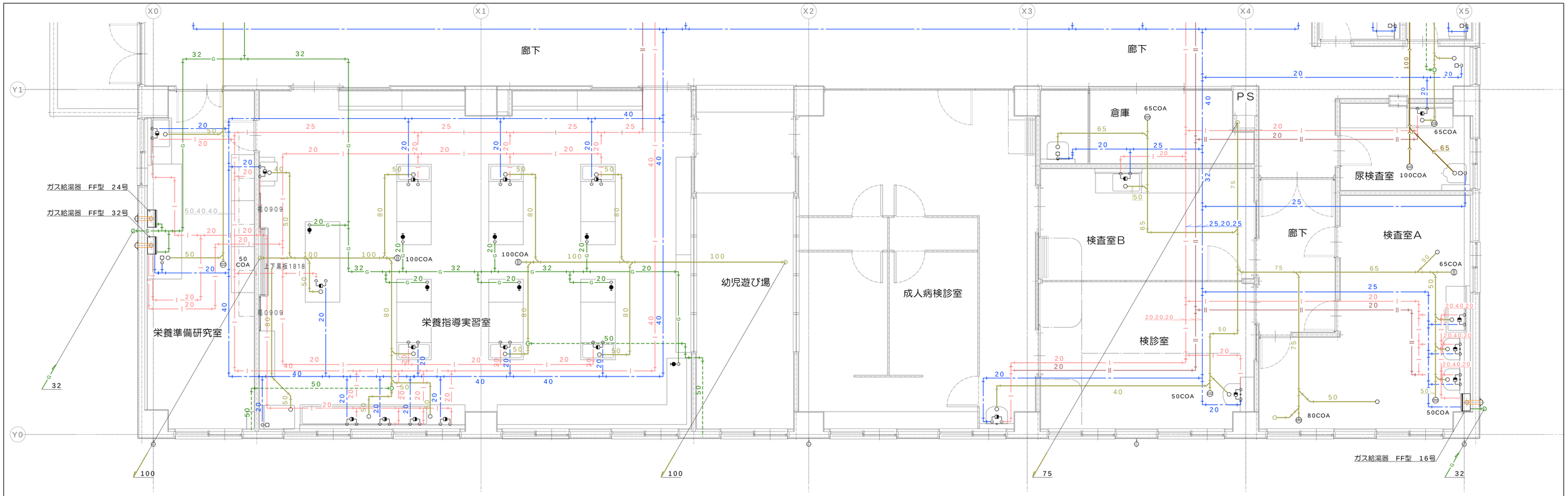


給排水衛生設備平面詳細図-2（改修後） 1/50

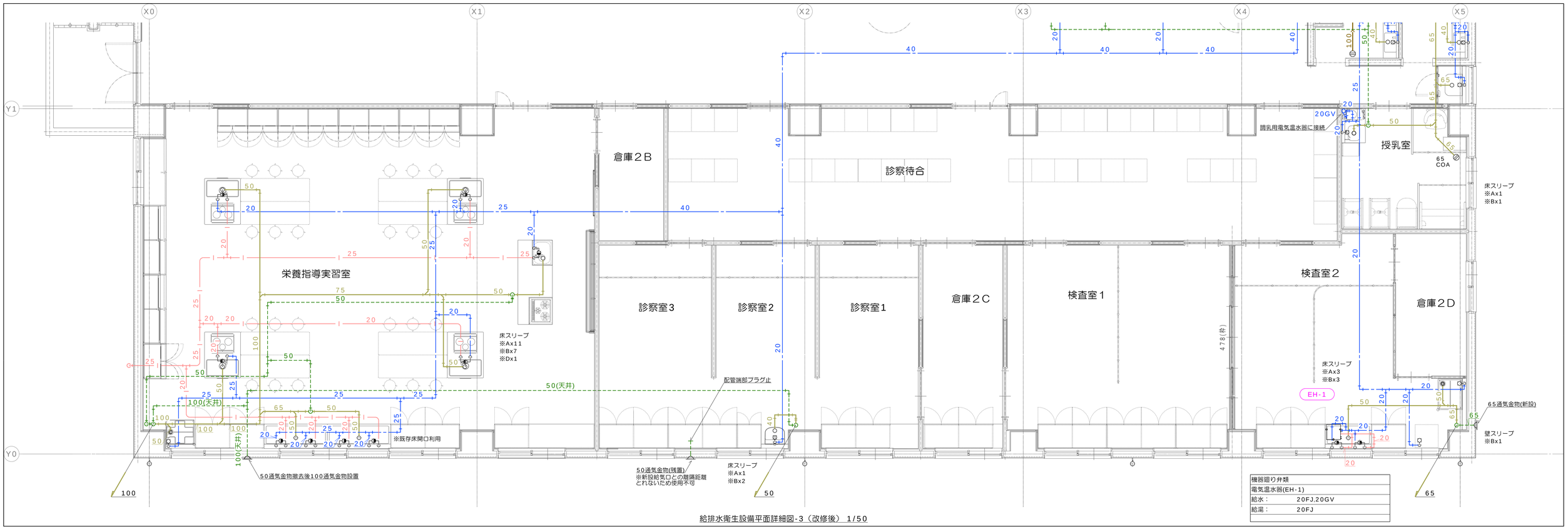
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日 R 8 . 1 .30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No.
齋藤出	川村	変更年月日	図面名称	給排水衛生設備 平面詳細図(1) Scale 1/50	M-17



給排水衛生設備平面詳細図-3（改修前） 1/50



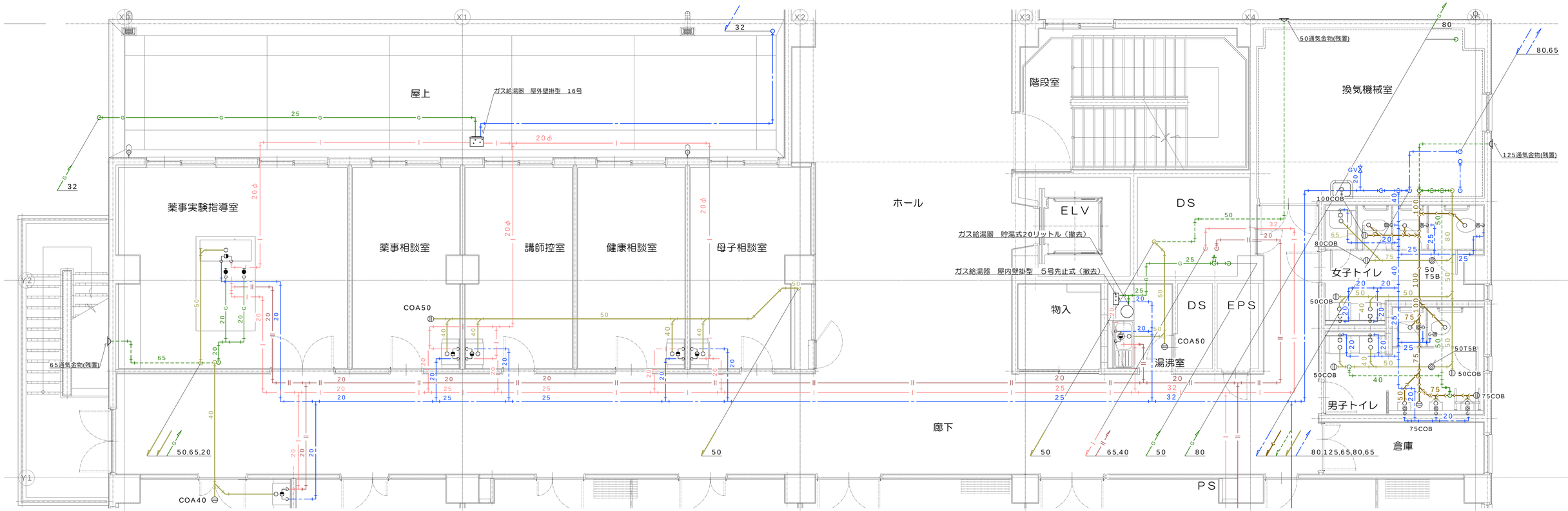
機器廻り弁類
電気温水器(EH-1)
給水：　20FJ,20GV
給湯：　20FJ

給排水衛生設備平面詳細図-3（改修後） 1/50

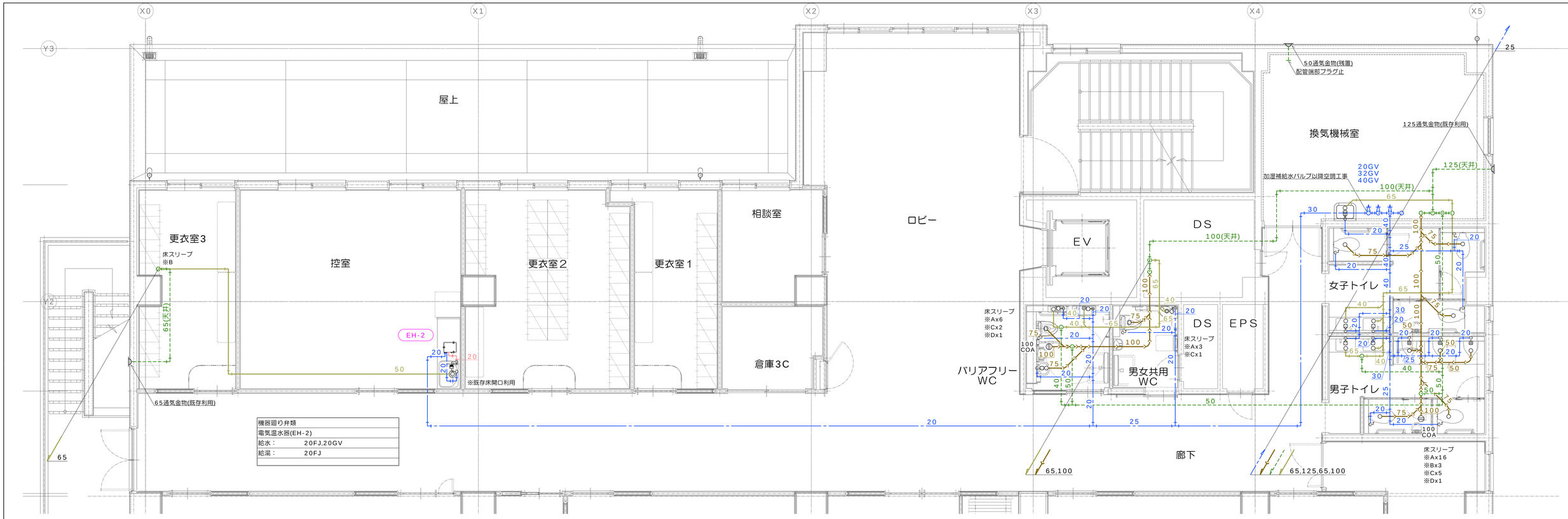
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計	設計年月日	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No.
齋藤出	川村	R 8 . 1 .30			
		変更年月日	図面名称	給排水衛生設備 平面詳細図(2)	M-18
				Scale 1/50	

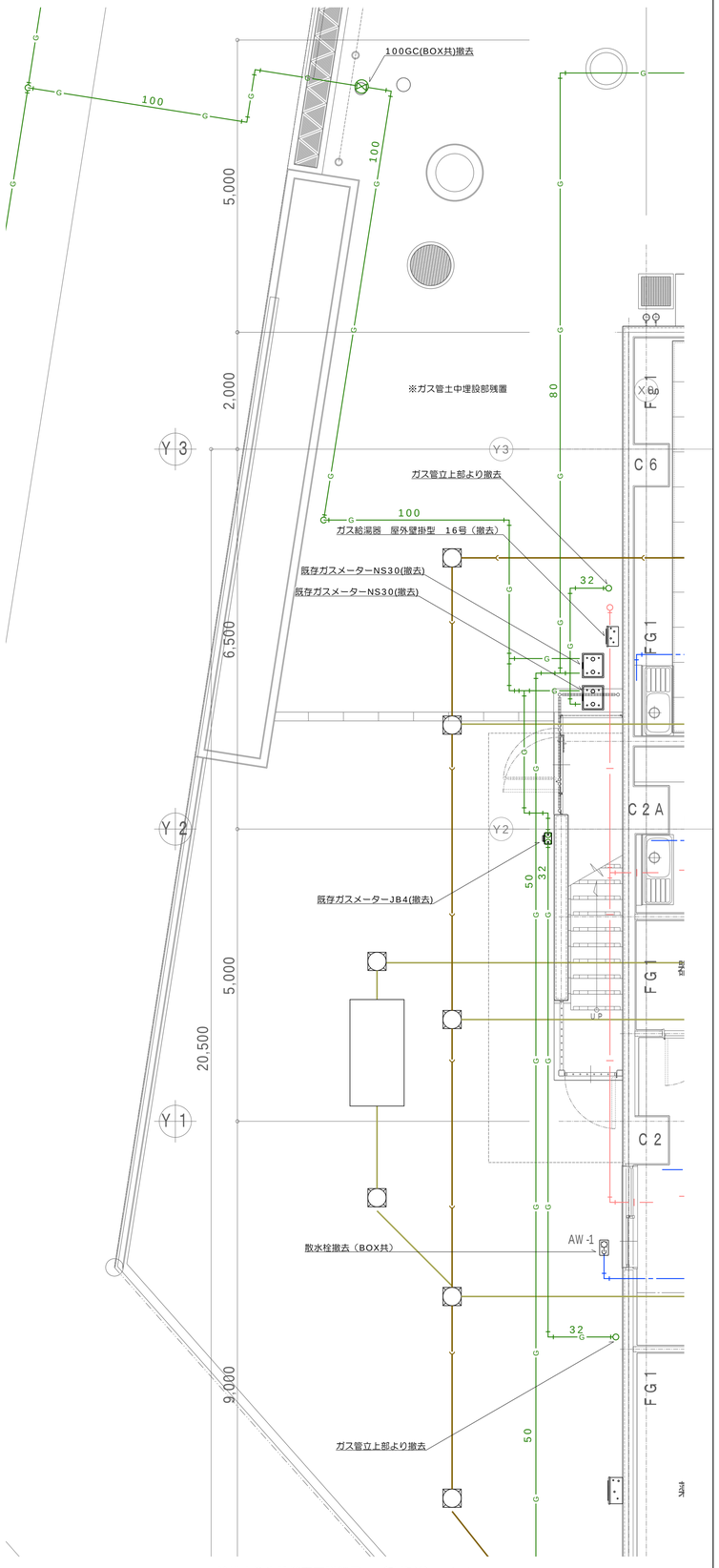


給排水衛生設備平面詳細図-4（改修前） 1/50

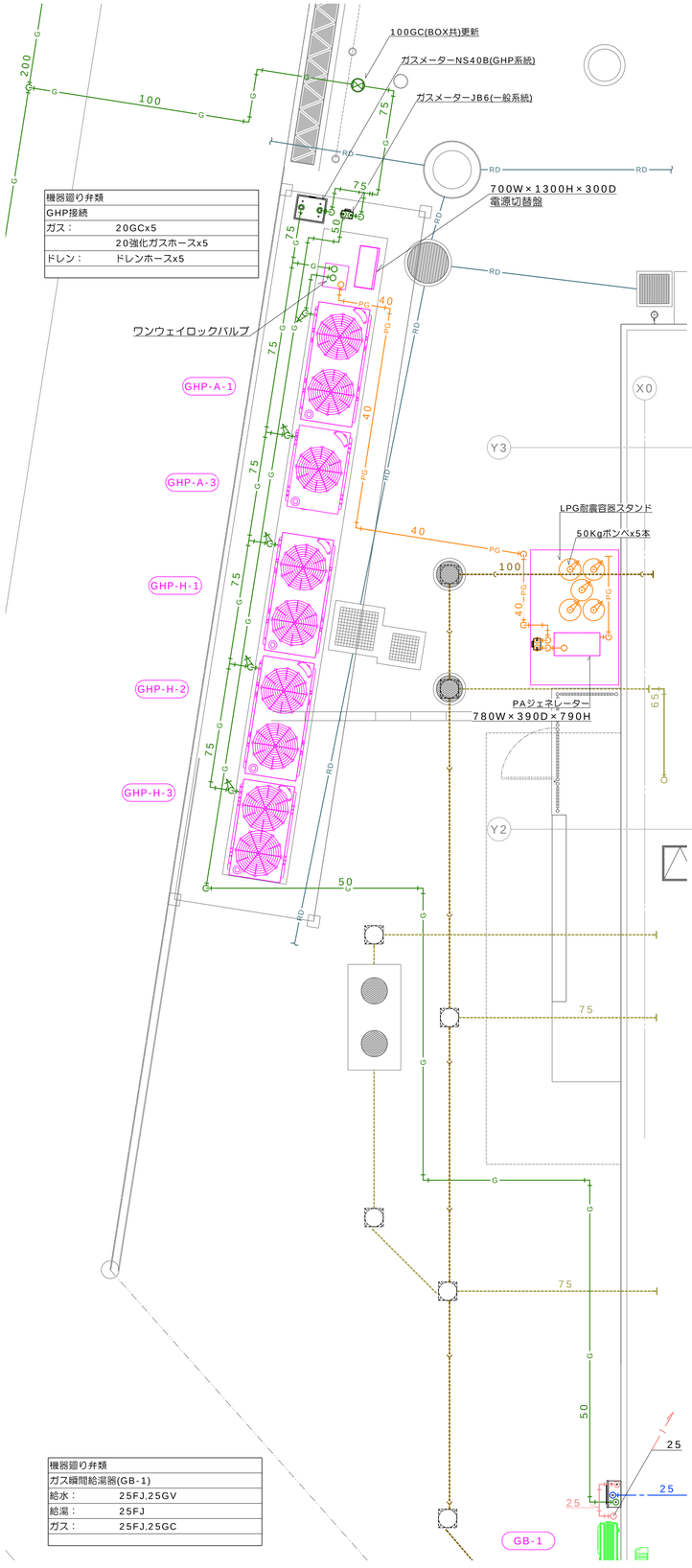


給排水衛生設備平面詳細図-4（改修後） 1/50

特記事項		斉藤出建築設計室	検印	設計	設計年月日 R 8 . 1 .30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No.
		一級建築士 第326081号 齋 藤 出	齋藤出	川村	変更年月日	図面名称	給排水衛生設備 平面詳細図(3) Scale 1/50	M-19



給排水衛生設備平面詳細図-5（改修前） 1/50



機器廻り弁類
GHP接続
ガス：　20GCx5
20強化ガスホースx5
ドレン：　ドレンホースx5

機器廻り弁類
ガス瞬間給湯器(GB-1)
給水：　25FJ,25GV
給湯：　25FJ
ガス：　25FJ,25GC

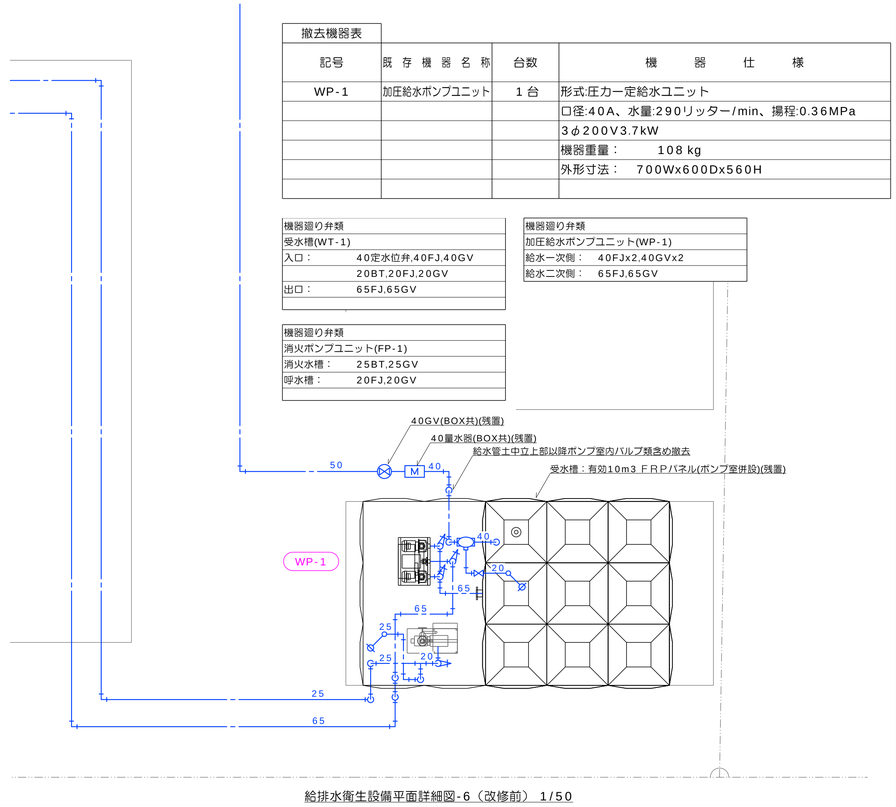
給排水衛生設備平面詳細図-5（改修後） 1/50

撤去機器表			
記号	既存機器名称	台数	機器仕様
WP-1	加圧給水ポンプユニット	1台	形式:圧カー定給水ユニット
			口径:40A、水量:290リッター/min、揚程:0.36MPa
			3φ200V3.7kW
			機器重量：　108 kg
			外形寸法：　700Wx600Dx560H

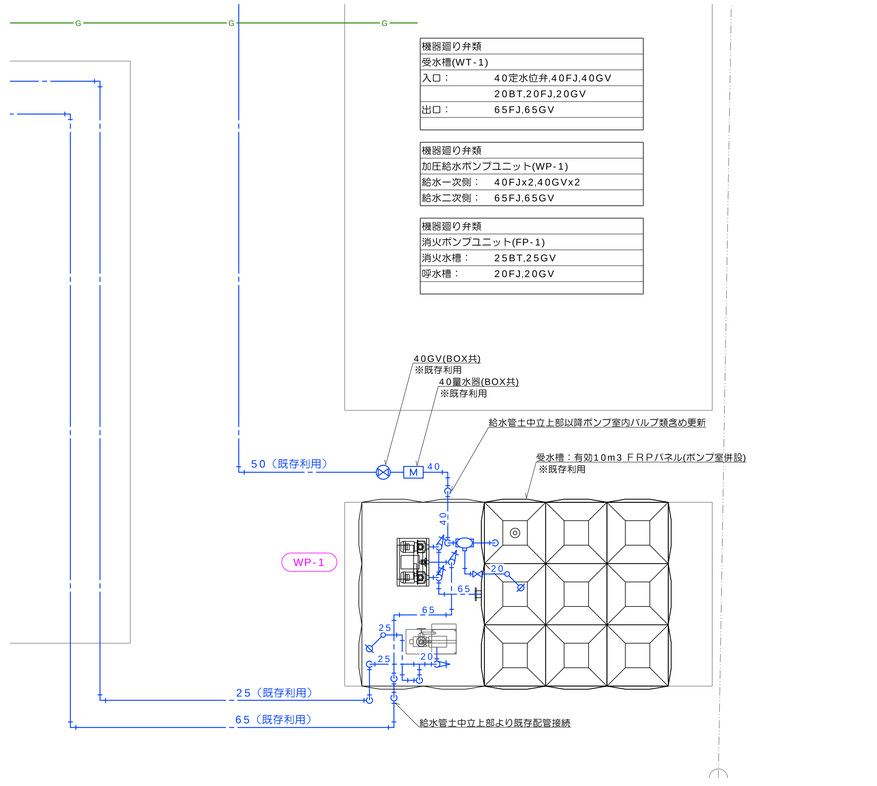
機器廻り弁類
受水槽(WT-1)
入口：　40定水位弁,40FJ,40GV
20BT,20FJ,20GV
出口：　65FJ,65GV

機器廻り弁類
加圧給水ポンプユニット(WP-1)
給水一次側：　40FJx2,40GVx2
給水二次側：　65FJ,65GV

機器廻り弁類
消火ポンプユニット(FP-1)
消火水槽：　25BT,25GV
呼水槽：　20FJ,20GV



給排水衛生設備平面詳細図-6（改修前） 1/50



機器廻り弁類
受水槽(WT-1)
入口：　40定水位弁,40FJ,40GV
20BT,20FJ,20GV
出口：　65FJ,65GV

機器廻り弁類
加圧給水ポンプユニット(WP-1)
給水一次側：　40FJx2,40GVx2
給水二次側：　65FJ,65GV

機器廻り弁類
消火ポンプユニット(FP-1)
消火水槽：　25BT,25GV
呼水槽：　20FJ,20GV

給排水衛生設備平面詳細図-6（改修後） 1/50

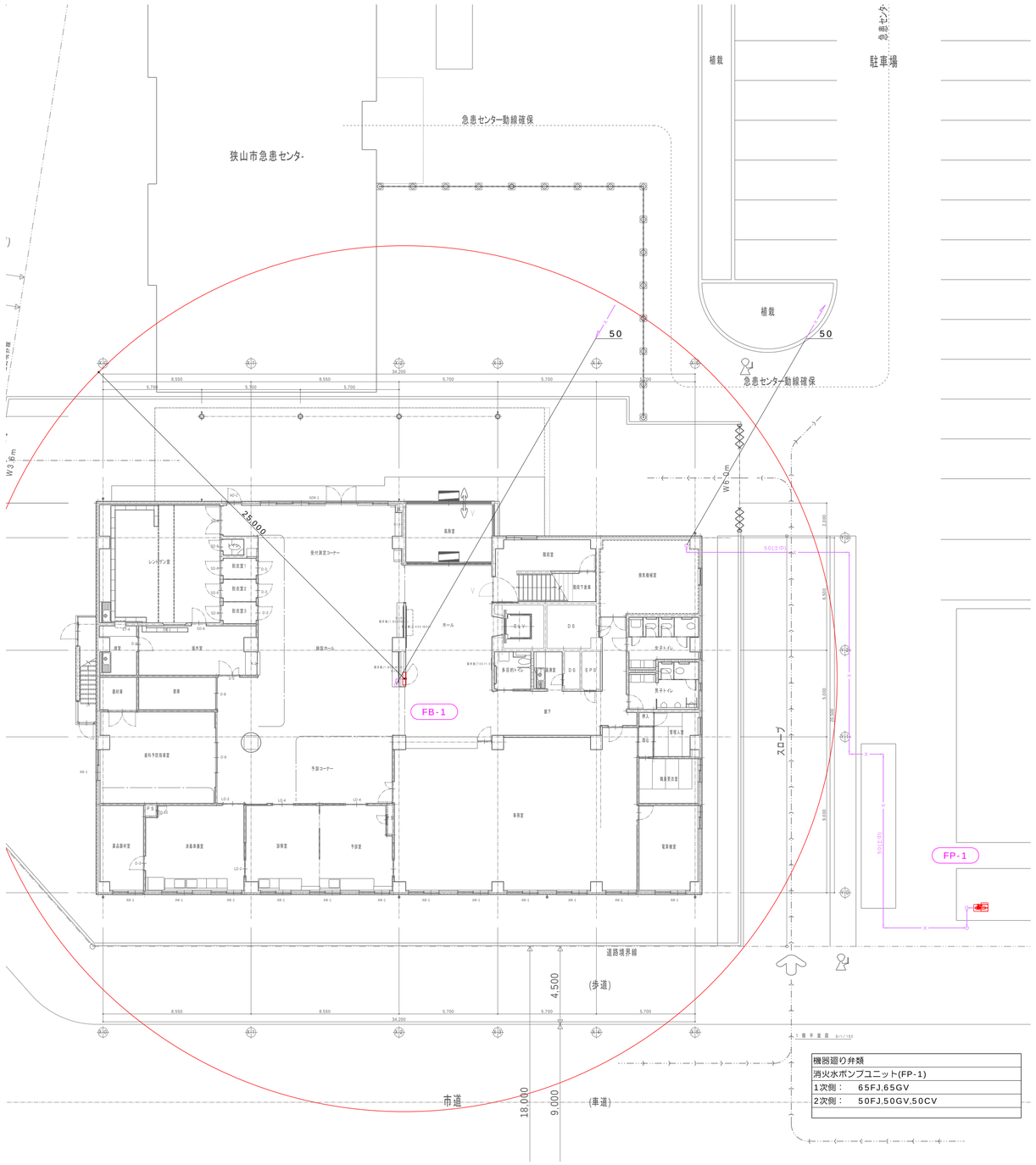
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印　齋藤出　設計　川村

設計年月日　R 8. 1. 30
変更年月日

工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　給排水衛生設備 平面詳細図(4)
Scale　1/50
No.　M-20



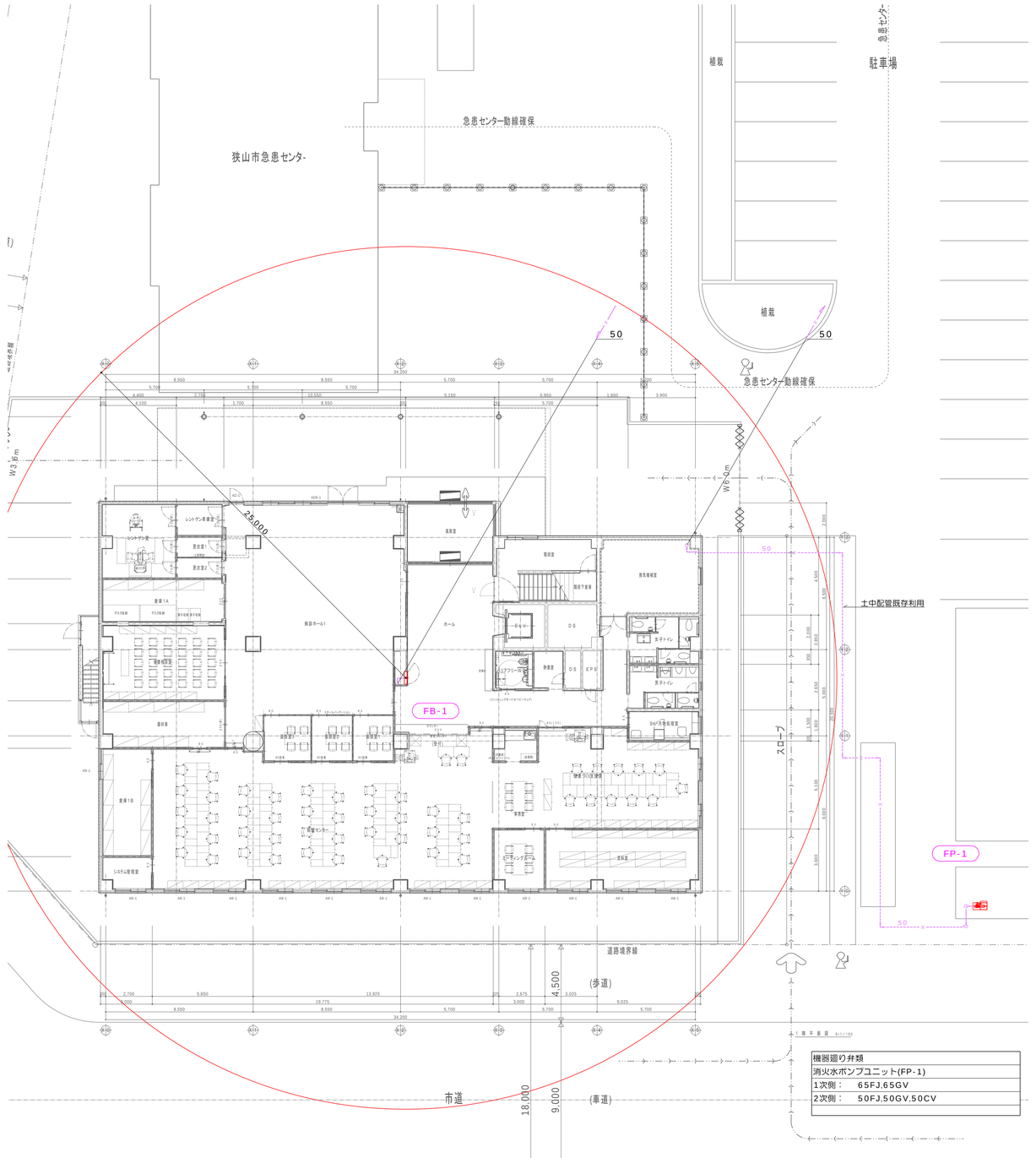
撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所 階	設置場所 室名
FP-1	消火ポンプユニット	1台	形式:1号屋内消火栓用ポンプユニット	1階	
			口径:50A、水量:150リッター/min、揚程:0.52MPa、3.7kW		
			呼水槽:50リッター、始動方式:直入れ		
			機器重量： 138 kg		
			外形寸法： 700Wx400Dx970H		
FB－1	1号屋内消火栓	1台	形式:総合盤付1号消火栓、屋内埋込形、	1階	
	屋内設置				

注 記

1. 特記なき改修前図記載機器類及び配管等については全て撤去を見込む。
2. 既設撤去に関しては、十分に養生を行い撤去対象外の既設機器類について破損等ないように作業を行うものとする。
3. フランジパッキン等撤去に際し特記仕様書に従いアスベスト含有調査報告及び適切に作業を行うこと。

消火設備1階平面図（改修前） 1/150



消火設備1階平面図（改修後） 1/150

配置

特記事項

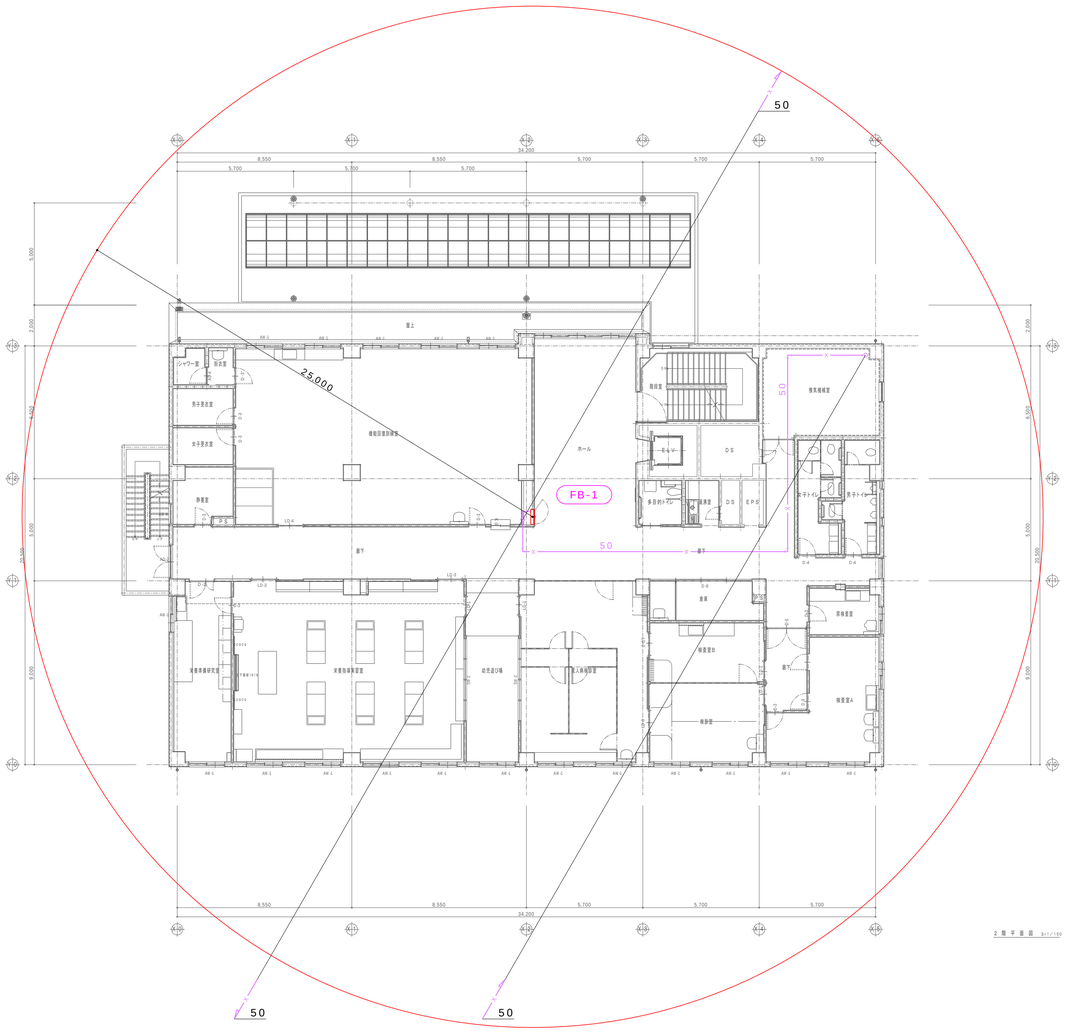
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印 設計

設計年月日 R 8 1 30
変更年月日

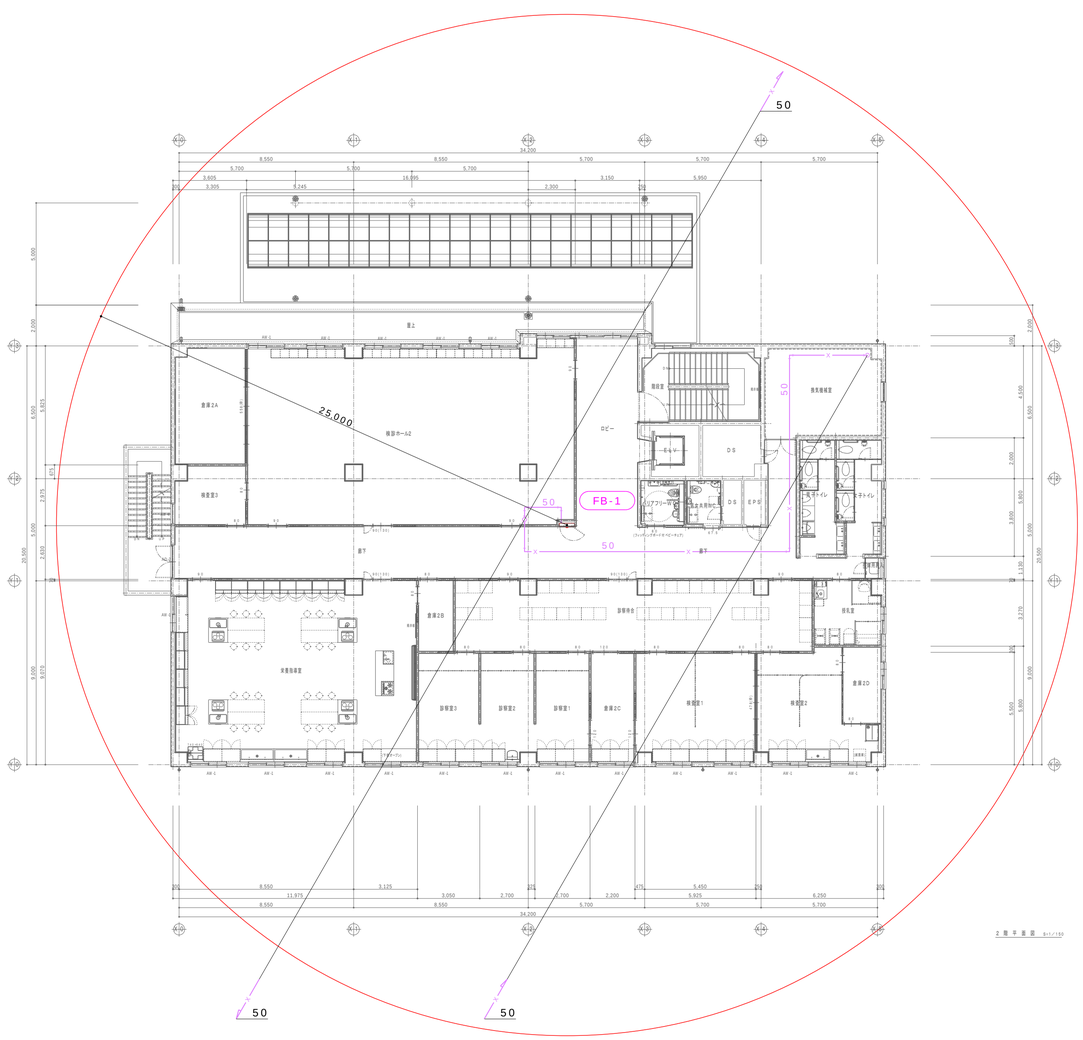
工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 消火設備 1階平面図
Scale 1/150

No. M-21



撤去機器表					
記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所	
				階	室名
FB－1	1号屋内消火栓	1台	形式:総合盤付1号消火栓、屋内埋込形、	2階	
	屋内設置				

消火設備2階平面図（改修前） 1/150



消火設備2階平面図（改修後） 1/150

特記事項

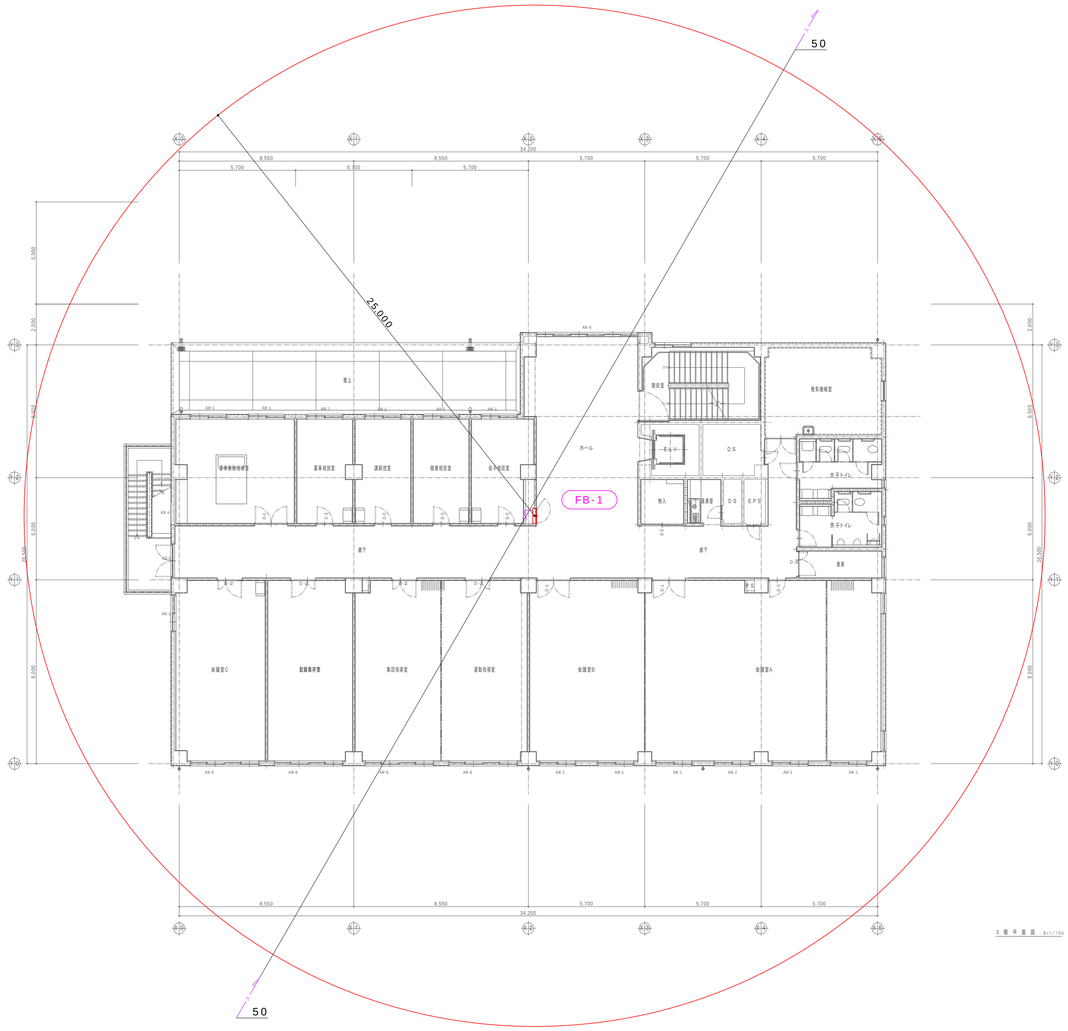
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 設計

設計年月日 R 8 . 1 .30
変更年月日

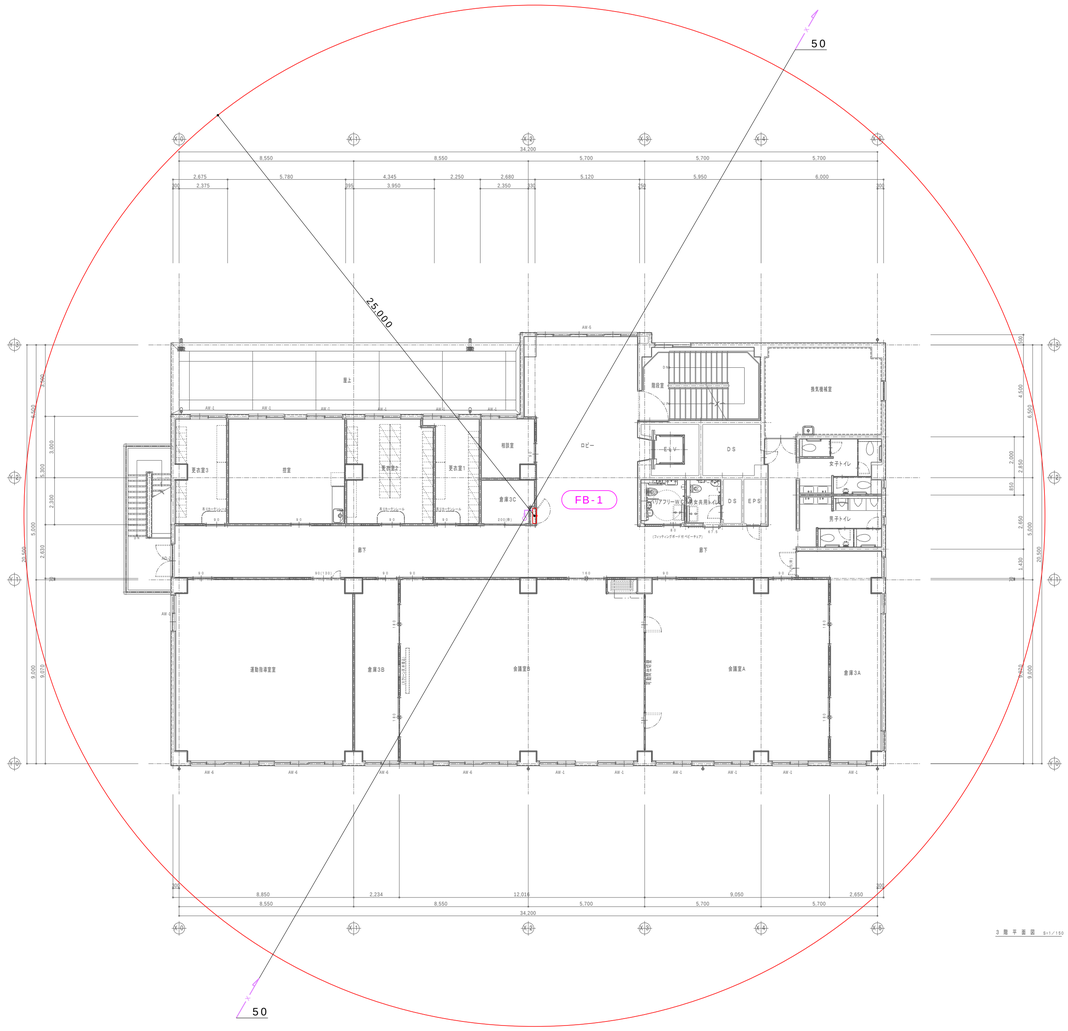
工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 消火設備 2階平面図
Scale 1/150

No. M-22



撤去機器表					
記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所	
				階	室名
FB－1	1号屋内消火栓	1台	形式:総合盤付1号消火栓、屋内埋込形、	3階	
	屋内設置				

消火設備3階平面図（改修前） 1/150



消火設備3階平面図（改修後） 1/150

特記事項

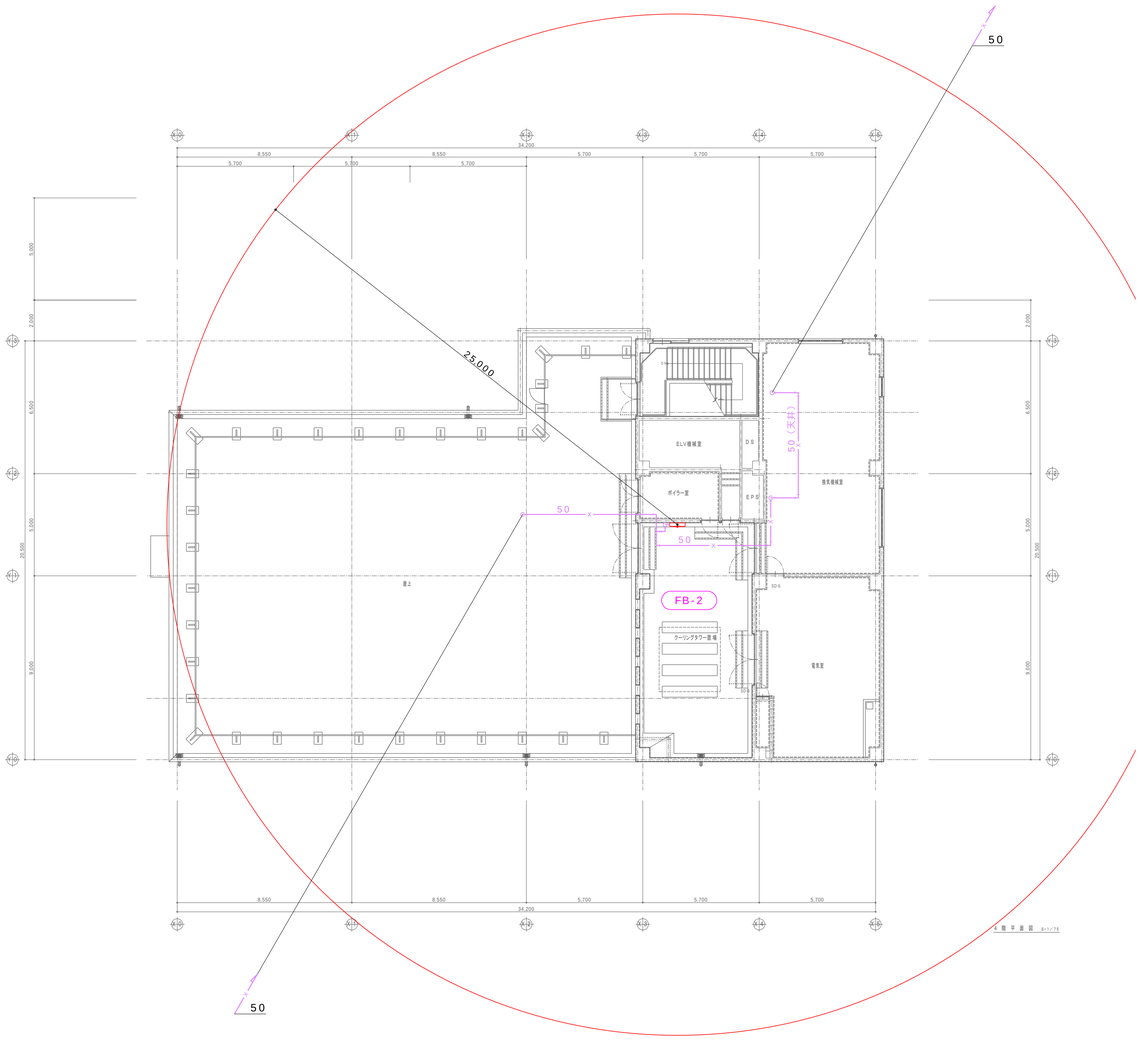
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 設計

設計年月日 R 8 . 1 .30
変更年月日

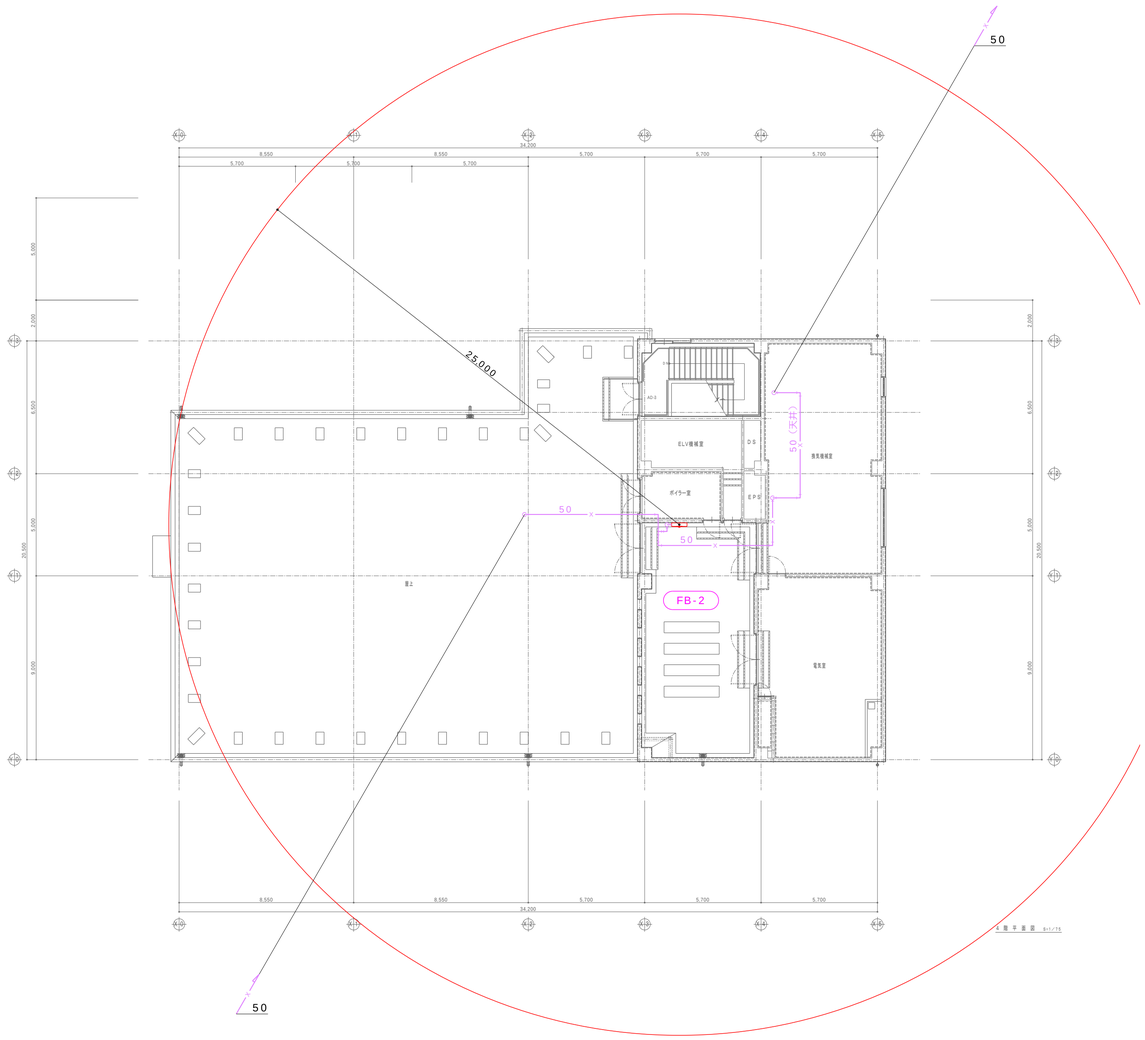
工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 消火設備 3階平面図
Scale 1/150

No. M-23



消火設備4階平面図（改修前） 1/150

撤去機器表					
記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所	
				階	室名
FB－2	1号屋内消火栓	1台	形式:総合盤付易操作性1号消火栓、屋外露出形、	4階	
	屋外設置				



消火設備4階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出

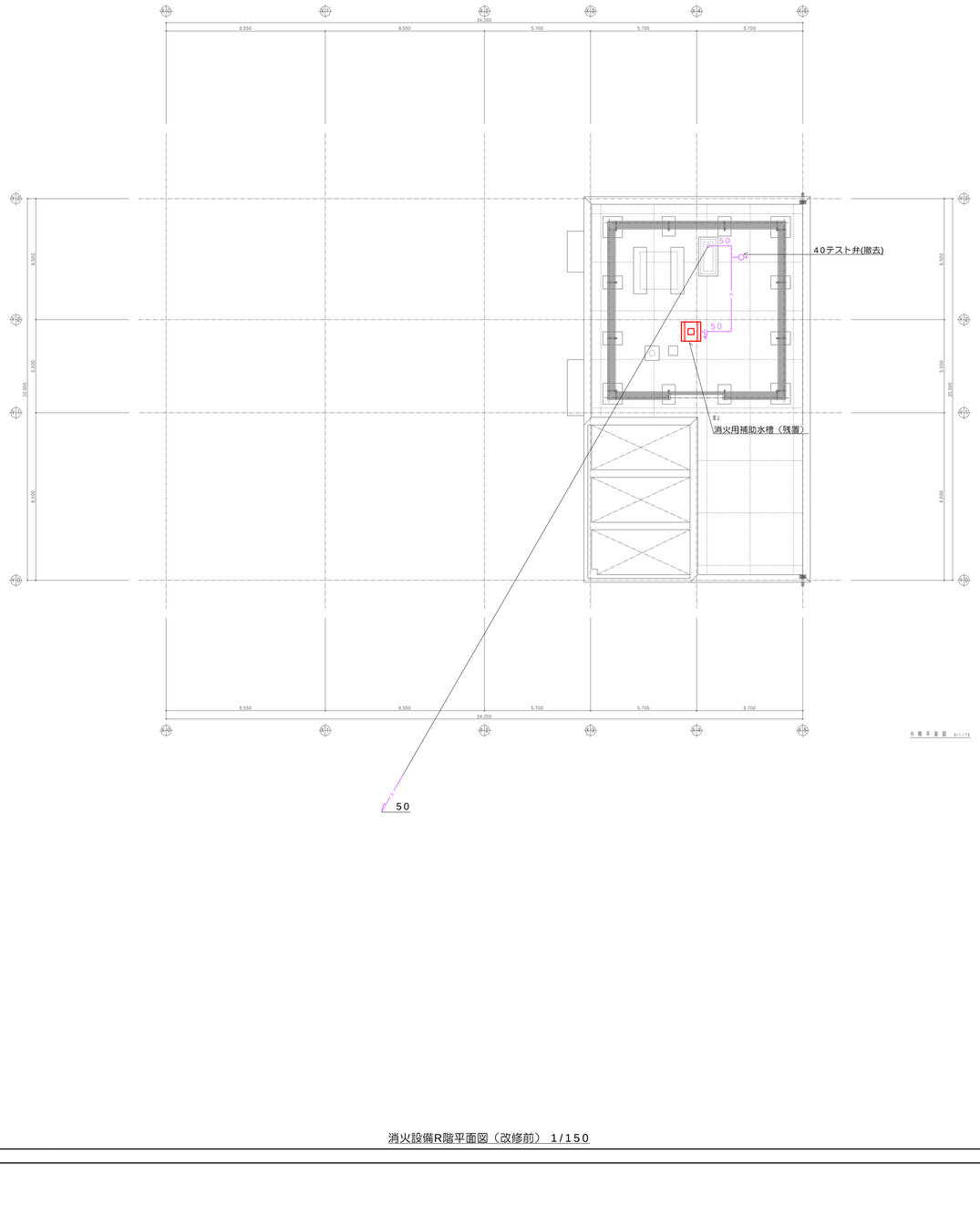
設計 川村

設計年月日 R 8 . 1 .30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称
Scale 1/150

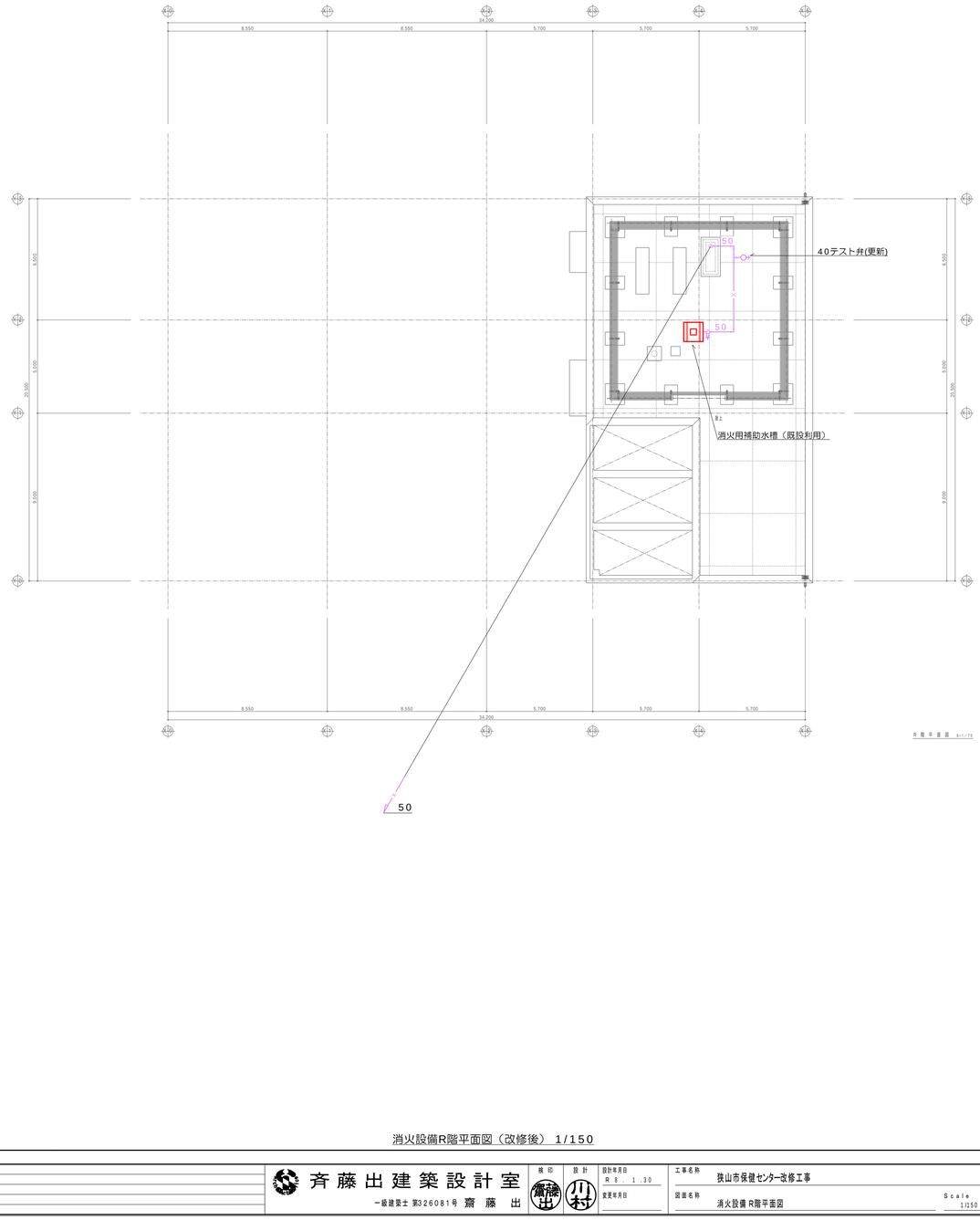
No. M-24

機器廻り弁類
消火用補助水槽
出口：　50FJ,50GV,50CV



消火設備R階平面図（改修前） 1/150

機器廻り弁類
消火用補助水槽
出口：　50FJ,50GV,50CV



消火設備R階平面図（改修後） 1/150

特記事項		斉藤出建築設計室	検印	設計	設計年月日 R 8 . 1 .30	工事名称 狭山市保健センター改修工事	No. M-25
		一級建築士 第326081号 齋 藤 出	齋藤出	川村	変更年月日	図面名称 消火設備 R階平面図 Scale 1/150	

室名	器材庫
器具名	VS 150×100
風量	EA 100 m³/h

×1

室名	暗室
器具名	VS 100×100
風量	EA 50 m³/h

×1

室名	操作室
器具名	VS 150×100
風量	60 m³/h

×1

室名	トイレ
器具名	VS 100×100
風量	30 m³/h

×1

室名	検診ホール
器具名	アネモE2 #20
風量	375 m³/h

×4

室名	多目的トイレ
器具名	VS 150×150
風量	EA 120 m³/h

×1

室名	女子便所
器具名	VS 200×200
風量	EA 270 m³/h

×1

室名	歯科予防準備室
器具名	角アネモE2 #12.5
風量	250 m³/h

×1

室名	暗室
器具名	VHS 100×100
風量	OA 30 m³/h

×1

室名	レントゲン室
器具名	VHS 200×150
風量	60 m³/h

×1

室名	検診ホール
器具名	VS 250×250
風量	590 m³/h

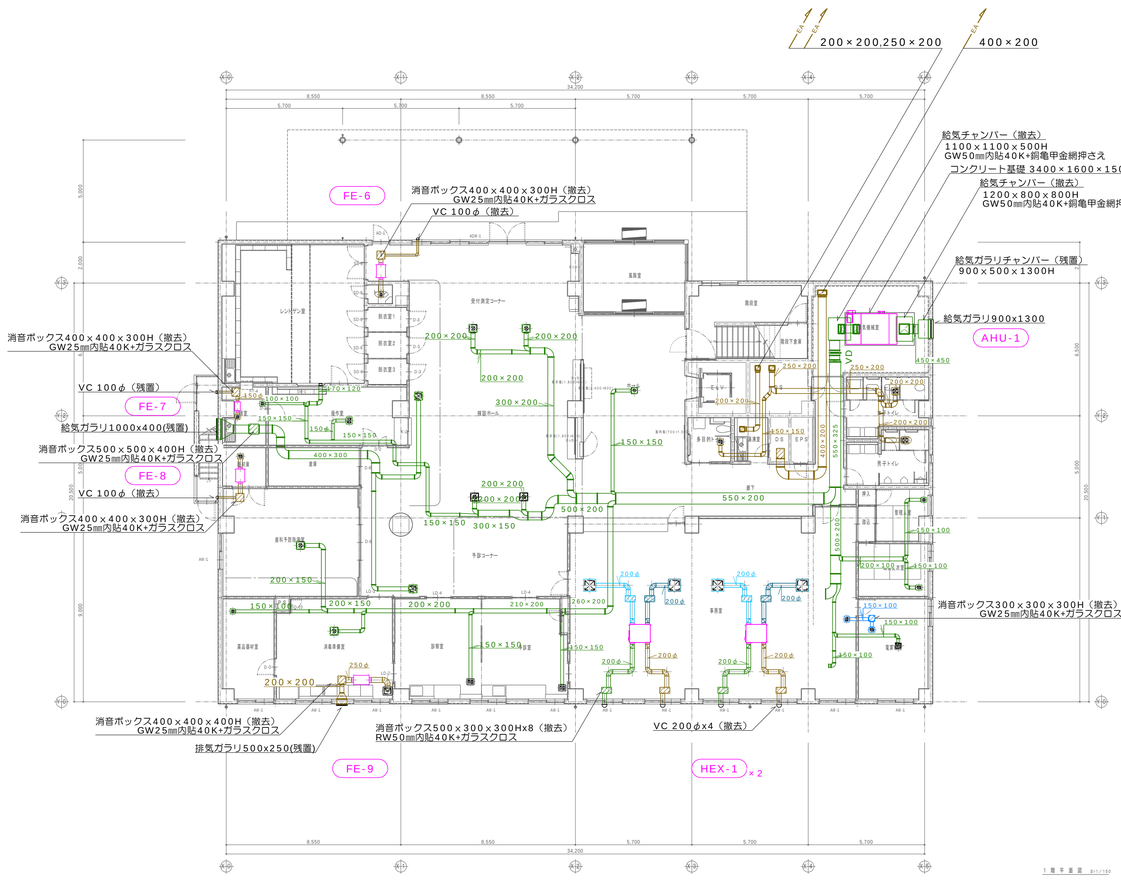
×2

室名	ホール
器具名	アネモE2 #15
風量	200 m³/h

×1

室名	男子便所
器具名	VS 200×200
風量	EA 260 m³/h

×1



室名	薬品器材室
器具名	VHS 100×100
風量	30 m³/h

×1

室名	消毒準備室
器具名	VS 300×250
風量	500 m³/h

×1

室名	診察室
器具名	VHS 150×100
風量	125 m³/h

×1

室名	予診室
器具名	VHS 150×100
風量	125 m³/h

×1

室名	事務室
器具名	VHS 450×450
風量	500 m³/h

×2

室名	管理人室
器具名	VHS 100×100
風量	OA 60 m³/h

×1

室名	電算機室
器具名	アネモE2 #12.5
風量	90 m³/h

×1

室名	消毒準備室
器具名	アネモE2 #12.5
風量	60 m³/h

×1

室名	事務室
器具名	HS 450×450
風量	500 m³/h

×2

室名	職員更衣室
器具名	VHS 100×100
風量	OA 90 m³/h

×1

室名	電算機室
器具名	VS 150×100
風量	90 m³/h

×2

撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所 階	設置場所 室名
AHU-1	空気調和機	1台	形式：床置型	1階	換気機械室
			送風量： 3250 m3/h		
			冷房能力： 21.5 kW 暖房能力： 27.6 kW		
			機器重量： 610 kg		
			外形寸法： 1500Wx2500Dx1800H		
HEX-1	空調換気扇	2台	形式：天井埋込ダクト型	1階	事務室
			送風量： 500 m3/h		
FE-6	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	1階	
			30m3/h x 50Pa x 20W		
FE-7	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	1階	
			50m3/h x 50Pa x 20W		
FE-8	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	1階	
			100m3/h x 50Pa x 20W		
FE-9	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	1階	
			500m3/h x 120Pa x 60W		

空調換気ダクト設備1階平面図（改修前） 1/150

室名	レントゲン室
器具名	VHS 300×300
風量	SA 250 m³/h
ボックス	400×400×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室名	レントゲン室
器具名	VHS 300×300
風量	SA 350 m³/h
ボックス	400×400×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室名	更衣室1
器具名	HS 150×150
風量	PASS 140 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室名	検診ホール1
器具名	VHS 250×250
風量	VOA 225 m³/h
ボックス	350×350×300H
	(内貼り 25mm)

×4

室名	換気機械室
器具名	VHS(フィルター付) 300×300
風量	OA 420 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室名	女子トイレ
器具名	HS 150×150
風量	EA 100 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(保温なし)

×3

室名	レントゲン室
器具名	HS 300×300
風量	RA 250 m³/h
ボックス	400×400×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室名	レントゲン室
器具名	VHS 150×150
風量	PASS 140 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室名	更衣室2
器具名	VHS 150×150
風量	SA 140 m³/h
ボックス	250×250×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室名	検診ホール1
器具名	HS 250×250
風量	VEA 225 m³/h
ボックス	350×350×300H
	(内貼り 25mm)

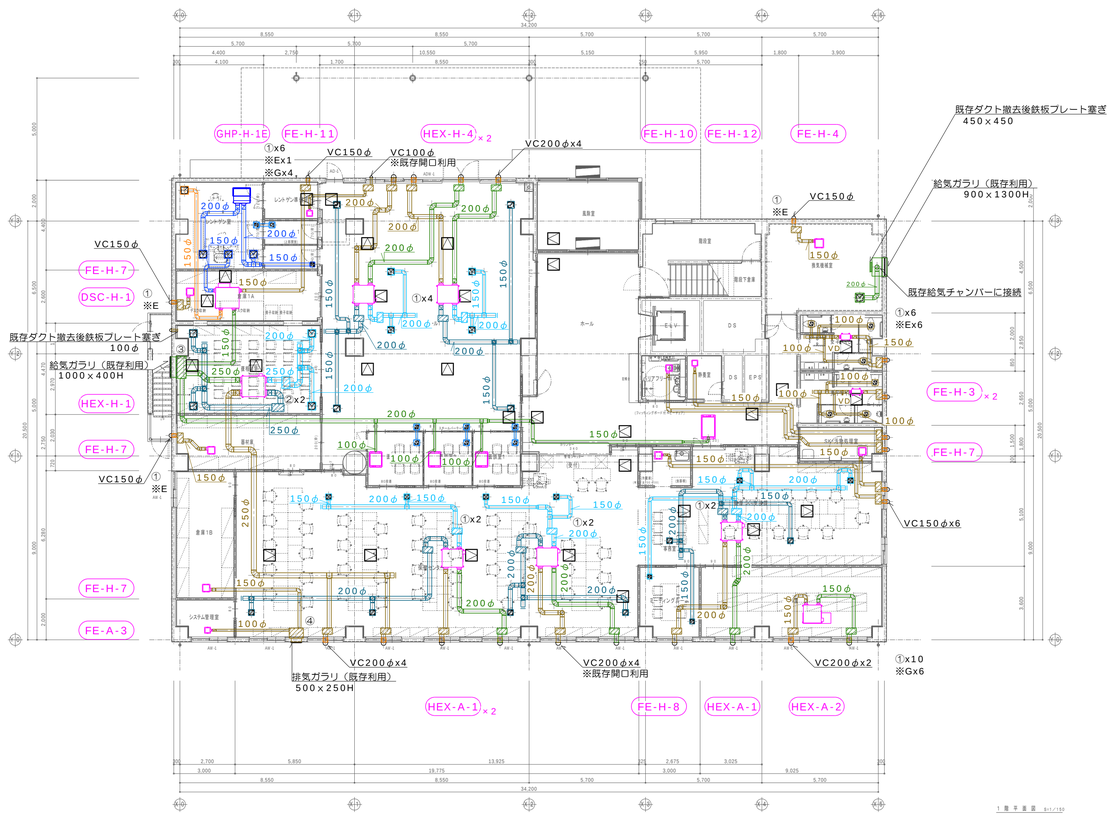
×4

室名	検診ホール1
器具名	VHS 150×150
風量	PASS 100 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×3

室名	男子トイレ
器具名	HS 150×150
風量	EA 100 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(保温なし)

×3



室名	健康相談室
器具名	VHS 300×300
風量	VOA 350 m³/h
ボックス	400×400×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室名	面談室
器具名	HS 150×150
風量	PASS 100 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×3

室名	保健センター
器具名	VHS 200×200
風量	VOA 200 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×4

室名	ミーティングルーム
器具名	VHS 150×150
風量	VOA 100 m³/h
ボックス	250×250×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室名	健康づくり支援課
器具名	HS 200×200
風量	VEA 150 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室名	健康相談室
器具名	HS 300×300
風量	VEA 350 m³/h
ボックス	400×400×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室名	保健センター
器具名	HS 200×200
風量	VEA 200 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×4

室名	ミーティングルーム
器具名	HS 150×150
風量	VEA 100 m³/h
ボックス	250×250×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室名	健康づくり支援課
器具名	HS 200×200
風量	VOA 150 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×2

チャンバー表				
記号	名称	寸法	個数	備考
①	消音ボックス	500x300x300H	35	GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス
②	消音ボックス	600x400x400H	2	GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス
③	外気	1100x500x500H	1	中仕切x1,GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス
④	排気	700x500x350H	1	中仕切x1,GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス

注記

1. 特記なき改修前図記載機器類及びダクト等については全て撤去を見込む。
2. 既設撤去に関しては、十分に養生を行い撤去対象外の既設機器類について破損等ないように作業を行うものとする。
3. 空調及び換気計画はすべて防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書（令和6年版）による。
4. 制気口は全て指定色塗装仕上げとする。
5. 図中 ▨ は既存躯体コア抜き部を表し、孔径は下記による。
   ※A 75φ ※B 100φ ※C 125φ ※D 150φ
   ※E 175φ ※F 200φ ※G 225φ ※H 250φ
6. 図中 ▷ は点検口を示し、全て建築工事とする。
7. アンダーカット及びドアガラリは全て建築工事とする。
8. 空調機と空調換気装置は連動運転制御とする。

空調換気ダクト設備1階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出 設計 川村

設計年月日 R 8. 1 .30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 空調換気ダクト設備1階平面図
Scale 1/150

No. M-26

室 名	シャワー室
器具名	HS 150×150
風 量	120 m³/h × 1

室 名	女子更衣室
器具名	VHS 150×100
風 量	60 m³/h × 1

室 名	機能回復訓練室
器具名	VHS 350×150
風 量	300 m³/h × 2

室 名	多目的トイレ
器具名	HS 150×150
風 量	120 m³/h × 1

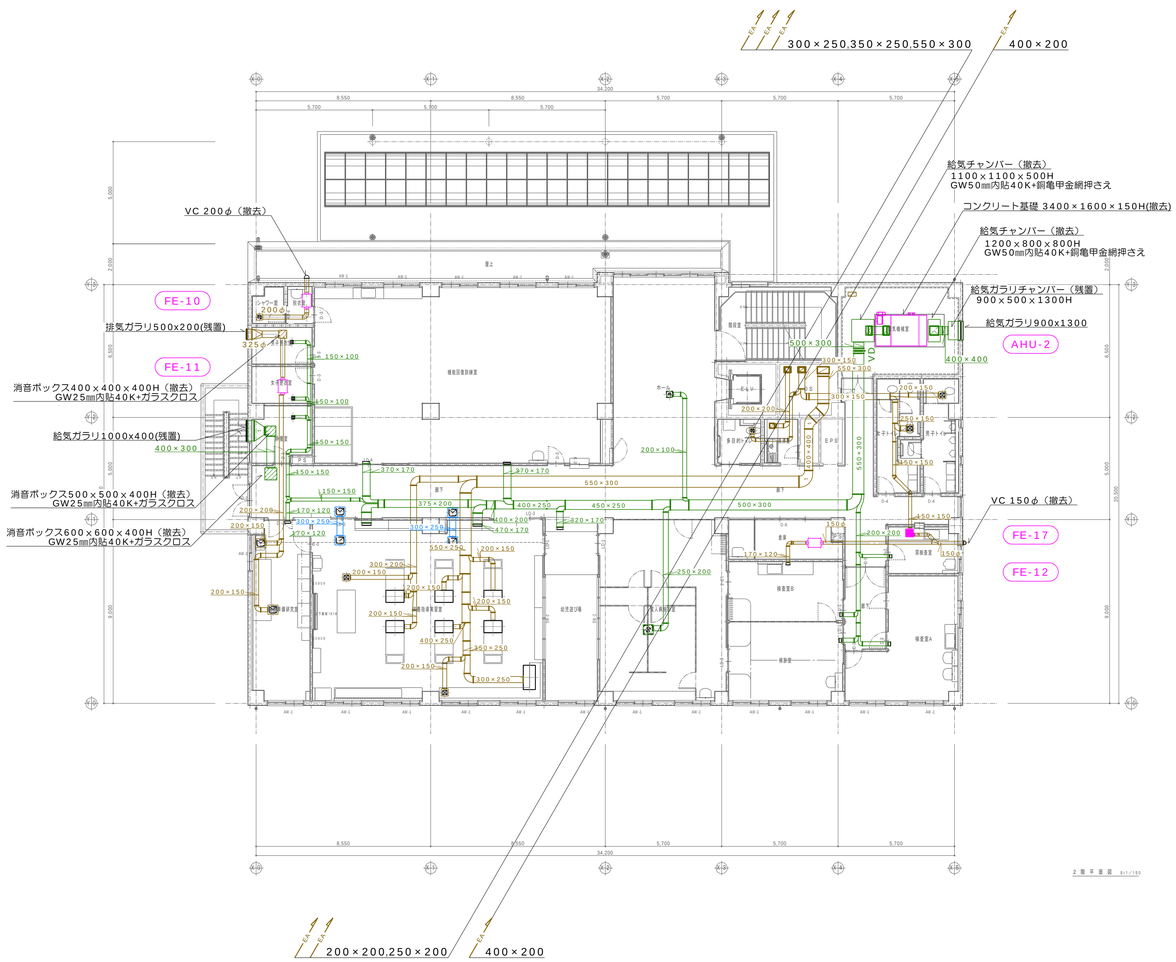
室 名	男子トイレ
器具名	HS 200×200
風 量	280 m³/h × 1

室 名	男子更衣室
器具名	VHS 150×100
風 量	60 m³/h × 1

室 名	静養室
器具名	VHS 150×100
風 量	60 m³/h × 1

室 名	ロビー
器具名	アネモE2 #15
風 量	200 m³/h × 1

室 名	女子トイレ
器具名	HS 200×200
風 量	280 m³/h × 1



室 名	廊下
器具名	VHS 500×500
風 量	OA 2,290 m³/h × 2

室 名	栄養準備研究室
器具名	VHS 150×200
風 量	60 m³/h × 2

室 名	栄養指導実習室
器具名	VHS 450×150
風 量	450 m³/h × 2

室 名	栄養指導実習室
器具名	VS 350×300
風 量	1,190 m³/h × 2

室 名	栄養指導実習室
器具名	SUSフード 1200x600x600H
風 量	V型グリスフィルター500X500x2 × 1

室 名	成人病健診
器具名	アネモE2 #25
風 量	OA 600 m³/h × 1

室 名	廊下
器具名	VHS 350×300
風 量	PASS 1,190 m³/h × 2

室 名	栄養準備研究室
器具名	VHS 200×200
風 量	EA 250 m³/h × 2

室 名	栄養指導実習室
器具名	VS 200×200
風 量	260 m³/h × 2

室 名	栄養指導実習室
器具名	SUSフード 900x600x600H
風 量	V型グリスフィルター500X500x2 × 6

室 名	幼児遊び場
器具名	VHS 300×150
風 量	300 m³/h × 1

室 名	検査室B
器具名	VHS 150×100
風 量	150 m³/h × 1

室 名	検査室B
器具名	GVS 150×100
風 量	EA 100 m³/h × 1

室 名	検診室
器具名	VHS 200×150
風 量	150 m³/h × 1

室 名	尿検査室
器具名	VHS 150×100
風 量	60 m³/h × 1

室 名	検査室A
器具名	VHS 200×150
風 量	150 m³/h × 1

撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所	
				階	室名
AHU-2	空気調和機	1台	形式：床置型	2階	換気機械室
			送風量： 3275 m3/h		
			冷房能力： 42.1 kW 暖房能力： 41.9 kW		
			機器重量： 640 kg		
			外形寸法： 1500Wx2500Dx1800H		
FE-17	排風機	1台	形式：天井換気扇	2階	尿検査室
			送風量： 400 m3/h		
FE-10	送風機	1台	形式：ラインファン	2階	
			120m3/h x 30Pa x 20W		
FE-11	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	2階	
			500m3/h x 150Pa x 100W		
FE-12	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	2階	
			100m3/h x 60Pa x 20W		

空調換気ダクト設備2階平面図（改修前） 1/150

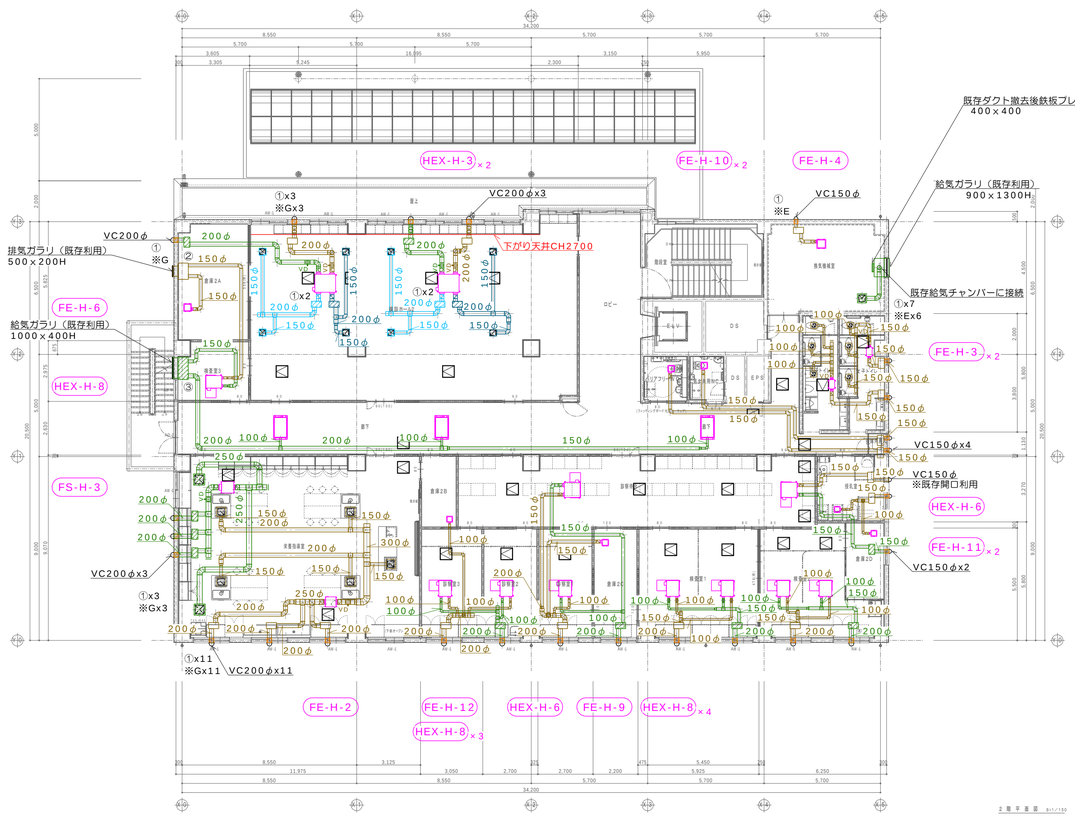
室 名	検診ホール2
器具名	VHS 250×250
風 量	VOA 250 m³/h
ボックス	350×350×300H
	(内貼り 25mm) × 4

室 名	換気機械室
器具名	VHS(フィルター付) 300×300
風 量	OA 420 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 50mm) × 1

室 名	女子トイレ
器具名	HS 150×150
風 量	EA 100 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(保温なし) × 3

室 名	検診ホール2
器具名	HS 250×250
風 量	VEA 250 m³/h
ボックス	350×350×300H
	(内貼り 25mm) × 4

室 名	男子トイレ
器具名	HS 150×150
風 量	EA 100 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(保温なし) × 3



室 名	栄養指導室
器具名	VHS(フィルター付) 400×400
風 量	OA 750 m³/h
ボックス	550×550×300H
	(内貼り 50mm) × 2

室 名	栄養指導室
器具名	HS 300×300
風 量	EA 300 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(保温なし) × 5

チャンバー表

記号	名称	寸法	個数	備考
①	消音ボックス	500x300x300H	30	GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス
②	排気	800x500x300H	1	中仕切x1,GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス
③	外気	1100x500x500H	1	中仕切x1,GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス

空調換気ダクト設備2階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	川村	R 8 1 30	狭山市保健センター改修工事	M-27
		変更年月日	図面名称 空調換気ダクト設備 2階平面図 Scale 1/150	

室 名	薬事指導実験室
器具名	VHS 200×100
風 量	120 m³/h

×1

室 名	薬事相談室
器具名	VHS 150×100
風 量	90 m³/h

×1

室 名	健康相談室
器具名	VHS 150×100
風 量	90 m³/h

×1

室 名	ロビー
器具名	アネモE2 #15
風 量	OA 200 m³/h

×1

室 名	女子トイレ
器具名	VS 200×200
風 量	EA 270 m³/h

×1

室 名	男子トイレ
器具名	VS 200×200
風 量	EA 260 m³/h

×1

室 名	廊下
器具名	VHS 500×500
風 量	2280 m³/h

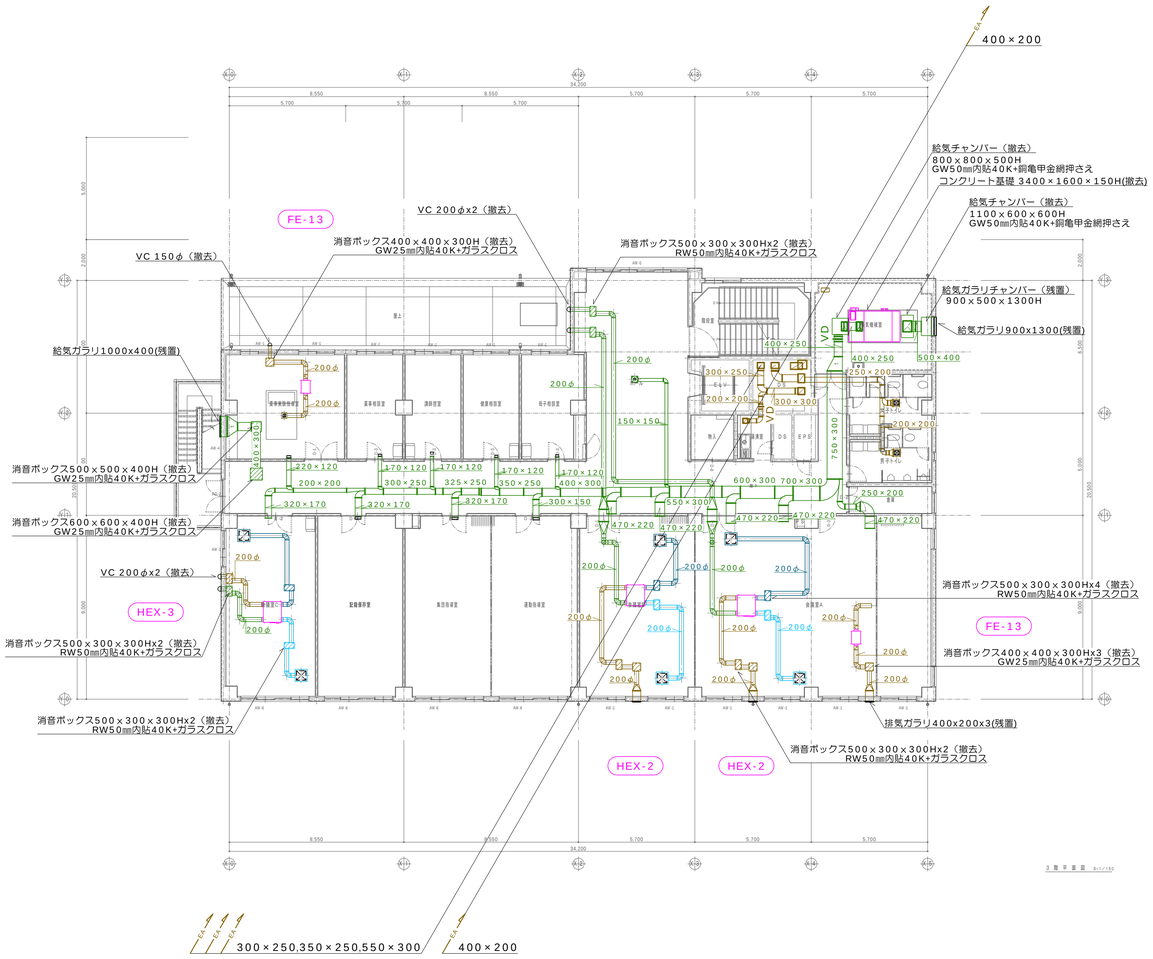
×1

室 名	講師控室
器具名	VHS 150×100
風 量	90 m³/h

×1

室 名	母子相談室
器具名	VHS 150×100
風 量	90 m³/h

×1



室 名	会議室C
器具名	VHS 450×450
風 量	500 m³/h

×1

室 名	記録保存室
器具名	VHS 350×150
風 量	300 m³/h

×1

室 名	運動指導室
器具名	VHS 350×150
風 量	300 m³/h

×1

室 名	会議室B
器具名	VHS 450×450
風 量	650 m³/h

×1

室 名	会議室A
器具名	VHS 450×450
風 量	650 m³/h

×1

室 名	会議室C
器具名	HS 450×450
風 量	500 m³/h

×1

室 名	集団指導室
器具名	VHS 350×150
風 量	300 m³/h

×1

室 名	会議室B
器具名	HS 450×450
風 量	650 m³/h

×1

室 名	会議室A
器具名	HS 450×450
風 量	650 m³/h

×1

撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所 階	設置場所 室名
AHU-3	空気調和機	1台	形式：床置型	3階	換気機械室
			送風量： 1675 m3/h		
			冷房能力： 21.6 kW 暖房能力： 21.4 kW		
			機器重量： 500 kg		
			外形寸法： 1500Wx2500Dx1800H		
HEX-2	空調換気扇	2台	形式：天井埋込ダクト型	3階	会議室A・B
			送風量： 650 m3/h		
HEX-3	空調換気扇	1台	形式：天井埋込ダクト型	3階	会議室C
			送風量： 500 m3/h		
FE-13	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	3階	
			150m3/h x 60Pa x 20W		
FE-16	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	3階	
			200m3/h x 120Pa x 60W		

空調換気ダクト設備3階平面図（改修前） 1/150

室 名	換気機械室
器具名	VHS(フィルター付) 300×300
風 量	OA 420 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 50mm)

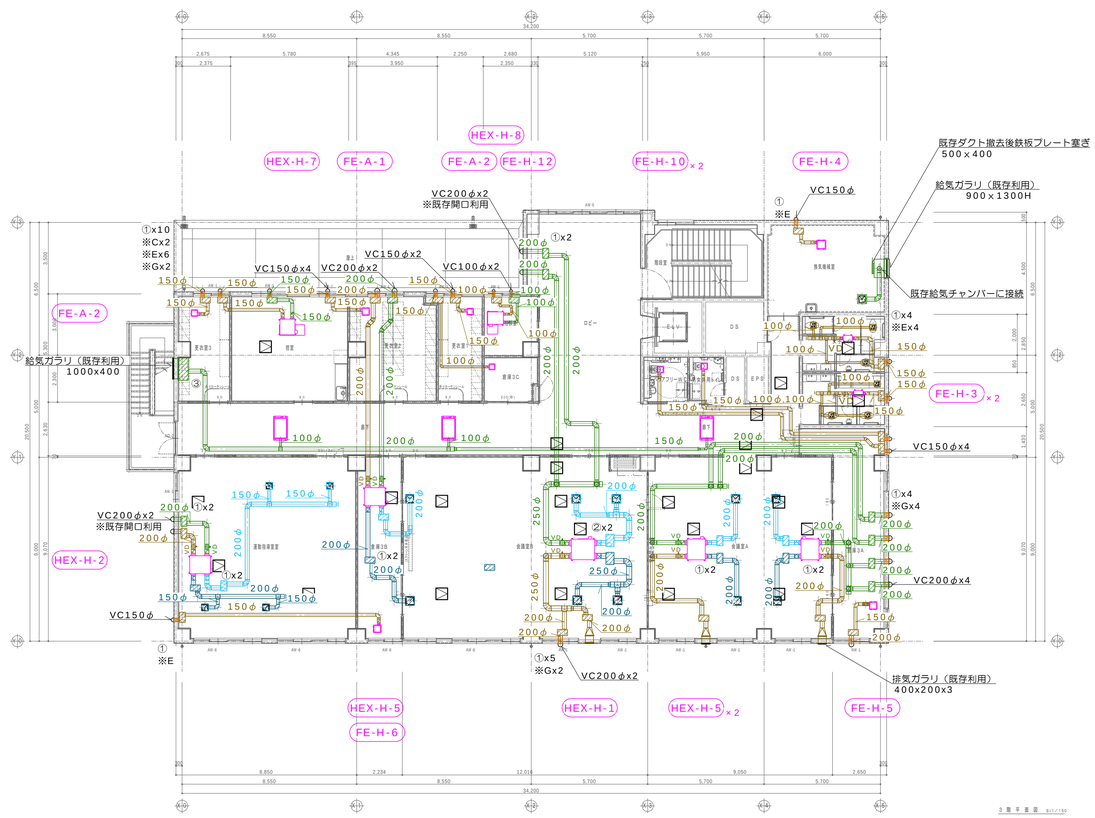
×1

室 名	男子トイレ
器具名	HS 150×150
風 量	EA 100 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×3

室 名	女子トイレ
器具名	HS 150×150
風 量	EA 100 m³/h
ボックス	300×300×300H
	(内貼り 25mm)

×3



室 名	運動指導室室
器具名	HS 250×250
風 量	VEA 275 m³/h
ボックス	350×350×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室 名	会議室B
器具名	VHS 350×350
風 量	VOA 420 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室 名	会議室B
器具名	VHS 350×350
風 量	VOA 350 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室 名	会議室A
器具名	VHS 350×350
風 量	VOA 420 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室 名	運動指導室室
器具名	VHS 250×250
風 量	VOA 275 m³/h
ボックス	350×350×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室 名	会議室B
器具名	HS 350×350
風 量	VEA 420 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 25mm)

×1

室 名	会議室B
器具名	HS 350×350
風 量	VEA 350 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 25mm)

×2

室 名	会議室A
器具名	HS 350×350
風 量	VEA 420 m³/h
ボックス	450×450×300H
	(内貼り 25mm)

×2

チャンバー表

記号	名称	寸法	個数	備考
①	消音ボックス	500x300x300H	37	GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス
②	消音ボックス	600x400x400H	2	GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス
③	外気	1100x500x500H	1	GW50t40K(消音内貼)+ガラスクロス

空調換気ダクト設備3階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印 齋藤出

設計 川村

設計年月日 R 8. 1. 30

変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事

図面名称 空調換気ダクト設備 3階平面図

Scale 1/150

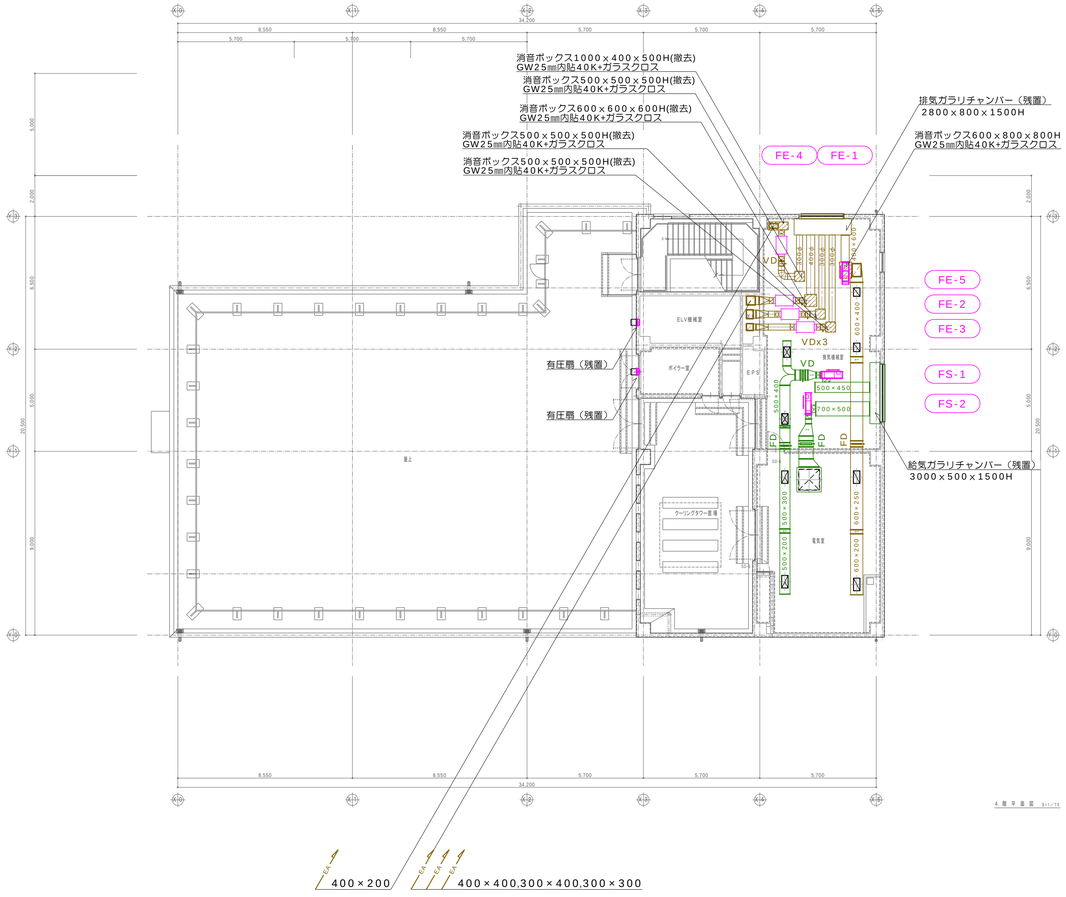
No. M-28

室　名	機械室
器具名	VHS 500×300
風　量	1,115 ㎥/h

×2

室　名	機械室
器具名	HS 400×300
風　量	930 ㎥/h

×2



撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所 階	設置場所 室名
FS-1	送風機	1台	形式：片吸込シロッコファン　天吊形	4階	換気機械室
			#2-1/2 x 4930m3/h x 200Pa x 2.2kW		
FS-2	送風機	1台	形式：片吸込シロッコファン　天吊形	4階	換気機械室
			#2-1/2 x 8210m3/h x 190Pa x 3.7kW		
FE-1	送風機	1台	形式：片吸込シロッコファン　床置形	4階	換気機械室
			#2-1/2 x 4560m3/h x 200Pa x 1.5kW		
FE-2	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	4階	換気機械室
			1940m3/h x 270Pa x 0.45kW		
FE-3	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	4階	換気機械室
			1500m3/h x 240Pa x 0.45kW		
FE-4	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	4階	換気機械室
			1570m3/h x 290Pa x 0.45kW		
FE-5	送風機	1台	形式：消音箱付ラインファン	4階	換気機械室
			3280m3/h x 270Pa x 0.45kW		

室　名	電気室
器具名	VHS 1000×1000
風　量	OA 8,210 ㎥/h

×2

室　名	電気室
器具名	VHS 600×300
風　量	1,350 ㎥/h

×2

室　名	電気室
器具名	HS 600×300
風　量	1,350 ㎥/h

×2

空調換気ダクト設備4階平面図（改修前） 1/150

（既存利用）

室　名	換気機械室
器具名	HS 400×300
風　量	930 ㎥/h
ボックス	

×2

（既存利用）

室　名	電気室
器具名	VHS 1000×1000
風　量	OA 8,210 ㎥/h
ボックス	1200×1200×600H
	(保温なし)

×1

（既存利用）

室　名	電気室
器具名	HS 600×300
風　量	1,350 ㎥/h
ボックス	

×2

（既存利用）

室　名	換気機械室
器具名	VHS 500×300
風　量	1,115 ㎥/h
ボックス	

×1

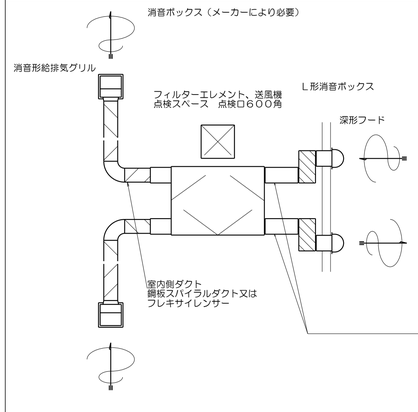
（既存利用）

室　名	電気室
器具名	VHS 600×300
風　量	1,350 ㎥/h
ボックス	

×2

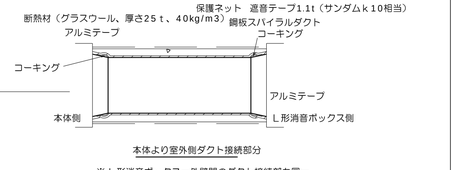


□全熱交換型換気扇の標準工法



1．全熱交換形空調用換気扇本体から外壁間の給気用ダクト及び排気用ダクトには
下記透過損失性能を有する遮音テープを間隙なく巻く事。
（1） 125Hz において8dB 以上
（2） 500Hz において15dB以上
（3）2000Hzにおいて24dB以上
2．吹出口における騒音値は、水平に1m離れた点から1．2m下（吹出口から
3m以上の位置にあるときは、床から1．8m）の位置において、原則として
下記の値を越えないものとする。

医療関係施設	医師勤務室、学習指導室、集会室、会議室、事務室及びこれに類する室	45dB（A）
	その他の施工室	40dB（A）



※L形消音ボックス－外壁間のダクト接続部も同一

空調換気ダクト設備4階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印	設計
齋藤出	川村

設計年月日 R 8．1．30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 空調換気ダクト設備 4階平面図
Scale 1/150
No. M-29

RFL
4500
4FL
3800
3FL
3800
2FL
4000
1FL
300
GL

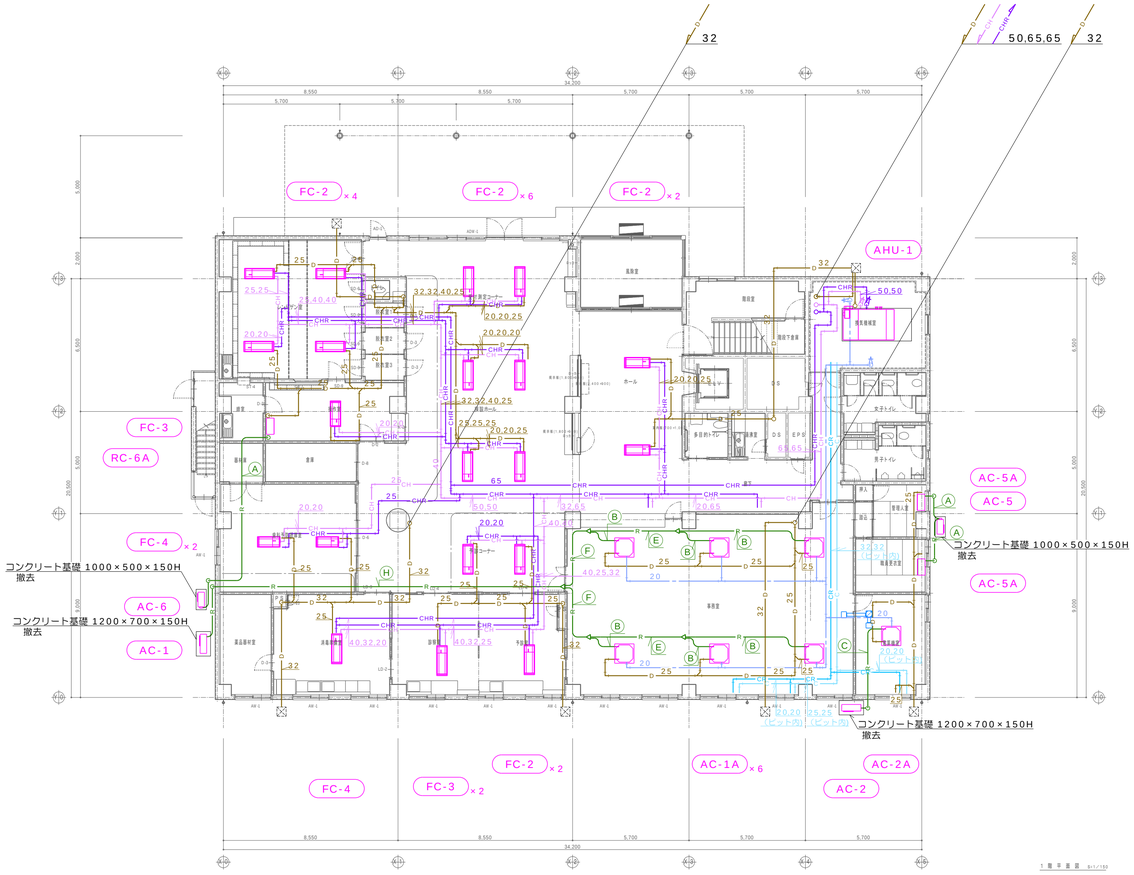
GHP-H-3A × 2 運動指導室
GHP-H-3C × 4 会議室B
GHP-H-3C × 4 会議室A
GHP-A-3D 更衣室3
GHP-H-3B 控室
GHP-A-3C × 2 廊下
GHP-A-3B 更衣室2
GHP-A-3D 更衣室1
GHP-H-3D 相談室
GHP-A-3A ロビー
GHP-A-3C 廊下
PT-1

GHP-H-2B × 4 栄養指導実習室
GHP-H-2C 診察室3
GHP-H-2C 診察室2
GHP-H-2C 診察室1
GHP-H-2D × 3 診察待合
GHP-H-2C × 2 検査室1
GHP-H-2D × 2 検査室2
GHP-H-2E 授乳室
GHP-H-2E 検査室3
GHP-H-1D × 2 廊下
GHP-H-2A × 4 検診ホール2
GHP-H-1B ロビー
GHP-H-1D 廊下
PT-1

GHP-A-1 GHP-A-3 GHP-H-1 GHP-H-2 GHP-H-3
EHP-A-1
EHP-A-1A システム管理室
GHP-A-1A × 4 保健センター事務室
GHP-H-1F 面談室3
GHP-H-1F 面談室2
GHP-H-1F 面談室1
GHP-A-1B × 2 健康づくり支援課
GHP-A-1D ミーティングルーム
GHP-A-1C 資料室
HPA-1E レントゲン室
GHP-H-1G レントゲン準備室
GHP-H-1C × 2 健康相談室
GHP-H-1A × 4 検診ホール1
GHP-H-1B × 2 ホール
GHP-H-1D 廊下
PT-1

32メカニカルドレントラップ
25メカニカルドレントラップ
32メカニカルドレントラップ
32メカニカルドレントラップ
50メカニカルドレントラップ

特記事項	斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印	設計	設計年月日 R 8 . 1 30	工事名称	狭山市保健センター改修工事	No. M-30
				変更年月日	図面名称	空調配管設備 系統図	Scale N/S

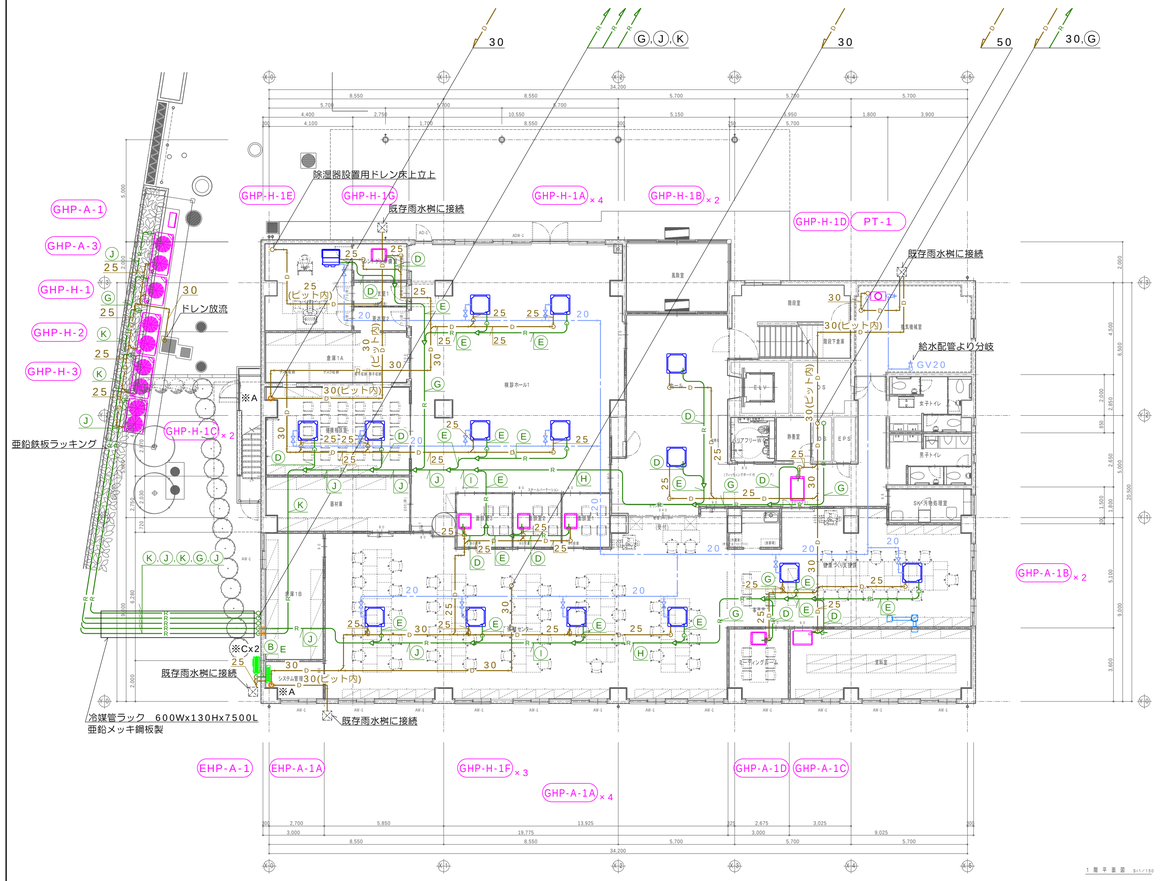


撤去機器表				
記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所 階 / 室名
FC-2	ファンコイルユニット	14台	形式：天井カセット型	1階
			冷房能力： 1.52 kW 暖房能力： 2.24 kW	
			水量： 3 L/min 風量： 330 m3/h	
FC-3	ファンコイルユニット	3台	形式：天井カセット型	1階
			冷房能力： 2.29 kW 暖房能力： 3.34 kW	
			水量： 5 L/min 風量： 580 m3/h	
FC-4	ファンコイルユニット	3台	形式：天井カセット型	1階
			冷房能力： 3.05 kW 暖房能力： 4.45 kW	
			水量： 7 L/min 風量： 640 m3/h	
AC-1	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：GHPビル用マルチエアコン 7.5HP	1階 屋外
	マルチ屋外機		冷房能力： 18 kW 暖房能力： 24 kW	
			機器重量： 380 kg	
			外形寸法： 1100Wx500Dx1740H	
AC-1A	ガスヒートポンプエアコン	6台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	1階 事務室
	屋内機		冷房能力： 2.8 kW 暖房能力： 3.4 kW	
			自然気化式加湿器組込	
AC-2	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：ペア型パッケージエアコン	1階 屋外
	屋外機		冷房能力： 5.6 kW 暖房能力： 6.3 kW	
			機器重量： 43 kg	
			外形寸法： 940Wx340Dx996H	
AC-2A	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	1階 電算機室
	屋内機		冷房能力： 5.6 kW 暖房能力： 6.3 kW	
			自然気化式加湿器組込	
AC-5	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：マルチ型パッケージエアコン	1階 屋外
	マルチ屋外機		冷房能力： 4 kW 暖房能力： 5.2 kW	
			機器重量： 43 kg	
			外形寸法： 940Wx340Dx996H	
AC-5A	電気ヒートポンプエアコン	2台	屋内機型式：壁掛型	1階 更衣室
	屋内機		冷房能力： 2.2 kW 暖房能力： 2.8 kW	
AC-6	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：ルームエアコン	1階 屋外
	屋外機		冷房能力： 2.2 kW 暖房能力： 2.8 kW	
AC-6A	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式：壁掛型	
	屋内機		冷房能力： 5.6 kW 暖房能力： 6.3 kW	

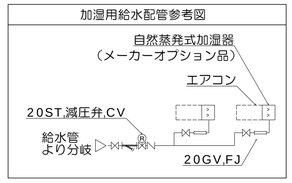
機器廻り弁類	
エアハンドリングユニット(AHU-1)	
冷温水(往)：	40FJ,40GVx4,65BV
	三方弁40x32
	温度計、圧力計
冷温水(還)：	40FJ,40GVx2,40ST,65BV
	温度計、圧力計
加湿給水：	20GV,20ST

注記	
1.	特記なき改修前図記載機器類及び配管等については全て撤去を見込む。
2.	既設撤去に関しては、十分に養生を行い撤去対象外の既設
	機器類について破損等ないように作業を行うものとする。
3.	フランジパッキン等撤去に際し特記仕様書に従い
	アスベスト含有調査報告及び適切に作業を行うこと。

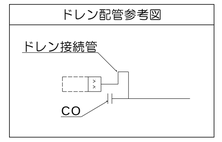
空調配管設備1階平面図（改修前） 1/150



加湿用給水配管参考図



ドレン配管参考図



注記	
1.	冷媒管の口径は既存配管を含め右表とし、傍記は下記による。
	E：EM-EEF2.0-3C（電源線冷媒管共巻）
	傍記無き配管はEM-CEE1.25-2C（制御線冷媒管共巻）を見込む。
2.	特記なき冷媒管外装について屋外はカラーガルバリウム製ラッキング仕上
	屋内露出部は合成樹脂製カバー仕上げとする。
3.	屋内機ドレン配管立下部には空調用ドレンチャッキ弁(掃除口付)を
	見込むものとする。
4.	加湿給水管は機器接続部にて全てサービスバルブ及びフレキ管を
	見込むものとする。
5.	図中 ▨ は既存躯体コア抜き部を表し、孔径は下記による。
	※A 75φ ※B 100φ ※C 125φ ※D 150φ
6.	外壁コア抜きに際し事前にアスベスト含有調査報告を行うこと。

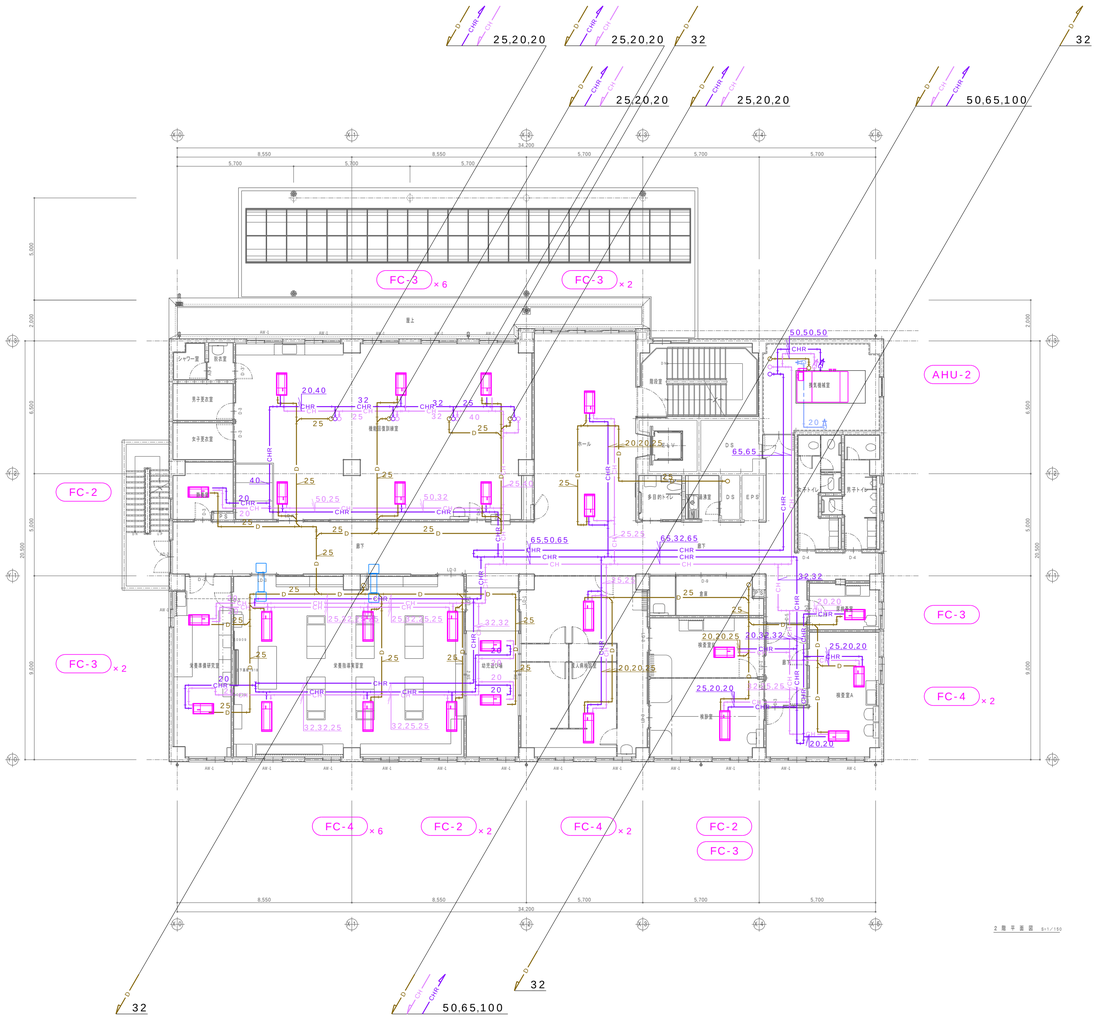
記号	冷媒サイズ
Ⓐ	6.4φ×9.5φ
Ⓑ	6.4φ×12.7φ
Ⓒ	6.4φ×15.9φ
Ⓓ	9.5φ×12.7φ
Ⓔ	9.5φ×15.9φ
Ⓕ	9.5φ×19.1φ
Ⓖ	9.5φ×22.2φ
Ⓗ	12.7φ×25.4φ
Ⓘ	12.7φ×28.6φ
Ⓙ	15.9φ×28.6φ
Ⓚ	19.1φ×31.8φ

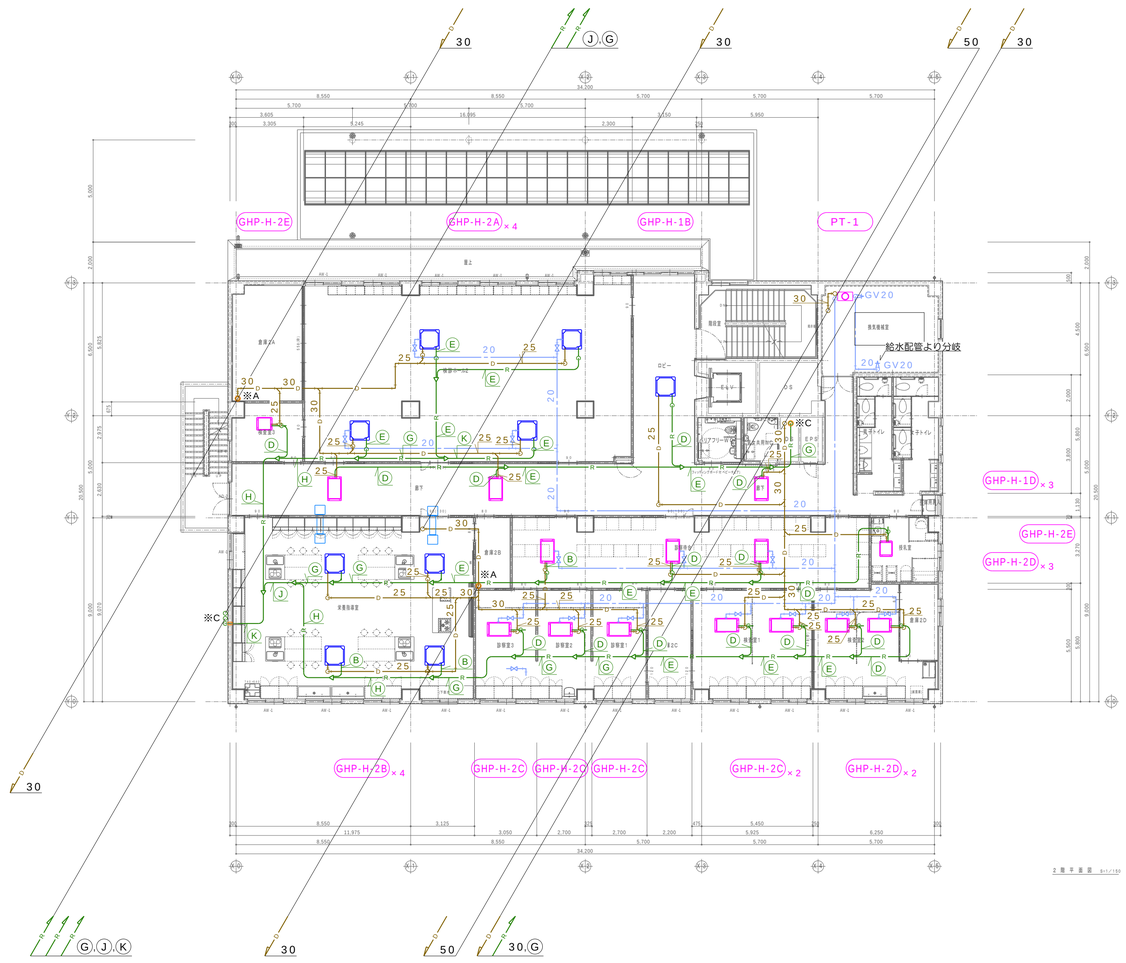
空調配管設備1階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 斎藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
斎藤出	川村	R 8 1 30	狭山市保健センター改修工事	M-31
		変更年月日	図面名称 空調配管設備1階平面図 Scale 1/150	





撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所 階	設置場所 室名
FC-2	ファンコイルユニット	4台	形式：天井カセット型	2階	
			冷房能力： 1.52 kW 暖房能力： 2.24 kW		
			水量： 3 L/min 風量： 330 m3/h		
FC-3	ファンコイルユニット	12台	形式：天井カセット型	2階	
			冷房能力： 2.29 kW 暖房能力： 3.34 kW		
			水量： 5 L/min 風量： 580 m3/h		
FC-4	ファンコイルユニット	10台	形式：天井カセット型	3階	
			冷房能力： 3.05 kW 暖房能力： 4.45 kW		
			水量： 7 L/min 風量： 640 m3/h		

機器廻り弁類
エアハンドリングユニット(AHU-2)
冷温水(往)： 40FJ,40GVx4,65BV
三方弁40x32
温度計、圧力計
冷温水(還)： 40FJ,40GVx2,40ST,65BV
温度計、圧力計
加湿給水： 20GV,20ST

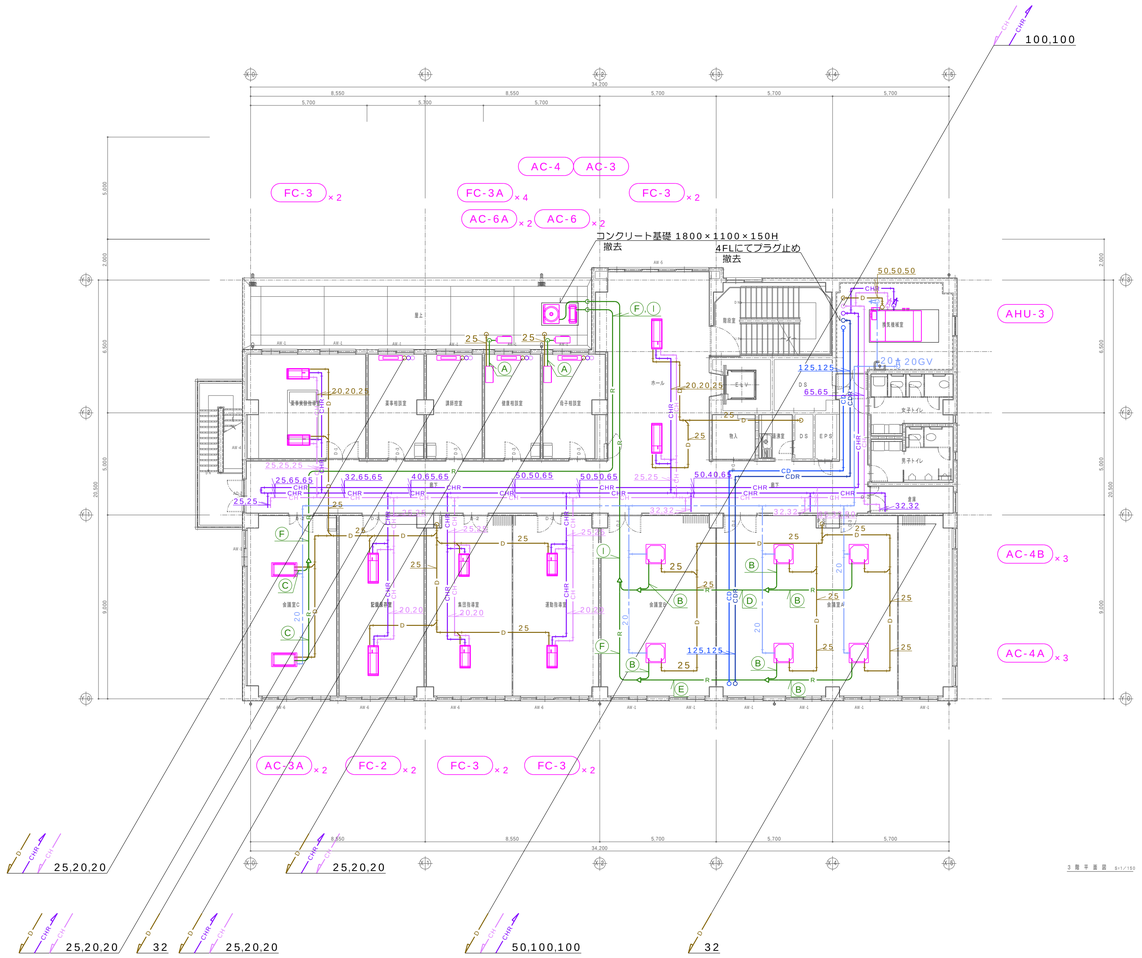
空調配管設備2階平面図（改修前） 1/150

空調配管設備2階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 斎藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
斎藤出	川村	R 8. 1.30	狭山市保健センター改修工事	M-32
		変更年月日	図面名称 空調配管設備 2階平面図 Scale 1/150	

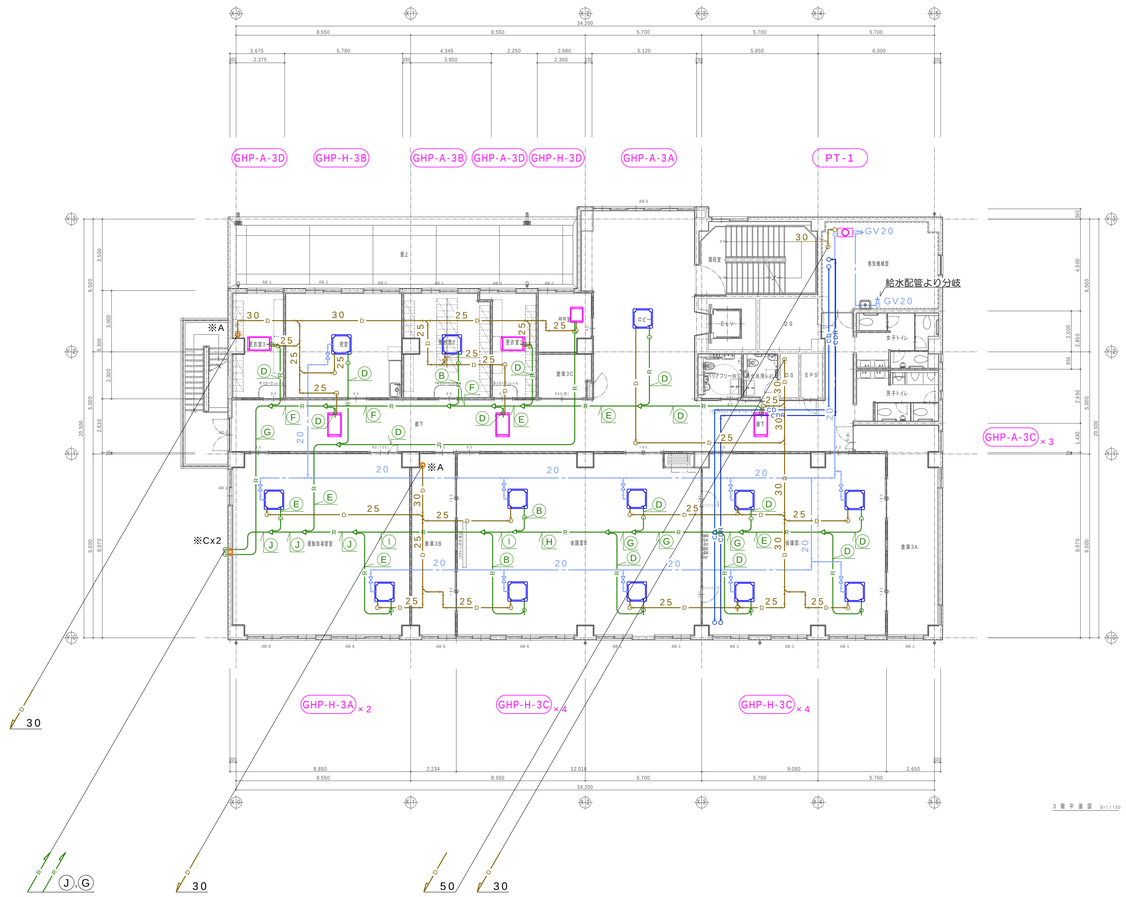


撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所 階	設置場所 室名
FC-2	ファンコイルユニット	2台	形式：天井カセット型	3階	
			冷房能力： 1.52 kW 暖房能力： 2.24 kW		
			水 量： 3 L/min 風量： 330 m3/h		
FC-3	ファンコイルユニット	2台	形式：天井カセット型	3階	
			冷房能力： 2.29 kW 暖房能力： 3.34 kW		
			水 量： 5 L/min 風量： 580 m3/h		
FC-3A	ファンコイルユニット	4台	形式：床置型	3階	
			冷房能力： 2 kW 暖房能力： 2.93 kW		
			水 量： 5 L/min 風量： 580 m3/h		
FC-4	ファンコイルユニット	6台	形式：天井カセット型	3階	
			冷房能力： 3.05 kW 暖房能力： 4.45 kW		
			水 量： 7 L/min 風量： 640 m3/h		
AC-3	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：同時ツイン型パッケージエアコン	3階	屋外
			冷房能力： 10 kW 暖房能力： 11.2 kW		
			機器重量： 100 kg		
			外形寸法： 940Wx340Dx1416H		
AC-3A	ガスヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式：天井埋込カセット形（2方向吹出）	3階	
	屋内機		冷房能力： 5 kW 暖房能力： 5.6 kW		
			自然気化式加湿器組込		
AC-4	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：EHPビル用マルチエアコン	3階	屋外
	マルチ屋外機		冷房能力： 22.4 kW 暖房能力： 25 kW		
			機器重量： 100 kg		
			外形寸法： 940Wx340Dx1416H		
AC-4A	電気ヒートポンプエアコン	3台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	3階	
	屋内機		冷房能力： 4.5 kW 暖房能力： 5 kW		
			自然気化式加湿器組込		
AC-4B	電気ヒートポンプエアコン	3台	屋内機型式：天井埋込カセット形（4方向吹出）	3階	
	屋内機		冷房能力： 2.8 kW 暖房能力： 3.2 kW		
			自然気化式加湿器組込		
AC-6	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋外機型式：ルームエアコン	3階	屋外
	屋外機		冷房能力： 2.2 kW 暖房能力： 2.8 kW		
AC-6A	電気ヒートポンプエアコン	1台	屋内機型式：壁掛型	3階	
	屋内機		冷房能力： 5.6 kW 暖房能力： 6.3 kW		

機器廻り弁類	
エアハンドリングユニット(AHU-3)	
冷温水(往)：	40FJ,40GVx4,65BV
	三方弁40x32
	温度計、圧力計
冷温水(還)：	40FJ,40GVx2,40ST,65BV
	温度計、圧力計
加湿給水：	20GV,20ST

空調配管設備3階平面図（改修前） 1/150

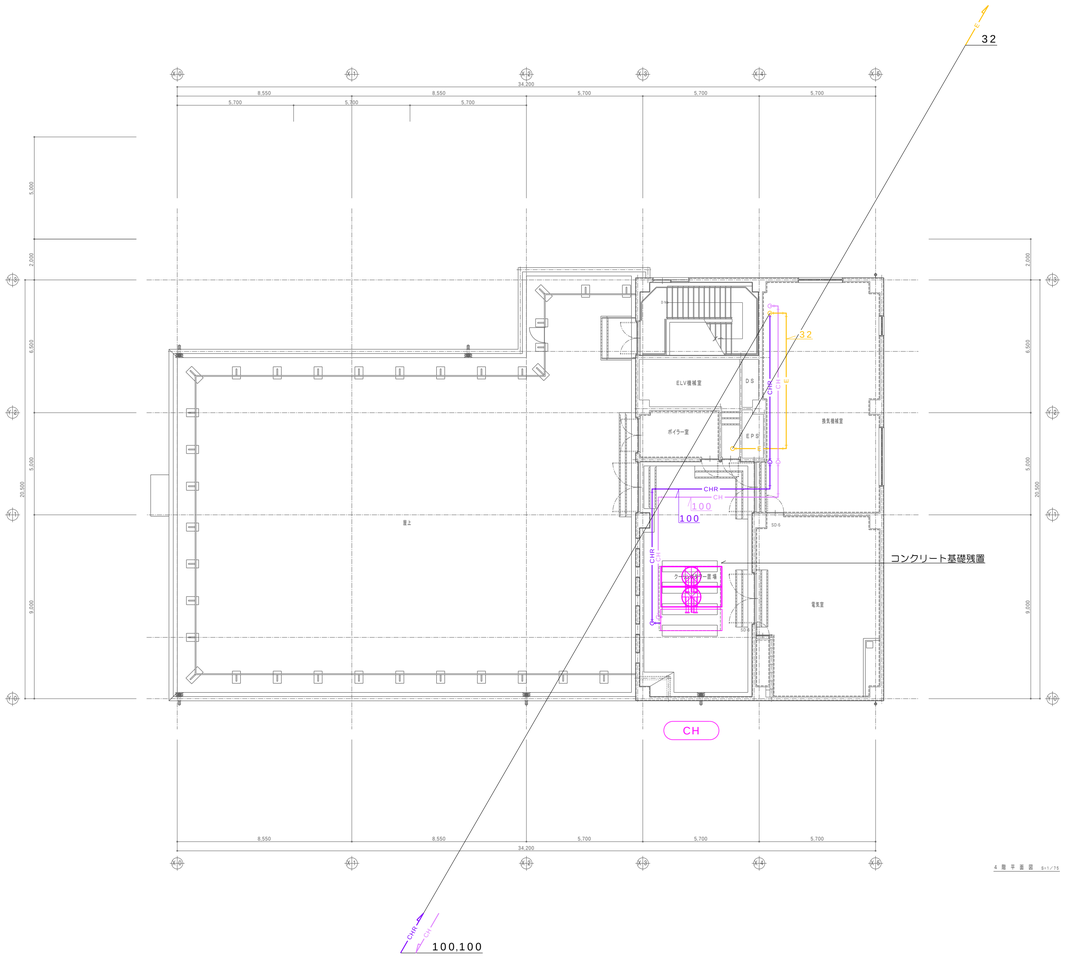


空調配管設備3階平面図（改修後） 1/150

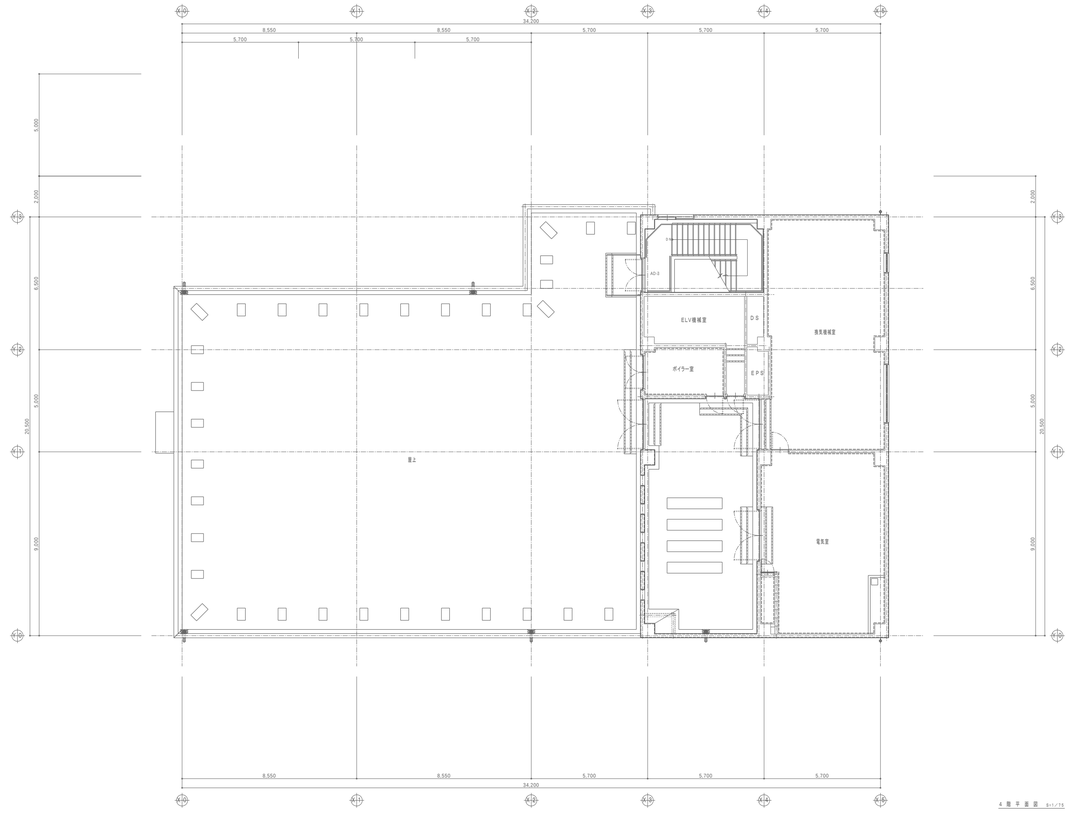
特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計	設計年月日	工事名称	No.
齋藤出	川村	R 8 . 1 .30	狭山市保健センター改修工事	M-33
		変更年月日	図面名称 空調配管設備 3階平面図 Scale 1/150	



空調配管設備4階平面図（改修前） 1/150



空調配管設備4階平面図（改修後） 1/150

撤去機器表

記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所 階	設置場所 室名
CH	冷温水発生機	1台	冷却塔一体型直焚二重効用吸収式冷温水発生機 (60USRT)	4階	屋上
			冷房能力： 211 kW 暖房能力： 211.0 kW		
			冷温水ポンプ ： 5.5kW		
			冷却水ポンプ ： 3.7kW		
			冷却塔 ： 2.2kW		
			機器重量： 3340 kg		
			外形寸法： 4106Wx2628Dx2670H		

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

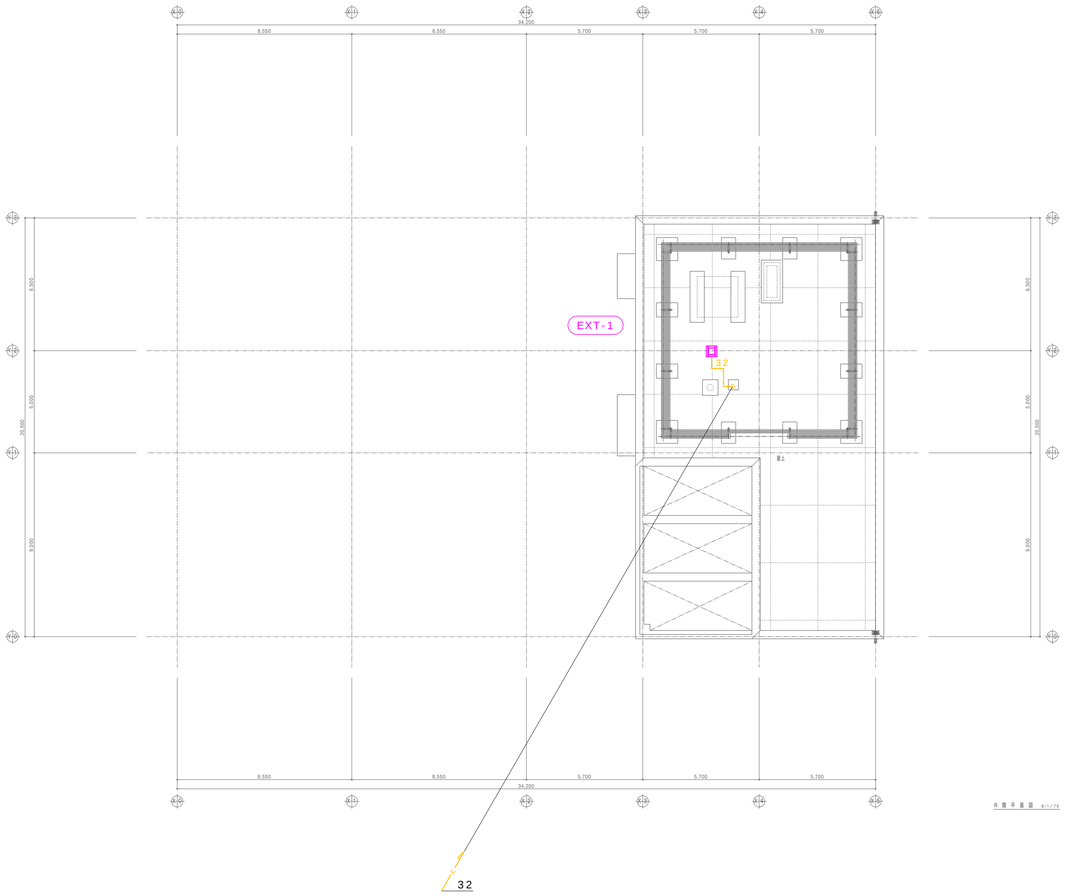
検印 齋藤出 設計 川村

設計年月日 R 8 . 1 .30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 空調配管設備 4階平面図
Scale 1/150

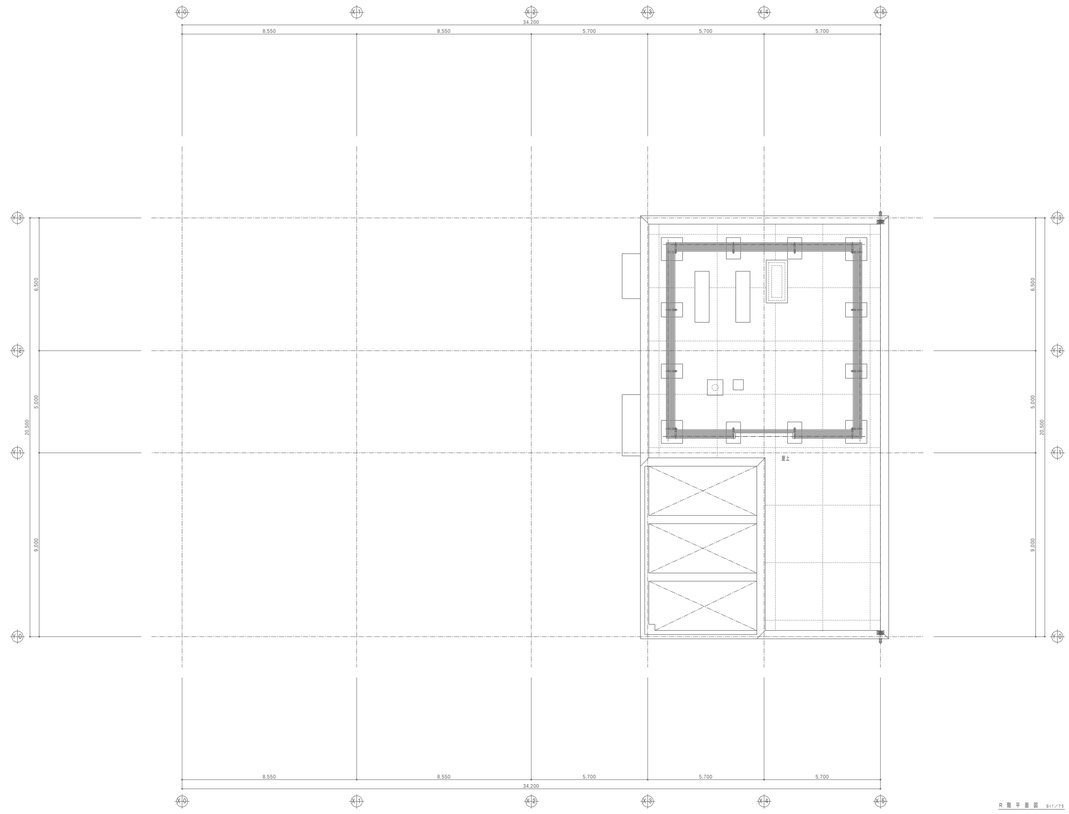
No. M-34

機器廻り弁類
膨張水槽(EXT-1)
膨張管：　32FJ,32GV
ドレン：　25GV



撤去機器表					
記号	既存機器名称	台数	機器仕様	設置場所	
				階	室名
EXT-1	膨張水槽	1台	形式：鋼板製角型、有効容量：100L	R階	屋上
			本体寸法：500Wx500Dx500H		
			鉄骨架台：1200H		

空調配管設備R階平面図（改修前） 1/150



空調配管設備R階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印 齋藤出

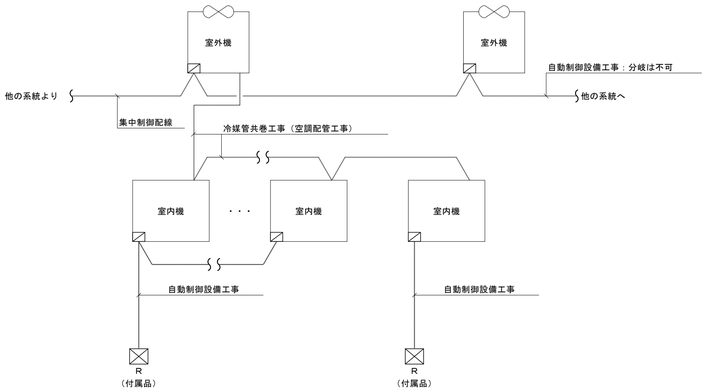
設計 川村

設計年月日 R 8 . 1 .30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 空調配管設備 R階平面図
Scale 1/150

No. M-35

1　パッケージエアコン廻り（１）[GHPビル用マルチ]



＜制御内容＞

1．SCP-1との通信

（発停・状態・警報・設定温度・設定温度制限※・運転モード切替・計測・異常コード）

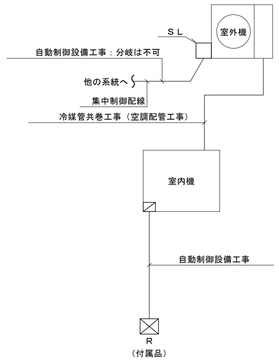
（注記）

・空調機への電源供給工事は電気設備工事とする。

・室内機～室外機間信号線は冷媒共巻工事（空調配管工事）とする。

・Rは別途空調機付属品

2　パッケージエアコン廻り（２）[オフィス・店舗用]



＜制御内容＞

1．SCP-2との通信

（発停・状態・警報・設定温度・設定温度制限※・運転モード切替・計測・異常コード）

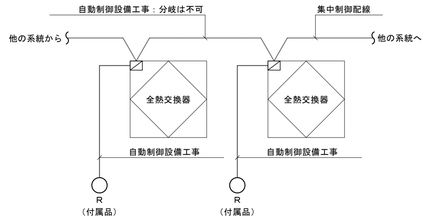
（注記）

・空調機への電源供給工事は電気設備工事とする。

・室内機～室外機間信号線は冷媒共巻工事（空調配管工事）とする。

・Rは別途空調機付属品

3　全熱交換ユニット廻り



＜制御内容＞

1．SCP-2との通信

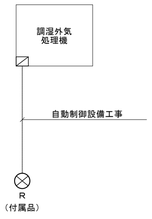
（発停・状態・警報・風速・モード・スケジュール）

（注記）

・全熱交換器への電源供給工事は電気設備工事とする。

・Rは別途全熱交換機付属品

4　調湿外気処理機廻り



（注記）

・調湿外気処理機への電源供給工事は電気設備工事とする。

・Rは別途調湿外気処理機付属品

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印　設計

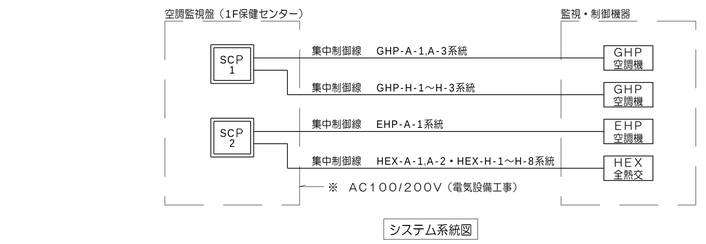
設計年月日 R 8．1．30
変更年月日

工事名称 狭山市保健センター改修工事
図面名称 自動制御設備 システムブロック図
Scale N/S

No. M-36



自動制御設備1階平面図（改修前）　1/150



システム系統図

＜特記＞
・天井内はケーブルコロガシとし、室内スイッチ類
　及び盤への立下りは配管を使用する。
・室内外操作線は冷媒配管共巻とする。
　（EM-CEES1.25 □-2C）
・各集中コントローラーは1Φ100/200Vの電源が必要



＜特記＞
・天井内はケーブルコロガシとし、室内スイッチ類
　及び盤への立下りは配管を使用する。
・室内外操作線は冷媒配管共巻とする。
　（EM-CEE1.25□-2C）
・各集中コントローラーは1Φ100/200Vの電源が必要

記号凡例

平面図記号	内　容
·····	露出配管
———	天井内ケーブル配管
(PB)	プルボックス
(WPB)	防水仕様プルボックス

機器凡例

シンボル	記　号	型　番	配　線	配管 屋内	配管 屋外
⊠	R	CZ-10RT5C	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
○	R	FY-SSUL1	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
⊗	R	－	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
□	SCP-1	CZ-10ESM5	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
□	SCP-2	CZ-10ESM5	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
□	SL	CZ-CAPSU3	EM-CEE1.25□－2C × 1		(G22)

＜配線・配管リスト＞

－A－
EM-CEE1.25 □－2C × 1　(コロガシ) 集中制御配線 × 1
－B－
EM-CEE1.25 □－2C × 2　(コロガシ) 集中制御配線 × 2
－C－
EM-CEE1.25 □－2C × 3　(コロガシ) 集中制御配線 × 3
－D－
EM-CEE1.25 □－2C × 1　(G22) 集中制御配線 × 1
－E－
EM-CEE1.25 □－2C × 2　(G28) 集中制御配線 × 2
－F－
EM-CEE1.25 □－2C × 3　(G36) 集中制御配線 × 3
－G－
EM-CEE1.25 □－2C × 1　(E25) 集中制御配線 × 1
－H－
EM-CEE1.25 □－2C × 1　(コロガシ) リモコン配線 × 1

自動制御設備1階平面図（改修後）　1/150

特記事項

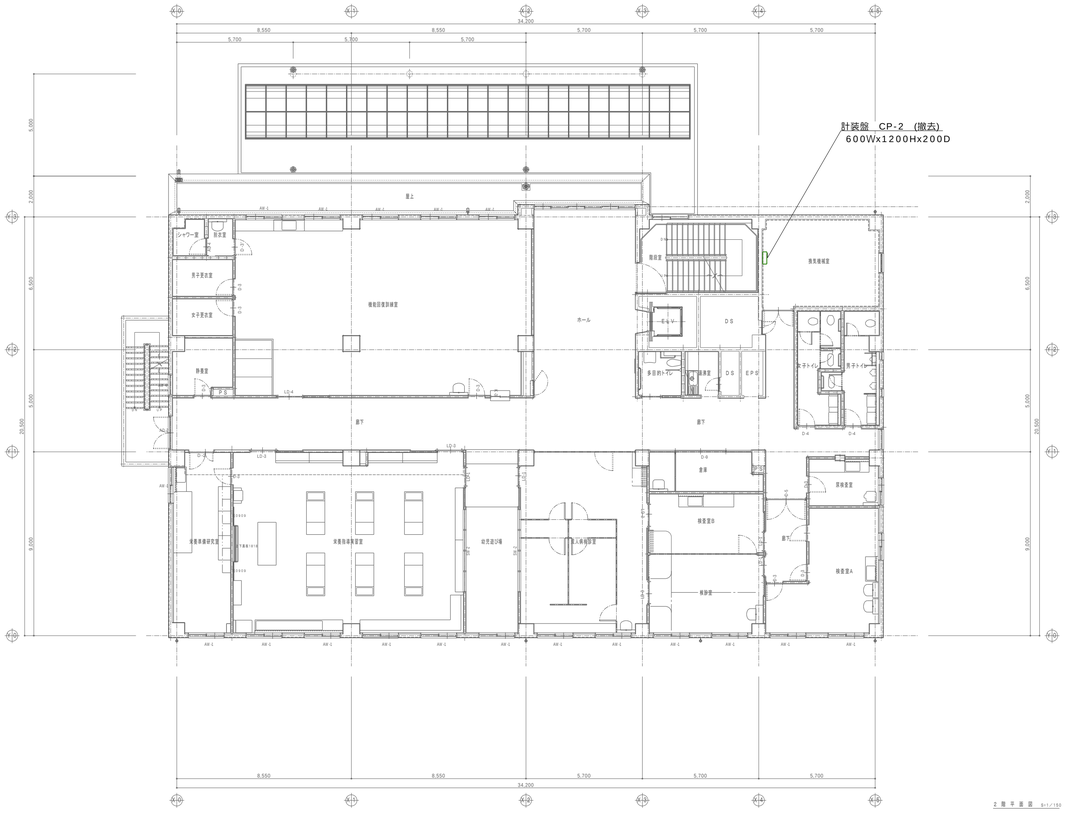
斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋藤出

検印	設計
齋藤出	川村

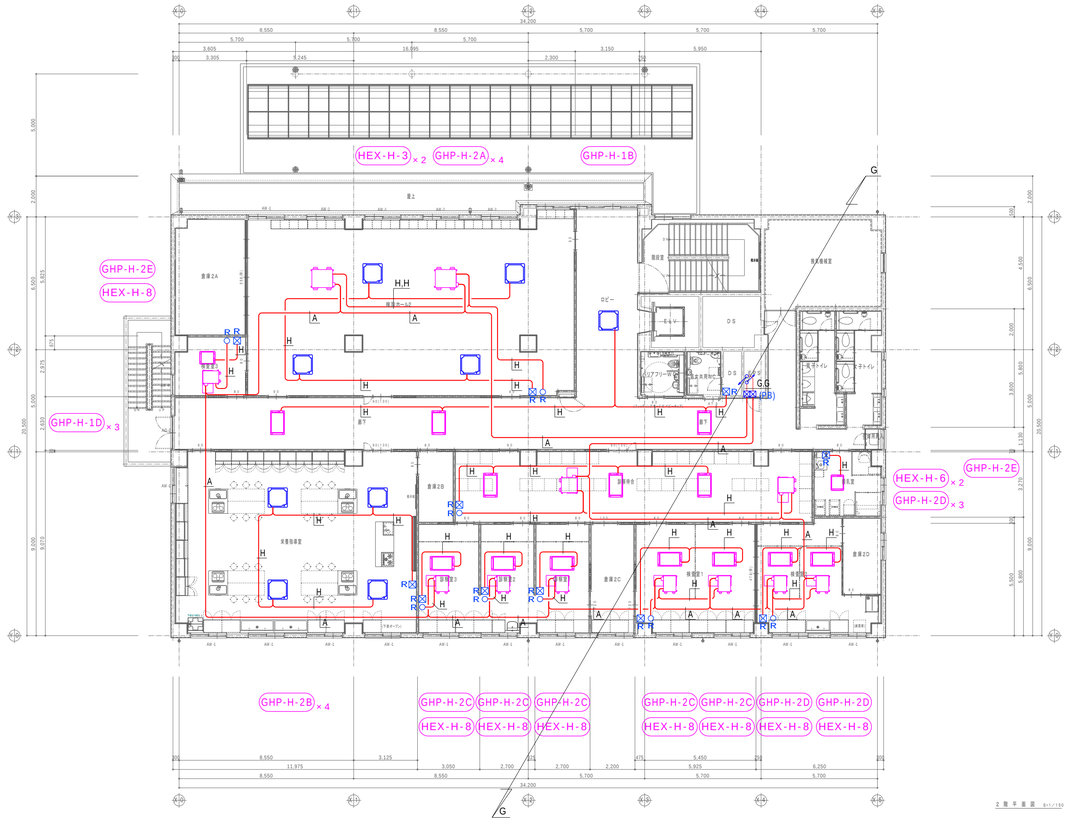
設計年月日　R 8 . 1 .30
変更年月日

工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　自動制御設備　1階平面図
Scale　1/150

No.　M-37



自動制御設備2階平面図（改修前） 1/150



＜特記＞
- 天井内はケーブルコロガシとし、室内スイッチ類及び盤への立下りは配管を使用する。
- 室内外操作線は冷媒配管共巻とする。（EM-CEE1.25□-2C）
- 各集中コントローラーは1Φ100/200Vの電源が必要

記号凡例

平面図記号	内　容
・・・・・・・・・・・・・・・・	露出配管
――――――――	天井内ケーブル配管
☒ (PB)	プルボックス
☒ (WPB)	防水仕様プルボックス

機器凡例

シンボル	記　号	型　番	配　線	配管 屋内	配管 屋外
☒	R	CZ-10RT5C	EM-CEE1.25□－ 2C × 1	(PF22)	
◯	R	FY-SSUL1	EM-CEE1.25□－ 2C × 1	(PF22)	
⊗	R	－	EM-CEE1.25□－ 2C × 1	(PF22)	
□	SCP-1	CZ-10ESM5	EM-CEE1.25□－ 2C × 1	(PF22)	
□	SCP-2	CZ-10ESM5	EM-CEE1.25□－ 2C × 1	(PF22)	
□	SL	CZ-CAPSU3	EM-CEE1.25□－ 2C × 1		(G22)

＜配線・配管リスト＞

－A－
EM-CEE1.25□－2C × 1　(コロガシ)　集中制御配線 × 1

－B－
EM-CEE1.25□－2C × 2　(コロガシ)　集中制御配線 × 2

－C－
EM-CEE1.25□－2C × 3　(コロガシ)　集中制御配線 × 3

－D－
EM-CEE1.25□－2C × 1　(G22)　集中制御配線 × 1

－E－
EM-CEE1.25□－2C × 2　(G28)　集中制御配線 × 2

－F－
EM-CEE1.25□－2C × 3　(G36)　集中制御配線 × 3

－G－
EM-CEE1.25□－2C × 1　(E25)　集中制御配線 × 1

－H－
EM-CEE1.25□－2C × 1　(コロガシ)　リモコン配線 × 1

自動制御設備2階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印　設計

設計年月日 R 8 . 1 .30
変更年月日

工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　自動制御設備　2階平面図
Scale 1/150

No. M-38



自動制御設備3階平面図（改修前） 1/150



＜特記＞
- 天井内はケーブルコロガシとし、室内スイッチ類及び盤への立下りは配管を使用する。
- 室内外操作線は冷媒配管共巻とする。（EM-CEE1.25□-2C）
- 各集中コントローラーは1Φ100/200Vの電源が必要

記号凡例

平面図記号	内　容
・・・・・・・・・・	露出配管
――――	天井内ケーブル配管
(PB)	プルボックス
(WPB)	防水仕様プルボックス

機器凡例

シンボル	記　号	型　番	配　線	配管 屋内	配管 屋外
☒	R	CZ-10RT5C	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
○	R	FY-SSUL1	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
⊗	R	－	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
□	SCP-1	CZ-10ESM5	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
□	SCP-2	CZ-10ESM5	EM-CEE1.25□－2C × 1	(PF22)	
□	SL	CZ-CAPSU3	EM-CEE1.25□－2C × 1		(G22)

＜配線・配管リスト＞

－A－
EM-CEE1.25□－2C × 1　(コロガシ)　集中制御配線×1

－B－
EM-CEE1.25□－2C × 2　(コロガシ)　集中制御配線×2

－C－
EM-CEE1.25□－2C × 3　(コロガシ)　集中制御配線×3

－D－
EM-CEE1.25□－2C × 1　(G22)　集中制御配線×1

－E－
EM-CEE1.25□－2C × 2　(G28)　集中制御配線×2

－F－
EM-CEE1.25□－2C × 3　(G36)　集中制御配線×3

－G－
EM-CEE1.25□－2C × 1　(E25)　集中制御配線×1

－H－
EM-CEE1.25□－2C × 1　(コロガシ)　リモコン配線×1

自動制御設備3階平面図（改修後） 1/150

特記事項

斉藤出建築設計室
一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検印　設計

設計年月日 R 8. 1 30
変更年月日

工事名称　狭山市保健センター改修工事
図面名称　自動制御設備 3階平面図
Scale 1/150

No. M-39